

平成25年度国土交通省補助事業

平成25年度住宅市場整備推進等事業
「木造住宅施工能力向上・継承事業」のうち
「住宅省エネ化推進体制強化等を行う事業」

～省エネ設計・施工に関する実態調査～
報告書

平成26年3月

一般社団法人 木を活かす建築推進協議会

平成25年度国土交通省補助事業 住宅市場整備推進等事業
「木造住宅施工能力向上・継承事業」のうち「住宅省エネ化推進体制強化等を行う事業」
～省エネ設計・施工に関する実態調査～ 報告書

《目次》

<p><u>1. 業務の目的</u> 1</p> <p><u>2. 業務の内容</u> 1</p> <p><u>3. 調査の内容</u> 2</p> <p>(1) 共通事項 2</p> <p>(2) 省エネ設計・施工の実態把握 2</p> <p>(3) 講習内容・資料検討に関する情報収集 5</p> <p>(4) 講習会運営に関する情報収集 5</p> <p><u>4. 調査の実施概要</u> 7</p> <p>(1) 調査実施概要 7</p> <p>(2) アンケート調査票 9</p> <p>(3) 回答者の属性 13</p> <p><u>5. 省エネ設計・施工に関する実態調査結果</u> 15</p> <p>(1) 普段たずさわっている断熱工法・断熱材料 15</p> <p>(2) 施工技術者講習で説明のあった断熱施工と実態とのギャップ 35</p> <p>(3) 今回の講習内容で施工する場合の手間 38</p> <p>(4) 断熱仕様について設計時に記載または現場管理時のチェックに使用する図面 40</p> <p>(5) 普段設計または現場管理している省エネ基準レベル 41</p> <p>(6) 計算経験のある断熱性能 42</p> <p>(7) 断熱・施工方法に関する情報の主な入手先 43</p> <p>(8) 最適な断熱住宅を普及・建設していくための意識啓発 44</p> <p>(9) 省エネ設計・施工に関する実態調査結果のまとめ 45</p> <p><u>6. 講習内容・資料検討に関する調査結果</u> 49</p> <p>(1) 施工技術者講習 49</p> <p>①講習会資料(テキスト、DVD、カットモデル)</p> <p>②講習内容、説明方法</p> <p>③修了考査</p> <p>④講師の説明</p> <p>(2) 設計者講習 66</p> <p>①テキスト、講義内容</p> <p>②演習</p> <p>③修了考査</p> <p>④講師の説明</p>	<p><u>7. 今後の資料、講習内容、説明方法、修了考査の検討</u> 83</p> <p>(1) 施工技術者講習の資料等についての検討 83</p> <p>①施工技術者講習の資料 (テキスト、DVD、カットモデル)</p> <p>②施工技術者講習の内容、説明方法</p> <p>③施工技術者講習の講師</p> <p>④施工技術者講習の修了考査</p> <p>(2) 設計者講習の資料等についての検討 84</p> <p>①設計者講習のテキストと講習内容</p> <p>②設計者講習の演習</p> <p>③設計者講習の修了考査</p> <p>④設計者講習の新たな資料の検討</p> <p>⑤設計者講習の講師</p> <p><u>8. 講習会運営に関する調査結果</u> 86</p> <p>(1) 講習会開催の認知経路 86</p> <p>(2) 講習会への参加動機 87</p> <p>(3) 講習時間 88</p> <p>(4) 講習会運営に関する意見 91</p> <p>(5) 講師、スタッフ、受講者への意見 94</p> <p><u>9. 今後の講習会運営に関する検討</u> 95</p> <p>(1) 広報・開催案内 95</p> <p>(2) 会場・設備 95</p> <p>(3) 講習時間 95</p> <p>(4) 受講者のマナー違反対策 96</p> <p>(5) 講師、会場スタッフのマナー 96</p> <p>《資料編》</p> <p>・講習会アンケート調査結果</p>
---	--

本文中の略称凡例

- ・全国協議会：全国木造住宅生産体制強化推進協議会
- ・地域協議会：各都道府県の木造住宅生産体制強化推進協議会
- ・A講習会：住宅省エネルギー技術 地域リーダー講師研修
- ・B講習会：住宅省エネルギー技術 地域リーダー研修
- ・C講習会：住宅省エネルギー技術 技術者講習会
- ・地域ブランド：地域型住宅ブランド化事業

1. 業務の目的

平成 25 年度国土交通省補助事業である住宅市場整備推進等事業「木造住宅施工能力向上・継承事業」のうち、「住宅省エネ化推進体制強化等を行う事業」において、新築住宅の省エネ基準適合率を平成 32 年度までに 100%とすることを目指し、地域の木造住宅生産を担う中小工務店の断熱施工技術の向上、及び木造住宅設計者の断熱設計技術の向上を図るため、全国各地域において、省エネ施工技術・設計技術に関する適切な知識を有する地域リーダー育成のための研修、施工技術者・設計者を対象とした講習会を実施した。

本業務は上記講習会において、省エネ設計・施工に関する実態調査をアンケート形式により実施し、省エネ設計・施工の現状と実態の把握を目的とする。

併せて講習会の内容、資料、運営面についてもアンケートを実施し、今後の講習会の方向性、運営方法の検討を行うことを目的とする。

2. 業務の内容

本業務の内容は以下の通りとする。

- ①アンケート調査票の作成
- ②アンケート調査票の配布、回収
- ③調査結果の集計
- ④調査結果の分析・まとめ

3. 調査の内容

本調査は省エネ設計・施工の実態把握、及び住宅省エネルギー技術施工技術者講習会・設計者講習会の運営・資料作成の検討に資する情報の収集を目的として、平成24年度に実施された調査の2年目の調査であり、調査内容は昨年度と同じ内容を今年度も引き継いでいる。

昨年度からの変更点は、主に設計及び現場管理に関する実態調査について、昨年度は地域型住宅ブランド化事業採択グループに所属する工務店等を対象としていたが、今年度から新設された設計者講習受講者に調査対象を変更した。

以下、調査内容を示す。

(1) 共通事項

①調査方法

調査票を用いたアンケート調査。

A4×2枚、回答所要時間10～15分程度の内容とした。

②回答者属性の把握

年齢層、職種、業種を把握した。

(2) 省エネ設計・施工の実態把握

①省エネ設計・施工の実態把握の視点

省エネ設計・施工の実態把握を以下の視点から行った。

- 多用される断熱工法、断熱材料は何か。
- 現場施工者は正しい断熱施工の方法を把握しているか。
- 講習会で説明する施工方法と現状の施工実態に相違があるか。
- 設計者、現場管理者は断熱仕様の担保に何をを用いているか。
- 多用される省エネレベルは何か。
- 省エネ性能を把握するための計算がどれくらい行われているか。
- 省エネ設計・施工の情報はどこから得ているか。
- 最適な断熱住宅の普及・建設にはどの分野の意識啓発が必要か。

②調査対象者

調査対象者は、質問の内容によりそれぞれ現場施工者、設計者、現場管理者を対象とした。

●現場施工に関する質問

主に現場施工者、現場管理者の参加を想定し、各都道府県で開催された施工技術者講習の受講者を対象とした。

●設計、現場管理に関する質問

主に設計者、現場管理者の参加を想定し、各都道府県で開催された設計者講習の受講者を対象とした。

③具体的な調査内容

1) 現場施工、設計、現場管理に共通する質問

●普段携わっている断熱工法は何か、断熱材料は何か。

- ・多用される断熱工法、断熱材料は何かを把握。
- ・取合い部分における断熱工法、断熱材料にはそれぞれどのような組合せが多いかを把握。
- ・取合い部分とは「外壁と屋根・天井」、「外壁と床・基礎」とした。
- ・断熱工法毎に断熱材料は何が多用されているのかを把握。
- ・断熱工法は部位毎に以下の工法を選択肢とした。

《屋根・天井》天井断熱、屋根野地上断熱、垂木間充填断熱。

《外壁》充填断熱、外張断熱、充填外張併用断熱。

《床・基礎》床断熱(根太間充填)、床断熱(大引間充填)、床断熱(根太+大引間充填)、基礎断熱。

- ・断熱材料はグラスウール・ロックウール、発泡プラスチック系断熱材(ボード状)、その他を選択肢とした。

●断熱・施工方法の情報入手先

- ・省エネ設計・施工の情報はどこから得ているのかを把握。
- ・職場内研修、住宅生産関連団体の講習会などから、公的講習会・仕様書から、建材・設備メーカーの講習会・マニュアルから、建築雑誌から、その他を選択肢とした。

●最適な断熱住宅の普及・建設にはどの分野の意識啓発が必要か。

- ・「断熱住宅」のキーパーソンは誰かを把握。
- ・設計従事者、施工管理者、現場施工者、建築主、その他を選択肢とした。

2) 主に現場施工に関する質問

現場の施工実態と理想形(施工技術者講習会で示す原理原則)とのギャップには何があるか、どれくらいあるかを把握した。また自由記述からも意見を抽出した。現実の施工とギャップがあった場合、改善していく為には今後の講習会で何に取り組むべきか、テキストなどに何を追加または割愛すべきか、講習会以外にもギャップを埋める為にどんなサポート出来るのかを結果から考察する。

- 講習を受講して、普段の施工方法に勘違い等はあったか。
 - ・現場施工者は正しい断熱施工を把握しているかを確認。
 - ・施工技術者講習会の受講内容を基準として「今まで正しく施工していなかったところ」、「難しい・やりにくいなど感じたところ」はどこか。
 - ・「講習内容の施工」に取り組むためのハードルはどの部分か。
 - ・壁への施工、屋根への施工、天井への施工、下屋への施工、筋かい部への施工、真壁への施工、浴室への施工、気流止めの施工、基礎への施工、その他を選択肢とした。

- 適切な施工を行うにはどの程度の手間賃のアップが必要か。
 - ・現場施工者は正しい断熱施工の方法を把握しているか。
 - ・「講習内容の施工」に取り組みにくいか、取り組みやすいか。感じている負担度合いを把握。
 - ・ほとんど変わらない、坪あたり〇〇人工程度増加、坪あたり〇〇人工程度減少を選択肢とした。
 - ・人工増なら普段は「講習内容の施工」をしていないと解釈した。
 - ・人工増は何人工ほどの増となるかを把握。

3) 主に設計、現場管理に関する質問

- 断熱仕様を記載する図面、現場チェックに使う図面は何か。
 - ・設計者、現場管理者は断熱仕様の担保に何をを用いているか。
 - ・特記仕様書、仕上表、平面図、平面詳細図、矩計図、その他を選択肢とした。

- 普段携わっている省エネ基準レベルは何か。
 - ・多用されている省エネレベルを把握。
 - ・H11年基準(次世代基準・等級4)、H4年基準(新基準・等級3)、S55年基準(旧基準・等級2)、H11年基準以上を選択肢とした。

- 断熱性能の計算経験はあるか。
 - ・断熱性能を把握するための計算がどれくらい行われているかという点から、断熱設計への取り組み実態を把握。
 - ・年間冷暖房負荷、Q値(熱損失係数)、U値(部位熱貫流率)、R値(熱抵抗値)を選択肢とした。

(3) 講習内容・資料検討に関する情報収集

講習資料、講習内容、修了考査、講師について受講者の感想を把握した。また自由記述からも感想、意見を抽出した。

①調査対象者

調査対象者は施工技術者講習及び設計者講習のC講習受講者。

②具体的な調査内容

- テキスト等の講習資料、講師
 - ・大変わかりやすかった、わかりやすかった、普通、わかりにくかった、大変わかりにくかったを選択肢とした。

- 講習内容、修了考査
 - ・難しかった、難しいとは思わない、易しいを選択肢とした。

(4) 講習会運営に関する情報収集

講習会開催情報の認知経路、参加理由、講習時間について把握した。また自由記述からも感想、意見を抽出した。

①調査対象者

調査対象者は施工技術者講習及び設計者講習のC講習受講者。

②具体的な調査内容

- 講習会開催情報の認知経路
 - ・会員になっている業界団体から配付されたリーフレットをみて、各都道府県の地域協議会からの情報、所属業界団体(会社等)からの情報・依頼、その他を選択肢とした。

●参加理由

- ・これからの業務に必要なまたは参考にできると思ったから、所属業界団体または会社等から受講を指示されたから、その他を選択肢とした。

●講習時間

- ・長い、ちょうどよい、短いを選択肢とした。

	NO	質問内容 [選択肢]	施工技術者講習		設計者講習		
			施工B	施工C	設計B	設計C	
属性	1	業種 [1.工務店 2.住宅メーカー/建設会社 3.設計事務所 4.その他()]	質問1	質問1	質問1	質問1	
	2	職種 [1.施工 2.現場管理 3.設計 4.その他()]	質問2	質問2	質問2	質問2	
	3	年齢層 [1.19歳以下 2.20歳代 3.30歳代 4.40歳代 5.50歳代 6.60歳代以上]	質問3	質問3	質問3	質問3	
省エネ設計・施工の実態把握	4	普段施工（設計または現場管理）している断熱工法（※：()内は設計者講習での設問文面） ①屋根・天井[1.天井断熱 2.屋根野地上断熱 3.垂木間充填断熱] ②外壁 [1.充填断熱 2.外張断熱 3.充填外張併用断熱] ③床・基礎 [1.根木間充填床断熱 2.大引間充填床断熱 3.根木+大引間充填床断熱 4.基礎断熱]	質問9-1	質問11-1	質問9-1	質問10-1	
	5	上記で回答した工法で使っている断熱材 ①屋根・天井[1.2.3] ②外壁[1.2.3] ③床・基礎[1.2.3] [1.グラスウール/ロックウール 2.発泡プラスチック系断熱材(ボド状) 3.その他()]	質問9-2	質問11-2	質問9-2	質問10-2	
	6	断熱施工の中で ①今まで正しく施工していなかったところ[1.2.3.4.5.6.7.8.9.10](複数選択) ②難しいやりにくいなと感じたところ[1.2.3.4.5.6.7.8.9.10](複数選択) [1.壁への施工 2.屋根への施工 3.天井への施工 4.下屋への施工 5.筋かい部への施工 6.真壁への施工 7.浴室への施工 8.気流止めの施工 9.基礎への施工 10.その他()]	質問9-3	質問11-3	-	-	
	7	今回の講習内容で施工する場合の手間は普段と比べてどれくらい変わるか。 [1.ほとんど変わらない 2.坪あたり()人工程度増加する 3.坪あたり()人工程度減少する]	質問9-5	質問11-5	-	-	
	8	断熱仕様について設計時に記載する図面、または現場管理時にチェックに使用する図面(複数回答) ①屋根・天井[1.2.3.4.5.6] ②外壁[1.2.3.4.5.6] ③床・基礎[1.2.3.4.5.6] [1.特記仕様書 2.仕上表 3.平面図 4.平面詳細図 5.短記図 6.その他()]	-	-	質問9-3	質問10-3	
	9	普段設計または現場管理している住宅の省エネ基準レベル [1.H11年基準(次世代・等級4)以上 2.H4年基準(新・等級3) 3.S55年基準(旧・等級2) 4.S55年基準以下]	-	-	質問9-4	質問10-4	
	10	計算したことのある性能値(複数回答) [1.年間冷暖房負荷 2.Q値(熱損失係数) 3.U値(部位熱貫流率) 4.R値(熱抵抗値)]	-	-	質問9-5	質問10-5	
	11	断熱・施工方法に関する情報の主な入手先(複数回答) [1.職場内研修から 2.住宅生産関連団体の講習会などから 3.公的講習会・仕様書から 4.建材・設備メーカーの講習会・マニュアルから 5.建築雑誌から 6.その他()]	質問9-4	質問11-4	質問9-6	質問10-6	
	12	最適な断熱住宅を普及・建設していくにはどの分野の意識啓発が必要か [1.設計従事者 2.施工管理者 3.現場施工者 4.建築主 5.その他()]	質問9-6	質問11-6	質問9-7	質問10-7	
	講習内容・資料関連	13	施工技術者講習の資料について ①テキスト[1.2.3.4.5] ②DVD[1.2.3.4.5] ③カットモデル[1.2.3.4.5] [1.大変わかり易かった 2.わかり易かった 3.普通 4.わかりにくかった 5.大変わかりにくかった]	質問5	質問7	-	-
		14	施工技術者講習の講義内容について ①これからの住まいの省エネ化[1.2.3] ②省エネ住宅の設計/施工[1.2.3] ③省エネ基準と関連制度[1.2.3] ④リフォーム[1.2.3] [1.難しかった 2.難しいとは思わない 3.易しい]	質問6	質問8	-	-
		15	設計者講習テキスト、講義内容について ①設計計画編[1.2.3] ②省エネ基準編第1章・省エネ基準の概要[1.2.3] ③省エネ基準編第2章・外皮性能基準[1.2.3] ④省エネ基準編第3章・一次エネルギー消費量基準[1.2.3] ⑤省エネ基準編第4章・設計・施工指針[1.2.3] [1.難しかった 2.難しいとは思わない 3.易しい]	-	-	質問5 質問6	質問7
16		修了審査について[1.難しかった 2.難しいとは思わない 3.易しい]	質問7	質問9	質問7	-	
17		講師の説明について [1.大変わかり易かった 2.わかり易かった 3.普通 4.わかりにくかった 5.大変わかりにくかった]	質問8	質問10	-	質問8	
講習会運営関連	18	講習会を何で知ったか(複数回答) [1.会員になっている業界団体から配付されたリーフレットをみて 2.各都道府県の地域協議会からの情報 3.所属業界団体(会社等)からの情報、依頼 4.その他()]	-	質問4	-	質問4	
	19	講習会への参加理由・目的(複数回答) [1.これからの業務に必要なまたは参考にできると思ったから 2.所属業界団体または会社等から受講を指示されたから 3.その他()]	-	質問5	-	質問5	
	21	講習時間について [1.長い 2.ちょうどよい 3.短い]	質問4	質問6	質問4	質問6	
共通	22	自由記述	質問10	質問12	質問8	質問9	

図 3-1 質問内容、対象講習一覧

4. 調査の実施概要

(1) 調査実施概要

- ・ 調査対象
：主に現場施工者、現場管理者、設計者。

- ・ 調査期間
：2013年7月～2014年3月

- ・ 調査場所
：全国47都道府県で開催の平成25年度住宅省エネルギー技術施工技術者講習会及び設計者講習会場。延べ742会場。

- ・ アンケート票配布及び回収方法
：講習会場にて教材と共に配布。
終了考査解答用紙と共に提出を原則義務づけ。

- ・ アンケート票回収数
：全国で23,019票。

地域	回答数
北海道	828
東北	3,259
関東	6,105
北陸	1,409
中部	3,284
近畿	2,626
中国	1,941
四国	1,043
九州・沖縄	2,524
全体	23,019

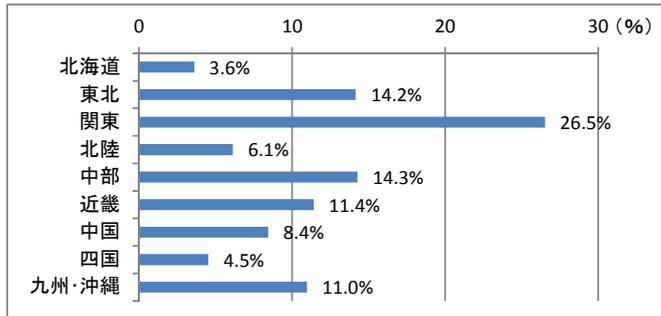


図 4-1-2a 地域別回答数(地域分けは講習会応募地域分けに倣う。以下同様。)

地域	都道府県	回答数
北海道	北海道	828
東北	青森県	481
	岩手県	480
	宮城県	845
	秋田県	381
	山形県	367
	福島県	705
関東	茨城県	646
	栃木県	671
	群馬県	483
	埼玉県	1,177
	千葉県	910
	東京都	1,460
	神奈川県	493
	山梨県	265
北陸	新潟県	589
	富山県	404
	石川県	271
	福井県	145
中部	長野県	740
	岐阜県	512
	静岡県	687
	愛知県	1,056
	三重県	289
	滋賀県	310
近畿	京都府	193
	大阪府	1,111
	兵庫県	840
	奈良県	13
	和歌山県	159
中国	鳥取県	120
	島根県	329
	岡山県	583
	広島県	646
四国	山口県	263
	徳島県	228
	香川県	271
	愛媛県	420
九州・沖縄	高知県	124
	福岡県	681
	佐賀県	248
	長崎県	396
	熊本県	305
	大分県	165
	宮崎県	259
	鹿児島県	340
沖縄県	130	
全体	23,019	

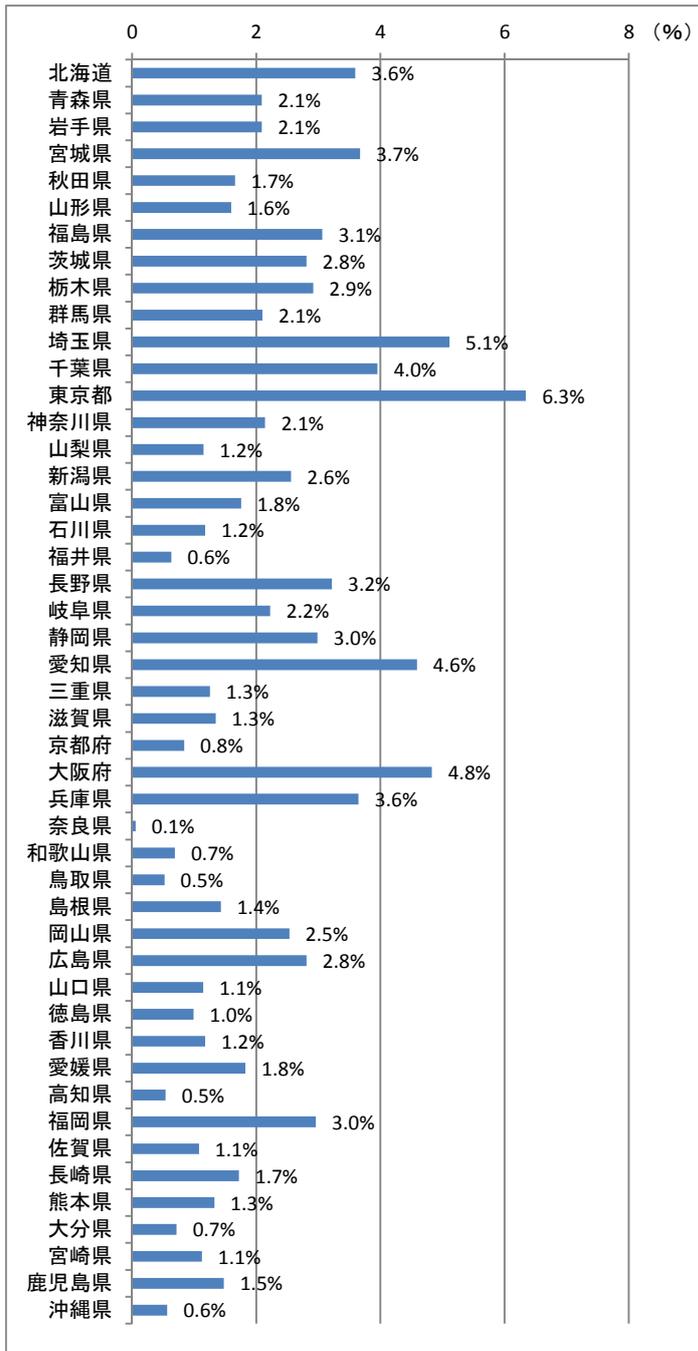


図 4-1-2b 都道府県別回答数

(2) アンケート調査票

① 施工技術者講習アンケート調査票

施工技術者講習では以下のアンケート調査票を用いた。

<u>「講習会」に関するアンケート</u>	
受講者各位	全国木造住宅生産体制推進協議会 事務局 一般社団法人 木を活かす建築推進協議会
<p>この度は、本講習会にご参加頂き、誠にありがとうございます。本講習会では、受講者の皆様のご意見・ご希望をお聞きして、今後の実施内容・方法の改善に役立てたいと考えております。 つきましては、下記アンケート実施にご協力をお願い申し上げます。</p>	
<p>受講日：平成25年 月 日() 会場：_____会場(都道府県名でお書きください)</p>	
回答者属性	<p>質問1. 業種をお聞かせください。(ひとつに○) 1:工務店 2:住宅メーカー/建設会社 3:その他()</p> <p>質問2. 職種をお聞かせください。(ひとつに○) 1:施工 2:現場管理 3:設計 4:その他()</p> <p>質問3. 年齢層をお聞かせください。(ひとつに○) 1:19歳以下 2:20歳代 3:30歳代 4:40歳代 5:50歳代 6:60歳代以上</p>
講習会運営に関する情報収集	<p>質問4. 本講習会を何でお知りになりましたか。(複数選択可) 1: 会員になっている業界団体から配付されたリーフレットをみて 2: 「各都道府県の地域協議会」からの情報 3: 所属業界団体(会社等)からの情報、依頼 4: その他()</p> <p>質問5. 本講習会に参加された理由・目的は何ですか。(複数選択可) 1: これからの業務に必要なまたは参考にできると思ったから 2: 所属業界団体または会社等から受講を指示されたから 3: その他()</p> <p>質問6. 今回の講義時間についてお聞きます。(ひとつに○) 1: 長い 2: ちょうどよい 3: 短い</p>
講習内容・資料検討に関する情報収集(質問10迄)	<p>質問7. テキスト、DVD、カットモデルについてお聞きます。(各項目ひとつに○)</p> <p>・テキスト 1: 大変わかりやすかった 2: わかりやすかった 3: 普通 4: わかりにくかった 5: 大変わかりにくかった</p> <p>・DVD 1: 大変わかりやすかった 2: わかりやすかった 3: 普通 4: わかりにくかった 5: 大変わかりにくかった</p> <p>・カットモデル(原寸模型) 1: 大変わかりやすかった 2: わかりやすかった 3: 普通 4: わかりにくかった 5: 大変わかりにくかった</p> <p>質問8. 講義内容についてお伺いします。(各項目ひとつに○)</p> <p>8-1. これからの住まいの省エネ化について 1: 難しかった 2: 難しいとは思わない 3: 易しい</p> <p>8-2. 省エネ住宅の設計/施工について 1: 難しかった 2: 難しいとは思わない 3: 易しい</p> <p>8-3. 省エネ基準と関連制度について 1: 難しかった 2: 難しいとは思わない 3: 易しい</p> <p>8-4. リフォームについて 1: 難しかった 2: 難しいとは思わない 3: 易しい</p> <p>質問9. 修了考査について (ひとつに○) 1: 難しかった 2: 難しいとは思わない 3: 易しい</p>

質問10. 講師の説明についてお聞きします。(ひとつに○)

1: 大変わかりやすかった 2: わかりやすかった 3: 普通 4: わかりにくかった 5: 大変わかりにくかった

質問11. 省エネ施工についてお答えください。

11-1. 普段施工している断熱工法に○をご記入ください。

①屋根・天井	1. 天井面で断熱 2. 屋根で断熱(野地板の上に断熱材を施工) 3. 屋根面で断熱(垂木の間に断熱材を充填)
②外壁	1. 充填断熱 2. 外張断熱 3. 充填外張併用断熱
③床・基礎	1. 床(根太間断熱) 2. 床(大引き間断熱) 3. 床(根太+大引き間断熱) 4. 基礎断熱

11-2. 11-1で回答した工法で使っている断熱材に○をご記入ください。

①屋根・天井	1. グラスウール、ロックウール 2. 発泡プラスチック系断熱材(ボード状) 3. その他()
②外壁	1. グラスウール、ロックウール 2. 発泡プラスチック系断熱材(ボード状) 3. その他()
③床・基礎	1. グラスウール、ロックウール 2. 発泡プラスチック系断熱材(ボード状) 3. その他()

11-3. 本日の研修で説明を受けた断熱施工の中で、「今まで正しく施工していなかったところ」

「難しい・やりにくいと感じたところ」はありましたか。(複数選択可)

① 今まで正しく施工していなかったところ	1. 壁への施工 2. 屋根への施工 3. 天井への施工 4. 下屋への施工 5. 筋かい部への施工 6. 真壁への施工 7. 浴室への施工 8. 気流止めの施工 9. 基礎への施工 10. その他()
② 難しい・やりにくいと感じたところ	1. 壁への施工 2. 屋根への施工 3. 天井への施工 4. 下屋への施工 5. 筋かい部への施工 6. 真壁への施工 7. 浴室への施工 8. 気流止めの施工 9. 基礎への施工 10. その他()

11-4. 断熱・施工方法に関する情報の主な入手先はどこからですか。(複数回答可)

1. 職場内研修から	2. 住宅生産関連団体の講習会などから
3. 公的講習会・仕様書から	4. 建材・設備メーカーの講習会・マニュアルから
5. 建築雑誌から	6. その他()

11-5. 今回の講習内容で施工する場合の時間は普段と比べてどれくらい変わりますか。

1. ほとんど変わらない	2. 坪あたり()人工程度増加する
3. 坪あたり()人工程度減少する	

11-6. 最適な断熱住宅を普及・建設していくにはどの分野の意識啓発が必要と思いますか。

1. 設計従事者	2. 施工管理者	3. 現場施工者	4. 建築主
5. その他()			

質問12. 講習会の内容等について、ご質問、ご意見があればご記入ください。

講習修了者を省エネ講習ホームページ上で公開することを予定しています。

本日はお疲れさまでした。このアンケートはお帰りの際、受付にご提出下さい。

②設計者講習アンケート調査票

設計者講習では以下のアンケート調査票を用いた。

<u>「省エネ講習会」に関するアンケート</u>		設計 C
<p>受講者各位</p> <p style="text-align: right;">全国木造住宅生産体制推進協議会 事務局 一般社団法人 木を活かす建築推進協議会</p> <p>この度は、省エネ講習会にご参加頂き、誠にありがとうございます。本講習会では、受講者の皆様のご意見・ご希望をお聞きして、今後の実施内容・方法の改善に役立てたいと考えております。つきましては、下記アンケートにご協力をお願い申し上げます。</p> <p>受講日：平成 年 月 日() 会場：_____会場(都道府県名でお書きください)</p>		
回答者属性	<p>質問1. 業種をお聞かせください。(ひとつに○) 1:工務店 2:住宅メーカー/建設会社 3:設計事務所 4:その他()</p> <p>質問2. 貴方の職種をお聞かせください。(ひとつに○) 1:施工 2:現場管理 3:設計 4:その他()</p> <p>質問3. 年齢層をお聞かせください。(ひとつに○) 1:19歳以下 2:20歳代 3:30歳代 4:40歳代 5:50歳代 6:60歳代以上</p>	
講習会運営に関する情報収集	<p>質問4. 本講習会を何でお知りになりましたか。(複数選択可) 1: 会員になっている業界団体から配付されたリーフレットをみて 2: 「各都道府県の地域協議会」からの情報 3: 所属業界団体(会社等)からの情報、依頼 4: その他()</p> <p>質問5. 本講習会に参加された理由・目的は何ですか。(複数選択可) 1: これからの業務に必要なまたは参考にできると思ったから 2: 所属業界団体または会社等から受講を指示されたから 3: その他()</p> <p>質問6. 今回の講義時間についてお聞きます。(ひとつに○) 1: 長い 2: ちょうどよい 3: 短い</p>	
講習内容・資料検討に関する情報収集	<p>質問7. 講習テキスト、講義内容についてお伺いします。(各項目ひとつに○)</p> <p>7-1. 設計計画編について [1:難しかった 2:難しいとは思わない 3:易しい]</p> <p>7-2. 省エネ基準編について</p> <p>1)第1章 省エネ基準の概要について [1:難しかった 2:難しいとは思わない 3:易しい] 2)第2章 外皮性能基準について [1:難しかった 2:難しいとは思わない 3:易しい] 3)第3章 一次エネルギー消費量基準について [1:難しかった 2:難しいとは思わない 3:易しい] 4)第4章 設計・施工指針について [1:難しかった 2:難しいとは思わない 3:易しい]</p> <p>質問8. 講師の説明についてお聞きます。(ひとつに○) 1: 大変わかりやすかった 2: わかりやすかった 3: 普通 4: わかりにくかった 5: 大変わかりにくかった</p>	
自由記述	<p>質問9. 講習会の内容等について、ご意見があればご記入ください。</p> <div style="border: 1px solid black; height: 100px; width: 100%;"></div>	
※灰ページに続きます		

質問10. 貴方(貴社)が行われている省エネ設計等についてお答えください。

10-1. 普段設計または現場管理している断熱工法に○をご記入ください。(複数回答可)

①屋根・天井	1. 天井面で断熱 2. 屋根で断熱(野地板の上に断熱材を施工) 3. 屋根(垂木の間に断熱材を充填)
②外壁	1. 充填断熱 2. 外張断熱 3. 充填外張併用断熱
③床・基礎	1. 床(根太間断熱) 2. 床(大引き間断熱) 3. 床(根太+大引き間断熱) 4. 基礎断熱

10-2. 10-1で回答した工法で使っている断熱材に○をご記入ください。(複数回答可)

①屋根・天井	1. グラスウール、ロックウール 2. 発泡プラスチック系断熱材(ボード状) 3. その他()
②外壁	1. グラスウール、ロックウール 2. 発泡プラスチック系断熱材(ボード状) 3. その他()
③床・基礎	1. グラスウール、ロックウール 2. 発泡プラスチック系断熱材(ボード状) 3. その他()

10-3. 断熱仕様について、設計時に記載する図面、または現場管理時にチェックに使用する図面であてはまるものに○をご記入ください。(複数回答可)

①屋根・天井	1. 特記仕様書 2. 仕上表 3. 平面図 4. 平面詳細図 5. 矩計図 6. その他()
②外壁	1. 特記仕様書 2. 仕上表 3. 平面図 4. 平面詳細図 5. 矩計図 6. その他()
③床・基礎	1. 特記仕様書 2. 仕上表 3. 平面図 4. 平面詳細図 5. 矩計図 6. その他()

10-4. 普段、設計または現場管理している住宅の省エネ基準レベルに○をご記入ください。(複数回答可)

1. H11年基準(次世代基準・等級4)以上	2. H4年基準(新基準・等級3)
3. S55年基準(旧基準・等級2)	4. S55年基準以下

10-5. 計算したことのあるものについて、あてはまるものに○をご記入ください。(複数回答可)

1. 年間冷暖房負荷	2. Q値(熱損失係数)
3. U値(部位熱貫流率)	4. R値(熱抵抗値)

10-6. 断熱・施工方法に関する情報の主な入手先はどこからですか。(複数回答可)

1. 職場内研修から	2. 住宅生産関連団体の講習会などから
3. 公的講習会・仕様書から	4. 建材・設備メーカーの講習会・マニュアルから
5. 建築雑誌から	6. その他()

10-7. 最適な断熱住宅を普及・建設していくにはどの分野の意識啓発が必要と思いますか。(複数回答可)

1. 設計従事者	2. 施工管理者	3. 現場施工者	4. 建築主
5. その他()			

今後、各種アンケート調査など実施するにあたり、ご協力をお願いする場合がありますので、よろしくお願いいたします。

本日はお疲れさまでした。このアンケートはお帰りの際、受付にご提出下さい。

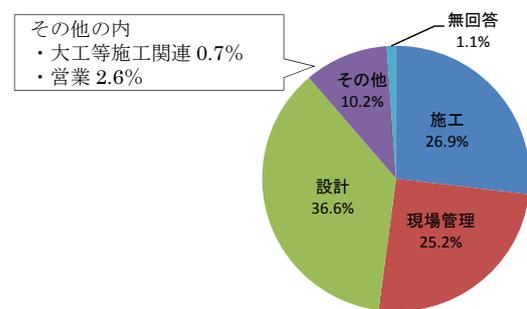
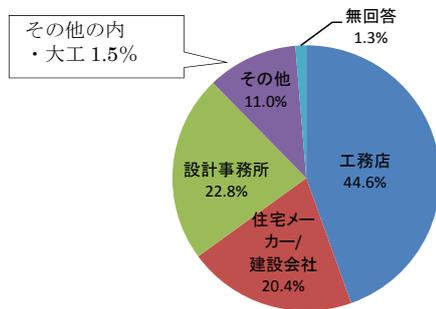
(3) 回答者の属性

1) 業種と職種

業種は工務店・大工が10,603人(全体の46.1%。以下同じ)、住宅メーカー・建設会社が4,697人(20.4%)、施工に関わる業種は合計15,300人(66.5%)であった。また設計事務所が5,243人(22.8%)であった。

職種は施工・大工等が6,361人(27.6%)、現場管理が5,798人(25.2%)、施工現場に関わる職種は合計12,159人(52.8%)であった。また設計が8,433人(36.6%)、営業が591人(2.6%)であった。

今年度から設計者講習が始まり、昨年度と比較して設計者の割合が高くなっている。



業種	回答数	内訳			
		施工B	施工C	設計B	設計C
工務店	10,255	104	7,725	63	2,363
住宅メーカー/建設会社	4,697	26	2,958	8	1,705
設計事務所	5,243	264	616	314	4,049
その他	2,523	51	1,786	58	628
無回答	301	2	242	2	55
全体	23,019	447	13,327	445	8,800

職種	回答数	内訳			
		施工B	施工C	設計B	設計C
施工	6,192	43	5,595	24	530
現場管理	5,798	24	4,380	25	1,369
設計	8,433	292	1,790	329	6,022
その他	2,342	88	1,369	64	821
無回答	254	0	193	3	58
全体	23,019	447	13,327	445	8,800

図 4-1-3a 業種

図 4-1-3b 職種

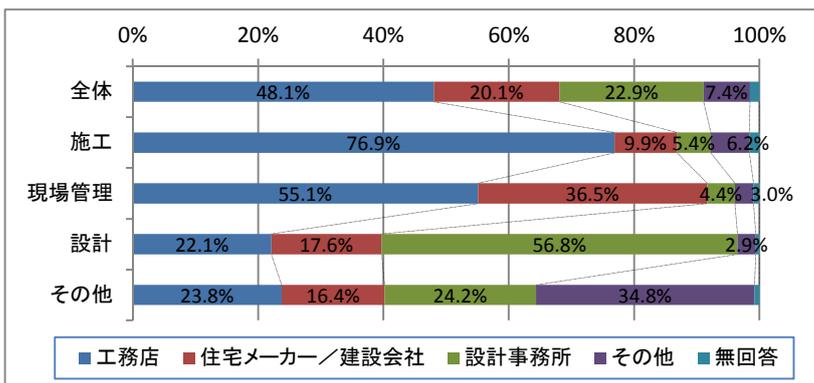


図 4-1-3c 職種別の所属業種

2) 年齢層

昨年度同様、30～60代の各年代が万遍なく受講している。10代の受講者は極端に少ない。参考までに国勢調査による大工職の年齢層別比率と比較すると受講者の10～20代の比率は同程度、50～60代以上の比率は低く、働き盛りの30～40代の比率が高い。

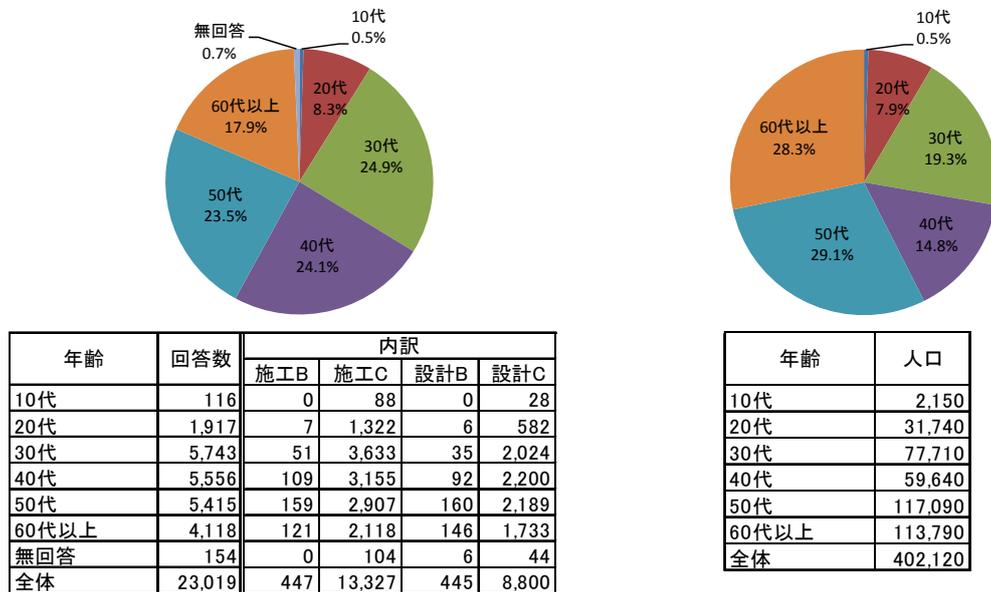


図 4-1-4a 年齢層

図 4-1-4c 2010 年国勢調査 年齢層別大工職

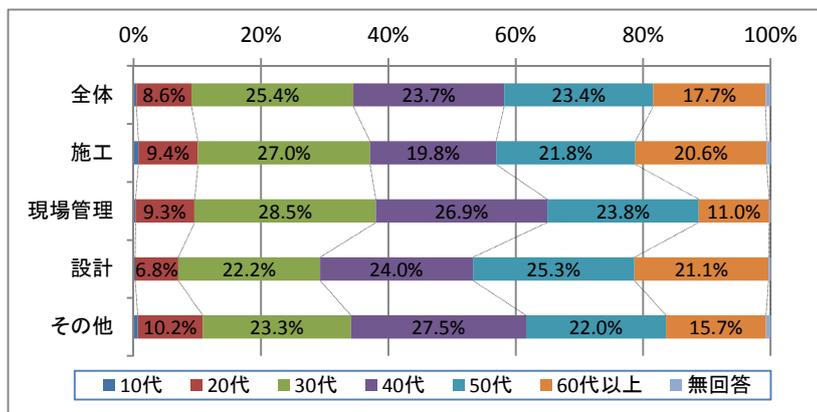


図 4-1-4b 職種別の受講者年齢層

5. 省エネ設計・施工に関する実態調査結果

省エネ設計・施工に関する実態調査においては以下の項目について結果を整理し考察を行った。

- (1) 普段たずさわっている断熱工法・断熱材料
- (2) 講習で説明のあった断熱施工と実態とのギャップ
- (3) 今回の講習内容で施工する場合の手間
- (4) 断熱仕様について設計時に記載する図面または現場管理時のチェックに使用する図面のチェックに使用する図面
- (5) 普段設計または現場管理している省エネ基準レベル
- (6) 計算経験のある断熱性能
- (7) 断熱・施工方法に関する情報の主な入手先
- (8) 最適な断熱住宅を普及・建設していくための意識啓発

(1) 普段たずさわっている断熱工法・断熱材料

A. 普段たずさわっている断熱工法

1) 「屋根・天井」にて普段たずさわっている断熱工法

普段たずさわっている屋根・天井の断熱工法は天井断熱が69%で最も多い。地域でも全地域で天井断熱が最も多い。

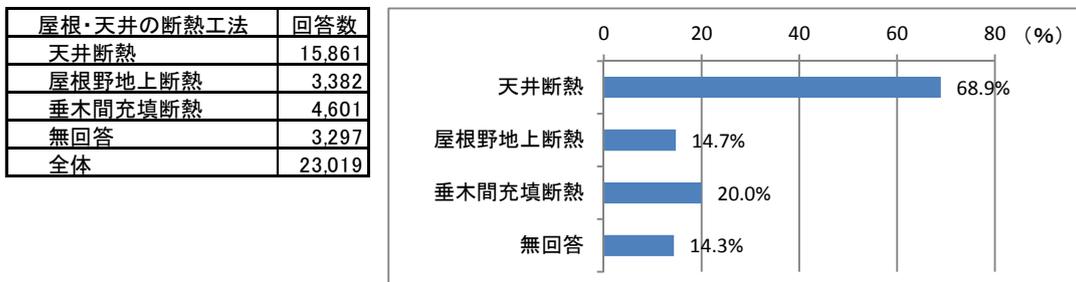


図 5-1-1a 普段たずさわっている屋根・天井の断熱工法

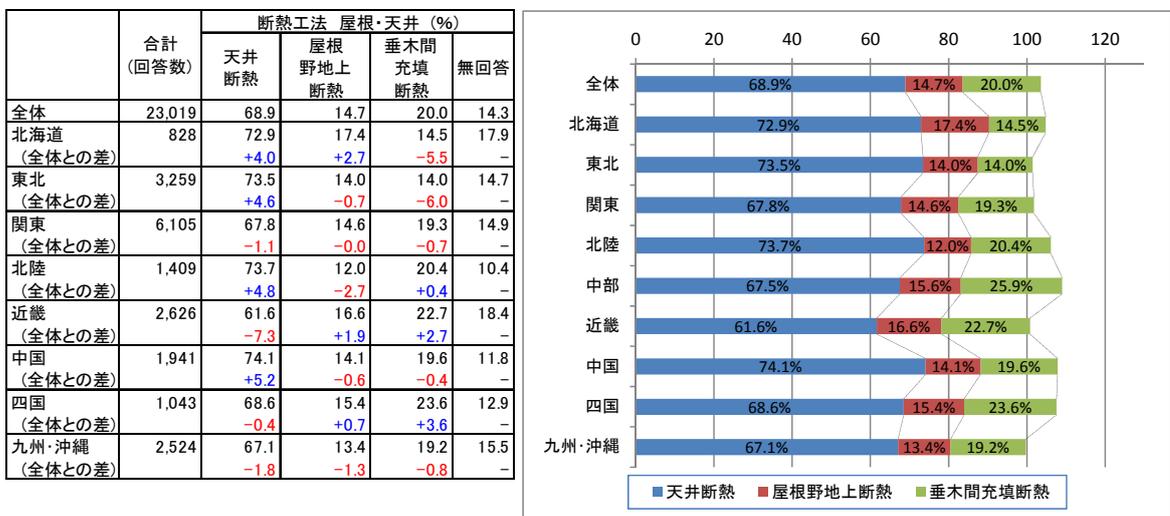


図 5-1-1b 地域別の普段たずさわっている屋根・天井の断熱工法

2) 「外壁」にて普段たずさわっている断熱工法

普段たずさわっている外壁の断熱工法は充填断熱が73%で最も多い。

地域別では北海道地域充填外張併用断熱が他地域と比べて多く、充填断熱はそれと同程度となっている。併用断熱が多いことについて付加断熱の採用が多いことが推測される。その他の地域はいずれも充填断熱が7割を超えている。

外壁の断熱工法は北海道地域とその他地域の傾向が異なっている。

外壁の断熱工法	回答数
充填断熱	16,874
外張断熱	2,631
充填外張併用断熱	1,393
無回答	3,677
全体	23,019

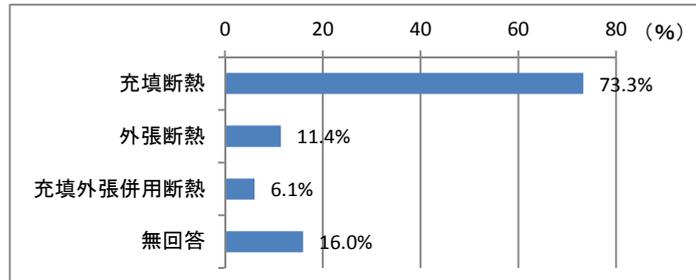


図 5-1-2a 普段たずさわっている外壁の断熱工法

	合計 (回答数)	断熱工法 外壁 (%)			
		充填 断熱	外張 断熱	充填外 張併用 断熱	無回答
全体	23,019	73.3	11.4	6.1	16.0
北海道	828	39.7	19.7	38.9	18.4
(全体との差)		-33.6	+8.3	+32.8	-
東北	3,259	71.3	15.2	7.7	15.5
(全体との差)		-2.0	+3.8	+1.7	-
関東	6,105	75.3	10.4	3.6	16.5
(全体との差)		+2.0	-1.0	-2.4	-
北陸	1,409	78.6	11.9	6.0	10.9
(全体との差)		+5.3	+0.4	-0.0	-
中部	3,284	77.8	11.3	5.7	12.4
(全体との差)		+4.5	-0.1	-0.3	-
近畿	2,626	70.6	10.1	4.6	19.9
(全体との差)		-2.7	-1.3	-1.4	-
中国	1,941	77.9	9.5	3.8	14.4
(全体との差)		+4.6	-2.0	-2.2	-
四国	1,043	75.0	10.5	3.3	15.8
(全体との差)		+1.7	-0.9	-2.8	-
九州・沖縄	2,524	71.8	9.5	3.8	19.2
(全体との差)		-1.5	-1.9	-2.2	-

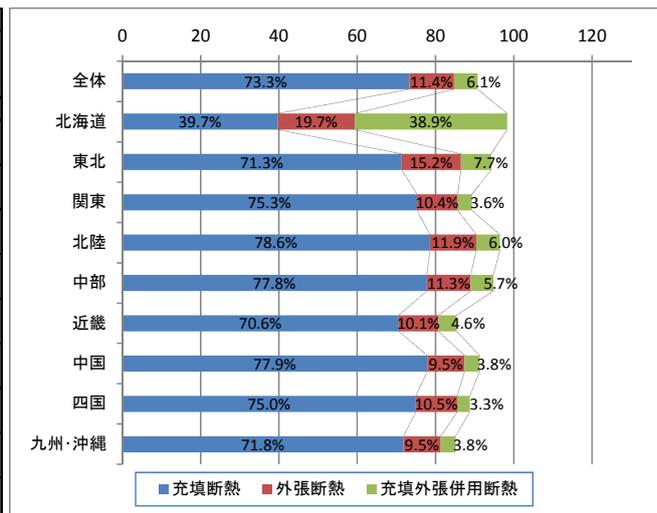


図 5-1-2b 地域別の普段たずさわっている外壁の断熱工法

3) 「床・基礎」にて普段たずさわっている断熱工法

普段たずさわっている床・基礎の断熱工法は根太間充填断熱が43%で最も多いが、大引間充填断熱や基礎断熱との差は、屋根・天井や外壁の工法間に見られる差に比べると大きくない。

地域別では、北海道が他地域と異なり基礎断熱が最も多く、床断熱はいずれの工法も少ない。東北は根太間充填断熱が最も多いが、基礎断熱の割合は北海道を除く他地域と比べて高い。その他の地域は、根太間充填断熱が最も多くなる。

床・基礎の断熱工法は北海道、東北とその他地域とで傾向が異なっている。

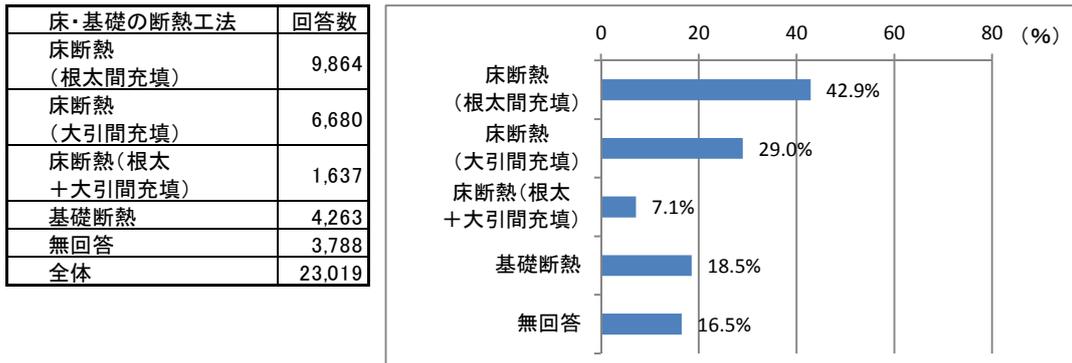


図 5-1-3a 普段たずさわっている床・基礎の断熱工法

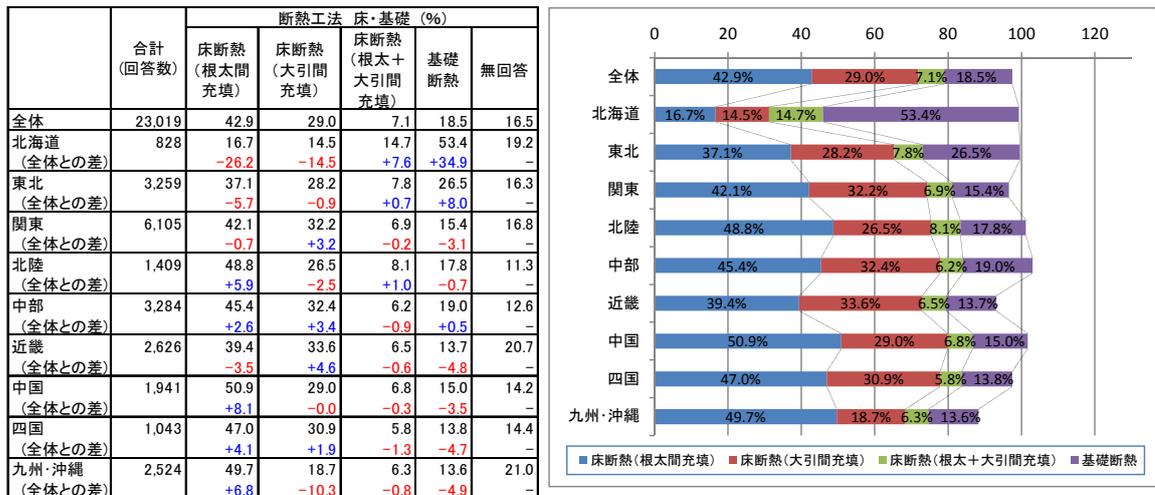


図 5-1-3b 地域別の普段たずさわっている床・基礎の断熱工法

4) 普段たずさわっている「外壁」と「屋根・天井」の断熱工法の組合せ

外壁と屋根・天井の断熱工法の組合せは、外壁の断熱工法の種類に関わらず天井断熱との組合せが最も多い。外壁外張断熱では外張同士の組合せとなる屋根野地上断熱も約5割の回答となっているが、天井断熱の割合の方が高い。

地域間での違いは小さく、外壁の断熱工法の種類に関わらず天井断熱との組合せが最も多いのは全体と同様、外壁外張断熱は全地域で屋根野地上断熱の方が垂木間充填断熱より多い。

	合計 (回答数)	断熱工法 屋根・天井 (%)				
		天井 断熱	屋根 野地上 断熱	垂木間 充填 断熱	無回答	
全体	23,019	68.9	14.7	20.0	14.3	
断熱 工法 外壁	充填断熱	16,874	82.9	14.1	23.3	1.0
	外張断熱	2,631	64.0	49.9	31.2	2.7
	充填外張 併用断熱	1,393	76.0	33.0	36.3	1.4

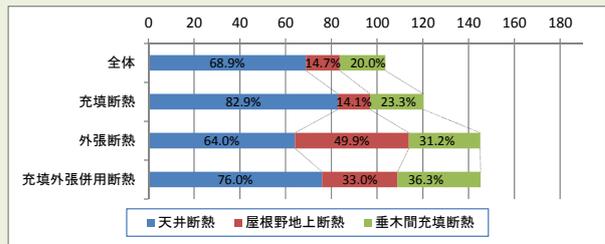


図 5-1-4a 外壁と屋根・天井の断熱工法の組合せ

	合計 (回答数)	断熱工法 屋根・天井 (%)				
		天井 断熱	屋根 野地上 断熱	垂木間 充填 断熱	無回答	
北海道全体	828	72.9	17.4	14.5	17.9	
断熱 工法 外壁	充填断熱	329	95.1	17.3	16.1	0.0
	外張断熱	163	77.3	44.2	22.7	3.7
	充填外張 併用断熱	322	89.4	23.3	25.8	0.9

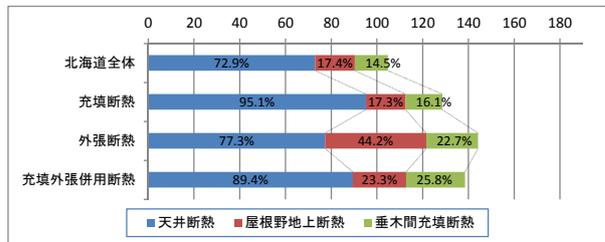


図 5-1-4b 同 北海道地域

	合計 (回答数)	断熱工法 屋根・天井 (%)				
		天井 断熱	屋根 野地上 断熱	垂木間 充填 断熱	無回答	
東北全体	3,259	73.5	14.0	14.0	14.7	
断熱 工法 外壁	充填断熱	2,325	90.5	12.7	15.5	0.9
	外張断熱	496	67.5	49.4	25.2	2.6
	充填外張 併用断熱	251	74.5	37.5	32.7	1.6

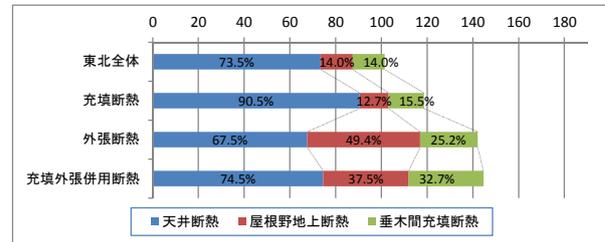


図 5-1-4c 同 東北地域

	合計 (回答数)	断熱工法 屋根・天井 (%)				
		天井 断熱	屋根 野地上 断熱	垂木間 充填 断熱	無回答	
関東全体	6,105	67.8	14.6	19.3	14.9	
断熱 工法 外壁	充填断熱	4,596	82.1	14.0	22.5	1.1
	外張断熱	634	59.9	56.2	30.8	3.3
	充填外張 併用断熱	220	65.5	37.7	46.4	1.4

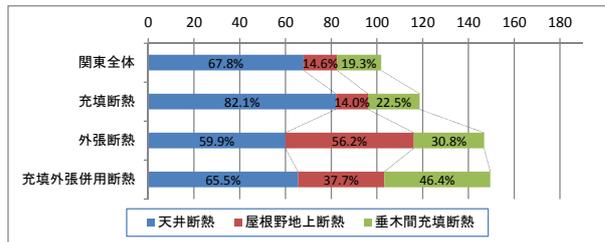
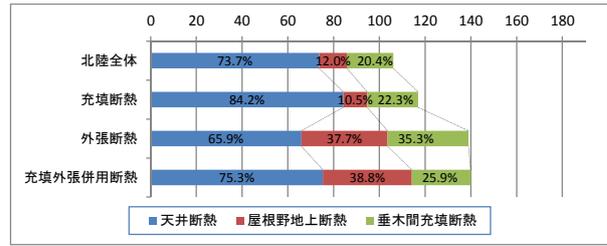


図 5-1-4d 同 関東地域

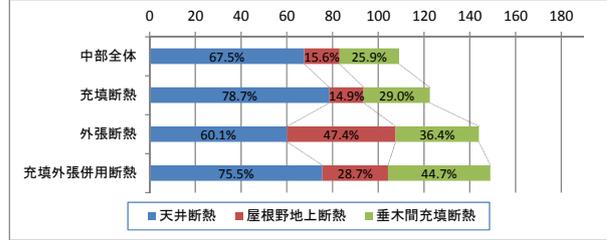
	合計 (回答数)	断熱工法 屋根・天井 (%)				
		天井 断熱	屋根 野地上 断熱	垂木間 充填 断熱	無回答	
北陸全体	1,409	73.7	12.0	20.4	10.4	
断熱 工法 外壁	充填断熱	1,107	84.2	10.5	22.3	1.2
	外張断熱	167	65.9	37.7	35.3	4.2
	充填外張 併用断熱	85	75.3	38.8	25.9	2.4

図 5-1-4e 同 北陸地域



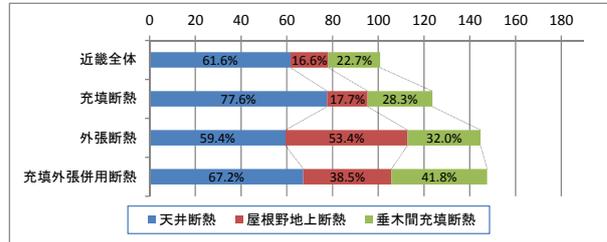
	合計 (回答数)	断熱工法 屋根・天井 (%)				
		天井 断熱	屋根 野地上 断熱	垂木間 充填 断熱	無回答	
中部全体	3,284	67.5	15.6	25.9	11.4	
断熱 工法 外壁	充填断熱	2,554	78.7	14.9	29.0	0.9
	外張断熱	371	60.1	47.4	36.4	1.3
	充填外張 併用断熱	188	75.5	28.7	44.7	2.7

図 5-1-4f 同 中部地域



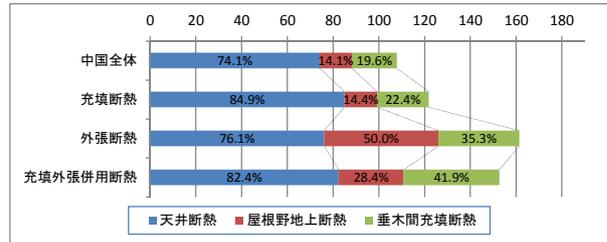
	合計 (回答数)	断熱工法 屋根・天井 (%)				
		天井 断熱	屋根 野地上 断熱	垂木間 充填 断熱	無回答	
近畿全体	2,626	61.6	16.6	22.7	18.4	
断熱 工法 外壁	充填断熱	1,855	77.6	17.7	28.3	1.1
	外張断熱	266	59.4	53.4	32.0	1.1
	充填外張 併用断熱	122	67.2	38.5	41.8	1.6

図 5-1-4g 同 近畿地域



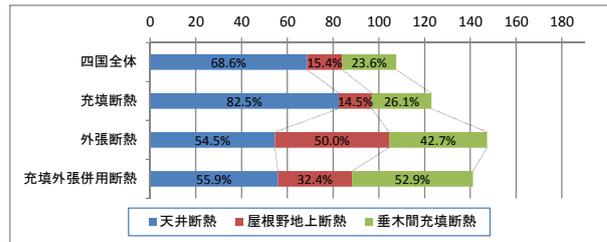
	合計 (回答数)	断熱工法 屋根・天井 (%)				
		天井 断熱	屋根 野地上 断熱	垂木間 充填 断熱	無回答	
中国全体	1,941	74.1	14.1	19.6	11.8	
断熱 工法 外壁	充填断熱	1,513	84.9	14.4	22.4	0.8
	外張断熱	184	76.1	50.0	35.3	2.2
	充填外張 併用断熱	74	82.4	28.4	41.9	0.0

図 5-1-4h 同 中国地域



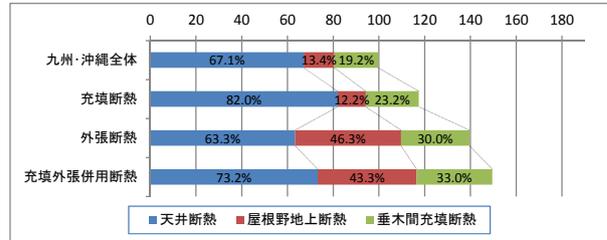
	合計 (回答数)	断熱工法 屋根・天井 (%)				
		天井 断熱	屋根 野地上 断熱	垂木間 充填 断熱	無回答	
四国全体	1,043	68.6	15.4	23.6	12.9	
断熱 工法 外壁	充填断熱	782	82.5	14.5	26.1	0.9
	外張断熱	110	54.5	50.0	42.7	2.7
	充填外張 併用断熱	34	55.9	32.4	52.9	2.9

図 5-1-4i 同 四国地域



	合計 (回答数)	断熱工法 屋根・天井 (%)				
		天井 断熱	屋根 野地上 断熱	垂木間 充填 断熱	無回答	
九州・沖縄全体	2,524	67.1	13.4	19.2	15.5	
断熱 工法 外壁	充填断熱	1,813	82.0	12.2	23.2	1.1
	外張断熱	240	63.3	46.3	30.0	3.3
	充填外張 併用断熱	97	73.2	43.3	33.0	0.0

図 5-1-4j 同 九州・沖縄地域



5) 普段たずさわっている「外壁」と「床・基礎」の断熱工法の組合せ

外壁と床・基礎の断熱工法の組合せについて、外壁充填断熱は全体でみると根太間充填断熱との組合せが最も多い。地域別では、北海道のみ基礎断熱との組合せが最も多い。

外壁外張断熱は全体では基礎断熱との組合せが最も多い。地域別では、近畿、中国、四国、九州・沖縄で根太間充填断熱との組合せが最も多い。

外壁充填外張併用断熱は全体では基礎断熱との組合せが最も多い。地域別では関東、北陸、近畿、中国、九州・沖縄で根太間充填断熱との組合せが最も多い。

北海道地域は他の地域と異なり外壁のいずれの断熱工法との組合せについても基礎断熱が最も多い。

	合計 (回答数)	断熱工法 床・基礎 (%)				無回答	
		床断熱 (根太間 充填)	床断熱 (大引間 充填)	床断熱 (根太+ 大引間 充填)	基礎 断熱		
全体	23,019	42.9	29.0	7.1	18.5	16.5	
断熱 工法	充填断熱	16,874	52.2	36.2	8.1	18.1	2.6
	外張断熱	2,631	44.1	29.2	11.5	52.8	4.2
外壁	充填外張 併用断熱	1,393	36.6	29.9	16.7	54.4	3.2

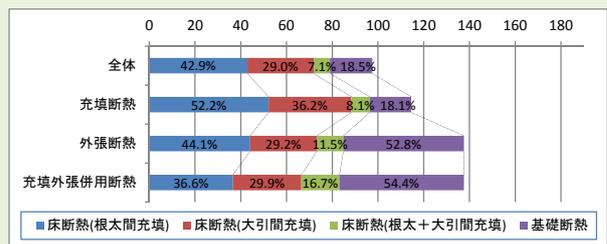


図 5-1-5a 外壁と床・基礎の断熱工法の組合せ

	合計 (回答数)	断熱工法 床・基礎 (%)				無回答	
		床断熱 (根太間 充填)	床断熱 (大引間 充填)	床断熱 (根太+ 大引間 充填)	基礎 断熱		
北海道全体	828	16.7	14.5	14.7	53.4	19.2	
断熱 工法	充填断熱	329	37.4	22.5	25.2	48.9	1.5
	外張断熱	163	18.4	17.2	16.6	85.9	3.1
外壁	充填外張 併用断熱	322	13.4	19.6	17.7	77.0	2.8

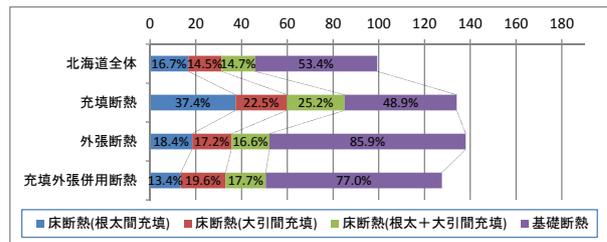


図 5-1-5b 同 北海道地域

	合計 (回答数)	断熱工法 床・基礎 (%)				無回答	
		床断熱 (根太間 充填)	床断熱 (大引間 充填)	床断熱 (根太+ 大引間 充填)	基礎 断熱		
東北全体	3,259	37.1	28.2	7.8	26.5	16.3	
断熱 工法	充填断熱	2,325	46.5	35.6	9.5	25.6	2.5
	外張断熱	496	35.7	29.4	10.1	62.1	3.6
外壁	充填外張 併用断熱	251	31.5	34.3	9.2	68.1	1.6

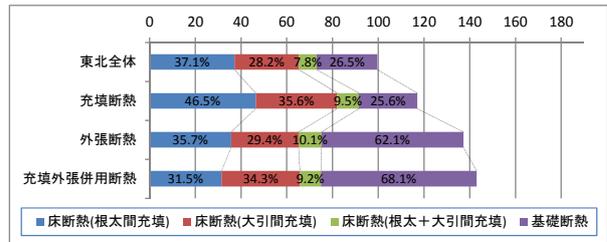


図 5-1-5c 同 東北地域

	合計 (回答数)	断熱工法 床・基礎 (%)				無回答	
		床断熱 (根太間 充填)	床断熱 (大引間 充填)	床断熱 (根太+ 大引間 充填)	基礎 断熱		
関東全体	6,105	42.1	32.2	6.9	15.4	16.8	
断熱 工法	充填断熱	4,596	50.4	39.4	8.0	15.8	2.9
	外張断熱	634	46.7	32.5	11.4	54.7	4.1
外壁	充填外張 併用断熱	220	45.5	34.1	20.0	42.7	4.5

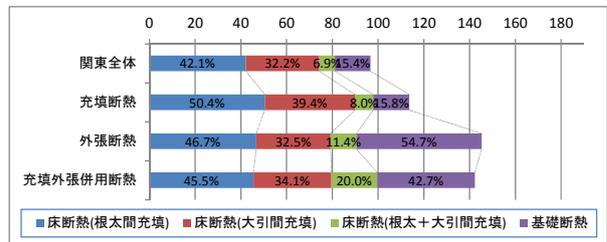
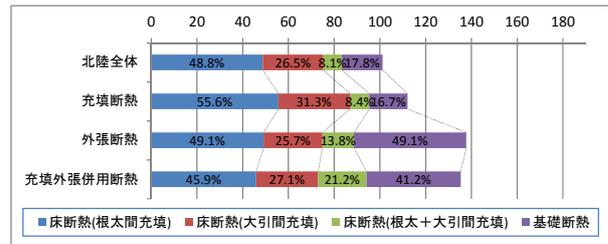


図 5-1-5d 同 関東地域

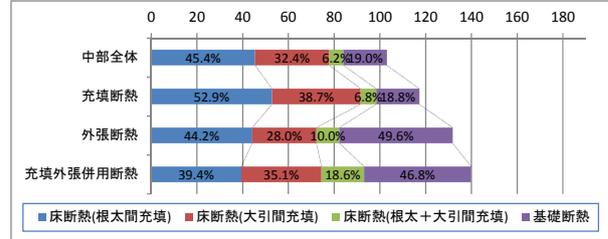
	合計 (回答数)	断熱工法 床・基礎 (%)				無回答	
		床断熱 (根太間 充填)	床断熱 (大引間 充填)	床断熱 (根太+ 大引間 充填)	基礎 断熱		
北陸全体	1409	48.8	26.5	8.1	17.8	11.3	
断熱 工法 外壁	充填断熱	1107	55.6	31.3	8.4	16.7	2.2
	外張断熱	167	49.1	25.7	13.8	49.1	3.6
	充填外張 併用断熱	85	45.9	27.1	21.2	41.2	5.9

図 5-1-5e 同 北陸地域



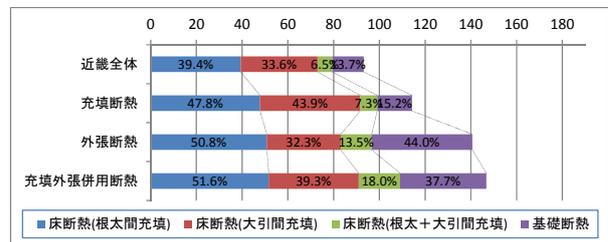
	合計 (回答数)	断熱工法 床・基礎 (%)				無回答	
		床断熱 (根太間 充填)	床断熱 (大引間 充填)	床断熱 (根太+ 大引間 充填)	基礎 断熱		
中部全体	3284	45.4	32.4	6.2	19.0	12.6	
断熱 工法 外壁	充填断熱	2554	52.9	38.7	6.8	18.8	1.7
	外張断熱	371	44.2	28.0	10.0	49.6	4.3
	充填外張 併用断熱	188	39.4	35.1	18.6	46.8	2.1

図 5-1-5f 同 中部地域



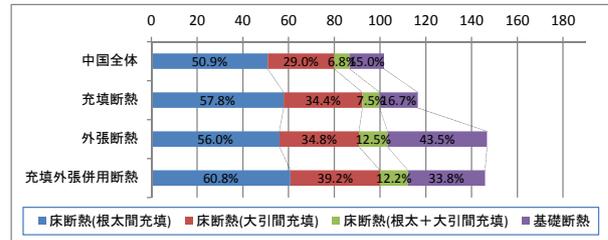
	合計 (回答数)	断熱工法 床・基礎 (%)				無回答	
		床断熱 (根太間 充填)	床断熱 (大引間 充填)	床断熱 (根太+ 大引間 充填)	基礎 断熱		
近畿全体	2626	39.4	33.6	6.5	13.7	20.7	
断熱 工法 外壁	充填断熱	1855	47.8	43.9	7.3	15.2	2.9
	外張断熱	266	50.8	32.3	13.5	44.0	2.3
	充填外張 併用断熱	122	51.6	39.3	18.0	37.7	3.3

図 5-1-5g 同 近畿地域



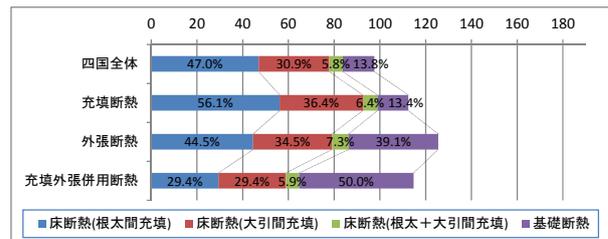
	合計 (回答数)	断熱工法 床・基礎 (%)				無回答	
		床断熱 (根太間 充填)	床断熱 (大引間 充填)	床断熱 (根太+ 大引間 充填)	基礎 断熱		
中国全体	1941	50.9	29.0	6.8	15.0	14.2	
断熱 工法 外壁	充填断熱	1513	57.8	34.4	7.5	16.7	2.6
	外張断熱	184	56.0	34.8	12.5	43.5	3.8
	充填外張 併用断熱	74	60.8	39.2	12.2	33.8	2.7

図 5-1-5h 同 中国地域



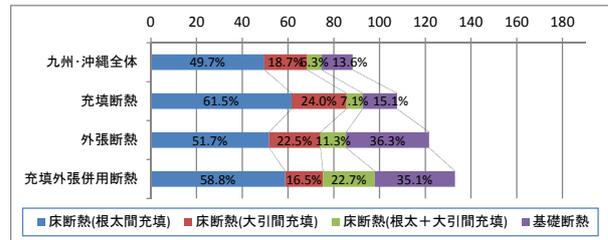
	合計 (回答数)	断熱工法 床・基礎 (%)				無回答	
		床断熱 (根太間 充填)	床断熱 (大引間 充填)	床断熱 (根太+ 大引間 充填)	基礎 断熱		
四国全体	1043	47.0	30.9	5.8	13.8	14.4	
断熱 工法 外壁	充填断熱	782	56.1	36.4	6.4	13.4	1.7
	外張断熱	110	44.5	34.5	7.3	39.1	5.5
	充填外張 併用断熱	34	29.4	29.4	5.9	50.0	5.9

図 5-1-5i 同 四国地域



	合計 (回答数)	断熱工法 床・基礎 (%)				無回答	
		床断熱 (根太間 充填)	床断熱 (大引間 充填)	床断熱 (根太+ 大引間 充填)	基礎 断熱		
九州・沖縄全体	2524	49.7	18.7	6.3	13.6	21.0	
断熱 工法 外壁	充填断熱	1813	61.5	24.0	7.1	15.1	3.9
	外張断熱	240	51.7	22.5	11.3	36.3	8.8
	充填外張 併用断熱	97	58.8	16.5	22.7	35.1	5.2

図 5-1-5j 同 九州・沖縄地域



B. 普段たずさわっている断熱材料

1) 「屋根・天井」にて普段たずさわっている断熱材料

普段たずさわっている屋根・天井の断熱材料はグラスウール・ロックウールが80%で最も多い。地域別にみても各地域、グラスウール・ロックウールが最も多い。

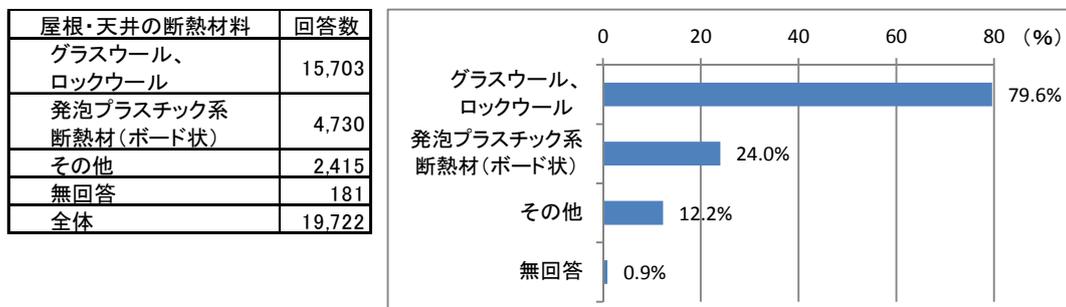


図 5-1-6a 普段たずさわっている屋根・天井の断熱材料

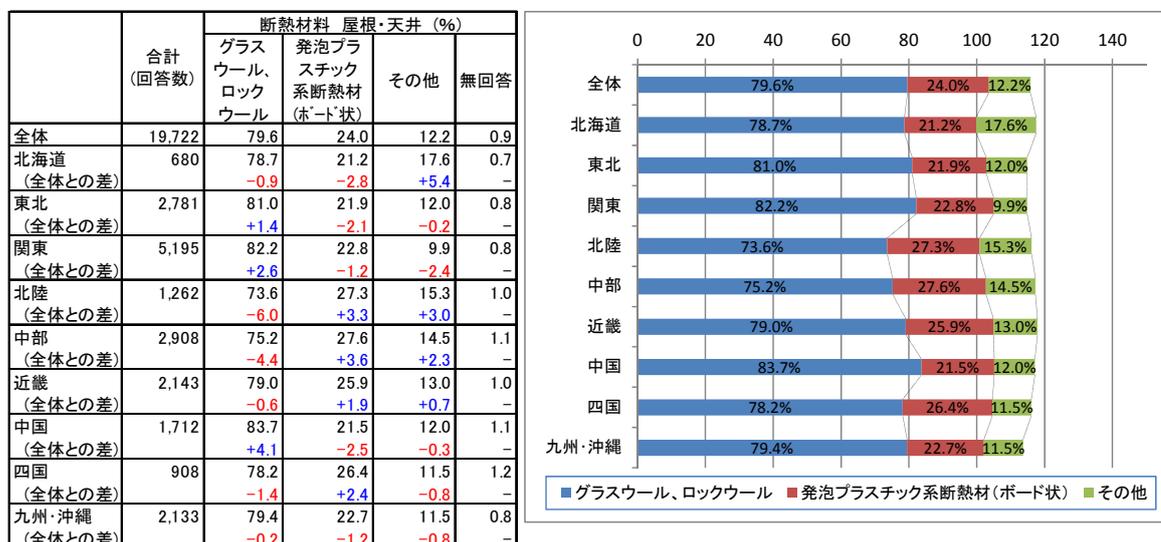


図 5-1-6b 地域別の普段たずさわっている屋根・天井の断熱材料

屋根・天井の断熱材料「その他」	回答数	%
セルローズファイバー	501	2.5%
吹込グラスウール、ロックウール	16	0.1%
吹込その他	79	0.4%
現場発泡ウレタン(a)	980	5.0%
発泡プラスチック系(ホ-ト状)(b)	89	0.5%
ウレタン(aかbか不明)	101	0.5%
ポリエステル	49	0.2%
木質系	30	0.2%
羊毛	74	0.4%
コルク	5	0.0%
未分類	255	1.3%
その他記入有り合計	2,179	11.0%
その他全体	2,415	12.2%
全体	19,766	100.0%

図 5-1-6c 普段たずさわっている屋根・天井の断熱材料「その他」記述

2) 「外壁」にて普段たずさわっている断熱材料

普段たずさわっている外壁の断熱材料はグラスウール・ロックウールが80%で最も多い。地域別にみても各地域、グラスウール・ロックウールが最も多い。

北海道地域は発泡プラスチック系断熱材(ボード状)も多く、断熱工法で充填外張併用断熱が多くなっていることと関係すると考えられる(外壁にて普段たずさわっている断熱工法の項目を参照)。

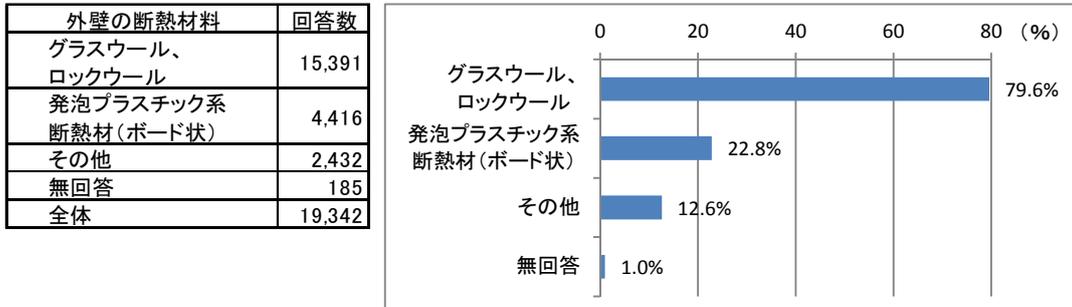


図 5-1-7a 普段たずさわっている外壁の断熱材料

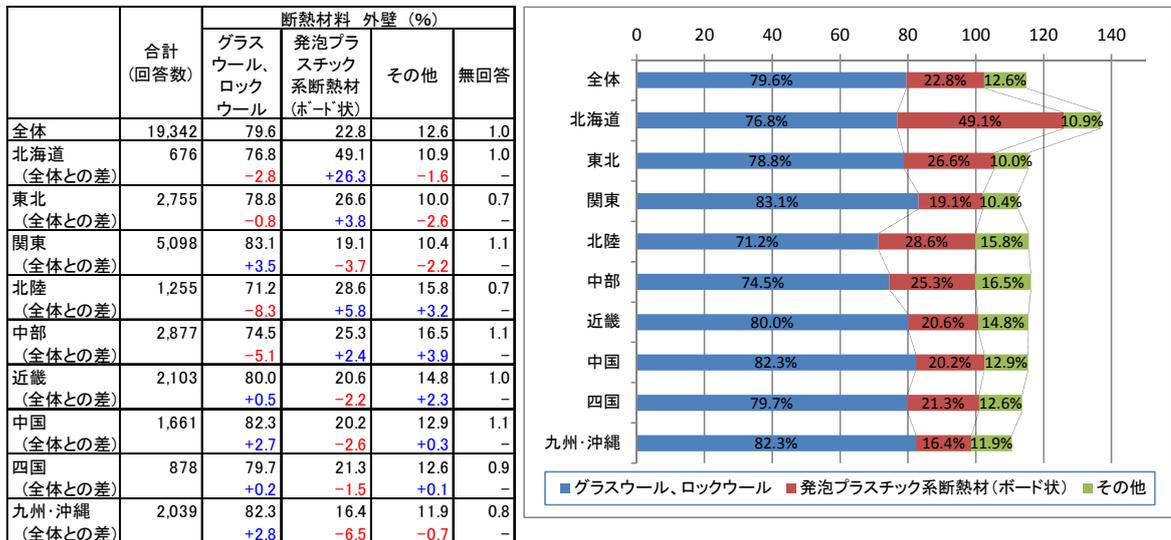


図 5-1-7b 地域別の普段たずさわっている外壁の断熱材料

外壁の断熱材料「その他」	回答数	%
セルローズファイバー	435	2.2%
吹込グラスウール、ロックウール	1	0.0%
吹込その他	6	0.0%
現場発泡ウレタン(a)	985	5.1%
発泡プラスチック系(ボード状)(b)	99	0.5%
ウレタン(aかbか不明)	178	0.9%
ポリエステル	53	0.3%
木質系	29	0.1%
羊毛	107	0.6%
コルク	9	0.0%
未分類	271	1.4%
その他記入有り合計	2,173	11.2%
その他全体	2,432	12.5%
全体	19,391	100.0%

図 5-1-7c 普段たずさわっている外壁の断熱材料「その他」記述

3) 「床・基礎」にて普段たずさわっている断熱材料

普段たずさわっている床・基礎の断熱材料は発泡プラスチック系断熱材(ボード状)が78%で最も多い。地域別にみても各地域、発泡プラスチック系断熱材(ボード状)が最も多い。

北海道地域はグラスウール・ロックウールの割合が他の地域より高くなっている。工法との組合せでみても他の地域と異なり、床断熱にグラスウール・ロックウールを使う割合が高い(床・基礎の断熱工法と材料の組合せの項目を参照)。

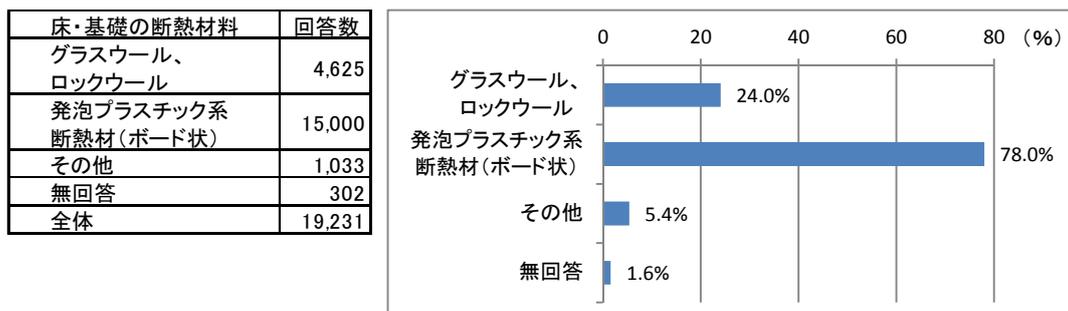


図 5-1-8a 普段たずさわっている床・基礎の断熱材料

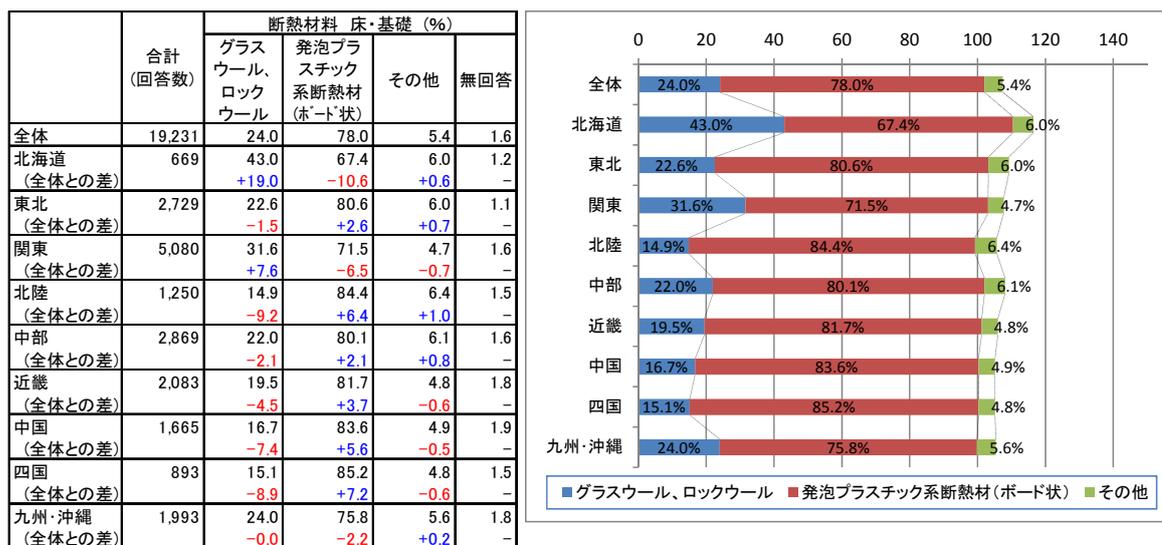


図 5-1-8b 地域別の普段たずさわっている床・基礎の断熱材料

床・基礎の断熱材料「その他」	回答数	%
セルローズファイバー	92	0.5%
吹込グラスウール、ロックウール	1	0.0%
吹込その他	0	0.0%
現場発泡ウレタン(a)	376	2.0%
発泡プラスチック系(ボード状)(b)	176	0.9%
ウレタン(aかbか不明)	60	0.3%
ポリエステル	22	0.1%
木質系	14	0.1%
羊毛	35	0.2%
コルク	4	0.0%
未分類	102	0.5%
その他記入有り合計	882	4.6%
その他全体	1,033	5.4%
全体	19,260	100.0%

図 5-1-8c 普段たずさわっている床・基礎の断熱材料「その他」記述

4) 普段たずさわっている「外壁」と「屋根・天井」の断熱材料の組合せ

外壁と屋根・天井の断熱材料の組合せは、グラスウール・ロックウール同士、発泡プラスチック系断熱材(ボード状)同士、その他の断熱材料同士というように同じ断熱材料同士の組合せが最も多い。昨年度と同じ傾向であった。

外壁の発泡プラスチック系断熱材(ボード状)は、屋根・天井をグラスウール・ロックウールとする組合せも多い。その他同士の組合せは、その内の約7割が同じ断熱材料を使用している(例えば、外壁と天井ともセルローズファイバー)。

地域別にみると北海道地域は全体と異なり、外壁が発泡プラスチック系断熱材(ボード状)であっても屋根・天井はグラスウール・ロックウールとする組合せが最も多い。その他の地域は全体と同様の傾向になっている。

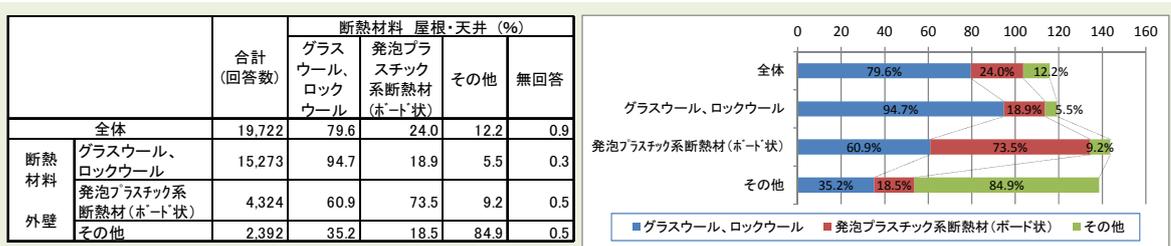


図 5-1-9a 外壁と屋根・天井の断熱材料の組合せ

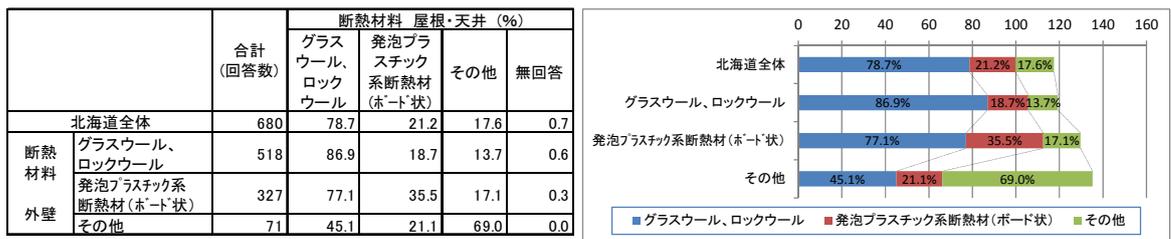


図 5-1-9b 同 北海道地域

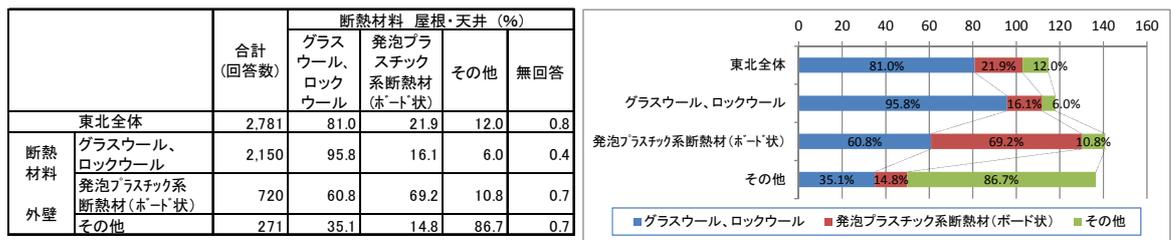


図 5-1-9c 同 東北地域

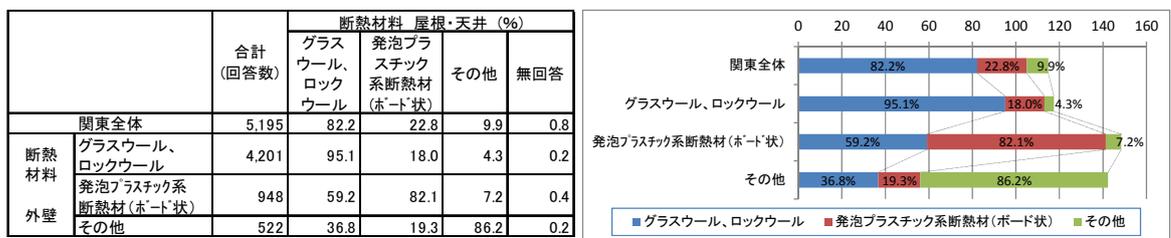


図 5-1-9d 同 関東地域

	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)				
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答	
北陸全体	1,262	73.6	27.3	15.3	1.0	
断熱材料	グラスウール、ロックウール	888	95.8	18.9	7.0	0.1
外壁	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	348	52.0	76.4	10.1	0.9
	その他	194	28.4	16.5	89.7	1.0

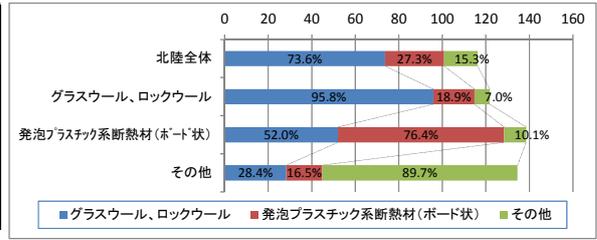


図 5-1-9e 同 北陸地域

	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)				
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答	
中部全体	2,908	75.2	27.6	14.5	1.1	
断熱材料	グラスウール、ロックウール	2,132	94.4	22.0	5.2	0.1
外壁	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	714	58.8	76.8	9.0	0.1
	その他	468	32.5	20.5	81.4	1.1

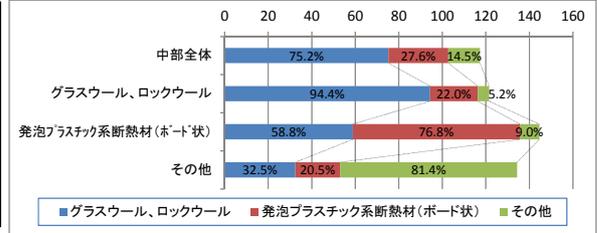


図 5-1-9f 同 中部地域

	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)				
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答	
近畿全体	2,143	79.0	25.9	13.0	1.0	
断熱材料	グラスウール、ロックウール	1,667	93.3	22.3	6.7	0.3
外壁	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	427	63.5	73.5	9.1	0.0
	その他	311	38.9	25.4	81.0	0.0

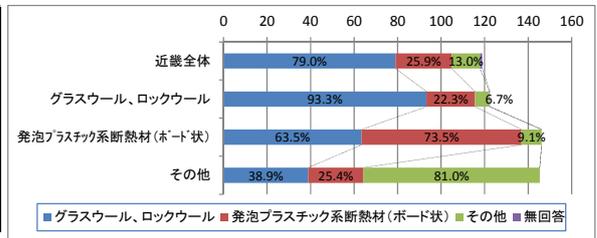


図 5-1-9g 同 近畿地域

	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)				
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答	
中国全体	1,712	83.7	21.5	12.0	1.1	
断熱材料	グラスウール、ロックウール	1,360	96.8	18.7	5.2	0.5
外壁	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	329	68.1	75.1	6.4	1.2
	その他	211	39.8	13.3	88.2	0.5

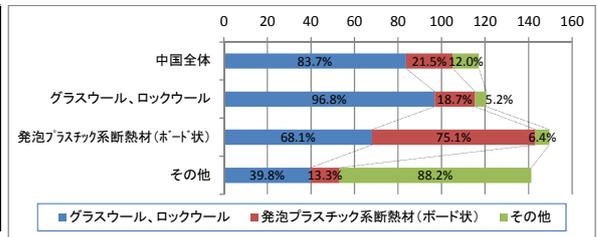


図 5-1-9h 同 中国地域

	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)				
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答	
四国全体	908	78.2	26.4	11.5	1.2	
断熱材料	グラスウール、ロックウール	694	92.8	21.6	5.0	0.4
外壁	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	182	55.5	76.9	7.7	1.1
	その他	109	35.8	18.3	82.6	0.9

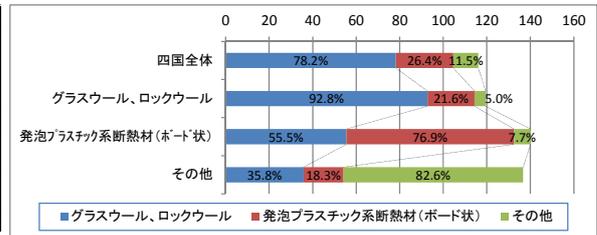


図 5-1-9i 同 四国地域

	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)				
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答	
九州・沖縄全体	2,133	79.4	22.7	11.5	0.8	
断熱材料	グラスウール、ロックウール	1,663	95.3	17.1	4.3	0.2
外壁	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	329	56.5	82.4	7.3	0.3
	その他	235	30.2	13.6	91.1	0.0

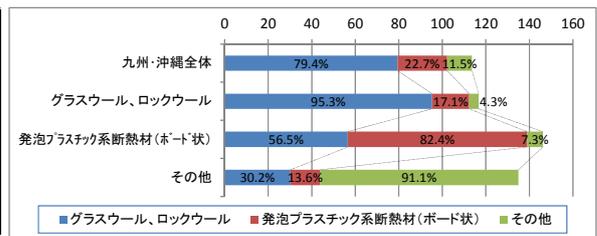


図 5-1-9j 同 九州・沖縄地域

5) 普段たずさわっている「外壁」と「床・基礎」の断熱材料の組合せ

外壁と床・基礎の断熱材料の組合せは外壁の断熱材料の種類に関わらず、床・基礎を発泡プラスチック系断熱材(ボード状)とする組合せが最も多い。昨年度と同じ傾向であった。

地域別にみると、北海道で外壁の断熱材料の種類に関わらず、床・基礎をグラスウール・ロックウールとする組合せが他地域と比べて割合が高くなっている以外は、いずれの地域も全体と同様、外壁の断熱材の種類に関わらず床・基礎を発泡プラスチック系断熱材(ボード状)とする組合せが最も多くなっている。

		合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)			無回答
			グラスウール、 ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	
全体		19,231	24.0	78.0	5.4	1.6
断熱材料 外壁	グラスウール、 ロックウール	14,980	28.6	78.7	2.4	0.9
	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	4,289	24.0	92.8	3.9	1.0
	その他	2,374	12.2	68.7	35.3	1.4

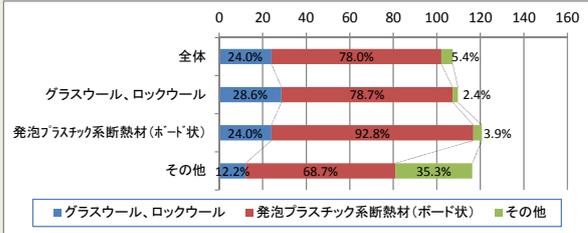


図 5-1-10a 外壁と床・基礎の断熱材料の組合せ

		合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)			無回答
			グラスウール、 ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	
北海道全体		669	43.0	67.4	6.0	1.2
断熱材料 外壁	グラスウール、 ロックウール	510	52.5	64.9	2.9	0.8
	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	325	34.2	87.7	4.6	0.6
	その他	72	25.0	54.2	51.4	0.0

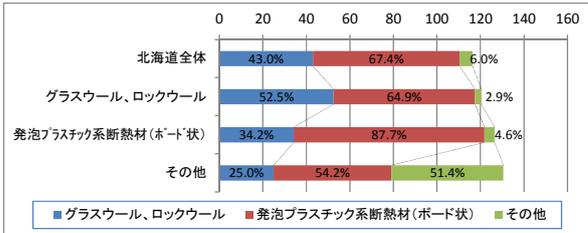


図 5-1-10b 同 北海道地域

		合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)			無回答
			グラスウール、 ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	
東北全体		2,729	22.6	80.6	6.0	1.1
断熱材料 外壁	グラスウール、 ロックウール	2,109	27.8	81.0	3.3	0.6
	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	716	22.3	95.7	3.4	0.4
	その他	274	10.9	62.4	47.1	0.7

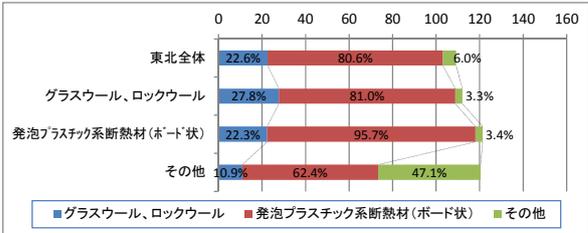


図 5-1-10c 同 東北地域

		合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)			無回答
			グラスウール、 ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	
関東全体		5,080	31.6	71.5	4.7	1.6
断熱材料 外壁	グラスウール、 ロックウール	4,117	36.1	71.8	2.1	0.7
	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	938	29.7	90.1	3.9	1.3
	その他	515	15.1	65.2	36.3	1.6

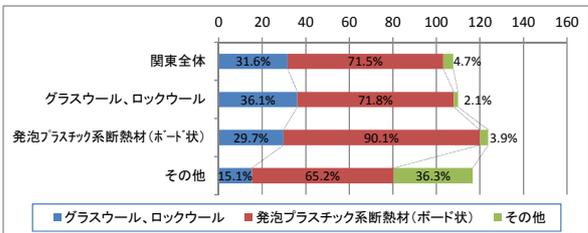


図 5-1-10d 同 関東地域

	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)				
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プラ スチック 系断熱材 (ボード状)	その他	無回答	
北陸全体	1,250	14.9	84.4	6.4	1.5	
断熱 材料	グラスウール、 ロックウール	875	19.4	85.7	2.9	0.9
外壁	発泡プラスチック系 断熱材(ボード状)	344	13.7	94.5	5.5	1.2
	その他	195	7.2	73.3	31.3	0.5

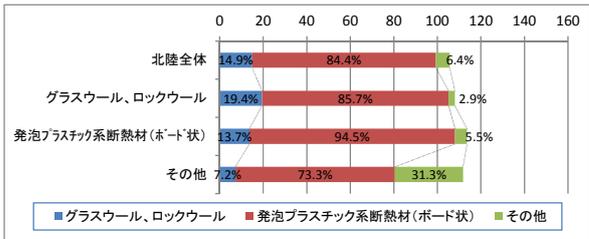


図 5-1-10e 同 北陸地域

	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)				
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プラ スチック 系断熱材 (ボード状)	その他	無回答	
中部全体	2,869	22.0	80.1	6.1	1.6	
断熱 材料	グラスウール、 ロックウール	2,110	27.6	80.5	2.8	0.9
外壁	発泡プラスチック系 断熱材(ボード状)	712	20.9	94.4	3.5	1.3
	その他	463	10.8	73.9	30.9	0.9

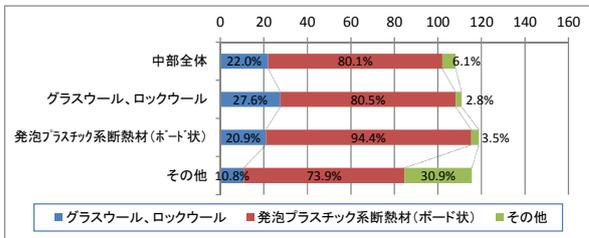


図 5-1-10f 同 中部地域

	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)				
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プラ スチック 系断熱材 (ボード状)	その他	無回答	
近畿全体	2,083	19.5	81.7	4.8	1.8	
断熱 材料	グラスウール、 ロックウール	1,638	22.5	82.9	2.3	1.3
外壁	発泡プラスチック系 断熱材(ボード状)	425	23.5	94.4	3.5	0.5
	その他	301	12.0	75.1	29.2	1.0

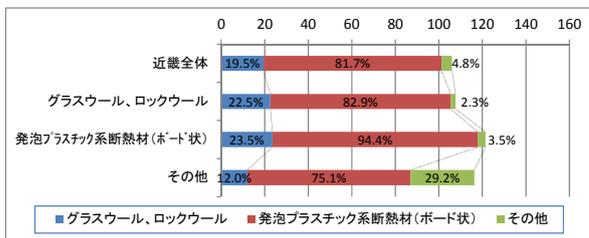


図 5-1-10g 同 近畿地域

	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)				
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プラ スチック 系断熱材 (ボード状)	その他	無回答	
中国全体	1,665	16.7	83.6	4.9	1.9	
断熱 材料	グラスウール、 ロックウール	1,329	18.9	86.8	1.9	0.8
外壁	発泡プラスチック系 断熱材(ボード状)	328	22.0	93.6	4.0	1.2
	その他	211	10.0	68.2	35.1	2.8

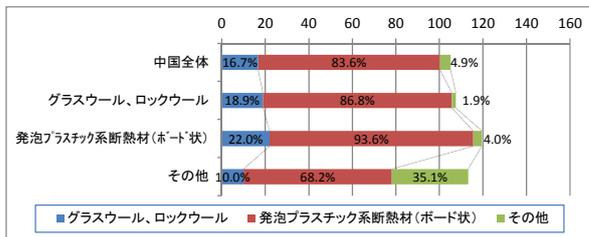


図 5-1-10h 同 中国地域

	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)				
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プラ スチック 系断熱材 (ボード状)	その他	無回答	
四国全体	893	15.1	85.2	4.8	1.5	
断熱 材料	グラスウール、 ロックウール	685	17.7	86.9	2.6	0.9
外壁	発泡プラスチック系 断熱材(ボード状)	185	19.5	95.1	3.2	1.6
	その他	109	10.1	71.6	30.3	1.8

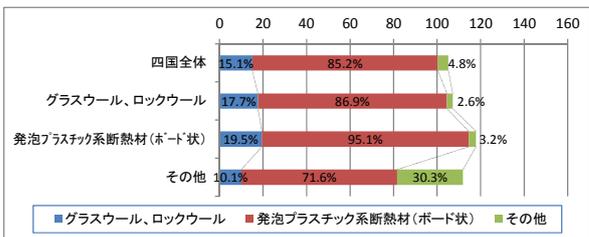


図 5-1-10i 同 四国地域

	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)				
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プラ スチック 系断熱材 (ボード状)	その他	無回答	
九州・沖縄全体	1,993	24.0	75.8	5.6	1.8	
断熱 材料	グラスウール、 ロックウール	1,607	27.8	76.9	2.0	1.2
外壁	発泡プラスチック系 断熱材(ボード状)	316	24.1	89.9	4.4	1.9
	その他	234	13.7	65.0	37.2	3.0

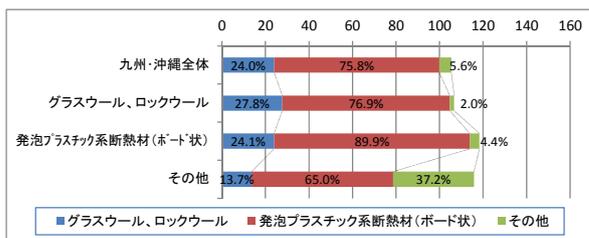


図 5-1-10j 同 九州・沖縄地域

C. 普段たずさわっている断熱工法と材料の組合せ

1) 普段たずさわっている「屋根・天井」の断熱工法と材料の組合せ

屋根・天井の断熱工法と材料の組合せは、天井断熱にはグラスウール・ロックウールの使用が最も多い。屋根野地上断熱はグラスウール・ロックウールと発泡プラスチック系断熱材(ボード状)が同程度となっている。垂木間充填断熱はグラスウール・ロックウールの使用が最も多い。

地域別でみると天井断熱とグラスウール・ロックウールの組合せは各地域共、最も多く、全体と同様の傾向となっている。屋根野地上断熱は地域間で違いが出ている。北海道、近畿、中国はグラスウール・ロックウールが多い。東北、関東はグラスウール・ロックウールと発泡プラスチック系断熱材(ボード状)が同程度となっている。垂木間充填断熱は北陸、中部が全体と同様にグラスウール・ロックウールと発泡プラスチック系断熱材(ボード状)が同程度、その他地域はグラスウール・ロックウール多くなっている。

	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)			
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答
全体	19,722	79.6	24.0	12.2	0.9
断熱工法					
天井断熱	15,861	91.1	18.1	8.3	0.7
屋根野地上断熱	3,382	61.0	61.9	16.2	1.7
屋根・天井					
垂木間充填断熱	4,601	59.9	48.7	29.0	1.1

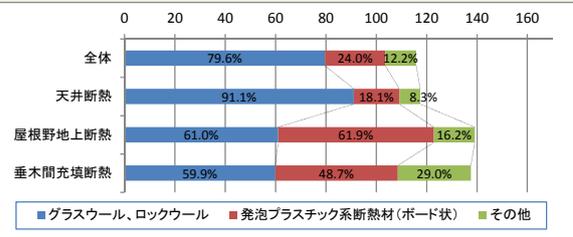


図 5-1-11a 屋根・天井の断熱工法と材料の組合せ

	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)			
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答
北海道全体	680	78.7	21.2	17.6	0.7
断熱工法					
天井断熱	604	83.9	17.9	16.9	0.3
屋根野地上断熱	144	73.6	62.5	16.7	2.1
屋根・天井					
垂木間充填断熱	120	78.3	41.7	21.7	0.0

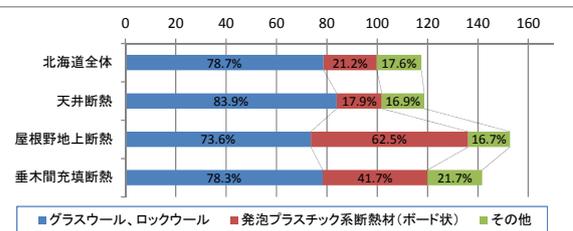


図 5-1-11b 同 北海道地域

	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)			
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答
東北全体	2,781	81.0	21.9	12.0	0.8
断熱工法					
天井断熱	2,394	88.1	17.5	10.0	0.8
屋根野地上断熱	456	63.6	65.6	15.6	0.7
屋根・天井					
垂木間充填断熱	457	67.8	46.4	25.2	0.9

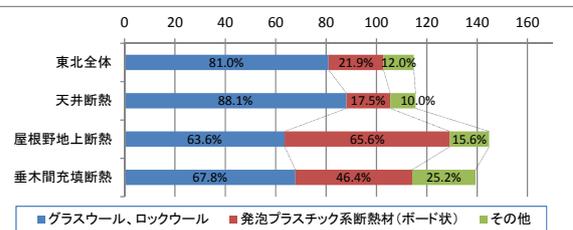


図 5-1-11c 同 東北地域

	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)			
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答
関東全体	5,195	82.2	22.8	9.9	0.8
断熱工法					
天井断熱	4,141	93.6	16.0	6.1	0.6
屋根野地上断熱	894	60.7	61.0	15.3	1.3
屋根・天井					
垂木間充填断熱	1,179	61.5	49.0	26.9	0.8

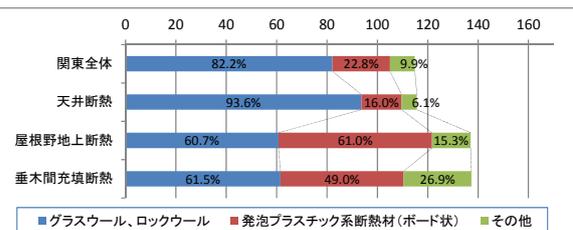


図 5-1-11d 同 関東地域

		合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)			
			グラス ウール、 ロック ウール	発泡プラ スチック 系断熱材 (ボード状)	その他	無回答
北陸全体		1,262	73.6	27.3	15.3	1.0
断熱 工法 屋根・ 天井	天井断熱	1,039	85.2	23.3	10.1	0.8
	屋根野地 上断熱	169	56.8	68.0	21.3	1.8
	垂木間 充填断熱	287	50.2	47.7	36.6	1.0

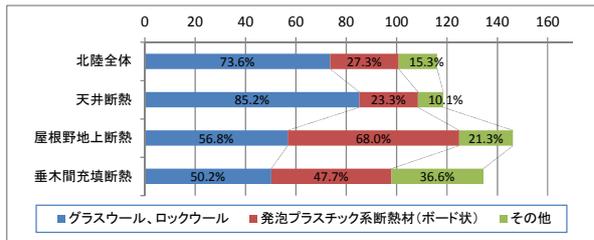


図 5-1-11e 同 北陸地域

		合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)			
			グラス ウール、 ロック ウール	発泡プラ スチック 系断熱材 (ボード状)	その他	無回答
中部全体		2,908	75.2	27.6	14.5	1.1
断熱 工法 屋根・ 天井	天井断熱	2,218	90.5	20.0	9.8	0.6
	屋根野地 上断熱	511	53.4	64.8	17.8	2.3
	垂木間 充填断熱	851	54.2	52.5	28.6	1.5

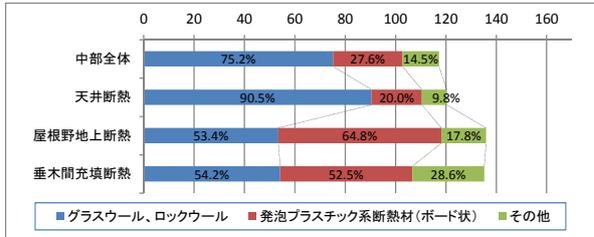


図 5-1-11f 同 中部地域

		合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)			
			グラス ウール、 ロック ウール	発泡プラ スチック 系断熱材 (ボード状)	その他	無回答
近畿全体		2,143	79.0	25.9	13.0	1.0
断熱 工法 屋根・ 天井	天井断熱	1,618	92.3	19.6	8.7	0.8
	屋根野地 上断熱	435	61.4	54.9	18.4	1.8
	垂木間 充填断熱	595	63.0	48.7	28.1	1.0

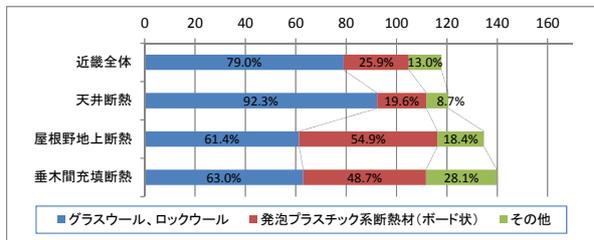


図 5-1-11g 同 近畿地域

		合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)			
			グラス ウール、 ロック ウール	発泡プラ スチック 系断熱材 (ボード状)	その他	無回答
中国全体		1,712	83.7	21.5	12.0	1.1
断熱 工法 屋根・ 天井	天井断熱	1,439	93.3	18.8	7.2	0.8
	屋根野地 上断熱	273	75.1	57.5	13.6	1.8
	垂木間 充填断熱	381	60.6	45.1	35.2	1.8

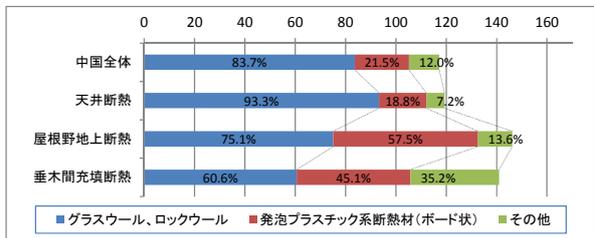


図 5-1-11h 同 中国地域

		合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)			
			グラス ウール、 ロック ウール	発泡プラ スチック 系断熱材 (ボード状)	その他	無回答
四国全体		908	78.2	26.4	11.5	1.2
断熱 工法 屋根・ 天井	天井断熱	715	92.4	17.5	8.4	0.7
	屋根野地 上断熱	161	55.3	62.7	16.8	3.1
	垂木間 充填断熱	246	60.6	53.7	26.0	1.2

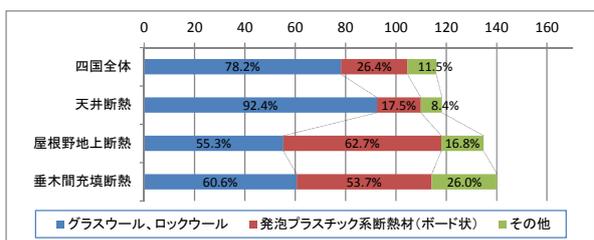


図 5-1-11i 同 四国地域

		合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)			
			グラス ウール、 ロック ウール	発泡プラ スチック 系断熱材 (ボード状)	その他	無回答
九州・沖縄全体		2,133	79.4	22.7	11.5	0.8
断熱 工法 屋根・ 天井	天井断熱	1,693	92.4	16.5	6.0	0.6
	屋根野地 上断熱	339	56.9	63.7	13.6	2.1
	垂木間 充填断熱	485	54.8	45.6	33.8	1.0

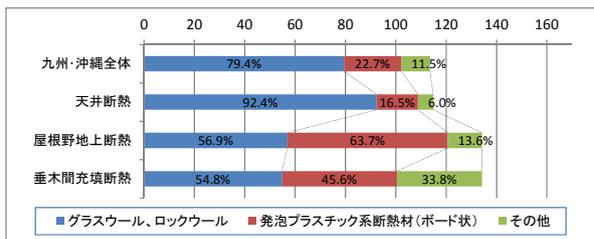


図 5-1-11j 同 九州・沖縄地域

2) 普段たずさわっている「外壁」の断熱工法と材料の組合せ

外壁の断熱工法と材料の組合せは、充填断熱にはグラスウール・ロックウールの使用が最も多い。外張断熱には発泡プラスチック系断熱材(ボード状)が最も多いが、グラスウール・ロックウールも多い。充填外張併用断熱にはグラスウール・ロックウールが最も多いが、発泡プラスチック系断熱材(ボード状)も多い。

地域別では中国、九州・沖縄の外張断熱でグラスウール・ロックウールの割合が多い点が全体の傾向と異なっている。

	合計 (回答数)	断熱材料 外壁 (%)				
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答	
全体	19,342	79.6	22.8	12.6	1.0	
断熱工法 外壁	充填断熱	16,874	83.9	17.9	13.0	0.8
	外張断熱	2,631	58.6	68.1	10.4	1.7
	充填外張併用断熱	1,393	74.4	56.4	17.3	0.8

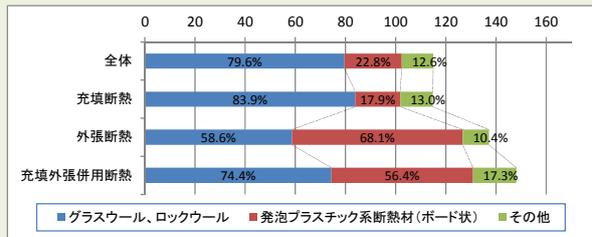


図 5-1-12a 外壁の断熱工法と材料の組合せ

	合計 (回答数)	断熱材料 外壁 (%)				
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答	
北海道全体	676	76.8	49.1	10.9	1.0	
断熱工法 外壁	充填断熱	329	88.4	28.3	10.3	0.3
	外張断熱	163	48.5	75.5	14.1	3.1
	充填外張併用断熱	322	85.4	68.9	12.1	0.6

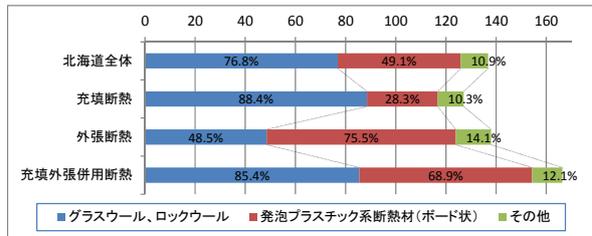


図 5-1-12b 同 北海道地域

	合計 (回答数)	断熱材料 外壁 (%)				
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答	
東北全体	2,755	78.8	26.6	10.0	0.7	
断熱工法 外壁	充填断熱	2,325	85.1	20.1	10.5	0.7
	外張断熱	496	55.0	74.6	8.1	1.2
	充填外張併用断熱	251	75.3	59.8	13.5	0.4

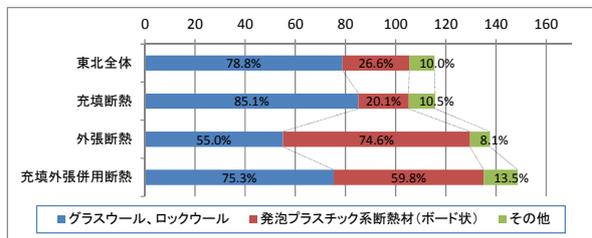


図 5-1-12c 同 東北地域

	合計 (回答数)	断熱材料 外壁 (%)				
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答	
関東全体	5,098	83.1	19.1	10.4	1.1	
断熱工法 外壁	充填断熱	4,596	87.2	15.0	10.7	0.9
	外張断熱	634	59.5	68.9	9.5	1.7
	充填外張併用断熱	220	70.5	49.5	20.0	0.9

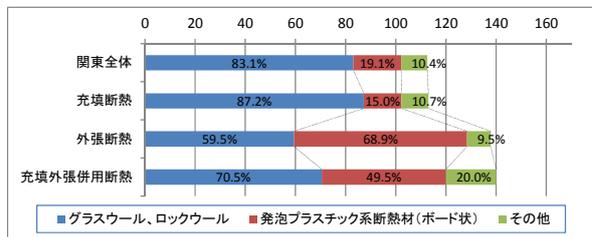


図 5-1-12d 同 関東地域

	合計 (回答数)	断熱材料 外壁 (%)				
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答	
北陸全体	1,255	71.2	28.6	15.8	0.7	
断熱工法 外壁	充填断熱	1,107	75.6	23.5	16.8	0.8
	外張断熱	167	52.7	74.9	9.6	0.0
	充填外張併用断熱	85	65.9	67.1	10.6	0.0

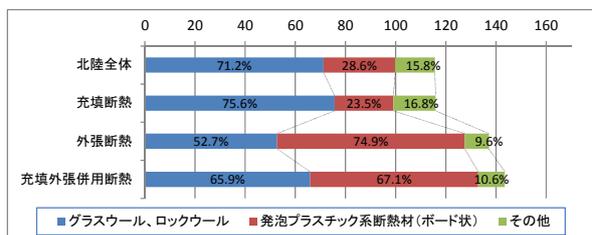
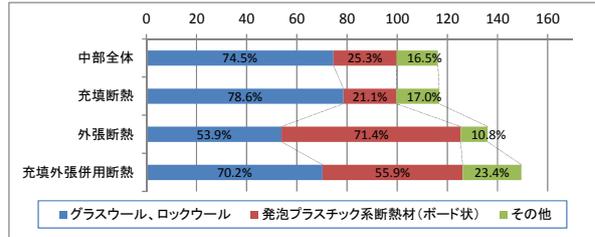


図 5-1-12e 同 北陸地域

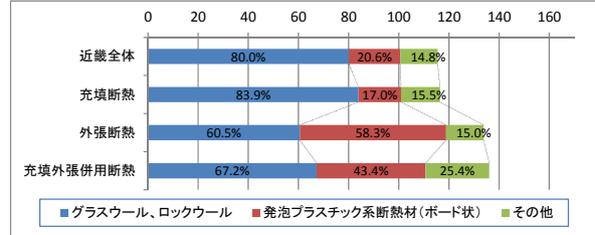
	合計 (回答数)	断熱材料 外壁 (%)			無回答	
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プラ スチック 系断熱材 (ボード状)	その他		
中部全体	2,877	74.5	25.3	16.5	1.1	
断熱 工法 外壁	充填断熱	2,554	78.6	21.1	17.0	0.9
	外張断熱	371	53.9	71.4	10.8	2.2
	充填外張 併用断熱	188	70.2	55.9	23.4	1.6

図 5-1-12f 同 中部地域



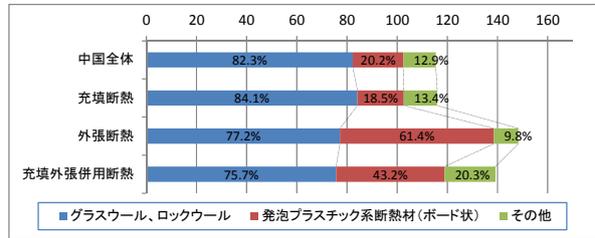
	合計 (回答数)	断熱材料 外壁 (%)			無回答	
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プラ スチック 系断熱材 (ボード状)	その他		
近畿全体	2,103	80.0	20.6	14.8	1.0	
断熱 工法 外壁	充填断熱	1,855	83.9	17.0	15.5	1.0
	外張断熱	266	60.5	58.3	15.0	1.5
	充填外張 併用断熱	122	67.2	43.4	25.4	0.0

図 5-1-12g 同 近畿地域



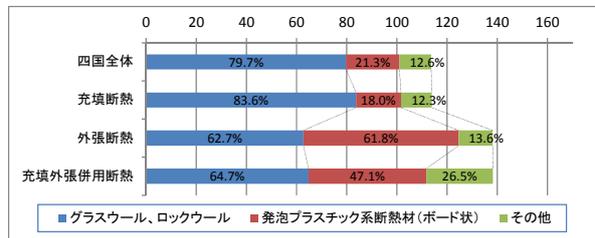
	合計 (回答数)	断熱材料 外壁 (%)			無回答	
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プラ スチック 系断熱材 (ボード状)	その他		
中国全体	1,661	82.3	20.2	12.9	1.1	
断熱 工法 外壁	充填断熱	1,513	84.1	18.5	13.4	1.0
	外張断熱	184	77.2	61.4	9.8	2.7
	充填外張 併用断熱	74	75.7	43.2	20.3	0.0

図 5-1-12h 同 中国地域



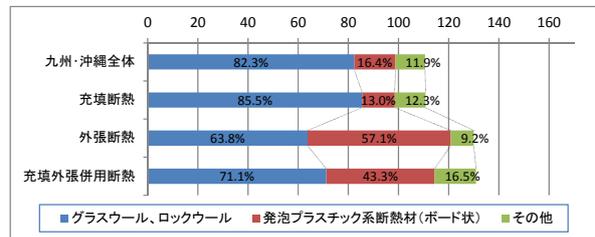
	合計 (回答数)	断熱材料 外壁 (%)			無回答	
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プラ スチック 系断熱材 (ボード状)	その他		
四国全体	878	79.7	21.3	12.6	0.9	
断熱 工法 外壁	充填断熱	782	83.6	18.0	12.3	0.8
	外張断熱	110	62.7	61.8	13.6	0.9
	充填外張 併用断熱	34	64.7	47.1	26.5	2.9

図 5-1-12i 同 四国地域



	合計 (回答数)	断熱材料 外壁 (%)			無回答	
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プラ スチック 系断熱材 (ボード状)	その他		
九州・沖縄全体	2,039	82.3	16.4	11.9	0.8	
断熱 工法 外壁	充填断熱	1,813	85.5	13.0	12.3	0.7
	外張断熱	240	63.8	57.1	9.2	1.7
	充填外張 併用断熱	97	71.1	43.3	16.5	2.1

図 5-1-12j 同 九州・沖縄地域



3) 普段たずさわっている「床・基礎」の断熱工法と材料の組合せ

床・基礎の断熱工法と材料の組合せは、いずれの工法も発泡プラスチック系断熱材(ボード状)との組合せが最も多い。

地域別でみると北海道地域はどの床断熱でもグラスウール・ロックウールとの組合せが最も多い。その他の地域は全体の傾向と同様となっている。

		合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)			
			グラスウール、 ロックウール	発泡プラスチック系断熱材 (ボード状)	その他	無回答
全体		19,231	24.0	78.0	5.4	1.6
断熱工法	床断熱(根太間充填)	9,864	27.6	78.5	3.7	1.5
	床断熱(大引間充填)	6,680	26.4	78.0	6.1	1.3
	床断熱(根太+大引間充填)	1,637	39.1	73.3	6.8	2.1
	床断熱	16,748	26.7	77.2	4.5	1.5
床・基礎	基礎断熱	4,263	19.0	85.4	11.4	1.6

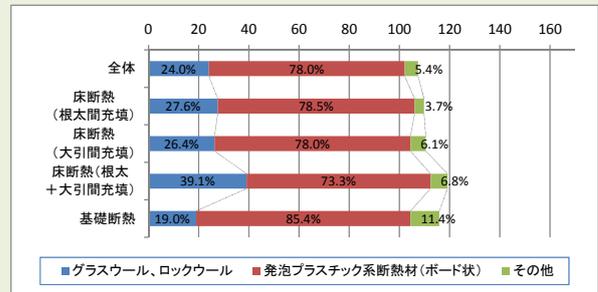


図 5-1-13a 床・基礎の断熱工法と材料の組合せ

		合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)			
			グラスウール、 ロックウール	発泡プラスチック系断熱材 (ボード状)	その他	無回答
北海道全体		669	43.0	67.4	6.0	1.2
断熱工法	床断熱(根太間充填)	138	81.9	44.2	5.1	0.7
	床断熱(大引間充填)	120	70.8	50.8	11.7	0.8
	床断熱(根太+大引間充填)	122	89.3	49.2	6.6	0.8
	床断熱	442	23.8	87.6	5.9	1.1

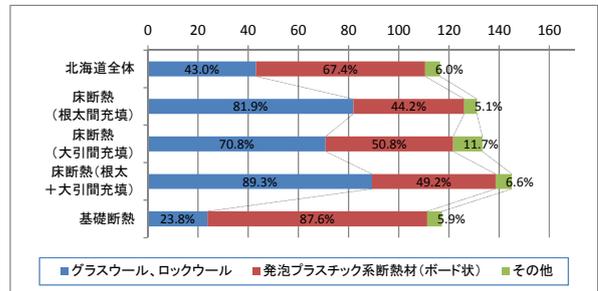


図 5-1-13b 同 北海道地域

		合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)			
			グラスウール、 ロックウール	発泡プラスチック系断熱材 (ボード状)	その他	無回答
東北全体		2,729	22.6	80.6	6.0	1.1
断熱工法	床断熱(根太間充填)	1,210	30.2	80.2	4.3	1.0
	床断熱(大引間充填)	918	23.1	82.7	6.5	1.0
	床断熱(根太+大引間充填)	254	42.1	71.7	3.1	2.4
	床断熱	865	17.2	87.4	11.1	1.2

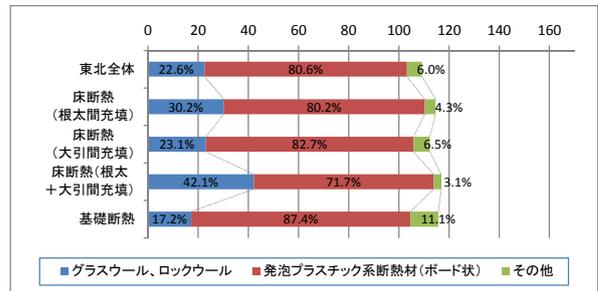


図 5-1-13c 同 東北地域

		合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)			
			グラスウール、 ロックウール	発泡プラスチック系断熱材 (ボード状)	その他	無回答
関東全体		5,080	31.6	71.5	4.7	1.6
断熱工法	床断熱(根太間充填)	2,572	32.1	74.6	3.5	1.6
	床断熱(大引間充填)	1,964	39.4	66.9	4.4	1.3
	床断熱(根太+大引間充填)	419	39.9	72.1	6.4	2.4
	床断熱	943	23.5	82.0	12.6	1.4

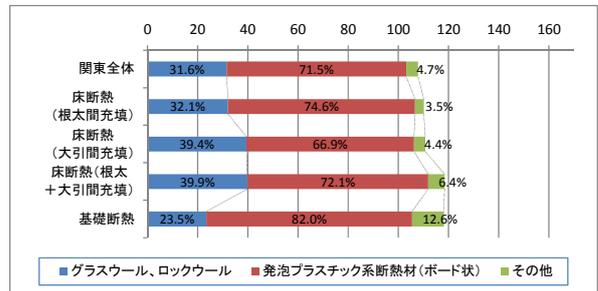


図 5-1-13d 同 関東地域

		合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)			
			グラスウール、 ロックウール	発泡プラスチック系断熱材 (ボード状)	その他	無回答
北陸全体		1,250	14.9	84.4	6.4	1.5
断熱工法	床断熱(根太間充填)	687	16.0	86.5	3.9	1.7
	床断熱(大引間充填)	374	18.7	84.5	6.7	1.1
	床断熱(根太+大引間充填)	114	20.2	86.0	5.3	0.0
	床断熱	251	15.9	82.9	15.9	1.2

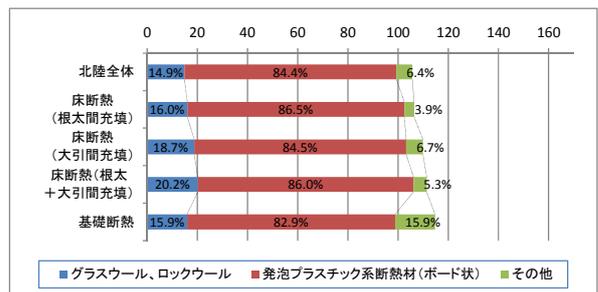
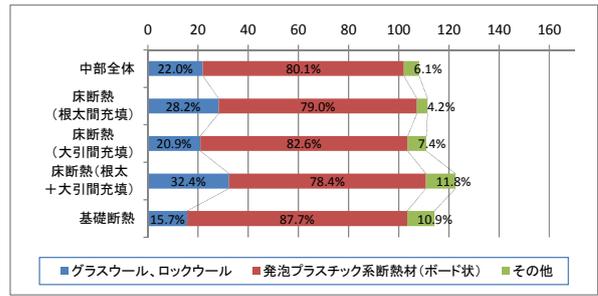


図 5-1-13e 同 北陸地域

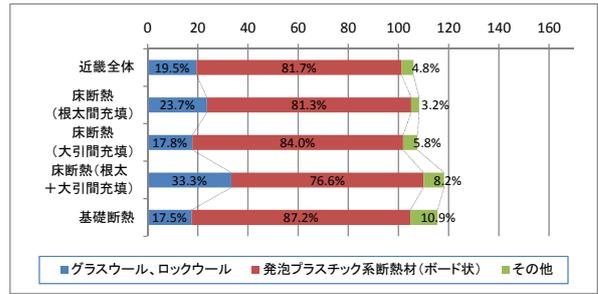
	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)				
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答	
中部全体	2,869	22.0	80.1	6.1	1.6	
断熱工法	床断熱(根太間充填)	1,491	28.2	79.0	4.2	1.5
	床断熱(大引間充填)	1,065	20.9	82.6	7.4	1.1
床・基礎	床断熱(根太+大引間充填)	204	32.4	78.4	11.8	2.0
	基礎断熱	624	15.7	87.7	10.9	2.6

図 5-1-13f 同 中部地域



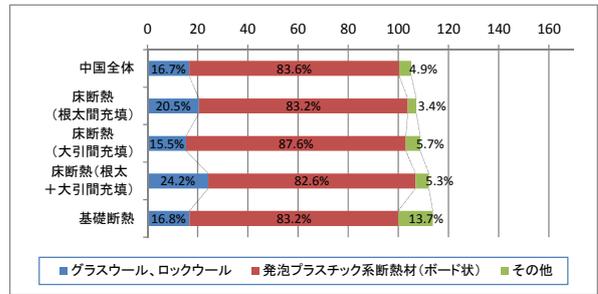
	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)				
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答	
近畿全体	2,083	19.5	81.7	4.8	1.8	
断熱工法	床断熱(根太間充填)	1,034	23.7	81.3	3.2	1.7
	床断熱(大引間充填)	882	17.8	84.0	5.8	1.5
床・基礎	床断熱(根太+大引間充填)	171	33.3	76.6	8.2	1.8
	基礎断熱	359	17.5	87.2	10.9	1.9

図 5-1-13g 同 近畿地域



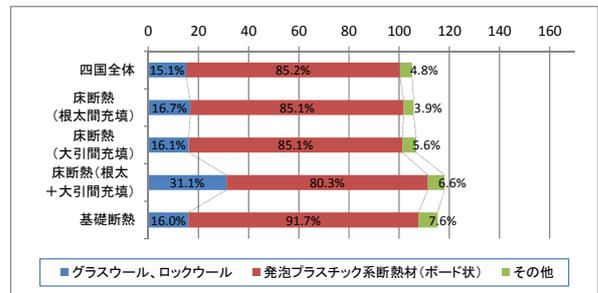
	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)				
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答	
中国全体	1,665	16.7	83.6	4.9	1.9	
断熱工法	床断熱(根太間充填)	988	20.5	83.2	3.4	1.8
	床断熱(大引間充填)	563	15.5	87.6	5.7	1.2
床・基礎	床断熱(根太+大引間充填)	132	24.2	82.6	5.3	3.0
	基礎断熱	292	16.8	83.2	13.7	2.4

図 5-1-13h 同 中国地域



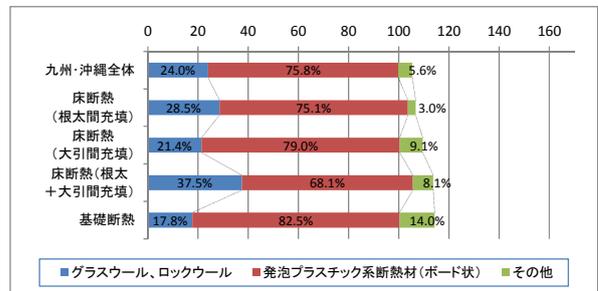
	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)				
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答	
四国全体	893	15.1	85.2	4.8	1.5	
断熱工法	床断熱(根太間充填)	490	16.7	85.1	3.9	1.6
	床断熱(大引間充填)	322	16.1	85.1	5.6	1.6
床・基礎	床断熱(根太+大引間充填)	61	31.1	80.3	6.6	1.6
	基礎断熱	144	16.0	91.7	7.6	0.7

図 5-1-13i 同 四国地域



	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)				
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答	
九州・沖縄全体	1,993	24.0	75.8	5.6	1.8	
断熱工法	床断熱(根太間充填)	1,254	28.5	75.1	3.0	1.5
	床断熱(大引間充填)	472	21.4	79.0	9.1	2.1
床・基礎	床断熱(根太+大引間充填)	160	37.5	68.1	8.1	3.8
	基礎断熱	343	17.8	82.5	14.0	1.7

図 5-1-13j 同 九州・沖縄地域



(2) 施工技術者講習で説明のあった断熱施工と実態とのギャップ

施工技術者講習で説明のあった「断熱層・気密層・防湿層がきちんと連続し、気流止めが設置され、筋かい廻りにしっかり断熱材を充填しつつ防湿フィルムも適切に取り付けられる等の施工」をする場合と、現場における施工実態との間には、以下のようなギャップが見られた。

1) 今まで正しく施工していなかったところ

講習で説明のあった断熱施工の中で「今まで正しく施工していなかったところ」は、気流止めの施工、筋かい部への施工が多い。昨年度と同様の結果であった。

地域別では、北海道地域の設問回答率が約3割と、他地域に比べて大幅に少なく、断熱施工に慣れていることが関係していると考えられる。その他の地域は全体と同じく、気流止めの施工、筋かい部への施工が多い。

今まで正しく施工していなかったところ	回答数
壁への施工	2,381
屋根への施工	940
天井への施工	1,740
下屋への施工	1,140
筋かい部への施工	4,158
真壁への施工	711
浴室への施工	2,789
気流止めの施工	5,208
基礎への施工	1,514
その他	500
無回答	4,260
全体	13,774

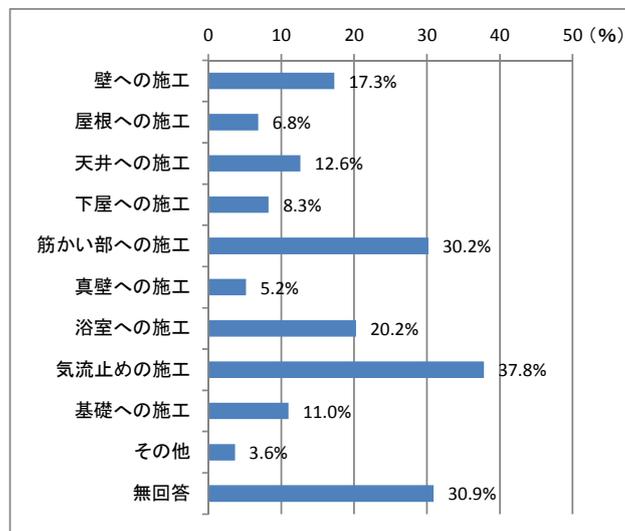


図 5-2-1a 今まで正しく施工していなかったところ

	全体の回答数合計	設問に回答有り票数合計	設問に回答有り票数 %	今まで正しく施工していなかったところ %										
				壁への施工	屋根への施工	天井への施工	下屋への施工	筋かい部への施工	真壁への施工	浴室への施工	気流止めの施工	基礎への施工	その他	無回答
全体	13,774	9,514	69.1	17.3	6.8	12.6	8.3	30.2	5.2	20.2	37.8	11.0	3.6	30.9
北海道	415	138	33.3	2.9	3.9	2.2	5.3	2.4	1.9	5.8	9.6	2.4	6.0	66.7
東北	1,860	1,231	66.2	14.8	5.1	9.7	8.0	29.8	5.2	17.4	34.0	8.9	4.9	33.8
関東	3,952	2,769	70.1	18.9	7.1	13.0	8.6	29.7	6.0	20.8	35.8	9.7	3.3	29.9
北陸	687	514	74.8	19.5	7.9	12.1	10.0	34.5	6.0	23.0	45.3	11.2	3.6	25.2
中部	1,869	1,361	72.8	16.7	6.8	13.4	8.2	33.8	5.1	19.6	42.0	11.2	3.5	27.2
近畿	1,464	955	65.2	15.0	6.8	13.5	7.4	26.8	4.6	19.8	36.8	12.0	3.6	34.8
中国	1,225	897	73.2	20.3	8.0	15.2	8.9	35.5	5.2	21.6	43.3	15.2	2.8	26.8
四国	696	503	72.3	16.5	6.3	15.5	7.5	32.9	4.3	23.0	40.2	12.1	3.4	27.7
九州・沖縄	1,606	1,146	71.4	19.7	7.8	13.2	8.6	30.8	4.5	23.8	42.1	13.8	3.2	28.6

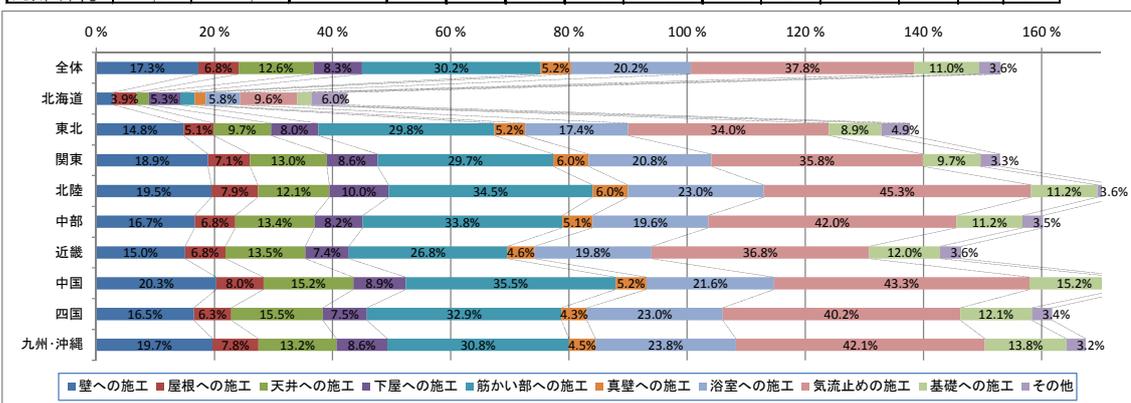


図 5-2-1b 地域別の今まで正しく施工していなかったところ

2) 難しい・やりにくいと感じたところ

講習で説明のあった断熱施工の中で「難しい・やりにくいと感じたところ」は、筋かい部への施工、気流止めの施工が多い。これも昨年度と同様の結果であった。

地域別では、今まで正しく施工していなかったところと同様、北海道地域の設問回答率が他地域に比べて少なく、断熱施工への慣れが関係していると考えられる。

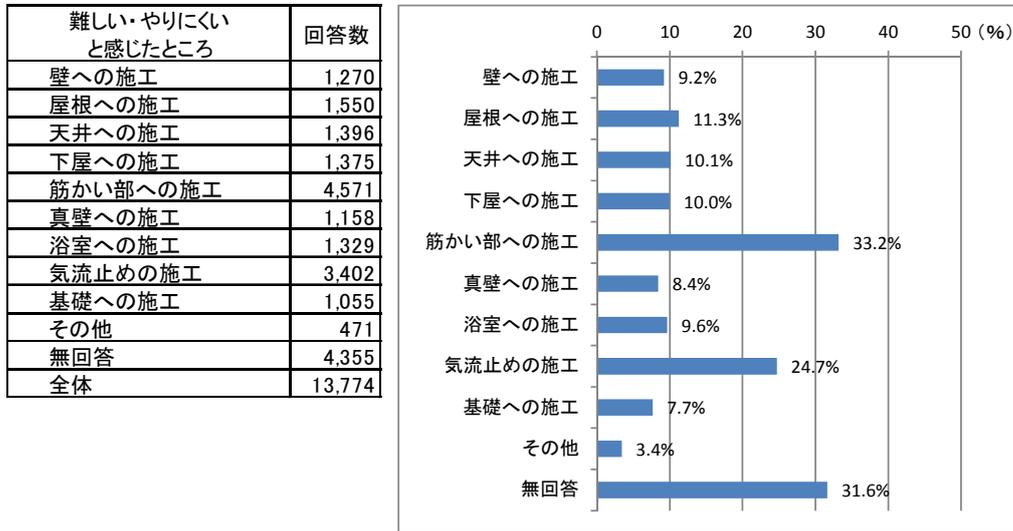
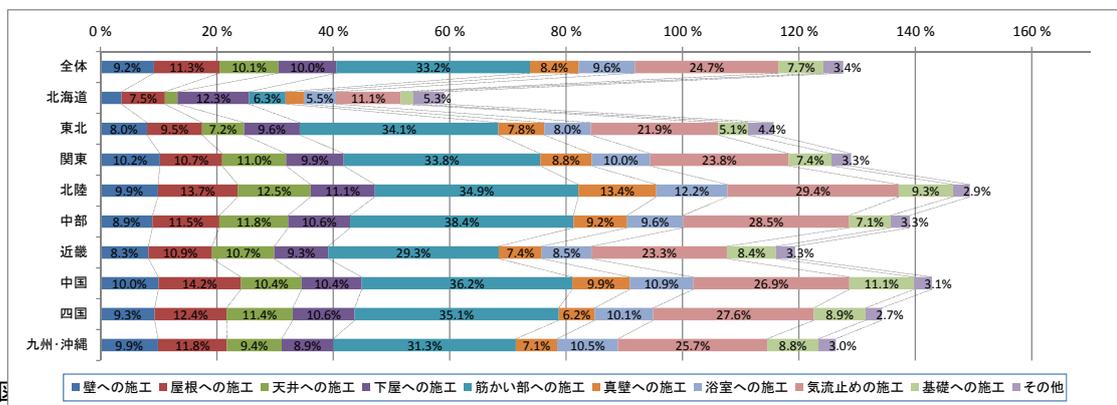


図 5-2-2a 難しい・やりにくいと感じたところ

	全体の回答数合計	設問に回答有り票数合計	設問に回答有り票数 %	難しい・やりにくいなと感じたところ %										
				壁への施工	屋根への施工	天井への施工	下屋への施工	筋かい部への施工	真壁への施工	浴室への施工	気流止めの施工	基礎への施工	その他	無回答
全体	13,774	9,419	68.4	9.2	11.3	10.1	10.0	33.2	8.4	9.6	24.7	7.7	3.4	31.6
北海道	415	180	43.4	3.6	7.5	2.2	12.3	6.3	3.1	5.5	11.1	2.2	5.3	56.6
東北	1,860	1,240	66.7	8.0	9.5	7.2	9.6	34.1	7.8	8.0	21.9	5.1	4.4	33.3
関東	3,952	2,770	70.1	10.2	10.7	11.0	9.9	33.8	8.8	10.0	23.8	7.4	3.3	29.9
北陸	687	501	72.9	9.9	13.7	12.5	11.1	34.9	13.4	12.2	29.4	9.3	2.9	27.1
中部	1,869	1,347	72.1	8.9	11.5	11.8	10.6	38.4	9.2	9.6	28.5	7.1	3.3	27.9
近畿	1,464	923	63.0	8.3	10.9	10.7	9.3	29.3	7.4	8.5	23.3	8.4	3.3	37.0
中国	1,225	892	72.8	10.0	14.2	10.4	10.4	36.2	9.9	10.9	26.9	11.1	3.1	27.2
四国	696	483	69.4	9.3	12.4	11.4	10.6	35.1	6.2	10.1	27.6	8.9	2.7	30.6
九州・沖縄	1,606	1,083	67.4	9.9	11.8	9.4	8.9	31.3	7.1	10.5	25.7	8.8	3.0	32.6



3) 講習の断熱施工とこれまで行ってきた施工とのギャップについて

講習で説明のあった断熱施工とこれまで行ってきた施工とのギャップについて、自由記述では以下のような記述があった。(全 23 回答を整理)

●施工できていなかった(13)

- ・間違った施工をしていたところがあった。今までの施工方法は正しくなかった部分も多かった。今迄の施工方法は建材屋等から聞いた知識だけで、間違っていた点もあった。思い込みが訂正された。防湿層の連続をこれまで無視してきたので認識を改めさせられた。今までの施工とはやり方を変える必要が多くあった。今までの施工方法では不足している所を直していきたい。天井用断熱で防湿フィルムが必要とは知らなかった。筋かい部への施工など知らなかったことがあった。 等

●施工できている(10)

- ・普段やっていることなので難しくなかった。長期優良住宅・省令準耐等をしているので十分省エネに対応している。外断熱で施工しているがやり方は間違っていなかった。 等

(3) 今回の講習内容で施工する場合の時間

1) 施工手間は増加か減少か

今回の講習内容で施工する場合の時間について、坪あたり人工が増加するという回答が4割強、どれくらい人工が増加するかについては平均1.4人工増であった。職種別では、施工、現場管理の「人工増」回答が全体より多く、設計で少なくなっている。「人工はほとんど変わらない」は施工が少なく、現場管理と設計で多い。施工は他の職種と比べ、今回の講習内容による施工手間についてシビアに感じている。地域別では北海道地域で「人工はほとんど変わらない」への回答が多く、普段から講習内容程度の施工を行っていると考えられる。傾向は昨年度の結果と同様にであった。

自由記述にもあるように、住宅供給の段階のコストがネックとなれば、大工等施工者は手間のみが増えてしまうことになるので、講習内容レベルの省エネ施工の普及には厳しい状況にある。

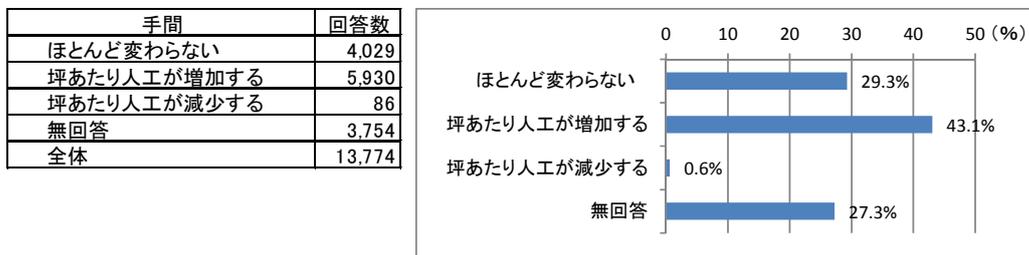


図 5-3-1a 今回の講習内容で施工する場合の時間

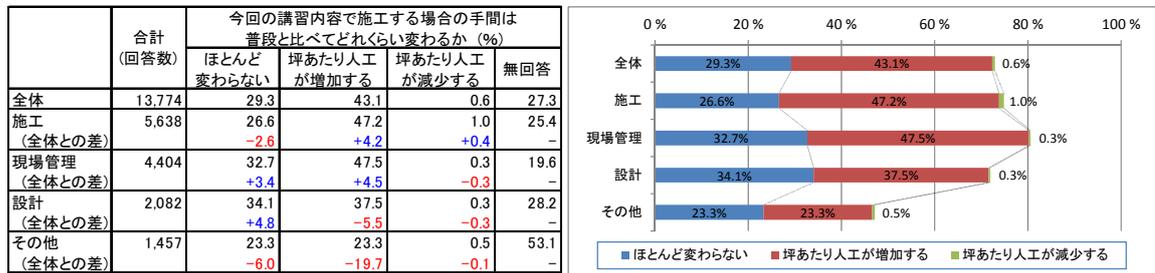


図 5-3-1b 職種別の今回の講習内容で施工する場合の時間

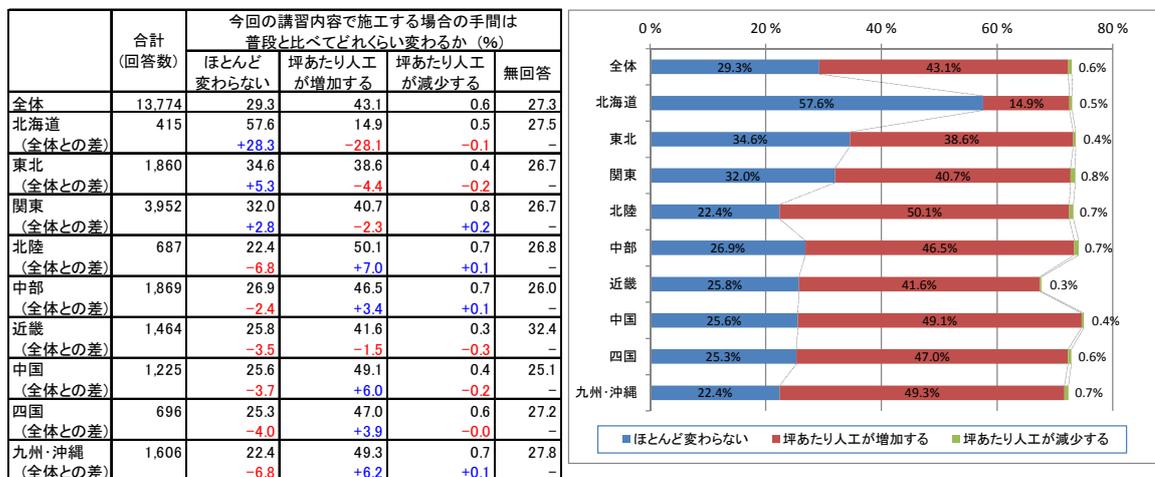


図 5-3-1c 地域別の今回の講習内容で施工する場合の時間

2) 今回の講習内容で施工する場合の手間について

今回の講習内容で施工する場合の手間について、自由記述では以下のような記述があった。(全 59 回答を整理)

【手間が掛かる】今まで通りにはいかず手間がかかる。気密防湿フィルム施工は手間がかかる。技術は良いが手間がかかりすぎ。 等

【施工費が上がる】コストが高くなる。坪単価が上がる。完璧に断熱するには金がかかる大変な問題。施工単価の上昇が心配。コストは上がるが施主にとっては良いこと。 等

【現実的ではない、実際は難しい】断熱施工にここまでコストをかけられるのか疑問。気流止めといえど手間で大変なので現実的には難しい。正しい施工は当たり前だが先輩大工に説明した反応から施工は少し難しいと感じた。理論は大工がわかっているても大工手間・工期・面倒等の理由で現場の問題が大きい。100%の施工は難しい。 等

【予算、工期の確保が必要】どれも手間・時間ばかりかかるので施工業者にもそれなりの手当や賃金が必要。材料の予算が十分必要。設計見積時に施工費を上げないと無理。 等

【施工費増はどこが負担するか】実際の現場に合った施工方法かは疑問、手間が増えた分の施工費はどのように反映できるか不安。設備部位の断熱工事が建築業者の全負担になりかねなく施工費をどちらが負担するか問題になる。テキスト通りの施工は手間請けで断熱施工込みなら今以上に泣くのは現場の大工職。元請けは断熱職と建築大工を分離してほしい。 等

【条件付で問題無し】工期と工賃さえ正しく確保されれば特に無し。施工手間が上ればより良い断熱施工ができる。 等

【営業面で大変】建物価格が高くなるので施主に「高価でも必要」との認識がないと他社に負けてしまう。高断熱・高気密にする費用がかさんで施主のお金のことを気にしてしまう。施主の理解と予算が課題。省エネ施工に施工手間・お金はかかるが価値があることを一般の人にPRしてほしい。 等

(4) 断熱仕様について設計時に記載または現場管理時のチェックに使用する図面

断熱仕様について設計時に記載する図面または現場管理時にチェックに使用する図面は、いずれの部位についても矩計図、仕上表、特記仕様書が主に用いられている。

床・基礎部分について「その他」の記述では、基礎伏図を主とした構造関連図書が全体の5%程あった。

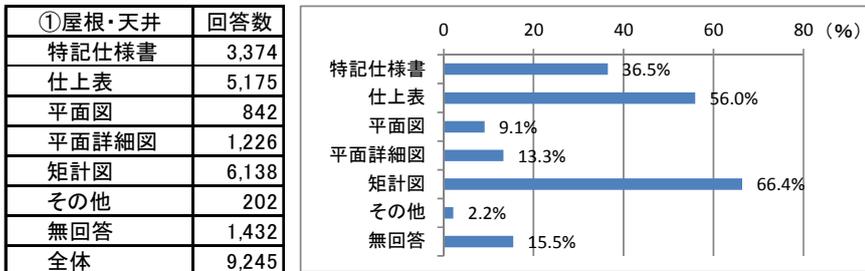


図 5-4a 断熱仕様について設計時に記載または現場管理時にチェックする図面 ①屋根・天井

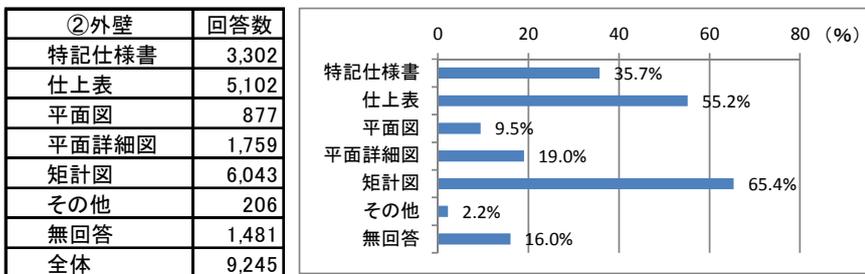


図 5-4b 断熱仕様について設計時に記載または現場管理時にチェックする図面 ②外壁

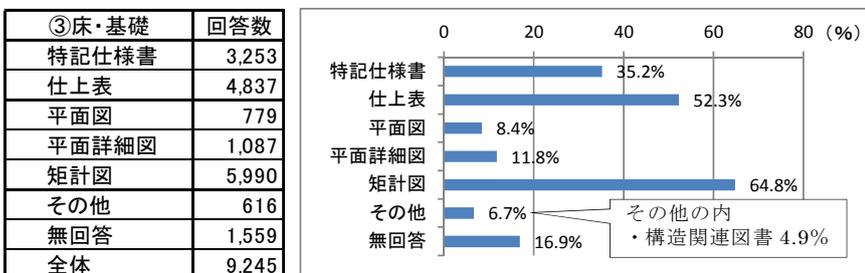


図 5-4c 断熱仕様について設計時に記載または現場管理時にチェックする図面 ③床・基礎

(5) 普段設計または現場管理している省エネ基準レベル

普段設計または現場管理している住宅の省エネ基準レベルは、「平成11年基準(次世代基準・等級4)以上」が約6割と最も多いが、昨年度、地域ブランド化グループの工務店等へ行った同じ質問の結果の約7割からは減少している。次世代省エネ基準の採用に積極的であると思われるブランド化グループの工務店との違いが表れたものと考えられる。「平成4年基準(新基準・等級3)」と「昭和55年基準(旧基準・等級2)」は合わせて約3割であった。

地域別では北海道と北陸で「平成11年基準以上」の割合が全体より高い結果となった。

基準レベル	回答数
H11年基準(次世代基準・等級4)以上	5,558
H4年基準(新基準・等級3)	2,203
S55年基準(旧基準・等級2)	520
S55年基準以下	91
無回答	1,891
全体	9,245

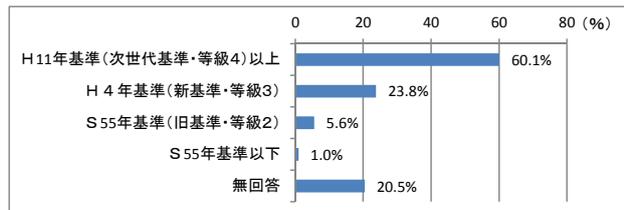


図 5-5a 普段設計または現場管理している住宅の省エネ基準レベル

	合計 (回答数)	省エネ基準レベル (%)				無回答
		H11年 基準 (次世代 基準 ・等級4) 以上	H4年 基準 (新基準 ・等級3)	S55年 基準 (旧基準 ・等級2)	S55年 基準 以下	
全体	9,245	60.1	23.8	5.6	1.0	20.5
北海道 (全体との差)	413	70.9 +10.8	10.9 -12.9	1.2 -4.4	0.5 -0.5	23.0 -
東北 (全体との差)	1,399	64.6 +4.5	21.6 -2.2	3.1 -2.6	0.5 -0.5	20.1 -
関東 (全体との差)	2,153	58.8 -1.3	22.5 -1.3	5.9 +0.3	1.4 +0.4	21.8 -
北陸 (全体との差)	722	70.4 +10.2	24.7 +0.8	4.8 -0.8	0.6 -0.4	11.2 -
中部 (全体との差)	1,415	62.2 +2.1	25.4 +1.6	6.4 +0.8	1.4 +0.4	17.5 -
近畿 (全体との差)	1,162	54.3 -5.8	27.1 +3.3	7.0 +1.3	0.8 -0.2	23.4 -
中国 (全体との差)	716	55.3 -4.8	27.7 +3.8	6.1 +0.5	1.4 +0.4	23.0 -
四国 (全体との差)	347	51.3 -8.8	30.0 +6.1	9.2 +3.6	1.4 +0.5	19.0 -
九州・沖縄 (全体との差)	918	54.6 -5.5	23.5 -0.3	6.8 +1.1	0.4 -0.5	23.3 -

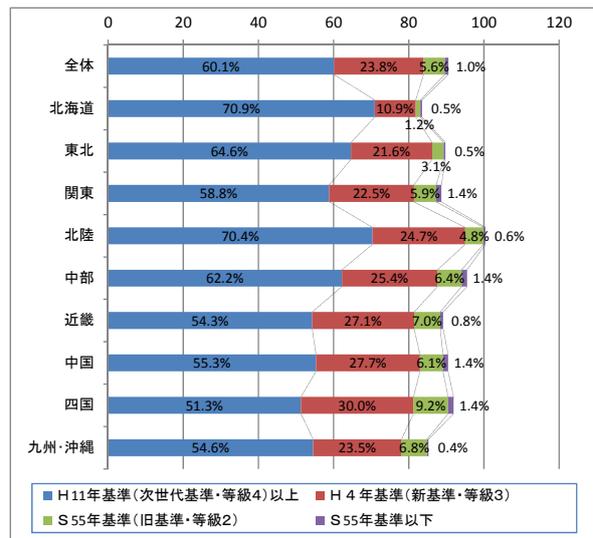


図 5-5b 地域別の普段設計または現場管理している住宅の省エネ基準レベル

(6) 計算経験のある断熱性能

計算経験のある断熱性能について、Q値(熱損失係数)は4割弱、U値(部位熱貫流率)とR値(熱抵抗値)が2割前後の回答となっている。昨年度、地域ブランド化グループの工務店等へ行った同じ質問におけるQ値が約6割、年間冷暖房負荷、U値、R値がいずれも2割強という結果と比較すると、今年度はいずれの項目も低くなっている。ブランド化グループの工務店との省エネへの取り組みの差が表れていると考えられる。

地域別では、北海道地域が全ての項目について全体より高い割合であった。一方、関東、近畿、中国、九州・沖縄では全ての項目において全体より低い割合となっている。

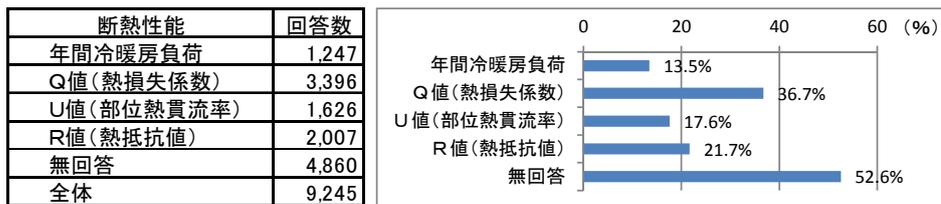


図 5-6a 計算したことのある断熱性能

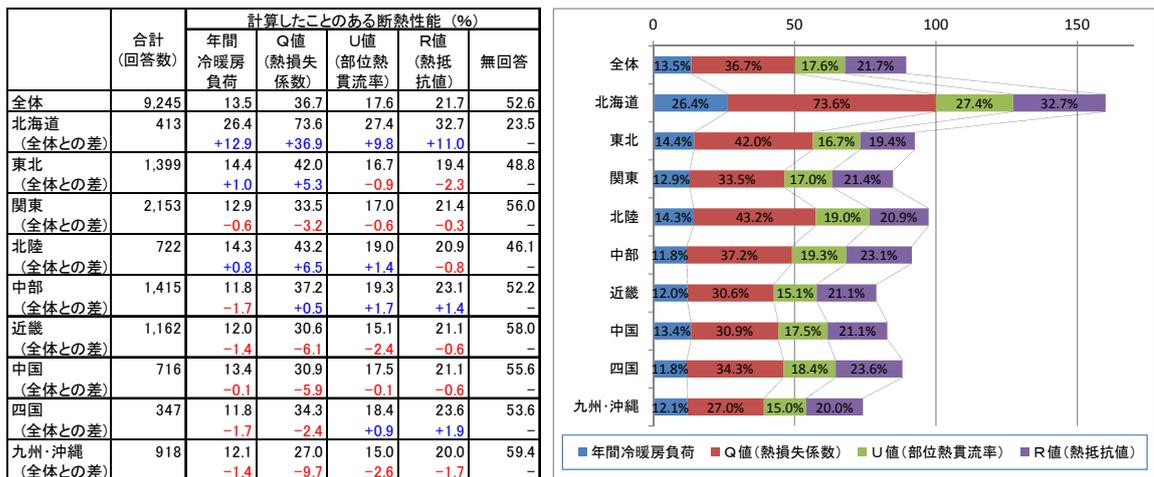


図 5-6b 地域別の計算したことのある断熱性能

(7) 断熱・施工方法に関する情報の主な入手先

断熱・施工方法に関する情報の主な入手先は、全体でも、いずれの職種でも「建材・設備メーカーの講習会・マニュアルから」が最も多い。昨年度と同様の傾向で、実際に現場で使用する具体的な建材、工法とメーカーとは直結するため、このような結果となったと考えられる。設計は「公的講習会・仕様書から」、「建築雑誌から」も他の職種と比較して多くなっている。

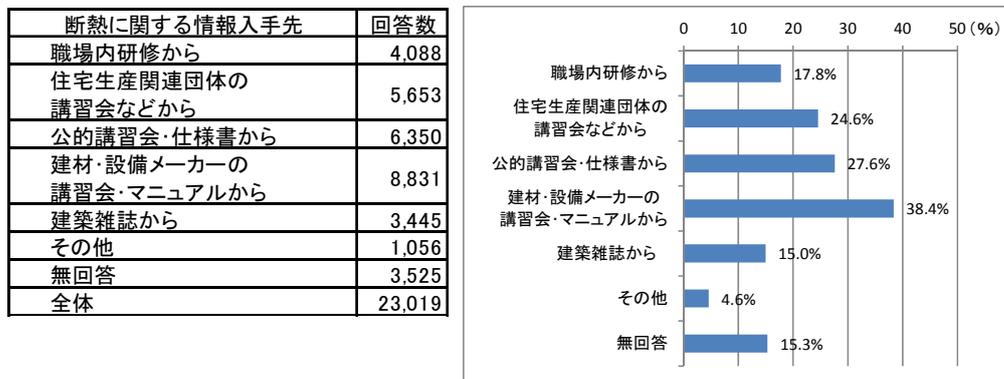


図 5-7a 断熱・施工方法に関する情報の主な入手先

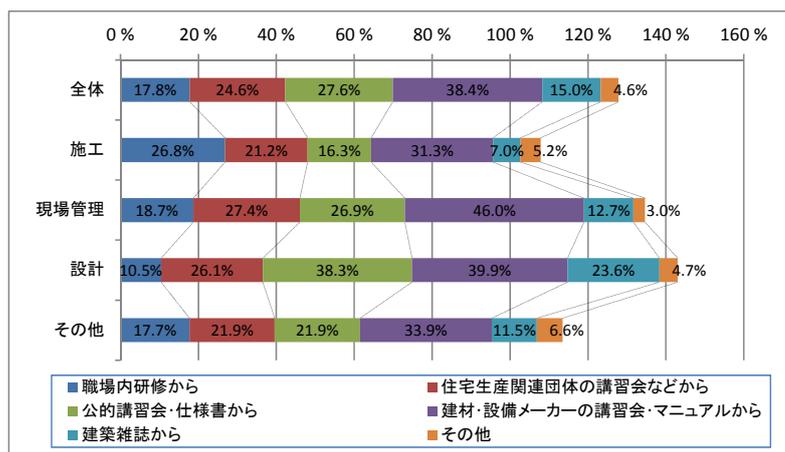


図 5-7b 職種別の断熱・施工方法に関する情報の主な入手先

断熱に関する情報入手先「その他」	回答数	%
職場関係	38	0.2%
建材メーカー	13	0.1%
インターネット	214	0.9%
所属団体	153	0.7%
専門メディア	23	0.1%
仕様書、マニュアル	12	0.1%
人的ネットワーク	95	0.4%
その他講習会等	27	0.1%
ハウスメーカー	17	0.1%
現場	25	0.1%
海外情報	4	0.0%
自分で調べる	12	0.1%
省エネ団体	31	0.1%
未分類	44	0.2%
不明	30	0.1%
その他記入有り合計	738	3.2%
その他全体	1,056	4.6%
全体	23,019	100.0%

図 5-7c 断熱・施工方法に関する情報の主な入手先「その他」記述

(8) 最適な断熱住宅を普及・建設していくための意識啓発

最適な断熱住宅を普及・建設していくにはどの分野の意識啓発が必要かについては、「現場施工者」が最も多い。「設計従事者」は昨年度 22%から 41%に、「現場施工者」は同 32%から 41%に、「建築主」は同 13%から 22%といずれも増えている。職種別では、施工と現場管理が「現場施工者」、設計者は「設計従事者」が最も多くなっている。

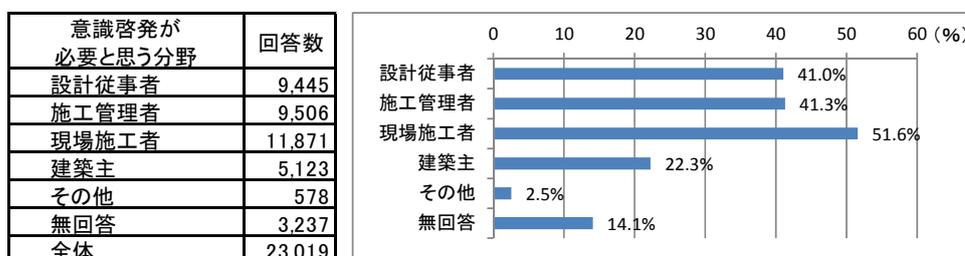


図 5-8a 最適な断熱住宅を普及・建設していくにはどの分野の意識啓発が必要か

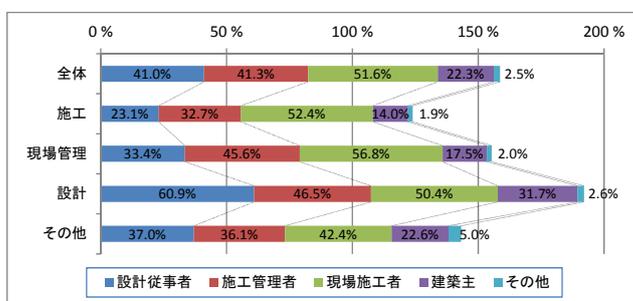


図 5-8b 職種別の最適な断熱住宅を普及・建設していくにはどの分野の意識啓発が必要か

意識啓発が必要「その他」	回答数	%
設計従事者	6	0.0%
施工管理者		0.0%
現場施工者	30	0.1%
建築主	24	0.1%
設備施工者	11	0.0%
工務店	11	0.0%
元請	6	0.0%
経営者	45	0.2%
営業	44	0.2%
会社全体		0.0%
建材メーカー	16	0.1%
建材販売	8	0.0%
ハウスメーカー	6	0.0%
不動産業者	4	0.0%
検査機関		0.0%
公的機関	2	0.0%
行政、政治家	56	0.2%
マスコミ	14	0.1%
関係する全ての人	136	0.6%
国民、一般の人々	9	0.0%
その他	81	0.4%
不明	64	0.3%
その他記入有り合計	573	2.5%
その他全体	609	2.6%
全体	23,019	100.0%

図 5-8c 最適な断熱住宅を普及・建設していくにはどの分野の意識啓発が必要か「その他」記述

(9) 省エネ設計・施工に関する実態調査結果のまとめ

省エネ設計・施工の実態について実態調査結果を以下に整理した。

1) 回答者属性

回答者の職種は現場施工者 27%、現場管理者 25%、設計者 37%、その他 10%であった。昨年度は施工技術者講習受講者が調査対象であったが、今年度は設計者講習受講者が調査対象に加わったことから、設計者が多くなっている。

2) 多用される断熱工法、断熱材料

多用される断熱工法、断熱材料、組合せは以下の通り。北海道地域はその他地域との違いが顕れている。傾向は昨年度と同様であった。

●断熱工法

- 《屋根・天井》 ・ 天井断熱 69%が最多。
 - ・ その内 91%はグラスウール・ロックウール。
 - ・ 地域別に見ても北海道含め全地域で天井断熱が最多。
- 《 外 壁 》 ・ 充填断熱 73%が最多。
 - ・ その内 84%はグラスウール・ロックウール。
 - ・ 北海道地域は充填外張併用断熱 39%で他地域と異なる。
- 《 床・基礎 》 ・ 根太間充填断熱 43%が最多。
 - ・ その内 79%は発泡プラスチック系断熱材(ボード状)。
 - ・ 北海道地域は基礎断熱 53%が最多。

●断熱材料

- 《屋根・天井》 ・ グラスウール・ロックウール 80%が最多。
 - ・ 地域別に見ても北海道含め全地域でグラスウール・ロックウールが最多。
- 《 外 壁 》 ・ グラスウール・ロックウール 80%最多。
 - ・ 地域別に見ても北海道含め全地域でグラスウール・ロックウールが最多。
- 《 床 》 ・ 発泡プラスチック系断熱材(ボード状) 77%が最多。
 - ・ 北海道地域は床断熱のいずれの工法もグラスウール・ロックウールが最多。
- 《 基 礎 》 ・ 発泡プラスチック系断熱材(ボード状) 85%が最多。
 - ・ 地域別に見ても北海道含め全地域で発泡プラスチック系断熱材(ボード状)が最多。

● 取合い部分における断熱工法、断熱材料

《外壁×屋根・天井》断熱工法

- ・ 全体では外壁の断熱工法の種類に関わらず天井断熱との組合せが最多。外壁外張断熱では外張同士となる屋根野地上断熱との組合せより、天井断熱との組合せの方が多。
- ・ 地域別に見ても北海道含め全地域で外壁の断熱工法の種類に関わらず天井断熱との組合せが最多。

《外壁×床・基礎》断熱工法

- ・ 外壁充填断熱は全体では根太間充填断熱との組合せが最多。地域別では全体と異なり、北海道地域は基礎断熱との組合せが最多。
- ・ 外壁外張断熱は全体では基礎断熱との組合せが最多。地域別では近畿、中国、四国、九州・沖縄が全体と異なり根太間充填断熱との組合せが最多。
- ・ 外壁充填外張併用断熱は全体では基礎断熱との組合せが最多。地域別では関東、北陸、近畿、中国九州・沖縄が全体と異なり根太間充填断熱との組合せが最多。
- ・ 北海道地域は他の地域と異なり外壁のいずれの断熱工法との組合せについても基礎断熱が最多。

《外壁×屋根・天井》断熱材料

- ・ 外壁と屋根・天井の断熱材料の組合せは、グラスウール・ロックウール同士、発泡プラスチック系断熱材(ボード状)同士、その他の断熱材料同士というように、全体では同じ断熱材料同士の組合せが最多。地域別でも北海道地域を除き、同じ断熱材料同士の組合せが最多。
- ・ 北海道地域は外壁が発泡プラスチック系断熱材(ボード状)であっても屋根・天井はグラスウール・ロックウールとする組合せが最多。

《外壁×床・基礎》断熱材料

- ・ 外壁の断熱材料の種類に関わらず床・基礎を発泡プラスチック系断熱材(ボード状)とする組合せが最多。
- ・ 地域別に見ても北海道含め全地域で、外壁の断熱材料の種類に関わらず床・基礎を発泡プラスチック系断熱材(ボード状)とする組合せが最多。

3) 現場施工者は正しい断熱施工の方法を把握しているか。

受講後、普段の施工方法で勘違い等があったとしたもの、また受講内容で施工を行う場合の手間賃増減については以下の通りであった。北海道地域は講習内容レベルの断熱施工に慣れていることが影響していると考えられ、その他の地域とは結果が異なっている。傾向は昨年度と同様であった。

●正しく施工できていなかった部分(施工技術者講習内容を基準として)

- ・正しく施工できていなかった部分は、気流止め 38%、筋かい部 30%が多い。
- ・北海道地域は無回答 67%でその他の地域より回答が少ないことから断熱施工に慣れていることが影響していると考えられる。

●受講して難しい、やりにくいと感じた部分(施工技術者講習内容を基準として)

- ・難しい、やりにくいと感じた部分は、筋かい部 33%、気流止め 25%が多い。
- ・北海道地域は無回答 57%でその他の地域より回答が少ないことから断熱施工に慣れていることが影響していると考えられる。

●断熱施工の手間賃増減(施工技術者講習内容で施工を行う場合)

- ・受講内容で断熱施工を行う場合、人工増 43%が最多、ほとんど変わらない 29%、人工減 1%、無回答 27%であった。
- ・人工増の回答について、坪あたり平均 1.4 人工増であった。
- ・人工増の回答は講習内容の施工をしていないと言える。
- ・北海道地域は、ほとんど変わらない 58%が最多でその他地域と異なる。普段から講習内容程度の施工を行っていると考えられる。

4) 設計者、現場管理者は断熱仕様の担保に何を用いているか。

- ・断熱仕様を担保するものとして、断熱仕様を記載する図面、現場チェックに使う図面に何を用いているかを把握した。
- ・矩計図 66%、仕上表 56%、特記仕様書 37%が多い。
(屋根・天井の結果。外壁、床・基礎もほぼ同じ結果)
- ・床・基礎部分について「その他」の記述では、基礎伏図を主とした構造関連図書(5%)が目立つ。

5) 多用される省エネレベルは何か。

- ・多用される省エネレベルは次世代省エネ 60%、新省エネ 24%、旧省エネ 6%であった。
- ・次世代省エネは北海道が 71%、北陸が 70%であった。

6) 性能を把握するための計算がどれくらい行われているか。

- ・断熱性能値について計算経験があるのはQ値 37%、年間冷暖房負荷 14%、U値 18%、R値 22%であった。
- ・北海道地域はQ値 74%を筆頭に全ての項目について全体より高い割合となっている。断熱設計への積極的な取り組みが伺える。

7) 省エネ設計・施工の情報はどこから得ているのか。

- ・断熱・施工方法に関する情報の主な入手先は、建材・設備メーカーの講習会・マニュアルから 38%が最多、実際に現場で使用する具体的な建材、工法とメーカーとは直結するため、このような結果になったと考えられる。

8) 最適な断熱住宅の普及・建設にはどの分野の意識啓発が必要か。

- ・意識啓発が必要とされる分野は現場施工者 52%が最多、現場管理者、設計者共 41%であった。いずれも昨年度から増えている。
- ・建築主も昨年度 13%から 22%に増えている。省エネの為に望ましい水準の断熱施工はこれまでより施工手間増・コスト増が発生し得ること、そのことで建物の省エネ性能が高まることは建築主にとってもメリットであることのエンドユーザーへの周知は重要である。

6. 講習内容・資料検討に関する調査結果

(1) 施工技術者講習

①講習会資料(テキスト、DVD、カットモデル)

1) 施工技術者講習テキスト

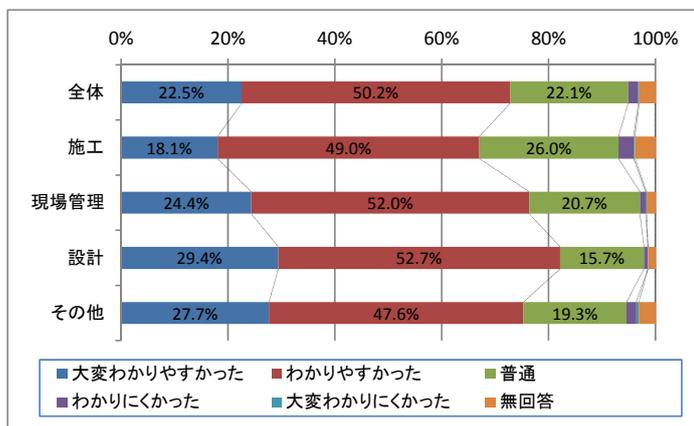
テキストはほとんどの受講者がわかりやすい、あるいは普通と感じており、構成・内容は適切であったと言える。

自由記述では、「テキストが非常にわかりやすくできているので聞き逃しがあっても安心」、「チェックリストは良い」、「端部納まりなどの図示写真等がありわかりやすい」という感想が見られた。一方、「掲載写真が粗い」という指摘や、「温熱地域毎にテキストを分けてほしい」、「充填断熱と外張断熱にテキストを分けてほしい」という要望があった。

職種別にみると、わかりやすかったと感じた割合について施工は全体より低く、現場管理と設計は全体より高かった。



図 6-1-1a テキストのわかりやすさ



	合計 (回答数)	テキスト (%)					
		大変 わかりや すかった	わかりや すかった	普通	わかりに くかった	大変 わかりに くかった	無回答
全体	13,327	22.5	50.2	22.1	1.9	0.2	3.0
施工	5,595	18.1	49.0	26.0	2.9	0.3	3.8
(全体との差)		-4.5	-1.2	+3.9	+1.0	+0.0	-
現場管理	4,380	24.4	52.0	20.7	1.1	0.2	1.6
(全体との差)		+1.8	+1.7	-1.4	-0.7	-0.0	-
設計	1,790	29.4	52.7	15.7	0.7	0.1	1.4
(全体との差)		+6.8	+2.5	-6.4	-1.1	-0.2	-
その他	1,369	27.7	47.6	19.3	1.8	0.4	3.1
(全体との差)		+5.1	-2.6	-2.8	-0.0	+0.2	-

図 6-1-1b 職種別でのテキストのわかりやすさ

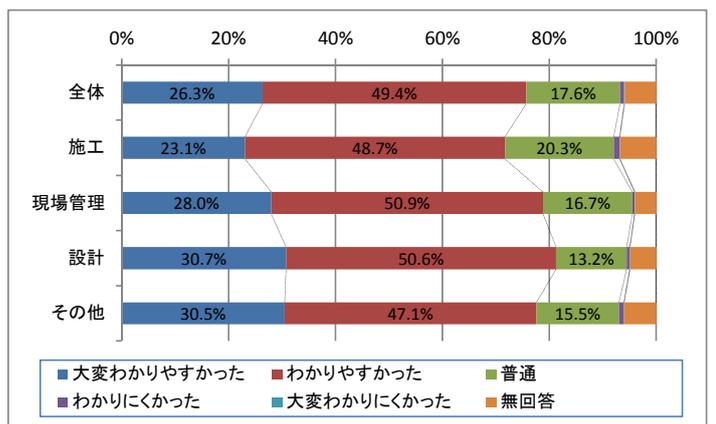
2) 施工技術者講習 施工DVD

テキストと同様、DVDについても多くの受講者がわかりやすい、あるいは普通と感じている。自由記述では、「DVDの方が言葉や図よりわかりやすく、DVDを見ながらの解説でも良いと思う」という意見があった。

職種別もテキストと同様に、わかりやすかったと感じた割合について施工は全体より低く、現場管理と設計は全体より高かった。



図 6-1-2a DVDのわかりやすさ



	合計 (回答数)	DVD (%)					
		大変 わかりや すかった	わかりや すかった	普通	わかりに くかった	大変 わかりに くかった	無回答
全体	13,327	26.3	49.4	17.6	0.8	0.1	5.9
施工	5,595	23.1	48.7	20.3	1.1	0.1	6.7
(全体との差)		-3.3	-0.7	+2.8	+0.3	+0.0	-
現場管理	4,380	28.0	50.9	16.7	0.4	0.0	4.0
(全体との差)		+1.6	+1.5	-0.9	-0.3	-0.1	-
設計	1,790	30.7	50.6	13.2	0.6	0.1	4.9
(全体との差)		+4.4	+1.2	-4.4	-0.2	+0.0	-
その他	1,369	30.5	47.1	15.5	0.9	0.1	6.0
(全体との差)		+4.1	-2.3	-2.1	+0.1	-0.0	-

図 6-1-2b 職種別でのDVDのわかりやすさ

3) 施工技術者講習用カットモデル

カットモデルも多くの受講者がわかりやすい、あるいは普通と感じている。尚、北海道地域の講習ではカットモデルを使用していない。

自由記述では、「カットモデルは最新版に作り直した方が良い」という意見があった。

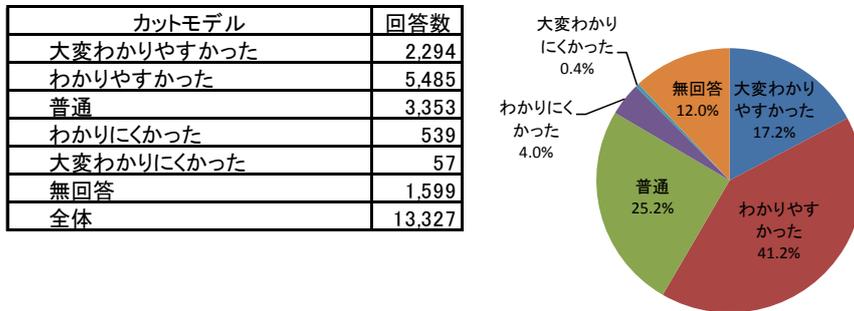


図 6-1-3a カットモデルのわかりやすさ

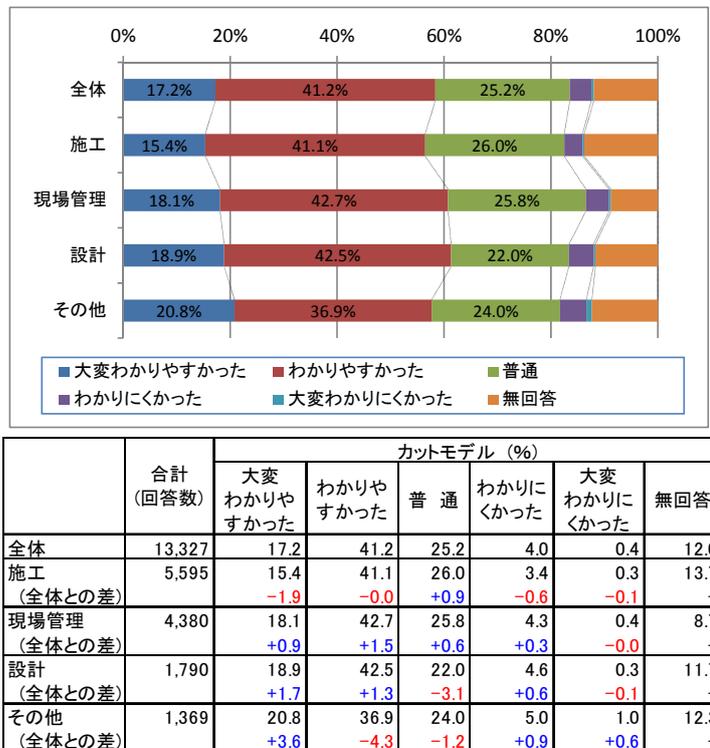


図 6-1-3b 職種別でのカットモデルのわかりやすさ

4) 施工技術者講習資料への意見、要望

施工技術者講習資料について、自由記述では以下のような意見、要望があった。

(全 100 回答を整理)

()内は回答数
●資料全般(9)
【好評】 わかりやすいテキスト・DVDができ感謝、活用していきたい。DVD、テキスト、模型の三重でわかりやすい。テキスト・DVD・カットモデルで十分に説明がされていて頭に入りやすい。
【不評】 模型がテキストの内容と異なり困惑。

●施工技術者講習テキスト(29)

【好評】テキストは非常にわかりやすく大変良い。施主への啓蒙にテキストを活用したい。わかりやすくできているので聞き逃しがあっても安心。チェックリストは良い。テキストは良くできている。端部納まり等の図示写真等がありわかりやすい。

【不評】別冊の内容は難しいので具体例、事例を紹介してほしい。引用している表、グラフがかなり古いものが多い。掲載写真が不鮮明。テキストの誤りを早急に直したほうが良い。

【要望】地域毎に分かれているテキストがほしい。図はもう少し大きく詳細にしてほしい。写真をより大きく鮮明にしてもらえるとわかりやすい。テキストは充填断熱と外張断熱は完全に別にした方がわかりやすい。テキストを簡素化し時間内に終わるようにしてほしい。

●DVD(13)

【好評】DVDはわかりやすい。DVD講義の方がわかりやすい。DVDの方が言葉、図よりわかりやすい、DVDを見ながらの解説でもよいと思う。

【不評】DVDの内容の質の低さがっかり、間違いが多過ぎる。全体的内容をもっと専門的にすべき。断熱材施工時にはマスクは必要。筋カイ金物が少ないと思う。

【要望】H11ではなく最新のH25に撮ったDVDが見られたら良かった。画質向上。

●カットモデル(27)

【好評】模型の説明はとても良く理解できた。テキストのみよりわかりやすい。模型は良かった。モデルを見て実際のイメージに近いかたちで受講できた。

【不評】模型が不十分。模型が小さく解りにくい。模型をキチンと作り、キチンと説明してもらいたい。模型は間違った施工もあった。模型のリアル感が無く、細かい所がわかりづらい。カットモデルは最新版に作り直した方が良い。

【要望】模型はもっと大きい方が良い。模型は実物の方が良い。模型による解説と実際にきちんと施工されている現場を見る事ができれば施工精度の向上につながると思う。模型での講義をもう少し詳しく行ってほしい。カットモデルの中に入って見学したかった。

●他の資料・説明の要望(11)

- ・現場用の簡単で使いやすい説明書、マニュアル。
- ・各断熱工法の標準コスト、性能差とコスト差。安くて良い方法。
- ・U値等の計算ソフト。
- ・結露発生の実験のビデオがあればもっと参考になる。

②講習内容、説明方法

1) 「第1章 これからの住まいの省エネ化」について

「第1章 これからの住まいの省エネ化」については約2割の受講者が難しいと感じている。職種別でみると難しいと感じた割合は施工が全体より高く、現場管理・設計は低い。地域別では北海道、東北地域は難しいと感じた割合が他地域に比べて低い。

これからの住まいの省エネ化について (テキスト第1章)	回答数
難しかった	2,776
難しいとは思わない	9,516
易しい	620
無回答	415
全体	13,327

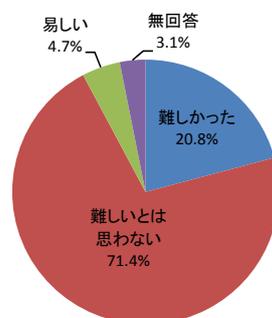


図 6-1-4a 「第1章 これからの住まいの省エネ化」について

	合計 (回答数)	これからの住まいの省エネ化について (テキスト第1章) (%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	13,327	20.8	71.4	4.7	3.1
施工 (全体との差)	5,595	24.9 +4.0	67.3 -4.1	3.9 -0.8	3.9
現場管理 (全体との差)	4,380	17.9 -2.9	76.0 +4.6	4.4 -0.2	1.7
設計 (全体との差)	1,790	14.3 -6.5	77.8 +6.4	6.3 +1.7	1.6
その他 (全体との差)	1,369	21.9 +1.1	68.4 -3.0	6.8 +2.1	2.8

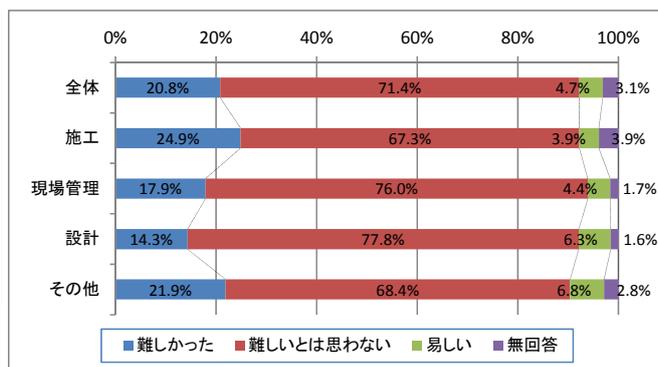


図 6-1-4b 職種別の「第1章 これからの住まいの省エネ化」について

	合計 (回答数)	これからの住まいの省エネ化について (テキスト第1章) (%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	13,327	20.8	71.4	4.7	3.1
北海道 (全体との差)	397	16.4 -4.5	75.8 +4.4	6.3 +1.6	1.5
東北 (全体との差)	1,816	16.2 -4.6	75.6 +4.1	4.4 -0.3	3.9
関東 (全体との差)	3,784	19.9 -0.9	71.2 -0.2	5.5 +0.8	3.4
北陸 (全体との差)	679	26.8 +6.0	66.3 -5.1	4.0 -0.7	2.9
中部 (全体との差)	1,844	21.4 +0.5	71.0 -0.4	5.2 +0.5	2.4
近畿 (全体との差)	1,401	20.6 -0.2	71.2 -0.2	5.3 +0.6	2.9
中国 (全体との差)	1,186	26.0 +5.1	68.6 -2.8	2.6 -2.0	2.8
四国 (全体との差)	671	24.0 +3.2	69.3 -2.1	3.4 -1.2	3.3
九州・沖縄 (全体との差)	1,549	21.3 +0.5	71.8 +0.4	3.8 -0.8	3.1

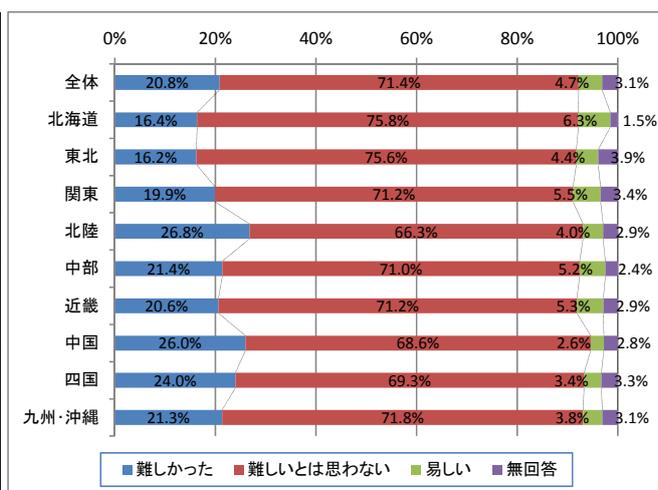


図 6-1-4c 地域別の「第1章 これからの住まいの省エネ化」について

2) 「第2章 住宅の断熱設計」「第3章 住宅の断熱施工」について

「第2章 住宅の断熱設計」「第3章 住宅の断熱施工」については24.2%の受講者が難しいと感じている。職種別にみると難しいと感じた割合は施工が全体より高く、現場管理・設計は少ない。地域別では北海道、東北地域は難しいと感じた割合が他地域に比べて低い。第1章と同様であった。

省エネ住宅の設計/施工について (テキスト第2・3章)	回答数
難しかった	3,231
難しいとは思わない	9,120
易しい	516
無回答	460
全体	13,327

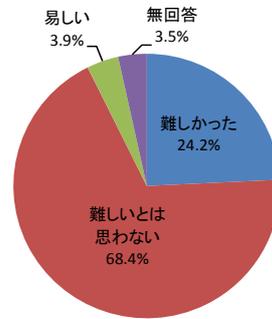


図 6-1-5a 「第2章 住宅の断熱設計」「第3章 住宅の断熱施工」について

	合計 (回答数)	省エネ住宅の設計/施工について (テキスト第2・3章) (%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	13,327	24.2	68.4	3.9	3.5
施工 (全体との差)	5,595	27.4 +3.2	64.7 -3.7	3.3 -0.5	4.5 -
現場管理 (全体との差)	4,380	22.2 -2.1	72.3 +3.8	3.9 +0.0	1.6 -
設計 (全体との差)	1,790	16.4 -7.9	76.6 +8.2	5.5 +1.7	1.5 -
その他 (全体との差)	1,369	28.1 +3.9	64.4 -4.1	4.2 +0.3	3.4 -

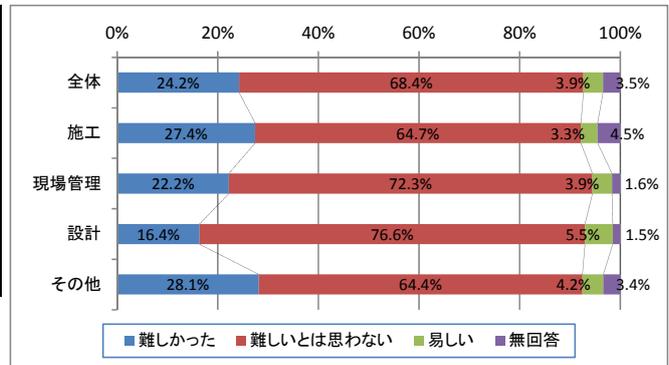


図 6-1-5b 職種別の「第2章 住宅の断熱設計」「第3章 住宅の断熱施工」について

	合計 (回答数)	省エネ住宅の設計/施工について (テキスト第2・3章) (%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	13,327	24.2	68.4	3.9	3.5
北海道 (全体との差)	397	17.4 -6.9	76.1 +7.6	5.0 +1.2	1.5 -
東北 (全体との差)	1,816	18.2 -6.1	73.8 +5.4	3.6 -0.3	4.4 -
関東 (全体との差)	3,784	22.7 -1.6	69.0 +0.5	4.7 +0.8	3.7 -
北陸 (全体との差)	679	31.5 +7.3	62.6 -5.8	2.9 -0.9	2.9 -
中部 (全体との差)	1,844	24.0 -0.3	69.0 +0.5	4.3 +0.4	2.8 -
近畿 (全体との差)	1,401	25.7 +1.5	67.2 -1.2	4.0 +0.1	3.1 -
中国 (全体との差)	1,186	30.5 +6.3	63.4 -5.0	2.4 -1.5	3.7 -
四国 (全体との差)	671	28.9 +4.7	65.3 -3.2	2.5 -1.3	3.3 -
九州・沖縄 (全体との差)	1,549	26.0 +1.7	67.0 -1.4	3.5 -0.4	3.6 -

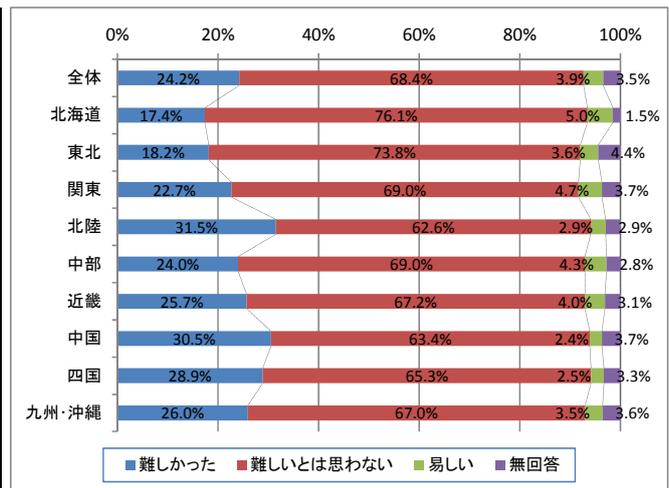


図 6-1-5c 地域別の「第2章 住宅の断熱設計」「第3章 住宅の断熱施工」について

3) 別冊テキスト「省エネ基準と関連制度」について

別冊テキスト「省エネ基準と関連制度」については30.8%の受講者が難しいと感じている。職種別でみると難しいと感じた割合は施工が全体より高く、現場管理・設計は低い。地域別では北海道、東北地域は難しいと感じた割合が他地域に比べて低い。第1～3章と同様であった。

別冊テキスト「省エネ基準と関連制度」の内容は第2章より更に設計者向けの内容であることが要因と考えられる。

省エネ基準と関連制度について (別冊テキスト)	回答数
難しかった	4,101
難しいとは思わない	8,271
易しい	435
無回答	520
全体	13,327

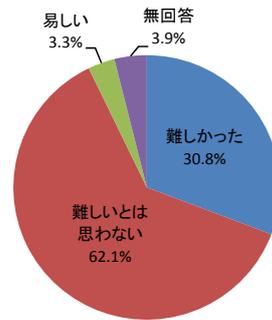


図 6-1-6a 別冊テキスト「省エネ基準と関連制度」について

	合計 (回答数)	省エネ基準と関連制度について (別冊テキスト) (%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	13,327	30.8	62.1	3.3	3.9
施工 (全体との差)	5,595	34.6 +3.8	57.6 -4.5	2.7 -0.6	5.1 -
現場管理 (全体との差)	4,380	28.7 -2.1	66.1 +4.1	3.2 -0.0	1.9 -
設計 (全体との差)	1,790	23.4 -7.4	69.8 +7.7	4.8 +1.5	2.1 -
その他 (全体との差)	1,369	31.8 +1.1	60.6 -1.4	3.9 +0.6	3.7 -

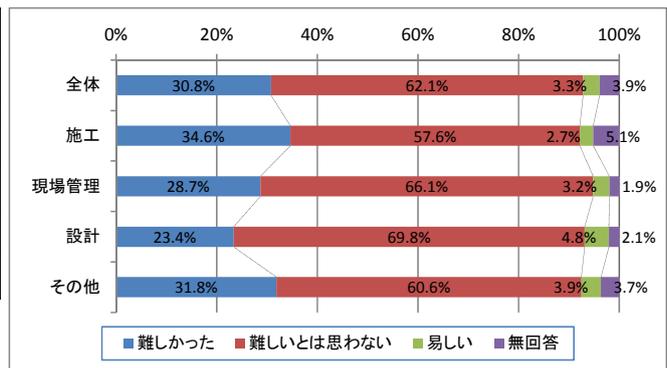


図 6-1-6b 職種別の別冊テキスト「省エネ基準と関連制度」について

	合計 (回答数)	省エネ基準と関連制度について (別冊テキスト) (%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	13,327	30.8	62.1	3.3	3.9
北海道 (全体との差)	397	27.2 -3.6	67.5 +5.4	3.8 +0.5	1.5 -
東北 (全体との差)	1,816	27.2 -3.6	64.7 +2.6	3.2 -0.0	4.8 -
関東 (全体との差)	3,784	30.0 -0.8	62.1 -0.0	3.8 +0.5	4.2 -
北陸 (全体との差)	679	36.7 +5.9	57.0 -5.1	2.8 -0.5	3.5 -
中部 (全体との差)	1,844	31.3 +0.6	61.8 -0.3	3.8 +0.5	3.1 -
近畿 (全体との差)	1,401	30.5 -0.3	62.8 +0.8	3.1 -0.2	3.6 -
中国 (全体との差)	1,186	33.6 +2.8	60.4 -1.7	2.3 -1.0	3.8 -
四国 (全体との差)	671	34.3 +3.5	59.5 -2.6	2.1 -1.2	4.2 -
九州・沖縄 (全体との差)	1,549	31.2 +0.4	61.9 -0.2	3.0 -0.3	3.9 -

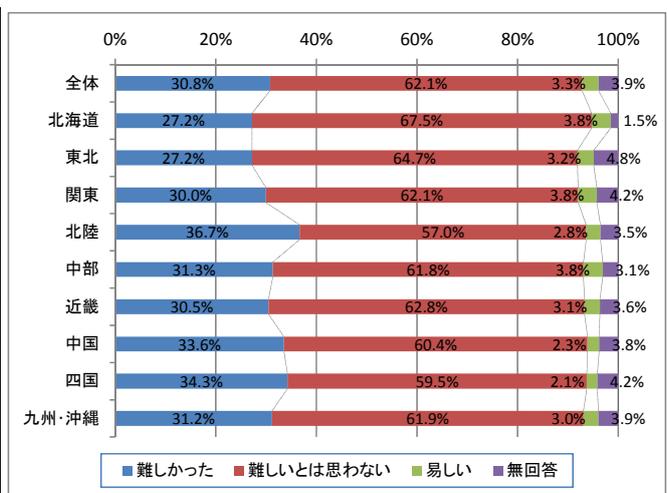


図 6-1-6c 地域別の別冊テキスト「省エネ基準と関連制度」について

4) 「第4章 住宅の断熱リフォーム」について

「第4章 住宅の断熱リフォーム」については 26.6%の受講者が難しいと感じている。職種別でみると難しいと感じた割合は施工が全体より高く、現場管理・設計は低い。第1～3章と同様であった。地域別でみると北海道地域は難しいと感じた割合が他地域に比べて低い。

リフォームについて (テキスト第4章)	回答数
難しかった	3,542
難しいとは思わない	8,642
易しい	506
無回答	637
全体	13,327

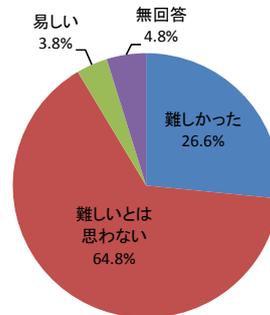


図 6-1-7a 「第4章 住宅の断熱リフォーム」について

	合計 (回答数)	リフォームについて (テキスト第4章) (%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	13,327	26.6	64.8	3.8	4.8
施工 (全体との差)	5,595	29.8 +3.3	61.0 -3.8	3.4 -0.4	5.7
現場管理 (全体との差)	4,380	24.5 -2.0	69.3 +4.4	3.6 -0.2	2.6
設計 (全体との差)	1,790	21.4 -5.2	69.4 +4.6	5.1 +1.3	4.0
その他 (全体との差)	1,369	27.1 +0.5	63.3 -1.6	4.6 +0.8	5.0

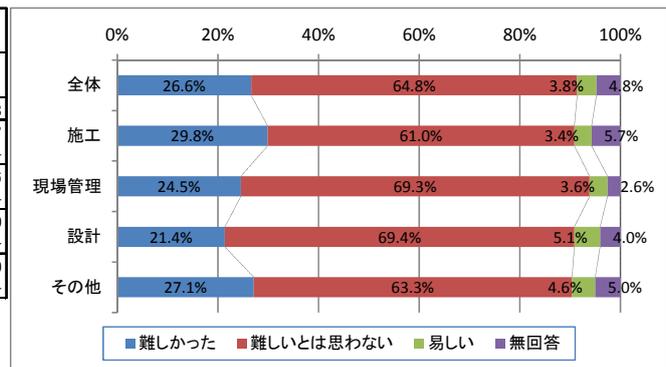


図 6-1-7b 職種別の「第4章 住宅の断熱リフォーム」について

	合計 (回答数)	リフォームについて (テキスト第4章) (%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	13,327	26.6	64.8	3.8	4.8
北海道 (全体との差)	397	16.1 -10.5	75.8 +11.0	4.8 +1.0	3.3
東北 (全体との差)	1,816	23.1 -3.4	68.2 +3.3	3.4 -0.4	5.3
関東 (全体との差)	3,784	25.3 -1.2	65.6 +0.7	4.5 +0.7	4.6
北陸 (全体との差)	679	31.1 +4.5	61.6 -3.3	2.9 -0.9	4.4
中部 (全体との差)	1,844	27.9 +1.4	63.4 -1.4	4.3 +0.5	4.3
近畿 (全体との差)	1,401	27.5 +0.9	64.7 -0.2	3.7 -0.1	4.1
中国 (全体との差)	1,186	29.6 +3.0	61.7 -3.1	3.0 -0.8	5.7
四国 (全体との差)	671	32.8 +6.2	59.9 -4.9	2.4 -1.4	4.9
九州・沖縄 (全体との差)	1,549	26.9 +0.3	64.2 -0.7	3.4 -0.4	5.5

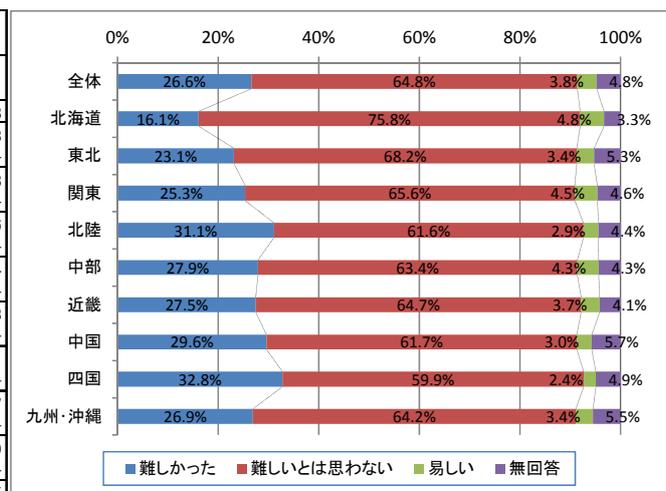


図 6-1-7c 地域別の「第4章 住宅の断熱リフォーム」について

5) 講習内容、説明方法への意見、要望

施工技術者講習における講習内容、説明方法について、自由記述では以下のような意見、要望があった。(全 297 回答を整理)

()内は回答数

●内容重複 不評(25)

- ・講義、DVD、模型解説で重複している。
- ・重複を省いた時間で他のことを詳しく説明できる。
- ・DVDでほとんど内容が分かる。
- ・DVDは配布するので、講習中の放映は不要。
- ・考査解説は問題とテキストと同じことを2度も読む必要はない。 等

●読み上げる講習 不評(33)

- ・テキストを読み上げるだけなら、テキスト配布だけで良い、講師不要、DVDを観るだけで良い、長い時間は必要無い、物足りない、講習会の意味が無い、わざわざ時間を割いて来ている受講者に失礼、印象に残るものが無い、ポイントを説明するほうが理解度は上る、重要なポイントが全く分からない。
- ・講師の体験談や考えを聞きたい、プラスアルファの内容、テキストには無い情報がほしい。掘り下げる部分がもう少し有った方が良い。
- ・講師の伝え方で伝えてもらった方が記憶に残る。 等

●要望 ポイントを絞った説明(11)

- ・ポイントを教えて欲しい。特に注意が必要な所、重点項目を強調した方がわかりやすい。部分を集中的にする方が身に付く。
- ・もっと詳細な説明がほしい。ポイントを絞り込んだ深い話が良い。
- ・もう少し講習内容を整理してほしい。まとめてほしい。もう少し効率よくしてほしい。
- ・どうして必要なかを考えてもらえなければ解説とはならない、受講者用に要点をつめこんだレジメが必要。 等

●要望 説明順序(3)

- ・DVDは第3章の後が良い。まず聞いてから見る方が良い。
- ・第3章断熱施工の後に、施工DVDを見た方より理解が深まる。
- ・DVDを一番にした方が良い。

●要望 説明箇所がわかるように(2)

- ・資料説明はページの流れを説明しながらしてほしい。

●要望 DVD、パワーポイント等映像活用(15)

- ・DVDの方がわかりやすい、伝わりやすい、覚えやすい。DVDを見るだけで良い。DVDで講習した方が良い。
- ・DVDとテキスト同時進行のほうがわかりやすい。
- ・講習全般をDVD、重点や補足など要所を講師による形式が分かりやすい。短時間できる。
- ・プロジェクターとパワーポイント、OHPを説明に使った方がわかりやすい。 等

●要望 具体例、実例による説明(28)

- ・具体的な施工の説明ならもっとわかりやすい。現場写真等。
- ・テキスト通りの施工は技術的に厳しいのでその施工例、現場によって困難なこともあるので状況別の応用対処例の説明。
- ・充填、外張断熱等の施工内容をより詳しく説明。
- ・建具廻りの気密の納め方、電気配線や水廻り等の納まり、追加工事対応策など、様々な納まりの事例の説明。
- ・実際の現場、施工事例で良い例、悪い例。間違った施工により起きる問題の事例、データの説明。
- ・効率がよく低予算で出来る断熱・気密の施工例の説明。
- ・具体的な断熱材、気密材などの特性、メリット、デメリットの説明。
- ・モデルハウスによる現場説明、勉強会。 等

●要望 実習・実演のある講習(11)

- ・実際の現場講習が理解しやすい。
- ・自分たちで施工体験がしたい。実習だけで十分。実務的講習。
- ・特に注意が必要な箇所について実際に模型を使った作業を見たい。 等

●要望 新基準、関連制度の詳しい説明(25)

- ・H25 基準の詳しい説明がほしい。基準の背景、義務化がいつからかなど。U値について。
- ・低炭素について詳しく知りたい
- ・住宅省エネラベル、CASBEEにの利点等説明がほしい。 等

●要望 質疑応答の時間確保(13)

- ・質疑応答の時間が必要。
- ・質問受付時間が各章の後にあった方が良い。
- ・意見交換等あった方が良い。 等

- 要望 受講者の相談窓口(1)
 - ・今後の相談先などがあれば良い。

- 要望 講習資料の事前配付(2)
 - ・資料が自前にあれば良い。

- 要望 分割講習(8)
 - ・テキスト2冊を理解するには時間が無い、数回に分けて講習が必要。
 - ・何回かに分けて深く講義してほしい。テキストのページが多い。
 - ・1日では駆け足すぎる、2日間かけても良い。講習内容の密度と時間がアンバランス。 等

- 要望 講習会の次の開催、多数開催(12)
 - ・この様な講習会を今後も続けてほしい。また行ってほしい。定期的に行ってほしい。もっと行ってほしい。いろいろな所で行ってほしい。 等

- 要望 より詳しい内容の講習(27)
 - ・特殊なおさまりの施工例などの講習。下屋、バルコニー他の納まり。外張り断熱の時の下屋から外壁の通気する部分の取り合い。透湿防水シートと屋根ルーフィングの絡む所の重なりが上手くいく方法。
 - ・クラック、スリーブのすき間、水まわり配管配線の工法説明。
 - ・基礎断熱を内貼りや外貼りにする場合の白アリ対策。
 - ・別冊テキストの詳しい説明。一次エネルギーと外皮について。断熱材の仕様規定ではなく性能で選べる事。
 - ・断熱性能の計算方法など詳しく説明ほしい。外皮性能の計算、一次エネルギー計算、Q値計算。
 - ・断熱と換気の講習がほしい。
 - ・高气密化、高断熱化によりコストUPについて。
 - ・もう少しレベルの高いものを期待。

- 要望 当該地域向け講習(1)
 - ・地域区分に対応した情報がほしい。しかったです。

- 要望 講習会の分化(6)
 - ・各業種別の講習会の方が良い。
 - ・充填断熱工法と外張り断熱工法で講習を分けてほしい。いろいろな工法について講習してほしい。
 - ・スキルによって講習に段階があれば良い。

●要望 施工者向け講習(2)

- ・大工職人の為の講習会を実施してほしい。
- ・専門用語等、ふだん実際に現場で使われている名称や商品名に置き換える施工者に理解されやすい。現場の技術がアップするような講習会を増やしてほしい。

●要望 設備、建材等他業種向け講習(6)

- ・設計士、施工管理士向け以外に他業種への講習も必要。
- ・施工だけではない営業レベル、業界全体の講習会を希望。
- ・講習会を工業系などの高等学校や専門学校で実施してほしい。
- ・設計者向け講習にも施工の方法の解説があると良い。

●要望 リフォーム向け講習(17)

- ・お客に説明できるようリフォームの重要性を詳しく聞きたい。
- ・ユーザーの部分リフォーム要望に今回の手法を用いた場合、構造体に出る影響をどう考えるのか教えてほしい。
- ・リフォームの実際の現場での応用例をもっと知りたい。
- ・リフォームの断熱化と気密化の具体的な施工法を知りたい。通気止めが難しい。
- ・床、基礎の断熱リフォームについて、布基礎の場合、ベタ基礎の場合の方法と、具体的な防湿換気方法を知りたい。
- ・真壁を残したままの断熱施工方法。真壁の充填断熱工法。通気層がない住宅の部分リフォーム。 等

●社内講習、社内情報共有(11)

- ・若い従業員に良い勉強の場となった。
- ・息子も大工なので受講を勧める。新人教育及び実務者研修として監督、大工を受講させたい。自社の人間も受講すべき。
- ・内容が多く1日では理解難しい、DVDがあれば社内講習できる。職人さんともDVDを見て勉強したい。従業員への指導に役立つ。テキストを参考に更に社内共有していく。
- ・社員(職人)、大工以外の業者の教育用にテキストを購入したい。 等

●要望 講習内容以外の説明(13)

- ・低炭素やゼロエネルギーの講習。
- ・最新の税金緩和、補助金制度、金利優遇等、お金に関する話。
- ・省エネ(断熱)とシックハウスを合わせた講習。気密住宅と換気方法の講習。太陽光の施工に関する研修。

- ・どの程度の数値であれば、室内が快適になるか、壁体内結露になりにくいのかの資料。 等

●講習内容への批判(11)

- ・レベルが低い。
- ・修了考査の為でなく理解度を高める講習会を望む。
- ・大工の作業内容に片寄っていたように思う。
- ・断熱材が中心で全体の施工面で不都合点が多かった。
- ・他の講習会では考査のポイントをアンダーラインにて指示をしてくれたが、この講習ではなかった。
- ・施工技術者講習ということだったんですが、どっちかと言うと設計管理よりな感じでした。施工的なものをもっとやるべき。たいしてタメになってない。
- ・資料を読めば事足りる解説内容でした。
- ・必要な内容について流し、不必要と思われる内容に時間を掛けており講習の質に関しては悪い。 等

●講習会意義への疑問(6)

- ・このレベルの事はⅢ地域以上では常識。この講習そのものの意義はあるのか。せめて質疑応答があれば講師の考え等もわかるが。
- ・国が先導している改正省エネ、ゼロエネ、L C C H等の講習なら理解できるが、11年基準の基本的なことの講習会の必要性に疑問。
- ・講習会の意味がよく理解できませんでした。
- ・形式的な考査や修了証は不用。
- ・修了者は有識者のほかにどんなメリットがあるのか。 等

●講習会内容 その他(8)

- ・講師は1人でいい。
- ・4時間位にまとめると講習会に参加しやすくなる。
- ・設計者、施工者が日常作業で出る意見をQ&A方式で。
- ・なぜこの講習会があり、どこまで大工さんはやらないといけなくなるのかを、もっとわかりやすく説明して欲しい。
- ・P Cタブレットが「気が散る」という理由で使えなくなるのは意味がわからない。机を分けるなどすればいいのでは。ワークスタイルを否定するならそれなりの理由、配慮は必要かと思う。
- ・個々に受講しなくても工務店単位もしくは現場管理者だけでいいのではないか。 等

③ 修了考査

1) 修了考査

施工技術者講習における修了考査について 17.2%の受講者が難しいと感じている。職種別でみると難しいと感じた割合は施工が全体より高く、現場管理・設計は低い。地域間の大きな差は見られない。

修了考査	回答数
難しかった	2,295
難しいとは思わない	7,855
易しい	1,323
無回答	1,854
全体	13,327

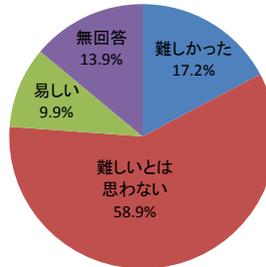


図 6-1-8a 修了考査について

	合計 (回答数)	修了考査について (%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	13,327	17.2	58.9	9.9	13.9
施工 (全体との差)	5,595	+4.2	-2.5	-2.6	-
現場管理 (全体との差)	4,380	-3.5	+4.8	+1.5	-
設計 (全体との差)	1,790	-7.6	+2.4	+5.1	-
その他 (全体との差)	1,369	+3.6	-4.9	-0.1	-

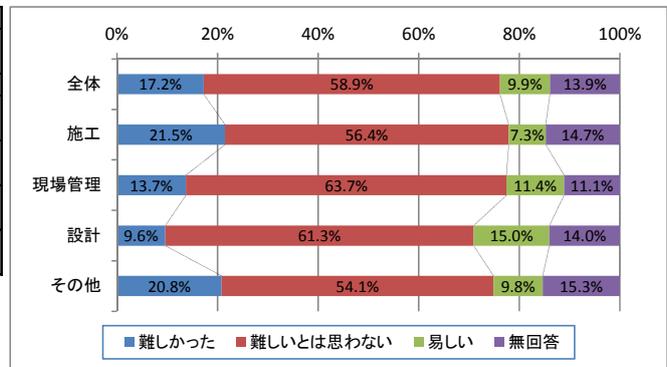


図 6-1-8b 職種別の修了考査について

	合計 (回答数)	修了考査について (%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	13,327	17.2	58.9	9.9	13.9
北海道 (全体との差)	397	+1.4	+0.8	-1.4	-
東北 (全体との差)	1,816	-2.5	+2.8	+1.1	-
関東 (全体との差)	3,784	+0.6	+0.9	-0.8	-
北陸 (全体との差)	679	+1.5	-1.7	+0.1	-
中部 (全体との差)	1,844	-1.1	-1.8	+2.0	-
近畿 (全体との差)	1,401	-0.3	+0.0	+1.1	-
中国 (全体との差)	1,186	+1.3	-0.0	-0.1	-
四国 (全体との差)	671	+2.3	-3.4	-3.5	-
九州・沖縄 (全体との差)	1,549	-0.0	-1.4	-0.7	-

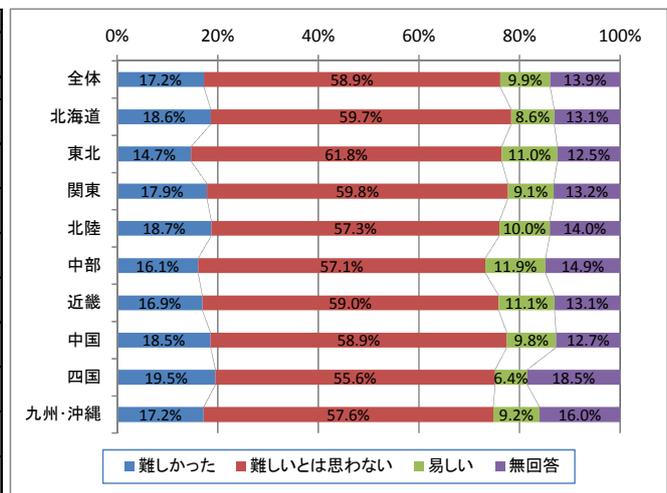


図 6-1-8c 地域別の修了考査について

2) 修了考査への意見、要望

施工技術者講習における修了考査について、自由記述では以下のような意見、要望があった。(全 11 回答を整理)

【好評】考査後の答え合わせは良い。

【不評】

- ・修了考査がむずかしすぎる、時間不足。テキストを見ても時間が足りない。テキストのどこに書いてあるか探すのに時間を取られた。
- ・修了考査が簡単すぎる、これでは断熱施工のレベルアップは無理。これで省エネ施工技術者と名のるのはどうかと思う。
- ・修了考査はしっかりしてほしい。

【要望】考査の時間がもう少し。各問題の解説の始めに○×(正解)を言ってほしい、または最初に解答表を配布してほしい。

④講師の説明

1) 講師の説明

施工技術者講習における講師の説明についてわかりやすい、または普通と感じている受講者が合わせて62.4%であった。

自由記述では、現場での経験談、実務に沿った説明、テキスト以外の内容をプラスアルファした説明は分かりやすいという感想が見られた。

一方不評であった点については、単に講師の声の大きさ、滑舌、話すテンポ、口癖に対する指摘以外に、話し方に講師のやる気のなさが表れているという指摘も見られた。また講師としての準備不足、トレーニング不足であった指摘、きちんと説明のできる講師の採用を求める意見があった。

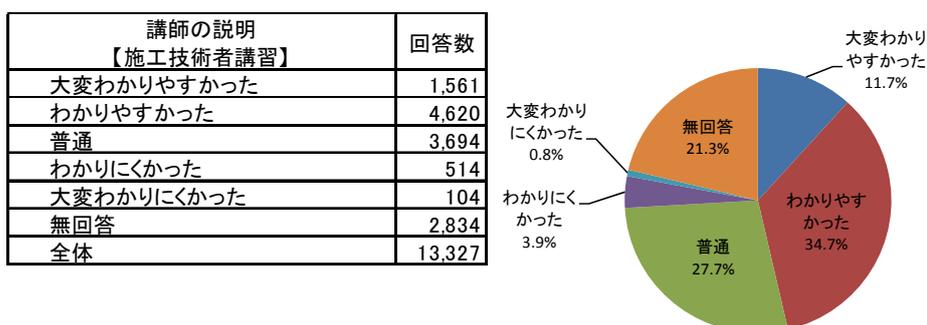


図 6-1-9 講師の説明について

2) 講師の説明への意見、要望

施工技術者講習における講師の説明について、自由記述では以下のような意見、要望があった。(全85回答を整理)

【好評】

- ・説明が良く、わかりやすかった。説明が明解で分かりやすい。ていねいな説明で良かった。話がうまかった。説明の仕方やスピードが丁度良く聞きやすかった。
- ・大工の講師の説明がわかりやすかった。現場を経験している人の話だったので良く理解できた。実務にそった説明がとてもわかりやすくポイントがおさえられていた。テキストの説明ばかりではなくコメントをつけてくれたのでわかりやすかった。現場での納まりを含めて話してくれたのでわかりやすかった。 等

【話し方】

- ・早口でよくわからない。滑舌が悪すぎる。声が聞き取りにくかった。説明に強弱が無い。ハキハキしゃべってほしい。「え～」とか「ま～」が多い。声が小さい。説明が淡々としすぎている。重要ポイントがどこなのか分かりにくかった。話し方が温和で眠気を誘う。話がだらだらと長く感じた。 等

- ・ 覇気のあるトーンで話してほしい、こなししてる感が強すぎる。話し方がだるそうなので聴いていて疲れる。
- ・ 話し方を勉強して欲しい。受講者に印象深い話し方(ストーリー組立、発声、ポイントクローズアップ等)。
- ・ 読み上げ間違いが多いため頭に入ってこない、不快。
- ・ テキストの記載内容を説明しているのか、テキストのどの部分を説明しているのか分かりにくい。ページ数を強く言ってほしい。
- ・ 講師の方が普段2"×4"に多く携わられている様で2"×4"工法の優位の説明が多い様感じた。

【質】

- ・ 説明が下手。文章を読むのが下手、スムーズでない。講師の上手・下手の差が顕著。はっきり教えてほしい。
- ・ 講師が勉強不足。読めない方が講師として説明を行って良いのか。講師の方が説明が誤っていたりよく理解できていないのでは。専門用語の漢字ぐらいまともに読んでほしい。
- ・ 講師はトレーニング必要、準備不足にも程がある。講師自ら「私も良く分からない」「私も始めて見た」等の発言はいかがなものか。
- ・ 講師に問題が有り。気合いの入った講師にしてほしい。講師を能力で選別してほしい。講師の選任を考慮してほしい、誰でも良いでは困る。
- ・ 講師の説明に事務局が補足説明をするのはどうかと思う。講師の立場が無く、補足するくらいなら自分が講師をすれば良い。 等

【進行】

- ・ アンダーライン引くなら、どこに引くか言ってほしい。
- ・ 時間厳守してほしい。タイムスケジュールがいい加減。講習時間内で説明できるよう講師研修を行った方が良い。
- ・ 模型解説時のパネル説明は、持ち上げて説明してほしい、全然見えなかった。 等

(2) 設計者講習

① テキスト、講義内容

1) 「設計計画編」について

「設計計画編」の講義は、およそ 1/4 の受講者が難しいと感じている。職種別でみると難しいと感じた割合は施工、現場管理が全体より高く、設計は低い。地域別では北海道、中国地域で難しいと感じた割合が他地域に比べて高い。

設計計画編	回答数
難しかった	2,152
難しいとは思わない	5,141
易しい	713
無回答	794
全体	8,800

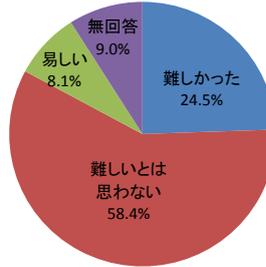


図 6-2-1a 「設計計画編」について

	合計 (回答数)	設計計画編 (%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	8,800	24.5	58.4	8.1	9.0
施工 (全体との差)	530	43.8 +19.3	40.0 -18.4	3.6 -4.5	12.6
現場管理 (全体との差)	1,369	32.9 +8.4	50.8 -7.7	5.0 -3.1	11.3
設計 (全体との差)	6,022	20.4 -4.0	62.5 +4.0	9.2 +1.1	7.9
その他 (全体との差)	821	27.6 +3.2	55.1 -3.4	8.6 +0.5	8.6

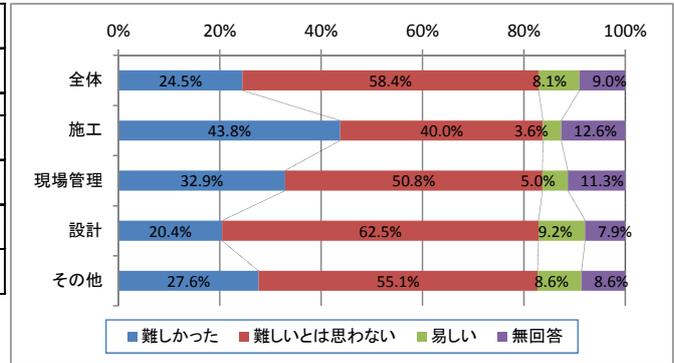


図 6-2-1b 職種別の「設計計画編」について

	合計 (回答数)	設計計画編 (%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	8,800	24.5	58.4	8.1	9.0
北海道 (全体との差)	394	27.9 +3.5	54.8 -3.6	3.3 -4.8	14.0
東北 (全体との差)	1,365	24.4 -0.1	59.4 +1.0	8.4 +0.2	7.8
関東 (全体との差)	1,998	23.2 -1.2	57.9 -0.6	9.7 +1.6	9.3
北陸 (全体との差)	722	23.1 -1.3	59.3 +0.9	9.3 +1.2	8.3
中部 (全体との差)	1,353	23.9 -0.6	59.9 +1.4	8.2 +0.1	8.1
近畿 (全体との差)	1,096	22.1 -2.4	60.6 +2.2	8.0 -0.1	9.3
中国 (全体との差)	687	31.9 +7.4	51.2 -7.2	7.4 -0.7	9.5
四国 (全体との差)	324	22.5 -1.9	60.5 +2.1	6.2 -1.9	10.8
九州・沖縄 (全体との差)	861	25.7 +1.2	59.0 +0.6	6.5 -1.6	8.8

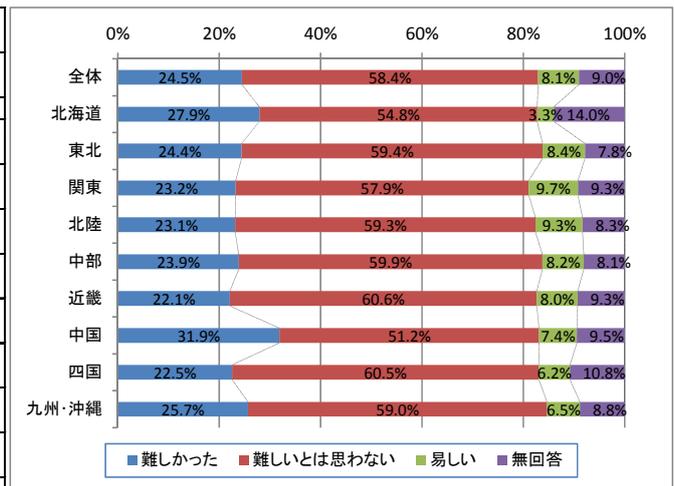


図 6-2-1c 地域別の「設計計画編」について

2) 「省エネ基準編 第1章 省エネ基準の概要」について

「省エネ基準編 第1章 省エネ基準の概要」の講義は、約3割の受講者が難しいと感じている。職種別にみると設計計画編と同様、難しいと感じた割合は施工、現場管理が全体より高く、設計は低い。地域別では中国地域で難しいと感じた割合が他地域に比べて高い。

省エネ基準編 第1章 省エネ基準の概要について	回答数
難しかった	2,622
難しいとは思わない	5,461
易しい	481
無回答	236
全体	8,800

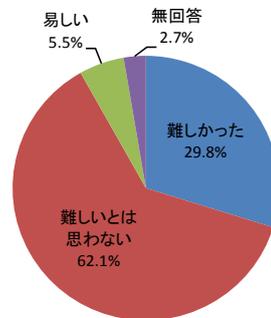


図 6-2-2a 「省エネ基準編 第1章 省エネ基準の概要」について

	合計 (回答数)	省エネ基準編 第1章 省エネ基準の概要について (%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	8,800	29.8	62.1	5.5	2.7
施工 (全体との差)	530	48.7 +18.9	44.9 -17.2	2.5 -3.0	4.0
現場管理 (全体との差)	1,369	37.3 +7.5	56.1 -6.0	4.2 -1.2	2.4
設計 (全体との差)	6,022	26.6 -3.2	65.3 +3.3	5.8 +0.3	2.3
その他 (全体との差)	821	29.2 -0.6	60.9 -1.2	7.3 +1.8	2.6

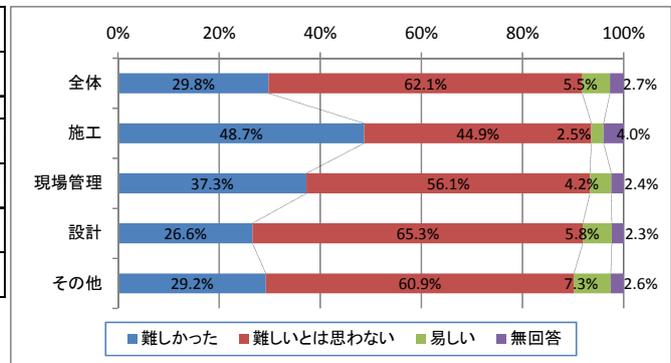


図 6-2-2b 職種別の「省エネ基準編 第1章 省エネ基準の概要」について

	合計 (回答数)	省エネ基準編 第1章 省エネ基準の概要について (%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	8,800	29.8	62.1	5.5	2.7
北海道 (全体との差)	394	31.5 +1.7	62.2 +0.1	2.3 -3.2	4.1
東北 (全体との差)	1,365	30.7 +0.9	60.4 -1.6	6.2 +0.8	2.6
関東 (全体との差)	1,998	29.3 -0.5	61.4 -0.6	6.8 +1.3	2.5
北陸 (全体との差)	722	29.6 -0.2	62.5 +0.4	6.6 +1.2	1.2
中部 (全体との差)	1,353	27.9 -1.9	63.9 +1.8	5.2 -0.2	3.0
近畿 (全体との差)	1,096	26.1 -3.7	66.5 +4.5	4.7 -0.8	2.7
中国 (全体との差)	687	37.0 +7.2	56.3 -5.7	4.5 -1.0	2.2
四国 (全体との差)	324	29.9 +0.1	60.5 -1.6	6.2 +0.7	3.4
九州・沖縄 (全体との差)	861	30.8 +1.0	62.4 +0.3	3.6 -1.9	3.3

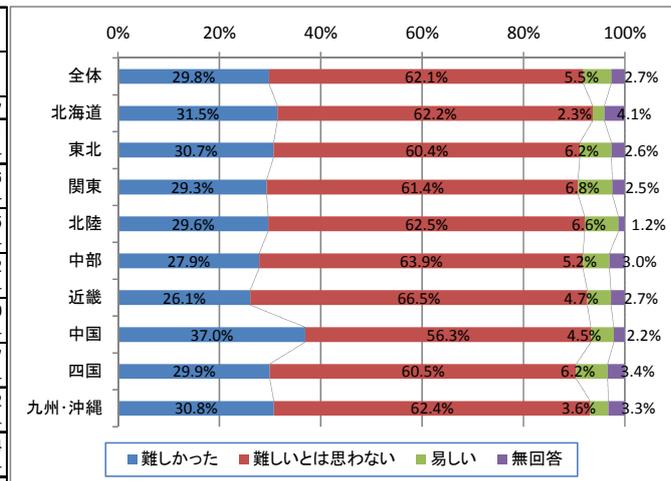


図 6-2-2c 地域別の「省エネ基準編 第1章 省エネ基準の概要」について

3) 「省エネ基準編 第2章 外皮性能基準」について

「省エネ基準編 第2章 外皮性能基準」の講義は、約半数の受講者が難しいと感じている。職種別でみると難しいと感じた割合は施工、現場管理が全体より高く、設計は低い。地域別では中国地域で難しいと感じた割合が他地域に比べて高く、第1章と同様であった。

具体的な外皮性能の計算手順の説明のため、難しいと感じる受講者が多くなったと思われる。自由記述では、テキストのページ間を行ったり来たりするので説明についていなくても大変だったというものもあり、そのことも難しいと感じることにつながっていると思われる。

省エネ基準編 第2章 外皮性能基準について	回答数
難しかった	4,255
難しいとは思わない	4,074
易しい	236
無回答	235
全体	8,800

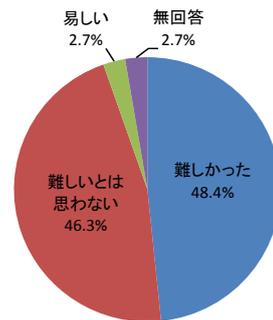


図 6-2-3a 「省エネ基準編 第2章 外皮性能基準」について

	合計 (回答数)	省エネ基準編 第2章 外皮性能基準について (%)			
		難し かった	難しいとは 思わない	易しい	無回答
全体	8,800	48.4	46.3	2.7	2.7
施工 (全体との差)	530	63.6 +15.2	30.2 -16.1	1.9 -0.8	4.3
現場管理 (全体との差)	1,369	56.0 +7.6	39.7 -6.6	1.9 -0.8	2.4
設計 (全体との差)	6,022	45.1 -3.3	49.8 +3.5	2.8 +0.1	2.3
その他 (全体との差)	821	50.8 +2.4	43.1 -3.2	3.8 +1.1	2.3

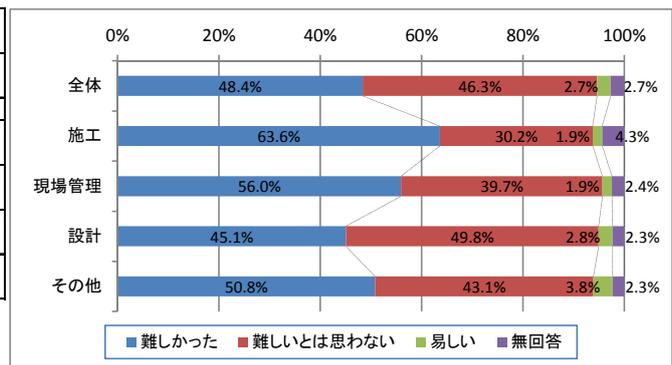


図 6-2-3b 職種別の「省エネ基準編 第2章 外皮性能基準」について

	合計 (回答数)	省エネ基準編 第2章 外皮性能基準について (%)			
		難し かった	難しいとは 思わない	易しい	無回答
全体	8,800	48.4	46.3	2.7	2.7
北海道 (全体との差)	394	43.4 -5.0	50.5 +4.2	2.3 -0.4	3.8
東北 (全体との差)	1,365	47.0 -1.3	47.3 +1.0	3.2 +0.5	2.6
関東 (全体との差)	1,998	47.3 -1.1	46.8 +0.6	3.5 +0.8	2.4
北陸 (全体との差)	722	52.1 +3.7	42.9 -3.4	3.2 +0.5	1.8
中部 (全体との差)	1,353	48.2 -0.2	46.3 +0.0	2.5 -0.2	3.0
近畿 (全体との差)	1,096	46.0 -2.4	49.0 +2.7	2.5 -0.2	2.6
中国 (全体との差)	687	56.0 +7.7	40.5 -5.8	1.2 -1.5	2.3
四国 (全体との差)	324	47.5 -0.8	45.7 -0.6	3.7 +1.0	3.1
九州・沖縄 (全体との差)	861	49.5 +1.1	45.8 -0.5	1.2 -1.5	3.6

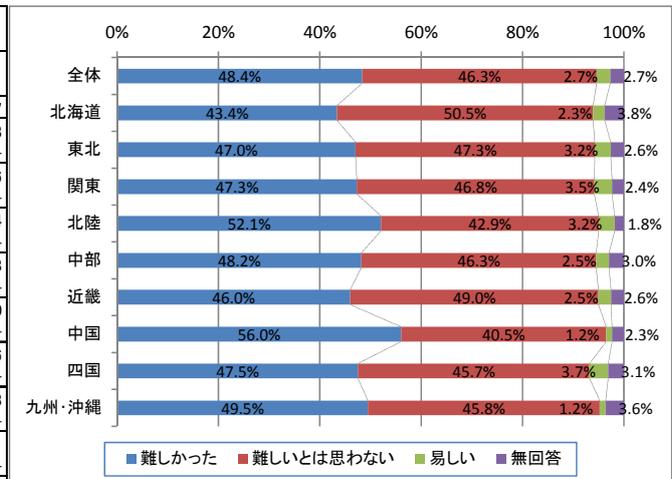


図 6-2-3c 地域別の「省エネ基準編 第2章 外皮性能基準」について

4) 「省エネ基準編 第3章 一次エネルギー消費量基準」について

「省エネ基準編 第3章 一次エネルギー消費量基準」の講義も、第2章と同様、約版数の受講者が難しいと感じている。職種別でみると難しいと感じた割合は施工、現場管理が全体より高く、設計は低く、地域別では中国地域が他地域に比べて高い点は、第1・2章と同様であった。

省エネ基準編 第3章 一次エネルギー消費量基準について	回答数
難しかった	3,896
難しいとは思わない	4,335
易しい	283
無回答	286
全体	8,800

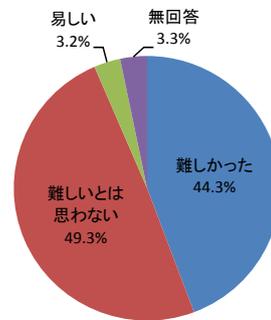


図 6-2-4a 「省エネ基準編 第3章 一次エネルギー消費量基準」について

	合計 (回答数)	省エネ基準編 第3章 一次エネルギー消費量基準について (%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	8,800	44.3	49.3	3.2	3.3
施工	530	61.7	31.7	2.3	4.3
(全体との差)		+17.4	-17.6	-1.0	-
現場管理	1,369	53.2	41.3	2.3	3.2
(全体との差)		+8.9	-8.0	-0.9	-
設計	6,022	40.3	53.4	3.3	3.0
(全体との差)		-3.9	+4.1	+0.1	-
その他	821	48.1	44.8	4.6	2.4
(全体との差)		+3.8	-4.4	+1.4	-

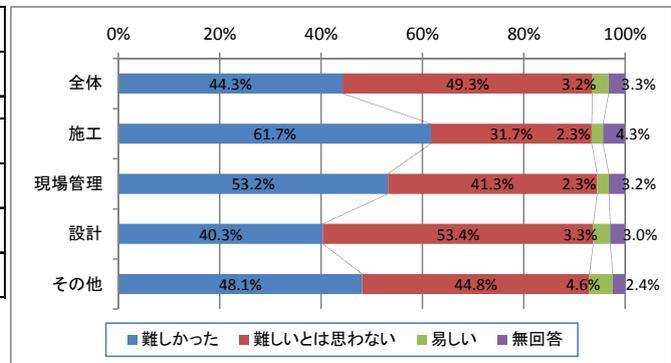


図 6-2-4b 職種別の「省エネ基準編 第3章 一次エネルギー消費量基準」について

	合計 (回答数)	省エネ基準編 第3章 一次エネルギー消費量基準について (%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	8,800	44.3	49.3	3.2	3.3
北海道	394	45.9	48.0	1.8	4.3
(全体との差)		+1.7	-1.3	-1.4	-
東北	1,365	45.4	48.2	3.5	2.9
(全体との差)		+1.1	-1.1	+0.3	-
関東	1,998	42.2	50.3	4.4	3.1
(全体との差)		-2.0	+1.0	+1.1	-
北陸	722	43.5	49.9	4.0	2.6
(全体との差)		-0.8	+0.6	+0.8	-
中部	1,353	44.8	49.0	2.7	3.5
(全体との差)		+0.5	-0.3	-0.5	-
近畿	1,096	40.8	52.9	3.2	3.1
(全体との差)		-3.5	+3.7	-0.0	-
中国	687	51.2	44.1	1.7	2.9
(全体との差)		+7.0	-5.2	-1.5	-
四国	324	42.6	50.3	3.7	3.4
(全体との差)		-1.7	+1.0	+0.5	-
九州・沖縄	861	45.8	48.1	1.9	4.3
(全体との差)		+1.5	-1.2	-1.4	-

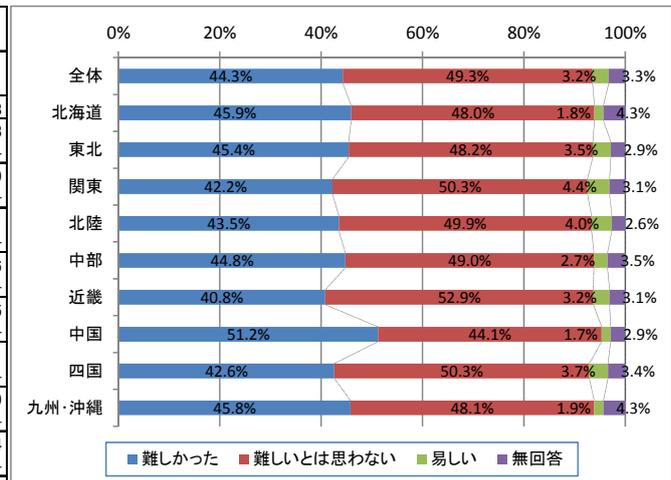


図 6-2-4c 地域別の「省エネ基準編 第3章 一次エネルギー消費量基準」について

5) 「省エネ基準編 第4章 設計・施工指針」について

「省エネ基準編 第4章 設計・施工指針」の講義は、約4割の受講者が難しいと感じている。職種別でみると難しいと感じた割合は施工、現場管理が全体より高く、設計は低く、地域別では中国地域が他地域に比べて高い点は、第1～3章と同様であった。

省エネ基準編 第4章 設計・施工指針について	回答数
難しかった	3,309
難しいとは思わない	4,827
易しい	300
無回答	364
全体	8,800

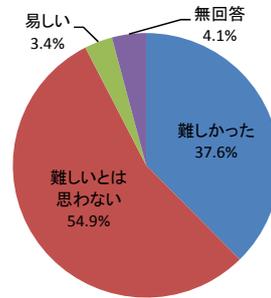


図 6-2-5a 「省エネ基準編 第4章 設計・施工指針」について

	合計 (回答数)	省エネ基準編 第4章 設計・施工指針について (%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	8,800	37.6	54.9	3.4	4.1
施工 (全体との差)	530	57.4 +19.8	35.7 -19.2	2.1 -1.3	4.9 -
現場管理 (全体との差)	1,369	45.0 +7.4	47.6 -7.2	2.6 -0.9	4.8 -
設計 (全体との差)	6,022	33.9 -3.7	58.9 +4.0	3.5 +0.1	3.7 -
その他 (全体との差)	821	40.1 +2.5	51.6 -3.2	5.0 +1.6	3.3 -

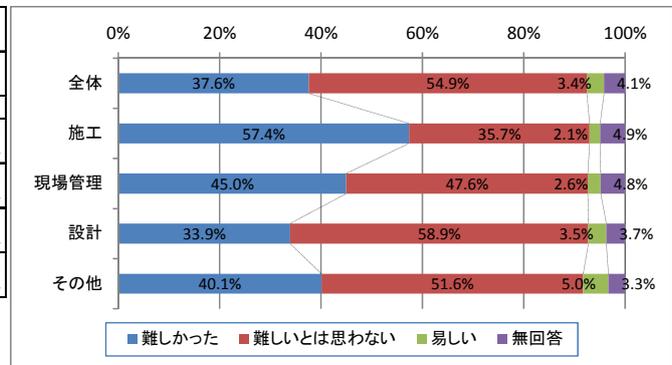


図 6-2-5b 職種別の「省エネ基準編 第4章 設計・施工指針」について

	合計 (回答数)	省エネ基準編 第4章 設計・施工指針について (%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	8,800	37.6	54.9	3.4	4.1
北海道 (全体との差)	394	36.8 -0.8	55.8 +1.0	2.0 -1.4	5.3 -
東北 (全体との差)	1,365	37.9 +0.3	54.7 -0.2	4.0 +0.5	3.5 -
関東 (全体との差)	1,998	36.7 -0.9	54.8 -0.1	4.7 +1.3	3.9 -
北陸 (全体との差)	722	39.2 +1.6	52.8 -2.1	3.7 +0.3	4.3 -
中部 (全体との差)	1,353	36.6 -1.0	56.3 +1.5	2.9 -0.5	4.2 -
近畿 (全体との差)	1,096	34.2 -3.4	58.4 +3.5	3.6 +0.1	3.8 -
中国 (全体との差)	687	44.8 +7.2	50.1 -4.8	1.6 -1.8	3.5 -
四国 (全体との差)	324	37.0 -0.6	54.6 -0.2	3.7 +0.3	4.6 -
九州・沖縄 (全体との差)	861	38.7 +1.1	53.8 -1.1	1.9 -1.6	5.7 -

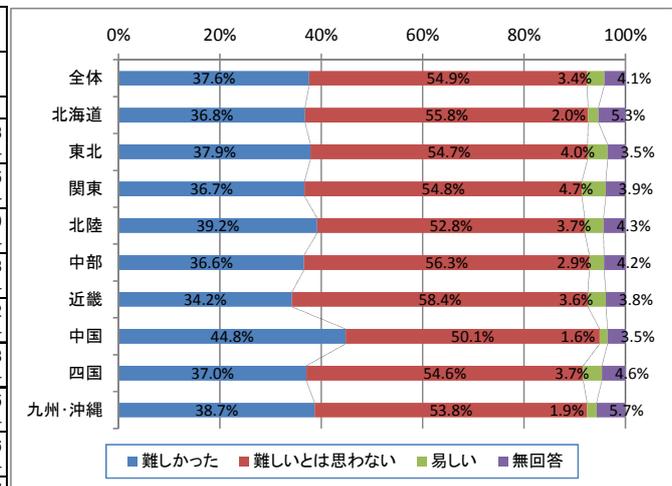


図 6-2-5c 地域別の「省エネ基準編 第4章 設計・施工指針」について

6) 設計者講習資料(テキスト)への意見、要望

設計者講習資料(テキスト)について、自由記述では以下のような意見、要望があった。(全476回答を整理)

- テキスト 設計計画編(10) ※()内は回答数
 - ・設計計画編は不要。設計者から見れば当然の内容。何が重要なのかわからなかった。全く何を言っているのかわからなかった。 等
- テキスト 省エネ基準編全般(2)
 - ・第3章はもう少し省略し案内のみで第2章を詳しくしてほしい。
 - ・いきなり外皮計算、一次エネルギーの説明よりも、H11年省エネの仕様規定→Q値→UA値の流れを説明しないとハードルが高い。
- テキスト 省エネ基準編第1章(1)
 - ・行政への提出書類作成はこのテキストでかなりスムーズに進められる。H25改正の理論や主旨は説明不足。
- テキスト 省エネ基準編第2章(34)
 - ・計算等分かりやすく今後大変役に立つ。短い時間なので仕方ないが外皮性能基準の説明が分かりにくい。外皮性能基準について詳しく知りたい。外皮の簡易計算法や付則(仕様基準)の位置づけがよくわからない。外皮計算の説明に時間が必要。実際に利用出来るようにならない。外皮性能基準のまとめ方のフローがあるとわかりやすい。テキストを飛び飛びで説明せず、計算の流れをじっくり説明する方がわかりやすいのでは。外皮計算時の参照項目をわかりやすくしてほしい。計算方法があり過ぎ結局何を使えばいいのかわからない。外皮の詳細計算法は実務ではとても非現実的な気がした。簡略計算法1が一番使えそう。外皮面積、基礎部分の説明をもう少し聞けると良かった。外皮面積の計算演習があっても良かったと思う。UA値計算等の時によく悩むところについて具体的な解説があると良かった。 等
- テキスト 省エネ基準編第3章(35)
 - ・WEBプログラムの説明は特に必要無い。入力方法は特に必要な点だけで良かった。WEBプログラムの使い方より注意事項や間違いが多い点などを教してほしい。一次エネルギー消費量計算は実際に入力しているところを見たい。 $m_c \cdot m_H$ ・一次資源エネルギーの計算も詳しく教えてほしい。一次エネルギー消費量基準についてはわかりにくい。細々した内容が多く全体像がよくわからない。一次消費エネルギーの計算がブラックボックス。各設備・機器の特徴やどう

して省エネにつながるのか説明してほしい。インターネットをやっていない方もいるのではないか。 等

●テキスト 省エネ基準編第4章(5)

- ・今後使えない簡易計算はもっと説明を減らしてほしい。設計・施工指針がわかりにくい。簡易計算の計算方法の話が全くなかった。第4章設計・施工指針が1～3章とどう関係するのか不明、また同じような計算をするのか。設計と施工指針と附則（仕様基準）の関係を教えてほしい。 等

●テキスト 省エネ基準編第5章(1)

- ・基礎 GL400 超の計算例があると良い。

●テキスト 別冊(2)

- ・別冊に一次、二次エネルギーの説明があるのが良く解らない。
- ・10月施行分の記載が無い。

●テキスト 誤植多い(40)

- ・テキスト等の誤字・脱字が多い。訂正が大変。ミスが多いのは説明する方も大変。正誤表に無い間違いもある。正誤表のチェックが講習の始めにあれば、本題の説明に集中できる。 等

●テキスト 講師用ページ違い(14)

- ・講師のテキストと配布テキストとページが違う部分有り。とまどう。混乱。わかりにくい。 等

●テキスト 表など探しづらい(23)

- ・最低限必要な事、よく見る表、計算の資料等はまとまっていると良い。巻末。別冊。テキストから表を探すのに時間がかかる。テキストの表がとびすぎて内容理解に時間がかかる。もっと読み易い構成にしてほしい。あちこちページを開かせず、別冊を見ながらできるようにしてほしい。テキストの計算演習部分に計算式のあるページが書いてあると探しやすい。索引がほしい。各計算の端数の処理の規定を一覧表でほしい。 等

●テキスト その他不評(20)

- ・テキストは非常に使いづらい。理解しにくい。見づらい。テキストは一目見て概要が入ってくる構成にしてほしい。このテキストは短時間では無理。ページに行番号を入れると見やすい。B5サイズで

ぎゅっと詰めたレイアウトが良い。字とページと行間が大きい必要はない。テキストに書き込んだら裏うつりするのが気になる。テキスト専用のページマーカーが付いていると便利。本州地域に重点を置いたテキストは参考にならない。実務レベルの参考としてももう少し追加が必要。 等

●テキスト その他好評(81)

- ・テキストがとてもわかりやすかった。とてもよくできている。まとまっている。カラーで見やすい。情報量・文字の大きさ良かった。今後活用していける。実務でとても役立つ。まとめ方が実務に則してとても使いやすい。省エネ設計の参考書としてこれからも使える。自己学習に役立つ。重点が大変わかりやすい。寸法のとり方など図がわかりやすかった。細かいところまで記入されていてわかりやすかった。複雑そうな部分も理解しやすかった。一般的な技術資料だとわかりにくい記述が多いのでかみくだいた平易な表記がとてもわかりやすかった。初めての人が理解をする

のに十分な内容。参加できなかった者にもわかりやすく理解しやすい。今までいろいろな省エネ関係の講習会へ参加したが一番わかりやすかった。25年基準がどういうものかよくわかった。一次エネルギー消費量のこと載っていて実務で使用しやすい。行政に出す提出書類の作成方法はこのテキストでかなりスムーズに進められる。 等

●他の資料・説明の要望(31)

【チェックシート】現場で管理する時どのポイントを押さえてチェックすれば良いか教えてほしい。断熱材施工のポイント、注意点など資料が欲しい。

【計算プログラム・ソフト】外皮性能を計算するソフトを配布すればいい。有料・無料の計算ソフトいくつかお教えてほしい。確認申請書式のようにプログラムがあると良い。U値、計算ソフトの配布、ダウンロードはあるのか。有償でいいのでEXCELのプログラムがほしい。

【建材データベース】全てが決定しないと届けができないので建材及び設備機器メーカーのデータの提示が必要。建材メーカーと連携して断熱材の正しい施工法、詳細についてホームページ等で公開するか冊子を配布してほしい。サッシ・ガラス・断熱材の性能値については出典が多岐にわたり評価機関によって求める根拠がまちまちなので一元化できるとありがたい。

【手続き・申請・図書】実際の申請に必要な計算や書類作成の方法の講義の方が良かった。計算書作成の前提となる図面の書き方がわからなかった。伝統的工法の古民家や増改築で確認申請が必要な場合の既存の建物に対する制度の運用はどうするのか。 等

【混構造】混構造の場合も扱ってほしい。

【その他】情報をメルマガなどで配信してほしい。復習できるツールがあれば良い。

7) 講習の講習内容、説明方法への意見、要望

設計者講習における講習内容、説明方法について、自由記述では以下のような意見、要望があった。(全 429 回答を整理)

- 読み上げる講習 不評(40) ※()内は回答数
 - ・テキストを読むだけの講習はやめてほしい。内容を理解しにくい。あまり頭に入らない。考え方の説明をしてほしい。要点をわかりやすく説明してほしい。分かりにくい単語などの説明をしてほしい。参加した意味が無い。読むだけの講師なら不要。DVDでも良いのでは。スライドで結構。もっと工夫してほしい。独学の方が時間を有意義に使える。
- 要望 ポイントを絞った説明(37)
 - ・要点を明確にしてほしい。ポイント、注意点を深く解説してほしい。重要部分、本文のみではわかりづらい部分を説明してほしい。つまるところ何をしたいのかをまず説明してほしい。ポイントは読み流さず繰り返し又は強調してほしい。ポイントをまとめた別紙がほしい。テキストのうまい使い方を教えてほしい。 等
- 要望 説明順序(6)
 - ・全体の流れ→細部の説明が必要。先に P228 の計算例を見てから内容に入った方がつかみやすかった。計算手順から先に教えてほしい。数値の関係を理解してから内容に進むと話が早い。計算モデルを参照しながら説明の方がわかりやすい。ページがあちこちに飛んだのでついていくのが大変だった。 等
- 要望 説明箇所が分かるように(19)
 - ・説明するページが飛びすぎて、流れの理解ができなかった。ページ数や説明している部分がどこかを話してほしい。受講者の様子を見ながら進めてほしい。何度も見る部分は別紙にしてほしい。全体の計算のどの部分をやっているのかがわかりづらかった。 等
- 要望 板書による説明(5)
 - ・ホワイトボードなどで説明があれば分かり易かった 等
- 要望 図解による説明(1)
 - 図解説明があればもっと分りやすかった。

●DVD・パワーポイント等映像活用(57)

- ・映像があるととてもわかりやすい。プロジェクターを使って教えてほしい。パワーポイント等で説明した方がわかりやすい。話しだけでは眠くなるのでVTR等が流してほしい。DVD指導を充実しても良い。ビデオ講義が良いのでは。 等

●要望 具体例・実例による説明(36)

- ・テキストを読むだけでなく具体的な事例や計算方法を同時にやってほしい。もっと事例を入れてほしい。現場の実際や豆知識などを話してほしい。判断が難しい部位の説明、応用の講習を受けたい。実際の設計でどういう点に注意すべきか具体的で実践的な内容だと勉強になる。基準をクリアする為の設計的な対応等の実務的な話をに入れてほしい。推奨の断熱工法の事例も参考にあればいい。 等

●要望 実習・実演の講習(16)

- ・じっくりと計算手法を学ぶような講習会をしてほしい。実際に入力しながらの説明でないとわかりづらい。外皮・日射熱取得・一次エネルギーを一通り計算したらわかりやすい。一搬の納まりはテキストでわかるので特殊なケースをやってほしい。 等

●要望 パソコン実習・実演(36)

- ・パソコンで受講したほうが良い。映像・パソコンを取り込んだ講義にしてほしい。WEBプログラムの入力パソコン画面をプロジェクターで映しても良い。

●新基準、関連制度の詳しい説明(1)

- 別冊の関連制度の解説があればよかった。補助金、ローン金利引下げ、減税の話などの省エネ基準との関係が分かれば普及も進むのでは。

●要望 質疑応答の時間確保(12)

- ・質疑応答時間があると良い。内容が難しいので質問をその都度できると良い。質疑用紙があると良い。 等

●要望 受講者の相談窓口(5)

- ・質問窓口の新設が必要。技術的な問合せ先をつくってほしい。申請先による見解の違いなど発生した場合の問い合わせ先が必要。 等

●要望 講習資料の事前配付(20)

- ・テキストの事前配布があれば概要把握に良い。講義時間が短いので

事前配布で予習できれば理解が深まる。郵送料がかかっても先にテキストを送付してほしい。事前に予習をしておかないと講習スピードについていけない。 等

●要望 分割講習(24)

- ・1回だけでなく複数回必要、2日位、3日位、3～4回位。分量が多いので章ごとに数日に分けた短時間講習が良い。数日かけて省略をしない講習をしてほしい。希望者に追加補講などしてほしい。 等

●要望 講習会の次の開催、多数開催(11)

- ・他にも受講希望者がいたが定員で断念したので開催回数を増やしてほしい。定期的で開催してほしい。何度も開催してほしい。複数回あると都合が合うところで受講できる。 等

●要望 より詳しい内容の講習(23)

- ・詳しく説明してほしい。実務との関連や制定の背景について噛み砕いて説明してほしい。計算式についてももう少し詳しい説明がほしい。U_Aの表の内容を詳しく説明してほしい。単位の意味など基本理論の解説がほしい。計算方法等もっと詳細に知りたい。外皮だけ、一次エネルギーだけを掘り下げる講習をしてほしい。 等

●要望 講習会の分科(8)

- ・講習会は初級・中級・上級にレベル分けしてほしい。建築や設備など分野毎に特化した講習会があると良い。別開催でフォローアップ勉強会を開催してほしい。 等

●要望 該当地域向け講習(5)

- ・宮城県仕様のモデル設計があればより具体的で良かった。青森県に適した省エネ住宅の工法、設備等の具体的事例を紹介してほしい。講義内の資料は6地域の例なので長野なら3地域の例で話してほしい。現在の大分県の省エネ化を知りたかった。 等

●要望 設備、建材等他業種向け講習会(1)

- ・設備向けの講習会が行われていない現状が大変残念。

●要望 リフォーム向け講習(1)

- ・リフォーム向けの技術講習もしてほしい。

●社内教育、情報共有(2)

- ・住宅会社の社員向けに実施してほしい。当社の技術系社員についても受講させたい。

●要望 講習内容以外の説明(21)

- ・非住宅及び木造以外の建の講習会を開催してほしい。RC造や鉄骨造の演習問題や資料があると良かった。低炭素住宅についても話が聞きたい。 等

●講習内容への批判(16)

- ・テキストをただ読みあげるのなら講習会の必要はないのでテキスト配布してほしい。県内に有能な講師がいないなら東京での説明を録画し流してもらった方が全然マシ。時間のムダ。改善してほしい。小数点の話はお粗末、算数の勉強して。読み流すだけなのは有料の講習会としてはお粗末。理屈ばかりの内容より実践的で実務的な講習会を求める。講義中に正誤表の事を言うので戸惑う。テキスト・問題等にミスがあったので戸惑う。理解してもらう為の講習になっていない。設計上必要な外皮計算など内容の解説が少な過ぎ、技術講習になるのだろうか。有料とするなら教える側も努力してほしい。たびたび商品名で説明される事があったので控えてほしい。修了審査に合格する為だけの講習のようだった。 等

●講習会の意義に疑問(4)

- ・国の方針なのは分かるが工事に従事する者ではないのに必須で受けさせられる意味が分からない。説明を時間に追われ急ぎ足で行うのはただ講習を受けたという結果のみを求めるようでこれでいいのかと思う。本を読むだけのこんな講習で一次エネルギーを計算出来るようになるわけがなく、全く無駄な時間。

②演習

設計者講習における演習について自由記述では以下のような意見、要望があった。
(全 141 回答を整理)

全般的に好評とする意見が多く、実際に計算を体験でき、その解説もあることに対して理解が進む、わかりやすい等の評価があった。またテキストの説明時間を少なくして演習の時間を増やしてほしい、詳しく説明してほしいといった意見が多く見られた。文字が小さく読めないという指摘については本来 A 3 サイズのはずの資料が地域協議会によっては A 4 サイズで配布されていたことによると思われる。

●好評 (38)

- ・演習問題があつて良かった。演習問題で理解できた。演習問題があり分りやすかった。計算の手順や考え方がわかりやすかった。実際に計算しながらで参考になった。かなり役に立つ。 等

●不評 (16)

- ・演習の進行が速くついていけなかった。解説を丁寧にしてほしい。分りづらい。計算の時間が足らなかった。演習問題は字が小さすぎた。演習問題は講師と受講者のものが違っていた。 等

●要望 (87)

- ・テキストは読めば理解できるので演習問題を多くしてほしい。演習問題の解説に時間を使ってほしい。 等
- ・演習で理解を深めてから考査という流れは良い。
- ・今回の内容以外にも詳しい解説や演習をしてほしい。面積の求め方。基礎の長さや熱貫流率の計算、平均日射熱取得率の出し方。計算式・単位の意味や考え方。 等
- ・演習サンプルが付いていると復習に使える。演習問題をホームページにも載せてほしい。
- ・参考図面で外皮性能、一次エネルギー消費量の算定を一通りやってみたい。詳細計算方法による演習の方が理解が深まる。パソコンで演習してほしい。演習を中心とした講習会を今後してほしい。

③修了考査

設計者講習における修了考査について、自由記述では以下のような意見、要望があった。(全28回答を整理)

解答の解説は有って良かったというものと、解答のみ有れば良いという意見があった。ひっかけ問題、あいまいな考査、テキストと一致しないという指摘が見られた。

●好評(3)

- ・考査の内容は難しかったが説明は分かり易かった。考査して終わりではなく解答の解説まであって理解が深まり良かった。講習会の流れが良く、演習、考査で理解できていると感じた。 等

●不評(25)

- ・考査の時間が長い。考査は解答があるので解説は不要。考査の解答の解説が早すぎる。 等
- ・考査の文字が小さい。
- ・ひっかけ問題。あいまいな考査はやめた方が良い。考査問題は少し疑問が残る。問題文はテキストの文章と致しないものも有って探すのに苦労した。 等
- ・考査をする必要があるか。考査60点以上で修了は甘い。短時間での計算方法習得は無理なので考査は必要ない。
- ・ U_A の計算問題は全て計算式から逆算できるので工夫した方が良い。

④講師の説明

1) 講師の説明

設計者講習における講師の説明について約8割の受講者がわかりやすい又は普通と感じ、1割強の受講者がわかりにくいと感じている。

講師の説明 【設計者講習】	回答数
大変わかりやすかった	694
わかりやすかった	2,831
普通	3,786
わかりにくかった	1,026
大変わかりにくかった	197
無回答	266
全体	8,800

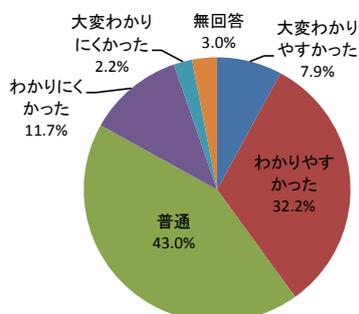


図 6-2-6 講師の説明について

2) 講師の説明への意見、要望

設計者講習における講師の説明について、自由記述では以下のような意見、要望があった。(全175回答を整理)

●好評(21)

- ・両先生ともよく理解できた。講師が分かりやすかった。非常に良かったです。聞きとり易かった。講師の臨機応変な対応は見事だった。講師の説明は要点がわかりやすかった。内容が多いのに丁寧に解説していた。講師はよく勉強していた。等

●不評 話し方(75)

- ・聞きづらい。聞き取りにくい。声が小さい。声にメリハリが無い。ハキハキと声の通る講師にしてほしい。早口。ゆっくり丁寧にしてほしい。活舌が悪い。発音が不明瞭。ハッキリ聞こえない。何を言っているかわからない。声がぐもっている。つぶやきを聞いているよう。強弱をつけて話してほしい。等
- ・笑いながら説明しないでほしい。「一応」という口癖が耳障り。等
- ・講義にならない。講師選定をしっかりとしてほしい。

●不評 質(65)

【講師の質のばらつき】講師の資質、教え方、わかりやすさに差がある。わかりやすい講師よるビデオ講義の方が良い。講師の選定に問題有り。等

【熟練度低い】講師の力量・習熟が不足。講師が下手。講師は十分に練習してほしい。初めてだからきついでは困る。慣れている人にしてほしい。相手に解るような説明をしてほしい。自信なさそう。素

人を人前に出さないでほしい。説明が最悪なので録画して見直してほしい。文字や用語の読み間違いが多い。 等

【理解不足】講師の理解度不足。内容を熟知している人にしてほしい。事前にテキストを見ていないのか。事前に勉強してきてほしい。講義を1度しか聞いていない人を講師にしないでほしい。講師はテキストや法令を理解しているか。講師は外皮計算をしたことがあるのか。講師がWEBプログラムを見ていないとはどういうことか。 等

【その他】配付されたテキストと違うものやひとりよがりな話はしないでほしい。話を面白くする為とは思いますが時折テキストに否定的な発言があった。

●不評 進行(13)

- ・全体のどの部分を説明しているのか分かりづらい。ページ数のアナウンスを都度してほしい。「次」ではなく「何ページ」でないとわからない。何を説明しているのかわからない。スピードが早くてついて行くのが大変。計画編を延長したため他の時間が少なくなった。時間を超過しないでほしい。無駄な話が多い。受講者も昼食時間が無いのは同じなので講師は開始時刻を守ってほしい。解答記入欄の指示はもっとハッキリしてほしい。 等

7. 今後の資料、講習内容、説明方法、修了考査の検討

(1) 施工技術者講習の資料等についての検討

①施工技術者講習の資料（テキスト、DVD、カットモデル）

テキスト、DVD、カットモデルのいずれについても、ほとんどの受講者がわかりやすい、または普通と回答しており、来年度以降予定されている施工技術者講習の資料として、このままの内容で特に支障は無いと考えられる。より良い資料とするため、以下について今後の検討が望まれる。

1) テキスト

テキストについては、掲載写真の画質向上、チェックリストの充実が今後必要と考えられる。

2) DVD

DVDはわかりやすい、DVDを見ながらの解説でも良いという感想、意見があった。DVDとテキストの内容の重複について指摘もあり、来年度カリキュラムの作成に当たり、DVDで代替可能な部分はテキストの説明を省略することも検討の余地がある。

昨年度報告書において検討候補に挙げた、断熱施工と設備施工の取合いを説明するDVDを今年度作成、講習資料として配布した。講義中には放映しないため、アンケートの結果として評価は表れていないが、事務局には観た方々から好評の声が届いた。来年度のテキストに内容を反映することが考えられる。

3) カットモデル

地域協議会における保管と運搬の負担を軽減するため、今年度は希望のあった地域協議会に対し、通常の約1間四方サイズのカットモデルとは別に、コンパクトな大きさにした「ミニモデル」を配布した。一方、受講者からはカットモデルに対し、小さくてわかりにくい、大きい方が良いといった声があり、恐らくこの「ミニモデル」のことを指していると思われる。

地域協議会の負担軽減のため、「ミニモデル」への移行は既定路線であることから、小さくてもわかりやすい説明を受講者にできるよう、見せ方や説明方法における工夫の検討が必要となる。

4) 新たな資料の検討

受講者からは現場で使える簡単な説明書、U値などの計算ソフトといった声があった。計算ソフトについては、今年度から設計者講習を開始したことと関連し、事務局にて簡易なソフトの作成を行っている。

②施工技術者講習の内容、説明方法

資料に対してはわかりやすい、普通といった回答がほとんどである一方、講習の内容について各章、別冊とも2～3割程度の受講者が難しいと感じている。資料自体の内容ではなく、説明の仕方に改善が必要と考えられる。

昨年度と同様に指摘のあった資料説明の内容重複感や、読み上げるだけでポイントがわかりにくい説明等の改善や、パワーポイントなどの映像を活用した説明を取り入れていくことで、より理解しやすい講義を目指すことが望まれる。

③施工技術者講習の講師

昨年度と同様、受講者からは話し方（音が小さい、ペースが速い、滑舌が悪い、読み上げているだけでメリハリがない、単調等）、質（説明が分かりにくい、理解度への疑問等）、進行（進行が不慣れ、時間通りに終わらない等）について指摘があった。

来年度は3年目の為、講師も慣れてくると思われるが、アンケートの結果を元に、あまり評判の芳しくない講師に対しては、講師依頼の取りやめも必要と考えられる。

④施工技術者講習の修了考査

昨年度と比較して、あいまいな表現やテキストと問題文の表現不一致に対する指摘は減っており（昨年度指摘数11→今年度同3）、昨年度からの改善が表れている。

（2）設計者講習の資料等についての検討

①設計者講習のテキストと講習内容

テキスト各編、各章の講義について難しかったとの感想は受講者の1/4から半数を占める。特に省エネ基準編・第2章の外皮性能基準、同・第3章の一次エネルギー消費量基準については難しく感じている受講者が多い。本講習でH25年基準に初めて触れる受講者や、これまでに外皮計算など未経験の受講者が多数と思われ、結果に影響していると考えられる。また、ページ間を行ったり来たり、説明のスピードが速くてどこを説明しているのかわかりにくい、ついていけないと行った感想から、内容の難しさに説明の不明瞭さが加わり、受講者の理解をより妨げる要因となっている。

テキストや時間割とは別途に、特にわかりにくい部分の説明の流れをまとめた、例えば外皮計算説明時に参照するページ数を説明順に書き出したA4用紙1枚程度の資料等、説明について行けなくなっても後からじっくり確認できるような資料の検討が必要と考えられる。

テキストの出来自体については、誤字が多いという指摘が多数有り、その点の改善は必要である。また表など計算に必要な情報がどのページにあるのかわかりにくい、さがしづらいという指摘もあった。一方で良くまとまっている、わかりやすい、自己学習に使える、実務の参考書になる等の評価も多数得られた

②設計者講習の演習

例題を用いた外皮計算の演習については、計算の手順がわかりやすい、役にたつといった評価が多く、演習にもっと時間を割いてほしい、今回の演習では省いた部分も行ってほしい等の要望が多数あった。またパソコンを用いた演習、演習のみの講習会、練習用としてホームページに演習問題を公開してほしいという要望もあった。

テキストによる座学の後、すぐに実際に計算演習を行う形式は、計算の一連の流れを理解しやすく、一度計算を経験しておくことで実務で使う際のハードルが下がるため、好評価を得られたものと考えられる。以上を踏まえた演習の内容、時間配分の検討は、来年度のカリキュラムを作成する際に必要となる。

③設計者講習の修了考査

修了考査については、あいまいな表現がある、テキストと表現が一致しない、ひっかけ問題という指摘があった。今後改善が必要である。

④設計者講習の新たな資料の検討

現場で管理する際のチェックリスト、外皮計算のソフト、建材の性能が分かるデータの公開、手続きに必要な図書の作り方などの要望があった。

チェックリストは今後テキストに掲載するなどが考えられる。また外皮計算のソフトは木活協にて簡易なものを作成中である。建材の性能データについてはデータベースとして木活協ホームページの省エネ講習会サイトにおいて既に公開しており、今後も随時内容を充実していく予定となっている。その情報を講習会の中でしっかりアナウンスする必要がある。

⑤設計者講習の講師

施工技術者講習と同様、スピードや声の大きさ等、講師の話し方がまずい、講師の出来に上手下手の差がある、練習不足といった指摘があった。設計者講習の2年目となる来年度は、講師の習熟度が今年度より高くなると思われるが、アンケートの結果を元に、あまり評判の芳しくない講師に対しては、講師依頼の取りやめも必要と考えられる。

8. 講習会運営に関する調査結果

(1) 講習会開催の認知経路

講習会開催の認知経路については、昨年度と同様、会員になっている団体等、所属団体等から情報を得ているケースが多く、地域協議会からは少ない。いずれの職種にも共通している。

その他の認知経路で主なものは、インターネットが1.3%、クチコミが1.6%、所属団体・会社等が3.0%であった。

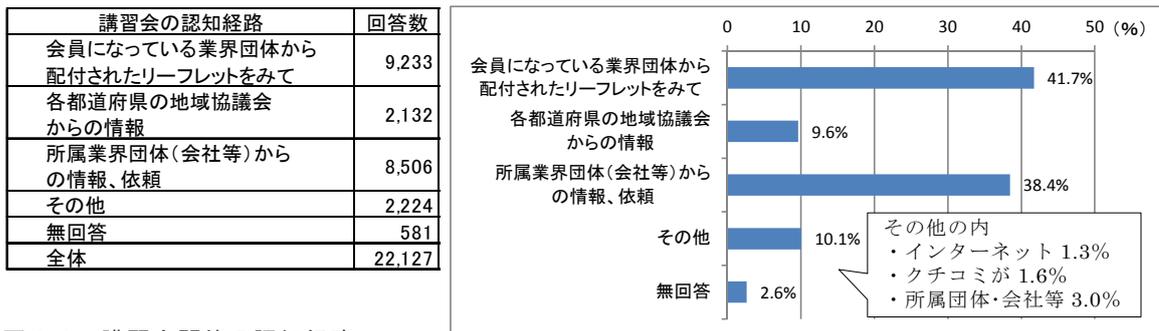


図 8-1a 講習会開催の認知経路

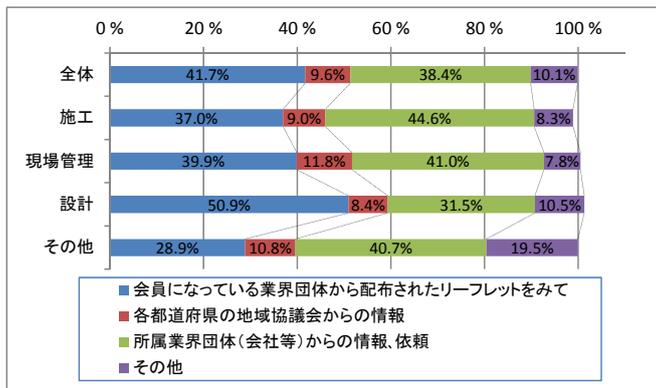


図 8-1b 職種別の講習会開催の認知経路

(2) 講習会への参加動機

講習会への参加動機は、これからの業務に必要なまたは参考にできるといった能動的な動機が多く、省エネ分野への関心の高さが伺える。

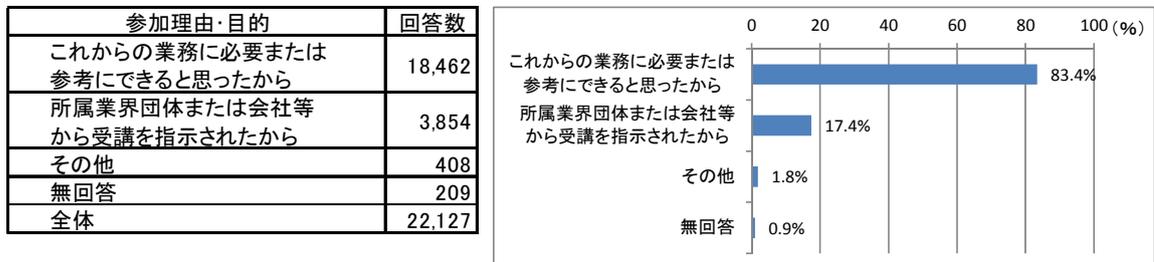


図 8-2a 講習会への参加動機

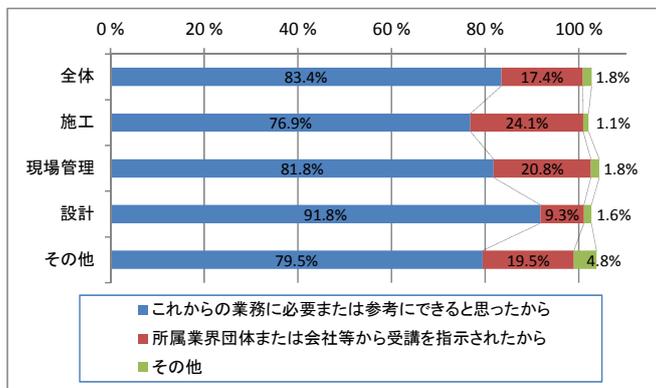


図 8-2b 職種別の参加動機

(3) 講習時間

① 講習時間

講習時間について、約半数の受講者がちょうど良いと感じている。施工技術者講習、設計者講習それぞれについても同様であった。終日の講習を苦にしていないと思われる。

施工技術者講習では受講者の約40%が長い、約3%が短いと感じている。設計者講習では約30%が長い、約10%が短いと感じており、時間を掛けて学びたい受講者の割合が施工講習より高い。

施工技術者講習の自由記述では、時間が短い、一日では難しいといった意見の一方、平日なので半日にしてほしい、内容的に半日で十分という意見があった。時間配分の点では休憩時間をこまめにとってほしいという要望があった。

設計者講習の自由記述については、時間が短い、又は半日にしてほしいという意見は施工技術者講習と同様に見られた。半日を望む理由として、内容が易しいので、テキストがわかりやすいので自習できる、事前に資料を送ってもらえば予習しておくといった記述があった。

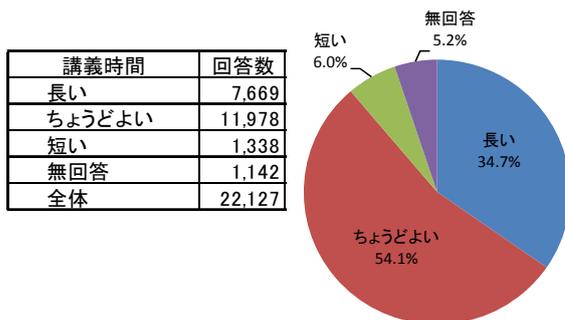


図 8-3a 講習時間の長さの感じ方 全体

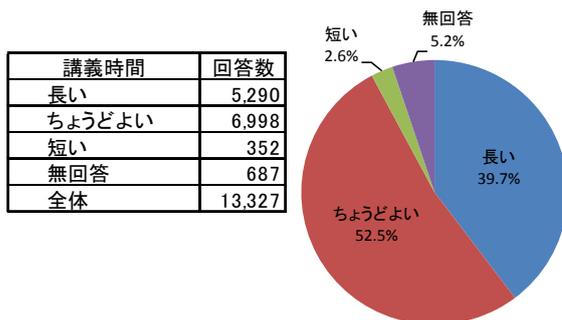


図 8-3b 講習時間の長さの感じ方 施工技術者講習

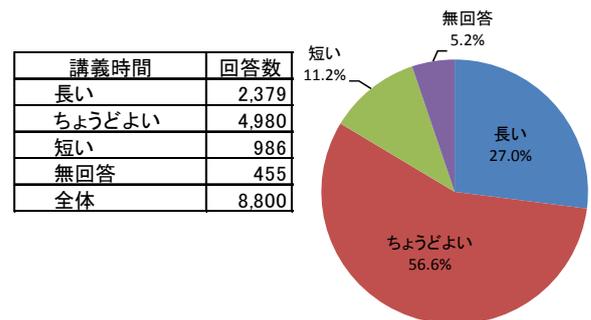


図 8-3c 講習時間の長さの感じ方 設計者講習

②講習時間への意見、要望

講習時間について、自由記述では以下のような意見、要望があった。

(施工C講習 92 回答、設計C講習 325 回答を整理)

施工C講習

●講習時間が不足、説明速い(48)

- ・内容の割に時間が短い。1日で行う内容ではない。時間的に無理がある。もう少し時間をかけても良い。内容理解度の点で大工が受講するには時間が短すぎる。国の支援事業なのでもっと時間をかけてほしい。 等
- ・説明ペースが早すぎる。わかりにくい。よく理解できない。全くついていけない。要点がわからない。メモをとるひまもない。理解・納得する時間の配慮無い。もう少しゆっくり説明してほしい。講習として成り立っていたのか。 等

●講習時間が長い(24)

- ・講習時間が長い。時間を短縮してほしい。平日なので半日講習にしてほしい。内容的に半日もあれば充分である。ポイントを説明すれば半日で良い。 等

●時間配分が不適切(20)

- ・時間配分が悪い、お粗末。受講料を払っているのでしっかりした授業計画で時間通りに進めてほしい。早く終わるなら詳しく講義してほしい。講習時間で全ては難しいので要点だけ、特にテストに出るところ教えてほしい。 等
- ・第1章と第2章の時間配分は1:2位で2章の方に重要度有り。省エネ基準と関連制度の解説の時間がやや少ない。模型見学の時間があると10分程長いと良い。修了考査の時間が長すぎる。 等
- ・休み時間がこまめにほしい。5分でも良いので1時間に1回は休みがほしい。1時限100分は長い。 等
- ・休憩時間10分ではトイレの間に講義が始まっている。午前中の休けい時間がもう少しほしい。昼休み時間を1時間休憩にしてほしい。
- ・休憩が少し長く感じる。

設計C講習

●講習時間が不足、説明速い(250)

- ・内容の割に講習時間が短い。1回の講習で習得は難しい。2日必要。本当に良い技術者育成にはもっと時間をとってほしい。講師の知識が時間が短かすぎて生かされない。 等
- ・進行が早すぎる。早すぎて分かりづらい。内容を理解できない。ついていけない。つめこみ式で忙しい。ページを目で追うだけで精一杯。テキストの文字を読むのに大変。重要か否かで説明時間に差が

ほしい。初めての受講者には語句の意味からして理解できない。メモが取りづらい。計算の説明がわかりにくい。時間内に収める意識が強くて本末転倒な感じ。見返しているとわらなくなる。正誤を探し赤書きしてる間にどんどん進んでいた。 等

- ・2つの講習(BIS講習会と住宅省エネルギー技術講習会)を1日で行うのは時間が足りない。内容と時間のバランスに無理がある。
- ・時間が短くざっとした説明だが概略をつかむのには良い。テキスト一冊分の説明には時間的に無理があったが概要は理解できた。

●講習時間はちょうど良い(6)

- ・内容に対する時間はちょうど良い。テキストが充実しているのでこの時間で良い。考査と講義の時間的なバランスが良かった。時間がちょうど良くて集中して聴けた。時間が短くて良く、後は家でじっくり勉強する。

●講習時間が長い(18)

- ・講習時間が長い。難しい内容なので仕方がないが。講義時間は長いのに各ページの説明時間は短い。 等
- ・1日は長いので半日程度にしてほしい。要点を集中的に半日程度で。やさしい内容なので半日で良い。費用は高くてもよいのでテキスト等を事前送付してもらい2～3時間で終わってほしい。テキストがわかりやすくて自宅のできるので講義時間を短くしてほしい。 等
- ・仕事を優先できるように半日を2回等、何日かの中で選べるようにしてほしい。
- ・時間が長い分、中味が良く理解できた。

●時間配分が不適切(51)

- ・時間配分を考えてほしい。簡単な所はテンポ良く進める等バランス良く進めてほしい。難しい内容なので長すぎる休憩時間を講義にまわしてほしい。ポイントを絞った講習にしてほしい。 等
- ・計画編より省エネ基準編の時間をもっと増やしてほしい。概要は簡単にして計算等を重点的に説明してほしい。計算より計画について重点的にすべきでは。第1・2章の講義時間が短かすぎる。第3・4章は短い時間で広く浅く聞ければ効率的。第4章の設計・施工指針を詳しくしてほしい。簡易計算法の説明は意味がない。第5章の設計・計算例(p233)の解説が短すぎた。演習の解説に時間を割き過ぎてバランス悪い。演習の内容が薄いので時間を講義に振り分けた方が良い。演習で時間が余るのがもったいない。難易度に比して演習、考査の時間が長すぎ。考査の量を減らしても良いのでは。 等

(4) 講習会運営に関する意見

講習会の運営に関して、自由記述では以下のような意見、要望があった。

(施工C講習 78 回答、設計C講習 140 回答を整理)

施工C講習

● 広報・開催案内(14)

【案内の時点で内容がわかりにくい】平成 25 年度基準の講習と勘違いした。何の講習かいまいちわからなかった。案内に「正しい断熱材の施工方法」等、具体的な内容説明が欲しかった。初心者向け、施工者向け、設計者向けなど詳しく知りたい。3年間同じことをやるなら知らせてほしかった。省エネに関する講習が色々あり内容の違いがわからず困る。 等

【大工・職人への案内】大工などにも受けてもらいたいので情報提供をしてほしい。職人さんが講習会を知る機会をつくってほしい。

● 開催時期・曜日(10)

【選択肢】受けたくても現場の都合等あるので、同じ内容の講習を年に数回、または時間を短くして行ってほしい。

【繁忙期】講習会は冬期に開催してほしい。北海道は2月頃にすれば現場の人がもっと受けられる。

【日柄】建築関係なので大安、友引さけてもらいたい。

【曜日】日曜日の講習会はつらい。土曜講習は現場員等動きがとれるので良い。平日は講習受けれないので日曜開催もあっていい。

【時間帯】日中は現場仕事のため夜にしてほしい。

● 受講料・修了証発行手数料(5)

・講義の内容の割には料金が安いので良かった。補助事業とはいえテキスト・DVDも含めて受講料 1000 円は有難い。 等

● 合格者の公開(1)

・講習修了者は必ずHP上で公開してほしい。

● 講習会場(48)

【開催地要望】会場が少ない。離島地域でもやってほしい。

【交通の便悪い・駐車場不備】中心部の交通の便利ところで開催してほしい。駐車場のあるところで開いてほしい。

【会場が狭い】机が狭いので受講者を減らすべき。教室に余裕がほしい。会場狭すぎる。

【空調ができていない】寒くて集中できなかった。エアコンにより暖かく眠くなった。冷房が効き過ぎ。外の講義は寒い。暑かった。 等

【マイク不備、不調】マイクを使ってほしい。マイクの不備が気になった。マイクを使っても聞き取りにくかった。マイクの有無に関わらず音がこもって聞こえにくかった。 等

- 【会場が暗い】夕方になると会場が暗い。
- 【受付の段取りが悪い】受付の対応が悪かった。入場手続きが長い。段取りが悪い。開場と開会時間が同じなのは会場設営が成っていない。入口が8：50迄開かず寒い中待たされ、受付も30分以上廊下で立ったまま待たされた。説明もなく開始時間が遅れた。開始が遅れた旨の説明が無く納得いかない。証明書発行が遅すぎる。 等
- 【会場案内図不備】HP上の地図と実際の会場の内容が異っていて迷った。送られた案内図では来れなかった。
- 【模型が見つらい】人が多くてカットモデルが見にくかった。カットモデルが広範囲の人に見えるよう考慮してほしい。 等
- 【その他不評】DVDが見えなくて最悪。スタッフの段取りが最悪。事前に募集しても人数を把握できず会場が選定が悪い。空調機の逆風音がうるさい。スクリーンが近過ぎてビデオが見にくかったので前列2列くらい下げて配置したほうがよい。
- 【会場好評】会場もこのくらい余裕があると快適に受けられた。広くてきれいでいい会場だった。

設計C講習

●広報・開催案内(8)

- 【案内の時点で内容がわかりにくい】施工講習会と間違えて参加。設計と施工の案内が似ていてまぎらわしい。
- 【施工講習への案内】施工技術者講習も受けた方が良いので案内チラシを配布資料に入れておくといいのでは。
- 【持参物の案内】付箋を持参するよう案内がほしかった。電卓が必要との案内がなかったので困った。

●開催時期・曜日(8)

- 【選択肢】回数を増やして欲しい。
- 【繁忙期】建設業界が特に忙しい12月は違った月にしてほしい。月の末日の実施はもう少し考えてほしい。
- 【日柄】大安、友引、先勝の日柄の良い日は避けてほしい。
- 【曜日】平日は厳しいので土曜も検討してほしい。土、日、祝は避けてほしい。 等

●受講料・修了証発行手数料(6)

- ・ 考査の強制(有料)には疑問を感じる。修了証不要なので安くしてほしい。公的補助が講習料にもあってほしい。無料にしてほしい。
- ・ 費用が安かったので助かる。
- ・ テキストに広告を入れると受講料がいらなくなるのでは。

●講習会場(118)

【開催地要望】会場を仙台で。東北で開催してほしい。定員が少ないので上中下越エリアそれぞれでしてほしい。浜松での開催を増やしてほしい。会場を増やしてほしい。会場を中心部でしてほしい。場所は中部に。 等

【交通の便悪い・駐車場不備】遠すぎるので配慮してほしい。交通の便が悪い。地方からの受講者のために駐車場の確保は当然。事前に人数が分っているのに駐車場台数が無いとはどういうことか。会場の駐車場料金が高すぎる。 等

【昼食が不便】周辺の食事場所が混むので昼休みの時間を考えてほしい。昼食場所が無い。会場近くに飲食店が少ないなら弁当屋に来てもらう等の方が良い。食事の便の良い会場にしてほしい。弁当等用意できることは事前にアナウンスしてほしい。 等

【会場が狭い】会場が狭い。座席が狭い。会場やテーブル等は余裕があるとありがたい。机は2人掛けが良い。1机3人掛はつらい。机が狭く資料を広げられなかった。 等

【空調ができていない】会場が暑かった。会場が寒かった。室内の換気をしてほしかった。快適な温度では眠くなる。 等

【マイク不備、不調】マイクを使ってほしい。マイクの声が聞きづらい。マイクの音質が悪い。スピーカーが後ろにないので聞き取りづらかった。聞きとりにくいのでマイクやモニターの調整をきちんとしてほしい。音響設備が整った会場が良い。 等

【会場が暗い】会場が暗すぎる。照明が暗い。 等

【受付の段取りが悪い】受付に時間が掛り過ぎていた。受付の段取りが悪くスタートが遅れた。受付をスマートにやってほしい。受付時間を開演30分前にすべき。事前振込で当日受付は金額の確認及び不足分徴収としてほしい。座席が指定されているとは知らず間違ったところに座ってしまったので分かりやすくしてほしい。席に番号あったらスムーズだった。 等

【その他不評】会場に時計がほしかった。時間割は配布してほしい。考査時間を教えて欲しい。入口で何階で開催か案内がほしかった。受付がわかりにくい。会場までの案内が無くわかりにくかった。空調の音が大きく講師の声が聞きにくかった。会場がタバコ臭かった。目が悪いので前の方に座りたかった。体調がかなり悪い方は申し訳ないが退席していただく等してほしい。開催時間をもう少し遅くしてもらったら日帰が可能になる。 等

【会場好評】アクセス、施設設備共に大変良い。

【講習会運営その他】修了証が今後何の為に必要となるか知りたい。修了証は合格してからの申込みが良いのでは。修了証の発行に3ヶ月は長すぎる。

(5) 講師、スタッフ、受講者への意見

講師、スタッフ、受講者の態度やマナーの悪さについて、自由記述では以下のような意見、指摘があった。（施工C講習 10 回答、設計C講習 17 回答を整理）

施工C講習

【講師】足を組みながらえらそうに講義をするのはどうかと思う。講師が携帯電話を3回も鳴らすのはどういったことか。

【スタッフ】司会の人イヤホンからの音もれがうるさかった。入口付近のスタッフの話し声がうるさく講師の声が聞きにくかった。

【受講者】車が不可でも来るのはルールを守る人から見たら不公平。私語の多さをどうにかしてほしいので受講時の注意に1文追加してほしい。喋る受講者を注意も退出もさせないのは運営に非常に問題有り。審査中に話声はかなりしたので全員不合格にしてほしい。等

設計C講習

【講師】審査中の講師の私語を謹んでもらいたい。講師がテキスト読みながら考えたり携帯電話を操作したり良くなかった。

【スタッフ】運営者、受講者とも私語をなくして欲しい。スタッフの方が講習中・審査中話してうるさかった。係りの人たちが他の参加者が注意するまでずっとしゃべっていた。受講者に私語禁止しておきながら事務局は私語。受講者の真横のテーブルで事務員同士の話し声など気が散ったので事務局は後ろに移動した方が良い。後ろの席の事務局や偉い人がうるさく集中できない。

【受講者】講習中・審査中の私語が多かった。審査中に受講生がしゃべっていてうるさかった。修了審査を隣としゃべりながら受けていた人が数人いたが事務局は注意せず非常に不愉快。審査を話し合いながらやっている人はアウトでは。会場内での携帯使用は不快なので注意してほしい。

9. 今後の講習会運営に関する検討

昨年度の施工技術者講習(C講習)は目標受講者数を達成できたが、今年度の施工技術者講習(C講習)は目標受講者数 22,000 人に対し実際の受講者数は 13,956 人、目標達成度は 63.4%、設計者講習(C講習)は目標受講者数 11,000 人に対し実際の受講者数は 9,454 人、目標達成度は 85.9%と、両講習共目標達成には至らなかった。

来年度も予定されている省エネ技術講習会において目標受講者数を達成するために何ができるかを含め、今後の講習会運営に関する事柄を検討する。

(1) 広報・開催案内

1) 講習内容を明確にした開催案内が必要

昨年度も施工技術者講習に対し、断熱設計や省エネの改正新基準等の詳しい説明があると思いを違えた受講者がいたが、今年度も同様に思い違いをした受講者が若干あった(10回答)。

広報用ポスター、木活協ホームページ上での案内において、施工技術者講習と設計講習の違いを見た目の点ではっきり分かるようにする、それぞれの講習内容について目次を掲載するなどわかりやすくするといったことが必要と考えられる。

2) 施工に携わる受講者を増やすための検討

施工技術者講習は受講者目標達成度 6割強であったが、来年度も今年度と同程度の目標とする見込みであるので、大工、職人など施工に携わる人々に対する情報発信を強化する必要がある。団体などに所属していない大工、職人も多いことから、例えば受講者の中の現場監督には現場の大工に口コミで受講を勧めてもらうことを講習会の場で事務局が願う等、検討が必要である。

(2) 会場・設備

会場の暑さ、寒さ、音響、映像設備への指摘は昨年同様であった。

今年度同様、会場選定に当たってはチェック項目に沿って、極力条件に適う会場を手配するよう各地域協議会に周知する。また設計者講習ではテキストと演習資料など、一度に複数の資料を見ながらの講習となるため、原則、3人掛け用の長机は2名で使用するよう会場を選定するよう配慮する。

(3) 講習時間

講習時間が長い、あるいは短いとする意見は多いが、必要最小限の講習内容でも一日講習とならざるを得ないため、昨年度も指摘のあった内容の重複感の改善、それに伴う説明速度のスローダウンなど、講習時間を有効に使いながら、聞きやすく理解しやすい講習を目指し、適正な時間配分であると受講者に感じてもらえるようなカリキュラムの検討が必要である。

(4) 受講者のマナー違反対策

昨年度の指摘を踏まえ、講習開始前には会場スタッフからの口頭説明、会場内への注意事項の掲示という対策をとったが、それでも他の受講者のマナー違反を指摘する声があった(12回答)。特に審査中の私語については対策が必要であり、例えば事務局がその場で注意する、審査失格とする等が考えられる。

(5) 講師、会場スタッフのマナー

注意を促す側の会場スタッフ・講師の私語、講義中に携帯電話を操作する講師がいた等の受講者からの指摘(15回答)は論外で、徹底して改善すべきである。例えば、指摘を次の講習に速やかに活かす為、1つの講習が終了するたびに、回収したアンケート全てに事務局スタッフが必ず目を通し、講師、事務局への指摘が有った場合は真摯に対応する等の対応について全国事務局連絡会議の場で議論が必要である。

1. 講習会の開催趣旨について

昨年の講習会アンケートでは、講習会の開催内容について誤解したまま受講した方が、おられました。講習会の開催前に、「省エネルギー施工技術講習会」の趣旨を説明して下さい。

- 本講習会は、断熱材施工技術の基本的な方法を学ぶための講習会です。
- したがって、全ての断熱材料についての施工法を講習するものではなく代表的なグラスウールによる充填工法と発泡プラスチック系断熱材による外張り工法を講習するものです。
- 断熱設計は、施工者が知っておくべき基本的な内容のみを扱っていますが、断熱設計そのものの講習会ではありません。また、断熱工法ごとの施工性、価格、性能等におけるメリット、デメリットなどについては、講習の対象とはなっていません。

2. 講習会会場の注意点

講習会会場で真面目に受講している方にとっては、会場内での会話等は非常に気になるものです。下記の内容を、講習会開催前にアナウンスすると共に、貼紙等を講習会場に掲示して下さい。

- 携帯電話は、電源を切るかマナーモードとして会場内での会話は厳禁。
- 講習中の私語や修了審査中の私語は厳禁。
- 修了審査時の受講者同士の相談等については途中で退席させる。

講習開催時の会場における事務局への注意事項(H25 全国事務局連絡会議にて各地域協議会に説明)

講習会場の確認

- 駐車場の確保や公共交通機関にてアクセス可能な会場か？
- マイク・スピーカーの設備が使用可能か？
- 適切な大きさのモニターまたはスクリーンとDVDを再生できる設備が、使用可能か？
- 受講人数に対し冷暖房設備は適切か？
冷暖房設備がやかましく講師の声が聞きづらいなどの意見もあった。
- カットモデルは屋内外を問わず屋根の下に設置可能か？
- カットモデルを屋外設置する会場は案内にその旨を記載し、受講者の暑さや寒さ対策の必要性を事前に知らせること。
- 男女別トイレが備えられているか？
- 近くにコンビニや昼食ができる飲食店はあるか？
- 事前にマイクやスクリーン等機器取扱を確認したか？誰が操作するか？

会場選定、講習運営に関する事務局への注意事項(H25 全国事務局連絡会議にて各地域協議会に説明)

講師に関する注意事項

① 講習時間

講習時間が長い、一方で短いと感じる人も居たが、下記に注意する。

- 講習時間が長いとする意見では、説明内容の重複に注意
- 講習時間が短いとする意見では、説明が速くて理解できないに注意
- 施工（テキスト第3章部分）について丁寧に説明が必要
- 休憩時間は時間割表の通りに。

② 講師のマナー

- 座って講習を行う場合は、座って講習を行う旨断りを入れる。
- 見下したような言葉づかいは慎む
- ポケットに手を入れながらの講習は慎む
- 講義中には、控え講師は私語を慎む

③ 講習の仕方

話し方で、音量小さい、ペース速い、滑舌悪いなどの意見や話す内容についての説明が分かりにくい、進行が不慣れ、時間通りに終わらないなどの意見があった。またテキストをただ読み上げているだけで講習になっていないという意見も見られた。

- カットモデル講習は、講師二人で協力し2班に分け、人数を少なくし2度行うなど、全員が模型を見られる工夫を行う。
- テキストを読むだけでなく注意点、具体例などを取り混ぜ話す。
- 読むだけの講習とならないように、メリハリをつける。
- 同じことの繰り返しになる部分については、重要だからとか、言い回しを変えるなどの工夫を行う。

講師2名が、相手の講義を聞いていないことによる、講義内容のダブリやDVDを見ていないことによるダブリもあるため、内容の確認必要！

- DVDで説明される施工手順と重複する部分は省略するといったことを検討する。DVDで説明される項目は全てテキストに記述し、必ずテキストとDVDが対応するようにする。
- DVDではルーフバルコニー地下側の通気について解説があるが、テキストにその項目の記載は無いため、工夫をする。
- 断熱材の一般名称が分かりにくいと感じている大工等が多いため、材料名を述べながらの講習等が必要
- 説明時の表現については現場で普段使う用語や商品名による説明が施工者にとってわかりやすいという意見があり、説明の際にテキストの内容を言い換えた言葉で説明する工夫をする。
- 「外壁と屋根・天井」、「外壁と床・基礎」の取合い部分は断熱材の連続性や気密層の連続性について施工上注意を要する部分なので、実態調査結果をもとに多用されている断熱材料の組合せの取合い部分の説明などを工夫する。
- 断熱リフォームの説明の仕方、多様な手法があるため、講習会では原理原則のみを述べることを説明。
- カットモデルの説明では、基礎部分や天井通気部分が分かりにくい、熱的境界ラインを明示してほしい等に配慮して説明を行う。

講師に関する事務局への注意事項(H25 全国事務局連絡会議にて各地域協議会に説明)

《資料編》

- ・講習会アンケート調査結果

概要

- ・ 調査対象
：主に現場施工者、現場管理者、設計者。

- ・ 調査期間
：2013年7月～2014年3月

- ・ 調査場所
：全国47都道府県で開催の平成25年度住宅省エネルギー技術
施工技術者講習会及び設計者講習会会場。延べ742会場。

- ・ アンケート票配布及び回収方法
：講習会場にて教材と共に配布。
終了考査解答用紙と共に提出を原則義務づけ。

- ・ アンケート票回収数
：全国で23,019票。

地域	回答数	施工B	施工C	設計B	設計C
北海道	828	18	397	19	394
東北	3,259	44	1,816	34	1,365
関東	6,105	168	3,784	155	1,998
北陸	1,409	8	679	0	722
中部	3,284	25	1,844	62	1,353
近畿	2,626	63	1,401	66	1,096
中国	1,941	39	1,186	29	687
四国	1,043	25	671	23	324
九州・沖縄	2,524	57	1,549	57	861
全体	23,019	447	13,327	445	8,800

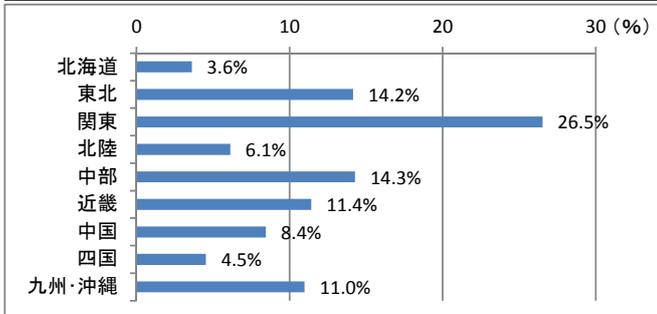


図 4-1-2a 地域別回答数(地域分けは講習会応募地域分けに倣う。以下同様。)

地域	都道府県	回答数	施工B	施工C	設計B	設計C
北海道	北海道	828	18	397	19	394
東北	青森県	481	0	217	0	264
	岩手県	480	0	291	34	155
	宮城県	845	44	462	0	339
	秋田県	381	0	211	0	170
	山形県	367	0	223	0	144
関東	福島県	705	0	412	0	293
	茨城県	646	0	359	0	287
	栃木県	671	24	372	0	275
	群馬県	483	0	294	0	189
	埼玉県	1,177	0	781	60	336
	千葉県	910	0	678	0	232
	東京都	1,460	144	810	95	411
	神奈川県	493	0	293	0	200
	山梨県	265	0	197	0	68
	北陸	新潟県	589	0	292	0
富山県		404	0	204	0	200
石川県		271	8	109	0	154
福井県		145	0	74	0	71
中部	長野県	740	0	461	0	279
	岐阜県	512	0	325	0	187
	静岡県	687	0	376	0	311
	愛知県	1,056	25	528	62	441
	三重県	289	0	154	0	135
近畿	滋賀県	310	0	170	0	140
	京都府	193	0	94	0	99
	大阪府	1,111	63	538	66	444
	兵庫県	840	0	480	0	360
	奈良県	13	0	13	0	0
中国	和歌山県	159	0	106	0	53
	鳥取県	120	0	75	0	45
	島根県	329	0	209	0	120
	岡山県	583	0	351	29	203
	広島県	646	39	379	0	228
四国	山口県	263	0	172	0	91
	徳島県	228	0	144	0	84
	香川県	271	0	164	23	84
	愛媛県	420	25	296	0	99
	高知県	124	0	67	0	57
九州・沖縄	福岡県	681	57	389	34	201
	佐賀県	248	0	167	0	81
	長崎県	396	0	259	0	137
	熊本県	305	0	155	23	127
	大分県	165	0	123	0	42
	宮崎県	259	0	229	0	30
	鹿児島県	340	0	185	0	155
	沖縄県	130	0	42	0	88
全体	23,019	447	13,327	445	8,800	

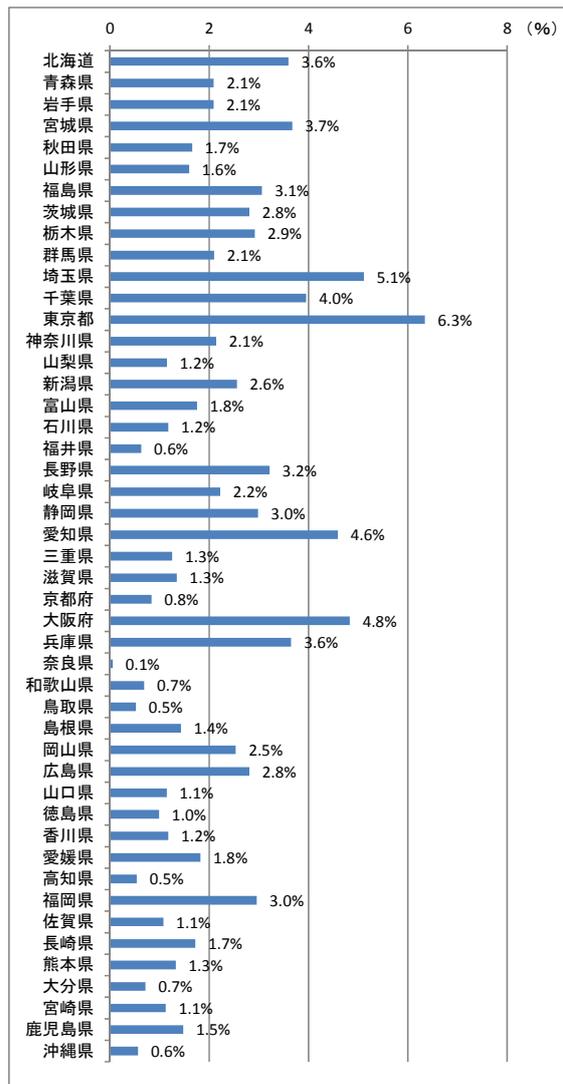


図 4-1-2b 都道府県別回答数

アンケート調査票

①施工者講習アンケート調査票

「講習会」に関するアンケート

C

受講者各位

全国木造住宅生産体制推進協議会 事務局
一般社団法人 木を活かす建築推進協議会

この度は、本講習会にご参加頂き、誠にありがとうございます。本講習会では、受講者の皆様のご意見・ご希望をお聞きして、今後の実施内容・方法の改善に役立てたいと考えております。

つきましては、下記アンケート実施にご協力をお願い申し上げます。

受講日：平成25年 月 日() 会場：_____ 会場(都道府県名でお書きください)

回答者属性	<p>質問1. 業種をお聞かせください。(ひとつに○)</p> <p>1:工務店 2:住宅メーカー/建設会社 3:その他()</p> <p>質問2. 職種をお聞かせください。(ひとつに○)</p> <p>1:施工 2:現場管理 3:設計 4:その他()</p> <p>質問3. 年齢層をお聞かせください。(ひとつに○)</p> <p>1:19歳以下 2:20歳代 3:30歳代 4:40歳代 5:50歳代 6:60歳代以上</p>
講習会運営に関する情報収集	<p>質問4. 本講習会を何でお知りになりましたか。(複数選択可)</p> <p>1: 会員になっている業界団体から配付されたリーフレットをみて 2: 「各都道府県の地域協議会」からの情報 3: 所属業界団体(会社等)からの情報、依頼 4: その他()</p> <p>質問5. 本講習会に参加された理由・目的は何ですか。(複数選択可)</p> <p>1: これからの業務に必要なまたは参考にできると思ったから 2: 所属業界団体または会社等から受講を指示されたから 3: その他()</p> <p>質問6. 今回の講義時間についてお聞きます。(ひとつに○)</p> <p>1: 長い 2: ちょうどよい 3: 短い</p>
講習内容・資料検討に関する情報収集(質問10迄)	<p>質問7. テキスト、DVD、カットモデルについてお聞きます。(各項目ひとつに○)</p> <p>・テキスト 1: 大変わかりやすかった 2: わかりやすかった 3: 普通 4: わかりにくかった 5: 大変わかりにくかった</p> <p>・DVD 1: 大変わかりやすかった 2: わかりやすかった 3: 普通 4: わかりにくかった 5: 大変わかりにくかった</p> <p>・カットモデル(原寸模型) 1: 大変わかりやすかった 2: わかりやすかった 3: 普通 4: わかりにくかった 5: 大変わかりにくかった</p> <p>質問8. 講義内容についてお伺いします。(各項目ひとつに○)</p> <p>8-1. これからの住まいの省エネ化について 1: 難しかった 2: 難しいとは思わない 3: 易しい</p> <p>8-2. 省エネ住宅の設計/施工について 1: 難しかった 2: 難しいとは思わない 3: 易しい</p> <p>8-3. 省エネ基準と関連制度について 1: 難しかった 2: 難しいとは思わない 3: 易しい</p> <p>8-4. リフォームについて 1: 難しかった 2: 難しいとは思わない 3: 易しい</p> <p>質問9. 修了審査について (ひとつに○)</p> <p>1: 難しかった 2: 難しいとは思わない 3: 易しい</p>

質問10. 講師の説明についてお聞きします。(ひとつに○)

1: 大変わかりやすかった 2: わかりやすかった 3: 普通 4: わかりにくかった 5: 大変わかりにくかった

質問11. 省エネ施工についてお答えください。

11-1. 普段施工している断熱工法に○をご記入ください。

①屋根・天井	1. 天井面で断熱 2. 屋根で断熱(野地板の上に断熱材を施工) 3. 屋根面で断熱(垂木の間に断熱材を充填)
②外壁	1. 充填断熱 2. 外張断熱 3. 充填外張併用断熱
③床・基礎	1. 床(根太間断熱) 2. 床(大引き間断熱) 3. 床(根太+大引き間断熱) 4. 基礎断熱

11-2. 11-1で回答した工法で使っている断熱材に○をご記入ください。

①屋根・天井	1. グラスウール、ロックウール 2. 発泡プラスチック系断熱材(ボード状) 3. その他()
②外壁	1. グラスウール、ロックウール 2. 発泡プラスチック系断熱材(ボード状) 3. その他()
③床・基礎	1. グラスウール、ロックウール 2. 発泡プラスチック系断熱材(ボード状) 3. その他()

11-3. 本日の研修で説明を受けた断熱施工の中で、「今まで正しく施工していなかったところ」「難しい・やりにくいと感じたところ」はありましたか。(複数選択可)

① 今まで正しく施工していなかったところ	1. 壁への施工 2. 屋根への施工 3. 天井への施工 4. 下屋への施工 5. 筋かい部への施工 6. 真壁への施工 7. 浴室への施工 8. 気流止めの施工 9. 基礎への施工 10. その他()
② 難しい・やりにくいと感じたところ	1. 壁への施工 2. 屋根への施工 3. 天井への施工 4. 下屋への施工 5. 筋かい部への施工 6. 真壁への施工 7. 浴室への施工 8. 気流止めの施工 9. 基礎への施工 10. その他()

11-4. 断熱・施工方法に関する情報の主な入手先はどこからですか。(複数回答可)

1. 職場内研修から	2. 住宅生産関連団体の講習会などから
3. 公的講習会・仕様書から	4. 建材・設備メーカーの講習会・マニュアルから
5. 建築雑誌から	6. その他()

11-5. 今回の講習内容で施工する場合の手間は普段と比べてどれくらい変わりますか。

1. ほとんど変わらない	2. 坪あたり()人工程度増加する
3. 坪あたり()人工程度減少する	

11-6. 最適な断熱住宅を普及・建設していくにはどの分野の意識啓発が必要と思いますか。

1. 設計従事者	2. 施工管理者	3. 現場施工者	4. 建築主
5. その他()			

質問12. 講習会の内容等について、ご質問、ご意見があればご記入ください。

講習修了者を省エネ講習ホームページ上で公開することを予定しています。

本日はお疲れさまでした。このアンケートはお帰りの際、受付にご提出下さい。

②設計者講習アンケート調査票

「省エネ講習会」に関するアンケート

設計 C

受講者各位

全国木造住宅生産体制推進協議会 事務局
一般社団法人 木を活かす建築推進協議会

この度は、省エネ講習会にご参加頂き、誠にありがとうございます。本講習会では、受講者の皆様のご意見・ご希望をお聞きして、今後の実施内容・方法の改善に役立てたいと考えております。つきましては、下記アンケートにご協力をお願い申し上げます。

受講日：平成 年 月 日() 会場：_____会場(都道府県名でお書きください)

回答者属性	<p>質問1. 業種をお聞かせください。(ひとつに○) 1:工務店 2:住宅メーカー/建設会社 3:設計事務所 4:その他()</p> <p>質問2. 貴方の職種をお聞かせください。(ひとつに○) 1:施工 2:現場管理 3:設計 4:その他()</p> <p>質問3. 年齢層をお聞かせください。(ひとつに○) 1:19歳以下 2:20歳代 3:30歳代 4:40歳代 5:50歳代 6:60歳代以上</p>
講習会運営に関する情報収集	<p>質問4. 本講習会を何でお知りになりましたか。(複数選択可) 1: 会員になっている業界団体から配付されたリーフレットをみて 2: 「各都道府県の地域協議会」からの情報 3: 所属業界団体(会社等)からの情報、依頼 4: その他()</p> <p>質問5. 本講習会に参加された理由・目的は何ですか。(複数選択可) 1: これからの業務に必要なまたは参考にできると思ったから 2: 所属業界団体または会社等から受講を指示されたから 3: その他()</p> <p>質問6. 今回の講義時間についてお聞きます。(ひとつに○) 1: 長い 2: ちょうどよい 3: 短い</p>
講習内容・資料検討に関する情報収集	<p>質問7. 講習テキスト、講義内容についてお伺いします。(各項目ひとつに○)</p> <p>7-1. 設計計画編について [1:難しかった 2:難しいとは思わない 3:易しい]</p> <p>7-2. 省エネ基準編について</p> <p>1)第1章 省エネ基準の概要について [1:難しかった 2:難しいとは思わない 3:易しい] 2)第2章 外皮性能基準について [1:難しかった 2:難しいとは思わない 3:易しい] 3)第3章 一次エネルギー消費量基準について [1:難しかった 2:難しいとは思わない 3:易しい] 4)第4章 設計・施工指針について [1:難しかった 2:難しいとは思わない 3:易しい]</p> <p>質問8. 講師の説明についてお聞きます。(ひとつに○) 1: 大変わかりやすかった 2: わかりやすかった 3: 普通 4: わかりにくかった 5: 大変わかりにくかった</p>
自由記述	<p>質問9. 講習会の内容等について、ご意見があればご記入ください。</p> <div style="border: 1px solid black; height: 100px; width: 100%;"></div>

※灰ベースに書きます

質問10. 貴方(貴社)が行われている省エネ設計等についてお答えください。

10-1. 普段設計または現場管理している断熱工法に○をご記入ください。(複数回答可)

①屋根・天井	1. 天井面で断熱 2. 屋根で断熱(野地板の上に断熱材を施工) 3. 屋根(垂木の間に断熱材を充填)
②外壁	1. 充填断熱 2. 外張断熱 3. 充填外張併用断熱
③床・基礎	1. 床(根太間断熱) 2. 床(大引き間断熱) 3. 床(根太+大引き間断熱) 4. 基礎断熱

10-2. 10-1で回答した工法で使っている断熱材に○をご記入ください。(複数回答可)

①屋根・天井	1. グラスウール、ロックウール 2. 発泡プラスチック系断熱材(ボード状) 3. その他()
②外壁	1. グラスウール、ロックウール 2. 発泡プラスチック系断熱材(ボード状) 3. その他()
③床・基礎	1. グラスウール、ロックウール 2. 発泡プラスチック系断熱材(ボード状) 3. その他()

10-3. 断熱仕様について、設計時に記載する図面、または現場管理時にチェックに使用する図面であてはまるものに○をご記入ください。(複数回答可)

①屋根・天井	1. 特記仕様書 2. 仕上表 3. 平面図 4. 平面詳細図 5. 矩計図 6. その他()
②外壁	1. 特記仕様書 2. 仕上表 3. 平面図 4. 平面詳細図 5. 矩計図 6. その他()
③床・基礎	1. 特記仕様書 2. 仕上表 3. 平面図 4. 平面詳細図 5. 矩計図 6. その他()

10-4. 普段、設計または現場管理している住宅の省エネ基準レベルに○をご記入ください。(複数回答可)

1. H11年基準(次世代基準・等級4)以上	2. H4年基準(新基準・等級3)
3. S55年基準(旧基準・等級2)	4. S55年基準以下

10-5. 計算したことのあるものについて、あてはまるものに○をご記入ください。(複数回答可)

1. 年間冷暖房負荷	2. Q値(熱損失係数)
3. U値(部位熱貫流率)	4. R値(熱抵抗値)

10-6. 断熱・施工方法に関する情報の主な入手先はどこからですか。(複数回答可)

1. 職場内研修から	2. 住宅生産関連団体の講習会などから
3. 公的講習会・仕様書から	4. 建材・設備メーカーの講習会・マニュアルから
5. 建築雑誌から	6. その他()

10-7. 最適な断熱住宅を普及・建設していくにはどの分野の意識啓発が必要と思いますか。(複数回答可)

1. 設計従事者	2. 施工管理者	3. 現場施工者	4. 建築主
5. その他()			

今後、各種アンケート調査など実施するにあたり、ご協力をお願いする場合がありますので、よろしくお願いたします。

本日はお疲れさまでした。このアンケートはお帰りの際、受付にご提出下さい。

質問1 業種をお聞かせ下さい。

- 「工務店」が44.6%で最も多く、「設計事務所」が22.8%、「住宅メーカー／建設会社」が20.4%の回答であった。「その他」は11.0%でその内、「大工」が1.5%であった。

《職種別》

- 「施工」の所属先は、「工務店」が76.9%で最も多く、「住宅メーカー／建設会社」が9.9%であった。「設計事務所」にも5.4%の回答があった。
- 「現場管理」の所属先は、「工務店」が55.1%で最も多い。「住宅メーカー／建設会社」は36.5%で、「施工」と比較し、割合が高くなっている。「設計事務所」は4.4%であった。
- 「設計」の所属先は、「設計事務所」が56.8%で最も多く、「工務店」が22.1%、「住宅メーカー／建設会社」が17.6%であった。

《地域別》

- 「工務店」は、関東(50.2%)、北陸(49.1%)、中部(51.8%)、近畿(49.1%)、中国(54.0%)、四国(51.8%)が50%前後、北海道(40.0%)、東北(43.5%)、九州・沖縄(38.5%)が40%前後であった。
- 「住宅メーカー／建設会社」は、北海道(33.1%)、東北(22.5%)、北陸(25.9%)、九州・沖縄(26.9%)が20%を超える。他の地域は15.5%(近畿)～16.9%(中部・四国)の範囲であった。

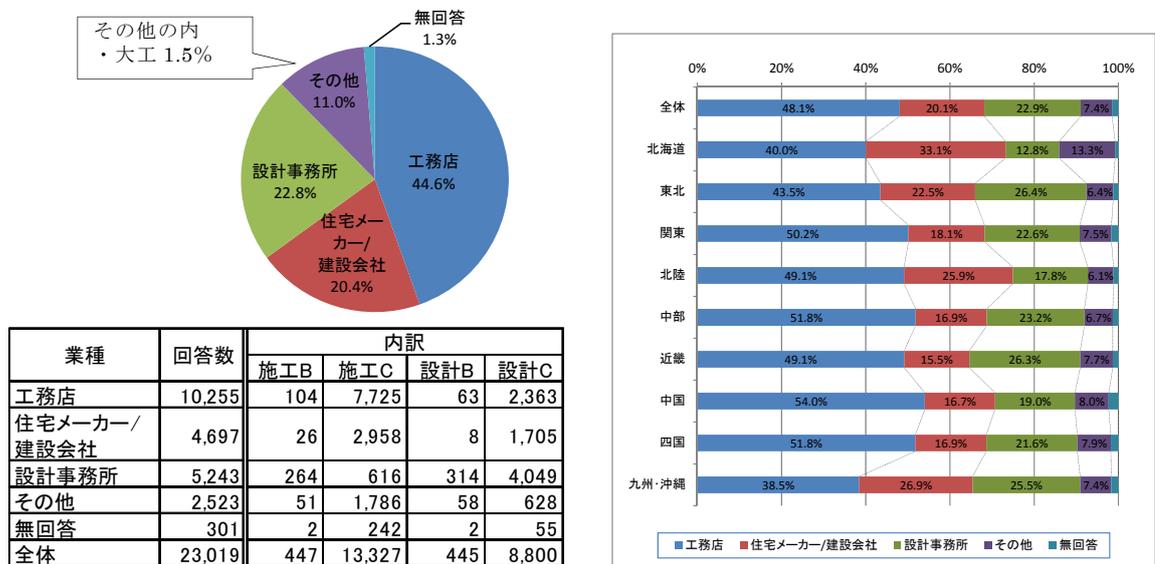


図 4-1-3a 業種

地域別の所属業種

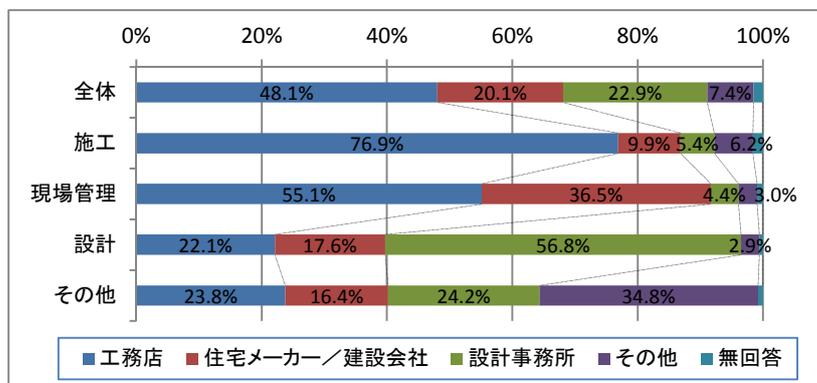


図 4-1-3c 職種別の所属業種

業種「その他」	回答数					%
	施工B	施工C	設計B	設計C	総計	
大工	1	341		6	348	1.5%
建設会社		29		6	35	0.2%
設計事務所				17	17	0.1%
建材販売		254	5	91	350	1.5%
各工種施工	2	82	1	22	105	0.5%
設備施工		85	1	17	108	0.5%
リフォーム施工				14	99	0.4%
不動産業		38		16	54	0.2%
行政		25	2	38	65	0.3%
金融業		8		1	9	0.0%
材木店		31	1	7	39	0.2%
プレカット業者		3		6	9	0.0%
製材業者		5		2	7	0.0%
未分類	24	314	38	175	551	2.4%
その他記入有り合計	27	1,303	48	418	1,796	7.8%
その他全体	51	1,786	58	628	2,523	11.0%
全体	447	13,327	445	8,800	23,019	100.0%

業種「その他」記述内容	数	業種「その他」記述内容	数	業種「その他」記述内容	数	業種「その他」記述内容	数	業種「その他」記述内容	数	業種「その他」記述内容	数
大工	348	(建材販売つづき)		(各工種施工つづき)		(行政つづき)		(未分類つづき)		(未分類つづき)	
1人組方	1	材料関係	1	塗装工	2	地方公共団体	1	職業訓練校	2	職業訓練校	2
1人組方(木工)	2	資材関係	1	塗装防水会社	1	地方公務員	1	計装	1	職業	1
フリー大工	1	資材卸売社	1	内装	1	地方公務員	5	計装工	4	審査機関	4
二人組方	17	資材卸売	10	内装業	2	町役場	1	建築メーカー	1	森林組合	2
一人組方(自営)	1	資材販売	3	内装建築	1	特定行政庁	1	建築販売	1	神奈川県建築安全協会	1
一人組方大工	2	資材販売会社	10	内装工事	1	富士市役所	1	建材メーカー	62	性能	1
二人組方	1	資材販売	1	内装仕上	1	役場(地方公務員)	1	建材メーカー	1	製図、建設	1
二人組方(自営)	1	資材販売	1	内装断熱業	1	金融業	9	建設協同組合建設部	1	製図メーカー	1
建築大工	39	住宅資材販売	5	配管	2	金融業	7	建設協同組合	2	製造業	1
建築大工(自営)	3	住宅資材販売	2	板金業	1	金融機関	2	建設センター	1	積立	1
建方	2	住宅資材販売	2	板金工	1	材木店	38	建設、不動産	1	積立	1
個人大工	2	建設卸売業	1	防カビ工事	2	材木店	2	建設コンサルタント	1	積立事務所	1
一人組方(自営)	1	建設卸売	1	防カビ	1	材木店(建築部)	1	建設協同組合建設部	1	設計、施工	1
自営組方(二人組方)	2	住宅資材販売業	1	防カビ工事	1	材木店	1	建設協会	1	設計、施工、管理	1
自営大工	10	住宅資材販売	1	設備施工	108	材木店	15	建設協会役員	1	設計、施工	1
手間組大工	1	住宅資材販売	1	ガス配管業	1	材木店	1	建設協会役員	1	設計、積立	1
積立大工	1	住宅資材供給会社	1	衛生設備	1	販売店(材木店)	1	建設組合	1	設計施工	1
大工	244	住宅資材供給会社	1	給排水設備	1	販売店、材木等	2	建設	4	設計施工専門設計工房	1
大工(一人組方)	1	住宅資材販売	5	建築設備	2	材木店	2	建築、資材販売	1	設計事務所+設備	1
大工(二人組方)	1	住宅資材販売	3	住宅設備	2	材木の販売会社	1	建築サービス業	1	システム会社	1
大工(自営)	1	住宅資材販売	1	水道工事	2	材木店	1	建築サービス業	2	設計事務所、工務店	1
大工(自営)	3	住宅設備卸売	2	水道設備	1	材木店	2	建築設備検査機関	1	設計事務所、工務店	1
大工女	1	住宅材、建材販売店	2	設備	20	材木店	3	設計事務所、大工、建設	1	建設	1
大工一人組方	2	商店	18	設備維持管理	1	材木店	3	建築士、大工	1	設備メーカー	1
大工(自営)	2	商店/流通	1	設備屋	1	材木店	1	建築士会	1	設備工場	1
木造大工	2	小売	12	設備屋	12	材木流通	2	建設資材、プレカット販売	1	専門学校	2
建設会社	35	小売業	3	設備関係	1	材木流通	2	建設資材メーカー	1	専門学校	1
住宅コン	1	設備関係	3	設備関係	1	プレカット業者	9	建設	1	専門学校	1
建設会社	3	石材	1	設備業	7	プレカット・構造設計	1	建設住宅センター	1	専門学校	3
建設関係	1	石材業	1	設備業(管工事)	1	プレカット会社	1	建設業者	1	専門学校職員	1
建設業	5	窯、建材	1	設備業者	2	プレカット設計	3	建設業	1	専門職	1
建設工事(総合)	1	断熱材販売	1	設備工	1	建材・プレカット販売	1	建設業	1	全て	1
建設業	5	暖房機器販売	1	設備工事	3	設備屋、プレカット	1	建設設備管理関係	1	全建設関連	1
建設工事業	1	電気工事	1	設備業者	1	建材販売プレカット	1	建設設備メーカー	1	建設業者	1
個人+建築請負	1	販売	7	設備業者	2	材木会社プレカット	1	建設検査機関	1	大工の家業	1
個人建築	1	販売会社	1	大阪ガササービスショップ	2	製材業者	7	建物調査	1	大阪府中小建業者	1
個人建築業	2	販売業	3	暖房設備販売	1	製材	1	建物調査	1	協同組合	1
工務店	1	販売業	2	電気店	2	製材業	4	検査センター	1	交通建設	1
施工会社	2	電気店	80	電気店	1	製材業	1	検査センター	1	設備管理主任等	1
施工業	2	物流流通	1	電気、空調	1	木材加工業	1	検査会社	1	マン管理士	1
自営業(建設業)	1	製木設備部	1	電気、設備業	1	未分類	551	検査機関	4	団体	3
自営建設業	2	木材、建材、販売	1	電気、水道設備業	1	GAD/プレメーカー	1	検査指定機関	1	団体(生協)	2
総合建設業	2	木材、建材卸	1	電気関係	1	GADメーカー	8	検査	1	団体ハート	1
総合建設業建築、土木	1	設備	3	電気事業	13	GM	1	検査機関	1	団体	1
総合建設業	1	木材、建材店	1	電気工事会社	1	F、M	1	研究所	2	団体職員	12
設計事務所	17	木材、建材販売会社	1	電気工事業	3	NPO法人	3	研究所(省エネルギー)	1	団体役員	1
インテリアデザイン	1	木材、資材販売	1	電気工事	3	NPO法人	1	電気協会	1	断壁	1
コンサルタント	7	木材資材販売	1	電気設備	3	エネルギー会社	1	電気協同組合連合会	1	断熱材メーカー	19
断熱コンサルタント	2	流通	13	電気	2	エネルギー関連	4	エネルギー関連	1	断熱材メーカー-商店	1
建設コンサルタント	2	流通業	1	リフォーム専門店	99	か、担保	1	エネルギー製造	1	断熱材製造	1
建築士事務所	1	流通業	1	アルミサッシ	1	リフォーム	1	個人事業主	26	暖房製造メーカー	1
設計・施工	1	流通販売店	1	(リフォーム工事業)	1	インテリア	1	個人事業主	1	地域建設事務所	1
設計事務所	2	インテリア	106	インテリア	1	インテリア	1	個人事業主	1	建築事務所	1
設備設計	1	リフォーム会社	1	リフォーム会社	1	リフォーム会社	2	会社	2	電気工事積立	1
建材販売	350	クレーム	1	リフォーム	17	リフォーム	4	公的機関	1	電気機器メーカー	1
アルミサッシ	1	サイン	1	リフォーム、電気店	1	リフォームメーカー	4	工業高校	1	電気企業	1
ガラス店	1	サイン	2	リフォーム・建物管理	1	サボト業務	1	工業高校建設科	2	電気供給業	1
サイン、鏡子	1	サイン・鏡子	1	リフォーム屋	1	システム開発	1	システム設計事務所	1	電気事業	1
サイン会社	1	サイン工	1	リフォーム会社	46	システム開発	1	工務店建設事務所	1	電気設備業者	1
サイン販売店	1	サイン施工、販売店	1	リフォーム業	5	リフォーム	1	工務店団体連	1	電力	1
サイン販売店	1	ブロック、木口	1	リフォーム業者	1	リフォーム	1	広告代理店	1	電力会社	14
卸、小売	1	ヤホカベ	1	リフォームエヤ	1	リフォームエヤ	5	合資会社	1	電力関係	2
卸売業	11	暖房・外装	1	リフォーム工事	1	リフォーム工事	1	倉庫	1	電力関係	3
暖房小売業	1	暖房・外装	1	リフォーム会社	1	リフォーム会社	1	倉庫	1	電力関係	2
建築製造業	2	屋根、板金屋	1	リフォーム専門店	1	リフォーム会社	1	倉庫	1	電力関係	2
建材	6	屋根工事	3	リフォーム専門店	1	リフォーム会社	1	倉庫	1	電力関係	2
建材(断熱材)販売等	6	屋根工事	2	リフォーム専門店	1	リフォーム会社	1	倉庫	1	電力関係	2
建材店	1	屋根工事	2	リフォーム専門店	1	リフォーム会社	1	倉庫	1	電力関係	2
建材卸	3	屋根工事	2	リフォーム専門店	1	リフォーム会社	1	倉庫	1	電力関係	2
建材卸し	1	外装	1	リフォーム専門店	1	リフォーム会社	1	倉庫	1	電力関係	2
建材販売	4	外装工事全般	1	リフォーム専門店	1	リフォーム会社	1	倉庫	1	電力関係	2
建材販売業	1	外装リフォーム	1	リフォーム専門店	1	リフォーム会社	1	倉庫	1	電力関係	2
建材会社	1	外装工事	1	リフォーム専門店	1	リフォーム会社	1	倉庫	1	電力関係	2
建材業者	13	外装	1	リフォーム専門店	1	リフォーム会社	1	倉庫	1	電力関係	2
建材小売	1	基礎工事	1	リフォーム専門店	1	リフォーム会社	1	倉庫	1	電力関係	2
建材小売業	2	基礎工事	1	リフォーム専門店	1	リフォーム会社	1	倉庫	1	電力関係	2
建材店	20	基礎工事	1	リフォーム専門店	1	リフォーム会社	1	倉庫	1	電力関係	2
建材店(工事含む)	1	基礎工事	1	リフォーム専門店	1	リフォーム会社	1	倉庫	1	電力関係	2
建材納入	1	基礎工事	1	リフォーム専門店	1	リフォーム会社	1	倉庫	1	電力関係	2
建材納入	1	基礎工事	1	リフォーム専門店	1	リフォーム会社	1	倉庫	1	電力関係	2
建材販売	12	基礎工事	1	リフォーム専門店	1	リフォーム会社	1	倉庫	1	電力関係	2
建材販売-小売	1	基礎工事	1	リフォーム専門店	1	リフォーム会社	1	倉庫	1	電力関係	2
建材販売会社	1	基礎工事	1	リフォーム専門店	1	リフォーム会社	1	倉庫	1	電力関係	2
建材販売店	17	基礎工事	1	リフォーム専門店	1	リフォーム会社	1	倉庫	1	電力関係	2
建材卸屋	4	基礎工事	1	リフォーム専門店	1	リフォーム会社	1	倉庫	1	電力関係	2
建材卸屋(サイン、ガラス)	1	基礎工事	1	リフォーム専門店	1	リフォーム会社	1	倉庫	1	電力関係	2
建材流通	5	基礎工事	1	リフォーム専門店	1	リフォーム会社	1	倉庫	1	電力関係	2
建材流通業	1	基礎工事	1	リフォーム専門店	1	リフォーム会社	1	倉庫	1	電力関係	2
建材流通店	1	基礎工事	1	リフォーム専門店	1	リフォーム会社	1	倉庫	1	電力関係	2
建設資材販売	1	基礎工事	1	リフォーム専門店	1	リフォーム会社	1	倉庫	1	電力関係	2
建設資材卸	2	基礎工事	1	リフォーム専門店	1	リフォーム会社	1	倉庫	1	電力関係	2
建設資材卸売	1	基礎工事	1	リフォーム専門店	1	リフォーム会社	1	倉庫	1	電力関係	2
建設資材商社	1	基礎工事	1	リフォーム専門店	1	リフォーム会社	1	倉庫	1	電力関係	2
建設資材販売	6	基礎工事	1	リフォーム専門店	1	リフォーム会社	1	倉庫	1	電力関係	2
建設資材販売店	2	基礎工事	1	リフォーム専門店	1	リフォーム会社	1	倉庫	1	電力関係	2
建材	1	基礎工事	1	リフォーム専門店	1	リフォーム会社	1	倉庫	1	電力関係	2
材木、建材店	1	基礎工事	1	リフォーム専門店	1	リフォーム会社	1	倉庫	1	電力関係	2
材料販売	2	基礎工事	1	リフォーム専門店	1	リフォーム会社	1	倉庫	1	電力関係	2

業種「その他」記述

質問2 職種をお聞かせ下さい。

- 「設計」が36.6%で最も多く、「施工」が26.9%、「現場管理」が25.2%であった。「その他」は10.2%で、主な内訳は「営業」が2.6%、「大工」が0.7%であった。

《地域別》

- 「施工」は関東(37.7%)、中国(37.9%)が40%弱、北陸(30.6%)、中部(31.4%)、四国(32.0%)が約30%、東北(25.0%)、近畿(24.7%)、九州・沖縄(26.6%)が25%前後であった。北海道は15.6%で他地域と比較して割合が低い。
- 「現場管理」は北海道が40.2%と割合が高く、他地域は23.3%(関東)～29.5%(近畿)であった。
- 「設計」は東北(36.8%)、北陸(35.0%)、中部(31.2%)、近畿(32.0%)、四国(30.3%)、九州・沖縄(32.5%)が30%を超えている。北海道(24.1%)、関東(27.3%)、中国(25.3%)が30%を下回った。
- 北海道の受講者は他地域と比べ「施工」の割合が低く、「現場管理」の割合が高い。

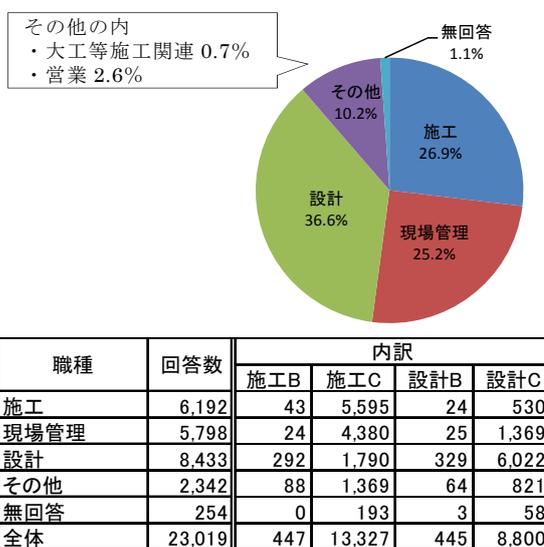
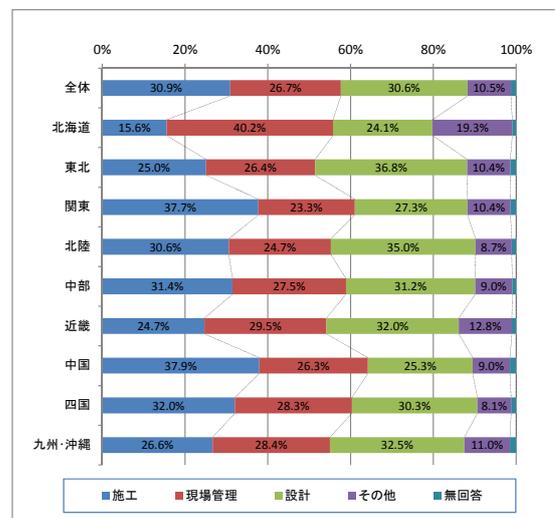


図 4-1-3b 職種



地域別の受講者職種

職種「その他」	回答数					%
	施工B	施工C	設計B	設計C	総計	
大工等施工関連	1	161	1	6	169	0.7%
現場管理		5		8	13	0.1%
設計	1	26	2	34	63	0.3%
設計系		12	2	39	53	0.2%
営業		397	6	188	591	2.6%
事業主等		69		23	92	0.4%
建材販売		50		9	59	0.3%
検査機関	13	11	18	16	58	0.3%
工務店						0.0%
行政	1	12	2	18	33	0.1%
施工、現場管理、設計、営業等兼ねる	1	85		65	151	0.7%
未分類	2	154	10	137	303	1.3%
その他記入有り合計	19	982	41	543	1,585	6.9%
その他全体	88	1,369	64	821	2,342	10.2%
全体	447	13,327	445	8,800	23,019	100.0%

職種「その他」記述内容	数	職種「その他」記述内容	数	職種「その他」記述内容	数	職種「その他」記述内容	数	職種「その他」記述内容	数
大工等施工関連	169	(検査機関つづき)	53	(検査機関つづき)	3	(施工、現場管理等兼ねる つづき)	1	(未分類つづき)	1
アフター・リフォーム	1	申請書	4	営業企画	3	設計・積算	1	建築確認	1
アフターサービス(リフォーム)	2	設計補助	4	審査業務	4	設計・施工補助	1	建築書籍	1
ブルーシート	1	役所申請書	1	審査業務	4	設計・施行・監理	1	建築物管理関係	1
リフォーム	2	営業	591	審査業務、現場検査員	1	設計・監理	1	建物調査	1
リフォーム(内装中心)	1	リフォーム営業	2	申請図書審査	1	設計・管理	1	検査・測定	1
高層階(エレベーター修理等)	1	カーナビ	1	設計管理	1	設計・施工	5	研究	2
化工及び現場施工	1	営業	563	設計・施工・管理	1	設計・施工・管理	1	研究所	1
給排水設備他	1	営業、リフォーム	1	設備管理	1	設計・施工管理・営業・事務	1	研究所(省エネルギー)	1
空調工事	1	営業など	1	設備管理	1	設備業務	1	見習い	1
建具	1	営業マン	1	民間建設検査機関	1	設計監理	4	見習い	1
建築家	2	営業管理職	1	行政	33	設計監理、現場監理	1	公営住宅の管理	1
建築大工	8	営業系	1	官公庁	32	設計管理	2	工務店サポート	1
工務	1	営業支援	1	建築行政	9	設計及び営業	1	広告宣伝	1
左官	3	営業職	3	公務員	1	設計及び現場管理	1	広報	1
施工	1	営業推進	3	公務員(審査)	1	設計及現場管理	1	広報・ソフト開発	1
施工、見積、原価管理その他全般	1	営業他	2	行政	16	設計営業	1	購買	2
住宅メンテナンス	1	営業販売	1	行政事務	1	設計現場管理	1	国産建築の普及支援	1
高工	1	建材販売営業	1	行政事務	1	設計事務	7	国交省補助金審査	1
職人	1	建設会社営業	1	行政事務	1	設計補助	1	材料	1
数寄屋大工	2	建設資材販売営業	1	地方公務員	1	設計現場管理	2	雑仕事	1
設備屋	1	資材営業	2	施工、現場管理、設計、営業等兼ねる	151	設計現場管理	1	調理	1
設備補立	1	住宅営業	2	1人親方の為設計、施工、	1	設計施工	2	施工図	1
総合建設業	1	住宅建材販売営業	1	管理サービス	1	設計事務	1	施設管理	2
大工	121	建材販売営業	1	住宅・心電図設計	1	設計補助	1	設備管理	30
大工、左官	1	内勤営業	1	営業、アドバイザー	1	全て	4	事務(web・広告・コーディネーター)	1
断熱工事事業施工	1	事業主等	92	営業、コーディネーター	1	全て(大工さん以外)	1	事務+補助	1
電気	1	会社役員	3	営業、管理	3	全て(施工以外)	1	事務・アシスタント・管理見習い	2
電気工事	1	経営	23	営業、経営企画	1	全て(施工・管理)	1	事務たまに手伝い	1
電気	1	経営者	12	営業、現場管理	3	全て(行)	2	事務全般	1
営業	1	工務店経営	1	営業、現場管理補助	1	全て	2	事務員	2
塗装工	1	事業主	2	営業、現場施工	1	代表及び設計・現場管理	1	事務員	1
内装	1	社長	1	営業、積算	1	電気設計・施工・保全	1	事務部長	1
配管業	1	取締役	1	営業、設計	2	納材 営業	1	事務職	2
配管業者	1	代表	9	営業、設計、現場管理	2	販売、現場管理	1	事務等	1
施工	1	代表、管理技術者	9	営業、現場管理	2	販売、現場管理	1	事務等	1
木造建築一式工事	1	代表者	22	営業~設計~現場管理	1	未分類	303	材料	1
現場管理	13	代表取締役	6	営業、運輸	1	GM	1	社員	1
監理の管理	1	役員	10	営業、企画	1	F、M	1	主に経理、図面直し等	1
管理	9	役員・営業	1	営業、企画	1	NPO団体	1	主人の設計のあるとき	1
現場監督	1	役員	1	営業、業務	1	RC	1	間どりの設計のあるとき	1
工事管理	1	建材販売	59	営業、設計アシスタント	1	アドバイザー	3	間どりの設備と差を出す	1
住宅管理	1	プレカット	1	営業、現場管理	2	アフター	3	住宅指図管理検査	1
設計	63	建材の納品(一部施工)	1	営業、販売	1	アフターサービス	1	住宅	2
デザイン、設計と監理	1	建材卸売業	1	営業、コンサル	1	アフターメンテナンス業務	1	商品開発	7
一般建築士・建築コスト管理士	1	建材商社	1	営業と好意	1	アフターサービス、ピファアサービス	1	商品部	1
開発、設計	1	建材販売	3	営業関係	1	インストラクター	3	職業訓練	1
監理	2	建材販売	3	営業関係	4	インストラクター	1	職業訓練指導員	1
管理建築士	1	建築資材小売	1	営業関係	5	カスタマー	1	営業、研修、相談	1
現場監理	1	木造建材販売	3	営業技術	3	カスタマーセンター	1	清潔	1
工事、積算	1	材料販売	1	営業業	1	クリーン	1	生産技術	1
工事監理	5	資材卸売業	1	営業業プランナー	1	コーディネーター	6	製造	1
構造計算	1	資材販売	4	営業現場管理	2	コンサルtant	11	製造・販売	1
構造計算等	1	資材販売	4	営業業設計	1	コンサル小売業	1	製造業	1
構造設計	1	小売	1	営業事務	4	サービスマン	1	設備	1
省エネ計算	3	小売販売	1	営業設計	5	サッシ	1	全て	20
省エネ計算書	2	製造・販売	1	会社経営、営業	1	サッシ業務	2	全体管理	1
図面、積算	1	断熱材販売	1	開発営業	1	ショールーム勤務	1	全般	3
積算	1	断熱材販売	1	管理、設計	1	スタッフ	1	金庫管理	1
積算、申請	1	設備設備検査販売	1	企画、営業	2	ソフト開発	1	損保	1
積算、申請	1	納材	2	企画から現場管理まで	1	パソコン	1	総合	1
積算・積算	1	納材施工会社	1	技術、営業	1	プログラム開発	1	総括	1
積算部	2	納品業者・小売	1	技術営業	2	メンテナンス	3	総合	2
設計	5	販売	19	経理営業	1	もろもろ	1	総合管理	2
設計コンサル	1	販売店(材木屋)	5	計画・施工管理	1	リペア・メンテナンス	1	総合企画管理	1
設計事務所	1	木村業	2	建築設計工事管理及び施工	1	運営	1	総合	1
設計事務者	1	流通	4	現場管理、設計、営業	1	家づくりに関する事全部	1	総務	2
設計系	53	検査機関	58	現場管理・事務	1	会社員	2	総務・経理他	1
CADオペレーター	7	検査員	3	個人の工務店のため全て	1	開発	7	総務・経理地	1
IC	4	検査担当者検査	1	工ム店・設計事務所代表	1	開発	2	総務・経理地	1
IC	6	確認検査	1	工務、管理	1	開発	1	総務・経理地	1
アシスタントプランナー	1	確認検査者	1	建築設計工事管理及び施工	1	開発	1	総務・経理地	1
インテリアコーディネーター	9	確認検査者、検査他	1	左記全部	1	開発	1	総務・経理地	1
インテリアコーディネーター及び設計	1	建築関係営業	1	左記全部	1	開発	1	総務・経理地	1
オール電化住宅プラン	1	建築基準法等の検査	1	左記全部	1	開発	1	総務・経理地	1
プランナー	1	建築審査・検査	1	左記全部	1	開発	1	総務・経理地	1
プランニング コーディネーター	1	建築審査等業務	1	左記全部	1	開発	1	総務・経理地	1
客販	1	検査	7	左記全部	1	開発	1	総務・経理地	1
企画	3	検査員	1	左記全部	1	開発	1	総務・経理地	1
企画開発	2	現場検査	2	左記全部	1	開発	1	総務・経理地	1
基本デザイン	1	現場検査(保険、フラット35)	1	左記全部	1	開発	1	総務・経理地	1
技術コンサルtant	1	現場検査等	1	左記全部	1	開発	1	総務・経理地	1
経営企画	1	任意性即経理	1	左記全部	1	開発	1	総務・経理地	1
住宅コンサル	1	任意性即経理	1	左記全部	1	開発	1	総務・経理地	1
住宅デザイナー	1	任意性即経理	1	左記全部	1	開発	1	総務・経理地	1
申請・インテリアコーディネーター	1	任意性即経理	1	左記全部	1	開発	1	総務・経理地	1

図 I -2c 職種「その他」記述

質問3 年齢層をお聞かせ下さい。

- 「30代」24.9%、「40代」24.1%、「50代」23.5%、「60代以上」17.9%であった。「10代」「20代」は合わせても8.8%であった。

《職種別》

- 「施工」、「設計」は全体平均と比較して「60代以上」の割合が高い。
- 「現場管理」は30代～50代の年齢層が多い。

《地域別》

- 「10代」+「20代」は約10%で地域による差はなかった。
- 「30代」～「50代」は各地域共、概ね20～30%の割合であった。
- 「60代以上」は北海道が12.3%で他と比較して割合が低い。



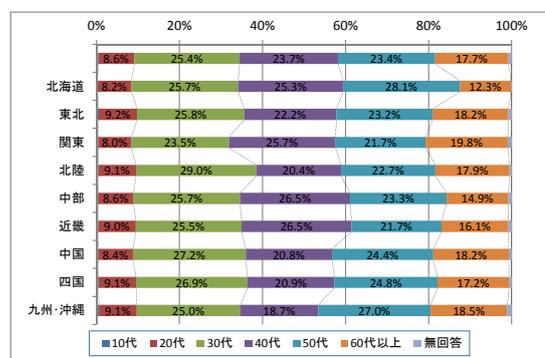
図 4-1-4a 年齢層



図 4-1-4b 職種別の受講者年齢層

	回答数 合計	年齢層							
		10代	20代	30代	40代	50代	60代以上	無回答	
全体	34,047	0.5%	8.6%	25.4%	23.7%	23.4%	17.7%	0.8%	
地域	北海道	1,189	0.3%	8.2%	25.7%	25.3%	28.1%	12.3%	0.2%
	東北	4,456	0.6%	9.2%	25.8%	22.2%	23.2%	18.2%	0.7%
	関東	8,985	0.4%	8.0%	23.5%	25.7%	21.7%	19.8%	0.9%
	北陸	2,250	0.4%	9.1%	29.0%	20.4%	22.7%	17.9%	0.5%
	中部	5,211	0.4%	8.6%	25.7%	26.5%	23.3%	14.9%	0.7%
	近畿	3,799	0.4%	9.0%	25.5%	26.5%	21.7%	16.1%	0.8%
	中国	2,795	0.4%	8.4%	27.2%	20.8%	24.4%	18.2%	0.6%
	四国	1,497	0.5%	9.1%	26.9%	20.9%	24.8%	17.2%	0.6%
	九州・沖縄	3,865	0.6%	9.1%	25.0%	18.7%	27.0%	18.5%	1.0%

地域別の受講者年齢層



質問4 普段たずさわっている断熱工法に○をご記入ください。(複数回答)

①屋根・天井

- 普段たずさわっている「屋根・天井」の断熱工法は「天井断熱」が最も多く 68.9%、「垂木間充填断熱」が 20.0%、「屋根野地上断熱」が 14.7%であった。
- 天井断熱が多い点は、昨年度調査と同様であった。

《地域別》

- いずれの地域についても「天井断熱」が他の工法より際立って多い。
- 「屋根野地上断熱」と「垂木間充填断熱」は、北海道では前者が多く、東北は同じ割合、その他の地域は後者が多い。

屋根・天井の断熱工法	回答数
天井断熱	15,861
屋根野地上断熱	3,382
垂木間充填断熱	4,601
無回答	3,297
全体	23,019

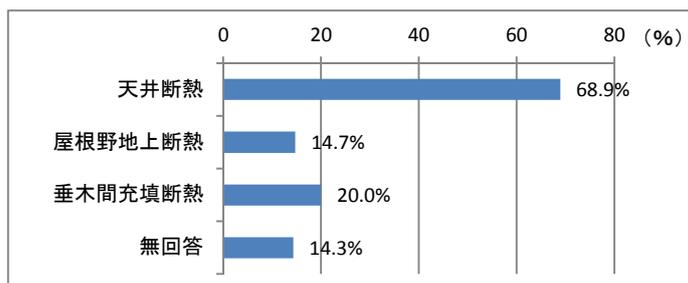
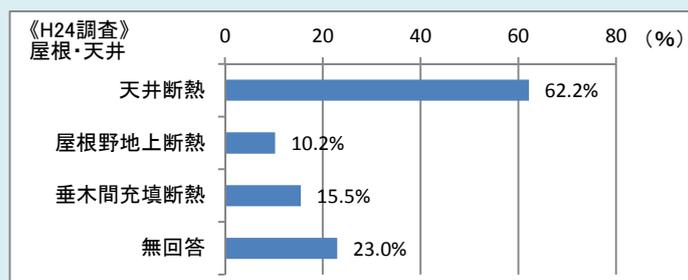


図 5-1-1a 普段たずさわっている屋根・天井の断熱工法

《H24調査》 屋根・天井の断熱工法	回答数
天井断熱	6,854
屋根野地上断熱	1,128
垂木間充填断熱	1,711
無回答	2,531
全体	11,028

《H24調査》
普段たずさわっている
屋根・天井の断熱工法



	合計 (回答数)	断熱工法 屋根・天井 (%)			
		天井 断熱	屋根 野地上 断熱	垂木間 充填 断熱	無回答
全体	23,019	68.9	14.7	20.0	14.3
北海道 (全体との差)	828	72.9 +4.0	17.4 +2.7	14.5 -5.5	17.9 -
東北 (全体との差)	3,259	73.5 +4.6	14.0 -0.7	14.0 -6.0	14.7 -
関東 (全体との差)	6,105	67.8 -1.1	14.6 -0.0	19.3 -0.7	14.9 -
北陸 (全体との差)	1,409	73.7 +4.8	12.0 -2.7	20.4 +0.4	10.4 -
近畿 (全体との差)	2,626	61.6 -7.3	16.6 +1.9	22.7 +2.7	18.4 -
中国 (全体との差)	1,941	74.1 +5.2	14.1 -0.6	19.6 -0.4	11.8 -
四国 (全体との差)	1,043	68.6 -0.4	15.4 +0.7	23.6 +3.6	12.9 -
九州・沖縄 (全体との差)	2,524	67.1 -1.8	13.4 -1.3	19.2 -0.8	15.5 -

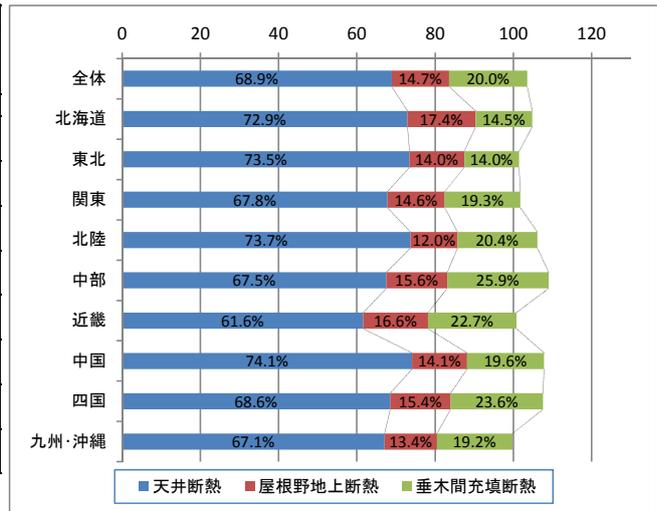
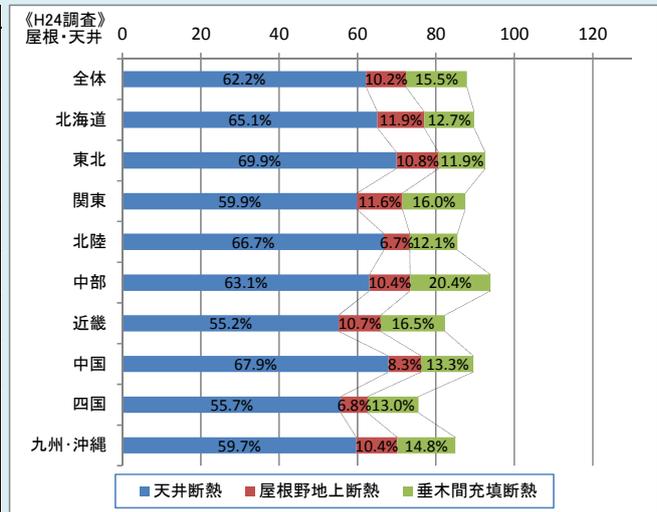


図 5-1-1b 地域別の普段たずさわっている屋根・天井の断熱工法

《H24調査》	合計 (回答数)	断熱工法 屋根・天井 (%)			
		天井 断熱	屋根 野地上 断熱	垂木間 充填 断熱	無回答
全体	11,028	62.2	10.2	15.5	23.0
北海道 (全体との差)	361	65.1 +2.9	11.9 +1.7	12.7 -2.8	18.8 -
東北 (全体との差)	1,197	69.9 +7.8	10.8 +0.5	11.9 -3.7	16.9 -
関東 (全体との差)	2,880	59.9 -2.3	11.6 +1.3	16.0 +0.5	24.7 1.7
北陸 (全体との差)	841	66.7 +4.6	6.7 -3.6	12.1 -3.4	20.5 -
中部 (全体との差)	1,927	63.1 +0.9	10.4 +0.2	20.4 +4.9	20.0 -
近畿 (全体との差)	1,173	55.2 -6.9	10.7 +0.4	16.5 +0.9	28.5 -
中国 (全体との差)	854	67.9 +5.8	8.3 -1.9	13.3 -2.2	19.0 -
四国 (全体との差)	454	55.7 -6.4	6.8 -3.4	13.0 -2.5	35.0 -
九州・沖縄 (全体との差)	1,341	59.7 -2.5	10.4 +0.2	14.8 -0.7	25.1 -



《H24調査》地域別の普段たずさわっている屋根・天井の断熱工法

質問4 普段たずさわっている断熱工法に○をご記入ください。(複数回答)

②外壁

- 普段たずさわっている「外壁」の断熱工法は「充填断熱」が最も多く73.3%、「外張断熱」が11.4%、「充填外張併用断熱」が6.1%であった。
- 充填断熱が多い点は、昨年度調査と同様であった。

《地域別》

- 北海道は「充填断熱」が39.7%、「充填外張併用断熱」が38.9%と同程度に多く、「外張断熱」が19.7%であった。他地域と傾向が異なる。
- 他地域は「充填断熱」がいずれも70%を超え最多、「外張断熱」は9.5%(中国他)～15.2%(東北)、「充填外張併用断熱」はいずれも8%以下であった。

外壁の断熱工法	回答数
充填断熱	16,874
外張断熱	2,631
充填外張併用断熱	1,393
無回答	3,677
全体	23,019

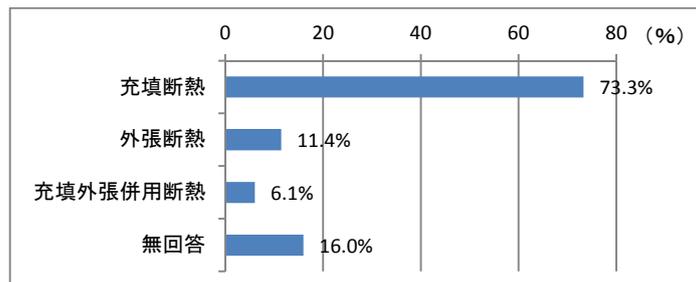
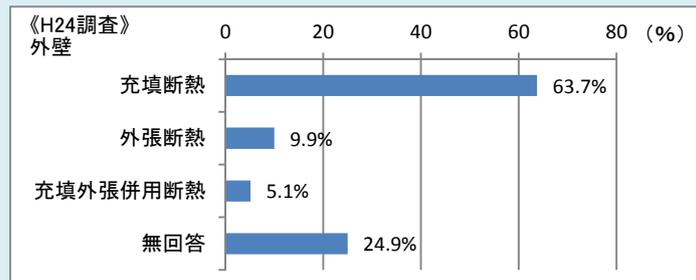


図 5-1-2a 普段たずさわっている外壁の断熱工法

《H24調査》 外壁の断熱工法	回答数
充填断熱	7,029
外張断熱	1,097
充填外張併用断熱	562
無回答	2,751
全体	11,028



《H24調査》
普段たずさわっている
外壁の断熱工法

	合計 (回答数)	断熱工法 外壁 (%)			無回答
		充填 断熱	外張 断熱	充填外 張併用 断熱	
全体	23,019	73.3	11.4	6.1	16.0
北海道 (全体との差)	828	39.7 -33.6	19.7 +8.3	38.9 +32.8	18.4
東北 (全体との差)	3,259	71.3 -2.0	15.2 +3.8	7.7 +1.7	15.5
関東 (全体との差)	6,105	75.3 +2.0	10.4 -1.0	3.6 -2.4	16.5
北陸 (全体との差)	1,409	78.6 +5.3	11.9 +0.4	6.0 -0.0	10.9
中部 (全体との差)	3,284	77.8 +4.5	11.3 -0.1	5.7 -0.3	12.4
近畿 (全体との差)	2,626	70.6 -2.7	10.1 -1.3	4.6 -1.4	19.9
中国 (全体との差)	1,941	77.9 +4.6	9.5 -2.0	3.8 -2.2	14.4
四国 (全体との差)	1,043	75.0 +1.7	10.5 -0.9	3.3 -2.8	15.8
九州・沖縄 (全体との差)	2,524	71.8 -1.5	9.5 -1.9	3.8 -2.2	19.2

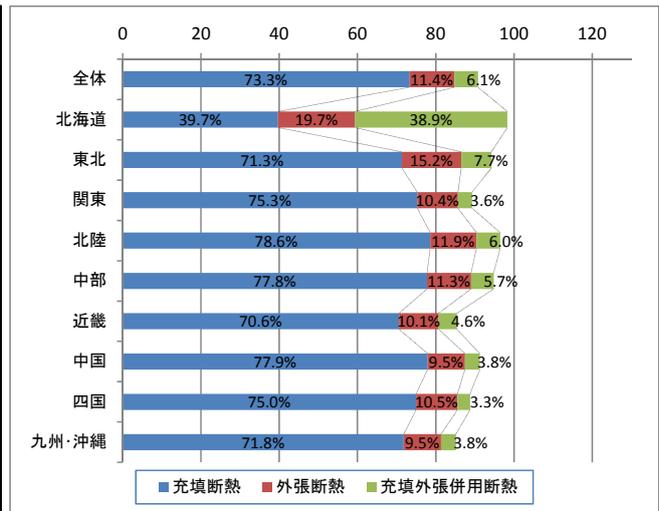
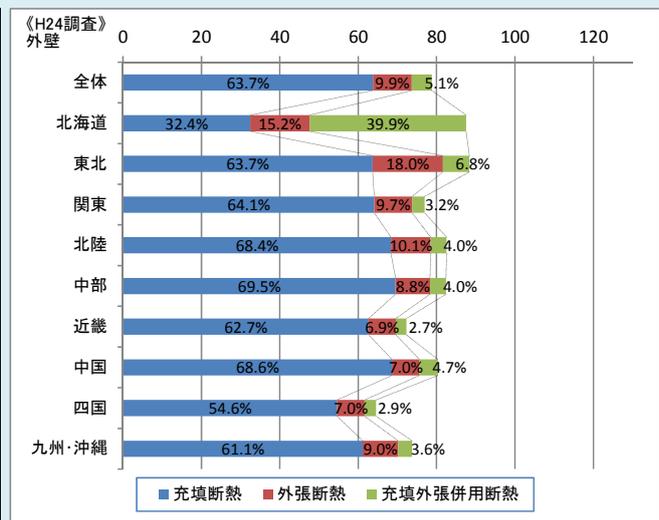


図 5-1-2b 地域別の普段たずさわっている外壁の断熱工法

《H24調査》	合計 (回答数)	断熱工法 外壁 (%)			無回答
		充填 断熱	外張 断熱	充填外 張併用 断熱	
全体	11,028	63.7	9.9	5.1	24.9
北海道 (全体との差)	361	32.4 -31.3	15.2 +5.3	39.9 +34.8	17.5
東北 (全体との差)	1,197	63.7 -0.1	18.0 +8.0	6.8 +1.7	18.4
関東 (全体との差)	2,880	64.1 +0.4	9.7 -0.3	3.2 -1.9	26.7
北陸 (全体との差)	841	68.4 +4.6	10.1 +0.2	4.0 -1.1	21.9
中部 (全体との差)	1,927	69.5 +5.8	8.8 -1.1	4.0 -1.0	21.6
近畿 (全体との差)	1,173	62.7 -1.1	6.9 -3.0	2.7 -2.4	30.1
中国 (全体との差)	854	68.6 +4.9	7.0 -2.9	4.7 -0.4	22.7
四国 (全体との差)	454	54.6 -9.1	7.0 -2.9	2.9 -2.2	37.4
九州・沖縄 (全体との差)	1,341	61.1 -2.6	9.0 -0.9	3.6 -1.5	28.6



《H24調査》地域別の普段たずさわっている外壁の断熱工法

質問4 普段たずさわっている断熱工法に○をご記入ください。(複数回答)

③床・基礎

- 普段たずさわっている「床・基礎」の断熱工法は「根太間充填断熱」が最も多く 42.9%、「大引間充填断熱」が 29.0%、「根太+大引間充填断熱」が 7.1%、「基礎断熱」が 18.5%であった。
- 根太間充填断熱が多い点は、昨年度調査と同様であった。

《地域別》

- 北海道は「基礎断熱」が最も多く 53.4%であった。他地域とは床暖熱と基礎断熱の割合が逆転し、異なる傾向であった。
- 東北は「根太間充填断熱」が最も多く 37.1%、次いで「大引間充填断熱」が 28.2%、「基礎断熱」が 26.5%で概ね三分されている。北海道を除く他地域と比較して、床暖熱の割合が基礎断熱より高いことでは同じだが、基礎断熱の割合自体は他地域より高くなっている。
- 他地域は「根太間充填断熱」が 39.4%(近畿)~50.9%(中国)、「大引間充填断熱」が 18.7%(九州・沖縄)~33.6%(近畿)、「基礎断熱」は 13.7%(近畿)~19.0%(中部)であった。昨年度調査より基礎断熱の割合が高くなっている。

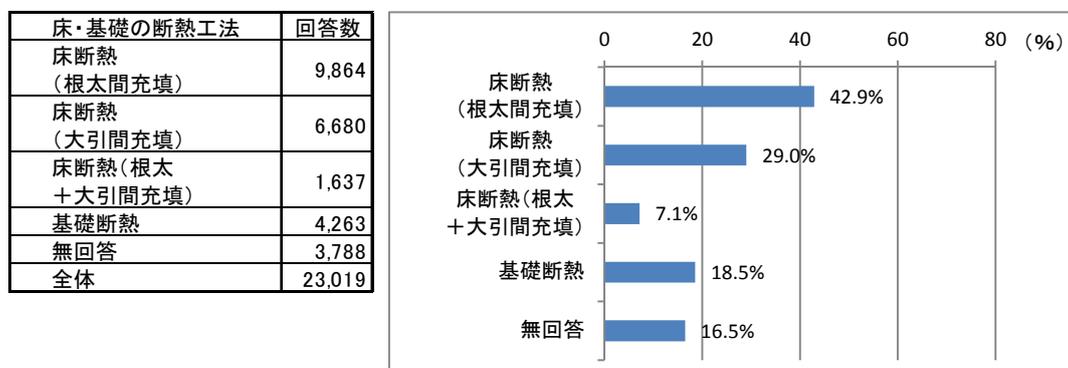
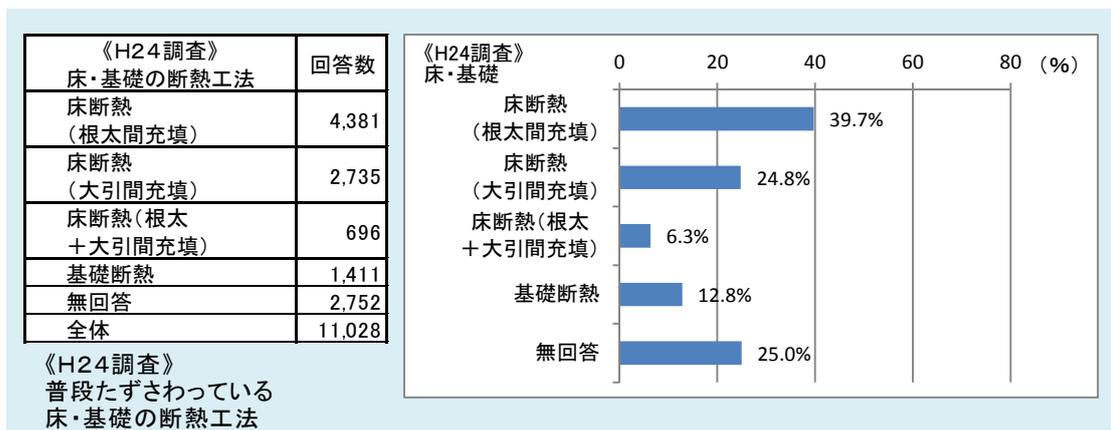


図 5-1-3a 普段たずさわっている床・基礎の断熱工法



	合計 (回答数)	断熱工法 床・基礎 (%)				無回答
		床断熱 (根太間 充填)	床断熱 (大引間 充填)	床断熱 (根太+ 大引間 充填)	基礎 断熱	
全体	23,019	42.9	29.0	7.1	18.5	16.5
北海道	828	16.7	14.5	14.7	53.4	19.2
(全体との差)		-26.2	-14.5	+7.6	+34.9	-
東北	3,259	37.1	28.2	7.8	26.5	16.3
(全体との差)		-5.7	-0.9	+0.7	+8.0	-
関東	6,105	42.1	32.2	6.9	15.4	16.8
(全体との差)		-0.7	+3.2	-0.2	-3.1	-
北陸	1,409	48.8	26.5	8.1	17.8	11.3
(全体との差)		+5.9	-2.5	+1.0	-0.7	-
中部	3,284	45.4	32.4	6.2	19.0	12.6
(全体との差)		+2.6	+3.4	-0.9	+0.5	-
近畿	2,626	39.4	33.6	6.5	13.7	20.7
(全体との差)		-3.5	+4.6	-0.6	-4.8	-
中国	1,941	50.9	29.0	6.8	15.0	14.2
(全体との差)		+8.1	-0.0	-0.3	-3.5	-
四国	1,043	47.0	30.9	5.8	13.8	14.4
(全体との差)		+4.1	+1.9	-1.3	-4.7	-
九州・沖縄	2,524	49.7	18.7	6.3	13.6	21.0
(全体との差)		+6.8	-10.3	-0.8	-4.9	-

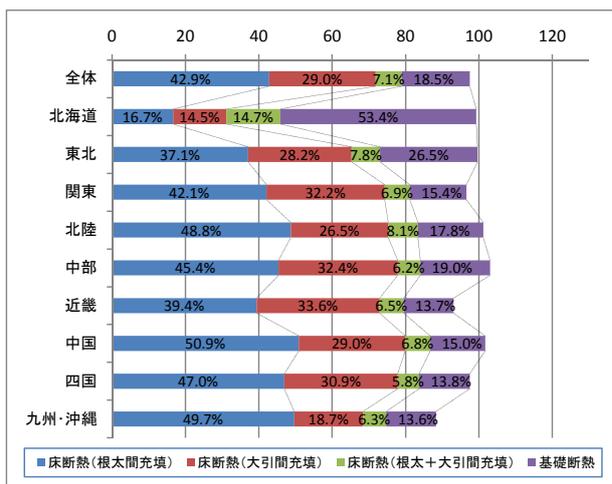
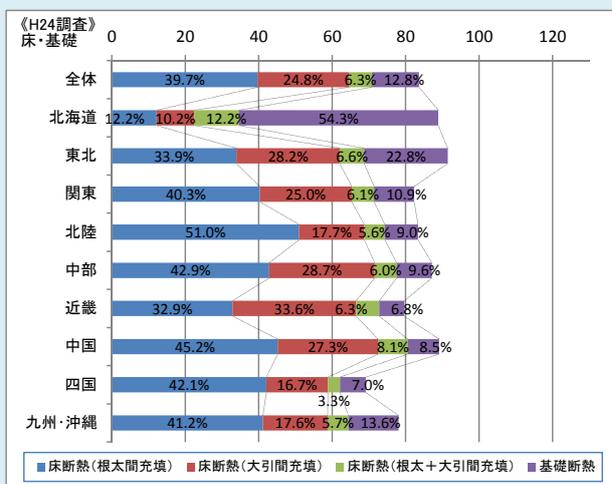


図 5-1-3b 地域別の普段たずさわっている床・基礎の断熱工法

《H24調査》	合計 (回答数)	断熱工法 床・基礎 (%)				無回答
		床断熱 (根太間 充填)	床断熱 (大引間 充填)	床断熱 (根太+ 大引間 充填)	基礎 断熱	
全体	11,028	39.7	24.8	6.3	12.8	25.0
北海道	361	12.2	10.2	12.2	54.3	18.3
(全体との差)		-27.5	-14.6	+5.9	+41.5	-
東北	1,197	33.9	28.2	6.6	22.8	19.2
(全体との差)		-5.8	+3.4	+0.3	+10.0	-
関東	2,880	40.3	25.0	6.1	10.9	25.9
(全体との差)		+0.6	+0.2	-0.2	-1.9	-
北陸	841	51.0	17.7	5.6	9.0	22.0
(全体との差)		+11.3	-7.1	-0.7	-3.8	-
中部	1,927	42.9	28.7	6.0	9.6	22.0
(全体との差)		+3.1	+3.9	-0.3	-3.2	-
近畿	1,173	32.9	33.6	6.3	6.8	30.0
(全体との差)		-6.8	+8.8	-0.0	-6.0	-
中国	854	45.2	27.3	8.1	8.5	21.0
(全体との差)		+5.5	+2.5	+1.8	-4.2	-
四国	454	42.1	16.7	3.3	7.0	36.8
(全体との差)		+2.3	-8.1	-3.0	-5.7	-
九州・沖縄	1,341	41.2	17.6	5.7	13.6	30.1
(全体との差)		+1.4	-7.2	-0.6	+0.9	-



《H24調査》地域別の普段たずさわっている床・基礎の断熱工法

質問4 普段たずさわっている断熱工法に○をご記入ください。(複数回答)

④「外壁」と「屋根・天井」の断熱工法の組合せ

〔全体〕「外壁」と「屋根・天井」の断熱工法の組合せ

- 「外壁充填断熱」との組合せは「天井断熱」が最も多く 82.9%、「屋根野地上断熱」が 14.1%、「垂木間充填断熱」が 23.3%であった。
- 「外壁外張断熱」との組合せは「天井断熱」が 64.0%で最多であったが、「屋根野地上断熱」も 49.9%と近い割合となっている。「垂木間充填断熱」は 31.2%であった。
- 「外壁充填外張併用断熱」との組合せは「天井断熱」が最も多く 76.0%、「屋根野地上断熱」が 33.0%、「垂木間充填断熱」が 36.3%であった。

	合計 (回答数)	断熱工法 屋根・天井 (%)				
		天井 断熱	屋根 野地上 断熱	垂木間 充填 断熱	無回答	
全体	23,019	68.9	14.7	20.0	14.3	
断熱 工法 外壁	充填断熱	16,874	82.9	14.1	23.3	1.0
	外張断熱	2,631	64.0	49.9	31.2	2.7
	充填外張 併用断熱	1,393	76.0	33.0	36.3	1.4

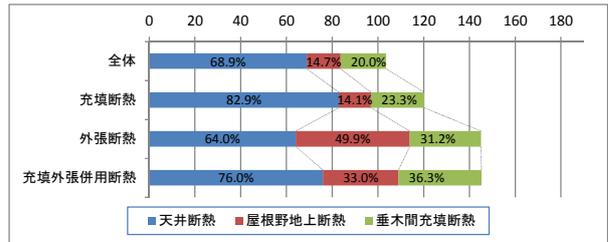


図 5-1-4a 外壁と屋根・天井の断熱工法の組合せ

〔北海道地域〕「外壁」と「屋根・天井」の断熱工法の組合せ

- 「外壁充填断熱」との組合せは「天井断熱」が最も多く 95.1%、「屋根野地上断熱」が 17.3%、「垂木間充填断熱」が 16.1%であった。
- 「外壁外張断熱」との組合せは「天井断熱」が 77.3%で最多であったが、「屋根野地上断熱」も 44.2%となっている。「垂木間充填断熱」が 22.7%であった。
- 「外壁充填外張併用断熱」との組合せは「天井断熱」が最も多く 89.4%、「屋根野地上断熱」が 23.3%、「垂木間充填断熱」が 25.8%であった。

	合計 (回答数)	断熱工法 屋根・天井 (%)				
		天井 断熱	屋根 野地上 断熱	垂木間 充填 断熱	無回答	
北海道全体	828	72.9	17.4	14.5	17.9	
断熱 工法 外壁	充填断熱	329	95.1	17.3	16.1	0.0
	外張断熱	163	77.3	44.2	22.7	3.7
	充填外張 併用断熱	322	89.4	23.3	25.8	0.9

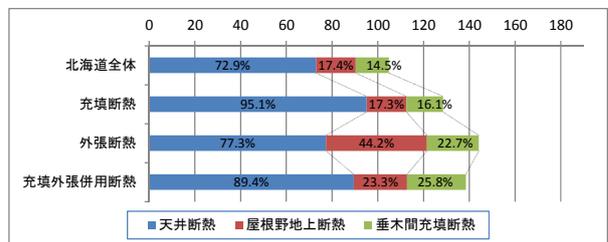


図 5-1-4b 同 北海道地域

〔東北地域〕「外壁」と「屋根・天井」の断熱工法の組合せ

- 「外壁充填断熱」との組合せは「天井断熱」が最も多く 90.5%、「屋根野地上断熱」が 12.7%、「垂木間充填断熱」が 15.5%であった。
- 「外壁外張断熱」との組合せは「天井断熱」が 67.5%で最多であったが、「屋根野地上断熱」も 49.4%となっている。「垂木間充填断熱」が 25.2%であった。
- 「外壁充填外張併用断熱」との組合せは「天井断熱」が最も多く 74.5%、「屋根野地上断熱」が 37.5%、「垂木間充填断熱」が 32.7%であった。

	合計 (回答数)	断熱工法 屋根・天井 (%)				
		天井 断熱	屋根 野地上 断熱	垂木間 充填 断熱	無回答	
東北全体	3,259	73.5	14.0	14.0	14.7	
断熱 工法 外壁	充填断熱	2,325	90.5	12.7	15.5	0.9
	外張断熱	496	67.5	49.4	25.2	2.6
	充填外張 併用断熱	251	74.5	37.5	32.7	1.6

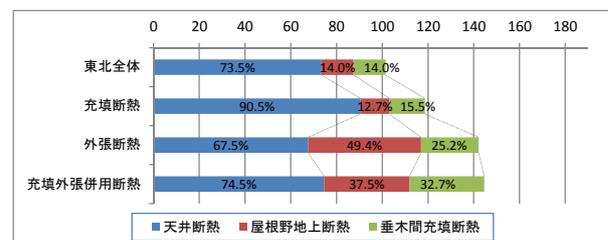


図 5-1-4c 同 東北地域

〔関東地域〕「外壁」と「屋根・天井」の断熱工法の組合せ

- 「外壁充填断熱」との組合せは「天井断熱」が最も多く 82.1%、「屋根野地上断熱」が 14.0%、「垂木間充填断熱」が 22.5%であった。
- 「外壁外張断熱」との組合せは「天井断熱」が 59.9%、「屋根野地上断熱」が 56.2%で同程度の割合であった。「垂木間充填断熱」が 30.8%であった。
- 「外壁充填外張併用断熱」との組合せは「天井断熱」が最も多く 65.5%、「屋根野地上断熱」が 37.7%、「垂木間充填断熱」が 46.4%であった。

	合計 (回答数)	断熱工法 屋根・天井 (%)			
		天井 断熱	屋根 野地上 断熱	垂木間 充填 断熱	無回答
関東全体	6,105	67.8	14.6	19.3	14.9
断熱 工法 外壁	充填断熱	82.1	14.0	22.5	1.1
	外張断熱	59.9	56.2	30.8	3.3
	充填外張 併用断熱	220	65.5	37.7	46.4

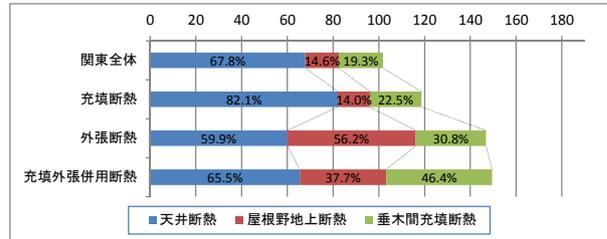


図 5-1-4d 同 関東地域

〔北陸地域〕「外壁」と「屋根・天井」の断熱工法の組合せ

- 「外壁充填断熱」との組合せは「天井断熱」が最も多く 84.2%、「屋根野地上断熱」が 10.5%、「垂木間充填断熱」が 22.3%であった。
- 「外壁外張断熱」との組合せは「天井断熱」が最も多く 65.9%、「屋根野地上断熱」が 37.7%、「垂木間充填断熱」が 35.3%であった。
- 「外壁充填外張併用断熱」との組合せは「天井断熱」が最も多く 75.3%、「屋根野地上断熱」が 38.8%、「垂木間充填断熱」が 25.9%であった。

	合計 (回答数)	断熱工法 屋根・天井 (%)			
		天井 断熱	屋根 野地上 断熱	垂木間 充填 断熱	無回答
北陸全体	1,409	73.7	12.0	20.4	10.4
断熱 工法 外壁	充填断熱	84.2	10.5	22.3	1.2
	外張断熱	65.9	37.7	35.3	4.2
	充填外張 併用断熱	85	75.3	38.8	25.9

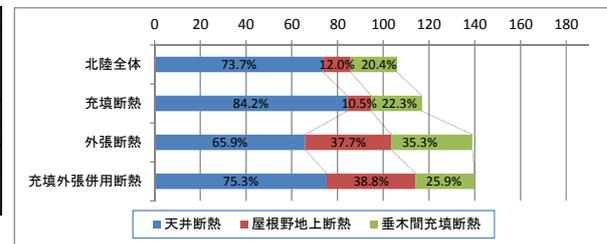


図 5-1-4e 同 北陸地域

〔中部地域〕「外壁」と「屋根・天井」の断熱工法の組合せ

- 「外壁充填断熱」との組合せは「天井断熱」が最も多く 78.7%、「屋根野地上断熱」が 14.9%、「垂木間充填断熱」が 29.0%であった。
- 「外壁外張断熱」との組合せは「天井断熱」が 60.1%で最多であったが、「屋根野地上断熱」も 47.4%となっている。「垂木間充填断熱」が 36.4%であった。
- 「外壁充填外張併用断熱」との組合せは「天井断熱」が最も多く 75.5%、「屋根野地上断熱」が 28.7%、「垂木間充填断熱」が 44.7%であった。

	合計 (回答数)	断熱工法 屋根・天井 (%)			
		天井 断熱	屋根 野地上 断熱	垂木間 充填 断熱	無回答
中部全体	3,284	67.5	15.6	25.9	11.4
断熱 工法 外壁	充填断熱	78.7	14.9	29.0	0.9
	外張断熱	60.1	47.4	36.4	1.3
	充填外張 併用断熱	188	75.5	28.7	44.7

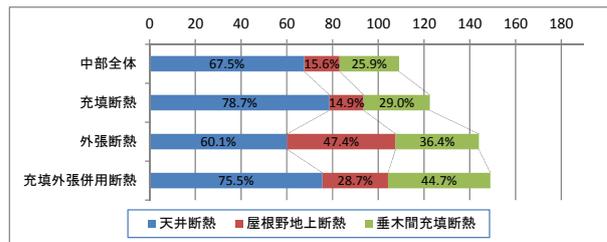


図 5-1-4f 同 中部地域

[近畿地域] 「外壁」と「屋根・天井」の断熱工法の組合せ

- 「外壁充填断熱」との組合せは「天井断熱」が最も多く 77.6%、「屋根野地上断熱」が 17.7%、「垂木間充填断熱」が 28.3%であった。
- 「外壁外張断熱」との組合せは「天井断熱」が 59.4%で最多であったが、「屋根野地上断熱」も 53.4%となっている。「垂木間充填断熱」が 32.0%であった。
- 「外壁充填外張併用断熱」との組合せは「天井断熱」が最も多く 67.2%、「屋根野地上断熱」が 38.5%、「垂木間充填断熱」が 41.8%であった。

	合計 (回答数)	断熱工法 屋根・天井 (%)				
		天井 断熱	屋根 野地上 断熱	垂木間 充填 断熱	無回答	
近畿全体	2,626	61.6	16.6	22.7	18.4	
断熱 工法 外壁	充填断熱	1,855	77.6	17.7	28.3	1.1
	外張断熱	266	59.4	53.4	32.0	1.1
	充填外張 併用断熱	122	67.2	38.5	41.8	1.6

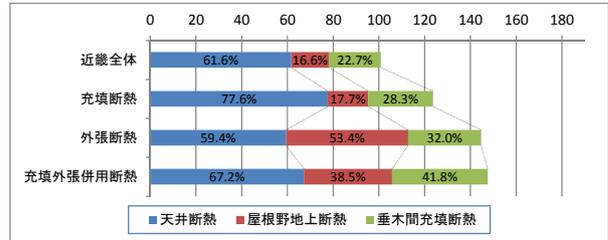


図 5-1-4g 同 近畿地域

[中国地域] 「外壁」と「屋根・天井」の断熱工法の組合せ

- 「外壁充填断熱」との組合せは「天井断熱」が最も多く 84.9%、「屋根野地上断熱」が 14.4%、「垂木間充填断熱」が 22.4%であった。
- 「外壁外張断熱」との組合せは「天井断熱」が 76.1%で最多であったが、「屋根野地上断熱」も 50.0%となっている。「垂木間充填断熱」が 35.3%であった。
- 「外壁充填外張併用断熱」との組合せは「天井断熱」が最も多く 82.4%、「屋根野地上断熱」が 28.4%、「垂木間充填断熱」が 41.9%であった。

	合計 (回答数)	断熱工法 屋根・天井 (%)				
		天井 断熱	屋根 野地上 断熱	垂木間 充填 断熱	無回答	
中国全体	1,941	74.1	14.1	19.6	11.8	
断熱 工法 外壁	充填断熱	1,513	84.9	14.4	22.4	0.8
	外張断熱	184	76.1	50.0	35.3	2.2
	充填外張 併用断熱	74	82.4	28.4	41.9	0.0

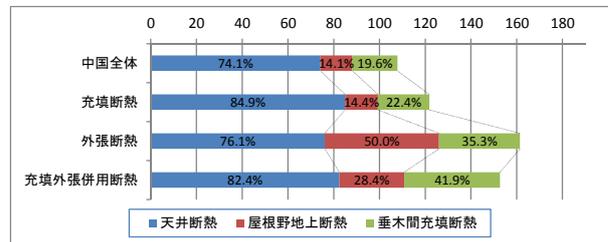


図 5-1-4h 同 中国地域

[四国地域] 「外壁」と「屋根・天井」の断熱工法の組合せ

- 「外壁充填断熱」との組合せは「天井断熱」が最も多く 82.5%、「屋根野地上断熱」が 14.5%、「垂木間充填断熱」が 26.1%であった。
- 「外壁外張断熱」との組合せは「天井断熱」が 54.5%、「屋根野地上断熱」が 50.0%で同程度の割合であった。「垂木間充填断熱」も 42.7%であった。
- 「外壁充填外張併用断熱」との組合せは「天井断熱」が 55.9%、「垂木間充填断熱」が 52.9%で同程度の割合であった。「屋根野地上断熱」が 32.4%であった。

	合計 (回答数)	断熱工法 屋根・天井 (%)				
		天井 断熱	屋根 野地上 断熱	垂木間 充填 断熱	無回答	
四国全体	1,043	68.6	15.4	23.6	12.9	
断熱 工法 外壁	充填断熱	782	82.5	14.5	26.1	0.9
	外張断熱	110	54.5	50.0	42.7	2.7
	充填外張 併用断熱	34	55.9	32.4	52.9	2.9

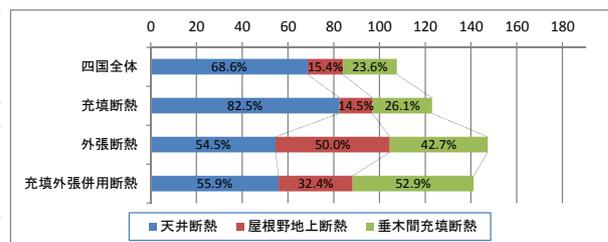


図 5-1-4i 同 四国地域

[九州・沖縄地域] 「外壁」と「屋根・天井」の断熱工法の組合せ

- 「外壁充填断熱」との組合せは「天井断熱」が最も多く 82.0%、「屋根野地上断熱」が 12.2%、「垂木間充填断熱」が 23.2%であった。
- 「外壁外張断熱」との組合せは「天井断熱」が最も多く 63.3%、「屋根野地上断熱」が 46.3%、「垂木間充填断熱」が 30.0%であった。
- 「外壁充填外張併用断熱」との組合せは「天井断熱」が最も多く 73.2%、「屋根野地上断熱」が 43.3%、「垂木間充填断熱」が 33.0%であった。

	合計 (回答数)	断熱工法 屋根・天井 (%)				
		天井 断熱	屋根 野地上 断熱	垂木間 充填 断熱	無回答	
九州・沖縄全体	2,524	67.1	13.4	19.2	15.5	
断熱 工法 外壁	充填断熱	1,813	82.0	12.2	23.2	1.1
	外張断熱	240	63.3	46.3	30.0	3.3
	充填外張 併用断熱	97	73.2	43.3	33.0	0.0

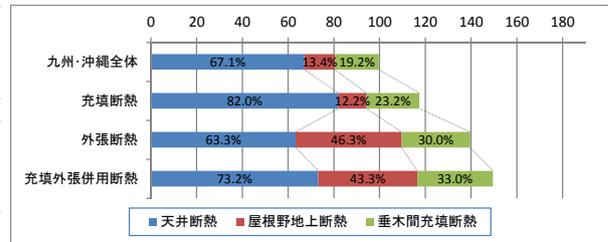


図 5-1-4j 同 九州・沖縄地域

質問4 普段たずさわっている断熱工法に○をご記入ください。(複数回答)

⑤「外壁」と「床・基礎」の断熱工法の組合せ

〔全体〕「外壁」と「床・基礎」の断熱工法の組合せ

- 「外壁充填断熱」との組合せは「根太間充填断熱」が52.2%、「大引間充填断熱」が36.2%、「根太+大引間充填断熱」が8.1%、「基礎断熱」が18.1%であった。
- 「外壁外張断熱」との組合せは「基礎断熱」が最も多く52.8%、「根太間充填断熱」が44.1%、「大引間充填断熱」が29.2%、「根太+大引間充填断熱」が11.5%であった。
- 「外壁充填外張併用断熱」との組合せは「基礎断熱」が最も多く54.4%、「根太間充填断熱」が36.6%、「大引間充填断熱」が29.9%、「根太+大引間充填断熱」が16.7%であった。
- 外壁の外張工法と併用工法について、床の工法との組合せは似通った傾向で、「基礎断熱」との組合せが多くなっている。

	合計 (回答数)	断熱工法 床・基礎 (%)				無回答	
		床断熱 (根太間 充填)	床断熱 (大引間 充填)	床断熱 (根太+ 大引間 充填)	基礎 断熱		
全体	23,019	42.9	29.0	7.1	18.5	16.5	
断熱 工法	充填断熱	16,874	52.2	36.2	8.1	18.1	2.6
	外張断熱	2,631	44.1	29.2	11.5	52.8	4.2
	充填外張 併用断熱	1,393	36.6	29.9	16.7	54.4	3.2

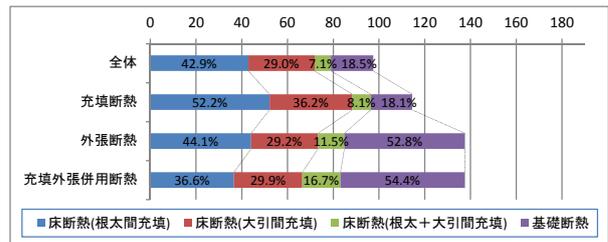


図 5-1-5a 外壁と床・基礎の断熱工法の組合せ

〔北海道地域〕「外壁」と「床・基礎」の断熱工法の組合せ

- 「外壁充填断熱」との組合せは「基礎断熱」が48.9%、「根太間充填断熱」が37.4%、「大引間充填断熱」が22.5%、「根太+大引間充填断熱」が25.2%であった。
- 「外壁外張断熱」との組合せは「基礎断熱」が85.9%、「根太間充填断熱」が18.4%、「大引間充填断熱」が17.2%、「根太+大引間充填断熱」が16.6%であった。
- 「外壁充填外張併用断熱」との組合せは「基礎断熱」が77.0%、「根太間充填断熱」が13.4%、「大引間充填断熱」が19.6%、「根太+大引間充填断熱」が17.7%であった。
- 北海道はいずれの外壁断熱工法との組合せについても基礎断熱が最多であった。特に外張、併用の場合は基礎断熱の割合が高くなっている。

	合計 (回答数)	断熱工法 床・基礎 (%)				無回答	
		床断熱 (根太間 充填)	床断熱 (大引間 充填)	床断熱 (根太+ 大引間 充填)	基礎 断熱		
北海道全体	828	16.7	14.5	14.7	53.4	19.2	
断熱 工法	充填断熱	329	37.4	22.5	25.2	48.9	1.5
	外張断熱	163	18.4	17.2	16.6	85.9	3.1
	充填外張 併用断熱	322	13.4	19.6	17.7	77.0	2.8

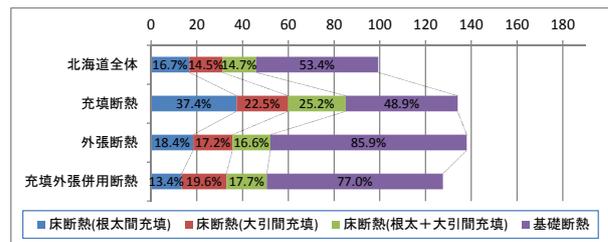


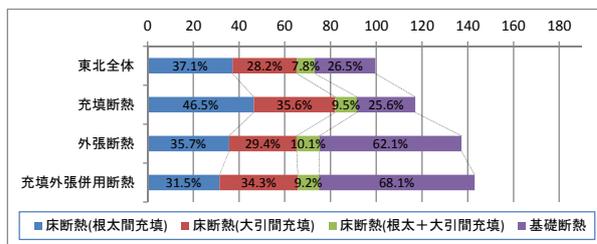
図 5-1-5b 同 北海道地域

〔東北地域〕「外壁」と「床・基礎」の断熱工法の組合せ

- 「外壁充填断熱」との組合せは「基礎断熱」が25.6%、「根太間充填断熱」が46.5%、「大引間充填断熱」が35.6%、「根太+大引間充填断熱」が9.5%であった。
- 「外壁外張断熱」との組合せは「基礎断熱」が62.1%、「根太間充填断熱」が35.7%、「大引間充填断熱」が29.4%、「根太+大引間充填断熱」が10.1%であった。
- 「外壁充填外張併用断熱」との組合せは「基礎断熱」が68.1%、「根太間充填断熱」が31.5%、「大引間充填断熱」が34.3%、「根太+大引間充填断熱」が9.2%であった。
- 東北は外壁充填断熱は根太間、大引間の床断熱との組合せ、外壁外張りとは併用断熱は基礎断熱との組合せの割合が高くなる。

	合計 (回答数)	断熱工法 床・基礎 (%)				無回答	
		床断熱 (根太間 充填)	床断熱 (大引間 充填)	床断熱 (根太+ 大引間 充填)	基礎 断熱		
東北全体	3,259	37.1	28.2	7.8	26.5	16.3	
断熱 工法 外壁	充填断熱	2,325	46.5	35.6	9.5	25.6	2.5
	外張断熱	496	35.7	29.4	10.1	62.1	3.6
	充填外張 併用断熱	251	31.5	34.3	9.2	68.1	1.6

図 5-1-5c 同 東北地域

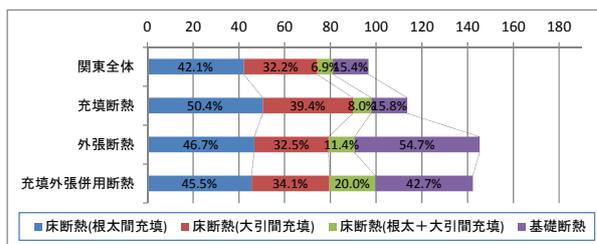


[関東地域] 「外壁」と「床・基礎」の断熱工法の組合せ

- 「外壁充填断熱」との組合せは、「基礎断熱」が 15.8%、「根太間充填断熱」が 50.4%、「大引間充填断熱」が 39.4%、「根太+大引間充填断熱」が 8.0%であった。
- 「外壁外張断熱」との組合せは「基礎断熱」が 54.7%、「根太間充填断熱」が 46.7%、「大引間充填断熱」が 32.5%、「根太+大引間充填断熱」が 11.4%であった。
- 「外壁充填外張併用断熱」との組合せは「基礎断熱」が 42.7%、「根太間充填断熱」が 45.5%、「大引間充填断熱」が 34.1%、「根太+大引間充填断熱」が 20.0%であった。
- 関東は、外壁充填と併用断熱は根太間の床断熱との組合せ、外壁外張断熱は基礎断熱との組合せの割合が高くなる。北海道、東北と比較し、基礎断熱との組合せの割合は低くなる。

	合計 (回答数)	断熱工法 床・基礎 (%)				無回答	
		床断熱 (根太間 充填)	床断熱 (大引間 充填)	床断熱 (根太+ 大引間 充填)	基礎 断熱		
関東全体	6,105	42.1	32.2	6.9	15.4	16.8	
断熱 工法 外壁	充填断熱	4,596	50.4	39.4	8.0	15.8	2.9
	外張断熱	634	46.7	32.5	11.4	54.7	4.1
	充填外張 併用断熱	220	45.5	34.1	20.0	42.7	4.5

図 5-1-5d 同 関東地域

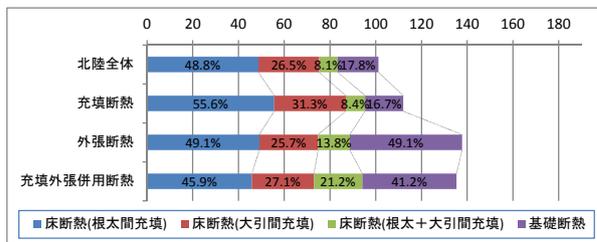


[北陸地域] 「外壁」と「床・基礎」の断熱工法の組合せ

- 「外壁充填断熱」との組合せは「基礎断熱」が 16.7%、「根太間充填断熱」が 55.6%、「大引間充填断熱」が 31.3%、「根太+大引間充填断熱」が 8.4%であった。
- 「外壁外張断熱」との組合せは「基礎断熱」が 49.1%、「根太間充填断熱」が 49.1%、「大引間充填断熱」が 25.7%、「根太+大引間充填断熱」が 13.8%であった。
- 「外壁充填外張併用断熱」との組合せは「基礎断熱」が 41.2%、「根太間充填断熱」が 45.9%、「大引間充填断熱」が 27.1%、「根太+大引間充填断熱」が 21.2%であった。
- 北陸は、外壁充填断熱と根太間充填断熱、外壁外張と併用断熱はいずれも基礎断熱、根太間充填断熱との組合せの割合が高くなっている。

	合計 (回答数)	断熱工法 床・基礎 (%)				無回答	
		床断熱 (根太間 充填)	床断熱 (大引間 充填)	床断熱 (根太+ 大引間 充填)	基礎 断熱		
北陸全体	1,409	48.8	26.5	8.1	17.8	11.3	
断熱 工法 外壁	充填断熱	1,107	55.6	31.3	8.4	16.7	2.2
	外張断熱	167	49.1	25.7	13.8	49.1	3.6
	充填外張 併用断熱	85	45.9	27.1	21.2	41.2	5.9

図 5-1-5e 同 北陸地域

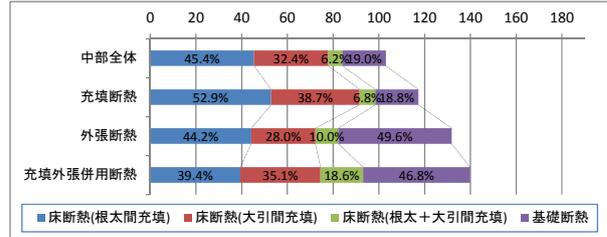


[中部地域] 「外壁」と「床・基礎」の断熱工法の組合せ

- 「外壁充填断熱」との組合せは「基礎断熱」が 18.8%、「根太間充填断熱」が 52.9%、「大引間充填断熱」が 38.7%、「根太+大引間充填断熱」が 6.8%であった。
- 「外壁外張断熱」との組合せは「基礎断熱」が 49.6%、「根太間充填断熱」が 44.2%、「大引間充填断熱」が 28.0%、「根太+大引間充填断熱」が 10.0%であった。
- 「外壁充填外張併用断熱」との組合せは「基礎断熱」が 46.8%、「根太間充填断熱」が 39.4%、「大引間充填断熱」が 35.1%、「根太+大引間充填断熱」が 18.6%であった。
- 中部は、外壁充填断熱と根太間充填断熱、外壁外張と基礎断熱または根太間充填断熱、外壁併用断熱と基礎断熱との組合せの割合が高くなっている。

	合計 (回答数)	断熱工法 床・基礎 (%)				無回答	
		床断熱 (根太間 充填)	床断熱 (大引間 充填)	床断熱 (根太+ 大引間 充填)	基礎 断熱		
中部全体	3,284	45.4	32.4	6.2	19.0	12.6	
断熱 工法 外壁	充填断熱	2,554	52.9	38.7	6.8	18.8	1.7
	外張断熱	371	44.2	28.0	10.0	49.6	4.3
	充填外張 併用断熱	188	39.4	35.1	18.6	46.8	2.1

図 5-1-5f 同 中部地域

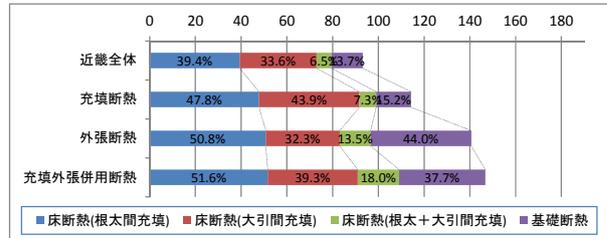


[近畿地域] 「外壁」と「床・基礎」の断熱工法の組合せ

- 「外壁充填断熱」との組合せは「基礎断熱」が 15.2%、「根太間充填断熱」が 47.8%、「大引間充填断熱」が 43.9%、「根太+大引間充填断熱」が 7.3%であった。
- 「外壁外張断熱」との組合せは「基礎断熱」が 44.0%、「根太間充填断熱」が 50.8%、「大引間充填断熱」が 32.3%、「根太+大引間充填断熱」が 13.5%であった。
- 「外壁充填外張併用断熱」との組合せは「基礎断熱」が 37.7%、「根太間充填断熱」が 51.6%、「大引間充填断熱」が 39.3%、「根太+大引間充填断熱」が 18.0%であった。
- 近畿は外壁充填と根太間または大引間充填、外壁外張と根太間充填または基礎、外壁併用は根太間充填との組合せの割合が高くなっている。

	合計 (回答数)	断熱工法 床・基礎 (%)				無回答	
		床断熱 (根太間 充填)	床断熱 (大引間 充填)	床断熱 (根太+ 大引間 充填)	基礎 断熱		
近畿全体	2,626	39.4	33.6	6.5	13.7	20.7	
断熱 工法 外壁	充填断熱	1,855	47.8	43.9	7.3	15.2	2.9
	外張断熱	266	50.8	32.3	13.5	44.0	2.3
	充填外張 併用断熱	122	51.6	39.3	18.0	37.7	3.3

図 5-1-5g 同 近畿地域

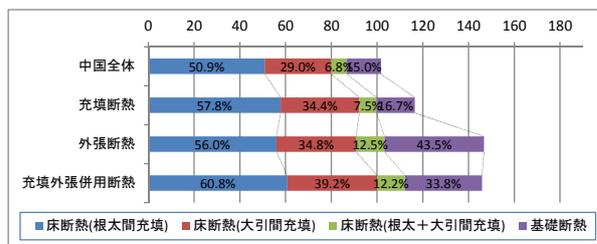


[中国地域] 「外壁」と「床・基礎」の断熱工法の組合せ

- 「外壁充填断熱」との組合せは「基礎断熱」が 16.7%、「根太間充填断熱」が 57.8%、「大引間充填断熱」が 34.4%、「根太+大引間充填断熱」が 7.5%であった。
- 「外壁外張断熱」との組合せは「基礎断熱」が 33.3%、「根太間充填断熱」が 56.0%、「大引間充填断熱」が 34.8%、「根太+大引間充填断熱」が 12.5%であった。
- 「外壁充填外張併用断熱」との組合せは「基礎断熱」が 33.8%、「根太間充填断熱」が 60.8%、「大引間充填断熱」が 39.2%、「根太+大引間充填断熱」が 12.2%であった。
- 中国は、いずれの外壁断熱工法との組合せについても根太間充填断熱が最多であった。

	合計 (回答数)	断熱工法 床・基礎 (%)				無回答	
		床断熱 (根太間 充填)	床断熱 (大引間 充填)	床断熱 (根太+ 大引間 充填)	基礎 断熱		
中国全体	1,941	50.9	29.0	6.8	15.0	14.2	
断熱 工法	充填断熱	1,513	57.8	34.4	7.5	16.7	2.6
	外張断熱	184	56.0	34.8	12.5	43.5	3.8
外壁	充填外張 併用断熱	74	60.8	39.2	12.2	33.8	2.7

図 5-1-5h 同 中国地域

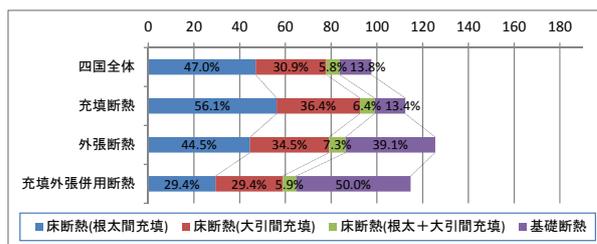


[四国地域] 「外壁」と「床・基礎」の断熱工法の組合せ

- 「外壁充填断熱」との組合せは「基礎断熱」が 13.4%、「根太間充填断熱」が 56.1%、「大引間充填断熱」が 36.4%、「根太+大引間充填断熱」が 6.4%であった。
- 「外壁外張断熱」との組合せは「基礎断熱」が 39.1%、「根太間充填断熱」が 44.5%、「大引間充填断熱」が 34.5%、「根太+大引間充填断熱」が 7.3%であった。
- 「外壁充填外張併用断熱」との組合せは「基礎断熱」が 50.0%、「根太間充填断熱」「大引間充填断熱」共 29.4%、「根太+大引間充填断熱」が 5.9%であった。
- 四国は、外壁充填と根太間充填、外壁外張と根太間充填または基礎、外壁併用は基礎との組合せの割合が高くなっている。

	合計 (回答数)	断熱工法 床・基礎 (%)				無回答	
		床断熱 (根太間 充填)	床断熱 (大引間 充填)	床断熱 (根太+ 大引間 充填)	基礎 断熱		
四国全体	1,043	47.0	30.9	5.8	13.8	14.4	
断熱 工法	充填断熱	782	56.1	36.4	6.4	13.4	1.7
	外張断熱	110	44.5	34.5	7.3	39.1	5.5
外壁	充填外張 併用断熱	34	29.4	29.4	5.9	50.0	5.9

図 5-1-5i 同 四国地域

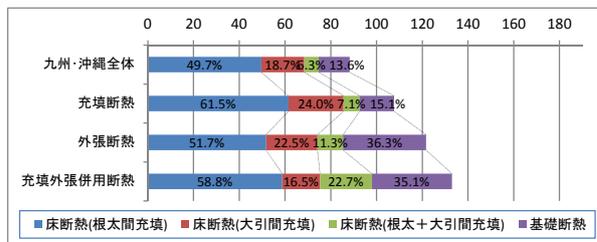


[九州・沖縄地域] 「外壁」と「床・基礎」の断熱工法の組合せ

- 「外壁充填断熱」との組合せは「基礎断熱」が 15.1%、「根太間充填断熱」が 61.5%、「大引間充填断熱」が 24.0%、「根太+大引間充填断熱」が 7.1%であった。
- 「外壁外張断熱」との組合せは「基礎断熱」が 36.3%、「根太間充填断熱」が 51.7%、「大引間充填断熱」が 22.5%、「根太+大引間充填断熱」が 11.3%であった。
- 「外壁充填外張併用断熱」との組合せは「基礎断熱」が 35.1%、「根太間充填断熱」が 58.8%、「大引間充填断熱」が 16.5%、「根太+大引間充填断熱」が 22.7%であった。
- 九州・沖縄は、いずれの外壁断熱工法との組合せについても根太間充填断熱が最多であった。

	合計 (回答数)	断熱工法 床・基礎 (%)				無回答	
		床断熱 (根太間 充填)	床断熱 (大引間 充填)	床断熱 (根太+ 大引間 充填)	基礎 断熱		
九州・沖縄全体	2,524	49.7	18.7	6.3	13.6	21.0	
断熱 工法	充填断熱	1,813	61.5	24.0	7.1	15.1	3.9
	外張断熱	240	51.7	22.5	11.3	36.3	8.8
外壁	充填外張 併用断熱	97	58.8	16.5	22.7	35.1	5.2

図 5-1-5j 同 九州・沖縄地域



質問5 質問4で回答した工法で使っている断熱材に○をご記入ください。(複数回答)

①屋根・天井

- 普段たずさわっている「屋根・天井」の断熱材は「グラスウール・ロックウール」が最も多く 79.6%、「発泡プラスチック系断熱材」が 24.0%、「その他」が 12.2%であった。
- グラスウール・ロックウールが多い点は、昨年度調査と同様であった。

《地域別》

- いずれの地域も「グラスウール・ロックウール」が 73.6% (北陸)～83.7% (中国)で最多、「発泡プラスチック系断熱材」は 21.2% (北海道)～27.6% (中部) %で 20%を超えている。
- 昨年度調査と比較して北海道、北陸で「発泡プラスチック系断熱材」の割合が高くなっている。

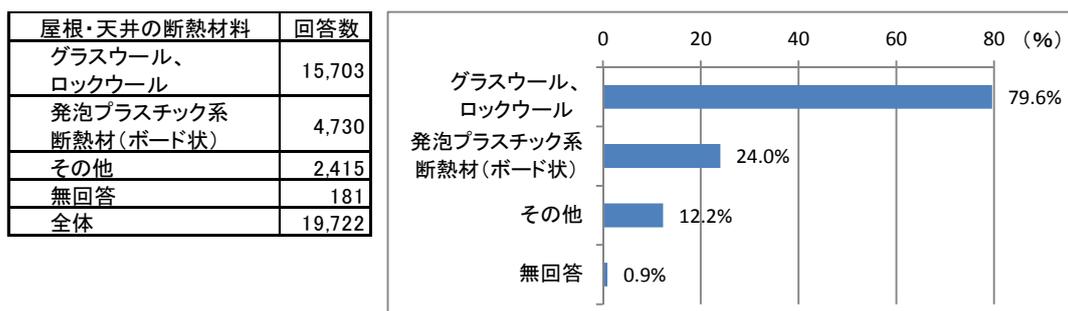
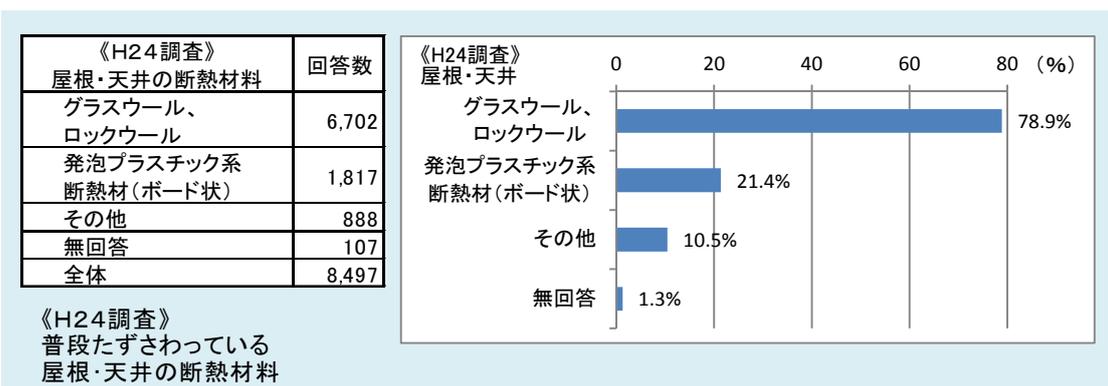


図 5-1-6a 普段たずさわっている屋根・天井の断熱材料



屋根・天井の断熱材料「その他」	回答数	%
セルローズファイバー	501	2.5%
吹込グラスウール、ロックウール	16	0.1%
吹込その他	79	0.4%
現場発泡ウレタン(a)	980	5.0%
発泡プラスチック系(ボード状)(b)	89	0.5%
ウレタン(aかbか不明)	101	0.5%
ポリエステル	49	0.2%
木質系	30	0.2%
羊毛	74	0.4%
コルク	5	0.0%
未分類	255	1.3%
その他記入有り合計	2,179	11.0%
その他全体	2,415	12.2%
全体	19,766	100.0%

図 5-1-6c 普段たずさわっている屋根・天井の断熱材料「その他」記述

	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)			無回答
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	
全体	19,722	79.6	24.0	12.2	0.9
北海道 (全体との差)	680	78.7 -0.9	21.2 -2.8	17.6 +5.4	0.7 -
東北 (全体との差)	2,781	81.0 +1.4	21.9 -2.1	12.0 -0.2	0.8 -
関東 (全体との差)	5,195	82.2 +2.6	22.8 -1.2	9.9 -2.4	0.8 -
北陸 (全体との差)	1,262	73.6 -6.0	27.3 +3.3	15.3 +3.0	1.0 -
中部 (全体との差)	2,908	75.2 -4.4	27.6 +3.6	14.5 +2.3	1.1 -
近畿 (全体との差)	2,143	79.0 -0.6	25.9 +1.9	13.0 +0.7	1.0 -
中国 (全体との差)	1,712	83.7 +4.1	21.5 -2.5	12.0 -0.3	1.1 -
四国 (全体との差)	908	78.2 -1.4	26.4 +2.4	11.5 -0.8	1.2 -
九州・沖縄 (全体との差)	2,133	79.4 -0.2	22.7 -1.2	11.5 -0.8	0.8 -

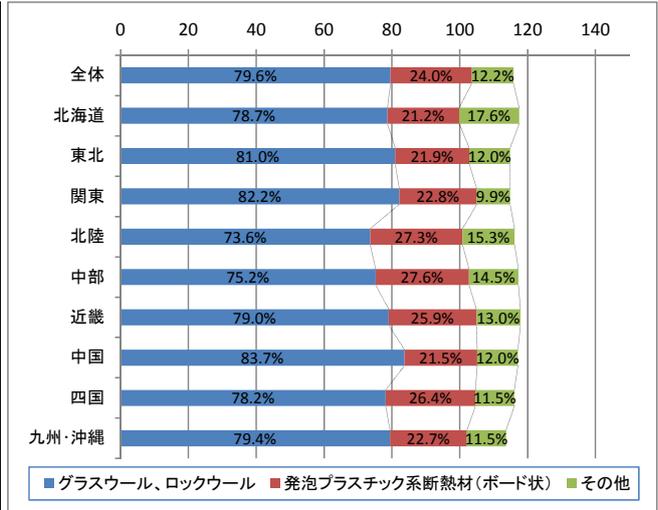
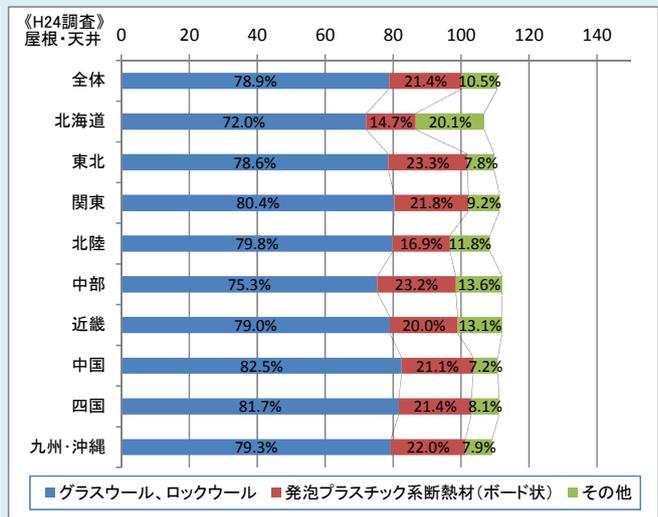


図 5-1-6b 地域別の普段たずさわっている屋根・天井の断熱材料

《H24調査》	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)			無回答
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	
全体	8,497	78.9	21.4	10.5	1.3
北海道 (全体との差)	293	72.0 -6.9	14.7 -6.7	20.1 +9.7	2.4 -
東北 (全体との差)	995	78.6 -0.3	23.3 +1.9	7.8 -2.6	0.9 -
関東 (全体との差)	2,169	80.4 +1.5	21.8 +0.4	9.2 -1.3	1.6 -
北陸 (全体との差)	669	79.8 +0.9	16.9 -4.5	11.8 +1.4	0.9 -
中部 (全体との差)	1,541	75.3 -3.6	23.2 +1.8	13.6 +3.2	1.2 -
近畿 (全体との差)	839	79.0 +0.1	20.0 -1.4	13.1 +2.7	0.6 -
中国 (全体との差)	692	82.5 +3.6	21.1 -0.3	7.2 -3.2	1.3 -
四国 (全体との差)	295	81.7 +2.8	21.4 -0.0	8.1 -2.3	0.7 -
九州・沖縄 (全体との差)	1,004	79.3 +0.4	22.0 +0.6	7.9 -2.6	1.7 -



《H24調査》地域別の普段たずさわっている屋根・天井の断熱材料

質問5 質問4で回答した工法で使っている断熱材に○をご記入ください。(複数回答)

②外壁

- 普段たずさわっている「外壁」の断熱材は「グラスウール・ロックウール」が最も多く 79.6%、「発泡プラスチック系断熱材」が 22.8%、「その他」が 12.6%であった。
- グラスウール・ロックウールが多い点は、昨年度調査と同様であった。

《地域別》

- いずれの地域も「グラスウール・ロックウール」が 71.2% (北陸)～83.1% (関東)で最多であった。
- 「発泡プラスチック系断熱材」は北海道が 49.1%で他地域と比較して割合が高い。昨年度調査と比較して北陸、中部で割合が高くなっている。

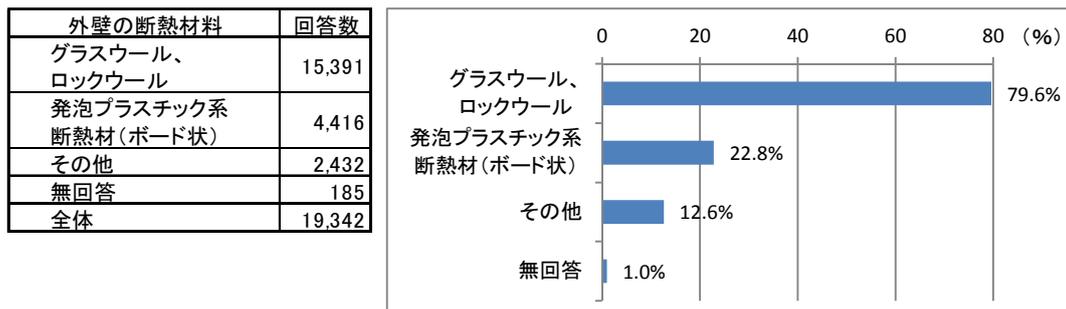
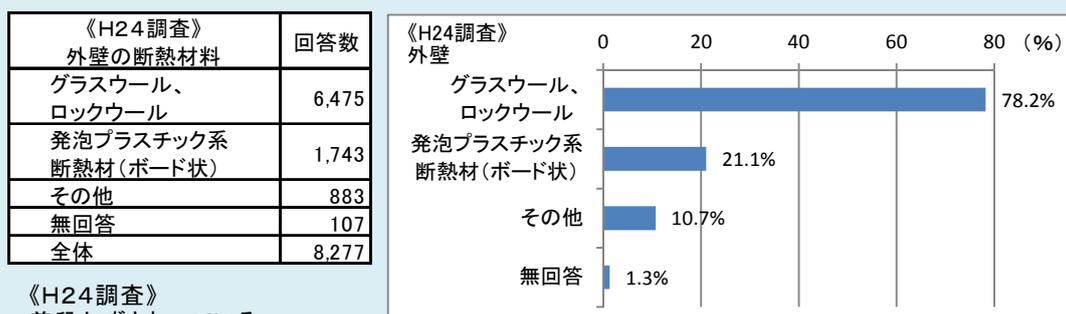


図 5-1-7a 普段たずさわっている外壁の断熱材料



《H24調査》
普段たずさわっている
外壁の断熱材料

外壁の断熱材料「その他」	回答数	%
セルローズファイバー	435	2.2%
吹込グラスウール,ロックウール	1	0.0%
吹込その他	6	0.0%
現場発泡ウレタン(a)	985	5.1%
発泡プラスチック系(ホート状)(b)	99	0.5%
ウレタン(aかbか不明)	178	0.9%
ポリエステル	53	0.3%
木質系	29	0.1%
羊毛	107	0.6%
コルク	9	0.0%
未分類	271	1.4%
その他記入有り合計	2,173	11.2%
その他全体	2,432	12.5%
全体	19,391	100.0%

図 5-1-7c 普段たずさわっている外壁の断熱材料「その他」記述

	合計 (回答数)	断熱材料 外壁 (%)			無回答
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プラ スチック 系断熱材 (ボード状)	その他	
全体	19,342	79.6	22.8	12.6	1.0
北海道 (全体との差)	676	76.8 -2.8	49.1 +26.3	10.9 -1.6	1.0
東北 (全体との差)	2,755	78.8 -0.8	26.6 +3.8	10.0 -2.6	0.7
関東 (全体との差)	5,098	83.1 +3.5	19.1 -3.7	10.4 -2.2	1.1
北陸 (全体との差)	1,255	71.2 -8.3	28.6 +5.8	15.8 +3.2	0.7
中部 (全体との差)	2,877	74.5 -5.1	25.3 +2.4	16.5 +3.9	1.1
近畿 (全体との差)	2,103	80.0 +0.5	20.6 -2.2	14.8 +2.3	1.0
中国 (全体との差)	1,661	82.3 +2.7	20.2 -2.6	12.9 +0.3	1.1
四国 (全体との差)	878	79.7 +0.2	21.3 -1.5	12.6 +0.1	0.9
九州・沖縄 (全体との差)	2,039	82.3 +2.8	16.4 -6.5	11.9 -0.7	0.8

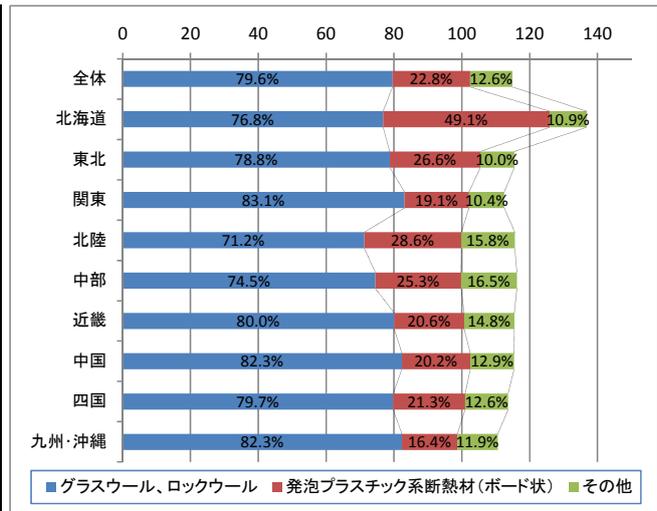
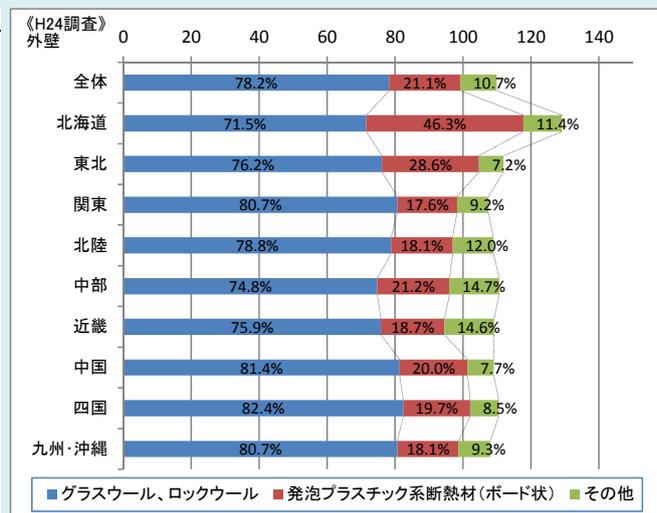


図 5-1-7b 地域別の普段たずさわっている外壁の断熱材料

《H24調査》	合計 (回答数)	断熱材料 外壁 (%)			無回答
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プラ スチック 系断熱材 (ボード状)	その他	
全体	8,277	78.2	21.1	10.7	1.3
北海道 (全体との差)	298	71.5 -6.8	46.3 +25.3	11.4 +0.7	2.3
東北 (全体との差)	977	76.2 -2.1	28.6 +7.5	7.2 -3.5	0.7
関東 (全体との差)	2,112	80.7 +2.5	17.6 -3.4	9.2 -1.5	1.8
北陸 (全体との差)	657	78.8 +0.6	18.1 -2.9	12.0 +1.4	1.2
中部 (全体との差)	1,511	74.8 -3.4	21.2 +0.2	14.7 +4.0	1.1
近畿 (全体との差)	820	75.9 -2.4	18.7 -2.4	14.6 +4.0	1.1
中国 (全体との差)	660	81.4 +3.1	20.0 -1.1	7.7 -2.9	1.1
四国 (全体との差)	284	82.4 +4.2	19.7 -1.3	8.5 -2.2	0.4
九州・沖縄 (全体との差)	958	80.7 +2.5	18.1 -3.0	9.3 -1.4	1.6



《H24調査》地域別の普段たずさわっている外壁の断熱材料

質問5 質問4で回答した工法で使っている断熱材に○をご記入ください。(複数回答)

③床・基礎

- 普段たずさわっている「床・基礎」の断熱材は「発泡プラスチック系断熱材」が最も多く78.0%、「グラスウール・ロックウール」が24.0%、「その他」が5.4%であった。
- 発泡プラスチック系断熱材が多い点は、昨年度調査と同様であった。

《地域別》

- いずれの地域も「発泡プラスチック系断熱材」が67.4%(北海道)～85.2%(四国)で最多であった。
- 「グラスウール・ロックウール」は北海道が43.0%、関東が31.6%で他地域と比較して割合が高い。他地域は14.9%(北陸)～24.0%(九州・沖縄)となっている。

床・基礎の断熱材料	回答数
グラスウール、 ロックウール	4,625
発泡プラスチック系 断熱材(ボード状)	15,000
その他	1,033
無回答	302
全体	19,231

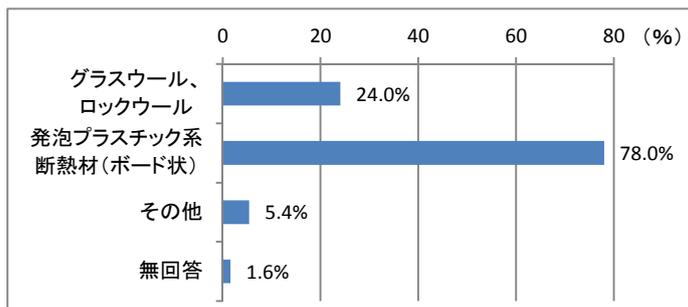
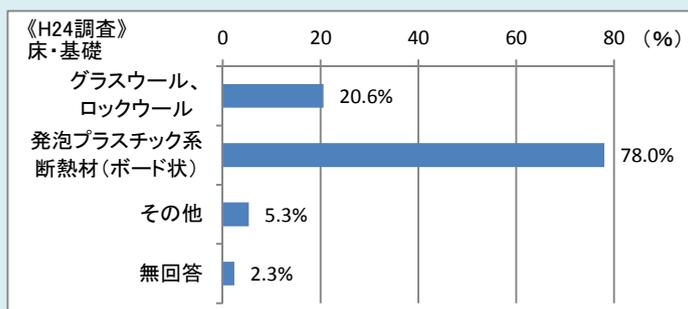


図 5-1-8a 普段たずさわっている床・基礎の断熱材料

《H24調査》 床・基礎の断熱材料	回答数
グラスウール、 ロックウール	1,702
発泡プラスチック系 断熱材(ボード状)	6,459
その他	438
無回答	194
全体	8,276



《H24調査》
普段たずさわっている
床・基礎の断熱材料

床・基礎の断熱材料「その他」	回答数	%
セルローズファイバー	92	0.5%
吹込グラスウール、ロックウール	1	0.0%
吹込その他	0	0.0%
現場発泡ウレタン(a)	376	2.0%
発泡プラスチック系(ボード状)(b)	176	0.9%
ウレタン(aかbか不明)	60	0.3%
ポリエステル	22	0.1%
木質系	14	0.1%
羊毛	35	0.2%
コルク	4	0.0%
未分類	102	0.5%
その他記入有り合計	882	4.6%
その他全体	1,033	5.4%
全体	19,260	100.0%

図 5-1-8c 普段たずさわっている床・基礎の断熱材料「その他」記述

	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)			
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プラ スチック 系断熱材 (ボード状)	その他	無回答
全体	19,231	24.0	78.0	5.4	1.6
北海道 (全体との差)	669	43.0 +19.0	67.4 -10.6	6.0 +0.6	1.2 -
東北 (全体との差)	2,729	22.6 -1.5	80.6 +2.6	6.0 +0.7	1.1 -
関東 (全体との差)	5,080	31.6 +7.6	71.5 -6.5	4.7 -0.7	1.6 -
北陸 (全体との差)	1,250	14.9 -9.2	84.4 +6.4	6.4 +1.0	1.5 -
中部 (全体との差)	2,869	22.0 -2.1	80.1 +2.1	6.1 +0.8	1.6 -
近畿 (全体との差)	2,083	19.5 -4.5	81.7 +3.7	4.8 -0.6	1.8 -
中国 (全体との差)	1,665	16.7 -7.4	83.6 +5.6	4.9 -0.5	1.9 -
四国 (全体との差)	893	15.1 -8.9	85.2 +7.2	4.8 -0.6	1.5 -
九州・沖縄 (全体との差)	1,993	24.0 -0.0	75.8 -2.2	5.6 +0.2	1.8 -

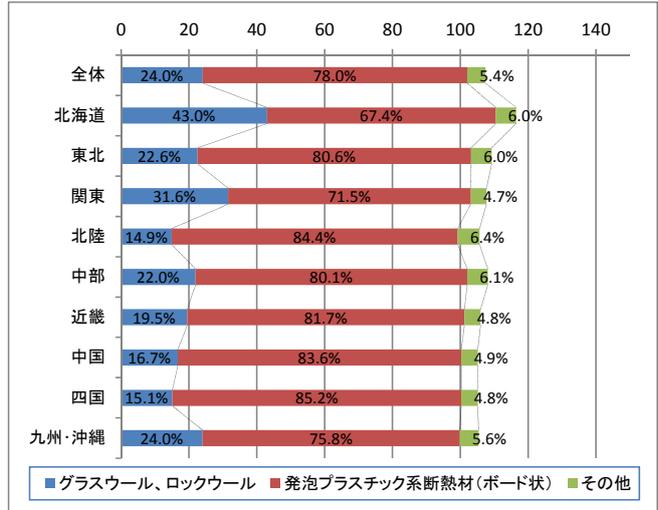
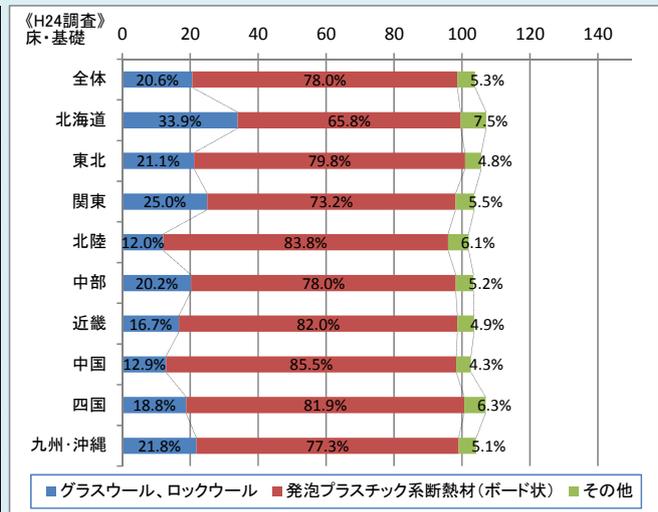


図 5-1-8b 地域別の普段たずさわっている床・基礎の断熱材料

《H24調査》	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)			
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プラ スチック 系断熱材 (ボード状)	その他	無回答
全体	8,276	20.6	78.0	5.3	2.3
北海道 (全体との差)	295	33.9 +13.3	65.8 -12.3	7.5 +2.2	3.1 -
東北 (全体との差)	967	21.1 +0.5	79.8 +1.8	4.8 -0.5	1.2 -
関東 (全体との差)	2,135	25.0 +4.4	73.2 -4.9	5.5 +0.2	3.4 -
北陸 (全体との差)	656	12.0 -8.5	83.8 +5.8	6.1 +0.8	1.7 -
中部 (全体との差)	1,503	20.2 -0.3	78.0 -0.1	5.2 -0.1	2.5 -
近畿 (全体との差)	821	16.7 -3.9	82.0 +3.9	4.9 -0.4	1.8 -
中国 (全体との差)	675	12.9 -7.7	85.5 +7.4	4.3 -1.0	1.9 -
四国 (全体との差)	287	18.8 -1.8	81.9 +3.8	6.3 +1.0	0.7 -
九州・沖縄 (全体との差)	937	21.8 +1.2	77.3 -0.8	5.1 -0.2	2.3 -



《H24調査》地域別の普段たずさわっている床・基礎の断熱材料

質問5 質問4で回答した工法で使っている断熱材に○をご記入ください。(複数回答)

④「外壁」と「屋根・天井」の断熱材料の組合せ

〔全体〕「外壁」と「屋根・天井」の断熱材料の組合せ

- 「外壁にグラスウール・ロックウール」との組合せは、「屋根・天井にグラスウール・ロックウール」が94.7%、「屋根・天井に発泡プラスチック系断熱材」が18.9%であった。
- 「外壁に発泡プラスチック系断熱材」との組合せは、「屋根・天井に発泡プラスチック系断熱材」が73.5%、「屋根・天井にグラスウール・ロックウール」が60.9%であった。外壁にグラスウール等を使用する場合程の差は見られない。
- 「外壁にその他の断熱材」との組合せは、「屋根・天井にその他の断熱材」が84.9%、「屋根・天井にグラスウール・ロックウール」が35.2%であった。
- 「外壁にその他の断熱材」と「屋根・天井にその他の断熱材」の組合せは、その内の約7割が両方に同じ断熱材料を使用した組合せとなっている。(例えば屋根・天井、外壁共にセルローズファイバーである組合せ)

	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)			
		グラスウール、 ロックウール	発泡プラスチック系断熱材 (ボード状)	その他	無回答
全体	19,722	79.6	24.0	12.2	0.9
断熱材料					
グラスウール、 ロックウール	15,273	94.7	18.9	5.5	0.3
発泡プラスチック系 断熱材(ボード状)	4,324	60.9	73.5	9.2	0.5
外壁					
その他	2,392	35.2	18.5	84.9	0.5

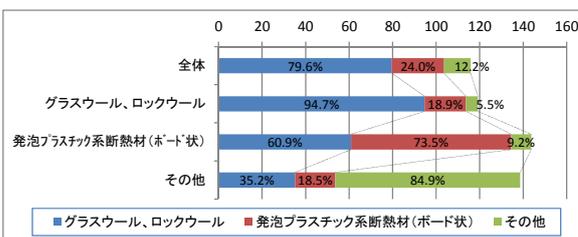


図 5-1-9a1 外壁と屋根・天井の断熱材料の組合せ

断熱材料 屋根・天井「その他」 × 断熱材料 外壁「その他」	回答数	%
セルローズファイバー × セルローズファイバー	352	16.6%
吹込GW/RW × 吹込GW/RW	1	0.0%
吹込その他 × 吹込その他	5	0.2%
現場発泡ウレタン(a) × 現場発泡ウレタン(a)	817	38.4%
発泡プラスチック系(ボード状)(b) × 発泡プラスチック系(ボード状)(b)	62	2.9%
ウレタン(aかbか不明) × ウレタン(aかbか不明)	81	3.8%
ポリエステル × ポリエステル	43	2.0%
木質系 × 木質系	20	0.9%
羊毛 × 羊毛	63	3.0%
コルク × コルク	5	0.2%
同じ断熱材料の組合せ 合計	1,449	68.2%
異なる断熱材料の組合せ、片方未記入、両方未記入	677	31.8%
断熱材料 屋根・天井「その他」 × 断熱材料 外壁「その他」 合計	2,126	100.0%

図 5-1-9a2 外壁と屋根・天井の断熱材料「その他」同士の組合せ

〔北海道地域〕「外壁」と「屋根・天井」の断熱材料の組合せ

- 「外壁にグラスウール・ロックウール」との組合せは、「屋根・天井にグラスウール・ロックウール」が86.9%、「屋根・天井に発泡プラスチック系断熱材」が18.7%、「屋根・天井にその他の断熱材」が13.7%であった。
- 「外壁に発泡プラスチック系断熱材」との組合せは、「屋根・天井にグラスウール・ロックウール」が77.1%、「屋根・天井に発泡プラスチック系断熱材」が35.5%、「屋根・天井にその他の断熱材」が17.1%であった。
- 「外壁にその他の断熱材」との組合せは、「屋根・天井にその他の断熱材」が69.0%、「屋根・天井にグラスウール・ロックウール」が45.1%、「屋根・天井に発泡プラスチック系断熱材」が21.1%であった。
- 北海道は、外壁がグラスウール・ロックウール、発泡プラスチック系断熱材のいずれの組合せについてもグラスウール・ロックウールが最多であった。

	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)				
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答	
北海道全体	680	78.7	21.2	17.6	0.7	
断熱材料	グラスウール、ロックウール	518	86.9	18.7	13.7	0.6
	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	327	77.1	35.5	17.1	0.3
外壁	その他	71	45.1	21.1	69.0	0.0

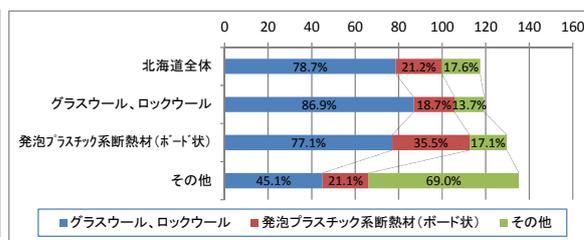


図 5-1-9b 同 北海道地域

〔東北地域〕「外壁」と「屋根・天井」の断熱材料の組合せ

- 「外壁にグラスウール・ロックウール」との組合せは、「屋根・天井にグラスウール・ロックウール」が 95.8%、「屋根・天井に発泡プラスチック系断熱材」が 16.1%であった。「屋根・天井にその他の断熱材」が 6.0%であった。
- 「外壁に発泡プラスチック系断熱材」との組合せは、「屋根・天井にグラスウール・ロックウール」が 60.8%、「屋根・天井に発泡プラスチック系断熱材」が 69.2%、「屋根・天井にその他の断熱材」が 10.8%であった。
- 「外壁にその他の断熱材」との組合せは、「屋根・天井にその他の断熱材」が 86.7%、「屋根・天井にグラスウール・ロックウール」が 35.1%、「屋根・天井に発泡プラスチック系断熱材」が 14.8%であった。

	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)				
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答	
東北全体	2,781	81.0	21.9	12.0	0.8	
断熱材料	グラスウール、ロックウール	2,150	95.8	16.1	6.0	0.4
	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	720	60.8	69.2	10.8	0.7
外壁	その他	271	35.1	14.8	86.7	0.7

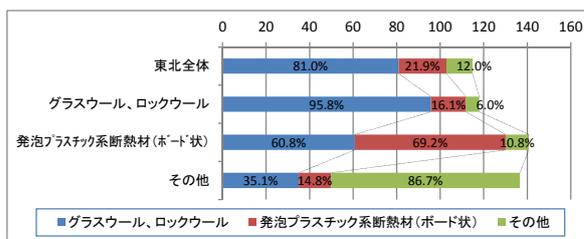


図 5-1-9c 同 東北地域

〔関東地域〕「外壁」と「屋根・天井」の断熱材料の組合せ

- 「外壁にグラスウール・ロックウール」との組合せは、「屋根・天井にグラスウール・ロックウール」が 95.1%、「屋根・天井に発泡プラスチック系断熱材」が 18.0%、「屋根・天井にその他の断熱材」が 4.3%であった。
- 「外壁に発泡プラスチック系断熱材」との組合せは、「屋根・天井にグラスウール・ロックウール」が 59.2%、「屋根・天井に発泡プラスチック系断熱材」が 82.1%、「屋根・天井にその他の断熱材」が 7.2%であった。
- 「外壁にその他の断熱材」との組合せは、「屋根・天井にその他の断熱材」が 86.2%、「屋根・天井にグラスウール・ロックウール」が 36.8%、「屋根・天井に発泡プラスチック系断熱材」が 19.3%であった。

	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)				
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答	
関東全体	5,195	82.2	22.8	9.9	0.8	
断熱材料	グラスウール、ロックウール	4,201	95.1	18.0	4.3	0.2
	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	948	59.2	82.1	7.2	0.4
外壁	その他	522	36.8	19.3	86.2	0.2

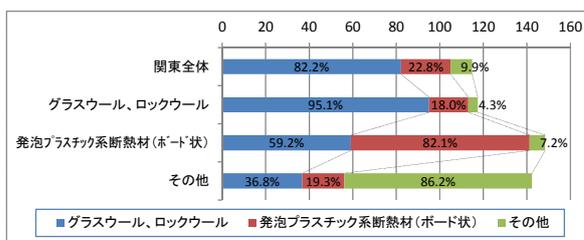


図 5-1-9d 同 関東地域

〔北陸地域〕「外壁」と「屋根・天井」の断熱材料の組合せ

- 「外壁にグラスウール・ロックウール」との組合せは、「屋根・天井にグラスウール・ロックウール」が 95.8%、「屋根・天井に発泡プラスチック系断熱材」が 18.9%で、「屋根・天井にその他の断熱材」が 7.0%であった。
- 「外壁に発泡プラスチック系断熱材」との組合せは、「屋根・天井にグラスウール・ロックウール」が 52.0%、「屋根・天井に発泡プラスチック系断熱材」が 76.4%、「屋根・天井にその他の断熱材」が 10.1%であった。
- 「外壁にその他の断熱材」との組合せは、「屋根・天井にその他の断熱材」が 89.7%、「屋根・天井にグラスウール・ロックウール」が 28.4%、「屋根・天井に発泡プラスチック系断熱材」が 16.5%であった。

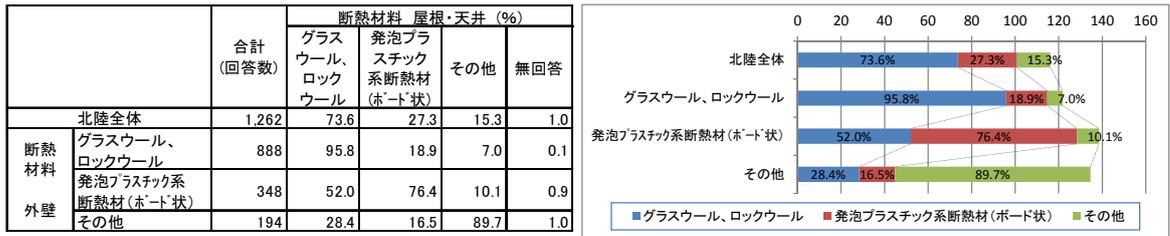


図 5-1-9e 同 北陸地域

〔中部地域〕「外壁」と「屋根・天井」の断熱材料の組合せ

- 「外壁にグラスウール・ロックウール」との組合せは、「屋根・天井にグラスウール・ロックウール」が 94.4%、「屋根・天井に発泡プラスチック系断熱材」が 22.0%、「屋根・天井にその他の断熱材」が 5.2%であった。
- 「外壁に発泡プラスチック系断熱材」との組合せは、「屋根・天井にグラスウール・ロックウール」が 58.8%、「屋根・天井に発泡プラスチック系断熱材」が 76.8%、「屋根・天井にその他の断熱材」が 9.0%であった。
- 「外壁にその他の断熱材」との組合せは、「屋根・天井にその他の断熱材」が 81.4%、「屋根・天井にグラスウール・ロックウール」が 32.5%、「屋根・天井に発泡プラスチック系断熱材」が 20.5%であった。

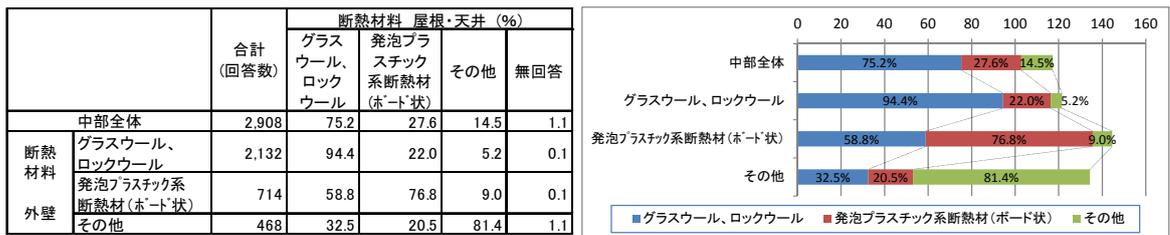


図 5-1-9f 同 中部地域

〔近畿地域〕「外壁」と「屋根・天井」の断熱材料の組合せ

- 「外壁にグラスウール・ロックウール」との組合せは「屋根・天井にグラスウール・ロックウール」が 94.8%、「屋根・天井に発泡プラスチック系断熱材」が 15.9%、「屋根・天井にその他の断熱材」が 3.6%であった。
- 「外壁に発泡プラスチック系断熱材」との組合せは「屋根・天井にグラスウール・ロックウール」が 60.5%、「屋根・天井に発泡プラスチック系断熱材」が 67.8%、「屋根・天井にその他の断熱材」が 7.2%であった。
- 「外壁にその他の断熱材」との組合せは「屋根・天井にその他の断熱材」が 89.6%、「屋根・天井にグラスウール・ロックウール」が 27.8%、「屋根・天井に発泡プラスチック系断熱材」が 14.8%であった。

	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)				
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プラ スチック 系断熱材 (ボード状)	その他	無回答	
近畿全体	2,143	79.0	25.9	13.0	1.0	
断熱 材料	グラスウール、 ロックウール	1,667	93.3	22.3	6.7	0.3
外壁	発泡プラスチック系 断熱材(ボード状)	427	63.5	73.5	9.1	0.0
	その他	311	38.9	25.4	81.0	0.0

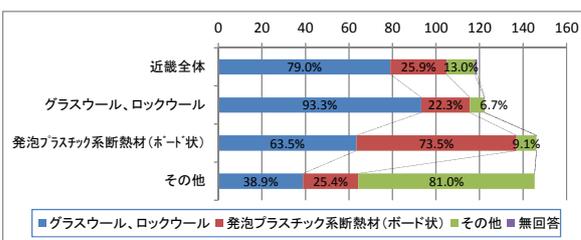


図 5-1-9g 同 近畿地域

〔中国地域〕「外壁」と「屋根・天井」の断熱材料の組合せ

- 「外壁にグラスウール・ロックウール」との組合せは、「屋根・天井にグラスウール・ロックウール」が 96.8%、「屋根・天井に発泡プラスチック系断熱材」が 18.7%、「屋根・天井にその他の断熱材」が 5.2%であった。
- 「外壁に発泡プラスチック系断熱材」との組合せは、「屋根・天井にグラスウール・ロックウール」が 68.1%、「屋根・天井に発泡プラスチック系断熱材」が 75.1%、「屋根・天井にその他の断熱材」が 6.4%であった。
- 「外壁にその他の断熱材」との組合せは、「屋根・天井にその他の断熱材」が 88.2%、「屋根・天井にグラスウール・ロックウール」が 39.8%、「屋根・天井に発泡プラスチック系断熱材」が 13.3%であった。

	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)				
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プラ スチック 系断熱材 (ボード状)	その他	無回答	
中国全体	1,712	83.7	21.5	12.0	1.1	
断熱 材料	グラスウール、 ロックウール	1,360	96.8	18.7	5.2	0.5
外壁	発泡プラスチック系 断熱材(ボード状)	329	68.1	75.1	6.4	1.2
	その他	211	39.8	13.3	88.2	0.5

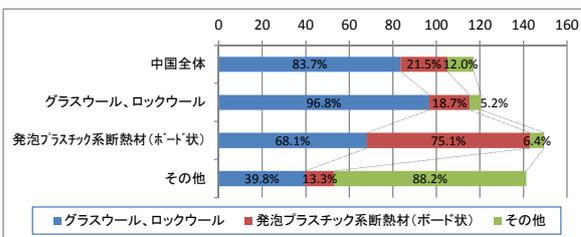


図 5-1-9h 同 中国地域

〔四国地域〕「外壁」と「屋根・天井」の断熱材料の組合せ

- 「外壁にグラスウール・ロックウール」との組合せは、「屋根・天井にグラスウール・ロックウール」が 92.8%、「屋根・天井に発泡プラスチック系断熱材」が 21.6%、「屋根・天井にその他の断熱材」が 5.0%であった。
- 「外壁に発泡プラスチック系断熱材」との組合せは、「屋根・天井にグラスウール・ロックウール」が 55.5%、「屋根・天井に発泡プラスチック系断熱材」が 76.9%、「屋根・天井にその他の断熱材」が 7.7%であった。
- 「外壁にその他の断熱材」との組合せは、「屋根・天井にその他の断熱材」が 82.6%、「屋根・天井にグラスウール・ロックウール」が 35.8%、「屋根・天井に発泡プラスチック系断熱材」が 18.3%であった。

	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)				
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プラ スチック 系断熱材 (ボード状)	その他	無回答	
四国全体	908	78.2	26.4	11.5	1.2	
断熱 材料	グラスウール、 ロックウール	694	92.8	21.6	5.0	0.4
外壁	発泡プラスチック系 断熱材(ボード状)	182	55.5	76.9	7.7	1.1
	その他	109	35.8	18.3	82.6	0.9

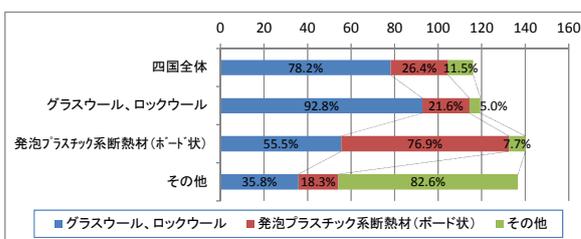


図 5-1-9i 同 四国地域

[九州・沖縄地域] 「外壁」と「屋根・天井」の断熱材料の組合せ

- 「外壁にグラスウール・ロックウール」との組合せは、「屋根・天井にグラスウール・ロックウール」が 95.3%、「屋根・天井に発泡プラスチック系断熱材」が 17.1%、「屋根・天井にその他の断熱材」が 4.3%であった。
- 「外壁に発泡プラスチック系断熱材」との組合せは、「屋根・天井にグラスウール・ロックウール」が 56.5%、「屋根・天井に発泡プラスチック系断熱材」が 82.4%、「屋根・天井にその他の断熱材」が 7.3%であった。
- 「外壁にその他の断熱材」との組合せは、「屋根・天井にその他の断熱材」が 91.1%、「屋根・天井にグラスウール・ロックウール」が 30.2%、「屋根・天井に発泡プラスチック系断熱材」が 13.6%であった。

	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)				
		グラスウール、 ロックウール	発泡プラスチック系断熱材 (ボード状)	その他	無回答	
九州・沖縄全体	2,133	79.4	22.7	11.5	0.8	
断熱材料 外壁	グラスウール、 ロックウール	1,663	95.3	17.1	4.3	0.2
	発泡プラスチック系 断熱材(ボード状)	329	56.5	82.4	7.3	0.3
	その他	235	30.2	13.6	91.1	0.0

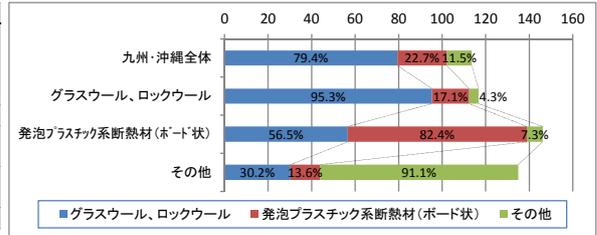


図 5-1-9j 同 九州・沖縄地域

質問5 質問4で回答した工法で使っている断熱材に○をご記入ください。(複数回答)

⑤「外壁」と「床・基礎」の断熱材料の組合せ

〔全体〕「外壁」と「床・基礎」の断熱材料の組合せ

- 「外壁にグラスウール・ロックウール」との組合せは、「床・基礎に発泡プラスチック系断熱材」が78.7%、「床・基礎にグラスウール・ロックウール」が28.6%であった。
- 「外壁に発泡プラスチック系断熱材」との組合せは、「床・基礎に発泡プラスチック系断熱材」が92.8%、「床・基礎にグラスウール・ロックウール」が24.0%であった。
- 「外壁にその他の断熱材」との組合せは、「床・基礎に発泡プラスチック系断熱材」が68.7%、「床・基礎にその他の断熱材」が35.3%であった。
- 外壁にどの断熱材を使用しても、床・基礎には発泡プラスチック系断熱材を使用する割合が高い。
- 「外壁にその他の断熱材」と「床・基礎にその他の断熱材」の組合せは、その内の5割強が両方に同じ断熱材を使用した組合せとなっている。(例えば外壁、床・基礎共に現場発泡ウレタンである組合せ)

	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)			
		グラスウール、 ロックウール	発泡プラスチック系断熱材 (ボード状)	その他 無回答	
全体	19,231	24.0	78.0	5.4	
断熱材料	グラスウール、 ロックウール	14,980	28.6	78.7	2.4
外壁	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	4,289	24.0	92.8	3.9
	その他	2,374	12.2	68.7	35.3

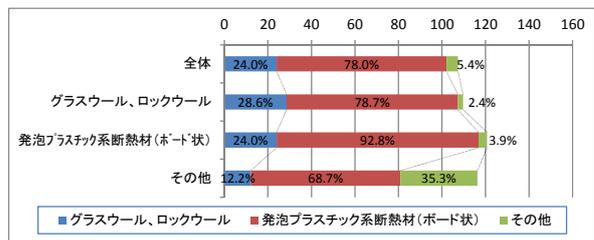


図 5-1-10a1 外壁と床・基礎の断熱材料の組合せ

断熱材料 外壁「その他」 × 断熱材料 床・基礎「その他」	回答数	%
セルローズファイバー × セルローズファイバー	77	8.6%
吹込GW,RW × 吹込GW,RW	1	0.1%
吹込その他 × 吹込その他	0	0.0%
現場発泡ウレタン(a) × 現場発泡ウレタン(a)	286	31.9%
発泡プラスチック系(ボード状)(b) × 発泡プラスチック系(ボード状)(b)	54	6.0%
ウレタン(aかbか不明) × ウレタン(aかbか不明)	47	5.2%
ポリエステル × ポリエステル	19	2.1%
木質系 × 木質系	8	0.9%
羊毛 × 羊毛	9	1.0%
コルク × コルク	3	0.3%
同じ断熱材料の組合せ 合計	504	56.3%
異なる断熱材料の組合せ、片方未記入、両方未記入	392	43.8%
断熱材料 屋根・天井「その他」 × 断熱材料 外壁「その他」 合計	896	100.0%

図 5-1-10a2 外壁と床・基礎の断熱材料「その他」同士の組合せ

〔北海道地域〕「外壁」と「床・基礎」の断熱材料の組合せ

- 「外壁にグラスウール・ロックウール」との組合せは、「床・基礎に発泡プラスチック系断熱材」が64.9%、「床・基礎にグラスウール・ロックウール」が52.5%、「床・基礎にその他の断熱材」が2.9%であった。
- 「外壁に発泡プラスチック系断熱材」との組合せは「床・基礎に発泡プラスチック系断熱材」が87.7%、「床・基礎にグラスウール・ロックウール」が34.2%、「屋根・天井にその他の断熱材」が4.6%であった。
- 「外壁にその他の断熱材」との組合せは「床・基礎にその他の断熱材」が51.4%、「床・基礎に発泡プラスチック系断熱材」が54.2%、「床・基礎にグラスウール・ロックウール」が25.0%であった。

	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)			
		グラスウール、 ロックウール	発泡プラスチック系断熱材 (ボード状)	その他 無回答	
北海道全体	669	43.0	67.4	6.0	
断熱材料	グラスウール、 ロックウール	510	52.5	64.9	2.9
外壁	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	325	34.2	87.7	4.6
	その他	72	25.0	54.2	51.4

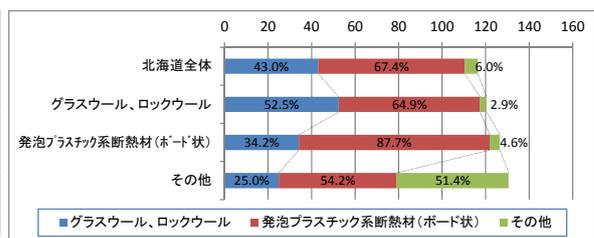


図 5-1-10b 同 北海道地域

[東北地域] 「外壁」と「床・基礎」の断熱材料の組合せ

- 「外壁にグラスウール・ロックウール」との組合せは、「床・基礎に発泡プラスチック系断熱材」が 81.0%、「床・基礎にグラスウール・ロックウール」が 27.8%、「床・基礎にその他の断熱材」が 3.3%であった。
- 「外壁に発泡プラスチック系断熱材」との組合せは、「床・基礎に発泡プラスチック系断熱材」が 95.7%、「床・基礎にグラスウール・ロックウール」が 23.3%、「屋根・天井にその他の断熱材」が 3.4%であった。
- 「外壁にその他の断熱材」との組合せは「床・基礎にその他の断熱材」が 47.1%、「床・基礎に発泡プラスチック系断熱材」が 62.4%、「床・基礎にグラスウール・ロックウール」が 10.9%であった。

	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)			
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答
東北全体	2,729	22.6	80.6	6.0	1.1
断熱材料 グラスウール、ロックウール	2,109	27.8	81.0	3.3	0.6
外壁 発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	716	22.3	95.7	3.4	0.4
その他	274	10.9	62.4	47.1	0.7

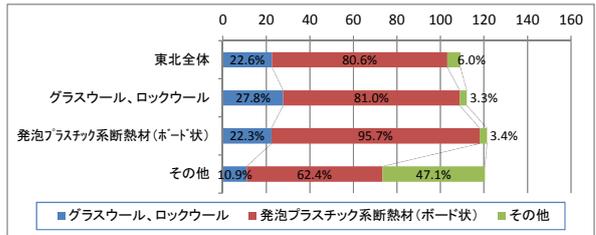


図 5-1-10c 同 東北地域

[関東地域] 「外壁」と「床・基礎」の断熱材料の組合せ

- 「外壁にグラスウール・ロックウール」との組合せは、「床・基礎に発泡プラスチック系断熱材」が 71.8%、「床・基礎にグラスウール・ロックウール」が 36.1%、「床・基礎にその他の断熱材」が 2.1%であった。
- 「外壁に発泡プラスチック系断熱材」との組合せは、「床・基礎に発泡プラスチック系断熱材」が 90.1%、「床・基礎にグラスウール・ロックウール」が 29.7%、「屋根・天井にその他の断熱材」が 3.9%であった。
- 「外壁にその他の断熱材」との組合せは「床・基礎にその他の断熱材」が 36.3%、「床・基礎に発泡プラスチック系断熱材」が 65.2%、「床・基礎にグラスウール・ロックウール」が 15.1%であった。

	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)			
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答
関東全体	5,080	31.6	71.5	4.7	1.6
断熱材料 グラスウール、ロックウール	4,117	36.1	71.8	2.1	0.7
外壁 発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	938	29.7	90.1	3.9	1.3
その他	515	15.1	65.2	36.3	1.6

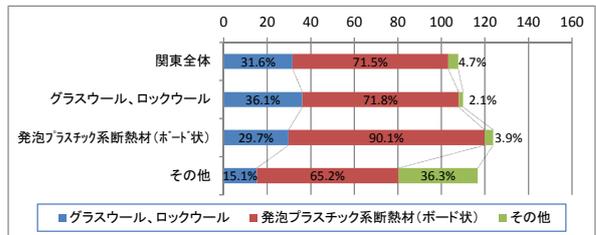


図 5-1-10d 同 関東地域

[北陸地域] 「外壁」と「床・基礎」の断熱材料の組合せ

- 「外壁にグラスウール・ロックウール」との組合せは、「床・基礎に発泡プラスチック系断熱材」が 85.7%、「床・基礎にグラスウール・ロックウール」が 19.4%、「床・基礎にその他の断熱材」が 2.9%であった。
- 「外壁に発泡プラスチック系断熱材」との組合せは、「床・基礎に発泡プラスチック系断熱材」が 94.5%、「床・基礎にグラスウール・ロックウール」が 13.7%、「屋根・天井にその他の断熱材」が 5.5%であった。
- 「外壁にその他の断熱材」との組合せは「床・基礎にその他の断熱材」が 31.3%、「床・基礎に発泡プラスチック系断熱材」が 73.3%、「床・基礎にグラスウール・ロックウール」が 7.2%であった。

	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)			
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答
北陸全体	1,250	14.9	84.4	6.4	1.5
断熱材料					
外壁					
グラスウール、ロックウール	875	19.4	85.7	2.9	0.9
発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	344	13.7	94.5	5.5	1.2
その他	195	7.2	73.3	31.3	0.5

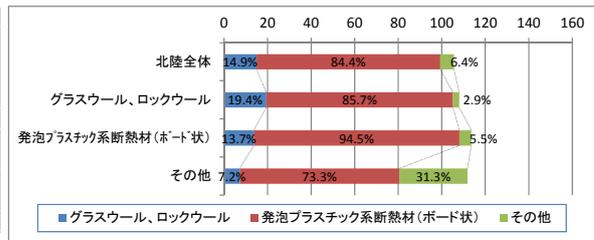


図 5-1-10e 同 北陸地域

〔中部地域〕「外壁」と「床・基礎」の断熱材料の組合せ

- 「外壁にグラスウール・ロックウール」との組合せは、「床・基礎に発泡プラスチック系断熱材」が 80.5%、「床・基礎にグラスウール・ロックウール」が 27.6%、「床・基礎にその他の断熱材」が 2.8%であった。
- 「外壁に発泡プラスチック系断熱材」との組合せは、「床・基礎に発泡プラスチック系断熱材」が 94.4%、「床・基礎にグラスウール・ロックウール」が 20.9%、「屋根・天井にその他の断熱材」が 3.5%であった。
- 「外壁にその他の断熱材」との組合せは「床・基礎にその他の断熱材」が 30.9%、「床・基礎に発泡プラスチック系断熱材」が 73.9%、「床・基礎にグラスウール・ロックウール」が 10.8%であった。

	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)			
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答
中部全体	2,869	22.0	80.1	6.1	1.6
断熱材料					
外壁					
グラスウール、ロックウール	2,110	27.6	80.5	2.8	0.9
発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	712	20.9	94.4	3.5	1.3
その他	463	10.8	73.9	30.9	0.9

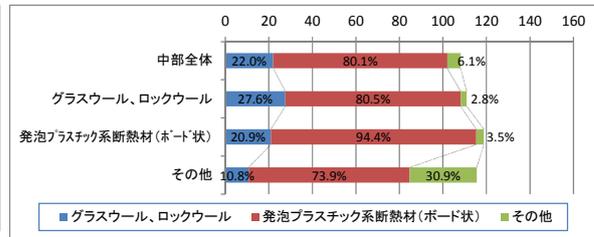


図 5-1-10f 同 中部地域

〔近畿地域〕「外壁」と「床・基礎」の断熱材料の組合せ

- 「外壁にグラスウール・ロックウール」との組合せは、「床・基礎に発泡プラスチック系断熱材」が 82.9%、「床・基礎にグラスウール・ロックウール」が 22.5%、「床・基礎にその他の断熱材」が 2.3%であった。
- 「外壁に発泡プラスチック系断熱材」との組合せは、「床・基礎に発泡プラスチック系断熱材」が 94.4%、「床・基礎にグラスウール・ロックウール」が 23.5%、「屋根・天井にその他の断熱材」が 3.5%であった。
- 「外壁にその他の断熱材」との組合せは「床・基礎にその他の断熱材」が 29.2%、「床・基礎に発泡プラスチック系断熱材」が 75.1%、「床・基礎にグラスウール・ロックウール」が 12.0%であった。

	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)			
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答
近畿全体	2,083	19.5	81.7	4.8	1.8
断熱材料					
外壁					
グラスウール、ロックウール	1,638	22.5	82.9	2.3	1.3
発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	425	23.5	94.4	3.5	0.5
その他	301	12.0	75.1	29.2	1.0

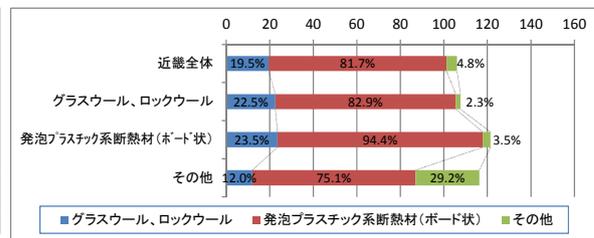


図 5-1-10g 同 近畿地域

〔中国地域〕「外壁」と「床・基礎」の断熱材料の組合せ

- 「外壁にグラスウール・ロックウール」との組合せは、「床・基礎に発泡プラスチック系断熱材」が 86.8%、「床・基礎にグラスウール・ロックウール」が 18.9%、「床・基礎にその他の断熱材」が 1.9%であった。

- 「外壁に発泡プラスチック系断熱材」との組合せは、「床・基礎に発泡プラスチック系断熱材」が 93.6%、「床・基礎にグラスウール・ロックウール」が 22.0%、「屋根・天井にその他の断熱材」が 4.0%であった。
- 「外壁にその他の断熱材」との組合せは「床・基礎にその他の断熱材」が 35.1%、「床・基礎に発泡プラスチック系断熱材」が 68.2%、「床・基礎にグラスウール・ロックウール」が 10.0%であった。

	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)			無回答
		グラスウール、 ロックウール	発泡プラスチック系断熱材 (ボード状)	その他	
中国全体	1,665	16.7	83.6	4.9	1.9
断熱材料					
外壁					
グラスウール、 ロックウール	1,329	18.9	86.8	1.9	0.8
発泡プラスチック系 断熱材(ボード状)	328	22.0	93.6	4.0	1.2
その他	211	10.0	68.2	35.1	2.8

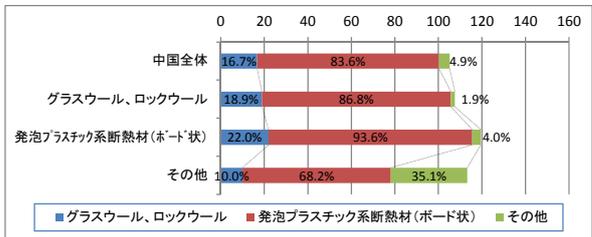


図 5-1-10h 同 中国地域

[四国地域] 「外壁」と「床・基礎」の断熱材料の組合せ

- 「外壁にグラスウール・ロックウール」との組合せは、「床・基礎に発泡プラスチック系断熱材」が 86.9%、「床・基礎にグラスウール・ロックウール」が 17.7%、「床・基礎にその他の断熱材」が 2.6%であった。
- 「外壁に発泡プラスチック系断熱材」との組合せは、「床・基礎に発泡プラスチック系断熱材」が 95.1%、「床・基礎にグラスウール・ロックウール」が 19.5%、「屋根・天井にその他の断熱材」が 3.2%であった。
- 「外壁にその他の断熱材」との組合せは「床・基礎にその他の断熱材」が 30.0%、「床・基礎に発泡プラスチック系断熱材」が 71.6%、「床・基礎にグラスウール・ロックウール」が 10.1%であった。

	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)			無回答
		グラスウール、 ロックウール	発泡プラスチック系断熱材 (ボード状)	その他	
四国全体	893	15.1	85.2	4.8	1.5
断熱材料					
外壁					
グラスウール、 ロックウール	685	17.7	86.9	2.6	0.9
発泡プラスチック系 断熱材(ボード状)	185	19.5	95.1	3.2	1.6
その他	109	10.1	71.6	30.3	1.8

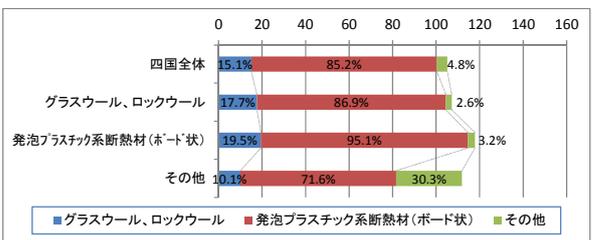


図 5-1-10i 同 四国地域

[九州・沖縄地域] 「外壁」と「床・基礎」の断熱材料の組合せ

- 「外壁にグラスウール・ロックウール」との組合せは、「床・基礎に発泡プラスチック系断熱材」が 76.9%、「床・基礎にグラスウール・ロックウール」が 27.8%、「床・基礎にその他の断熱材」が 2.0%であった。
- 「外壁に発泡プラスチック系断熱材」との組合せは、「床・基礎に発泡プラスチック系断熱材」が 89.9%、「床・基礎にグラスウール・ロックウール」が 24.1%、「屋根・天井にその他の断熱材」が 4.4%であった。
- 「外壁にその他の断熱材」との組合せは「床・基礎にその他の断熱材」が 37.2%、「床・基礎に発泡プラスチック系断熱材」が 65.0%、「床・基礎にグラスウール・ロックウール」が 13.7%であった。

	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)			無回答
		グラスウール、 ロックウール	発泡プラスチック系断熱材 (ボード状)	その他	
九州・沖縄全体	1,993	24.0	75.8	5.6	1.8
断熱材料					
外壁					
グラスウール、 ロックウール	1,607	27.8	76.9	2.0	1.2
発泡プラスチック系 断熱材(ボード状)	316	24.1	89.9	4.4	1.9
その他	234	13.7	65.0	37.2	3.0

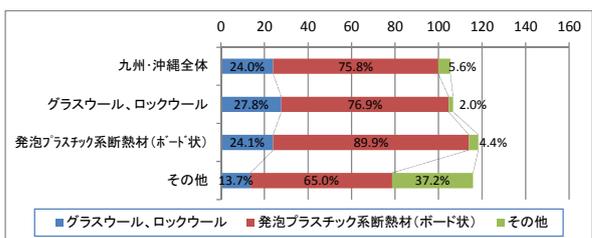


図 5-1-10j 同 九州・沖縄地域

質問4 断熱工法 × 質問5 断熱材料

①「屋根・天井」の断熱工法と材料の組合せ

〔全体〕「屋根・天井」の断熱工法と材料の組合せ

- 「天井断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 91.1%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 18.1%、「その他」が 8.3%であった。
- 「屋根野地上断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が 61.0%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 61.9%と同程度、「その他」が 16.2%であった。
- 「垂木間充填断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が 59.9%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 48.7%、「その他」が 29.0%であった。

	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)				
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プラ スチック 系断熱材 (ボード状)	その他	無回答	
全体	19,722	79.6	24.0	12.2	0.9	
断熱 工法 屋根・ 天井	天井断熱	15,861	91.1	18.1	8.3	0.7
	屋根野地 上断熱	3,382	61.0	61.9	16.2	1.7
	垂木間 充填断熱	4,601	59.9	48.7	29.0	1.1

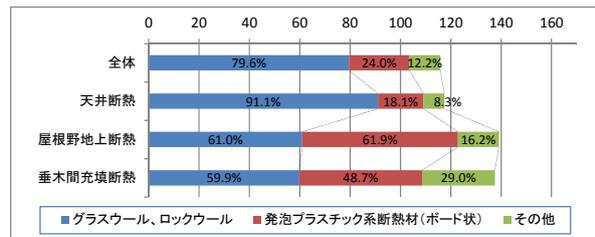


図 5-1-11a 屋根・天井の断熱工法と材料の組合せ

〔北海道地域〕「屋根・天井」の断熱工法と材料の組合せ

- 「天井断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 83.9%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 17.9%、「その他」が 16.9%であった。
- 「屋根野地上断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が 73.6%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 62.5%、「その他」が 16.7%であった。
- 「垂木間充填断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 78.3%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 41.7%、「その他」が 21.7%であった。

	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)				
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プラ スチック 系断熱材 (ボード状)	その他	無回答	
北海道全体	680	78.7	21.2	17.6	0.7	
断熱 工法 屋根・ 天井	天井断熱	604	83.9	17.9	16.9	0.3
	屋根野地 上断熱	144	73.6	62.5	16.7	2.1
	垂木間 充填断熱	120	78.3	41.7	21.7	0.0

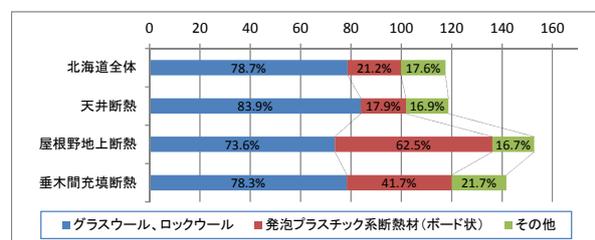


図 5-1-11b 同 北海道地域

〔東北地域〕「屋根・天井」の断熱工法と材料の組合せ

- 「天井断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 81.0%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 17.5%、「その他」が 10.0%であった。
- 「屋根野地上断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が 63.6%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 65.6%と同程度、「その他」が 15.6%であった。
- 「垂木間充填断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が 67.8%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 46.4%、「その他」が 25.2%であった。

	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)				
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プラ スチック 系断熱材 (ボード状)	その他	無回答	
東北全体	2,781	81.0	21.9	12.0	0.8	
断熱 工法 屋根・ 天井	天井断熱	2,394	88.1	17.5	10.0	0.8
	屋根野地 上断熱	456	63.6	65.6	15.6	0.7
	垂木間 充填断熱	457	67.8	46.4	25.2	0.9

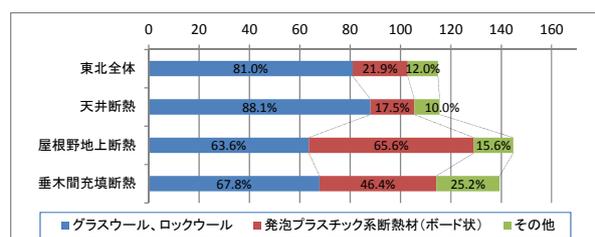


図 5-1-11c 同 東北地域

〔関東地域〕「屋根・天井」の断熱工法と材料の組合せ

- 「天井断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 93.6%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 16.0%、「その他」が 6.1%であった。
- 「屋根野地上断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が 60.7%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 61.0%、「その他」が 15.3%であった。
- 「垂木間充填断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が 61.5%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 49.0%、「その他」が 26.9%であった。

	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)				
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プラ スチック 系断熱材 (ボード状)	その他	無回答	
関東全体	5,195	82.2	22.8	9.9	0.8	
断熱 工法 屋根・ 天井	天井断熱	4,141	93.6	16.0	6.1	0.6
	屋根野地 上断熱	894	60.7	61.0	15.3	1.3
	垂木間 充填断熱	1,179	61.5	49.0	26.9	0.8

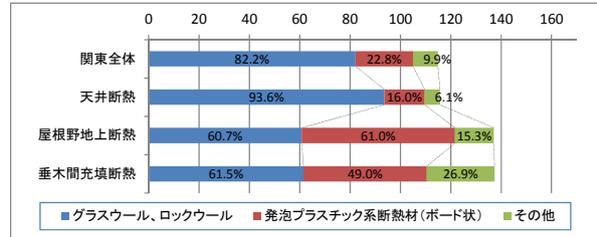


図 5-1-11d 同 関東地域

〔北陸地域〕「屋根・天井」の断熱工法と材料の組合せ

- 「天井断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 85.2%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 23.3%、「その他」が 10.1%であった。
- 「屋根野地上断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 68.0%、「グラスウール・ロックウール」が 56.8%、「その他」が 21.3%であった。
- 「垂木間充填断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が 50.2%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 47.7%と同程度、「その他」が 36.6%であった。

	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)				
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プラ スチック 系断熱材 (ボード状)	その他	無回答	
北陸全体	1,262	73.6	27.3	15.3	1.0	
断熱 工法 屋根・ 天井	天井断熱	1,039	85.2	23.3	10.1	0.8
	屋根野地 上断熱	169	56.8	68.0	21.3	1.8
	垂木間 充填断熱	287	50.2	47.7	36.6	1.0

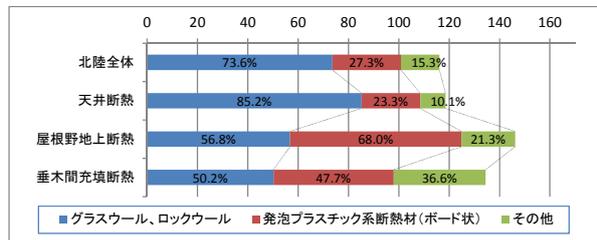


図 5-1-11e 同 北陸地域

〔中部地域〕「屋根・天井」の断熱工法と材料の組合せ

- 「天井断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 90.5%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 20.0%、「その他」が 9.8%であった。
- 「屋根野地上断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 64.8%、「グラスウール・ロックウール」が 53.4%、「その他」が 17.8%であった。
- 「垂木間充填断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が 54.2%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 52.5%と同程度、「その他」が 28.6%であった。

	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)				
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プラ スチック 系断熱材 (ボード状)	その他	無回答	
中部全体	2,908	75.2	27.6	14.5	1.1	
断熱 工法 屋根・ 天井	天井断熱	2,218	90.5	20.0	9.8	0.6
	屋根野地 上断熱	511	53.4	64.8	17.8	2.3
	垂木間 充填断熱	851	54.2	52.5	28.6	1.5

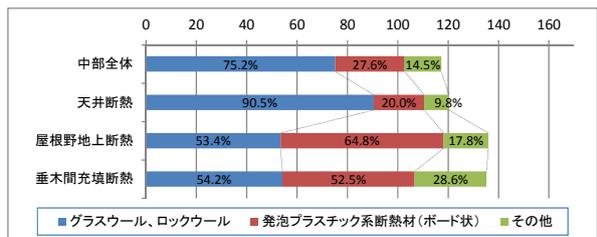


図 5-1-11f 同 中部地域

〔近畿地域〕「屋根・天井」の断熱工法と材料の組合せ

- 「天井断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 92.3%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 19.6%、「その他」が 8.7%であった。
- 「屋根野地上断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 61.4%、「グラスウール・ロックウール」が 54.9%、「その他」が 18.4%であった。
- 「垂木間充填断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が 63.0%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 48.7%、「その他」が 28.1%であった。

	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)			
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プラ スチック 系断熱材 (ボード状)	その他	無回答
近畿全体	2,143	79.0	25.9	13.0	1.0
断熱 工法					
天井断熱	1,618	92.3	19.6	8.7	0.8
屋根野地 上断熱	435	61.4	54.9	18.4	1.8
屋根・ 天井					
垂木間 充填断熱	595	63.0	48.7	28.1	1.0

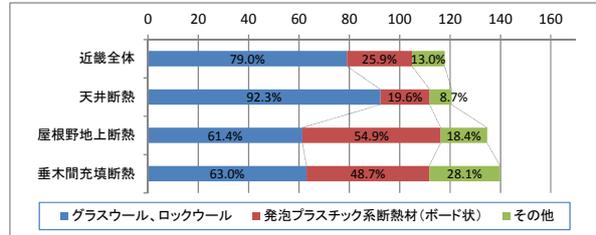


図 5-1-11g 同 近畿地域

〔中国地域〕「屋根・天井」の断熱工法と材料の組合せ

- 「天井断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 93.3%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 18.8%、「その他」が 7.2%であった。
- 「屋根野地上断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が 75.1%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 57.5%、「その他」が 13.6%であった。
- 「垂木間充填断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が 60.6%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 45.1%、「その他」が 35.2%であった。

	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)			
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プラ スチック 系断熱材 (ボード状)	その他	無回答
中国全体	1,712	83.7	21.5	12.0	1.1
断熱 工法					
天井断熱	1,439	93.3	18.8	7.2	0.8
屋根野地 上断熱	273	75.1	57.5	13.6	1.8
屋根・ 天井					
垂木間 充填断熱	381	60.6	45.1	35.2	1.8

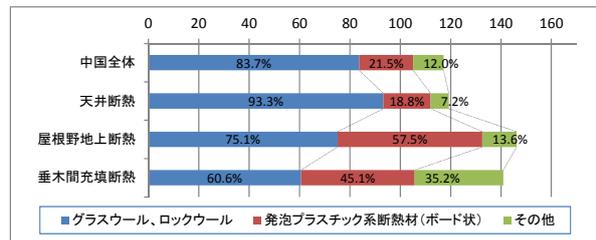


図 5-1-11h 同 中国地域

〔四国地域〕「屋根・天井」の断熱工法と材料の組合せ

- 「天井断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 92.4%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 17.5%、「その他」が 8.4%であった。
- 「屋根野地上断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 62.7%、「グラスウール・ロックウール」が 55.3%、「その他」が 16.8%であった。
- 「垂木間充填断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が 60.6%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 53.7%、「その他」が 26.0%であった。

	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)			
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プラ スチック 系断熱材 (ボード状)	その他	無回答
四国全体	908	78.2	26.4	11.5	1.2
断熱 工法					
天井断熱	715	92.4	17.5	8.4	0.7
屋根野地 上断熱	161	55.3	62.7	16.8	3.1
屋根・ 天井					
垂木間 充填断熱	246	60.6	53.7	26.0	1.2

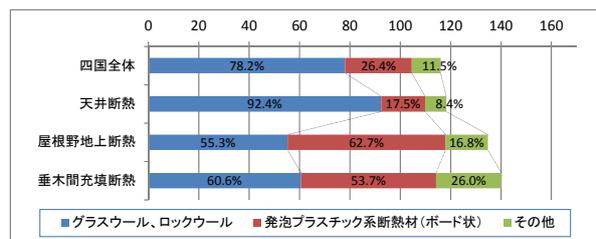


図 5-1-11i 同 四国地域

[九州・沖縄地域] 「屋根・天井」の断熱工法と材料の組合せ

- 「天井断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 92.4%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 16.5%、「その他」が 6.0%であった。
- 「屋根野地上断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 63.7%、「グラスウール・ロックウール」も 56.9%、「その他」が 13.6%であった。
- 「垂木間充填断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が 54.8%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 45.6%、「その他」が 23.8%であった。

	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)			
		グラスウール、 ロックウール	発泡プラスチック系断熱材 (ボード状)	その他	無回答
九州・沖縄全体	2,133	79.4	22.7	11.5	0.8
断熱工法	1,693	92.4	16.5	6.0	0.6
屋根野地上断熱	339	56.9	63.7	13.6	2.1
屋根・天井	485	54.8	45.6	33.8	1.0

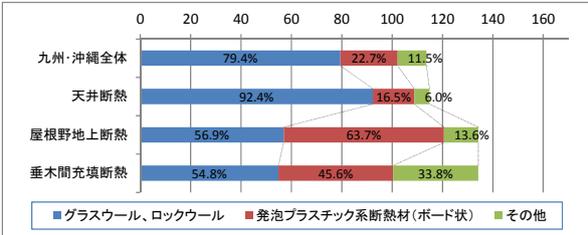


図 5-1-11j 同 九州・沖縄地域

①屋根・天井 材料その他 × 工法	吹込用			現場発泡 ウレタン (a)	発泡プラスチック系 (ボード状) (b)	ウレタン (aかbか 不明)	ポリエ ステル	木質系	羊毛	コルク	未 分類	小 計	地域 合計	回答 数合計
	木質 繊維系	無機 繊維系	ど ち ら か 不 明											
	セルローズ ファイバー	GW RW												
北海道	天井	26	3	39	12	2	0	0	1	0	3	86	133	2,851
	野地上	3	0	5	10	5	0	0	0	0	0	23		
	垂木間	5	0	3	15	0	0	0	0	0	1	24		
東北	天井	73	8	28	80	3	5	0	2	0	15	215	387	
	野地上	10	0	5	30	6	4	0	5	0	8	68		
	垂木間	14	1	2	63	3	10	0	2	0	9	104		
関東	天井	61	2	3	90	7	3	7	1	26	1	227	633	
	野地上	16	0	0	56	11	6	2	3	7	0	120		
	垂木間	54	2	1	141	13	15	2	2	12	0	286		
北陸	天井	30	0	2	46	3	1	2	0	3	0	91	220	
	野地上	8	0	0	17	4	1	0	0	1	0	33		
	垂木間	4	0	1	83	0	3	1	0	0	0	4		
中部	天井	56	0	1	69	7	3	21	3	3	1	184	478	
	野地上	5	0	0	36	5	2	3	8	0	1	72		
	垂木間	25	0	0	120	7	15	8	4	2	1	222		
近畿	天井	41	1	1	45	1	2	5	3	7	0	130	347	
	野地上	13	0	0	27	4	2	1	4	2	2	68		
	垂木間	25	0	1	81	3	5	4	2	4	1	149		
中国	天井	19	0	0	30	3	5	0	0	9	0	79	230	
	野地上	9	0	0	11	2	1	0	1	2	0	33		
	垂木間	36	0	0	58	0	11	0	0	3	0	118		
四国	天井	22	0	0	28	2	2	1	0	0	0	58	140	
	野地上	5	0	0	12	2	0	0	0	1	0	22		
	垂木間	11	0	0	33	2	5	3	0	1	0	60		
九州・ 沖縄	天井	26	0	1	40	5	2	2	1	7	1	95	283	
	野地上	7	0	0	18	4	1	0	0	4	1	42		
	垂木間	41	1	0	70	4	7	2	0	7	1	146		
小計	充填	354	14	75	440	33	23	38	9	58	3	1165		
	外張	76		10	217	43	17	6	21	17	4	481		
	併用	215	4	8	664	32	71	20	10	29	3	1205		
材料合計	645	18	93	1321	108	111	64	40	104	10	337			
回答数合計	2,851													

図 5-1-11k 屋根・天井の断熱工法と材料の組合せ 地域別「その他」記述

質問4 断熱工法 × 質問5 断熱材料

②「外壁」の断熱工法と材料の組合せ

〔全体〕「外壁」の断熱工法と材料の組合せ

- 「充填断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 83.9%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 17.9%、「その他」が 13.0%であった。
- 「外張断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 68.1%、「グラスウール・ロックウール」が 58.6%、「その他」が 10.4%であった。
- 「充填外張併用断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が 74.4%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 56.4%、「その他」が 17.3%であった。

	合計 (回答数)	断熱材料 外壁 (%)				
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答	
全体	19,342	79.6	22.8	12.6	1.0	
断熱工法 外壁	充填断熱	16,874	83.9	17.9	13.0	0.8
	外張断熱	2,631	58.6	68.1	10.4	1.7
	充填外張併用断熱	1,393	74.4	56.4	17.3	0.8

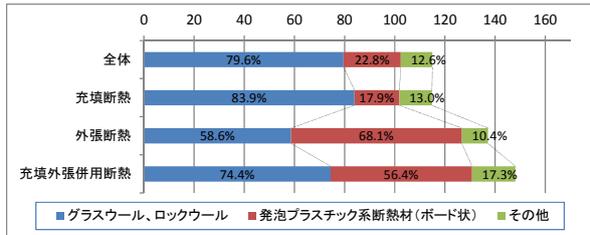


図 5-1-12a 外壁の断熱工法と材料の組合せ

〔北海道地域〕「外壁」の断熱工法と材料の組合せ

- 「充填断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 88.4%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 28.3%、「その他」が 10.3%であった。
- 「外張断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 75.5%、「グラスウール・ロックウール」が 48.5%、「その他」が 14.1%であった。
- 「充填外張併用断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が 85.4%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 68.9%、「その他」が 12.1%であった。

	合計 (回答数)	断熱材料 外壁 (%)				
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答	
北海道全体	676	76.8	49.1	10.9	1.0	
断熱工法 外壁	充填断熱	329	88.4	28.3	10.3	0.3
	外張断熱	163	48.5	75.5	14.1	3.1
	充填外張併用断熱	322	85.4	68.9	12.1	0.6

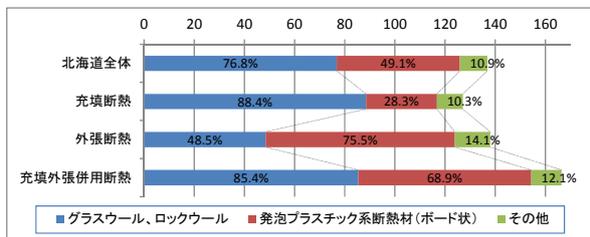


図 5-1-12b 同 北海道地域

〔東北地域〕「外壁」の断熱工法と材料の組合せ

- 「充填断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 85.1%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 20.1%、「その他」が 10.5%であった。
- 「外張断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 74.6%、「グラスウール・ロックウール」が 55.0%、「その他」が 8.1%であった。
- 「充填外張併用断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が 75.3%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 59.8%、「その他」が 13.5%であった。

	合計 (回答数)	断熱材料 外壁 (%)				
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答	
東北全体	2,755	78.8	26.6	10.0	0.7	
断熱工法 外壁	充填断熱	2,325	85.1	20.1	10.5	0.7
	外張断熱	496	55.0	74.6	8.1	1.2
	充填外張併用断熱	251	75.3	59.8	13.5	0.4

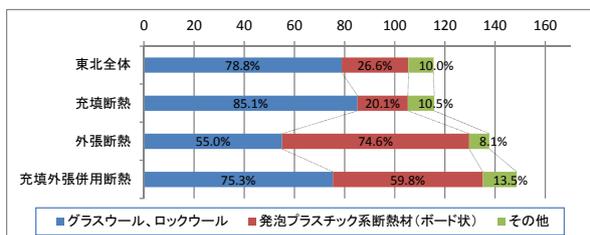


図 5-1-12c 同 東北地域

〔関東地域〕「外壁」の断熱工法と材料の組合せ

- 「充填断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 87.2%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 15.0%、「その他」が 10.7%であった。
- 「外張断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 68.9%、「グラスウール・ロックウール」が 59.5%、「その他」が 9.5%であった。
- 「充填外張併用断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 70.5%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 49.5%、「その他」が 20.0%であった。

	合計 (回答数)	断熱材料 外壁 (%)			無回答	
		グラスウール、 ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他		
関東全体	5,098	83.1	19.1	10.4	1.1	
断熱工法 外壁	充填断熱	4,596	87.2	15.0	10.7	0.9
	外張断熱	634	59.5	68.9	9.5	1.7
	充填外張併用断熱	220	70.5	49.5	20.0	0.9

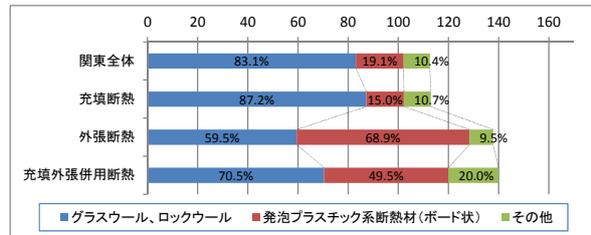


図 5-1-12d 同 関東地域

〔北陸地域〕「外壁」の断熱工法と材料の組合せ

- 「充填断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 75.6%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 23.5%、「その他」が 16.8%であった。
- 「外張断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 74.9%、「グラスウール・ロックウール」が 52.7%、「その他」が 9.6%であった。
- 「充填外張併用断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が 65.9%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 67.1%と同程度、「その他」が 10.6%であった。

	合計 (回答数)	断熱材料 外壁 (%)			無回答	
		グラスウール、 ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他		
北陸全体	1,255	71.2	28.6	15.8	0.7	
断熱工法 外壁	充填断熱	1,107	75.6	23.5	16.8	0.8
	外張断熱	167	52.7	74.9	9.6	0.0
	充填外張併用断熱	85	65.9	67.1	10.6	0.0

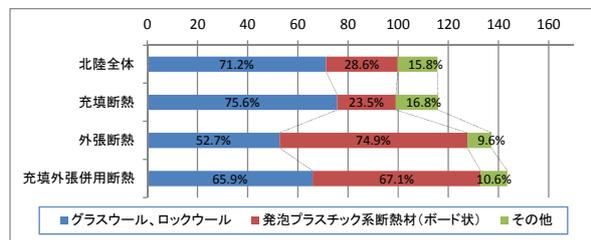


図 5-1-12e 同 北陸地域

〔中部地域〕「外壁」の断熱工法と材料の組合せ

- 「充填断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 78.6%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 21.1%、「その他」が 17.0%であった。
- 「外張断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 71.4%、「グラスウール・ロックウール」が 53.9%、「その他」が 10.8%であった。
- 「充填外張併用断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 70.2%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 55.9%、「その他」が 23.4%であった。

	合計 (回答数)	断熱材料 外壁 (%)			無回答	
		グラスウール、 ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他		
中部全体	2,877	74.5	25.3	16.5	1.1	
断熱工法 外壁	充填断熱	2,554	78.6	21.1	17.0	0.9
	外張断熱	371	53.9	71.4	10.8	2.2
	充填外張併用断熱	188	70.2	55.9	23.4	1.6

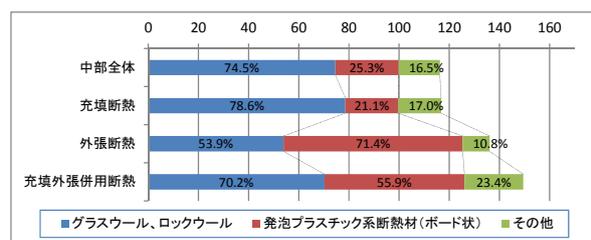


図 5-1-12f 同 中部地域

[近畿地域] 「外壁」の断熱工法と材料の組合せ

- 「充填断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 83.9%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 17.0%、「その他」が 15.5%であった。
- 「外張断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が 60.5%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 58.3%と同程度、「その他」が 15.0%であった。
- 「充填外張併用断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 67.2%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 43.4%、「その他」が 25.4%であった。

	合計 (回答数)	断熱材料 外壁 (%)			無回答	
		グラスウール、 ロックウール	発泡プラスチック系断熱材 (ボード状)	その他		
近畿全体	2,103	80.0	20.6	14.8	1.0	
断熱工法 外壁	充填断熱	1,855	83.9	17.0	15.5	1.0
	外張断熱	266	60.5	58.3	15.0	1.5
	充填外張併用断熱	122	67.2	43.4	25.4	0.0

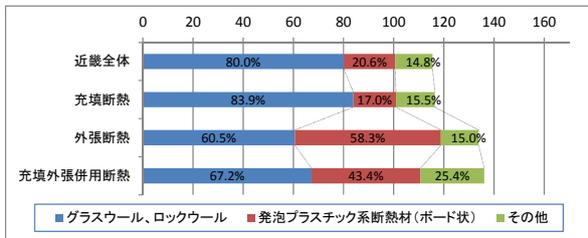


図 5-1-12g 同 近畿地域

[中国地域] 「外壁」の断熱工法と材料の組合せ

- 「充填断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 84.1%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 18.5%、「その他」が 13.4%であった。
- 「外張断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 77.2%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 61.4%、「その他」が 9.8%であった。
- 「充填外張併用断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 75.7%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 43.2%、「その他」が 20.3%であった。

	合計 (回答数)	断熱材料 外壁 (%)			無回答	
		グラスウール、 ロックウール	発泡プラスチック系断熱材 (ボード状)	その他		
中国全体	1,661	82.3	20.2	12.9	1.1	
断熱工法 外壁	充填断熱	1,513	84.1	18.5	13.4	1.0
	外張断熱	184	77.2	61.4	9.8	2.7
	充填外張併用断熱	74	75.7	43.2	20.3	0.0

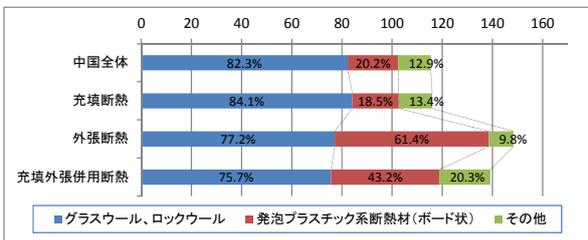


図 5-1-12h 同 中国地域

[四国地域] 「外壁」の断熱工法と材料の組合せ

- 「充填断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 83.6%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 18.0%、「その他」が 12.3%であった。
- 「外張断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が 62.7%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 61.8%と同程度、「その他」が 13.6%であった。
- 「充填外張併用断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 64.7%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 47.1%、「その他」が 26.5%であった。

	合計 (回答数)	断熱材料 外壁 (%)			無回答	
		グラスウール、 ロックウール	発泡プラスチック系断熱材 (ボード状)	その他		
四国全体	878	79.7	21.3	12.6	0.9	
断熱工法 外壁	充填断熱	782	83.6	18.0	12.3	0.8
	外張断熱	110	62.7	61.8	13.6	0.9
	充填外張併用断熱	34	64.7	47.1	26.5	2.9

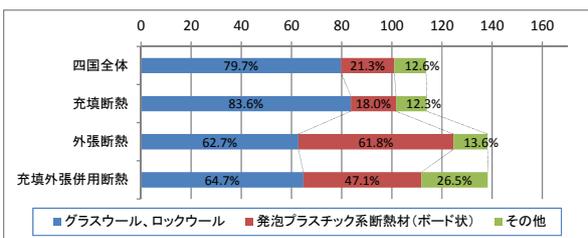


図 5-1-12i 同 四国地域

[九州・沖縄地域] 「外壁」の断熱工法と材料の組合せ

- 「充填断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 85.5%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 13.0%、「その他」が 12.3%であった。
- 「外張断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が 63.8%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 57.1%、「その他」が 9.2%であった。
- 「充填外張併用断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 71.1%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 43.3%、「その他」が 16.5%であった。

	合計 (回答数)	断熱材料 外壁 (%)			無回答	
		グラスウール、 ロックウール	発泡プラスチック系断熱材 (ボード状)	その他		
九州・沖縄全体	2,039	82.3	16.4	11.9	0.8	
断熱工法 外壁	充填断熱	1,813	85.5	13.0	12.3	0.7
	外張断熱	240	63.8	57.1	9.2	1.7
	充填外張併用断熱	97	71.1	43.3	16.5	2.1

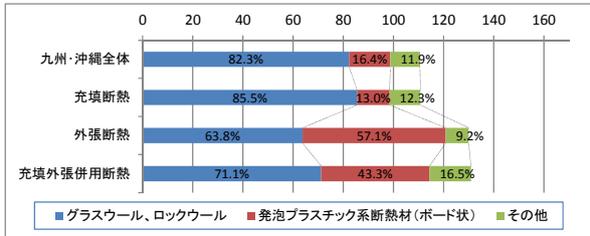


図 5-1-12j 同 九州・沖縄地域

②外壁 材料その他 × 工法	吹込用			現場発泡 ウレタン (a)	発泡プラスチック系 (ホ-ド状) (b)	ウレタン (aかbか 不明)	ホ-リエ ステル	木質系	羊毛	コルク	未 分類	小 計	地域 合計	回答 数合計	
	木質 繊維系	無機 繊維系	ど ち ら か 不 明												
	セルローズ ファイバー	GW RW													
北海道	充填	4	0	1	15	1	4	0	0	2	0	3	30	82	2,396
	外張	0	0	0	7	10	1	0	0	2	0	1	21		
	併用	2	0	0	17	7	0	0	0	0	0	5	31		
東北	充填	37	0	1	127	10	30	0	2	2	0	14	223	290	
	外張	3	0	0	14	9	5	0	2	1	0	4	38		
	併用	3	0	1	12	1	3	0	3	1	0	5	29		
関東	充填	88	1	1	195	13	33	9	3	40	0	56	439	526	
	外張	5	0	0	19	9	2	1	0	1	1	12	50		
	併用	11	0	0	10	4	3	0	2	3	0	4	37		
北陸	充填	20	0	0	107	3	11	2	0	11	0	9	163	183	
	外張	3	0	0	7	4	0	0	0	0	0	0	14		
	併用	1	0	0	3	0	1	0	0	0	0	1	6		
中部	充填	55	0	1	165	12	42	24	11	10	1	57	378	455	
	外張	3	0	0	14	2	0	2	2	1	0	13	37		
	併用	10	0	0	14	4	1	0	2	2	0	7	40		
近畿	充填	63	0	1	118	4	11	11	3	12	0	34	257	324	
	外張	10	0	0	9	4	2	0	2	3	4	4	38		
	併用	17	0	0	6	1	0	0	1	1	1	2	29		
中国	充填	52	0	0	63	2	12	0	1	9	0	27	166	193	
	外張	1	0	0	3	1	1	0	0	0	0	7	13		
	併用	3	0	0	5	1	0	0	0	0	0	5	14		
四国	充填	23	0	0	42	1	7	3	0	3	0	11	90	111	
	外張	4	0	0	4	0	2	0	0	1	1	1	13		
	併用	5	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	8		
九州・ 沖縄	充填	56	0	0	93	5	12	2	0	11	1	20	200	232	
	外張	3	0	0	7	3	0	0	0	0	0	5	18		
	併用	4	0	0	5	1	1	0	0	1	0	2	14		
小計	充填	398	1	5	925	51	162	51	20	100	2	231	1946		
	外張	32			84	42	13	3	6	9	6	47	242		
	併用	56		1	74	19	9		8	8	1	32	208		
材料合計	486	1	6	1083	112	184	54	34	117	9	310				
回答数合計	2,396														

図 5-1-12k 外壁の断熱工法と材料の組合せ 地域別「その他」記述

質問4 断熱工法 × 質問5 断熱材料

③「床・基礎」の断熱工法と材料の組合せ

〔全体〕「床・基礎」の断熱工法と材料の組合せ

- 「根太間充填断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 78.5%、「グラスウール・ロックウール」が 27.6%、「その他」が 3.7%であった。
- 「大引間充填断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 78.0%、「グラスウール・ロックウール」が 26.4%、「その他」が 6.1%であった。
- 「根太+大引間充填断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 73.3%、「グラスウール・ロックウール」が 39.1%、「その他」が 6.8%であった。
- 「基礎断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 85.4%、「グラスウール・ロックウール」が 19.0%、「その他」が 11.4%であった。

	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)				
		グラスウール、 ロックウール	発泡プラスチック系断熱材 (ボード状)	その他	無回答	
全体	19,231	24.0	78.0	5.4	1.6	
断熱工法	床断熱 (根太間充填)	9,864	27.6	78.5	3.7	1.5
	床断熱 (大引間充填)	6,680	26.4	78.0	6.1	1.3
	床断熱(根太+ 大引間充填)	1,637	39.1	73.3	6.8	2.1
床・基礎	床断熱	16,748	26.7	77.2	4.5	1.5
	基礎断熱	4,263	19.0	85.4	11.4	1.6

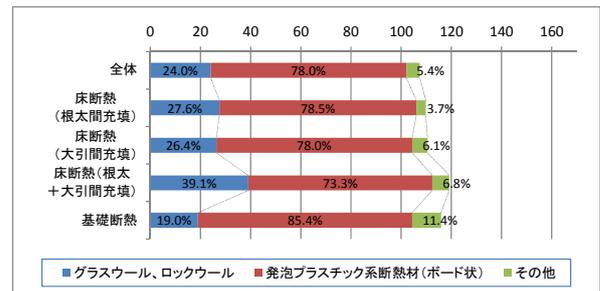


図 5-1-13a 床・基礎の断熱工法と材料の組合せ

〔北海道地域〕「床・基礎」の断熱工法と材料の組合せ

- 「根太間充填断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 81.9%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 44.2%、「その他」が 5.1%であった。
- 「大引間充填断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 70.8%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 50.8%、「その他」が 11.7%であった。
- 「根太+大引間充填断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 89.3%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 49.2%、「その他」が 6.6%であった。
- 「基礎断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 87.6%、「グラスウール・ロックウール」が 23.8%、「その他」が 5.9%であった。

	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)				
		グラスウール、 ロックウール	発泡プラスチック系断熱材 (ボード状)	その他	無回答	
北海道全体	669	43.0	67.4	6.0	1.2	
断熱工法	床断熱 (根太間充填)	138	81.9	44.2	5.1	0.7
	床断熱 (大引間充填)	120	70.8	50.8	11.7	0.8
	床断熱(根太+ 大引間充填)	122	89.3	49.2	6.6	0.8
基礎断熱	442	23.8	87.6	5.9	1.1	

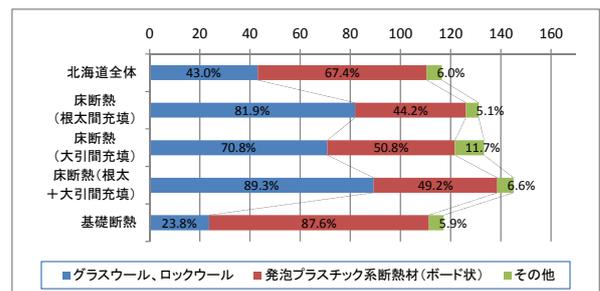


図 5-1-13b 同 北海道地域

〔東北地域〕「床・基礎」の断熱工法と材料の組合せ

- 「根太間充填断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 80.2%、「グラスウール・ロックウール」が 30.2%、「その他」が 4.3%であった。
- 「大引間充填断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 82.7%、「グラスウール・ロックウール」が 23.1%、「その他」が 6.5%であった。
- 「根太+大引間充填断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多 71.7%、「グラスウール・ロックウール」が 42.1%、「その他」が 3.1%であった。

- 「基礎断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 87.4%、「グラスウール・ロックウール」が 17.2%、「その他」が 11.1%であった。

	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)				
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答	
東北全体	2,729	22.6	80.6	6.0	1.1	
断熱工法	床断熱(根太間充填)	1,210	30.2	80.2	4.3	1.0
	床断熱(大引間充填)	918	23.1	82.7	6.5	1.0
	床断熱(根太+大引間充填)	254	42.1	71.7	3.1	2.4
床・基礎	基礎断熱	865	17.2	87.4	11.1	1.2

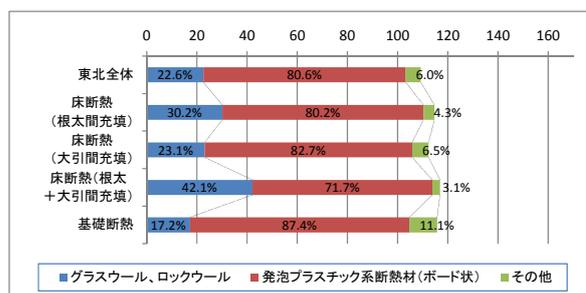


図 5-1-13c 同 東北地域

〔関東地域〕「床・基礎」の断熱工法と材料の組合せ

- 「根太間充填断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 74.6%、「グラスウール・ロックウール」が 32.1%、「その他」が 3.5%であった。
- 「大引間充填断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 66.9%、「グラスウール・ロックウール」が 39.4%、「その他」が 4.4%であった。
- 「根太+大引間充填断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 72.1%、「グラスウール・ロックウール」が 39.9%、「その他」が 6.4%であった。
- 「基礎断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 82.0%、「グラスウール・ロックウール」が 23.5%、「その他」が 12.6%であった。

	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)				
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答	
関東全体	5,080	31.6	71.5	4.7	1.6	
断熱工法	床断熱(根太間充填)	2,572	32.1	74.6	3.5	1.6
	床断熱(大引間充填)	1,964	39.4	66.9	4.4	1.3
	床断熱(根太+大引間充填)	419	39.9	72.1	6.4	2.4
床・基礎	基礎断熱	943	23.5	82.0	12.6	1.4

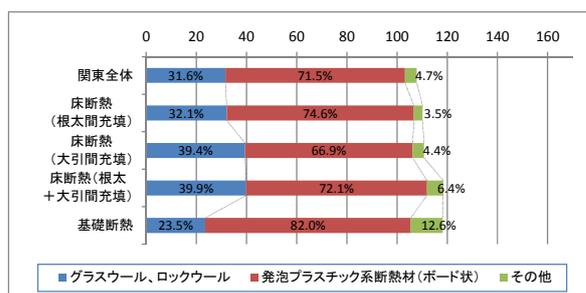


図 5-1-13d 同 関東地域

〔北陸地域〕「床・基礎」の断熱工法と材料の組合せ

- 「根太間充填断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 86.5%、「グラスウール・ロックウール」が 16.0%、「その他」が 3.9%であった。
- 「大引間充填断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 84.5%、「グラスウール・ロックウール」が 18.7%、「その他」が 6.7%であった。
- 「根太+大引間充填断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 86.0%、「グラスウール・ロックウール」が 20.2%、「その他」が 5.3%であった。
- 「基礎断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 82.9%、「グラスウール・ロックウール」が 15.9%、「その他」が 15.9%であった。

	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)				
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答	
北陸全体	1,250	14.9	84.4	6.4	1.5	
断熱工法	床断熱(根太間充填)	687	16.0	86.5	3.9	1.7
	床断熱(大引間充填)	374	18.7	84.5	6.7	1.1
	床断熱(根太+大引間充填)	114	20.2	86.0	5.3	0.0
床・基礎	基礎断熱	251	15.9	82.9	15.9	1.2

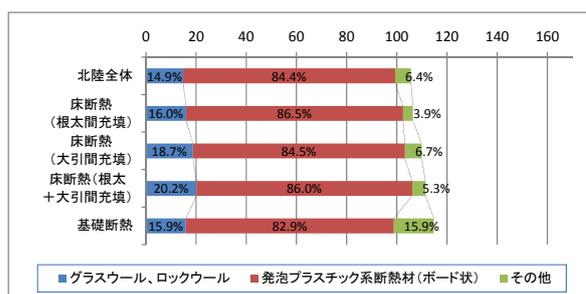


図 5-1-13e 同 北陸地域

[中部地域] 「床・基礎」の断熱工法と材料の組合せ

- 「根太間充填断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 79.0%、「グラスウール・ロックウール」が 28.2%、「その他」が 4.2%であった。
- 「大引間充填断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 82.6%、「グラスウール・ロックウール」が 20.9%、「その他」が 7.4%であった。
- 「根太+大引間充填断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 78.4%、「グラスウール・ロックウール」が 32.4%、「その他」が 11.8%であった。
- 「基礎断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 87.7%、「グラスウール・ロックウール」が 15.7%、「その他」が 10.9%であった。

	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)			
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答
中部全体	2,869	22.0	80.1	6.1	1.6
断熱工法	床断熱(根太間充填)	28.2	79.0	4.2	1.5
	床断熱(大引間充填)	20.9	82.6	7.4	1.1
床・基礎	床断熱(根太+大引間充填)	32.4	78.4	11.8	2.0
	基礎断熱	624	15.7	87.7	10.9

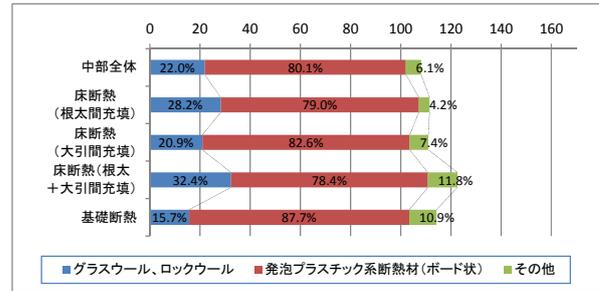


図 5-1-13f 同 中部地域

[近畿地域] 「床・基礎」の断熱工法と材料の組合せ

- 「根太間充填断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 81.3%、「グラスウール・ロックウール」が 23.7%、「その他」が 3.2%であった。
- 「大引間充填断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 84.0%、「グラスウール・ロックウール」が 17.8%、「その他」が 5.8%であった。
- 「根太+大引間充填断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 76.6%、「グラスウール・ロックウール」が 33.3%、「その他」が 8.2%であった。
- 「基礎断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 87.2%、「グラスウール・ロックウール」が 17.5%、「その他」が 10.9%であった。

	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)				
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答	
近畿全体	2,083	19.5	81.7	4.8	1.8	
断熱工法	床断熱(根太間充填)	1,034	23.7	81.3	3.2	1.7
	床断熱(大引間充填)	882	17.8	84.0	5.8	1.5
床・基礎	床断熱(根太+大引間充填)	171	33.3	76.6	8.2	1.8
	基礎断熱	359	17.5	87.2	10.9	1.9

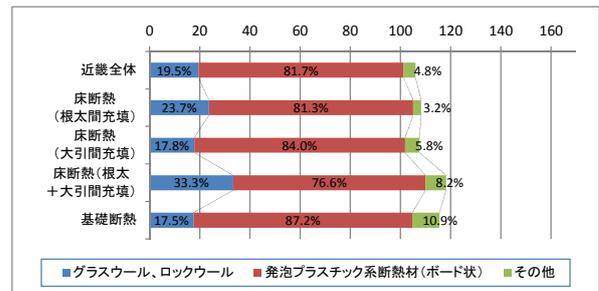


図 5-1-13g 同 近畿地域

[中国地域] 「床・基礎」の断熱工法と材料の組合せ

- 「根太間充填断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 83.2%、「グラスウール・ロックウール」が 20.5%、「その他」が 3.4%であった。
- 「大引間充填断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 87.6%、「グラスウール・ロックウール」が 15.5%、「その他」が 5.7%であった。
- 「根太+大引間充填断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 82.6%、「グラスウール・ロックウール」が 24.2%、「その他」が 5.3%であった。
- 「基礎断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 83.2%、「グラスウール・ロックウール」が 16.8%、「その他」が 13.7%であった。

	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)				
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答	
中国全体	1,665	16.7	83.6	4.9	1.9	
断熱工法	床断熱(根太間充填)	988	20.5	83.2	3.4	1.8
	床断熱(大引間充填)	563	15.5	87.6	5.7	1.2
床・基礎	床断熱(根太+大引間充填)	132	24.2	82.6	5.3	3.0
	基礎断熱	292	16.8	83.2	13.7	2.4

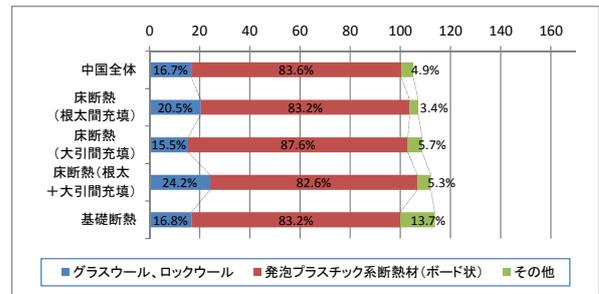


図 5-1-13h 同 中国地域

〔四国地域〕「床・基礎」の断熱工法と材料の組合せ

- 「根太間充填断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 85.1%、「グラスウール・ロックウール」が 16.7%、「その他」が 3.9%であった。
- 「大引間充填断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 85.1%、「グラスウール・ロックウール」が 16.1%、「その他」が 5.6%であった。
- 「根太+大引間充填断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 80.3%、「グラスウール・ロックウール」が 31.1%、「その他」が 6.6%であった。
- 「基礎断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 91.7%、「グラスウール・ロックウール」が 16.0%、「その他」が 7.6%であった。

	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)				
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答	
四国全体	893	15.1	85.2	4.8	1.5	
断熱工法	床断熱(根太間充填)	490	16.7	85.1	3.9	1.6
	床断熱(大引間充填)	322	16.1	85.1	5.6	1.6
床・基礎	床断熱(根太+大引間充填)	61	31.1	80.3	6.6	1.6
	基礎断熱	144	16.0	91.7	7.6	0.7

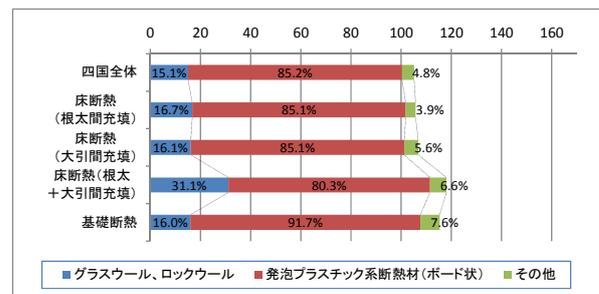


図 5-1-13i 同 四国地域

〔九州・沖縄地域〕「床・基礎」の断熱工法と材料の組合せ

- 「根太間充填断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 75.1%、「グラスウール・ロックウール」が 28.5%、「その他」が 3.0%であった。
- 「大引間充填断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 79.0%、「グラスウール・ロックウール」が 21.4%、「その他」が 9.1%であった。
- 「根太+大引間充填断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 68.1%、「グラスウール・ロックウール」が 37.5%、「その他」が 8.1%であった。
- 「基礎断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 82.5%、「グラスウール・ロックウール」が 17.8%、「その他」が 14.0%であった。

	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)				
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答	
九州・沖縄全体	1,993	24.0	75.8	5.6	1.8	
断熱工法	床断熱(根太間充填)	1,254	28.5	75.1	3.0	1.5
	床断熱(大引間充填)	472	21.4	79.0	9.1	2.1
床・基礎	床断熱(根太+大引間充填)	160	37.5	68.1	8.1	3.8
	基礎断熱	343	17.8	82.5	14.0	1.7

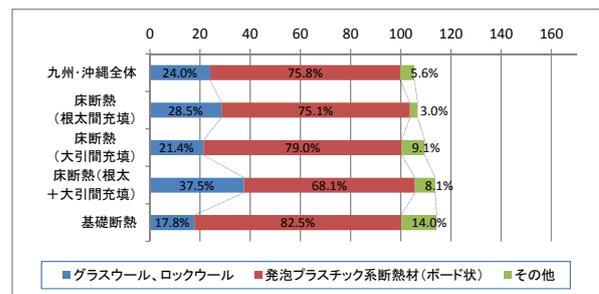


図 5-1-13j 同 九州・沖縄地域

③床・基礎 材料その他 × 工法	吹込用			現場発泡 ウレタン (a)	発泡プ ラ スチック系 (ホート状) (b)	ウレタン (aかbか 不明)	ポリ エ ステ ル	木 質 系	羊 毛	コ ルク	未 分 類	小 計	地 域 合 計	回 答 数 合 計	
	木質 繊維系	無機 繊維系	ど ち ら か 不 明												
	セル ロ ー ズ フ ァ イ バ ー	GW RW													
北海道	根本間	0	0	0	5	1	1	0	0	0	0	0	7	53	1,155
	大引間	0	0	0	8	1	0	0	0	3	0	0	12		
	根+大	0	0	0	8	0	0	0	0	0	0	1	9		
	基礎	1	0	0	15	7	1	0	0	0	0	1	25		
東北	根本間	5	0	0	25	8	3	0	2	0	0	2	45	182	
	大引間	7	0	0	24	10	5	0	0	0	0	5	51		
	根+大	0	0	0	2	1	1	0	0	0	0	3	7		
	基礎	1	0	0	48	9	13	0	0	0	0	8	79		
関東	根本間	8	0	0	22	13	2	3	2	10	0	11	71	277	
	大引間	12	1	0	31	16	5	1	1	1	0	6	74		
	根+大	12	0	0	6	4	0	0	0	2	0	3	27		
	基礎	8	0	0	61	15	6	0	0	2	0	13	105		
北陸	根本間	3	0	0	14	4	0	0	0	1	0	3	25	85	
	大引間	6	0	0	12	4	1	0	0	0	0	1	24		
	根+大	0	0	0	3	1	0	0	0	0	0	1	5		
	基礎	1	0	0	24	4	1	0	0	0	0	1	31		
中部	根本間	4	0	0	15	15	2	7	4	0	1	3	51	194	
	大引間	6	0	0	17	19	3	4	3	0	0	11	63		
	根+大	4	0	0	5	4	0	0	0	0	0	7	20		
	基礎	2	0	0	35	9	4	0	2	0	1	7	60		
近畿	根本間	2	0	0	9	4	1	0	0	2	1	8	27	117	
	大引間	7	0	0	17	10	3	2	1	1	0	4	45		
	根+大	0	0	0	5	2	1	0	0	1	0	3	12		
	基礎	1	0	0	21	2	2	1	1	2	0	3	33		
中国	根本間	4	0	0	4	7	1	0	0	5	0	5	26	82	
	大引間	5	0	0	5	3	1	0	0	1	1	3	19		
	根+大	2	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	4		
	基礎	4	0	0	16	4	2	0	0	1	1	5	33		
四国	根本間	2	0	0	4	5	1	4	0	0	0	2	18	52	
	大引間	5	0	0	4	3	1	1	0	1	0	3	18		
	根+大	2	0	0	1	0	0	0	0	1	0	1	5		
	基礎	0	0	0	5	2	1	0	0	1	0	2	11		
九州・ 沖縄	根本間	6	0	0	8	1	4	1	0	4	1	0	25	113	
	大引間	4	0	0	14	7	2	2	0	3	0	4	36		
	根+大	0	0	0	5	1	1	0	0	3	0	1	11		
	基礎	0	0	0	26	6	2	1	1	1	1	3	41		
小 計	根本間	34			106	58	15	15	8	22	3	34	295		
	大引間	52	1		132	73	21	10	5	10	1	37	342		
	根+大	20			35	13	4			7	1	20	100		
	基礎	18			251	58	32	2	4	7	3	43	418		
材料合計	124	1		524	202	72	27	17	46	8	134				
回答数合計	125			1,155											

図 5-1-13k 床・基礎の断熱工法と材料の組合せ 地域別「その他」記述

質問6 本日の研修で説明を受けた断熱施工の中で、以下の点はどうか。(複数回答)

①「今まで正しく施工していなかったところ」

- 本日の研修で説明を受けた断熱施工の中で「今まで正しく施工していなかったところ」は、「気流止めの施工」が37.8%、「筋かい部への施工」が30.2%、「浴室への施工」が20.2%、「壁への施工」が17.3%であった。

《地域別》

- 北海道地域は、「気流止めの施工」が9.6%で最多となった以外、他の項目は1.9%(真壁への施工)~5.3%(浴室への施工)、無回答が66.7%であった。「今まで正しく施工していなかったところ」への回答率は他地域と比較して大幅に少ない。
- 北海道以外ではいずれの地域についても、「気流止めの施工」が最多で34.0%(東北)~45.3%(北陸)、次いで「筋かい部への施工」が26.8%(近畿)~35.5%(中国)であった。

今まで正しく施工していなかったところ	回答数
壁への施工	2,381
屋根への施工	940
天井への施工	1,740
下屋への施工	1,140
筋かい部への施工	4,158
真壁への施工	711
浴室への施工	2,789
気流止めの施工	5,208
基礎への施工	1,514
その他	500
無回答	4,260
全体	13,774

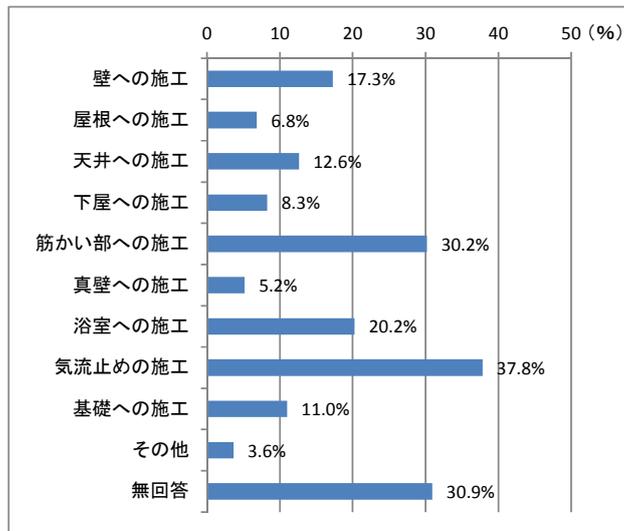


図 5-2-1a 今まで正しく施工していなかったところ

	全体の回答数合計	設問に回答有り票数合計	設問に回答有り票数 %	今まで正しく施工していなかったところ %										
				壁への施工	屋根への施工	天井への施工	下屋への施工	筋かい部への施工	真壁への施工	浴室への施工	気流止めの施工	基礎への施工	その他	無回答
全体	13,774	9,514	69.1	17.3	6.8	12.6	8.3	30.2	5.2	20.2	37.8	11.0	3.6	30.9
北海道	415	138	33.3	2.9	3.9	2.2	5.3	2.4	1.9	5.8	9.6	2.4	6.0	66.7
東北	1,860	1,231	66.2	14.8	5.1	9.7	8.0	29.8	5.2	17.4	34.0	8.9	4.9	33.8
関東	3,952	2,769	70.1	18.9	7.1	13.0	8.6	29.7	6.0	20.8	35.8	9.7	3.3	29.9
北陸	687	514	74.8	19.5	7.9	12.1	10.0	34.5	6.0	23.0	45.3	11.2	3.6	25.2
中部	1,869	1,361	72.8	16.7	6.8	13.4	8.2	33.8	5.1	19.6	42.0	11.2	3.5	27.2
近畿	1,464	955	65.2	15.0	6.8	13.5	7.4	26.8	4.6	19.8	36.8	12.0	3.6	34.8
中国	1,225	897	73.2	20.3	8.0	15.2	8.9	35.5	5.2	21.6	43.3	15.2	2.8	26.8
四国	696	503	72.3	16.5	6.3	15.5	7.5	32.9	4.3	23.0	40.2	12.1	3.4	27.7
九州・沖縄	1,606	1,146	71.4	19.7	7.8	13.2	8.6	30.8	4.5	23.8	42.1	13.8	3.2	28.6

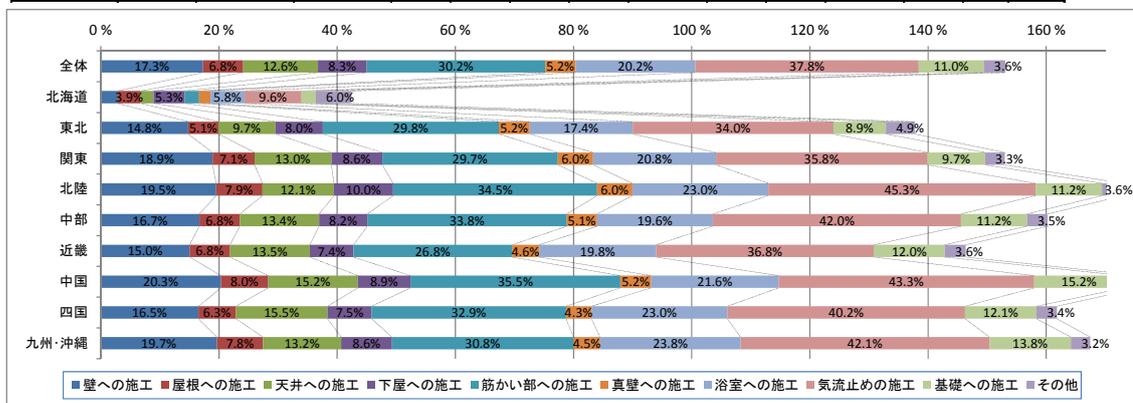


図 5-2-1b 地域別の今まで正しく施工していなかったところ

今まで正しく施工していなかったところ「その他」	H25 テキスト	回答数			%
		施工B	施工C	総計	
施工できている	—		223	223	1.6%
殆どできていない	—		29	29	0.2%
気密・防湿施工	2.2.4-5	1	21	22	0.2%
通気層	2.2.7				0.0%
気流止め	2.2.8	1	1	2	0.0%
基礎	3.1.1		2	2	0.0%
特殊な部分の基礎断熱	3.1.2		17	17	0.1%
床	3.2.1		3	3	0.0%
床と壁の取合い部	3.2.2		1	1	0.0%
外気に接する床	3.2.3		7	7	0.1%
外壁	3.3	2	2	4	0.0%
開口部まわり	3.4		10	10	0.1%
天井	3.5.1				0.0%
壁と天井の取合い部	3.5.2				0.0%
屋根	3.6		2	2	0.0%
下屋	3.7				0.0%
配線配管まわり他	3.8	2	45	47	0.3%
リフォーム	4		1	1	0.0%
取合い	—	1	8	9	0.1%
DVD バルコニー	—		1	1	0.0%
未分類	—	1	23	24	0.2%
不明	—		10	10	0.1%
その他記入有り合計		8	406	414	3.0%
その他全体		22	478	500	3.6%
全体		447	13,327	13,774	100.0%

今まで正しく施工していなかったところ「その他」記述内容	数
施工できている	223
2×4工法なので出来ていた	2
している、all	1
すでに正しく施工しています	1
そのような施工ミスはしない	1
なし	206
ぼっちり	1
ほぼやっている	1
ほぼ基準通り	1
ほぼ施工している	1
今の施工方法でOKです、当社は	1
今まで通りでバッチリ	1
常にしている施工しているので難しくない	1
正しく施工している	3
全てやっている	1
普通に施工している	1
殆どできていない	29
ほとんど	2
ほぼ全てです	1
やってない	1
現場に行くので全てでちゃんと施工がされて	1
いないのが現状では	1
施工したことがない	1
施工していない為	3
全て	18
全般的	2
気密・防湿施工	22
GWのフィルムを見付部分に張り合わせる	1
おそらくそこまで気密が取ってない	1
グラスウールの上下のつば	1
フィルムの使い方	1
気密、別張り防湿	1
気密テープ	2
気密テープの施工	1
気密層	1
気密層の連続	1
気密断熱でいいのだろうかとかギモンを感じた	1
細部の気密処理	1
特に防湿層の施工不備がありました	1
防フィルム	1
防湿シートのやり方	1
防湿シートの施工	1
防湿フィルムの気密の考え方(天井)	1
防湿フィルムの納まり	1
防湿紙	1
防湿層の重ね	1
防湿層の壁～屋根	2
気流止め	2
気流止め	1
気流止めの上部の断熱施工	1
基礎	2
基礎部分	1
土台の気密バックン	1
特殊な部分の基礎断熱	17
玄関	5
玄関まわりの基礎断熱	2
玄関廻り	2
玄関土間	3
玄関土間部への施工	1
土間	2

今まで正しく施工していなかったところ「その他」記述内容	数
(特殊な部分の基礎断熱つづき)	
土間(玄関)	1
浴室にボードを貼らなかつた	1
浴室の外壁内側にPBを貼って	1
いませんでした。	1
床	3
床	1
床への施工	1
床部分	1
床と壁の取合い部	1
壁と床のとり合い部分	1
外気に接する床	7
2階床がはね出す場合の防湿シート先張り	1
オーバーハングの床断熱	1
外気に接する床	1
外気に接する床の通気を行っていなかった	1
外気に面する床	2
床への折返し、外気に接する床	1
外壁	4
間柱	1
筋かい	1
筋違いの部分	1
大体行っている	1
開口部まわり	10
サッシ廻りへの施工	1
サッシ窓台まぐさのスキマ、コンセント周り	1
開口部	1
開口部まわり	2
開口部まわりの断熱材充填	1
窓の施工	1
窓まわり	1
窓まわりのスキマ	1
窓まわりの通気	1
屋根	2
屋根断熱(充填工法)	1
桁上断熱	1
配線配管まわり他	47
アンカーボルトのウレタン補強	1
アンカーボルトの断熱	1
コンセント	3
コンセント(外部)処理	1
コンセント、スイッチ、ダクト等	1
コンセント、ダクト部	2
コンセントBOX	2
コンセントBOX・貫通部	1
コンセントダクト部筋違部	1
コンセントの気密、金物(外周部)の断熱	2
コンセントボックス、開口部への施工	1
コンセントボックスまわり	1
コンセント廻り	5
コンセント等の施工	1
コンセント部への処理	1
スリーブ等貫通部	1
屋内配線施工	1
各貫通部位の施工	1
各居住室のエアコン穴あけをしていなかった	1
貫通穴、コンセントBOX廻り	1
貫通部	1
貫通部、ダクトまわり	1
貫通ガス、カット部分を密にする	1

今まで正しく施工していなかったところ「その他」記述内容	数
(配線配管まわり他つづき)	
金物	3
穴あけ	1
床下口の断熱	1
設け貫通部	1
設備廻り	1
電気BOX、AC他	1
電気BOXまわり	2
電気BOXや下地材等の取合等	1
電気コンセント、吸気・排気ダクト部分	1
電線、換気、スリーブ等のある所	1
配管配線	1
配線	1
リフォーム	1
リフォーム時の部分断熱	1
取合い	9
各部のとりあい	2
各部の取合い部分	1
各部取合い	1
合せめ、角のやり方が悪かった	1
取合い部の徹底	2
取合部	1
天井・床・カベの取合部	1
DVD バルコニー	1
バルコニー下	1
未分類	24
GWールの扱い	2
すべての部分で勉強になりました	1
ヒートブリッジ部分	1
工法の関係施工方法が違う	1
細かい部分	1
時間はかかるすべて	1
切断の施工	1
全てにおいて100%では無かった。	1
他の施工	1
断熱材	1
断熱材の充填 床も30%前へ出すのは	1
初めてでした	1
断熱材の二重の箇所	1
断熱施工の経験なし	1
断熱施工壁～天井の順番	1
断熱補強	1
柱と梁との接合部	1
天井の2割～3割増しのブローイングが不安	1
熱橋部	1
発泡ウレタン、気密テープによる断熱補強	1
標準的な施工とておきながら正しくとは?	1
壁、水平な屋根の取合部	1
本日の研修の説明が正しいとは思わない	1
予算次第で施工をかえている	1
不明	10
まだ見習いのため	1
メーカー	1
以前工務職の時	1
家	2
外断熱ではない	2
硬質ウレタンフォーム	1
不詳	1
不明	1

今まで正しく施工していなかったところ「その他」記述

質問6 本日の研修で説明を受けた断熱施工の中で、以下の点はどうか。(複数回答)

②「難しい・やりにくいなと感じたところ」はありましたか。

- 本日の研修で説明を受けた断熱施工の中で「難しい・やりにくいなと感じたところ」は、「筋かい部への施工」が33.2%、「気流止めの施工」が24.7%であった。

《地域別》

- ※●北海道地域は、「下屋への施工」が12.3%で最多、「気流止めの施工」が11.1%、無回答が56.6%であった。「難しい・やりにくいなと感じたところ」も「今まで正しく施工していなかったところ」と同様、回答率は他地域と比較して大幅に少ない。
- 北海道以外ではいずれの地域についても、「筋かい部への施工」が最多で29.3%（近畿）～38.4%（中部）、次いで「気流止めの施工」が21.9%（東北）～29.4%（北陸）となっている。

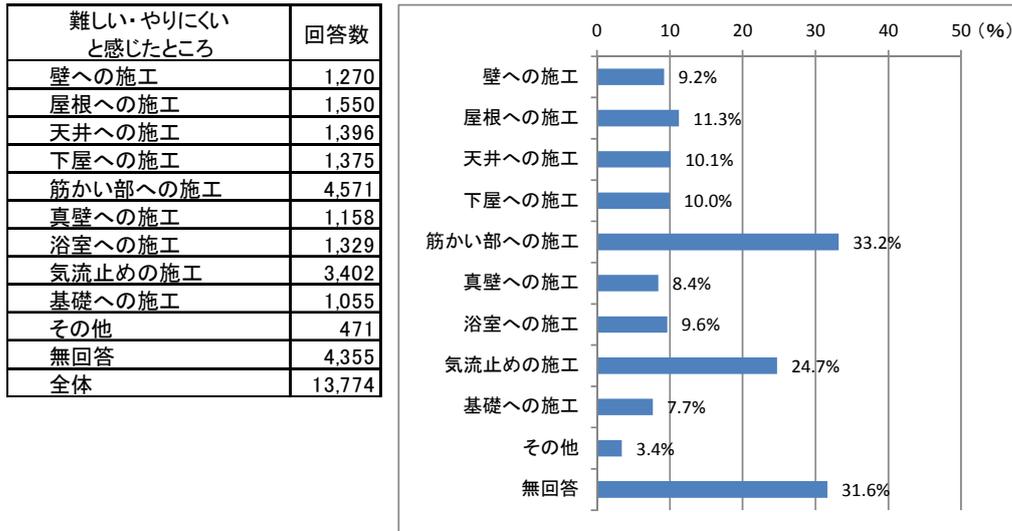


図 5-2-2a 難しい・やりにくいなと感じたところ

	全体の回答数合計	設問に回答有り票数合計	設問に回答有り票数 %	難しい・やりにくいなと感じたところ %										
				壁への施工	屋根への施工	天井への施工	下屋への施工	筋かい部への施工	真壁への施工	浴室への施工	気流止めの施工	基礎への施工	その他	無回答
全体	13,774	9,419	68.4	9.2	11.3	10.1	10.0	33.2	8.4	9.6	24.7	7.7	3.4	31.6
北海道	415	180	43.4	3.6	7.5	2.2	12.3	6.3	3.1	5.5	11.1	2.2	5.3	56.6
東北	1,860	1,240	66.7	8.0	9.5	7.2	9.6	34.1	7.8	8.0	21.9	5.1	4.4	33.3
関東	3,952	2,770	70.1	10.2	10.7	11.0	9.9	33.8	8.8	10.0	23.8	7.4	3.3	29.9
北陸	687	501	72.9	9.9	13.7	12.5	11.1	34.9	13.4	12.2	29.4	9.3	2.9	27.1
中部	1,869	1,347	72.1	8.9	11.5	11.8	10.6	38.4	9.2	9.6	28.5	7.1	3.3	27.9
近畿	1,464	923	63.0	8.3	10.9	10.7	9.3	29.3	7.4	8.5	23.3	8.4	3.3	37.0
中国	1,225	892	72.8	10.0	14.2	10.4	10.4	36.2	9.9	10.9	26.9	11.1	3.1	27.2
四国	696	483	69.4	9.3	12.4	11.4	10.6	35.1	6.2	10.1	27.6	8.9	2.7	30.6
九州・沖縄	1,606	1,083	67.4	9.9	11.8	9.4	8.9	31.3	7.1	10.5	25.7	8.8	3.0	32.6

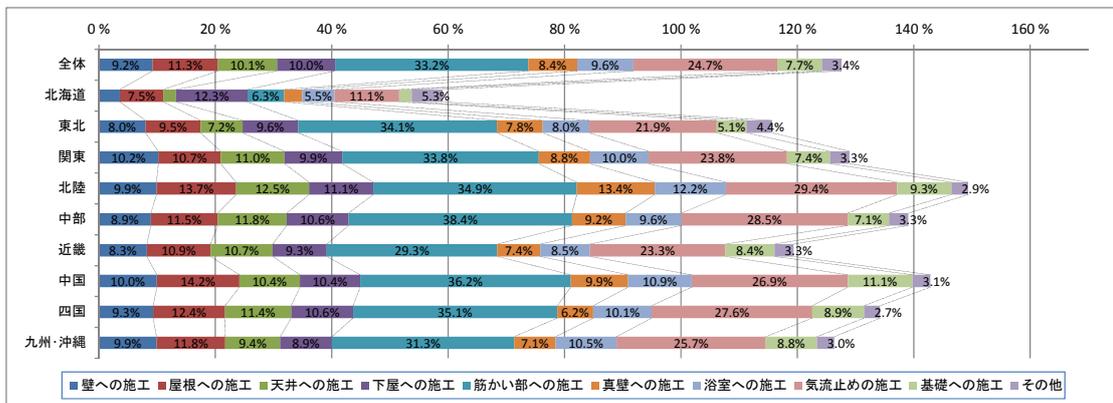


図 5-2-2b 地域別の難しい・やりにくいなと感じたところ

今まで正しく施工して いなかったところ「その他」	H25 テキスト	回答数			%
		施工B	施工C	総計	
感じない	—		199	199	1.4%
殆ど	—		22	22	0.2%
気密・防湿施工	2.2.4-5	1	15	16	0.1%
通気層	2.2.7				0.0%
気流止め	2.2.8	1		1	0.0%
基礎	3.1.1				0.0%
特殊な部分の基礎断熱	3.1.2	2	13	15	0.1%
床	3.2.1		5	5	0.0%
床と壁の取合い部	3.2.2		2	2	0.0%
外気に接する床	3.2.3		5	5	0.0%
外壁	3.3	1	4	5	0.0%
開口部まわり	3.4		8	8	0.1%
天井	3.5.1		1	1	0.0%
壁と天井の取合い部	3.5.2		2	2	0.0%
屋根	3.6		6	6	0.0%
下屋	3.7		4	4	0.0%
配線配管まわり他	3.8	3	60	63	0.5%
リフォーム	4		9	9	0.1%
取合い	—	3	12	15	0.1%
DVD バルコニー	—	1	3	4	0.0%
未分類	—	3	22	25	0.2%
不明	—		8	8	0.1%
その他記入有り合計		15	400	415	3.0%
その他全体		24	447	471	3.4%
全体		447	13,327	13,774	100.0%

難しい・やりにくいと感じたところ 「その他」記述内容	数
感じない	199
すでに当りまえです	1
そのようなことは感じたことはない	1
なし	189
やれば出来る	2
今まで通りなので難しいと感じたことはなかった	2
施工はできるが予算面で難しい	1
手間をきちんとかければ難しいことはない	1
正しく施工	1
普通に施工している	1
殆ど	22
すべての部分で完璧に施工するのは 難しい、やりにくいと感じました	1
ほとんど	1
細かい事を言えばすべて難しいです	10
全て	10
全部	9
気密・防湿施工	16
気密、防湿	1
気密テープ	1
気密性	1
気密層	1
気密層の施工法	1
気密層の連続	1
細部の気密処理	1
先張りフィルムの施工、建物全体の気密 キープや部材の使用量が多大	1
胴縁が柱面の場合の防湿フィルム (断熱材からはがして施工)	1
防湿シート(気密シート張り)	1
防湿シートのやり方	1
防湿フィルム	1
防湿層	1
防湿層(ビニール)	1
防湿層の壁～屋根	2
気流止め	1
気流止めの施工はしていなかった	1
特殊な部分の基礎断熱	15
玄関	4
玄関・勝手口土間	1
玄関・土間・床	1
玄関サッシまわり	2
玄関廻り	2
玄関基礎への施工	1
玄関土間	1
玄関土間 おさまり	1
土間	1
内部土間・玄関	1
床	5
床	2
床下がやりにくい	1
床板との痛み	2
床と壁の取合い部	2
床・カベの取合い	1
壁と床の取合い	1
外気に接する床	5
2F床下	1
オーバハンク	1
外気に接する床	1
外気に面する床	1
外部に面した床の断熱	1
外壁	5
間柱取合	1
筋かい	1
筋違いの部分	1
筋交部分	1
裏壁への施工	1
開口部まわり	8
サッシ窓枠の取合いの所	1
マド開口	1
開口部	2

難しい・やりにくいと感じたところ 「その他」記述内容	数
(開口部まわり つづき)	
開口部まわり	1
窓の施工	1
窓まわりのスキマ	1
窓周辺	1
天井	1
和天井(竿フチ天井等の施工)	1
壁と天井の取合い部	2
間仕切と天井のとり合い部分	1
内壁と天井	1
屋根	6
屋根、壁の取りあい	1
屋根と壁の取合い	1
屋根上二重タタキの所	1
屋根面に通気を通していませんでした。 (定率計算で省エネ4を取得)	1
棟への施工	1
壁と水平面、屋根の取合部	1
下屋	4
下屋とのとりあい	1
下屋から壁への気流通のやり方	1
下屋部分の木取りとの取合い	1
階と階の取合、下屋等	1
配線配管まわり他	63
Box電気等	1
コンセント	2
コンセント、スイッチ	1
コンセント、スリプ等	1
コンセント、ダクト、サッシ廻り	1
コンセント、ダクト部	1
コンセント、開口廻り	2
コンセント、換気廻り	1
コンセント、貫通廻り	2
コンセント・貫通パイプ部	1
コンセントBOX、貫通部	1
コンセントBOX・貫通部	1
コンセントボックスまわり	1
コンセント回り	1
コンセント廻り	3
コンセント周辺部	1
コンセント等	1
コンセント等、貫通部	1
コンセント等BOX部	1
コンセント等の施工	1
コンセント部	1
スイッチ、コンセント廻り	1
スリプ・コンセント	1
その他床下、コンセント	1
ダクトまわり	1
各貫通部位の処理	1
貫通部への施工	1
貫通部	1
貫通部の施工	1
金物貫通部	1
金物部分	1
穴あけ	1
設備、コンセント他、配線処理、開口補強	1
設備、電気工事との取合	1
設備との取合部の施工	1
設備廻り	1
設備開口部まわり	2
設備関係の部分	2
設備工事との取合い	1
設備配線・管廻り	1
電気、水道、配線、配管等	1
電気BOX(横間線工法)の施工	1
電気BOX、貫通部等(後でのエアコン穴施工等)	1
電気BOXまわり	2
電気コンセント、吸気・排気ダクト部分	1
電気配線の施工	1
電線、換気、スリプ等のある所	1

難しい・やりにくいと感じたところ 「その他」記述内容	数
(配線配管まわり他つづき)	
電線、管廻りやスイッチボックス等	2
配管・配線廻り	1
配管廻り等	1
配管配線	1
配線	1
配線、配管まわりの施工	1
配線があつたらむずかしいと思う	1
リフォーム	9
リフォーム	3
リフォームの場合	1
リフォーム工事	1
リフォーム工事の場合	1
リフォーム時の断熱材施工	1
リフォーム時の部分断熱	1
後日設備の取付リフォーム時等	1
取合い	15
カベと折、取合い、	1
化粧柱の脚元と床との取合い	1
各取合い部	1
各所取合い部	1
各部のとりあい、細かい納まり	2
各部取合い、スキマ	1
取合い部の施工	1
取合部	2
接合部	1
設備との取合、外壁面の桁までのボード施工との取合	1
天井・床・カベの取合部・切り欠きが多い、	1
入隅部の施工が面倒	1
壁、天井、取合い	1
DVD バルコニー	4
バルコニー、1Fが外気にふれる2Fの床	1
バルコニー下	1
バルコニー等での断熱の取り方	1
バルコニー防水部分の通気、	1
床・立上り部分～2F外壁の納まり	1
未分類	25
アンカー部の断熱・防水	1
ガラスウールでは正しく施工できない	1
ガラスウールの場合発泡系よりやりにくい	1
すべてにおいて手間がかかる	1
すべてめんどくさい、すべてをやっていたら くっつけられない!!	1
やらない	1
わからない	2
肝心な部分の説明がなされていない、	1
現場への指導と徹底	1
施工(大工)の手オチの発見、改善	1
施工したことがない	1
施工費の確保の問題では?	1
手間がかかる	1
床の間、階段下	1
吹付断熱でOK、床下のみ	1
垂直部	1
切断の施工	1
全てにおいて意識を変えてもらう事が先 ではないでしょうか	1
大工が大家	1
天井のシートや筋交欠きなど、職人の理解	1
入隅部対策	1
予算次第で施工をかえていく	1
梁下	1
和室廻り	1
不明	8
AC	1
メーカー	1
メーカーの保証内容と住宅保証機構(フラック 35)が必ずしも一致していないこともあるので	1
外断熱ではない	2
施工してほしくない	3

難しい・やりにくいと感じたところ「その他」記述

質問7 今回の講習内容で施工する場合の手間は普段と比べてどれくらい変わりますか。

- 今回の講習内容で施工する場合の手間については「坪あたり人工が増加する」が最も多く 43.1%、「ほとんど変わらない」が 29.3%、「坪あたり人工が減少する」が 0.6%であった。

- 増加の平均は 1.4 人工。

《職種別》

- 「坪あたり人工が増加する」は全体と比較して、「施工」が 47.2%、「現場管理」が 47.5%と高く、「設計」は 37.9%と低い。
- 「ほとんど変わらない」は全体と比較して、「施工」は 26.6%と低く、「現場管理」が 32.7%、「設計」が 34.1%と高い。

《地域別》

- 「ほとんど変わらない」は、北海道の 57.6%、東北の 34.6%、関東の 32.0%が全体より高い。
- 「坪あたり人工が増加する」は、北海道の 14.9%、東北の 38.6%、関東の 40.7%、近畿の 41.6%が全体と比較して低い。
- 「坪あたり人工が減少する」はいずれの地域も 0.3% (近畿)～0.8 (関東)と低い。

手間	回答数
ほとんど変わらない	4,029
坪あたり人工が増加する	5,930
坪あたり人工が減少する	86
無回答	3,754
全体	13,774

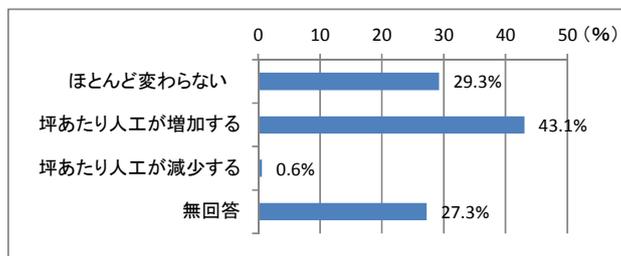


図 5-3-1a 今回の講習内容で施工する場合の手間

	合計 (回答数)	今回の講習内容で施工する場合の手間は 普段と比べてどれくらい変わるか (%)			
		ほとんど 変わらない	坪あたり人工 が増加する	坪あたり人工 が減少する	無回答
全体	13,774	29.3	43.1	0.6	27.3
施工	5,638	26.6	47.2	1.0	25.4
(全体との差)		-2.6	+4.2	+0.4	-
現場管理	4,404	32.7	47.5	0.3	19.6
(全体との差)		+3.4	+4.5	-0.3	-
設計	2,082	34.1	37.5	0.3	28.2
(全体との差)		+4.8	-5.5	-0.3	-
その他	1,457	23.3	23.3	0.5	53.1
(全体との差)		-6.0	-19.7	-0.1	-

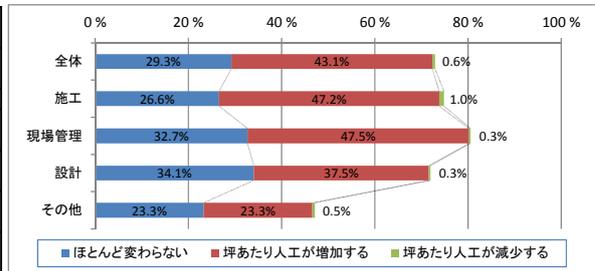


図 5-3-1b 職種別の今回の講習内容で施工する場合の手間

	合計 (回答数)	今回の講習内容で施工場合の手間は 普段と比べてどれくらい変わるか (%)			
		ほとんど 変わらない	坪あたり人工 が増加する	坪あたり人工 が減少する	無回答
全体	13,774	29.3	43.1	0.6	27.3
北海道	415	57.6	14.9	0.5	27.5
(全体との差)		+28.3	-28.1	-0.1	-
東北	1,860	34.6	38.6	0.4	26.7
(全体との差)		+5.3	-4.4	-0.2	-
関東	3,952	32.0	40.7	0.8	26.7
(全体との差)		+2.8	-2.3	+0.2	-
北陸	687	22.4	50.1	0.7	26.8
(全体との差)		-6.8	+7.0	+0.1	-
中部	1,869	26.9	46.5	0.7	26.0
(全体との差)		-2.4	+3.4	+0.1	-
近畿	1,464	25.8	41.6	0.3	32.4
(全体との差)		-3.5	-1.5	-0.3	-
中国	1,225	25.6	49.1	0.4	25.1
(全体との差)		-3.7	+6.0	-0.2	-
四国	696	25.3	47.0	0.6	27.2
(全体との差)		-4.0	+3.9	-0.0	-
九州・沖縄	1,606	22.4	49.3	0.7	27.8
(全体との差)		-6.8	+6.2	+0.1	-

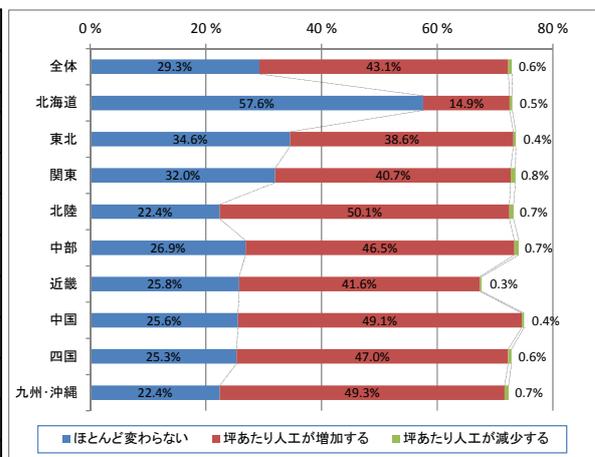


図 5-3-1c 地域別の今回の講習内容で施工場合の手間

質問8 断熱仕様について、設計時に記載する図面、または現場管理時にチェックに使用する図面ではまるもの全てに○をつけてください。(複数回答)

①屋根・天井

●「屋根・天井」の断熱仕様について、設計時に記載する図面、または現場管理時にチェックに使用する図面は、「矩計図」の66.4%、「仕上表」の56.0%が多く、「特記仕様書」が36.5%、「平面図」が9.1%、「平面詳細図」が13.3%であった。

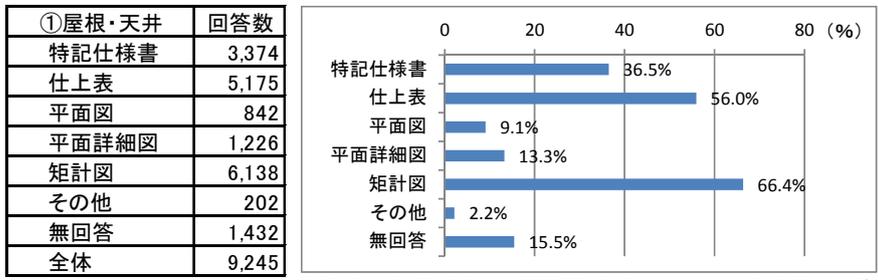


図 5-4a 断熱仕様について設計時に記載または現場管理時にチェックする図面 ①屋根・天井

断熱仕様チェック使用図面 ①屋根・天井「その他」	回答数			%
	設計B	設計C	総計	
その他意匠図	5	71	76	0.8%
仕様関連図書	1	8	9	0.1%
構造関連図書		12	12	0.1%
設備関連図書				
断熱関連図書	4	36	40	0.4%
施工関連図書		5	5	0.1%
各種申請図書				
設計書				
見積書		2	2	0.0%
未分類	1	16	17	0.2%
その他記入有り合計	11	150	161	1.7%
その他全体	14	188	202	2.2%
全体	445	8,800	9,245	100.0%

断熱仕様チェック使用図面 ①屋根・天井「その他」記述内容	数
その他意匠図	76
(屋根・天井)伏図	1
(平)断面詳細図	1
その他の詳細図	1
ヤネ伏図、天井伏図	1
屋根天井(大阪)	1
屋根伏せ図、断面図	1
屋根伏図	2
関連図に特記して納まりは詳細図	1
雑詳細	2
雑詳細図	1
詳細図	7
断面詳細図	2
断面詳細図、部分詳細図	1
断面図	8
天井伏図	7
天伏図	1
展開図	2
標準仕様図面	1
標準納まり図	1
部分詳細	2
部分詳細図	8
天井伏図	1
立面、断面	1
立面、断面図	1
立面図	20
立面図(屋根)	1
仕様関連図書	9
共通仕様	1
仕様書	2
仕様書(長期用)	1
社内マニュアル	1
社内規定	1

断熱仕様チェック使用図面 ①屋根・天井「その他」記述内容	数
(仕様関連図書つづき)	
標準マニュアル	1
標準仕様書	2
構造関連図書	12
ブレカッ図面	1
一部伏図	1
構造図	1
構造図特記	1
小屋伏図	2
伏図	6
断熱関連図書	40
温熱計算書	1
社内用断熱区分図	1
省エネ図	1
専用マニュアル	1
断熱チェックシート	1
断熱化工事図	1
断熱区分図	1
断熱区分図	1
断熱計画図	1
断熱材施工マニュアル図	1
断熱材詳細図	1
断熱材説明平面図を別図にしている	1
断熱材配置図	1
断熱材平面図	1
断熱仕様	2
断熱仕様書	1
断熱仕様表	3
断熱施工範囲図・要領図等	1
断熱詳細図	3
断熱深図	1
断熱図面	2
断熱専用の図作成	1

断熱仕様チェック使用図面 ①屋根・天井「その他」記述内容	数
(断熱関連図書つづき)	
断熱納まり図	1
断熱範囲図	2
断熱伏図	6
熱計算書	1
部位別断熱図面	1
防寒伏図	1
施工関連図書	5
パネル図面	3
割付図	1
工事マニュアル	1
見積書	2
見積	1
御見積書	1
未分類	17
なし	1
二縄	1
概要書	1
基準	1
記載なし	1
口頭説明	1
設計、監督、大工間取決め書	1
設計概要書	1
全て	1
打ち合わせ議事録	1
大工に指示	1
天井、小屋伏図	1
標準で入れている	1
別表	1
別平面	1
防火耐火構造リスト	2

設計時に記載または現場管理時にチェックする図面 ①屋根・天井 「その他」記述

質問8 断熱仕様について、設計時に記載する図面、または現場管理時にチェックに使用する図面ではまるもの全てに○をつけてください。(複数回答)

②外壁

- 「外壁」の断熱仕様について、設計時に記載する図面、または現場管理時にチェックに使用する図面は、「矩計図」の65.4%、「仕上表」の55.2%が多く、「特記仕様書」が35.7%、「平面図」が9.5%、「平面詳細図」が19.0%であった。

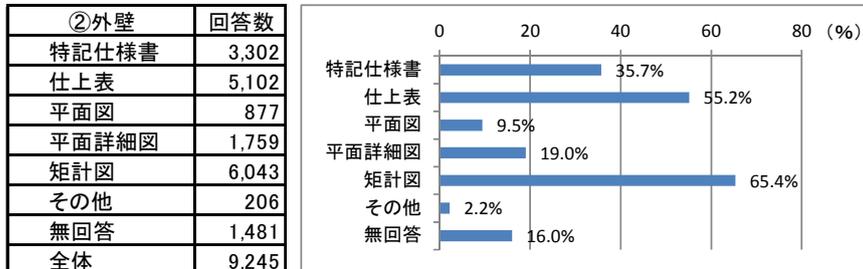


図 5-4b 断熱仕様について設計時に記載または現場管理時にチェックする図面 ②外壁

断熱仕様チェック使用図面 ②外壁「その他」	回答数			%
	設計B	設計C	総計	
その他意匠図	5	77	82	0.9%
仕様関連図書	1	7	8	0.1%
構造関連図書		6	6	0.1%
設備関連図書				
断熱関連図書	4	32	36	0.4%
施工関連図書		6	6	0.1%
各種申請図書				
設計書				
見積書		2	2	0.0%
未分類	1	13	14	0.2%
その他記入有り合計	11	143	154	1.7%
その他全体	14	192	206	2.2%
全体	445	8,800	9,245	100.0%

断熱仕様チェック使用図面 ②外壁「その他」記述内容	数
その他意匠図	82
(平)断面詳細図	1
その他の詳細図	1
各部詳細図	1
関連図に特記して納まりは詳細図	1
雑詳細	2
雑詳細図	1
詳細(取合詳細図)	1
詳細図	6
短計図	1
断面詳細図	2
断面詳細図、部分詳細図	1
断面図	10
展開図	1
展開断面	1
標準納まり図	1
部分詳細	1
部分詳細図	9
立体図	1
立面、断面図	2
立面図	38
仕様関連図書	8
共通仕様	1
仕様書	2
仕様書(長期用)	1
社内規定	1
標準マニュアル	1
標準仕様書	2

断熱仕様チェック使用図面 ②外壁「その他」記述内容	数
構造関連図書	6
ブレカット図面	1
基礎伏図	1
構造図	2
軸組図	2
断熱関連図書	36
温熱計算書	1
社内用断熱区分図	1
省エネ図	1
専用に作図	1
専用マニュアル	1
断熱チェックシート	1
断熱区分図	1
断熱区分図	1
断熱計画図	1
断熱材施工マニュアル図	1
断熱材詳細図	1
断熱材説明平面図を別図にしている	1
断熱材配置図	1
断熱仕様	1
断熱仕様書	1
断熱仕様表	3
断熱施工範囲図・要領図等	1
断熱詳細図	2
断熱図	1
断熱低持詳細図	1
断熱納まり図	1
断熱範囲図	2

断熱仕様チェック使用図面 ②外壁「その他」記述内容 (断熱関連図書につき)	数
断熱伏図	7
熱計算書	1
部位別断熱構築図	1
防寒伏図	1
施工関連図書	6
パネル図面	3
割付図	1
工事マニュアル	1
施工図	1
見積書	2
見積	1
御見積書	1
未分類	14
なし	1
概要書	1
基準	1
記載なし	1
口頭説明	1
設計、監督、大工間取決め書、キリ図	1
設計概要書	1
全て	1
打ち合わせ議事録	1
大工に指示	1
別表	1
防耐火構造リスト	2
立面体	1

設計時に記載または現場管理時にチェックする図面 ②外壁 「その他」記述

質問 8 断熱仕様について、設計時に記載する図面、または現場管理時にチェックに使用する図面ではまるもの全てに○をつけてください。(複数回答)

③床・基礎

- 「床・基礎」の断熱仕様について、設計時に記載する図面、または現場管理時にチェックに使用する図面は、「矩計図」の 64.8%、「仕上表」の 52.3%が多く、「特記仕様書」が 35.2%、「平面図」が 8.4%、「平面詳細図」が 11.8%であった。
- その他の内、主に基礎に関する図面を中心とした構造関連図書が、全体の 4.9%であった。

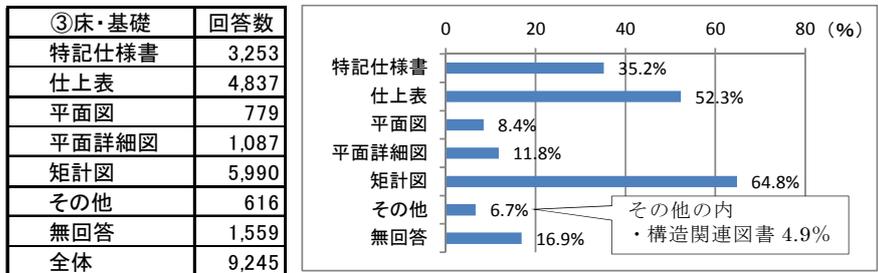


図 5-4c 断熱仕様について設計時に記載または現場管理時にチェックする図面 ③床・基礎

断熱仕様チェック使用図面 ③床・基礎「その他」	回答数			%
	設計B	設計C	総計	
その他意匠図	4	46	50	0.5%
仕様関連図書	1	7	8	0.1%
構造関連図書	27	429	456	4.9%
設備関連図書				
断熱関連図書	4	30	34	0.4%
施工関連図書		1	1	0.0%
各種申請図書				
設計書				
見積書		2	2	0.0%
未分類	3	18	21	0.2%
その他記入有り合計	39	533	572	6.2%
その他全体	43	573	616	6.7%
全体	445	8,800	9,245	100.0%

断熱仕様チェック使用図面 ③床・基礎「その他」記述内容	数
その他意匠図	50
(平)断面詳細図	1
その他の詳細図	1
関連図に特記して納まりは詳細図	1
雑詳細	2
雑詳細図	1
詳細図	12
短計図	1
断面詳細図	2
断面詳細図、部分詳細図	1
断面図	7
標準納まり図	1
部位別建築標準図	1
部分詳細	1
部分詳細図	9
立面、断面図	1
立面図	8
仕様関連図書	8
仕様書	2
仕様書(長期用)	1
社内規定	1
断熱仕様	1
標準マニュアル	1
標準仕様書	2
構造関連図書	456
一基礎伏図	1
一部伏図	1
各伏図	2
基り・床伏図	1
基り伏図	1
基期伏	1
基礎断面図	1
基礎	1
基礎・床伏図	3
基礎イス図	1
基礎は、基礎図に記入	1
基礎フセ図	1
基礎廻り詳細図	1
基礎詳細	5
基礎詳細図	13
基礎詳細図、基礎伏図	1
基礎伏	1
基礎伏図	4
基礎図	34
基礎図床伏図等	1

断熱仕様チェック使用図面 ③床・基礎「その他」記述内容 (構造関連図書につき)	数
基礎断面図	3
基礎断熱図	1
基礎断面詳細図	1
基礎断面図	6
基礎伏	23
基礎伏、基礎詳細	1
基礎伏、基礎断面図	2
基礎伏、詳細図	2
基礎伏詳細図	1
基礎伏図	258
基礎伏図、基礎詳細図	2
基礎伏図、基礎断面詳細等	1
基礎伏図、基礎断面図	1
基礎伏図、構造図	1
基礎伏図、床伏図	5
基礎伏図、詳細図	1
基礎伏図、断面図	1
基礎伏図・床伏図	1
基礎伏図・詳細図	1
基礎伏図等	2
基伏	1
構造図	9
構造伏図	1
自社の基礎標準図	1
床、基礎伏	1
床・基礎伏図	1
床図	1
床付	1
床伏	1
床伏図	4
床伏図、基礎施工図	1
床伏図、基礎伏図	1
伏図	2
造礎伏図	1
土台図、基礎伏図	1
伏曲	1
伏図	39
断熱関連図書	34
造礎計算書	1
基礎断熱図 断熱補強などを図示	1
社内用断熱区分図	1
床断熱図	1
省エネ図	1
専用に作図	1

断熱仕様チェック使用図面 ③床・基礎「その他」記述内容 (断熱関連図書につき)	数
断熱区分図	1
断熱区分図	1
断熱計画面	1
断熱材施工マニュアル図	1
断熱材詳細図	1
断熱材説明平面図を別図にしている	1
断熱材配置図	1
断熱材平面図	1
断熱仕様書	1
断熱仕様表	3
断熱施工範囲図・基礎伏図等	1
断熱詳細図	2
断熱図	1
断熱納まり図	1
断熱範囲図	2
断熱伏図	6
断熱伏図・基礎伏図	1
熱計算書	1
防寒伏図	1
施工関連図書	1
工事マニュアル	1
見積書	2
見積	1
御見積書	1
未分類	21
なし	2
ヤソフヤ	1
概要書	1
基準	1
基礎伏、パネル割付図	1
基礎伏、詳細図	1
基礎伏図、詳細図	1
記載なし	1
口頭説明	1
床	1
床伏図、各部詳細図	1
詳細図・各伏図	1
設計、監修、大工間取決め書、キリ図	1
設計概要書	1
全て	1
打ち合わせ議事録	1
大工に指示	1
別表	1
防耐火構造リスト	2

設計時に記載または現場管理時にチェックする図面 ③床・基礎 「その他」記述

質問9 普段、設計または現場管理している住宅の省エネ基準レベルに○をご記入下さい。(複数回答)

- 普段、設計または現場管理している住宅の省エネ基準レベルは、「平成11年基準(次世代基準・等級4)以上」が最も多く60.1%、「平成4年基準(新基準・等級3)」が23.8%、「昭和55年基準(旧基準・等級2)」が5.6%、「昭和55年基準以下」は1.0%であった。

《地域別》

- 「平成11年基準(次世代基準・等級4)以上」は全体と比較して、北海道が10.8ポイント、東北が4.5ポイント、北陸が10.2ポイント、中部が2.1ポイント高い。

基準レベル	回答数
H11年基準(次世代基準・等級4)以上	5,558
H4年基準(新基準・等級3)	2,203
S55年基準(旧基準・等級2)	520
S55年基準以下	91
無回答	1,891
全体	9,245

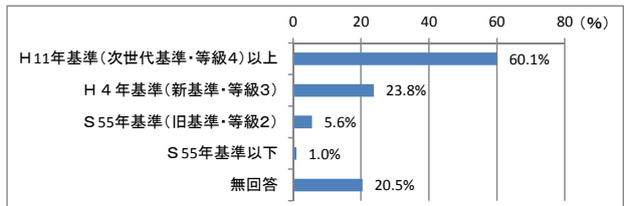


図 5-5a 普段設計または現場管理している住宅の省エネ基準レベル

	合計 (回答数)	省エネ基準レベル (%)				無回答
		H11年 基準 (次世代 基準 ・等級4) 以上	H4年 基準 (新基準 ・等級3)	S55年 基準 (旧基準 ・等級2)	S55年 基準 以下	
全体	9,245	60.1	23.8	5.6	1.0	20.5
北海道 (全体との差)	413	70.9 +10.8	10.9 -12.9	1.2 -4.4	0.5 -0.5	23.0
東北 (全体との差)	1,399	64.6 +4.5	21.6 -2.2	3.1 -2.6	0.5 -0.5	20.1
関東 (全体との差)	2,153	58.8 -1.3	22.5 -1.3	5.9 +0.3	1.4 +0.4	21.8
北陸 (全体との差)	722	70.4 +10.2	24.7 +0.8	4.8 -0.8	0.6 -0.4	11.2
中部 (全体との差)	1,415	62.2 +2.1	25.4 +1.6	6.4 +0.8	1.4 +0.4	17.5
近畿 (全体との差)	1,162	54.3 -5.8	27.1 +3.3	7.0 +1.3	0.8 -0.2	23.4
中国 (全体との差)	716	55.3 -4.8	27.7 +3.8	6.1 +0.5	1.4 +0.4	23.0
四国 (全体との差)	347	51.3 -8.8	30.0 +6.1	9.2 +3.6	1.4 +0.5	19.0
九州・沖縄 (全体との差)	918	54.6 -5.5	23.5 -0.3	6.8 +1.1	0.4 -0.5	23.3

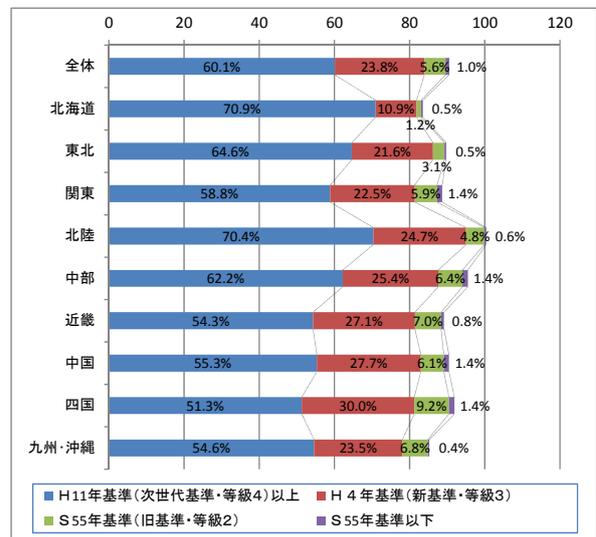


図 5-5b 地域別の普段設計または現場管理している住宅の省エネ基準レベル

質問10 計算したことのあるものについて、あてはまるもの全てに○をつけてください。(複数回答)

- 計算したことのあるものについては、「Q値(熱損失係数)」が最も多く36.7%、「年間冷暖房負荷」が13.5%、「U値(部位熱貫流率)」が17.6%、「R値(熱抵抗値)」が21.7%であった。

《地域別》

- 北海道は、「年間冷暖房負荷」の12.9ポイント、「Q値」の36.9ポイント、「U値」の9.8ポイント、「R値」の11.0ポイントと全ての項目で全体より高い。特に「Q値」は際立っている。
- 東北は、「年間冷暖房負荷」の1.0ポイント、「Q値」の5.3ポイントの2項目で全体より高い。
- 北陸は、「年間冷暖房負荷」の0.8ポイント、「Q値」の6.5ポイント、「U値」の1.4ポイントの3項目で全体より高い。
- 中部は、「Q値」の0.5ポイント、「U値」の1.7ポイント、「R値」の1.4ポイントの3項目で全体より高い。
- 四国は「U値」の0.9ポイント、「R値」の1.9ポイントの2項目で全体より高い。
- 関東、近畿、中国、九州・沖縄は全項目で全体より低い。

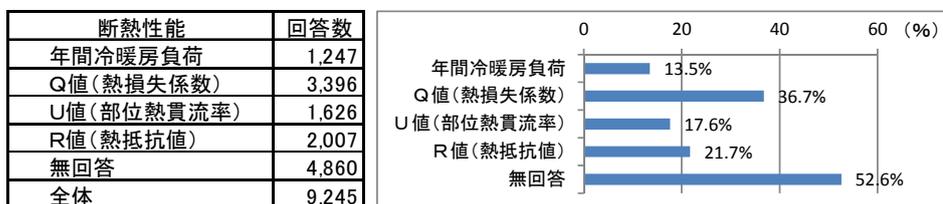


図 5-6a 計算したことのある断熱性能

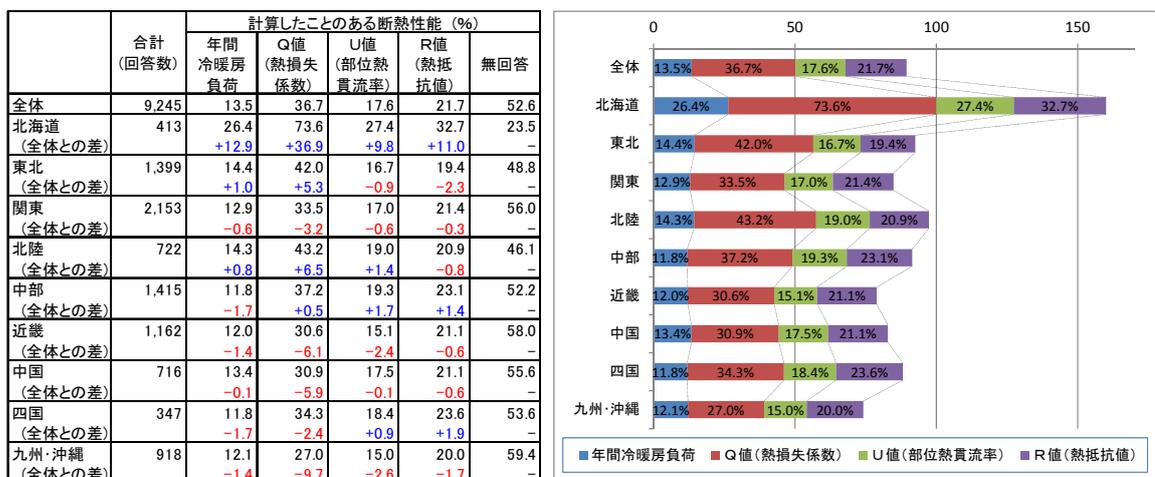


図 5-6b 地域別の計算したことのある断熱性能

質問 1 1 断熱・施工方法に関する情報の主な入手先はどこからですか。(複数回答)

- 断熱・施工方法に関する情報の主な入手先は「建材・設備メーカーの講習会・マニュアルから」が 38.4%、「住宅生産関連団体の講習会などから」が 24.6%、「公的講習会・仕様書から」が 27.6%であった。

《職種別》

- 「施工」は、「建材・設備メーカーの講習会・マニュアルから」が 31.3%で最も多い。「職場内研修から」が 26.8%で他の職種と比較して割合が高い。
- 「現場管理」は、「建材・設備メーカーの講習会・マニュアルから」が最も多く 46.0%、「住宅生産関連団体の講習会などから」が 27.4%、「公的講習会・仕様書から」が 26.9%であった。
- 「設計」は、「建材・設備メーカーの講習会・マニュアルから」が 39.9%で最も多い。「公的講習会・仕様書から」は同程度の 38.3%、「建築雑誌から」が 23.6%で他の職種と比較して割合が高い。

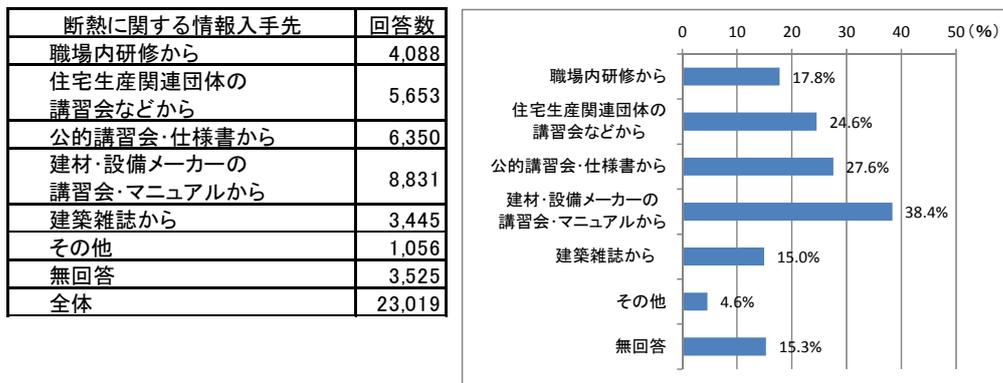


図 5-7a 断熱・施工方法に関する情報の主な入手先

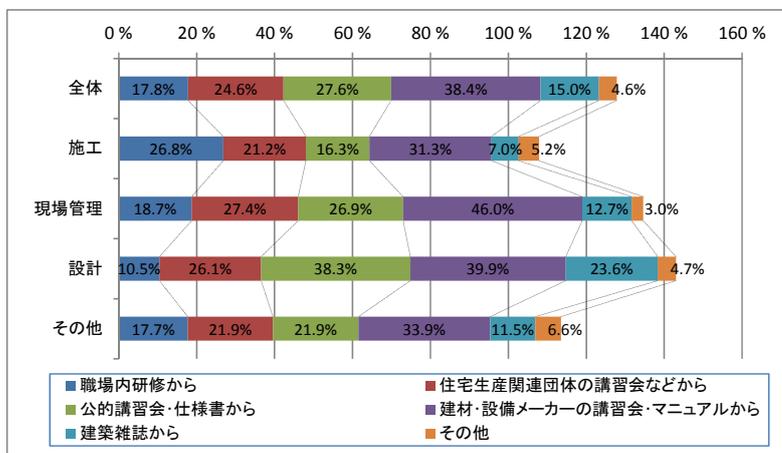


図 5-7b 職種別の断熱・施工方法に関する情報の主な入手先

断熱に関する情報入手先「その他」	回答数	%	施工B	施工C	設計B	設計C
職場関係	38	0.2%	1	31		6
建材メーカー	13	0.1%		10	1	2
インターネット	214	0.9%	4	63	7	140
所属団体	153	0.7%	14	111	2	26
専門メディア	23	0.1%	1	10		12
仕様書、マニュアル	12	0.1%		5		7
人的ネットワーク	95	0.4%	1	71		23
その他講習会等	27	0.1%	1	15	1	10
ハウスメーカー	17	0.1%	1	16		
現場	25	0.1%	1	19		5
海外情報	4	0.0%		1		3
自分で調べる	12	0.1%		8		4
省エネ団体	31	0.1%	4	10	2	15
未分類	44	0.2%	3	23	3	15
不明	30	0.1%		19		11
その他記入有り合計	738	3.2%	31	412	16	279
その他全体	1,056	4.6%	40	584	24	408
全体	23,019	100.0%	447	13,327	445	8,800

図 5-7c 断熱・施工方法に関する情報の主な入手先「その他」記述

情報入手先「その他」記述内容	数	情報入手先「その他」記述内容	数	情報入手先「その他」記述内容	数	情報入手先「その他」記述内容	数
職場関係	38	(所属団体つづき)		(人的ネットワークつづき)		(自分で調べるつづき)	
以前いた会社で覚えた	1	県連	2	仕入れ先	1	今までの経験から	1
会社	9	広島建業	1	広島建業	1	施工会社	1
会社の指示	1	埼玉県住まいづくり協議会	1	私的勉強会	1	自己学習	1
会社指示	2	支部	1	取引材木屋	1	自己流	1
企業研修	1	施工グループから	1	取引先	1	自身のけいけん	1
社内	5	事務所協会	2	取引先	2	自分でしらべる	1
社内会議	1	住友林業等、イノスグループ	2	住宅メーカー請負者(友人)より	2	自分で考える	2
社内教育(個人)	1	所属する会からの資料	1	小森業内	1	自分で判断	1
社内施工住宅より、SW	1	所属業界団体の講習会	1	紹介	1	採学	1
上司からの情報	1	所属団体から	1	職人から聞く	1	採学による	1
上司指示	1	所属団体より	1	人から	1	勉強にて	1
職場	1	所属団体講習会	1	人から聞く	1	省エネ団体	31
職場での指定	1	所属団体等	1	人の施工現場など	1	省エネ協	2
親方	9	神達建設組合	1	吹付け業者の情報	1	NPO法人「新住協」	1
他のメーカー、会社	1	千葉県建	2	設計士	3	NPO法人新住協	2
当社工事店より	1	全健	2	設計士・コンサル	1	NPO法人新木造住宅協議会	1
同僚	1	全健総連	1	設計士	5	環境エネルギー機構	1
建材メーカー	13	全国スーパーウォール会	1	設計士、建築士	1	省エネ関連に取り組んでいる	1
(株)ダイコク、ハウスデポジャパン	1	全開スーパーウォール会	1	設計士の仲間の勉強会等	1	任意団体から	1
Fcメーカー	1	(株)ダイコク、ハウスデポジャパン	1	設計事務所	2	省エネ協会	1
NICEさんより	1	組合	26	設計者	1	新住協	20
メーカー(サッシメーカー)	1	組合より	1	設備設計者	1	新住協など	1
メーカーCM	1	他建設組合	1	先輩	2	日本エネルギー協会	1
メーカーによる、フラット35等	1	大建業	3	先輩から	1	未分類	44
メーカー担当、施工者から	1	長崎県建設労働組合	1	他の大工から	1	NPO団体	1
メーカー直接問い合わせ	1	伝統技法の会	1	他業者より	1	FPメーカーより	1
リクシル	3	本報協	2	大工仲間	4	あまり情報が入らない	1
建材商社	1	建築士会	3	新工事業業から	1	ソフトウェアメーカー	1
製品カタログ	1	東京士建	1	断熱施工会社	1	なし	4
インターネット	214	徳島建業	1	知人	1	まちなみクラブ	1
HP	19	南雄三BB会	1	知人の紹介	6	まつくりセンターから	2
HPから	1	百年の家プロジェクト	1	知人より	2	委員会等	1
NET	9	富山県建築組合	1	地域単位の工務店間の情報	1	岐阜県森林化アカデミー	1
Web	2	福県労	1	仲間の大工	4	建築確認団体	1
インターネット	44	木住協	1	同業者から	5	建築技術研究所他	1
インターネット、マスコミ	1	連合会	1	同業者との情報交換	1	建築協会から	1
インターネット、主会	1	専門メディア	23	同業者の方から	1	建築士会ハガキ	1
インターネットHP	107	DVD	1	同業種交流から	1	公的機関掲載	1
ネットより	14	IBEC、建築研究所など書籍	1	木材店へ	1	国交省から直接	1
ホームページ	2	IBEC、建築研究所など書籍	1	同業	1	参考図書	1
メーカーホームページ等	3	協議会、団体発行本など	1	友人(設計・現場)	1	指導者から	1
メールマガジスト、HP	1	建築知識	1	友人から	1	支援機関、経産協等	1
メールマガジン	3	建築新聞	2	その他講習会等	27	施工会社からの指示	1
各ホームページ、現場	1	雑誌、書籍、インターネット	1	BIS資格取得	1	事務所内の既存図等	1
各団体のHP	1	住宅新聞から	1	BISテキスト	1	実際に他社の仕事に行って	1
建研、HP、日本サステナブル建築協会HP	1	書籍	2	このような講習会	1	住宅センター	1
他住宅会社のホームページ、ブログ	1	新聞	3	セミナー	1	住宅建築センター	1
団体や公共のHP	1	専門書	1	その他の温熱研修	1	青森県庁住宅課	1
同業知人、インターネット	1	単行本	1	温熱環境の勉強会	1	設計図、特記	1
北海道庁のHPから	1	北海道住宅新聞	1	学校	6	設計図書	1
所属団体	153	本	7	業社の案内、展示会等	1	専門社社より	1
FBより	3	体積書、マニュアル	12	訓練センター	1	大阪住宅センター	2
EPグループ	5	FC本部の施工マニュアル	1	訓練校の情報	1	長崎県住宅総合センター	1
EPグループにての講習会	1	カタログ	3	建築団体の講習会	1	特になし	4
JBN	1	フラット35の仕様書から	1	建築の昭和G1年頃の断熱材	1	独自の開発した工法建物の測定データを連続的に取ることにより工法改良の素材として活用してきた	1
PO外断熱推進会議	1	フラットの設計基準	1	講習会	1	南雄三先生	1
イノスグループ	2	メーカー・マニュアル	1	個別講習	1	評価機関	1
ガラスせんい協会	1	元請業者の施工マニュアル	1	工務店の勉強会	1	評価値	2
フランチャイズ	9	社内マニュアル	1	講習会	2	別がない	1
フレッセ	1	住友林業グループのマニュアル	1	高等学校、短期大学	1	不明	30
家知建築住宅センター	1	新在来マニュアル	1	住宅生産関連団体講習会等より	1	FAX	4
加入グループ	1	人的ネットワーク	95	大学	1	FAX	2
加盟団体ポーパクラブ	1	ガラスサッシ建材店から	1	断熱、省エネ研究会	1	TAAF	2
環境ネットやまがた	1	ビルダー	1	展示会	2	ハガキ	1
技能者組合	1	ホーム会社より	1	ハウスメーカー	6	メール	3
協会	1	下請業者の紹介	1	ハウスメーカーマニュアル	1	わからない	5
協会団体から	1	外断熱施工団体	1	バスメーカー定例会から	1	案内	1
建設組合	1	関係業者	1	各ハウスメーカー仕様	2	建築主よりのようぼろ	1
建設組合より	1	担手友人	1	住宅メーカー	3	見習い	1
建設長崎	1	既に施工している工務店様から	1	住宅メーカーからの指示書等	1	工務店の性能保障をしている	1
建設労働組合	1	協力業者	1	住宅メーカーの指示	1	材料より選定	1
建築ユニオン	1	建材屋	2	積水ハウス	1	今までどりに	1
建築技術協会	1	建設会社	1	現場	25	今回が一番分かりやすかった	1
建築業組合	2	建設会社から情報として	1	現場で見て	1	材木業	1
建築工業	1	建築士、事務所協会	1	現場にて	5	事務協	1
建築士会	18	建築士より	1	現場の仕事	1	充填断熱については、断熱不足でした	1
建築士会の講習会	2	建築仲間内	1	現場管理により	1	断熱不足	1
建築士会講習	1	建築店	1	現場施工で入手	1	断熱	1
建築士事務所協会	1	元請工務店	1	現場地社	1	断熱新聞	1
建築組合	7	現場の次工さん	1	前現場	1	断熱体	1
建労	2	口コミ	1	海外情報	4	裏面にて	1
建労組合	1	工ム店から	1	海外	2		
		工務店	3	海外の例から	1		
		工務店ネットワーク	1	外国より	1		
		工務店監督より	1	自分で調べる	12		
		材木屋	1	経験	1		
		材本店にて	1				

断熱・施工方法に関する情報の主な入手先「その他」記述内容

質問 1 2 最適な断熱住宅を普及・建設していくにはどの分野の意識啓発が必要と思いますか。

- 最適な断熱住宅を普及・建設していくにはどの分野の意識啓発が必要かについては「現場施工者」が最も多く 51.6%、「設計従事者」が 41.0%、「施工管理者」が 41.3%、「建築主」が 22.3%であった。

《職種別》

- 「施工」と「現場管理」は、それぞれ 52.4%、56.8%で「現場施工者」が最多であった。「設計」は、「設計従事者」が最も多く 60.9%であった。

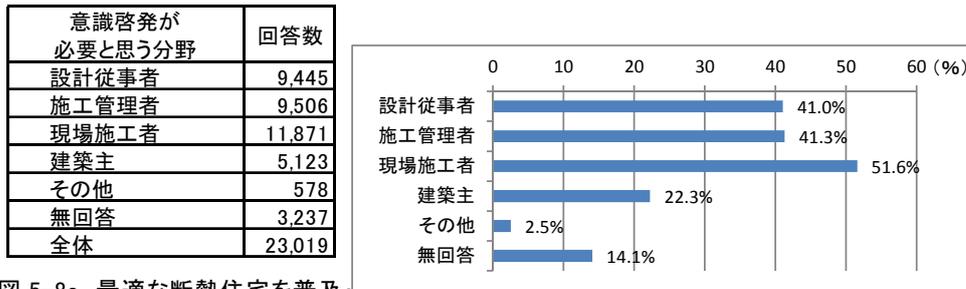


図 5-8a 最適な断熱住宅を普及・建設していくにはどの分野の意識啓発が必要か

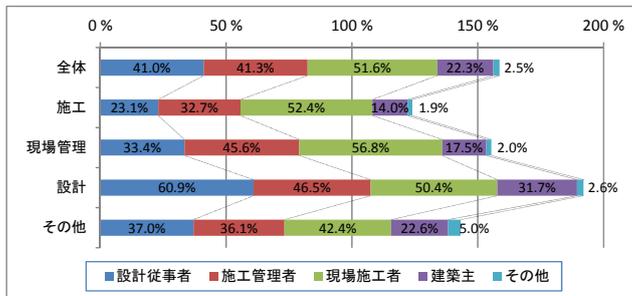


図 5-8b 職種別の最適な断熱住宅を普及・建設していくにはどの分野の意識啓発が必要か

意識啓発が必要「その他」	回答数	%	施工B	施工C	設計B	設計C
設計従事者	6	0.0%	2	2		2
施工管理者		0.0%				
現場施工者	30	0.1%		15		15
建築主	24	0.1%		13		11
設備施工者	11	0.0%		11		
工務店	11	0.0%	3	2		6
元請	6	0.0%	2	1	1	2
経営者	45	0.2%	1	18	1	25
営業	44	0.2%		15		29
会社全体		0.0%				
建材メーカー	16	0.1%		7		9
建材販売	8	0.0%		3		5
ハウスメーカー	6	0.0%		1		5
不動産業者	4	0.0%	1			3
検査機関		0.0%				
公的機関	2	0.0%				2
行政、政治家	56	0.2%		19		37
マスコミ	14	0.1%	7	3		4
関係する全ての人	136	0.6%		105	1	30
国民、一般の人々	9	0.0%				9
その他	81	0.4%	1	27	6	47
不明	64	0.3%		36	2	26
その他記入有り合計	573	2.5%	17	278	11	267
その他全体	609	2.6%	17	294	11	287
全体	23,019	100.0%	447	13,327	445	8,800

図 5-8c 最適な断熱住宅を普及・建設していくにはどの分野の意識啓発が必要か「その他」記述

どの分野の意識啓発が必要か「その他」内容	数	どの分野の意識啓発が必要か「その他」内容	数	どの分野の意識啓発が必要か「その他」内容	数
設計従事者	6	ハウスマー	6	(その他 につき)	
100%設計者におしえる必要者！！	1	ハウスマー	2	建築技術者の職業的良心への啓発	1
一般建築士でまるで理解してない人が沢山います。	1	住宅メーカーの営業	2	建築主、設計者、工事施工者の共通の認識	1
建築家	1	住宅販売営業	1	建築主と近い業者	1
工事監理者	1	住宅販売者	1	建築主より、建築業者の意識が低い	1
積算担当者	1	住宅販売者	1	建築主を除く全て	1
設計が現場を知ること	1	不動産業者	4	建物提供会社の断熱に対する考え方(コストを含めて)	1
現場施工者	30	住宅を売る不動産関係者	1	研究者	1
建築大工	1	不動産屋	3	元請 行政	1
現場の下請け業者にもある程度の理解、協力を受ける必要がある	1	公的機関	1	元請屋(大工、大工さん、工事会社が安い)ほど断熱で済ませてしまう。「あたかも」消火燃料(少)とは限らないのわかっていない	1
現場作業者・職人	1	公的機関	2	現在の経済状況においては設計者・施工者の意識がカクが一番	1
施工者	1	行政、政治家	56	工務店、経営者、営業	1
施工者(大工)向けに講習会をやれば、より省エネ住宅が広まっていくのかと思います。	1	官公庁、役人、大臣	1	工務店→コスト面・メーカー	1
住宅の場合、現場施工者が理解しなければ何にもならない。気持ちがあるか。コストもある	1	官庁自体	1	工務店さん、大工さん	1
住宅現場は監督が時間を多く費やせない、棟梁大工がわかってれば断熱の技術が統一に施工できる	1	許認可官庁	1	国、システム	1
省エネに興味がない工務店は全くできてない	1	行政～優遇、措置	9	国・メーカー	1
～から監視で指示するわけにもいかない大変苦労して	1	行政の窓口担当者！	1	国・政治家、大手メーカー等既得権に頼っている方々	1
職人	3	国(早期義務化、もしくは等級の細分化)	1	施工会社、施工主(ゾーンの別)のある情報が欲しい	1
大工	11	国、行政	1	社長又はトップ、大工	1
大工さん	5	国、市町村単位、つまり予算等(手間)の事は全く考えていない	1	社内上層部、営業	1
大工さんの意識と技術	1	国とくに日本	1	住人(施工主、建築主ではない実際の住人)	1
大工職方	1	国にもない有	1	申請関係者	1
断熱材を設置する職人さん	1	国の考え方	1	政策	1
建築主	24	国や自治体	1	正しく理解していない業界関係者	1
(施工主へのPR)断熱のH25年基準を!	1	国や社会	1	積算、見積	1
エンドユーザー	2	国交省、産産省	1	積算担当	1
お客様断熱への意識向上	1	国土交通省	1	設計及施工者なので	1
お客様	1	国等、制度を決める人、報酬にすぎず	1	大卒以上の講義、教授、研究生	1
クライアント	1	国等行政機関	1	大工、電気、水道	1
建築主の家業色々	1	自治体	1	大工、電気、設備方	1
建築主の知識を高めて断熱高効率化を当たり前に思っています	1	政界、経済界	1	特になし、それぞれ個人	1
欲しいです	1	政界	2	売上、価格の安定	1
工務店からの施工主への	1	政治家	2	発注者	1
国からの啓蒙(PR)施工主の理解(金額的な事)	1	法律をつくる人	1	民の声を受け入れる人	1
国土交通省一施工主に向けて	1	役所	1	木材業界、電気、給排水設備業界	1
施工主	5	役所関係	1	融資等	1
施工主	5	マスコミ	14	流通・商社・メーカー	1
施工主、0値、一次消費エネルギー量は施工主にはわかりづらい、そのうえ高気密高断熱の定義もあいまいなため、メリットを伝えるのに一定の期間がかかる。	1	メディア	2	不明	64
施工主の意識が秋田県は、特に低いと思います。	1	メディアでの発信	1	2030年のため大卒者になる講習会をあげてください。年後の講師の方は優しいお話しの方で断熱が伸びました。	1
施工主の理解	2	各種メディア	1	DVDが大変分かり易かったので講習は満足程度でよかったかもわかりません。	1
断熱施工費が増加する為に施工主の理解が必要	1	全員です	7	α、β等の数値の出力方の講習をしてほしい。	1
特に施工主にお金を出すかどうかと聞くと	1	関係する全ての人	136	あつたて、切込みの気持でやりたかったです。	1
費用がかかるのでローコスト住宅は難しい施工主の理解が必要	1	お客様(断熱)と接するすべての人	1	エネルギー	1
理解が必要	1	お客様ではなく各々の意識向上が必要	1	カットモデルの詳細化、巨大化	1
設備施工者	11	みんな	1	コストの問題	2
各専門分野の人々、電気工、設備工など	1	みんなの協力で成立たつものが	1	テキスト、もしい、DVDで重複する内容は断熱化しても良いのでは?と思います。	1
設備業者	1	営業から設計・工事 全員だと思います。	1	ポイントはいし適切な設計、2断熱施工の熟練者の養成(普通は大工で行っており、講習会の出席者が少ない)	1
電気、設備	2	各分野が必要と思う	1	メーカーは物を売るだけではなく、このような講習や現物指導などを行うべきだ。	1
電気屋	1	関わる人全てに必要だとと思われる	1	一般に公開して必要な現場施工	1
電気屋、設備屋	1	関係者すべて	1	過去の断熱講習会より、現場の事情にあった内容になっていると思います。	1
電気工事、設備工事、エアコン工事	1	関係者全員	1	会社の方向性	1
電気設備の配線、配管等、とくに変更時がむずかしいのでは?	1	基本的には全員が良者とします	1	意識されている建築業者が足りない場合が多い	1
電気設備工事者	1	業界及びそれと多く社会と幅広く	1	業務化	1
電気、水道工など	1	業界全体	1	及、助成金等	1
工務店	11	係わる人全て	1	銀行と地方自治体の密接仕様、不動産※資産としての評価が必要	1
建設会社(建設会社)経営者	1	建築主、役所者すべての人	2	建築基準法G10以下の新築住宅のαβ標準とする。	1
建設会社の経営者	1	建設会社に従事する職種全般	1	建築主へのアンケート調査	1
工務店	1	建築関係者すべて	1	建築士会がCM等で啓発、技術ある建築士の活用	1
工務店、社長	1	建築主、設計、施工の一連	1	のPRです。	1
工務店経営者、特に指揮している年輩層	1	建築主から施工者まで携わる者全て	1	建築法	1
工務店社長	1	建築主は元よりすべての関係者に知らしめるべき	1	検査機関による啓発が必要	1
工務店代表者など予算の決定権がある人	1	現場に伝わる人すべて	1	現在従事していない、元建築大工	1
工務店経営者	1	工事に関わる者すべて	1	現場を見たことがなかったで難しい所たくさんありましたが、とても勉強になりました。ありがとうございました。	1
工務店技術者・経営者等の上層部の方々	1	工事関係者	1	公的機関のさらなる補助	1
地元工務店	1	関係者全員	1	公的機関の正確な情報公開、省エネ基準の緩和	1
地場工務店、中小住宅会社	1	断熱より現場施工者まですべて	1	公的機関	1
元請	6	手引き全部	1	行政の公的講習会	1
元請け	2	住宅に関わる全ての者、団体等	1	国、(国土交通省)も着々と取組めば良い。	1
元請け工務店	1	住宅建築に関わる全ての業種	1	国、補助金で設計料を出して欲しい。(省エネ)	1
元請け工務店(会社等)	1	全て	14	国が、地方自治体をもって普及しやすいように補助金	1
注文請負会社	1	全て、特に施工者の意識向上が要	1	などの助成が必要	1
経営者	45	全てにたい必要	1	国が社団現況ですべき	1
営業、社長	1	全ての関係者が必要	1	国の現況、省エネするぞという意思、脱原発するぞという基本哲学がない。	1
会社の責任者	7	全て特に指図的立場にある高年齢の技術者	1	国交省、経産省等法律で規制する	1
会社経営者	3	全員が知るべき物でないと思えない	1	材料の金額、	1
会社社長	1	全員が必要だと思う	1	施工手間	1
会社代表	1	関係者、コストアップへの理解をお願いしたい。	1	手間とコストを理解する	1
経営者	15	全て	2	住宅コンプレックス	1
経営者、施工知識がないとできない	1	経営(小・中・高)	1	住宅省エネに対する本質的な見解が不明	1
建築する会社の方の人。(取締役の人とか)	1	教育(小・中・高)	1	劣化断熱(繊維系)の壁内結露が怖い、気密施工の重要性	1
工務店経営者(断熱基準の決定者)	1	教育団体、日常生活との連続性があるとなじみやすい	1	省エネ化(数値化)をすすめるだけでなく快適な住まいを提案することが普及につながると思います。	1
事業主	3	建築主にはない、一般の人々	9	快適性は室温だけではない。	1
社長	5	建築主予備軍(一般の人々)	2	審査キーンのチェック	1
住宅営業者	3	社長	2	政府の関係機関で講習会等普及させる必要あり	1
所属組織の上層部	1	子ども初等教育から	1	規制や金利優遇などのある政策	1
代表者	1	小学生(子供)からの問題提起	1	第1回目なのであと1回講習を行いました。	1
中小住宅会社の経営者	1	消費者	1	準備、人工	1
営業	44	その他	81	断熱材・気密に関わる工事に、第三者機関がチェックすることがないので、計算上の数値に達していない住宅も多いのでは?施工不良によつて)	1
営業	34	アドバイザー	1	知らない・が多いので	1
営業 プレゼンター	1	お金を出してくれる人	2	低炭素法の法規の解説をして頂きたい	2
営業、コストアップと工期が長くなるため。	1	コンサルタント	1	特になし	1
営業スタッフ	1	スベック会社	1	難しい計算をさせるより、高性能な断熱材やサッシしか流通させない仕組みを作った方が早いと思う	1
営業での販路、会社の方向性	1	なし	1	発泡ウレタンの断熱材の施工方もとおしていただくかっただです。	1
営業マン→消費者に一番近い立場ゆえ。	1	ハウスマーや設備業者、基準を作っている官僚	9	費用対効果と分りやすくなると思う	1
営業職	2	メーカー	1	普及させること計算させることは違う、この制度は何かおかしい	1
営業等の販売、一番最初にお客様と接する者、説明する者。	2	メーカーと政治家	1	法律の見直し	1
断熱仕様事項の説明等を行う営業責任者	1	わからない	1	防湿フィルム付繊維系断熱材がメインでやっていたが、フィルム無し繊維系断熱材の話を聞いたら良かった。	1
建材メーカー	16	一期にもっとあたりますかと知らせてもらえば	1	予算次第	1
メーカー 商社	1	営業、施工	1	良かった。DVD、と	1
メーカー 会社の方針	1	営業、事業主	1		
メーカー材料の供給側、コスト技術	1	営業マン、社長	1		
各種メーカー、省エネ商品の低価格	1	営業担当とお客様	2		
建材の関係者	1	会社員	1		
建材メーカー	4	会社経営者、営業	1		
建材メーカー	1	会社全体の意思を必要一部だけではダメ	1		
材料メーカーの工夫	1	開発者	1		
資材メーカー	1	各会社スタッフ全員	1		
断熱メーカー	1	学校教員	1		
断熱材メーカー	1	官公庁、銀行	1		
断熱材生産者	1	関連団体	1		
建材販売	8	企業(工務店)経営者、宅建士	1		
前	1	企業自体	1		
建材販売会社	1	教育機関	1		
資材提供者	1	業界、団体	1		
資材流通	1	業者等	1		
販売者	1	金融機関	1		
販売店、木材卸業社	1	銀行(金利優遇)、行政(奨励金)	1		
販売部門	1	建設協会	1		
流通業者	1	建築業界	1		
		建築科の学生	1		

最適な断熱住宅を普及・建設していくにはどの分野の意識啓発が必要か「その他」記述内容

質問 1 3 【施工技術者講習】テキスト、DVD、カットモデルについてお伺いします。

質問 1 3 ① テキスト

●テキストは、「大変わかりやすかった」「わかりやすかった」を合わせて 72.7%、「普通」も含めると 94.8%であった。

●「わかりにくかった」「大変わかりにくかった」は合わせて 2.1%であった。

《職種別》

●「大変わかりやすかった」「わかりやすかった」を合わせた割合が全体より低かったのは「施工」の 5.7 ポイントであった。反対に全体より高かったのは「現場管理」の 3.5 ポイント、「設計」の 9.3 ポイントであった。

テキスト	回答数
大変わかりやすかった	3,005
わかりやすかった	6,695
普通	2,945
わかりにくかった	249
大変わかりにくかった	31
無回答	402
全体	13,327

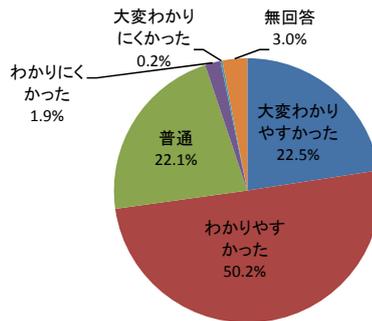
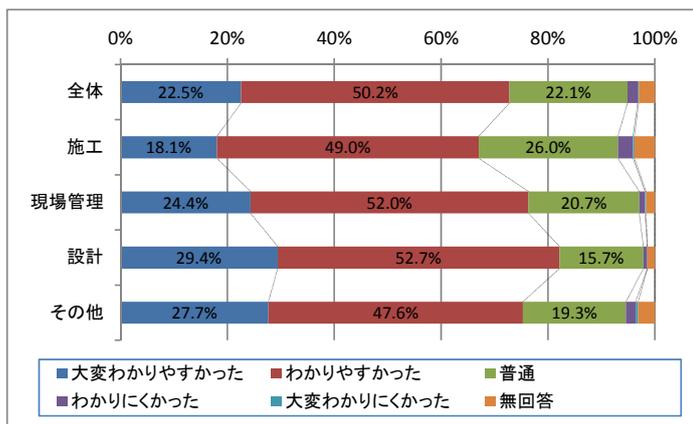


図 6-1-1a テキストのわかりやすさ



	合計 (回答数)	テキスト (%)					
		大変 わかり やす かった	わ か り や す か っ た	普 通	わ か り に く か っ た	大 変 わ か り に く か っ た	無 回 答
全体	13,327	22.5	50.2	22.1	1.9	0.2	3.0
施工	5,595	18.1	49.0	26.0	2.9	0.3	3.8
(全体との差)		-4.5	-1.2	+3.9	+1.0	+0.0	-
現場管理	4,380	24.4	52.0	20.7	1.1	0.2	1.6
(全体との差)		+1.8	+1.7	-1.4	-0.7	-0.0	-
設計	1,790	29.4	52.7	15.7	0.7	0.1	1.4
(全体との差)		+6.8	+2.5	-6.4	-1.1	-0.2	-
その他	1,369	27.7	47.6	19.3	1.8	0.4	3.1
(全体との差)		+5.1	-2.6	-2.8	-0.0	+0.2	-

図 6-1-1b 職種別でのテキストのわかりやすさ

質問13② DVD

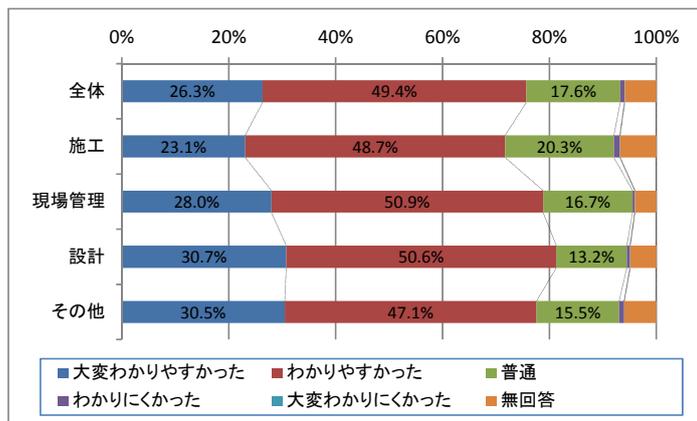
- DVDは、「大変わかりやすかった」「わかりやすかった」を合わせて75.7%、「普通」も含めると93.3%であった。
- 「わかりにくかった」「大変わかりにくかった」と感じた割合は合わせて0.9%であった。

《職種別》

- 「大変わかりやすかった」「わかりやすかった」を合わせた割合が全体より低かったのは「施工」の4.0ポイントであった。反対に全体より高かったのは「現場管理」の3.1ポイント、「設計」の5.6ポイントであった。



図 6-1-2a DVDのわかりやすさ



	合計 (回答数)	DVD (%)					
		大変わかりやすかった	わかりやすかった	普通	わかりにくかった	大変わかりにくかった	無回答
全体	13,327	26.3	49.4	17.6	0.8	0.1	5.9
施工 (全体との差)	5,595	23.1 -3.3	48.7 -0.7	20.3 +2.8	1.1 +0.3	0.1 +0.0	6.7 -
現場管理 (全体との差)	4,380	28.0 +1.6	50.9 +1.5	16.7 -0.9	0.4 -0.3	0.0 -0.1	4.0 -
設計 (全体との差)	1,790	30.7 +4.4	50.6 +1.2	13.2 -4.4	0.6 -0.2	0.1 +0.0	4.9 -
その他 (全体との差)	1,369	30.5 +4.1	47.1 -2.3	15.5 -2.1	0.9 +0.1	0.1 -0.0	6.0 -

図 6-1-2b 職種別でのDVDのわかりやすさ

質問 1 3 ③ カットモデル

- カットモデルは、「大変わかりやすかった」「わかりやすかった」を合わせて 58.4%、「普通」も含めると 83.6%であった。
- 「わかりにくかった」「大変わかりにくかった」は合わせて 4.4%であった。
- 尚、北海道地域の講習ではカットモデルを使用していない。

《職種別》

- 「大変わかりやすかった」「わかりやすかった」を合わせた割合が全体より低かったのは「施工」の 1.9 ポイントであった。反対に全体より高かったのは「現場管理」の 2.6 ポイント、「設計」の 3.0 ポイントであった。

カットモデル	回答数
大変わかりやすかった	2,294
わかりやすかった	5,485
普通	3,353
わかりにくかった	539
大変わかりにくかった	57
無回答	1,599
全体	13,327

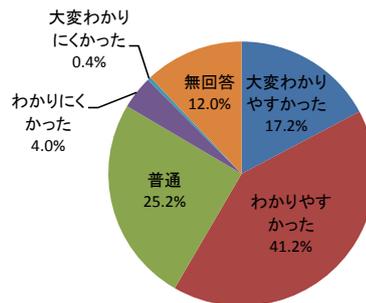
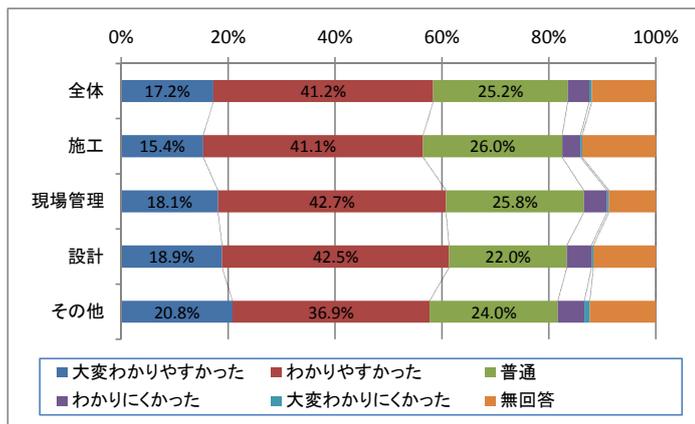


図 6-1-3a カットモデルのわかりやすさ



	合計 (回答数)	カットモデル (%)					
		大変 わかりや すかった	わかりや すかった	普 通	わかりに くかった	大変 わかりに くかった	無回答
全体	13,327	17.2	41.2	25.2	4.0	0.4	12.0
施工	5,595	15.4	41.1	26.0	3.4	0.3	13.7
(全体との差)		-1.9	-0.0	+0.9	-0.6	-0.1	-
現場管理	4,380	18.1	42.7	25.8	4.3	0.4	8.7
(全体との差)		+0.9	+1.5	+0.6	+0.3	-0.0	-
設計	1,790	18.9	42.5	22.0	4.6	0.3	11.7
(全体との差)		+1.7	+1.3	-3.1	+0.6	-0.1	-
その他	1,369	20.8	36.9	24.0	5.0	1.0	12.3
(全体との差)		+3.6	-4.3	-1.2	+0.9	+0.6	-

図 6-1-3b 職種別でのカットモデルのわかりやすさ

質問 1 4 【施工技術者講習】講義内容についてお伺いします。

質問 1 4 ① これからの住まいの省エネについて

- テキスト「第1章 これからの住まいの省エネ化」の講義は「難しいとは思わない」「易しい」を合わせて76.1%であった。「難しかった」は20.8%であった。

《職種別》

- 「難しいとは思わない」「易しい」を合わせた割合が全体より低かったのは「施工」の4.9ポイントであった。反対に全体より高かったのは「現場管理」の4.4ポイント、「設計」の8.1ポイントであった。

《地域別》

- 「難しいとは思わない」「易しい」の合計が、北海道は全体より6.0ポイント、東北は3.8ポイント高かった。

これからの住まいの省エネ化について (テキスト第1章)	回答数
難しかった	2,776
難しいとは思わない	9,516
易しい	620
無回答	415
全体	13,327

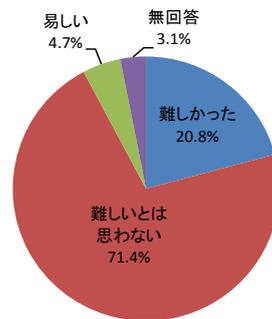


図 6-1-4a 「第1章 これからの住まいの省エネ化」について

	合計 (回答数)	これからの住まいの省エネ化について (テキスト第1章) (%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	13,327	20.8	71.4	4.7	3.1
施工	5,595	24.9	67.3	3.9	3.9
(全体との差)		+4.0	-4.1	-0.8	-
現場管理	4,380	17.9	76.0	4.4	1.7
(全体との差)		-2.9	+4.6	-0.2	-
設計	1,790	14.3	77.8	6.3	1.6
(全体との差)		-6.5	+6.4	+1.7	-
その他	1,369	21.9	68.4	6.8	2.8
(全体との差)		+1.1	-3.0	+2.1	-

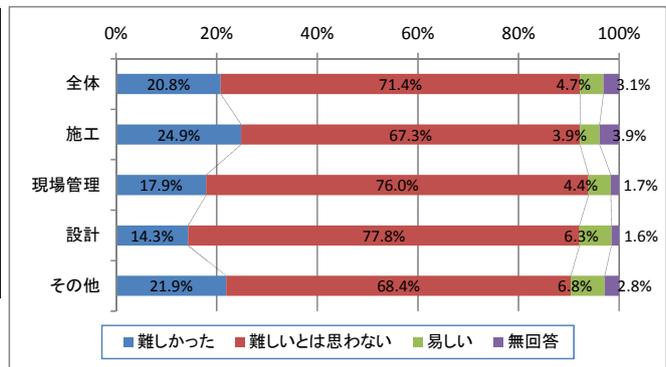


図 6-1-4b 職種別の「第1章 これからの住まいの省エネ化」について

	合計 (回答数)	これからの住まいの省エネ化について (テキスト第1章) (%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	13,327	20.8	71.4	4.7	3.1
北海道	397	16.4	75.8	6.3	1.5
(全体との差)		-4.5	+4.4	+1.6	-
東北	1,816	16.2	75.6	4.4	3.9
(全体との差)		-4.6	+4.1	-0.3	-
関東	3,784	19.9	71.2	5.5	3.4
(全体との差)		-0.9	-0.2	+0.8	-
北陸	679	26.8	66.3	4.0	2.9
(全体との差)		+6.0	-5.1	-0.7	-
中部	1,844	21.4	71.0	5.2	2.4
(全体との差)		+0.5	-0.4	+0.5	-
近畿	1,401	20.6	71.2	5.3	2.9
(全体との差)		-0.2	-0.2	+0.6	-
中国	1,186	26.0	68.6	2.6	2.8
(全体との差)		+5.1	-2.8	-2.0	-
四国	671	24.0	69.3	3.4	3.3
(全体との差)		+3.2	-2.1	-1.2	-
九州・沖縄	1,549	21.3	71.8	3.8	3.1
(全体との差)		+0.5	+0.4	-0.8	-

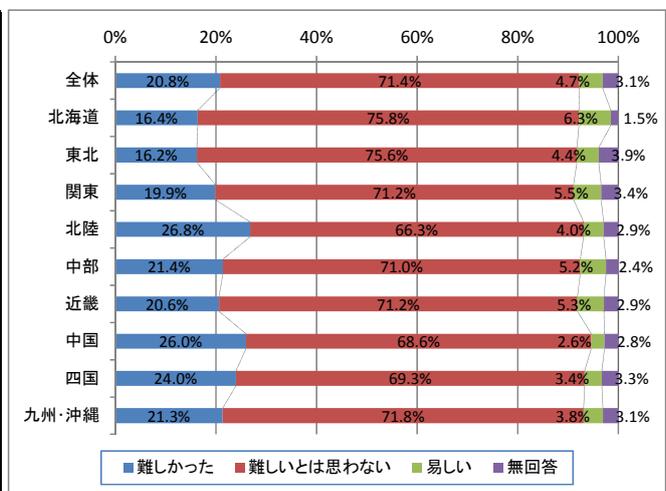


図 6-1-4c 地域別の「第1章 これからの住まいの省エネ化」について

質問 1 4 ② 省エネ住宅の設計/施工について

- テキスト「第2章 住宅の断熱設計」、「第3章 住宅の断熱施工」の講義は「難しいとは思わない」「易しい」を合わせて72.3%であった。「難しかった」は24.2%であった。

《職種別》

- 「難しいとは思わない」「易しい」を合わせた割合が全体より低かったのは「施工」の4.2ポイントであった。反対に全体より高かったのは「現場管理」の3.8ポイント、「設計」の9.9ポイントであった。

《地域別》

- 「難しいとは思わない」「易しい」の合計が、北海道は全体より8.8ポイント、東北は5.1ポイント高かった。

省エネ住宅の設計/施工について (テキスト第2・3章)	回答数
難しかった	3,231
難しいとは思わない	9,120
易しい	516
無回答	460
全体	13,327

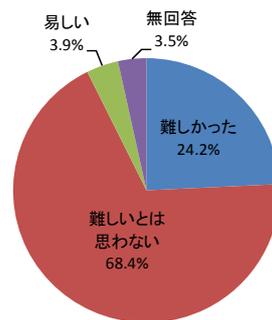


図 6-1-5a 「第2章 住宅の断熱設計」「第3章 住宅の断熱施工」について

	合計 (回答数)	省エネ住宅の設計/施工について (テキスト第2・3章) (%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	13,327	24.2	68.4	3.9	3.5
施工 (全体との差)	5,595	27.4 +3.2	64.7 -3.7	3.3 -0.5	4.5
現場管理 (全体との差)	4,380	22.2 -2.1	72.3 +3.8	3.9 +0.0	1.6
設計 (全体との差)	1,790	16.4 -7.9	76.6 +8.2	5.5 +1.7	1.5
その他 (全体との差)	1,369	28.1 +3.9	64.4 -4.1	4.2 +0.3	3.4

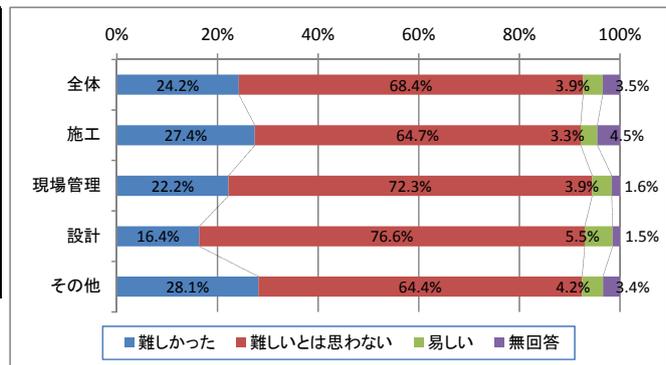


図 6-1-5b 職種別の「第2章 住宅の断熱設計」「第3章 住宅の断熱施工」について

	合計 (回答数)	省エネ住宅の設計/施工について (テキスト第2・3章) (%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	13,327	24.2	68.4	3.9	3.5
北海道 (全体との差)	397	17.4 -6.9	76.1 +7.6	5.0 +1.2	1.5
東北 (全体との差)	1,816	18.2 -6.1	73.8 +5.4	3.6 -0.3	4.4
関東 (全体との差)	3,784	22.7 -1.6	69.0 +0.5	4.7 +0.8	3.7
北陸 (全体との差)	679	31.5 +7.3	62.6 -5.8	2.9 -0.9	2.9
中部 (全体との差)	1,844	24.0 -0.3	69.0 +0.5	4.3 +0.4	2.8
近畿 (全体との差)	1,401	25.7 +1.5	67.2 -1.2	4.0 +0.1	3.1
中国 (全体との差)	1,186	30.5 +6.3	63.4 -5.0	2.4 -1.5	3.7
四国 (全体との差)	671	28.9 +4.7	65.3 -3.2	2.5 -1.3	3.3
九州・沖縄 (全体との差)	1,549	26.0 +1.7	67.0 -1.4	3.5 -0.4	3.6

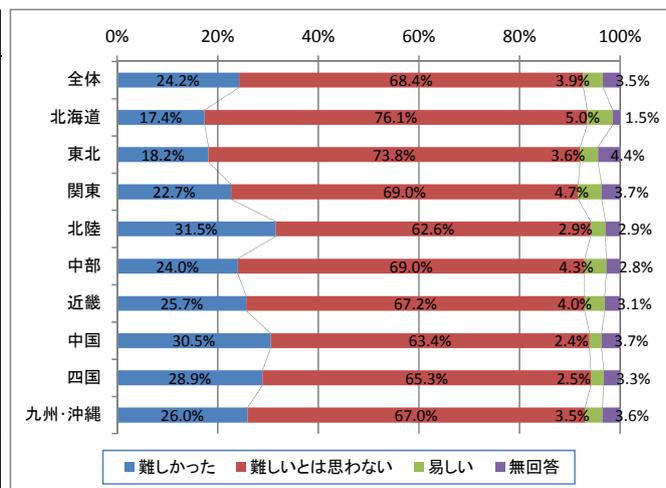


図 6-1-5c 地域別の「第2章 住宅の断熱設計」「第3章 住宅の断熱施工」について

質問 1 4 ③ 省エネ基準と関連制度について

- 別冊テキスト「省エネ基準と関連制度」の講義は、「難しいとは思わない」「易しい」を合わせて 65.4%であった。「難しかった」は 30.8%であった。

《職種別》

- 「難しいとは思わない」「易しい」を合わせた割合が全体より低かったのは「施工」の 5.1 ポイントであった。反対に全体より高かったのは「現場管理」の 4.1 ポイント、「設計」の 9.2 ポイントであった。

《地域別》

- 「難しいとは思わない」「易しい」の合計が、北海道は全体より 5.9 ポイント、東北は 2.6 ポイント高かった。

省エネ基準と関連制度について (別冊テキスト)	回答数
難しかった	4,101
難しいとは思わない	8,271
易しい	435
無回答	520
全体	13,327

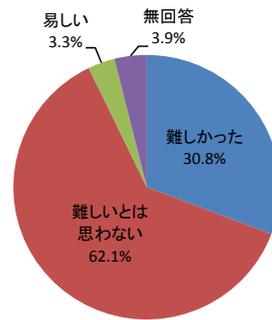


図 6-1-6a 別冊テキスト「省エネ基準と関連制度」について

	合計 (回答数)	省エネ基準と関連制度について (別冊テキスト) (%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	13,327	30.8	62.1	3.3	3.9
施工	5,595	34.6	57.6	2.7	5.1
(全体との差)		+3.8	-4.5	-0.6	-
現場管理	4,380	28.7	66.1	3.2	1.9
(全体との差)		-2.1	+4.1	-0.0	-
設計	1,790	23.4	69.8	4.8	2.1
(全体との差)		-7.4	+7.7	+1.5	-
その他	1,369	31.8	60.6	3.9	3.7
(全体との差)		+1.1	-1.4	+0.6	-

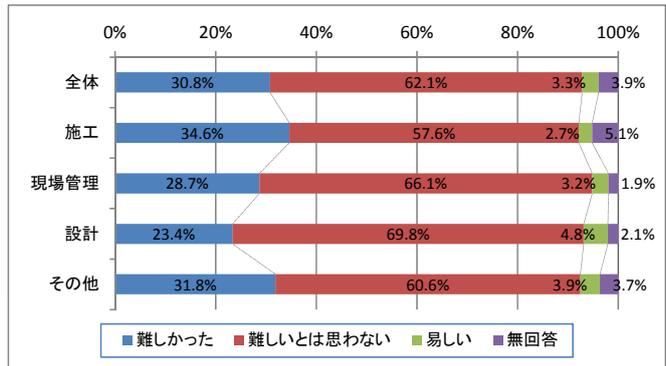


図 6-1-6b 職種別の別冊テキスト「省エネ基準と関連制度」について

	合計 (回答数)	省エネ基準と関連制度について (別冊テキスト) (%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	13,327	30.8	62.1	3.3	3.9
北海道	397	27.2	67.5	3.8	1.5
(全体との差)		-3.6	+5.4	+0.5	-
東北	1,816	27.2	64.7	3.2	4.8
(全体との差)		-3.6	+2.6	-0.0	-
関東	3,784	30.0	62.1	3.8	4.2
(全体との差)		-0.8	-0.0	+0.5	-
北陸	679	36.7	57.0	2.8	3.5
(全体との差)		+5.9	-5.1	-0.5	-
中部	1,844	31.3	61.8	3.8	3.1
(全体との差)		+0.6	-0.3	+0.5	-
近畿	1,401	30.5	62.8	3.1	3.6
(全体との差)		-0.3	+0.8	-0.2	-
中国	1,186	33.6	60.4	2.3	3.8
(全体との差)		+2.8	-1.7	-1.0	-
四国	671	34.3	59.5	2.1	4.2
(全体との差)		+3.5	-2.6	-1.2	-
九州・沖縄	1,549	31.2	61.9	3.0	3.9
(全体との差)		+0.4	-0.2	-0.3	-

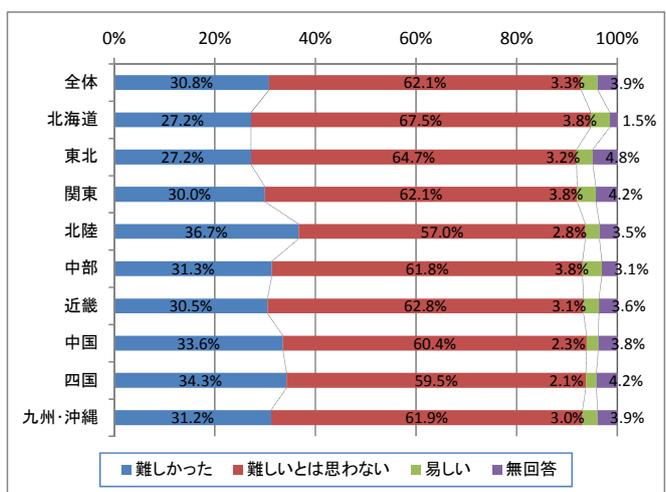


図 6-1-6c 地域別の別冊テキスト「省エネ基準と関連制度」について

質問 1 4 ④ リフォームについて

- 「第4章 住宅の断熱リフォーム」の講義は、「難しいとは思わない」「易しい」を合わせて 68.6% であった。「難しかった」は 26.6% であった。

《職種別》

- 「難しいとは思わない」「易しい」を合わせた割合が全体より低かったのは「施工」の 4.2 ポイントであった。反対に全体より高かったのは「現場管理」の 4.2 ポイント、「設計」の 5.9 ポイントであった。

《地域別》

- 「難しいとは思わない」「易しい」の合計が、北海道は全体より 12.0 ポイント、東北は 2.9 ポイント高かった。

リフォームについて (テキスト第4章)	回答数
難しかった	3,542
難しいとは思わない	8,642
易しい	506
無回答	637
全体	13,327

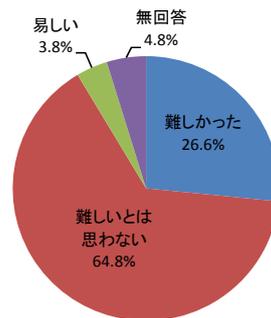


図 6-1-7a 「第4章 住宅の断熱リフォーム」について

	合計 (回答数)	リフォームについて (テキスト第4章) (%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	13,327	26.6	64.8	3.8	4.8
施工 (全体との差)	5,595	29.8	61.0	3.4	5.7
		+3.3	-3.8	-0.4	-
現場管理 (全体との差)	4,380	24.5	69.3	3.6	2.6
		-2.0	+4.4	-0.2	-
設計 (全体との差)	1,790	21.4	69.4	5.1	4.0
		-5.2	+4.6	+1.3	-
その他 (全体との差)	1,369	27.1	63.3	4.6	5.0
		+0.5	-1.6	+0.8	-

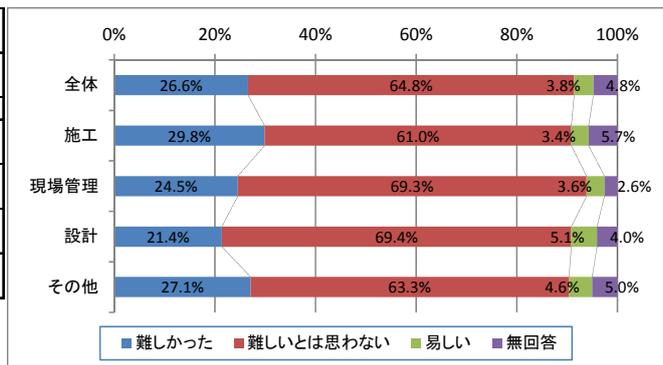


図 6-1-7b 職種別の「第4章 住宅の断熱リフォーム」について

	合計 (回答数)	リフォームについて (テキスト第4章) (%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	13,327	26.6	64.8	3.8	4.8
北海道 (全体との差)	397	16.1	75.8	4.8	3.3
		-10.5	+11.0	+1.0	-
東北 (全体との差)	1,816	23.1	68.2	3.4	5.3
		-3.4	+3.3	-0.4	-
関東 (全体との差)	3,784	25.3	65.6	4.5	4.6
		-1.2	+0.7	+0.7	-
北陸 (全体との差)	679	31.1	61.6	2.9	4.4
		+4.5	-3.3	-0.9	-
中部 (全体との差)	1,844	27.9	63.4	4.3	4.3
		+1.4	-1.4	+0.5	-
近畿 (全体との差)	1,401	27.5	64.7	3.7	4.1
		+0.9	-0.2	-0.1	-
中国 (全体との差)	1,186	29.6	61.7	3.0	5.7
		+3.0	-3.1	-0.8	-
四国 (全体との差)	671	32.8	59.9	2.4	4.9
		+6.2	-4.9	-1.4	-
九州・沖縄 (全体との差)	1,549	26.9	64.2	3.4	5.5
		+0.3	-0.7	-0.4	-

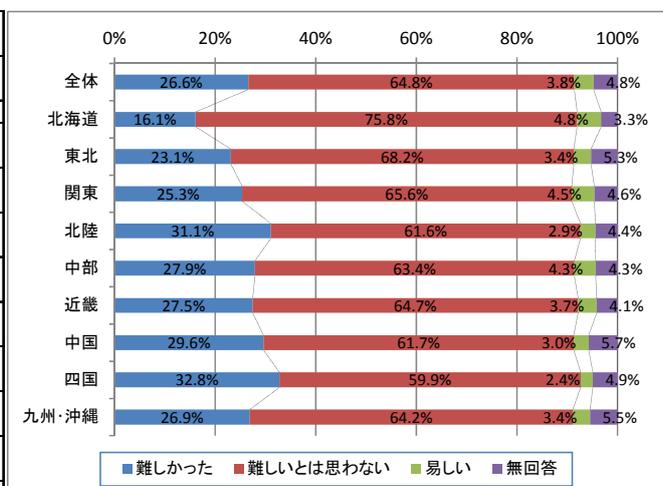


図 6-1-7c 地域別の「第4章 住宅の断熱リフォーム」について

質問 15 【設計者講習】講習テキスト、講義内容についてお伺いします。

質問 15① 設計計画編について

- テキスト「設計計画編」の講義は、「難しいとは思わない」「易しい」を合わせて 66.5%であった。「難しかった」は 24.5%であった。

《職種別》

- 「難しいとは思わない」「易しい」を合わせた割合が全体より低かったのは「施工」の 18.9 ポイント、「現場管理」の 10.8 ポイントであった。反対に全体より高かったのは「設計」の 5.1 ポイントであった。

《地域別》

- 「難しいとは思わない」「易しい」を合わせた割合が全体より低かった地域のうち、北海道の 8.4 ポイント、中国の 7.9 ポイントが他地域と比較して全体からの差が大きい。

設計計画編	回答数
難しかった	2,152
難しいとは思わない	5,141
易しい	713
無回答	794
全体	8,800

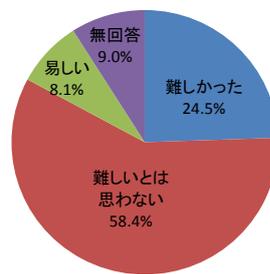


図 6-2-1a 「設計計画編」について

	合計 (回答数)	設計計画編 (%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	8,800	24.5	58.4	8.1	9.0
施工 (全体との差)	530	43.8	40.0	3.6	12.6
		+19.3	-18.4	-4.5	-
現場管理 (全体との差)	1,369	32.9	50.8	5.0	11.3
		+8.4	-7.7	-3.1	-
設計 (全体との差)	6,022	20.4	62.5	9.2	7.9
		-4.0	+4.0	+1.1	-
その他 (全体との差)	821	27.6	55.1	8.6	8.6
		+3.2	-3.4	+0.5	-

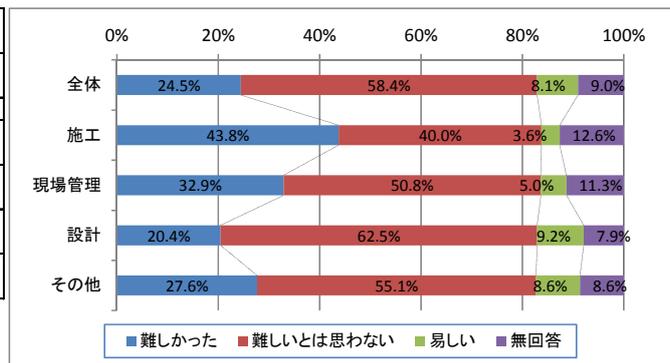


図 6-2-1b 職種別の「設計計画編」について

	合計 (回答数)	設計計画編 (%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	8,800	24.5	58.4	8.1	9.0
北海道 (全体との差)	394	27.9	54.8	3.3	14.0
		+3.5	-3.6	-4.8	-
東北 (全体との差)	1,365	24.4	59.4	8.4	7.8
		-0.1	+1.0	+0.2	-
関東 (全体との差)	1,998	23.2	57.9	9.7	9.3
		-1.2	-0.6	+1.6	-
北陸 (全体との差)	722	23.1	59.3	9.3	8.3
		-1.3	+0.9	+1.2	-
中部 (全体との差)	1,353	23.9	59.9	8.2	8.1
		-0.6	+1.4	+0.1	-
近畿 (全体との差)	1,096	22.1	60.6	8.0	9.3
		-2.4	+2.2	-0.1	-
中国 (全体との差)	687	31.9	51.2	7.4	9.5
		+7.4	-7.2	-0.7	-
四国 (全体との差)	324	22.5	60.5	6.2	10.8
		-1.9	+2.1	-1.9	-
九州・沖縄 (全体との差)	861	25.7	59.0	6.5	8.8
		+1.2	+0.6	-1.6	-

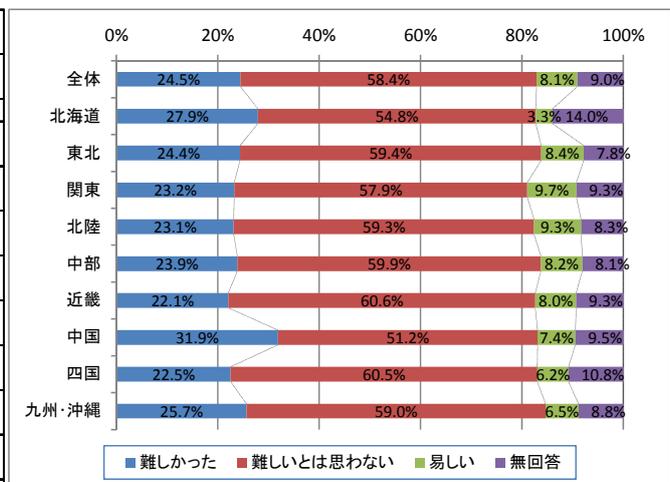


図 6-2-1c 地域別の「設計計画編」について

質問15② 省エネ基準編 第1章 省エネ基準の概要について

- テキスト「省エネ基準編 第1章 省エネ基準の概要」の講義は、「難しいとは思わない」「易しい」を合わせて67.6%であった。「難しかった」は29.8%であった。

《職種別》

- 「難しいとは思わない」「易しい」を合わせた割合が全体より低かったのは「施工」の20.2ポイント、「現場管理」の7.2ポイントであった。反対に全体より高かったのは「設計」の3.6ポイントであった。

《地域別》

- 「難しいとは思わない」「易しい」を合わせた割合が全体より低かった地域のうち、中国の6.7ポイントが他地域と比較して全体からの差が大きい。

省エネ基準編 第1章 省エネ基準の概要について	回答数
難しかった	2,622
難しいとは思わない	5,461
易しい	481
無回答	236
全体	8,800

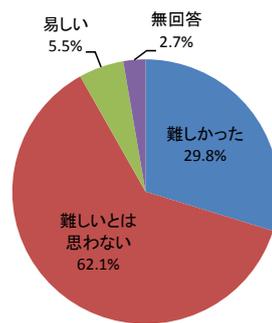


図 6-2-2a 「省エネ基準編 第1章 省エネ基準の概要」について

	合計 (回答数)	省エネ基準編 第1章 省エネ基準の概要について (%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	8,800	29.8	62.1	5.5	2.7
施工 (全体との差)	530	48.7 +18.9	44.9 -17.2	2.5 -3.0	4.0
現場管理 (全体との差)	1,369	37.3 +7.5	56.1 -6.0	4.2 -1.2	2.4
設計 (全体との差)	6,022	26.6 -3.2	65.3 +3.3	5.8 +0.3	2.3
その他 (全体との差)	821	29.2 -0.6	60.9 -1.2	7.3 +1.8	2.6

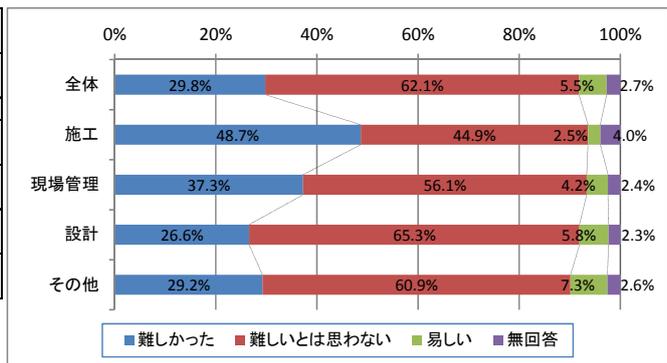


図 6-2-2b 職種別の「省エネ基準編 第1章 省エネ基準の概要」について

	合計 (回答数)	省エネ基準編 第1章 省エネ基準の概要について (%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	8,800	29.8	62.1	5.5	2.7
北海道 (全体との差)	394	31.5 +1.7	62.2 +0.1	2.3 -3.2	4.1
東北 (全体との差)	1,365	30.7 +0.9	60.4 -1.6	6.2 +0.8	2.6
関東 (全体との差)	1,998	29.3 -0.5	61.4 -0.6	6.8 +1.3	2.5
北陸 (全体との差)	722	29.6 -0.2	62.5 +0.4	6.6 +1.2	1.2
中部 (全体との差)	1,353	27.9 -1.9	63.9 +1.8	5.2 -0.2	3.0
近畿 (全体との差)	1,096	26.1 -3.7	66.5 +4.5	4.7 -0.8	2.7
中国 (全体との差)	687	37.0 +7.2	56.3 -5.7	4.5 -1.0	2.2
四国 (全体との差)	324	29.9 +0.1	60.5 -1.6	6.2 +0.7	3.4
九州・沖縄 (全体との差)	861	30.8 +1.0	62.4 +0.3	3.6 -1.9	3.3

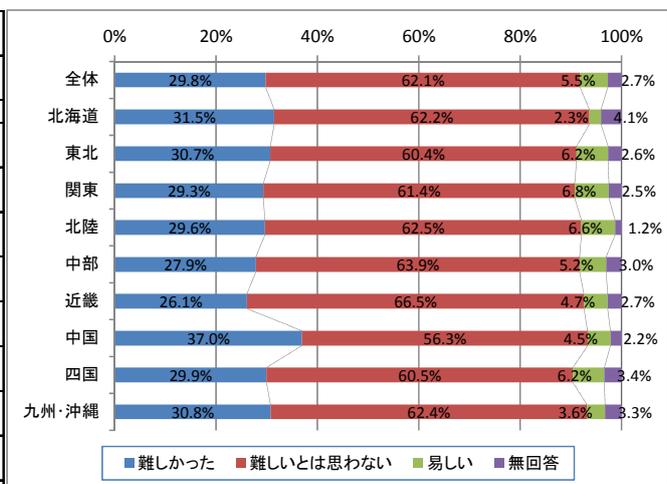


図 6-2-2c 地域別の「省エネ基準編 第1章 省エネ基準の概要」について

質問15③ 省エネ基準編 第2章 外皮性能基準について

- テキスト「省エネ基準編 第2章 外皮性能基準」の講義は、「難しいとは思わない」「易しい」を合わせて49.0%であった。「難しかった」は48.4%であった。設計計画編、省エネ基準編第1章と比較して難しく感じた受講者が多くなっている。

《職種別》

- 「難しいとは思わない」「易しい」を合わせた割合が全体より低かったのは「施工」の16.9ポイント、「現場管理」の7.4ポイントであった。反対に全体より高かったのは「設計」の3.6ポイントであった。

《地域別》

- 「難しいとは思わない」「易しい」を合わせた割合が全体より低かった地域のうち、中国の7.3ポイントが他地域と比較して全体からの差が大きい。

省エネ基準編 第2章 外皮性能基準について	回答数
難しかった	4,255
難しいとは思わない	4,074
易しい	236
無回答	235
全体	8,800

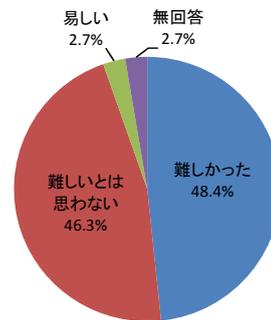


図 6-2-3a 「省エネ基準編 第2章 外皮性能基準」について

	合計 (回答数)	省エネ基準編 第2章 外皮性能基準について (%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	8,800	48.4	46.3	2.7	2.7
施工	530	63.6	30.2	1.9	4.3
(全体との差)		+15.2	-16.1	-0.8	-
現場管理	1,369	56.0	39.7	1.9	2.4
(全体との差)		+7.6	-6.6	-0.8	-
設計	6,022	45.1	49.8	2.8	2.3
(全体との差)		-3.3	+3.5	+0.1	-
その他	821	50.8	43.1	3.8	2.3
(全体との差)		+2.4	-3.2	+1.1	-

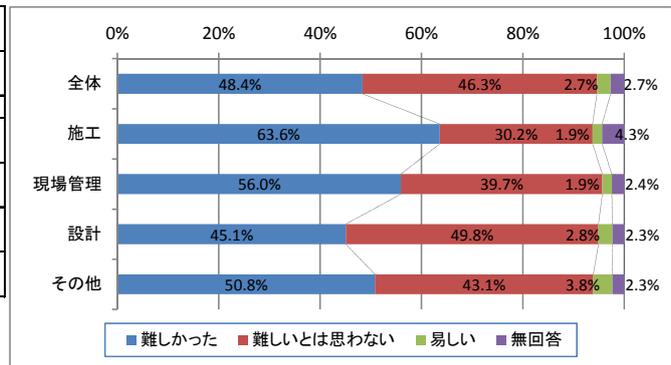


図 6-2-3b 職種別の「省エネ基準編 第2章 外皮性能基準」について

	合計 (回答数)	省エネ基準編 第2章 外皮性能基準について (%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	8,800	48.4	46.3	2.7	2.7
北海道	394	43.4	50.5	2.3	3.8
(全体との差)		-5.0	+4.2	-0.4	-
東北	1,365	47.0	47.3	3.2	2.6
(全体との差)		-1.3	+1.0	+0.5	-
関東	1,998	47.3	46.8	3.5	2.4
(全体との差)		-1.1	+0.6	+0.8	-
北陸	722	52.1	42.9	3.2	1.8
(全体との差)		+3.7	-3.4	+0.5	-
中部	1,353	48.2	46.3	2.5	3.0
(全体との差)		-0.2	+0.0	-0.2	-
近畿	1,096	46.0	49.0	2.5	2.6
(全体との差)		-2.4	+2.7	-0.2	-
中国	687	56.0	40.5	1.2	2.3
(全体との差)		+7.7	-5.8	-1.5	-
四国	324	47.5	45.7	3.7	3.1
(全体との差)		-0.8	-0.6	+1.0	-
九州・沖縄	861	49.5	45.8	1.2	3.6
(全体との差)		+1.1	-0.5	-1.5	-

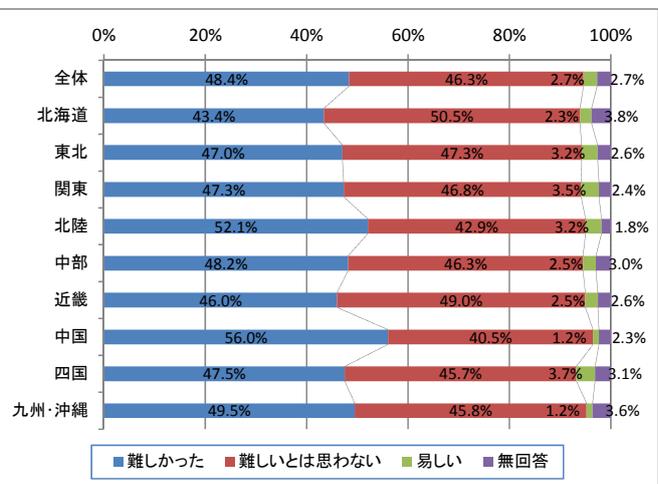


図 6-2-3c 地域別の「省エネ基準編 第2章 外皮性能基準」について

質問15④ 省エネ基準編 第3章 一次エネルギー消費量基準について

- テキスト「省エネ基準編 第3章 一次エネルギー消費量基準」の講義は、「難しいとは思わない」「易しい」を合わせて52.5%であった。「難しかった」は44.3%であった。第2章同様、半数弱の受講者が難しく感じている。

《職種別》

- 「難しいとは思わない」「易しい」を合わせた割合が全体より低かったのは「施工」の18.6ポイント、「現場管理」の8.9ポイントであった。反対に全体より高かったのは「設計」の4.2ポイントであった。

《地域別》

- 「難しいとは思わない」「易しい」を合わせた割合が全体より低かった地域のうち、中国の6.7ポイントが他地域と比較して全体からの差が大きい。

省エネ基準編 第3章 一次エネルギー消費量基準について	回答数
難しかった	3,896
難しいとは思わない	4,335
易しい	283
無回答	286
全体	8,800

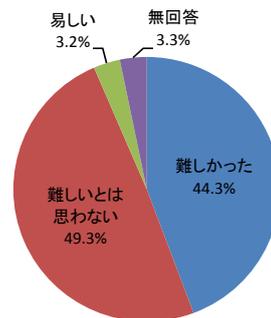


図 6-2-4a 「省エネ基準編 第3章 一次エネルギー消費量基準」について

	合計 (回答数)	省エネ基準編 第3章 一次エネルギー消費量基準について (%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	8,800	44.3	49.3	3.2	3.3
施工	530	61.7	31.7	2.3	4.3
(全体との差)		+17.4	-17.6	-1.0	-
現場管理	1,369	53.2	41.3	2.3	3.2
(全体との差)		+8.9	-8.0	-0.9	-
設計	6,022	40.3	53.4	3.3	3.0
(全体との差)		-3.9	+4.1	+0.1	-
その他	821	48.1	44.8	4.6	2.4
(全体との差)		+3.8	-4.4	+1.4	-

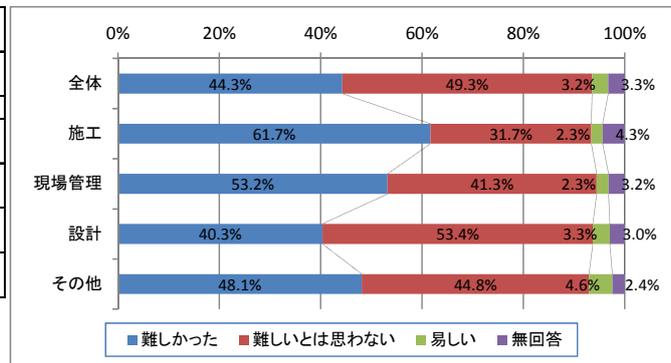


図 6-2-4b 職種別の「省エネ基準編 第3章 一次エネルギー消費量基準」について

	合計 (回答数)	省エネ基準編 第3章 一次エネルギー消費量基準について (%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	8,800	44.3	49.3	3.2	3.3
北海道	394	45.9	48.0	1.8	4.3
(全体との差)		+1.7	-1.3	-1.4	-
東北	1,365	45.4	48.2	3.5	2.9
(全体との差)		+1.1	-1.1	+0.3	-
関東	1,998	42.2	50.3	4.4	3.1
(全体との差)		-2.0	+1.0	+1.1	-
北陸	722	43.5	49.9	4.0	2.6
(全体との差)		-0.8	+0.6	+0.8	-
中部	1,353	44.8	49.0	2.7	3.5
(全体との差)		+0.5	-0.3	-0.5	-
近畿	1,096	40.8	52.9	3.2	3.1
(全体との差)		-3.5	+3.7	-0.0	-
中国	687	51.2	44.1	1.7	2.9
(全体との差)		+7.0	-5.2	-1.5	-
四国	324	42.6	50.3	3.7	3.4
(全体との差)		-1.7	+1.0	+0.5	-
九州・沖縄	861	45.8	48.1	1.9	4.3
(全体との差)		+1.5	-1.2	-1.4	-

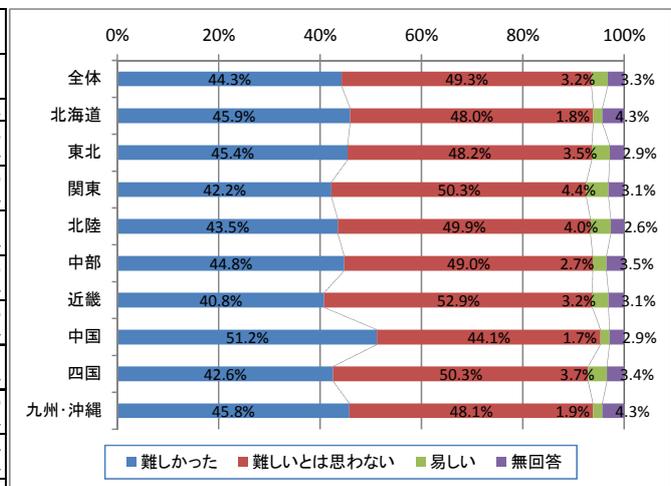


図 6-2-4c 地域別の「省エネ基準編 第3章 一次エネルギー消費量基準」について

質問15⑤ 省エネ基準編 第4章 設計・施工指針について

- テキスト「省エネ基準編 第4章 設計・施工指針」の講義は、「難しいとは思わない」「易しい」を合わせて58.3%であった。「難しかった」は37.6%であった。第2・3章程ではないが、4割弱の受講者が難しく感じている。

《職種別》

- 「難しいとは思わない」「易しい」を合わせた割合が全体より低かったのは「施工」の20.5ポイント、「現場管理」の8.1ポイントであった。反対に全体より高かったのは「設計」の4.1ポイントであった。

《地域別》

- 「難しいとは思わない」「易しい」を合わせた割合が全体より低かった地域のうち、中国の6.6ポイントが他地域と比較して全体からの差が大きい。

省エネ基準編 第4章 設計・施工指針について	回答数
難しかった	3,309
難しいとは思わない	4,827
易しい	300
無回答	364
全体	8,800

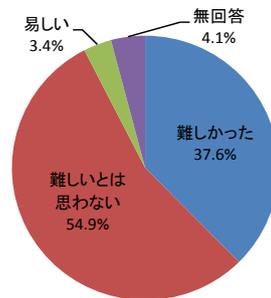


図 6-2-5a 「省エネ基準編 第4章 設計・施工指針」について

	合計 (回答数)	省エネ基準編 第4章 設計・施工指針について (%)			
		難 し か っ た	難 し い と は 思 わ な い	易 し い	無 回 答
全体	8,800	37.6	54.9	3.4	4.1
施工 (全体との差)	530	57.4 +19.8	35.7 -19.2	2.1 -1.3	4.9
現場管理 (全体との差)	1,369	45.0 +7.4	47.6 -7.2	2.6 -0.9	4.8
設計 (全体との差)	6,022	33.9 -3.7	58.9 +4.0	3.5 +0.1	3.7
その他 (全体との差)	821	40.1 +2.5	51.6 -3.2	5.0 +1.6	3.3

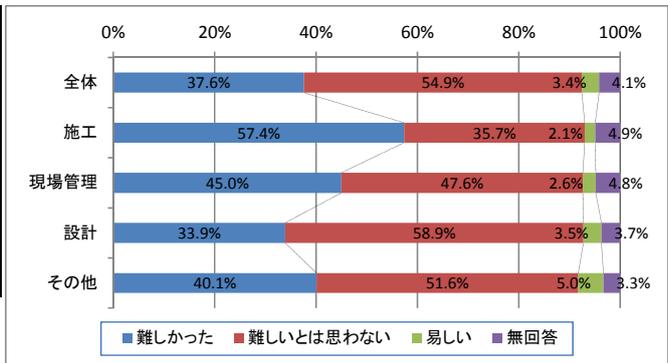


図 6-2-5b 職種別の「省エネ基準編 第4章 設計・施工指針」について

	合計 (回答数)	省エネ基準編 第4章 設計・施工指針について (%)			
		難 し か っ た	難 し い と は 思 わ な い	易 し い	無 回 答
全体	8,800	37.6	54.9	3.4	4.1
北海道 (全体との差)	394	36.8 -0.8	55.8 +1.0	2.0 -1.4	5.3
東北 (全体との差)	1,365	37.9 +0.3	54.7 -0.2	4.0 +0.5	3.5
関東 (全体との差)	1,998	36.7 -0.9	54.8 -0.1	4.7 +1.3	3.9
北陸 (全体との差)	722	39.2 +1.6	52.8 -2.1	3.7 +0.3	4.3
中部 (全体との差)	1,353	36.6 -1.0	56.3 +1.5	2.9 -0.5	4.2
近畿 (全体との差)	1,096	34.2 -3.4	58.4 +3.5	3.6 +0.1	3.8
中国 (全体との差)	687	44.8 +7.2	50.1 -4.8	1.6 -1.8	3.5
四国 (全体との差)	324	37.0 -0.6	54.6 -0.2	3.7 +0.3	4.6
九州・沖縄 (全体との差)	861	38.7 +1.1	53.8 -1.1	1.9 -1.6	5.7

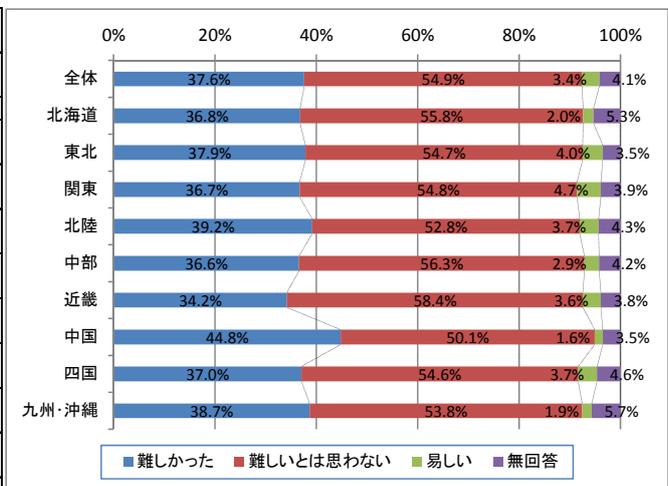


図 6-2-5c 地域別の「省エネ基準編 第4章 設計・施工指針」について

質問 1 6 【施工技術者講習】修了考査について

- 修了考査は、「難しいとは思わない」、「易しい」を合わせて 68.8%であった。「難しかった」は 17.2%であった。

《職種別》

- 「難しいとは思わない」「易しい」を合わせた割合が全体より低かったのは「施工」の 5.1 ポイントであった。反対に全体より高かったのは「現場管理」の 6.3 ポイント、「設計」の 7.5 ポイントであった。

《地域別》

- 東北は「難しいとは思わない」「易しい」の合計が全体より 3.9 ポイント高かった。北海道は全体より 0.4 ポイント高いにとどまった。

修了考査	回答数
難しかった	2,295
難しいとは思わない	7,855
易しい	1,323
無回答	1,854
全体	13,327

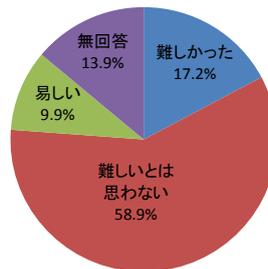


図 6-1-8a 修了考査について

	合計 (回答数)	修了考査について (%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	13,327	17.2	58.9	9.9	13.9
施工 (全体との差)	5,595	21.5	56.4	7.3	14.7
		+4.2	-2.5	-2.6	-
現場管理 (全体との差)	4,380	13.7	63.7	11.4	11.1
		-3.5	+4.8	+1.5	-
設計 (全体との差)	1,790	9.6	61.3	15.0	14.0
		-7.6	+2.4	+5.1	-
その他 (全体との差)	1,369	20.8	54.1	9.8	15.3
		+3.6	-4.9	-0.1	-

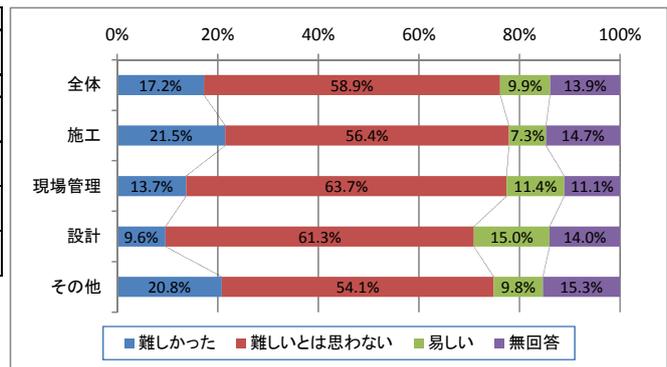


図 6-1-8b 職種別の修了考査について

	合計 (回答数)	修了考査について (%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	13,327	17.2	58.9	9.9	13.9
北海道 (全体との差)	397	18.6	59.7	8.6	13.1
		+1.4	+0.8	-1.4	-
東北 (全体との差)	1,816	14.7	61.8	11.0	12.5
		-2.5	+2.8	+1.1	-
関東 (全体との差)	3,784	17.9	59.8	9.1	13.2
		+0.6	+0.9	-0.8	-
北陸 (全体との差)	679	18.7	57.3	10.0	14.0
		+1.5	-1.7	+0.1	-
中部 (全体との差)	1,844	16.1	57.1	11.9	14.9
		-1.1	-1.8	+2.0	-
近畿 (全体との差)	1,401	16.9	59.0	11.1	13.1
		-0.3	+0.0	+1.1	-
中国 (全体との差)	1,186	18.5	58.9	9.8	12.7
		+1.3	-0.0	-0.1	-
四国 (全体との差)	671	19.5	55.6	6.4	18.5
		+2.3	-3.4	-3.5	-
九州・沖縄 (全体との差)	1,549	17.2	57.6	9.2	16.0
		-0.0	-1.4	-0.7	-

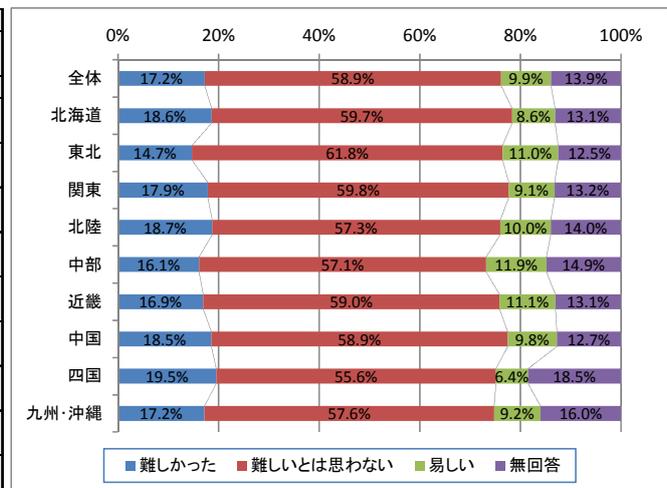


図 6-1-8c 地域別の修了考査について

質問 17 講師の説明についてお聞きします。

《施工技術者講習》

- 講師の説明は、「大変わかりやすかった」「わかりやすかった」を合わせて 46.4%、「普通」も含めると 74.1%であった。
- 「わかりにくかった」「大変わかりにくかった」は合わせて 4.7%であった。
- 無回答は 21.3%であった。

《設計者講習》

- 講師の説明は、「大変わかりやすかった」「わかりやすかった」を合わせて 40.1%、「普通」も含めると 83.1%であった。
- 「わかりにくかった」「大変わかりにくかった」は合わせて 13.9%であった。
- 無回答は 3.0%であった。

講師の説明 【施工技術者講習】	回答数
大変わかりやすかった	1,561
わかりやすかった	4,620
普通	3,694
わかりにくかった	514
大変わかりにくかった	104
無回答	2,834
全体	13,327

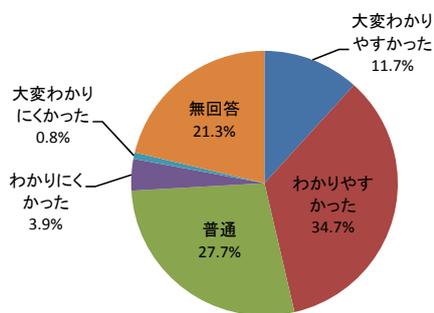


図 6-1-9 講師の説明について【施工技術者講習】

講師の説明 【設計者講習】	回答数
大変わかりやすかった	694
わかりやすかった	2,831
普通	3,786
わかりにくかった	1,026
大変わかりにくかった	197
無回答	266
全体	8,800

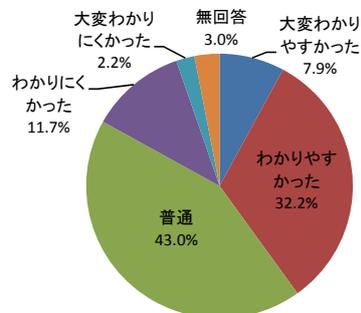


図 6-2-6 講師の説明について【設計者講習】

質問 18 本講習会を何でお知りになりましたか。(複数回答)

- 「会員になっている業界団体から配付されたリーフレットをみて」が 41.7%、「所属業界団体(会社等)からの情報、依頼」が 38.4%、「その他」が 10.1%であった。
- 「各都道府県の地域協議会からの情報」は 9.6%であった。
- 「その他」の内容で主なものは、「インターネットから」が 1.3%、「クチコミ」が 1.6%、「行政関係から」が 0.1%、「公共・公益」が 0.5%、「所属団体から」が 3.0%、「新聞、業界紙等から」が 0.4%であった。
- 「所属業界団体(会社等)からの情報、依頼」については「その他」の中で回答されたものを加えると 41.4%であった。

《職種別》

- 職種別では「施工」、「現場管理」が「所属業界団体(会社等)からの情報、依頼」からの認知経路が最も多く、「設計」は「会員になっている業界団体から配付されたリーフレットをみて」からの認知経路が最も多かった。

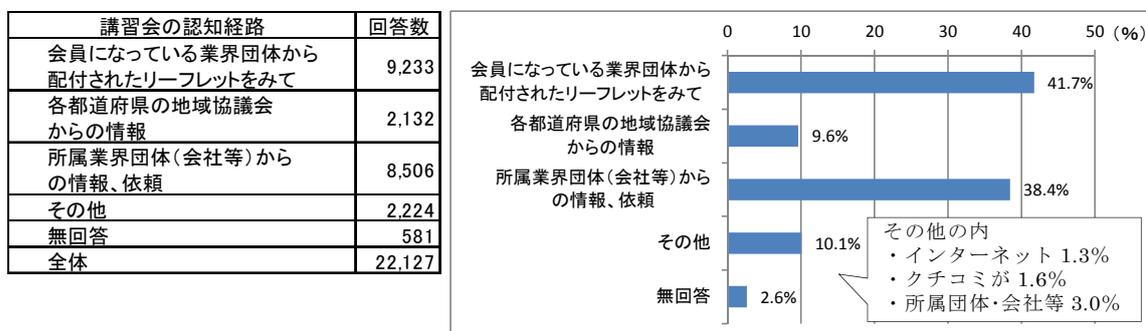


図 8-1a 講習会開催の認知経路

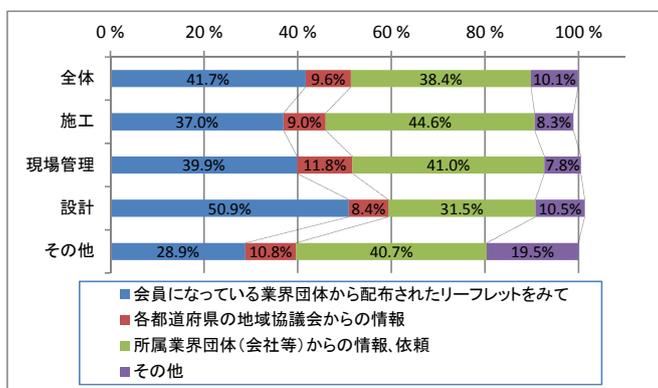


図 8-1b 職種別の講習会開催の認知経路

講習会の認知経路「その他」	回答数			%
	施工C	設計C	総計	
インターネット	111	182	293	1.3%
クチコミ	243	108	351	1.6%
行政関係	13	12	25	0.1%
公共、公益	32	68	100	0.5%
所属団体、会社等	426	236	662	3.0%
新聞、業界紙等	64	28	92	0.4%
他所イベント	22	17	39	0.2%
未分類	74	85	159	0.7%
その他記入有り合計	985	736	1,721	7.8%
その他全体	1,304	920	2,224	10.1%
全体	13,327	8,800	22,127	100.0%

認知経路「その他」記述

質問 19 本講習会に参加された理由・目的は何ですか。(複数回答)

- 「これからの業務に必要または参考にできると思ったから」が最も多く 83.45%、「所属業界団体または会社等から受講を指示されたから」が 17.4%であった。

《職種別》

- 「これからの業務に必要または参考にできると思ったから」が、「設計」のみ全体より高い割合であった。

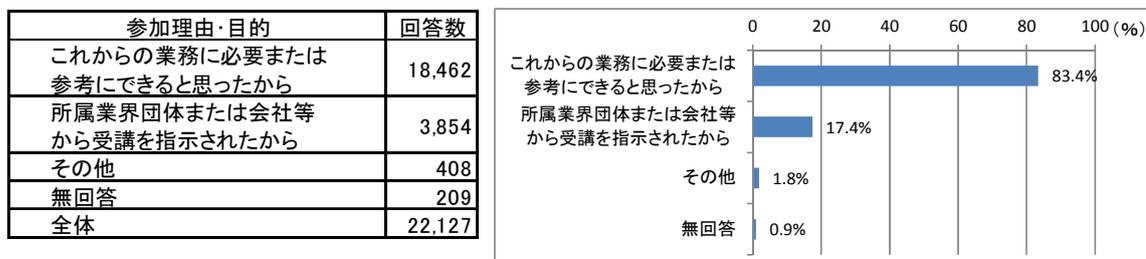


図 8-2a 講習会への参加動機

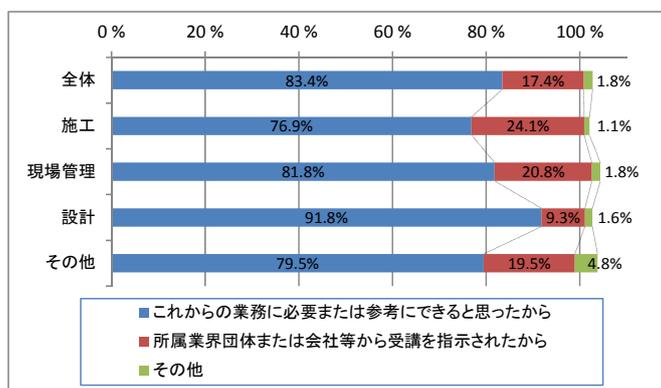


図 8-2b 職種別の参加動機

講習会受講動機「その他」	回答数			%
	施工C	設計C	総計	
必要	15	18	33	0.1%
指示	23	11	34	0.2%
環境志向		1	1	0.0%
興味あり	5	5	10	0.0%
時代に対応	2	3	5	0.0%
指導のため	5	1	6	0.0%
紹介	12	10	22	0.1%
資格のため	18	61	79	0.4%
勉強、再確認、参考のため	38	20	58	0.3%
スキルアップ	11	6	17	0.1%
未分類	27	14	41	0.2%
その他記入有り合計	156	150	306	1.4%
その他全体	213	195	408	1.8%
全体	13,327	8,800	22,127	100.0%

参加動機「その他」記述

講習会参加動機「その他」記述内容	数
必要	33
ゆたつと四国の長期優良住宅の補助金申請に必要だから	1
営業で使用	1
現在計画している家の設計に役立てたいから	1
今の現場に必要	1
今後必要になるから	3
埼玉県長期優良住宅補助金受給	1
社内データ作成	1
受講書が必要になるから	1
設計業務必要	5
地味補助金のため	1
地域ブランドで必需項目だから	1
地域ブランド化事業のため	2
地域ブランド事業にて受講が必修のため	1
町産材利用推進事業公共施設整備のため	1
登録更新に必要なことから	1
当社でこのような施工がはじまっているため	1
同内容の説明会開催のため	1
必要だから	4
必要なので	1
平成25年省エネ基準の内容確認	1
補助金の為	1
補助事業のため	2
指示	34
会社からの指示	12
会社の指示	4
学校から指示されたから	2
強制参加	3
業務命令	1
訓練校から指示	1
工務長の命令	1
社長から	1
社長から言われて	2
社長に行けと言われたから	1
社内で依頼	1
社命	1
上司からの指示	3
無理矢理	1
環境志向	1
森・防木は大切。	1
興味あり	10
どのような講習を行っているのか内容をチェック	3
どんな講習をするか興味があった。	1
加藤一茂さんの話を聞いてみたかった。	1
興味	1
興味本意	1
省エネルギーに興味があったので	1
省エネルギーの将来に興味有	1
断熱リフォームに興味があったから	1
時代に対応	5
2020の基準にむけて	1
義務化にもなるから	1
社会のニーズ	1
法改正による為	2
指導のため	6
各工務店への指導、助言	1
講習会を経て、後輩・同僚に指導していきたい	1
社内に於ける一教育係	1
所屬大工職への指導のため	1
大工さんに知ってもらうため	1
大工へ正しい施工方法をアナウンス	1
紹介	22
すずめられて	1
愛知県建設組合連合	1
愛知県建設労働組合	1
会社の紹介	1
建材店から	1
建築士会	1
建築士専門協会からのメール	2

講習会参加動機「その他」記述内容	数
(紹介つき)	
建築士事務所	1
広島県木造住宅生産体制強化推進協議会	1
講師	1
講師の村上さんから、良いテキストだと聞いたから。	1
講師の方から受講するよう言われた	2
材木屋よりのすすめ	1
事務所協会からの案内	1
遊覧でいい暮らしづくりの会	1
他の大工からの連絡	1
大建労	1
大阪住宅センター	1
知人から	1
郵送されてきたと思う	1
資格のため	79
BIS更新登録の為	36
CPD単位取得	14
CPD単位取得	6
エコアドバイザーの更新講習だったから	2
シカクを取るだけ	1
更新の為	15
更新の持続意志	1
講習終了証が必要な時代と思われるから	1
講習終了証の発行	1
資格の更新講習だったから	1
修了証が出るから	1
勉強、再確認、参考のため	58
25年基準	1
H25仕様を知りたかった。	1
あいまいな知識をなくす	1
とりあえず内容を知る為	1
ボケ防止と最新情報取得	1
より良い施工管理をする為	1
レベルのチェック	1
以前にも同様な講習を受けましたが、(財団)H5年度なので新たに受けました。	1
以前勉強した内容の再確認のため	1
改正省エネの再study	1
基本の確認	1
基本を見直したかった	1
業界団体の施工要領に疑問があったため	1
業務内容の再確認	1
現在行なっている事の確認	1
現場管理上、施工上の留意点について	1
現場管理に際し、より良い建物を施主に提供したく	1
考え方などの確認	2
今までやってきたことの確認。	1
再確認の為	1
参考の為	1
仕事の空きがあったので勉強のため	1
施工の復習で	1
施工方法の再確認	1
自分の知識の再かくにん	1
自分の知識レベルの確認	1
手間のかかるフラット35S仕様で工事してる。	1
売って断熱ブスウールのマト系を入れていか施工性のよい方法があるのか知りたかった。	1
住み替えの際の参考のために	1
省エネルギーの知識	1
省エネ施策の現状把握	3
省エネ断熱等級4の木造を新築する為の勉強	1
常にしている事の確認の為	1
新しい基準を知りたいため	1
新しい断熱工法が変わったようだったので	2
正しい施工をするため	1
正しい施工法を知るため	1
断熱に対する知識があいまい	1
(わかっているようでわかってないのかも?)	1
断熱材の施工に疑問をもっていたから	1

講習会参加動機「その他」記述内容	数
(勉強、再確認、参考のため つづき)	
知っておくべきと思った	1
知識	1
知識、情報蒐集	1
知識が少し古いので勉強です	1
知識として持ち今後仕事に生かすことができればと思ったから	1
知識の取得	1
知識修得の為	1
復習がしたいから	1
復習のため	1
勉強のため	3
勉強の為	4
スキルアップ	17
スキルアップのため	1
スキルの向上	1
一つの職種で仕事をしてく気がないから	1
何か新しいものが。	1
技術向上と協議会への協力	1
建築についてもっと知識を深めたい	1
向学の為	1
自己啓発のため	1
自分自身知識の幅を広げるため	1
生き残り	1
他社との差別化、スキルアップ	1
大工技術向上の為	1
知識UPのため	1
知識の向上	1
知識向上	1
特許取得したものをUPする為、理論整備する為	1
理解を深めるために参加しました。	1
未分類	41
SIPルール	1
インターネット	2
エコポイント	1
つぎあい	1
テキスト取得	1
とりあえず受講しとこうと	1
なし	1
なんとなく	3
パンフレットの内容を見て	1
プログラム開発	1
まずは体験ということで	1
会場が近い	2
基礎断熱をしている	1
既に供給している住宅が省エネ対象商品しかあつていない為。	1
熊土会(インターネット)	2
行って見なきゃわからない!	1
施工することにおいて	1
自家用	1
自電改修のため	1
自分の家を建てるので	1
社内の研修のひとつとして	1
主人が一緒に出ると思うから	1
受講して損はないから	1
受講者(予定者)の代理	1
住宅省エネルギー技術施工も持っていたから	1
省エネ住宅の設計施工の推進	1
人数が足りないから	1
西住会グループの工ム店に受講をうながす為	1
設計の方を受けたいから	1
他の講習会で聞いて一応	2
低炭素住宅について	1
土嚢壁と併用できるか	1
当社では今日の内容は施工しております(充填工法)	1
当方の協力スタッフに受講させたい	1
任意	1

参加動機「その他」記述

質問 20 今回の講習時間についてお聞きします。

- 「ちょうどよい」が最も多く 54.1%、「長い」が 34.7%、「短い」が 6.0%であった。

《講習別》

- 施工技術者講習では、「ちょうどよい」が最も多く 52.5%、「長い」が 39.7%、「短い」が 2.6%であった。
- 設計者講習では、「ちょうどよい」が最も多く 56.6%、「長い」が 27.0%、「短い」が 11.2%であった。

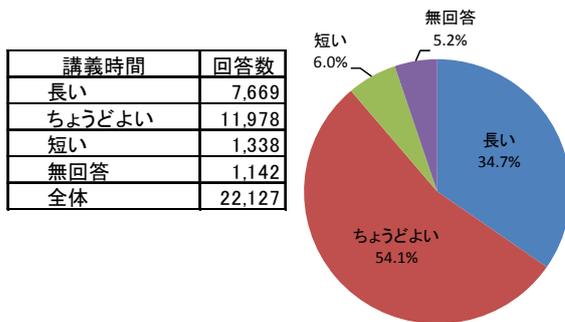


図 8-3a 講習時間の長さの感じ方 全体

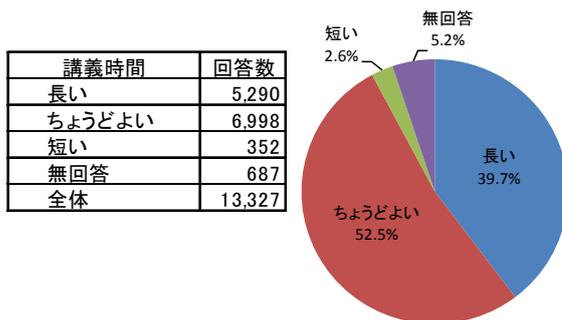


図 8-3b 講習時間の長さの感じ方 施工技術者講習

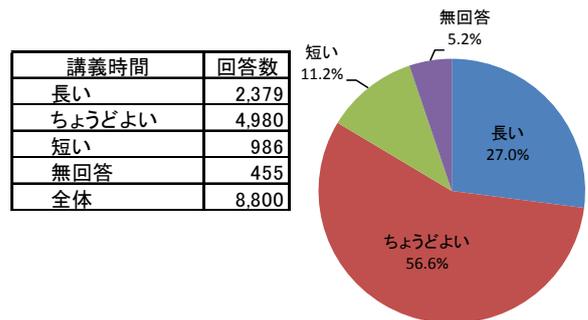


図 8-3c 講習時間の長さの感じ方 設計者講習

質問 2 1 講習会の内容等について、ご意見、ご質問があればご記入下さい。

①施工技術者講習（施工C講習）

●自由記述によって回答された講習会の内容等についての意見、質問を以下の項目に基づいて整理した。また地域と職種が判別できるかたちで記述を一覧表に整理した。

施工技術者講習（施工C講習） 講習会の内容等についての意見、質問	回答数	自由記述 有り %	回答 全体 %
質疑・指摘	91	5.9%	0.7%
○テキストの該当ページが分かるもの	18		
○DVD、模型	6		
○修了考査	3		
○省エネ全般	8		
○工法	1		
○結露	5		
○防湿・気密	16		
○外壁通気	4		
○気流止め	5		
○基礎断熱・床断熱	10		
○床下換気	2		
○壁・開口部まわり	2		
○天井断熱・屋根断熱	4		
○その他	7		
施工手間増・コスト増について	59	3.9%	0.4%
○施工手間増・コスト増	48		
○施工手間その他	11		
これまでの施工方法について	23	1.5%	0.2%
○施工できていなかった	13		
○施工できている	10		
要望・意見など	840	54.8%	6.3%
●教材、修了考査、アンケート	100	6.5%	0.8%
○資料全般	9		
○テキスト	29		
○DVD	13		
○模型	27		
○修了考査	11		
○他の資料・説明の要望	11		
●講習の内容、形態について	297	19.4%	2.2%
○内容重複 不評	25		
○読み上げ講習 不評	33		
○要望 ポイントを絞った説明	11		
○要望 説明順序	3		
○要望 説明箇所が分かるように	2		
○要望 DVD・パワーポイント等映像活用	15		
○要望 具体例・実例による説明	28		
○要望 実習・実演のある講習	11		
○要望 新基準、関連制度の詳しい説明	25		
○要望 質疑応答の時間確保	13		
○要望 受講者の相談窓口	1		
○要望 講習資料の事前配布	2		
○要望 分割講習	8		
○要望 講習会の次の開催、多数開催	12		
○要望 より詳しい内容の講習	27		
○要望 該当地域向け講習	1		
○要望 講習会の分科	6		
○要望 施工者向け講習	2		
○要望 設備、建材等他業種向け講習会	6		
○要望 リフォーム向け講習	17		
○社内教育、情報共有	11		
○要望 講習内容以外の説明	13		
○講習内容への批判	11		
○講習会意義への疑問	6		
○講習内容 その他	8		

講習会の内容等についての意見、質問 施工C講習

(つづき)			
●講習時間、時間割について	92	6.0%	0.7%
○講習時間が不足、説明速い	48		
○講習時間が長い	24		
○時間配分が不適切	20		
●講習会運営に関することについて	78	5.1%	0.6%
○広報・開催案内	14		
○開催時期・曜日	10		
○受講料・修了証発行手数料	5		
○合格者の公開	1		
○講習会場 開催地要望	2		
○講習会場 交通の便悪い	1		
○講習会場 駐車場不備	1		
○講習会場 狭い	3		
○講習会場 空調できてない	7		
○講習会場 マイク無し、不調	13		
○講習会場 暗い	1		
○講習会場 受付段取り悪い	8		
○講習会場 案内図不備	2		
○講習会場 模型見づらい	4		
○講習会場 その他不評	4		
○講習会場 好評	2		
●講師について	85	5.5%	0.6%
○講師の話し方 不評	38		
○講師としての資 不評	30		
○講師の進行 不評	5		
○講師 好評	12		
●受講中の態度・マナーについて	10	0.7%	0.1%
○態度・マナー 講師	2		
○態度・マナー スタッフ	2		
○態度・マナー 受講者	6		
●省エネ施工への理解を求めたい対象について	43	2.8%	0.3%
○大工、職人	17		
○設備工、下職	2		
○設計者、管理者	5		
○建主	12		
○その他の分野	7		
●要制度、特定の工法・材料について	135	8.8%	1.0%
○省エネ施策への批判的意見	31		
○高気密・高断熱	8		
○地域性	11		
○断熱施工	6		
○伝統工法	6		
○特定の工法・材料	73		
受講後の感想など	407	26.6%	3.1%
○(再)確認ができた	17		
○今後が心配	3		
○参考・勉強・為になった、役立つ、良かった	165		
○継続的に学ぶ、また参加したい	24		
○難しかった、わかりにくかった	8		
○わかりやすかった	44		
○感謝	38		
○その他	108		
特になし	102	6.7%	0.8%
不明	10	0.7%	0.1%
自由記述有り 全体	1,532	100.0%	11.5%
回答全体	13,327	-	100.0%

質疑・指摘—テキストの該当ページが分かるもの				18	
地域	職種	項目	記述内容	数	項目
近畿	現場管理	質疑・指摘 テキスト p006	世帯当たりのエネルギー消費原単位と用途別エネルギー消費の推移(P006)の所で冷房が0.5%増えています、エアコン台数で何台ぐらいでしょうか？	18	質疑・指摘 テキストの 該当ページ が分かる もの
中部	現場管理	質疑・指摘 テキスト p050	P50防風材(イ)合板は透湿性が無いのでは？		
近畿	設計	質疑・指摘 テキスト p053	テキストP53気流止め図2の所、床部分に防湿フィルムが記入されている。不要？		
東北	現場管理	質疑・指摘 テキスト p062	基礎断熱工法で行うとき土台を基礎の間に気密パッキンを使用せず断熱を土台まで施工する方法でも良いですか？(P62内張断熱)また基礎断熱工法の時に床下換気口を設けずとありますが、その為の注意点、必要事項等何かありますか？		
関東	現場管理	質疑・指摘 テキスト p062	基礎断熱工法で行うとき土台を基礎の間に気密パッキンを使用せず断熱を土台まで施工する方法でも良いですか？(P62内張断熱)また基礎断熱工法の時に床下換気口を設けずとありますが、その為の注意点、必要事項等何かありますか？		
中部	現場管理	質疑・指摘 テキスト p063	P63の基礎外断熱で防蟻剤入りの断熱材が使用されているが、全国では蟻害にあった例がある。また土壌の薬剤処理では不十分。(効力の低下)		
中部	現場管理	質疑・指摘 テキスト p064	P64基礎貫通部(給排水のスリーブとコンクリートの打継部)、コンクリートのベースと立上りを打継ぐ場合はその打継からの白蟻の侵入に関しての注意の記載も必要かと思う。(基礎内断熱でも蟻害になる!) けっして有効な施工方法ではないのでは？		
近畿	施工	質疑・指摘 テキスト p078,102	テキストP102 P78 気流どめに繊維系断熱材を使用することも可能です。 ただし、筋かいのある壁には使用できません。なぜですか？		
関東	施工	質疑・指摘 テキスト p093	施工技術者講習テキストのP93 寒冷地(I・II)の施工とは？		
中部	設計	質疑・指摘 テキスト p096	テキスト 本編P96・充填断熱工法 右下図 防水テープ(両面)→(片面)ではないでしょうか。		
近畿	現場管理	質疑・指摘 テキスト p098	P98の天井より外壁の断熱を先行となってますが、電気工事のコンセントBOXの取付配線工事を考えると、先に天井野縁工事をし、電気工事の施工後、外壁断熱となるのですが、この方法は施工上難しいと思います。		
近畿	施工	質疑・指摘 テキスト p099	P099 ③野縁の下に別張り防湿フィルムを施工し、右こうボード等で押さえます。 →要するに、2F天井は全面に別張り防湿フィルムの施工が必要とのことですか？		
中部	施工	質疑・指摘 テキスト p100	防湿フィルムの断熱材を2枚かさねると結露するから2枚目は剥すか穴をあけるといのはわかるのですが、テキスト100ページの防湿フィルムの断熱材の下に別張りの防湿フィルムを張るといのは結露しないのですか？		
近畿	現場管理	質疑・指摘 テキスト p127	在来工法でもⅢ～Ⅴ地域では壁防湿フィルムを床合板ではなく床の下乾燥材に留め付けでも良いか。 枠組み工法の場合はOKとのことテキスト127ページ		
関東	設計	質疑・指摘 テキスト p134	テキストP134外壁外張断熱工法(表)工法概要の「既存の外壁がモルタル仕上などの場合は外装材を撤去せずに…」とありますが、実績例が知りたいです。		
関東	現場管理	質疑・指摘 テキスト 別冊p009	テキスト別冊P009中ごろの一次エネルギー消費量とはに続く説明がおかしい様に思います。		
九州・沖縄	設計	質疑・指摘 テキスト 別冊p027	講習のテキスト別冊で省エネルギー基準の低減が可能との表現で床の特例等で断熱性能を低減出来るまでの表現が性能低下とまちがいがちなので、全体的な性能は同等以上であると理解出来る様な表現が望ましくないか？ 他にも施工者目線で理解しにくい部分がある。		
近畿	設計	質疑・指摘 テキスト 別冊p030	テキスト別冊断熱材厚さ早見表(P30～)で6地域のみ3、4の項目が掲載されていない。		

質疑・指摘—DVD、模型について				6	
地域	職種	項目	記述内容	数	項目
東北	設計	質疑・指摘—DVD	DVD名称は「施工法」ですか？「施工方法」ですか？	6	質疑・指摘 DVD、 模型
東北	現場管理	質疑・指摘—模型	モックアップをサイド確認、見に来たいと思いますが可能でしょうか。(施工者を連れて来たい)		
関東	施工	質疑・指摘—模型	模型のサッシ下にテープが貼ってなくて、模型の説明書きには3方となっていたので、どちらが正確ですか？ 自分は4方貼ってます。		
関東	設計	質疑・指摘—模型	カットモデルの充填外壁の透湿防水と断熱材の間の材料が構造用合板が使用されている。 モデルなのに透湿抵抗の高い材料を用いるのは不適当だと思います。		
中部	施工	質疑・指摘—模型	模型の外断熱工法の所に断熱材と断熱材の接合部には気密テープが必要なのでは？と思いました。		
近畿	現場管理	質疑・指摘—模型	模型で、外断熱、ヤネ部分で、ヤネ荷重が全て、断熱材で受けるように、つくられている。これでいいのですか？		

質疑・指摘—修了審査について				3	
地域	職種	項目	記述内容	数	項目
東北	施工	質疑・指摘 修了審査	問14の問題で、ただし書に？不必要とある。(註:施工C1/23山形)	3	質疑・指摘 修了審査
関東	現場管理	質疑・指摘 修了審査	問7の問題文の表現とテキストの表現の違いを感じました。(註:施工C11/12埼玉)		
中国	施工	質疑・指摘 修了審査	問題19の「4%まで」「4%以下」は良いのか？(註:施工C2/13岡山)		

質疑・指摘—テキスト・講習内容について				64	
地域	職種	項目	記述内容	数	項目
東北	設計	質疑・指摘 省エネ全般	H11年省エネ基準やH25基準を満たすメリット、消せない場合のデメリットやペナルティーの有無等について詳しく知りたい。300平方メートル未満の住宅は努力義務…施工主に求められるなければ基準外で良い？ 施工主に代価を払って基準通りの建物を発注する義務があるのか？ ←この辺を詳しく判っていないと営業に生かせない。	8	質疑・指摘 省エネ全般
東北	無回答	質疑・指摘 省エネ全般	H25年度基準の施工後なのに、なぜ長長と平成11年度基準の解説をするのか？		
関東	施工	質疑・指摘 省エネ全般	PM2.5通気(自然給気)これから外気を取り込む際、省エネ施工との関わりがどうなるのか。		
関東	施工	質疑・指摘 省エネ全般	断熱性能を高める事と換気の関連が今一理解できない。		
中部	現場管理	質疑・指摘 省エネ全般	①本日講習を受けた「自然省エネルギー住宅」(夏期・冬期の外気のシャットアウト)への義務化と、 現行の「シックハウス法」(24h外気の導入)とはかなり矛盾しているように思いますが、解釈が間違っているでしょうか？建築主への今後説明も必要になってくると思います。よろしくご回答お願いします。		
中部	現場管理	質疑・指摘 省エネ全般	②省エネルギー住宅と低炭素住宅とはどこが違うのですか？		
近畿	現場管理	質疑・指摘 省エネ全般	断熱と換気のパラメータ？断熱気密は良くなるが床下等換気がどうか？		
中国	施工	質疑・指摘 省エネ全般	換気をすれば外気が入るのでは？		
関東	施工	質疑・指摘 工法	真壁の場合断熱の厚みがうすくなるが、大壁の断熱と同じ性能にするためにどのように施工したらいいか 教えてほしい。	1	
東北	設計	質疑・指摘 結露	断熱材や防湿フィルムの施工時は、天候の悪い時や冬場等湿気が多い時はさけるべきでしょうか？ 又 木材の含水率は何パーセント位から施工した方が良いですか。 (気密性が高く木材等に含まれていた水分が、とじこめられてしまいがちです)	5	
中部	施工	質疑・指摘 結露	断熱材の外壁側で結露するとあったけど、外部に耐力面材を打った場合、面材の内側or外側のどっちで結露する？絵がわかりにくかったです。		
中部	現場管理	質疑・指摘 結露	壁(外部)に構造用合板を貼ると透湿抵抗が高いため湿気の逃げ道が確保できないような気がしますが、考えを教えてください。		
中部	現場管理	質疑・指摘 結露	針葉樹合板は透湿性が悪いと聞きますが壁内に結露が起こる可能性が高いのではないのでしょうか？ ※ダイライトは透湿性も高いらしく当社新築は利用しております。		
中国	設計	質疑・指摘 結露	(図解あり)壁構造の使用材料をすべて、防風、防水、透水性のある材料でやった場合は、室内側に防湿フィルムを使用しない方が、結露の発生がおきなく良いと思うのですが、どうでしょうか？		
東北	現場管理	質疑・指摘 防湿・気密	フィルム付断熱材(グラスウール)を充填断熱の際、高气密目的により、その上に気密フィルムを張ると断熱のフィルムと気密のフィルムの間で汗をかくので、講習の中で筋かいの施工例であげていたフィルムのまま充填し、別張フィルムも施工は、その汗をかく問題をどう対応するのか疑問に思った。そもそも汗をかくのかも不明なので、フィルムが重なる事が良いのか悪いのか知りたいです。	16	
東北	設計	質疑・指摘 防湿・気密	タッカーの使用はフィルムを傷つける場合がある(不適)		
関東	施工	質疑・指摘 防湿・気密	ありがとうございました。質問ですが、山梨県北杜市の気密施工は小淵沢町・朋野以外3地区で施工して本当によろしいのでしょうか？		

関東	設計	質疑・指摘 防湿・気密	気密をとる層の位置は断熱層と関係ない？		
中部	施工	質疑・指摘 防湿・気密	サッシ開口部の断熱材の防湿フィルムを100mmのぼすかわりに気密テープで止めるのは良くないのか。		
中部	現場管理	質疑・指摘 防湿・気密	躯体から洞像をふかしてボードを見る場合、断熱材の縦ジョイントは気密テープを貼っておけば良いのですか？(外壁系直断熱工法の場合)		
中部	設計	質疑・指摘 防湿・気密	Q1. 充填断熱工法の場合壁内部の防湿層は必ず必要か？信州の場合冬季に乾燥し、場所によっては湿度20%以下になる部屋が多い。もし施工するのであれば、湿度の高い部屋(北側の部屋)部分で良いのでは？		
中部	設計	質疑・指摘 防湿・気密	充填断熱の場合、壁内結露の点から外部の面材は合板は透湿抵抗が室内側より大きくなるので、使わない方がいいのでは？(完全な充填断熱が施工可能であれば話は別だが、テキストに合板との記載があったので)材料毎の透湿抵抗値とかも内容に追加してもいいかな。		
近畿	設計	質疑・指摘 防湿・気密	①筋交い部分はグラスウール、防湿フィルム等切らずに筋交いの裏を通す方が良いと思います。切って上から防湿フィルムをかぶせれば、見た目はきれいですが、必ずグラスウールが下がります。		
近畿	設計	質疑・指摘 防湿・気密	②床や壁で内壁や床下合板と断熱材とのスキ間につくるなどとなっていますが、そのスキマが気密されて、対流がおこらないようにされていけば、関係ないと思いますが…外張断熱の壁内と同じ事です。		
近畿	設計	質疑・指摘 防湿・気密	DVDで施工されていたドライライトは合板と同様に気密材として取り扱っても良いのでしょうか。		
近畿	設計	質疑・指摘 防湿・気密	省エネ等級4をとる場合、気密シートを求められると思いますが、今回は防湿フィルムのみでしたが、気密シートは不要ですか？防湿気密シート=防湿フィルムですか？		
中国	現場管理	質疑・指摘 防湿・気密	室内の防湿フィルムを施工する場合は完璧な施工が求められます。厳密に言えばフィルム止めのタッカーの上、フィルムの重なり部分、コンセントBOXの電線を通した穴やCD管などをすべての気密を取らないと湿気はそこから通過してしまふ。そこで完璧な施工を誰がやり又監理をするのか疑問です。		
中国	設計	質疑・指摘 防湿・気密	透湿防水シートの重ね部分はテープで貼るべきでしょうか？		
九州・沖縄	現場管理	質疑・指摘 防湿・気密	気密テープや乾燥木材を使用する点で壁体内の木材の環境が大丈夫かなと心配になりました。		
九州・沖縄	設計	質疑・指摘 防湿・気密	気密シートより透湿可変シートをつかった方がいいんじゃないでしょうか。		
近畿	施工	質疑・指摘 外壁通気	テキストにないですが、バルコニー下の換気ですが、のき下の場合の通気は分かりますが、バルコニー下が屋内(1F天井下)の場合はどうにすればいいですか？	4	質疑・指摘 外壁通気
近畿	現場管理	質疑・指摘 外壁通気	外壁の通気層ですが、外壁材料がサイディングの場合 通気を金具留とする場合があります。この工法でも、通気とみなされますか？木・線でないためですか？		
近畿	現場管理	質疑・指摘 外壁通気	外壁をモルタル壁温式工法の場合通気層はどうに行うのですか？		
九州・沖縄	施工	質疑・指摘 外壁通気	(壁内の痛風を確保する)従来の考え方施工でしたが気密となると木造軸組の場合、木の痛み等に対しての弱点はないのか(V地域の場合)		
東北	施工	質疑・指摘 気流止め	外張り断熱の際、間仕切り部には気流止めが必要ないのではないかな。	5	質疑・指摘 気流止め
関東	施工	質疑・指摘 気流止め	なんで基礎断熱で施工した場合、床の気流止めはいらぬのか？壁体中で対流はしないのか？		
中国	現場管理	質疑・指摘 気流止め	根太上の合板をすき間なく、外へき面まで、などありますが、実際に施工からクレームによくある床鳴りの元にならぬのです。の様なよくクレームにある内容と合わせた方法や、工法を教えてください、よろしくお願いいたします。		
四国	施工	質疑・指摘 気流止め	施工の場所(屋根野地板の下垂木の間)に施工すると結露が発生することがある。		
九州・沖縄	現場管理	質疑・指摘 気流止め	施工の際すき間の気流の道を完全に見極めできない場合がある可能性があり得る。実際、完全密閉できたが完成した後も分かりにくいです。		
東北	無回答	質疑・指摘 基礎断熱・床断熱	床断熱で根太間のみ断熱でも大引間のみ断熱でもII地域の仕様規定で必要な熱抵抗値は確保できないのではないかな？	10	質疑・指摘 基礎断熱・床断熱
関東	施工	質疑・指摘 基礎断熱・床断熱	基礎機密パッキンは表用とし、基礎じかではまずいでしょうか？防蟻処理をしてあれば問題ないように感じられます。		
関東	施工	質疑・指摘 基礎断熱・床断熱	断熱基礎ならば、結露と水蒸気についても少し話があってもいいと思います。社内でもですが、水蒸気の認識はかなりずれはありました。スキマと水蒸気と結露のメカニズムがわからないと、応用力がある工事は行えないのではないかな？		
関東	現場管理	質疑・指摘 基礎断熱・床断熱	基ソ断熱で壁の充填断熱のとり扱いについてさきがない。		
関東	設計	質疑・指摘 基礎断熱・床断熱	床材の断熱施工においてジョイント部(短辺方向)の処置は特にしないでいいのでしょうか。(突付だけ)で将来垂るむと思います。		
関東	設計	質疑・指摘 基礎断熱・床断熱	玄関土間コンクリート下への断熱材敷込みは、以前の知識として、地熱の考慮があるのではないかなと思っただけですが、いかがですか。		
近畿	施工	質疑・指摘 基礎断熱・床断熱	ユニットバス下の土間は断熱しなくてよいのか？コンクリート下にスタイロフォームなど先に入っているのか？基礎だけ断熱でよいのか？4立法メートル以上あるのでは？		
中国	現場管理	質疑・指摘 基礎断熱・床断熱	玄関土間断熱において、10分1を越える場合(総床面の)基礎立上り断熱の場合、納まりに支障がないようにする方法はありますか？		
四国	現場管理	質疑・指摘 基礎断熱・床断熱	基礎断熱の場合、換気システムが必要と聞いたことがありますかどうでしょうか？		
九州・沖縄	現場管理	質疑・指摘 基礎断熱・床断熱	基礎パッキンの断熱補修について分かりにくかった。通常、通気パッキンを使用してると思われるので、どの様に補修するのか教えてほしい。		
中部	施工	質疑・指摘 床下換気	・床下を室内とみなす考えと従来の床下換気口をもうける方法とではどちらがいいのでしょうか？	2	質疑・指摘 床下換気
中部	施工	質疑・指摘 床下換気	お風呂という湿気の多そうな床下を密閉してしまふと木材が腐るんじゃないかと心配です。強制換気等必要かな？		
東北	施工	質疑・指摘 壁・開口部まわり	開口部廻りの気密テープ(両面)、サッシ、通気シートの正確な順序を知りたい。	2	質疑・指摘 壁・開口部まわり
関東	設計	質疑・指摘 壁・開口部まわり	タスキ掛け筋違の場合の断熱材のカット方法は？		
関東	施工	質疑・指摘 天井断熱・屋根断熱	カットモデルの外断熱の屋根面に、ポリスチレンフォームが使われていたが、高温での変質は考慮しなくて良いのでしょうか？	4	質疑・指摘 天井断熱・屋根断熱
近畿	設計	質疑・指摘 天井断熱・屋根断熱	天井断熱の場合、天井点検口は、断熱用点検口が必要ですか。		
中国	現場管理	質疑・指摘 天井断熱・屋根断熱	屋根の断熱施工について、大引間断熱のように、桁の間にボード状の断熱材を入れて、断熱材の上から継ぎ目部分に気密テープを貼る施工ではダメなんでしょうか？		
九州・沖縄	現場管理	質疑・指摘 天井断熱・屋根断熱	和室の天井の場合の施工方法はどのようにすればいいですか？別張防湿フィルムをはると施工できません。		
東北	現場管理	質疑・指摘 その他	1.この講習会受講は義務化になるのですか？	7	質疑・指摘 その他
東北	現場管理	質疑・指摘 その他	2.一度の受講だけで、更新はないのですか？		
関東	施工	質疑・指摘 その他	いずれは、義務化されるのでしょうか？検査のタイミングがむずかしいどの程度義務するか？奨励で終わってしまうのか？高機密住宅とは違いがあるのでしょうか？		
北陸	現場管理	質疑・指摘 その他	断熱材を使用しない住宅は不可能なかな教えてほしい。		
中国	設計	質疑・指摘 その他	5年間の講習ですが、10/1より改正省エネ(1年半経過)後の説明会補足はありますか(H11年基準がなくなるのでは)		
九州・沖縄	施工	質疑・指摘 その他	材の経年劣化で起こる断熱性能の低下を見極めるには？		
九州・沖縄	現場管理	質疑・指摘 その他	シャ熱シートの使用で断熱性能は変わらず施工できますか？		

施工手間増・コスト増について

59

地域	職種	項目	記述内容	数	項目
東北	施工	施工手間増・コスト増	現場で働くんですけど いままで通りでなく 手間がかかります。それには別途工事、部門をつけてもらいたい	48	施工手間増・コスト増
東北	施工	施工手間増・コスト増	材料の予算が十分必要だと思う。		
東北	施工	施工手間増・コスト増	現場の工期と工賃さえ正しく確保されればとくになし。		
東北	現場管理	施工手間増・コスト増	現実的にむずかしいのでは、気流止めと云えど輝度ある施工では手間での今の大変、工単価UP出来ればと思います。でも、出来る工夫はせねばなりません。		
東北	現場管理	施工手間増・コスト増	正しい内容で施工するのは当たり前ですが、先輩の大工さんと(熟練者)などに説明をし施工してもらおうのは少し難しいと感じました。		

東北	現場管理	施工手間増・コスト増	建物価格が高くなってしまいます。施主に意識がないと「高価でも必要な仕様」との認識がないと負けてしまいます。ローコストでも実現出来る手法を考えてほしい。又、残材も安くなってほしいです。
東北	設計	施工手間増・コスト増	気密防湿フィルム施工は手間がかかりそう。
関東	施工	施工手間増・コスト増	完璧に断熱するには金がかかる大変な問題
関東	施工	施工手間増・コスト増	技術は良いと思いますけど手間がかかりすぎと思う
関東	施工	施工手間増・コスト増	省エネルギー施工に対しての人員費やコスト面施工後の検査の事がなにも説明がないのでメーカー説明などと逃げの説明でなくきちんと講習会ないでの説明をしてほしい
関東	施工	施工手間増・コスト増	施工手間が上ればより断熱施工ができる。
関東	施工	施工手間増・コスト増	防火、ファイヤーストップ等のかねあひ。施工単価の上昇が心配。断熱材の値下が必要。
関東	施工	施工手間増・コスト増	実際の現場にあった施工方法になっているかは疑問で、手間を増えた分の施工費ほどのように反映できるか(手間として元請からもらう)不安です。
関東	現場管理	施工手間増・コスト増	コストが高くなる気がします。
関東	現場管理	施工手間増・コスト増	理論は大工さんがわかっているが大工R手間と弘毅めんどうなどの理由、間柱の位置がわからないので耳はかぶせられないほど現場の問題が大きいと思います。
関東	現場管理	施工手間増・コスト増	大変勉強になりました。コストは上がりますが、施主様にとっては良い事です。これからも何かと講習会に参加させて頂きたいです。
関東	現場管理	施工手間増・コスト増	提供する側は、高断熱・高気密する費用がすくつかさんで、お客さんのお金の事を気にしてしまふ。
北陸	施工	施工手間増・コスト増	坪単価が上がると思う。真壁の家が建てられなくなる。100%施工は難しいと思う。
北陸	施工	施工手間増・コスト増	設計見積の時に、施工費を上げないと無理。
北陸	現場管理	施工手間増・コスト増	コストの問題をどうするかが課題。良い断熱材、サッシ=高い、そこが1番の問題。←講習会とはあまり関係ないかもしれません。
北陸	設計	施工手間増・コスト増	断熱のよしあしは認識しているが、施主様の理解と予算が課題となる。
中部	施工	施工手間増・コスト増	・正しい断熱施工方法等をするには、単価アップが必要で他の職人も知ることがいる。施工管理者の知識がいる。
中部	施工	施工手間増・コスト増	建築業者だけでなく電気、設備業者も同じ講習が必要なのでは？設備部品の断熱材が建築業者の全負担に鳴りかねない現場での施工費をどちらが負担になるか？問題になると思います。
中部	施工	施工手間増・コスト増	講習はどれも細かい所まで理解できたがどれも手間や時間がかかることばかりなので、施工する業者にもそれなりの手当や賃金が必要になってくると感じました。
中部	施工	施工手間増・コスト増	断熱材の施工にここまでコストを本当にかけられるかが疑問です
中部	施工	施工手間増・コスト増	本当に施工するには、10年かかりそうですね。費用、工事費等が施主に全て掛かっていくので、良い物を追求するのは良い金です。
中部	現場管理	施工手間増・コスト増	建物価格が高くなってしまいます。施主に意識がないと「高価でも必要な仕様」との認識がないと負けてしまいます。ローコストでも実現出来る手法を考えてほしい。又、残材も安くなってほしいです。
中部	設計	施工手間増・コスト増	施工手間がかかるということも一般の人にP.R.して下さい。省エネ施工をすることはお金がかかるので、価値があるということもP.R.してください。以上国に対しての要望です。
中部	その他	施工手間増・コスト増	予算があっても時間がかけられるのならば喜んで施工する。しかし現実にはそこがネックとなっていて、より簡便な方法の開発に期待している。大事なものは費用対効果。
近畿	現場管理	施工手間増・コスト増	手間がかかる。コストがあがる！
近畿	その他	施工手間増・コスト増	こんなに完璧にしたらさぞかしお金がかかるだろうと思った。はたしてそこまで完璧にしている業者がいるだろうか疑問です。
中国	施工	施工手間増・コスト増	省エネ施工については理解できるが現場でテキスト通りに施工するには相当な労務費負担が生じてくる。手間請けで坪単価の中で断熱施工込みで手間賃が決まれば今以上に泣くのは現場の大工職である。理想と現実とは結びつかない。
中国	施工	施工手間増・コスト増	施工コストが上昇する分、手間上げをしては、苦しいのみです。元請けは、建築の中で、断熱を建築大工と分離するよう、働きかけをして欲しいです。
中国	施工	施工手間増・コスト増	坪単価が上がると思う。真壁の家が建てられなくなる。100%施工は難しいと思う。
中国	現場管理	施工手間増・コスト増	コストとのバランス(今までやっていないところのコスト差の明示化)
中国	現場管理	施工手間増・コスト増	施工施行管理者の目から見ると施工と費用(予算)とのバランス取りが非常に難しい部分があるときました。正しい施行を行うために考えたいと思います
中国	現場管理	施工手間増・コスト増	ハウスメーカーが資金低下を促進する部分が多いと感ずる。施工者が少ないなどの声を聞くが、質が落ちるかそれを作らない考えで接してもらいたい。学習した技術を物品値段で評価しているようにも見えるが・・・。設計単価の見直しで質は上がる可能性大と考えるが・・・。
四国	施工	施工手間増・コスト増	断熱工法は理想ではあるが工事費用が高くなり無理があるのでは？
四国	現場管理	施工手間増・コスト増	費用面の差額が出るのが？住宅価格へのUPはしづらいです。
九州・沖縄	施工	施工手間増・コスト増	実際の木造住宅工法、手加工の場合、取り合いがむずかしい場合が多々あると思います。工法通りの工事を行う為には場所によっては現在の工法とすれば、数倍手間がかかるが現在の大工職人の手間の内訳は一式となっている。年々工事内容が複雑になり手間が増加するばかりであり、工賃は据え置かれたままである。そのようなことから工法通りの仕事をしたくても出来ない。このようなことを行政の力で改革してもらいたい。又担い手育成が出来ない。
九州・沖縄	施工	施工手間増・コスト増	正しい意見だと思うが、現実では単価がネックになり、施工点で問題になると思います。ありがとうございました。
九州・沖縄	施工	施工手間増・コスト増	離島に対する措置を(金額面や材料単価)を考えて欲しい。どうしても運賃などの悩みがある。内地と同じような単価で施主に家を作るような環境を作りたいです。
九州・沖縄	現場管理	施工手間増・コスト増	大工手間が大幅にアップされることが予想されますが、その分の手間賃を支給できるかどうか心配です
九州・沖縄	現場管理	施工手間増・コスト増	内容は参考になりましたが、実際行うには難しい部分もあると思いました
九州・沖縄	設計	施工手間増・コスト増	言ってることは解る。法律もわかる。でも新基準だと断熱材の厚みが必要になるので、コストがかかる
九州・沖縄	設計	施工手間増・コスト増	気密防湿フィルム施工は手間がかかりそう。
九州・沖縄	その他	施工手間増・コスト増	断熱材の施工時、果たしてマニュアル通りに出来る・するだろうか(手間がかかる等)。
九州・沖縄	その他	施工手間増・コスト増	坪単価を上げる事
東北	施工	施工手間	実際に本日のマニュアル通り施工するにはむずかしい点も少しありそうだ！！
関東	施工	施工手間	実際に本日のマニュアル通り施工するにはむずかしい点も少しありそうだ！！
関東	現場管理	その他	見習いもいるので、わかつたうえで進むのは難しい
関東	その他	その他	断熱工事の職種があるから単価をわかりやすくし、一般的に知らせる。
北陸	その他	その他	断熱工事の職種があるから単価をわかりやすくし、一般的に知らせる。
中部	施工	その他	まともにはやれない
中部	その他	その他	研修での断熱の施工方法はわかりましたが今までの家づくりと比べて金額的にどれだけ差があるのかを出して頂けたらもっとわかりやすかったと思います。家を建てるのはお客様なのでその方々に説明しやすくするために大工手間の増加は当然だが、木材建材費の増加ほどの程度になるのか・・・次世代省エネの気密住宅を現場管理してきたが、今までやった事のない工務店、一人親方ではむずかしいのでは？
近畿	設計	施工手間	なかなかそこまで出来ません
九州・沖縄	その他	施工手間	研修での断熱の施工方法はわかりましたが今までの家づくりと比べて金額的にどれだけ差があるのかを出して頂けたらもっとわかりやすかったと思います。家を建てるのはお客様なのでその方々に説明しやすくするために省エネルギー住宅については少し細く判りずらい所もある。今後やはり、高性能な仕様の物になるのであれば、資格制度を導入してより高度な施工をできる立場の職人を確立してほしい。
関東	施工	施工手間	そしてそれなりの報酬を得るべきではないのだろうか？

11 施工手間
その他

これまでの施工方法について 23

地域	職種	項目	記述内容	数	項目
関東	施工	施工できていなかった	間違った施工をしていたところがあり、今後の参考となりました	13	施工できていなかった
関東	施工	施工できていなかった	今迄は施工方法が建材屋さん等から聞いただけの知識しかなかったが、それがまちがっていた点などもあり、今日は大変為になる1日でした。講習会に申し込んで良かった。		
関東	施工	施工できていなかった	正しい施工方法がわかって良かったです。		
関東	無回答	施工できていなかった	まだ一般的には断熱施工について詳細がなかったのが本格的に普及していくことが大事なことだと本当に普及すべきものであると思います。これまでは正しい施工ではありませんでした。		
北陸	現場管理	施工できていなかった	たいへんばきょうになりました。自分の思い込みが訂正された。		
中部	施工	施工できていなかった	改めて正しい施工を勉強できて非常に役立った。長い目で見てと耐久性etcで心配な事もある。今までの施工とはやり方を変える必要が多かった。		
中部	施工	施工できていなかった	間違った施工をしていたところがあり、今後の参考となりました		
中部	現場管理	施工できていなかった	改めて省エネ、断熱について考えるキッカケとなりました。今までの施工方法では不足している所を直していきたいと思います。		
近畿	施工	施工できていなかった	今までやっていた事が、正確ではなかった事がいくつかあり大変な事になりました。ありがとうございました。		
中国	現場管理	施工できていなかった	天井用断熱で防湿フィルムが必要とは知らなかった。注文したらセットで納品されるよう指導をする必要がある。		
四国	現場管理	施工できていなかった	今までの施工方法は正しくなかった部分も多いので職人さんと一緒に現場で正しく施工していくいい機会になりました。ありがとうございました。		
九州・沖縄	現場管理	施工できていなかった	筋かい部への施工など知らなかったことがあり為になりました。正しく施工しなければ効果が得られないし、住宅の寿命も短命になるので、正しく施工することをきまにめいして施工します。		
九州・沖縄	現場管理	施工できていなかった	防湿層の連続をこれまで無視してきたので改めさせられました。		
北海道	設計	施工できている	普段やっていることなので難しくなかったが、再確認出来て良かった。	10	施工できている
東北	現場管理	施工できている	普段やっている事なので、今さら今回のような講習を受けなければならないのかと思った。講習の内容、構成をもう少し考えてもいいのでは？		
関東	施工	施工できている	いつもやっています		
関東	施工	施工できている	いつもやっています		
関東	現場管理	施工できている	11-3(1)は正しく施工しているため、解答しません。		
中部	現場管理	施工できている	会社で長期優良住宅・省令準耐等をしており、十分、省エネに対応していると思います。これらもよく勉強して、長く会社が長くようががんばりたいと思います。		
中部	その他	施工できている	いつもやっている事はゆえ講習してなおいっそうりかみ出来てたいへん良かった。		
近畿	現場管理	施工できている	普段からしている事でした		
九州・沖縄	施工	施工できている	講習内容と施工している内容が同じであったので・・・		
九州・沖縄	現場管理	施工できている	外断熱で施工しています。やり方はまちがっていませんでした。		

要望・意見などー資料全般について 9

地域	職種	項目	記述内容	数	項目
東北	その他	資料全般	改めてわかりやすいテキスト・DVDが出来たことに感謝しております。活用していきたいと思います。	9	資料全般
関東	現場管理	資料全般	DVD、テキスト、模型の三重でわかりやすかった。		
関東	現場管理	資料全般	解説もわかりやすくモデルやDVDを使ってさらにわかりました		
関東	設計	資料全般	図や写真、モデルなどたいへんわかりやすかったと思います。		
北陸	現場管理	資料全般	DVD、模型等をみるのはとてもわかりやすかった。全体的にも勉強になった。		
北陸	設計	資料全般	テキストの内容はわかりやすく、施行の注意点も確認できた。しかし、模型がテキストの内容と異なり、困惑してしまう。		
近畿	設計	資料全般	テキストがカラーで図も多く分かりやすい。実物モデルがあるので理解しやすい。		
中国	設計	資料全般	DVD、テキストは分かりやすい内容でいいものだと思う。		
四国	設計	資料全般	テキスト・DVD・カットモデルで充分に説明がされていて頭に入りやすかった。		

要望・意見などーテキストについて 29

地域	職種	項目	記述内容	数	項目
東北	施工	テキスト 要望	・テキストは地域ごとに分かれているものがほしい(全地域一纏めと分けてほしい)	6	テキスト 要望
北陸	現場管理	テキスト 要望	テキストの図はもう少し大きく詳細にしてほしい。		
中部	施工	テキスト 要望	テキストに文字だけでなく図や写真が載せてあってわかりやすかったです。写真をより大きく、鮮明にしてみたいと思えます		
中部	現場管理	テキスト 要望	テキストは充填断熱と外張断熱は完全に別にした方がわかりやすいと思う。		
九州・沖縄	現場管理	テキスト 要望	今、ネグレス工法(合板床)が多くあるので、ネグ施工と同等に内容をのせてほしい。		
九州・沖縄	設計	テキスト 要望	テキストを簡素化し時間内に終わるように(全て)してもらいたい		
東北	現場管理	テキスト 不評	ほとんどのテキストに書いていない断面がある。1F居室で2Fがベランダの場合の断熱方法、今回のテキストにも記載がない・・・。(空気の流れと気密)	7	テキスト 不評
東北	設計	テキスト 不評	テキスト別冊(オレンジ)の内容は難しい。具体例を組み合せながら、事例を紹介しながら時間をかけて講義して頂きたい。		
関東	施工	テキスト 不評	引用している表、グラフがかなり古い物が多かった。		
関東	設計	テキスト 不評	テキストに詳しい写真が不鮮明だった。よくわからない。		
近畿	施工	テキスト 不評	外壁通気層から軒天へぬける所の説明がなかった。軒天の下地もスリットが必要なのだろうか図説にもなかった。		
近畿	現場管理	テキスト 不評	テキストの誤りを早急に直したほうが良い		
九州・沖縄	設計	テキスト 好評	テキストの写真が荒くて見にくかった	16	テキスト 好評
北海道	設計	テキスト 好評	テキストはわかりやすい。今まで不明確だった部分が明確に理解できた。		
東北	その他	テキスト 好評	テキストが非常にわかり易くて大変良いと思えます。施工主への啓蒙もこのテキストを活用したいと思いました。		
東北	現場管理	テキスト 好評	資料がわかりやすくてできていたので聞き逃しがあっても安心していただける。		
東北	その他	テキスト 好評	テキストが大変わかりやすく今後も活用させていただきます。		
東北	現場管理	テキスト 好評	テキストはわかりやすくまとめられていたのでよかったです。		
関東	その他	テキスト 好評	本日はありがとうございました。建築についてまだ分からない事が多い私ですがテキストも見やすく、とても勉強になりました。		
関東	設計	テキスト 好評	・参考資料はわかりやすくページ単位での空間もありOKでした		
関東	施工	テキスト 好評	チェックリストは良い		
関東	設計	テキスト 好評	テキストが良くできていました。		
関東	設計	テキスト 好評	テキスト・講義ともとてもわかりやすかったです。		
近畿	現場管理	テキスト 好評	テキストはすごくわかりやすかった。		
近畿	施工	テキスト 好評	省略する部分が多かったがテキストがわかりやすかった為満足しています。		
近畿	現場管理	テキスト 好評	テキストが見やすく時間配分も良く感じた		
中国	現場管理	テキスト 好評	資料がわかりやすくてできていたので聞き逃しがあっても安心していただける。		
九州・沖縄	現場管理	テキスト 好評	端部納り等の図示写真等があり、わかりやすかった。		
九州・沖縄	現場管理	テキスト 好評	テキストは解りやすく作成してあった。		

要望・意見などーDVDについて 13

地域	職種	項目	記述内容	数	項目
東北	施工	DVD 要望	気流止め、天井防湿層が必要。かなりの効果がある部分の説明をDVD等に入れると頭に残りやすい。また、施工の撤定につながるのかと思う。	3	DVD 要望
東北	その他	DVD 要望	DVDについてH11でなく最新のH25にとったものが見れたら良かったです。		
九州・沖縄	現場管理	DVD 要望	DVDの画質向上。		
東北	施工	DVD 不評	DVDの内容のあまりの質の低さにつかり、素人か、間違い多過ぎ。もっと全体の内容を専門的にするべき。	2	DVD 不評
四国	現場管理	DVD 不評	DVDを見て思った事。断熱材施工時には、マスクは必要と思う。筋かい金物が少ないと思う。		
東北	現場管理	DVD 好評	DVDがわかりやすい	8	DVD 好評
東北	現場管理	DVD 好評	DVD講義の方がわかりやすかった。		
東北	その他	DVD 好評	DVDはVeryGood!		

関東	施工	DVD 好評	講習DVDは分かりやすく参考になった		
関東	現場管理	DVD 好評	DVDはわかりやすかったです。		
関東	設計	DVD 好評	DVDは良かった。		
中部	施工	DVD 好評	DVDの方が言葉、図よりわかりやすかったです。DVDみながら解説でもよいかと思います。		
中国	現場管理	DVD 好評	DVDが分かりやすかったです。		

要望・意見などー模型について

27

地域	職種	項目	記述内容	数	項目
東北	施工	模型 要望	・模型はもっと大きいほうがいい	7	模型 要望
東北	現場管理	模型 要望	模型をもっとよく見たかったです。やっぱり大きい方がわかりやすかったです。		
関東	施工	模型 要望	断熱のモデルがもう少し大きいと、より分かりやすいのではないかと思います。		
関東	無回答	模型 要望	模型は実物の方がいい。	10	模型 不評
中部	設計	模型 要望	模型による解説と実際にきちんと施工されている現場を見る事が出来れば施工精度の向上につながると思う。		
中国	設計	模型 要望	模型での講義をもう少し詳しく行ってほしい。		
九州・沖縄	現場管理	模型 要望	カットモデルの中に入って見学したかった。		
東北	現場管理	模型 不評	テキストは大変わかりやすいと思うが模型が不十分であると思われる		
東北	現場管理	模型 不評	模型が小さく解りにくい		
東北	設計	模型 不評	模型を使っの講習が見えなくて分かりづらかったです。		
関東	施工	模型 不評	目がタイ(DVD)模型がわかりづらい		
関東	施工	模型 不評	模型の説明や模型本体をキチンと作り、キチンと説明してもらいたかった。		
関東	施工	模型 不評	教材模型がまちがった施工もっていた		
関東	現場管理	模型 不評	模型のリアル感が無く、細かい所がわかりづらい。	10	模型 好評
中部	現場管理	模型 不評	モケイがよくない。		
中部	設計	模型 不評	カットモデルは最新版に作り直した方がよいと思われる。		
中国	施工	模型 不評	実物モデルが小さい。		
関東	現場管理	模型 好評	模型の説明を受け、とても良く理解できた。改めて現場で打合わせし新基準に対応できるようにしたい。		
関東	設計	模型 好評	断熱材のモデル棟もありテキストのみよりわかりやすかったです。		
関東	設計	模型 好評	講師の先生、建築士会の方々お世話になりました。		
関東	設計	模型 好評	模型は良かった。		
関東	その他	模型 好評	断熱のモデルを見たりして、実際のイメージに近い形で受講出来たことが大変良かったと思います。今日はありがとうございました。		
中部	現場管理	模型 好評	カットモデルが分かりやすかった。		
中部	現場管理	模型 好評	これからの施工に関して知っておかなければいけない実行してって義務化に対応したいと思う。模型まで用意されたのはすばらしい		
近畿	現場管理	模型 好評	もれいの見学が良かった		
中国	施工	模型 好評	模型があったのでわかりやすかった		
四国	施工	模型 好評	実物での講習で見てわかりやすかった。		
九州・沖縄	施工	模型 好評	キケイ説明がわかりやすかった。		

要望・意見などー修了考査について

11

地域	職種	項目	記述内容	数	項目
関東	無回答	修了考査 要望	考査の時間がもう少しほしかったです。	3	修了考査 要望
中部	設計	修了考査 要望	・考査問題解説で、各問題の最初に、〇×を言って頂けたらと思いました。(最初に解答表が配られていましたらよかったです)		
近畿	施工	修了考査 要望	修了考査の時間がもう少し欲しい。	7	修了考査 不評
北海道	設計	修了考査 不評	考査の解説が少し・・・		
北海道	設計	修了考査 不評	終了考査むすかしすぎます。時間不足です。		
東北	施工	修了考査 不評	(工教的に)テストはむすかしかった。テキストを見ても時間が足りなかった。		
関東	施工	修了考査 不評	(工教的に)テストはむすかしかった。テキストを見ても時間が足りなかった。		
関東	施工	修了考査 不評	修了考査はしっかりとして下さい。ふざけんな！！		
中部	現場管理	修了考査 不評	修了考査が、かんたんすぎる。これでは、断熱施工のレベルアップは無理！これで省エネ施工技術者と、名のるの、どうかと思います。		
中国	その他	修了考査 不評	考査も思っていたより難しかった。テキストのどこに書いてあるか探すのに時間を取られてしまった。施工経験のある方なら、そんなに難しくはなかったのかも。		
九州・沖縄	現場管理	修了考査 好評	考査後の答え合わせは良いと思います。	1	修了考査 好評

要望・意見などー他の資料・説明の要望

11

地域	職種	項目	記述内容	数	項目
中部	現場管理	現場用の簡易資料	現場施工者に対して簡単に説明できる紙面等があるとよいと思う。	2	現場用の簡易資料
中国	現場管理	現場用の簡易資料	現場での施工を末端まで伝えていく必要があるので、現場で使いやすいマニュアルがあればいいなと思います。	3	コスト情報
東北	施工	コスト情報	コスト面でも知りたい。コストのわからなくて良い物知りたかった。		
東北	現場管理	コスト情報	各断熱工法において標準コストを明記されてはどうでしょうか。		
九州・沖縄	現場管理	コスト情報	断熱方法の違いによる性能の差とコストの差が知りたい。	2	計算プログラム・ソフト
北海道	設計	計算プログラム・ソフト	U値等の計算ソフトの入手		
四国	設計	計算プログラム・ソフト	今後も続けてほしい。公開しているソフトもDVDの中へ入れて配布して頂くとうれしいです	1	その他
北陸	施工	その他	結露の発生中実験のビデオがあれば、もっと参考になると思います。		
中部	施工	アンケート	質問11の1、垂木下にプラスチック系を貼る。		
中部	その他	アンケート	質問11-1垂木下への施工は?	3	アンケート
中国	施工	アンケート	質問11の1、垂木下にプラスチック系を貼る。		

要望・意見などー講習の内容、形態について

297

地域	職種	項目	記述内容	数	項目
東北	現場管理	内容重複 不評	DVDを見た後に再度テキストで同じことを説明されるのは時間のロスなので、ポイントに絞った説明が良いと思った。	25	内容重複 不評
東北	現場管理	内容重複 不評	テキストと読み上げるだけではDVDの内容だけで時間短縮できると思う		
東北	設計	内容重複 不評	講義、DVD、模型解説で重複している部分があったので、可能ならそれを効率よくまとめて、もっと細かい部分の説明が聞けるとなお良かった。		
東北	設計	内容重複 不評	答え合わせは必要ですか？ちょっと何回も同じことでもどい感じがしました。		
東北	その他	内容重複 不評	DVDと講師説明ががぶつていて時間のムダだと思う。8割がDVDを見れば済む内容であった。DVDの完成度が良かったのか・・・		
関東	施工	内容重複 不評	重複する話が多すぎた。DVDをみてほとんど内容が飲み込めた		
関東	その他	内容重複 不評	テキストの読み上げとDVDが基本の講習。には長すぎる。DVDは配布しているのだから、講習内での放映は、不要と感じる。		
関東	その他	内容重複 不評	ボリュームのある内容で、1日では足りないと思いました。1日で終わらせるのであれば、第3章の施工で重複する内容やリフォームについてカットしてはどうでしょうか。		
北陸	設計	内容重複 不評	施工方法のぐりかえし説明は必要ない。ビデオとテキストのへい用で1回で良い。		
北陸	その他	内容重複 不評	考査の解説は、問題を読み、テキストを読みと、同じことを2度もしくは3度も繰り返す必要はないです。		
中部	施工	内容重複 不評	DVDと3、4章の講義内容が同じだったのでポイントだけの説明でよいのではとも思いました。		
中部	施工	内容重複 不評	DVDの内容と講義内容が全く一緒な所はどちらか一方にした方がよいです。		
中部	設計	内容重複 不評	施工方法のぐりかえし説明は必要ない。ビデオとテキストのへい用で1回で良い。		
近畿	施工	内容重複 不評	○DVDを見る必要があるのか？(説明が同じ事を言いつづ時間のムダ) ○どちらかにするべき！ ○断熱材施工の事しか考えていない様に思う！		
近畿	施工	内容重複 不評	13:00~15:15分 ムダ、DVDで聞いた。		
近畿	施工	内容重複 不評	同じ内容の話がおおすぎる。		
近畿	施工	内容重複 不評	施工についてはDVDでみるので説明は不要。逆にわかりにくい説明であった。		
近畿	現場管理	内容重複 不評	模型について講師は事前に確認して説明のポイントを明確にしておく必要があると思う。DVDの内容と午後一の内容ががぶつてるのでムダだと感じました。		

近畿	設計	内容重複	不評	午後の講義とDVDの内容、模型の内容が重複していた。	
中国	施工	内容重複	不評	DVDだけでよかった。	
中国	施工	内容重複	不評	同じことを説明しすぎ。	
四国	施工	内容重複	不評	おじさんじゃだめ！DVDだけでええわあ。短時間ですます！	
九州・沖縄	現場管理	内容重複	不評	講師の方の話は、DVDやテキストとほぼ同じなので、テキストに書いていないことや、実際の現場での様子などを話してほしい。	
九州・沖縄	現場管理	内容重複	不評	テキストに何回も同じ事が書いてある。	
九州・沖縄	設計	内容重複	不評	講習(講師による説明)とDVDの内容が重複しているので、どちらか一方の採用とし、その時間で模型による説明を長くしてほしい。	
北海道	設計	読み上げ講習	不評	もっと詳細な内容かと思いました。テキストを読み上げるだけなら、テキストの配布だけで良いのでは？	33
東北	施工	読み上げ講習	不評	テキスト読むだけの講師に何の意味があるのかわからない。特に前半。	読み上げ講習
東北	施工	読み上げ講習	不評	出来れば教科書丸読ではなく、先生方の体験談や考えを聞きたいと思いました。	
東北	施工	読み上げ講習	不評	本を読むだけの講習会なら、なんの意味もない。講師も必要ない。	
東北	現場管理	読み上げ講習	不評	DVD、カットモデルは大変良かったが、座学にてのテキスト棒読みは良くないと思う。	
東北	現場管理	読み上げ講習	不評	ただテキストを読み進めるだけで無く掘り下げ部分をもう少しうけた方がよいと思う。	
東北	現場管理	読み上げ講習	不評	テキストが有るので、自宅学習という事もありますが、午前の部の講習に関しては、テキスト棒読み状態でした。もうちょっと考えてほしいと思います。	
東北	現場管理	読み上げ講習	不評	講習を聴いていて、テキストを読みあげるだけなら、この長い時間は必要ないと思います。	
東北	その他	読み上げ講習	不評	αアルファの内容の濃いものが多いです。(午後の人はよかった)	
関東	施工	読み上げ講習	不評	時間の都合があるのかもしれませんがテキストを當るだけの内容になっていて物足りなかつたです。	
関東	施工	読み上げ講習	不評	テキストを読んでいるだけで講習会としての意味が無い	
関東	現場管理	読み上げ講習	不評	孝氏の方がただテキストを見て読み上げただけの様でした。他に何か別のやり方でもよさそう	
関東	現場管理	読み上げ講習	不評	ですけど…。模型は現実に見てさわれるのでよかったと思います。	
関東	現場管理	読み上げ講習	不評	テキストの棒読み、これなら、テキストさえあれば、自分でもできる	
関東	現場管理	読み上げ講習	不評	テキスト棒読み、はたして講師の方 必要ですか？	
関東	現場管理	読み上げ講習	不評	テキストを読むだけの講習では意味がない！	
関東	無回答	読み上げ講習	不評	資料の読み上げだけであれば、あらかじめ用意したDVDを観るだけでよい。その方が時間がキッチリできる。(他の講習でこの方法でスムーズに進んだ)	
北陸	設計	読み上げ講習	不評	ただテキストを読み上げるだけの講師はいかがなものか？	
中部	施工	読み上げ講習	不評	本を読んでいるだけで意味がない。	
中部	現場管理	読み上げ講習	不評	テキスト通りに話される講習なら聞く必要があるのかどうかかわりません。	
中部	現場管理	読み上げ講習	不評	講師も下を向いてかばってもない自分しかもっていない書類を読むだけでよくわからない場合もありました。	
中部	設計	読み上げ講習	不評	講師の方の説明がテキスト棒読みでした。もう少しテキストにない情報も盛り込まれると良いのではないかと。	
近畿	施工	読み上げ講習	不評	テキストを読む講義は非常にわかりにくい。(読むのか、聞くのか、考えるのか、全てを同時期ではできない)。この形なのであれば、全てDVDで十分だと思います。もっと講師の方の伝え方や、経験で伝えてもらった方が記憶に残る。	
近畿	現場管理	読み上げ講習	不評	厳しい意見ですがテキストを読むだけの講習は不必要かとDVDを見れば理解出来ます。	
近畿	現場管理	読み上げ講習	不評	講師の人の話はテキストを読むだけで意味がない	
近畿	現場管理	読み上げ講習	不評	この手の講習で非常に多いがテキストを読むだけなら講師は必要ない。わざわざ時間を割いて来ている受講者に失礼だと思う。	
近畿	現場管理	読み上げ講習	不評	テキストをそのまま読むだけの講習なら、テキストの配布だけで十分なので、講習の意味がない。講師も予習しておいてほしい。その場で思いつきで話していた。	
近畿	設計	読み上げ講習	不評	内容は良いと思いますがテキストをダラダラ読んでいるので印象に残るものがなかった。	
近畿	設計	読み上げ講習	不評	もう少しメリハリが欲しかった。模型はわかりやすかった。	
中国	設計	読み上げ講習	不評	特に3章の後半は早口にテキストを読んだだけなので、内容をもっと掘り下げたか、時間短縮をされてもいいのではと感じました。	
中国	設計	読み上げ講習	不評	テキストを読むだけで辛かつたです。省エネ層に対応する例を少しでも聞きたかった。	
四国	現場管理	読み上げ講習	不評	テキストの朗読ではなく、ポイントポイントを説明するほうが理解度は上ると思った。	
九州・沖縄	現場管理	読み上げ講習	不評	孝氏の方がただテキストを見て読み上げただけの様でした。他に何か別のやり方でもよさそうですね。	
九州・沖縄	現場管理	読み上げ講習	不評	模型は現実に見てさわれるのでよかったと思います。	
九州・沖縄	現場管理	読み上げ講習	不評	テキストを読むだけの講習は必要ない。	
九州・沖縄	現場管理	読み上げ講習	不評	又、テキストの棒読みの講義内容では少々物足りない。	
九州・沖縄	その他	読み上げ講習	不評	1時間目の先生が教科書を読んでいるだけだったので、もう少し要点をまとめて話していただければ。	
九州・沖縄	その他	読み上げ講習	不評	重要なポイントが全くわかりませんでした。	
東北	その他	読み上げ講習	不評	本を読みあげるだけなら講習会は必要ない。	
東北	その他	要望 ポイントを絞った説明	不評	AMの部の説明はテキストの説明だった。読めばわかるのでPMの部の様にポイントを教えて欲しい。	11
関東	現場管理	要望 ポイントを絞った説明	不評	テキストがわかりやすかつたが、解説が単調であり身に入らなかつたです。	要望 ポイントを絞った説明
関東	現場管理	要望 ポイントを絞った説明	不評	テストに出るポイント以外にももっと詳細な説明がほしかつたです。	
関東	現場管理	要望 ポイントを絞った説明	不評	特に注意が必要な所や、法の改定の重点項目など、もっと強調したほうがもっとわかりやすいと思います。	
関東	現場管理	要望 ポイントを絞った説明	不評	解説がただ流れているので、記憶に残りにくいです。時間内で説明するのは無理がありますが、もう少しまとめてほしいです。	
関東	現場管理	要望 ポイントを絞った説明	不評	説明しきれない部分でも必要があるならとって要点をつける。意味の説明がよくわからない。どうして必要なのかを考えてもらえなければ、解説とはならない。受講者に要点をつめこんだレジュメをわたす必要がある。	
関東	設計	要望 ポイントを絞った説明	不評	若干聞きづらい。説明というよりは、資料の説明のようで要点がおさえられていない。	
近畿	現場管理	要望 ポイントを絞った説明	不評	講師の方々には、もう少し講習内容を整理していただいて話をしてもらえると良かったと思います。	
近畿	設計	要望 ポイントを絞った説明	不評	急ぎすぎるので、あまりできないであろう、わかりにくいであろう、部分を集中的にする方が身に付く気がするのですが…。	
中国	現場管理	要望 ポイントを絞った説明	不評	実際にあった事例をまじえての内容は、大変勉強になりました。来場者は大半がプロですのでもう少し、テキストをばしょってポイントだけでも、もっと解りやすいのでは…	
九州・沖縄	設計	要望 ポイントを絞った説明	不評	もう少し効率よくできればありがたいです。	
九州・沖縄	その他	要望 ポイントを絞った説明	不評	普段施工などをやっていなくて、施工に関する知識が無いままに、講義を受けたので、出来れば全体的な浅い説明ではなくて、Pointを絞り込んだ、深い話が良かったと思います(テーマを明確に決めて…)	
関東	設計	要望 説明順序	不評	DVDは第3章の後が良いと思う(まず聞いてから目で見ると良い)	3
北陸	設計	要望 説明順序	不評	テキスト3章断熱施工の講義の後に、施工DVDを見た方が、より理解が深まると感じた。	要望 説明順序
近畿	施工	要望 説明順序	不評	VTR(DVD上映)を一番にしたほうがよいかもしれない	
東北	その他	要望 説明箇所が分かるように	不評	資料説明の時ページの流れを説明しながら解決して欲しい	2
九州・沖縄	その他	要望 説明箇所が分かるように	不評	資料説明の時ページの流れを説明しながら解決して欲しい	要望 説明箇所が分かるように
北海道	設計	要望 DVD・パワーポイント等映像活用	不評	DVDの方が圧倒的に伝わりやすく覚えやすいと思いました。	15
東北	現場管理	要望 DVD・パワーポイント等映像活用	不評	DVDがわかりやすかつたので、そういうのを中心に解説していけばよいのでは。	要望 DVD・パワーポイント等映像活用
北陸	現場管理	要望 DVD・パワーポイント等映像活用	不評	DVDとテキスト同時進行のほうがわかりやすいと思います	
近畿	施工	要望 DVD・パワーポイント等映像活用	不評	DVDを見るだけでいいのでは？	
近畿	現場管理	要望 DVD・パワーポイント等映像活用	不評	講師によるテキスト読み聴せよDVD等で講習した方がよい。	
近畿	現場管理	要望 DVD・パワーポイント等映像活用	不評	全範囲をDVDで網羅し、要所(重点、補足など)を講師による講義という形式がより分かりやすく、より短時間で終了できるのではないかと考えます。	
近畿	現場管理	要望 DVD・パワーポイント等映像活用	不評	本よりDVDや実物見学が判りやすい	
中国	現場管理	要望 DVD・パワーポイント等映像活用	不評	プロジェクターがあるので、講師の説明の時に説明しているイラストを画面に映した方がよい。	
中国	設計	要望 DVD・パワーポイント等映像活用	不評	テキストの説明もDVDにすればもう少し時間が短縮できると思います。	
中国	設計	要望 DVD・パワーポイント等映像活用	不評	DVDをより活用してスピーディーにしていきたいです。	
関東	現場管理	要望 DVD・パワーポイント等映像活用	不評	講師がテキストを読んでいるだけでなく、プロジェクターがあるので、それを利用した講習会(たとえばパワーポイントで資料を作った)が良いのではないかと。	
北陸	施工	要望 DVD・パワーポイント等映像活用	不評	ポイントを使った講習会	
近畿	その他	要望 DVD・パワーポイント等映像活用	不評	テキストを読むだけではなくパワーポイント等を使って講習してもらったほうがよいのではないかと。	
近畿	その他	要望 DVD・パワーポイント等映像活用	不評	パワーポイントを使用した説明にした方がよりわかりやすいと思う。	

中国	施工	要望 DVD・パワーポイント等映像活用	ポイントを使った講習会		
北海道	その他	要望 DVD・パワーポイント等映像活用	OHP等にて説明した方がよい		
東北	現場管理	要望 具体例・実例による説明	断熱施工なので、充填、外張断熱等の内容にもっと入りこんだ内容や実際の現場などのスライド等があれば良いかな？	28	要望 具体例・実例による説明
東北	現場管理	要望 具体例・実例による説明	断熱材の性能、必要性は理解出来そうですが、木造の躯体への影響、費用、空調設備(結露)具体的に、		
東北	設計	要望 具体例・実例による説明	より具体的な施工の説明であれば、もっとわかりやすい。DVD、スライドを見ながら説明していただくことよいのではないかな。		
関東	施工	要望 具体例・実例による説明	現場によってテキスト通りの施工が困難な状況があると思いますが、こういった場合には、こう対処するといった応用的な説明が欲しいと思いました。		
関東	施工	要望 具体例・実例による説明	完成してからの穴あけ工事の仕方等を教えてもらいたい。		
関東	施工	要望 具体例・実例による説明	電気配線や水廻り等の引渡前での追加工事依頼の時の対応策など、電気配線や建具との細かい気密の納め方など、様々な事例も知りたかった。		
関東	現場管理	要望 具体例・実例による説明	今日の趣旨とは違うのかもしれませんが、施工の具体的なポイントよりも考え方を詳しく説明した方が応用が効くのではないかと思います。		
関東	現場管理	要望 具体例・実例による説明	次世代省エネ基準を満たす為にはグラスウールだと何キロで厚みが何センチ必要だ等といった具体的な表現が必要だしわかりやすいと思う		
関東	現場管理	要望 具体例・実例による説明	また、断熱材の施工不良により発現現象(長期的な部分で)を詳しく知りたい。(データ等あれば)		
関東	現場管理	要望 具体例・実例による説明	施工説明は現場写真等を用いて頂くと、理解し易いかも。		
関東	設計	要望 具体例・実例による説明	断熱というテーマに沿った講義ではあったが現場の諸条件諸事情を加味した対策が具体的な例として必要だろうと感じた。		
中部	施工	要望 具体例・実例による説明	できれば実際の施工事例(現場)をふまえてのよい例、悪い例などがあると分かりやすくて良いのではないかと思います。		
中部	施工	要望 具体例・実例による説明	もう少し事例をあげてほしい。		
中部	施工	要望 具体例・実例による説明	下地の段階での仕事量が多いので、仕上材等と合わせて断熱・気密等が取れる方法を考えてほしいものです。		
中部	現場管理	要望 具体例・実例による説明	間違った施工事例によりどんな問題が起きるか写真でも説明してもらえるとより注意しなければと思う。		
中部	現場管理	要望 具体例・実例による説明	間違った施工事例によりどんな問題が起きるか写真でも説明してもらえるとより注意しなければと思う。		
中部	現場管理	要望 具体例・実例による説明	講師の方は、テキストを読む以外に具体的な話をして頂ければ分かりやすかったのでは？テキストを読むだけなら自分にもできます。		
中部	設計	要望 具体例・実例による説明	効率がよく低予算で出来る断熱・気密の施工例をもっと教えてほしい。		
近畿	施工	要望 具体例・実例による説明	今回のような講習は設計監理者には良いが実際断熱材を施工する作業者にとっては制度や数値の話ではなく具体的に適切に施工できる技術講習会の方が良いのではないかと思います。		
近畿	現場管理	要望 具体例・実例による説明	具体的な断熱材、気密材などの特性メリット、デメリットなどが聞ければ良かった。		
近畿	現場管理	要望 具体例・実例による説明	モデルハウスにて現場説明及勉強会の実施希望します		
近畿	設計	要望 具体例・実例による説明	現場において、よく間違った施工がある点を特に説明して欲しい。		
中国	現場管理	要望 具体例・実例による説明	テキストを読むだけでなく、もっと具体的に例をあげて説明してほしい。		
中国	現場管理	要望 具体例・実例による説明	本テキスト通りの施工だと、技術的に厳しい所があったので、施工例があれば見てみたいと思いました。		
中国	設計	要望 具体例・実例による説明	別冊の内容で見本例があれば良い。計算例(旧と新の比較も)		
九州・沖縄	現場管理	要望 具体例・実例による説明	正しくない施工法で断熱した場合の具体的な症状を写真とDVDで明示してほしい。		
九州・沖縄	設計	要望 具体例・実例による説明	気密を高めると結露は大きな問題があるので、その部分今まで、今後(法施行後)の違いについて具体的な部分		
九州・沖縄	設計	要望 具体例・実例による説明	屋根～天井～外壁～床・基礎について、最低限基準を満たす断熱材の選択、施工方法例の組み合わせ例をまずは教えて欲しい。(もっともローコストで施工性の良い方法として)外断熱、赤土、それぞれ。		
東北	現場管理	要望 実習・実演のある講習	実例をもっと取り入れた講習会にしてほしい。講習のレベルも基本とその上と分けるなりにしてほしい。	11	要望 実習・実演のある講習
東北	設計	要望 実習・実演のある講習	8-1,2,3についてのコメント→もっと詳細に実例でやらないか。どの程度の使用の断熱材を使用したら良いのか？実務的な説明があっても？		
東北	その他	要望 実習・実演のある講習	断熱材・サッシメーカーなどの協力を得て、実際の現場講習があれば理解しやすいと思う。		
関東	その他	要望 実習・実演のある講習	テキストの説明はいい感じがします。実際は自分たちで施工体験が良かった。		
中部	設計	要望 実習・実演のある講習	実際の現場でレクチャーしてほしい。		
中部	その他	要望 実習・実演のある講習	施工実務体験講習会の開催をお願いします。本日は大変勉強になりました。ありがとうございます。(株)共和 鈴木		
近畿	現場管理	要望 実習・実演のある講習	実習だけで十分だと思う。バスがロータリーで待っててもよかった。		
中国	施工	要望 実習・実演のある講習	実務的講習会をしてほしい。		
九州・沖縄	施工	要望 実習・実演のある講習	現場(家の仕組み)があまりよくわからない(見習い)のでテキストだけじゃわかりにくい。現物で講習してくれたらありがたい。		
九州・沖縄	設計	要望 実習・実演のある講習	特に注意が必要な箇所については実際に模型を使った作業を見せてほしい。		
九州・沖縄	その他	要望 実習・実演のある講習	施工体験ができればいいなと思いました		
東北	施工	要望 新基準、関連制度の詳しい説明	H25判断基準について、H11との変更点の対比などあれば知りたい。	25	要望 新基準、関連制度の詳しい説明
東北	現場管理	要望 新基準、関連制度の詳しい説明	改正省エネ基準(H25)についてもっとくわしく説明がほしい。		
東北	現場管理	要望 新基準、関連制度の詳しい説明	平成25年度省エネルギーのモデルを(例)を知りたいと思います		
東北	設計	要望 新基準、関連制度の詳しい説明	午後からの部が内容がわからず聞いていけなかった(省エネ関連)省エネ基準について詳しく知りたかった		
関東	現場管理	要望 新基準、関連制度の詳しい説明	25年省エネルギー基準のロードマップの詳しい説明がきたかったです。基準のほいけいや義務化がいつからかなど。		
関東	現場管理	要望 新基準、関連制度の詳しい説明	25年度の省エネ基準に対する説明を詳しく聞きたかった。		
関東	現場管理	要望 新基準、関連制度の詳しい説明	改正省エネ基準(H25)についてもっとくわしく説明がほしい。		
関東	現場管理	要望 新基準、関連制度の詳しい説明	平成25年度省エネルギーのモデルを(例)を知りたいと思います		
関東	設計	要望 新基準、関連制度の詳しい説明	H25年省エネルギー基準の情報が何かあればお伺いしたかった。		
関東	設計	要望 新基準、関連制度の詳しい説明	午後からの部が内容がわからず聞いていけなかった(省エネ関連)省エネ基準について詳しく知りたかった		
関東	設計	要望 新基準、関連制度の詳しい説明	普段と全く変わらない。H27年基準をもっとくわしく知りたかった。		
関東	その他	要望 新基準、関連制度の詳しい説明	H25、省エネ法の講習も内容に入れてほしいです		
北陸	設計	要望 新基準、関連制度の詳しい説明	今回は新基準の断熱性能などについても聴講できるかと思いますが、そうではなかったのですね。		
北陸	設計	要望 新基準、関連制度の詳しい説明	支援制度の開設の点ですが、金利、税制優遇はわかるのですが、住宅省エネラベル、CASBEEについての利点等も時間があたらしく説明があったらと思います。		
中部	設計	要望 新基準、関連制度の詳しい説明	H11年省エネ基準は10月で廃止となり、新省エネ基準となるため、新省エネ基準の内容でDVD、講義があったら良かった。		
中部	設計	要望 新基準、関連制度の詳しい説明	今回は新基準の断熱性能などについても聴講できるかと思いますが、そうではなかったのですね。		
中部	設計	要望 新基準、関連制度の詳しい説明	支援制度の開設の点ですが、金利、税制優遇はわかるのですが、住宅省エネラベル、CASBEEについての利点等も時間があたらしく説明があったらと思います。		
中部	その他	要望 新基準、関連制度の詳しい説明	テキストはわかりやすかった。新しい省エネ基準についてがなかった。		

近畿	施工	要望 新基準、関連制度の詳しい説明	25年度から新体制になるのであれば、そのあたりを詳しく教えていただきたいかった。DVDはもらえてたすかります。		
近畿	現場管理	要望 新基準、関連制度の詳しい説明	かんじんなH25省エネについて「見ておいてくれ」はいいかげんに思う。これを聞きたいと思っていたのに。		
近畿	現場管理	要望 新基準、関連制度の詳しい説明	平成25年省エネ基準の内容の詳細についてもっと詳しく知りたいです。(低炭素)		
近畿	設計	要望 新基準、関連制度の詳しい説明	H25年度省エネ基準と、以前の基準が混在していて、少し混乱する。		
近畿	設計	要望 新基準、関連制度の詳しい説明	新省エネ基準(L値)に付いてもっと教えて欲しい。		
中国	現場管理	要望 新基準、関連制度の詳しい説明	だいたい良かったが、もう少しマニュアル通りにしない事例等々、もっと突っ込んだ話しも聞きたかった。新基準(25年省エネ)をもっと解説してほしい。		
四国	現場管理	要望 新基準、関連制度の詳しい説明	今後の改正される内容について、くわしく聞きたかった。わかりやすい資料や講習会で理解できるようにしてもらえると助かります。		
東北	施工	要望 質疑応答の時間確保	時間内で終わらせるにはむずかしいとは思いますが、時々質問を聞いてくれるとわかりにくい事があったときに良いのではないかと思いました。	13	要望 質疑応答の時間確保
東北	現場管理	要望 質疑応答の時間確保	質疑応答が必要だと思います。		
東北	現場管理	要望 質疑応答の時間確保	質問10について、時間が少なくて説明が大変そう。質問受付時間が各章の後にあった方が良いと思う。		
関東	現場管理	要望 質疑応答の時間確保	質問10について、時間が少なくて説明が大変そう。質問受付時間が各章の後にあった方が良いと思う。		
関東	現場管理	要望 質疑応答の時間確保	質問時間が欲しい。		
関東	その他	要望 質疑応答の時間確保	短時間にあまりに多くのことを取扱いすぎると思う。質問の時間が全くないの？		
北陸	設計	要望 質疑応答の時間確保	質ギの時間がほしい。		
中部	現場管理	要望 質疑応答の時間確保	講習の始めに「ここでは質問は受け付けできません。」と言われるような講習会に参加したのは初めてです。本当に施行技術の向上を目指していますか？		
中部	その他	要望 質疑応答の時間確保	講師に質問をする時間を作ってほしい。		
近畿	施工	要望 質疑応答の時間確保	個人的に質問の場を設けて頂き丁寧な説明をして頂いた事にも満足しています。		
近畿	現場管理	要望 質疑応答の時間確保	意見交換等あった方が良いと思います。		
近畿	設計	要望 質疑応答の時間確保	講習会なのに質疑応答がないのはどうなのでしょう？カットモデルがわかりにくい。		
中国	設計	要望 質疑応答の時間確保	直接質問の時間がないのであれば、講習会の形で行う必要があるのでしょうか？		
九州・沖縄	現場管理	要望 受講者の相談窓口	標準的な納まりや仕様については理解できたが、自社の断熱状況の改善点は要検討だと感じた。今後の相談先などがあれば良いと思う。	1	要望 受講者の相談窓口
東北	施工	要望 講習資料の事前配布	資料が自前にあれば良いと思います。	2	要望 講習資料の事前配布
関東	施工	要望 講習資料の事前配布	資料が自前にあれば良いと思います。		
関東	現場管理	要望 分割講習	この本2冊理解するには時間がなすぎ。数回に分けて講習の必要ありと思います	8	要望 分割講習
関東	設計	要望 分割講習	設計者であるが、東京の池田先生にすめられ参加しました。大変勉強になりました。が、かけ足での講習だった為、何回かに分けてでも深く講義してほしいのと、設計者向けにも是非講習会を開催してほしいです。設計者こそ現場のとり合い知るの重要。内容が良い為1日では駆け足すぎるので2日間かけても良いと思いました。		
中部	施工	要望 分割講習	内容が良い為1日では駆け足すぎるので2日間かけても良いと思いました。		
中部	施工	要望 分割講習	講習時間が良いと思う。テキストがあれだけページが多いので、数回に講習を分けて、もっと内容をより深く説明してもらえるとありがたい。ただテキストを話しただけと思う！		
中部	現場管理	要望 分割講習	講習時間が良いと思う。テキストがあれだけページが多いので、数回に講習を分けて、もっと内容をより深く説明してもらえるとありがたい。ただテキストを話しただけと思う！		
近畿	施工	要望 分割講習	もう少し時間をかけてくれた方が良くと思う。時間が足りなければ2日間にするとか。		
近畿	現場管理	要望 分割講習	スピードが速すぎる(2日にわけても良いのでは?)		
九州・沖縄	現場管理	要望 分割講習	講習内容の密度と時間がアンバランスなので2日間に分ける等対応を考えた方がよいと思います。		
北海道	設計	要望 講習会の次の開催、多数開催	大変勉強になりました。室蘭地区ではまだ低コスト住宅が主流の工務店が多く、省エネ性能、省エネ機器に対する意識が低い。この様な講習会を今後も続けてほしい。	12	要望 講習会の次の開催、多数開催
北海道	その他	要望 講習会の次の開催、多数開催	営業として知りたい事を学んだと思います。中身のある講習(営業面・技術面)でした。又、行って欲しいです。		
東北	現場管理	要望 講習会の次の開催、多数開催	現場に出ていると自分で勉強する時間がなかなか取れないので、こういった講習会が定期的にあるとありがたい。		
関東	施工	要望 講習会の次の開催、多数開催	大変勉強になりました。このような講習会をもっとやっていただけるとありがたいです。		
関東	その他	要望 講習会の次の開催、多数開催	このような研修をもっと行ってほしい		
北陸	施工	要望 講習会の次の開催、多数開催	定期的に開催されて新規案件が知りたいと思います。		
近畿	施工	要望 講習会の次の開催、多数開催	これからも住宅に関する講習会を開催してほしい		
近畿	施工	要望 講習会の次の開催、多数開催	またこういった講習会の開催をお願いいたします。		
中国	施工	要望 講習会の次の開催、多数開催	3年に一回定期的に講習を。建設組合つうじて。		
四国	現場管理	要望 講習会の次の開催、多数開催	中々良かったので、もっと色々な所で再度お願いしたい。プロジェクターの画面が少し小さかったのが残念。		
九州・沖縄	設計	要望 講習会の次の開催、多数開催	少々良かったがとも分かりやすく良い勉強になったと思う。定期的な講習(半日くらい)になれば良いと思う。		
九州・沖縄	その他	要望 講習会の次の開催、多数開催	このような研修をもっと行ってほしい		
北海道	設計	要望 より詳しい内容の講習	省エネ=断熱といいますが、断熱+換気です。断熱と換気併用講習があるとうれしいです。再確認、再認識いたしました、ありがとうございます。	27	要望 より詳しい内容の講習
東北	施工	要望 より詳しい内容の講習	断熱性能をもっとくわしく計算方法など		
東北	施工	要望 より詳しい内容の講習	もう少し時間を増やして細かく説明してほしい。		
東北	施工	要望 より詳しい内容の講習	もっと特殊なおさまりの施工例などを講習してほしい。		
東北	現場管理	要望 より詳しい内容の講習	・レベルに応じた講習内容(初級、中級とか)にした方が良く感じた ・住宅の従事者としては初歩的で良く感じました。		
東北	その他	要望 より詳しい内容の講習	Q値計算とか一次エネルギー計算を入れて何用のこいものが良かったです。		
関東	施工	要望 より詳しい内容の講習	もう少し時間を増やして細かく説明してほしい。		
関東	施工	要望 より詳しい内容の講習	もう少しレベルの高いものをきたいした		
関東	施工	要望 より詳しい内容の講習	講師の説明内容がうすかったため、もっとこくしてほしい。		
関東	現場管理	要望 より詳しい内容の講習	外張り断熱の時の下屋から外壁の通気する部分の取り合いがグリーンゾーンです。透湿防水シートと屋根ルーフィングの絡む所の重なりが上手くいく方法がわかれば良かった。		
関東	設計	要望 より詳しい内容の講習	(2) 支援制度についてもう少し詳細な説明があつてよい。高気密化、高断熱化によりコストUPを支援する方法がわかりやすくエンドユーザーに伝える方法がなければ省エネ対策の進み方がおそくなる		
関東	設計	要望 より詳しい内容の講習	低炭素住宅等、外皮・開口部の性能等(方位係数の変化)についての説明等が良かった。		
関東	設計	要望 より詳しい内容の講習	テキストの別冊に関しての内容をもう少し細かく説明してほしい。(一次エネルギーと外皮に関する説明があれば断熱材の使用規定ではなく性能で選べる事、等の説明が欲しい)		
関東	設計	要望 より詳しい内容の講習	実務の面の議台をもっと多く説明していただきたい。		
北陸	現場管理	要望 より詳しい内容の講習	もう少し時間をかけて講習をしてもらいたかった。改正省エネ基準で必要とされる、外皮の熱性能の計算方法などの説明があればよかった。		
北陸	その他	要望 より詳しい内容の講習	ありがとうございます。現場での施工をビデオでもっと説明してほしい。		
中部	施工	要望 より詳しい内容の講習	一般的な施工部分より特殊部分の施工例を説明してほしい。		

中部	施工	要望 より詳しい内容の講習	テキスト通りでなく、少しつめた話を聞きたかった。施工方法の普及に力を入れてほしい。		
中部	現場管理	要望 より詳しい内容の講習	当たり前の事はカタログに書いてありますので、普通は理解できます。複雑な部分や実際の建物、現状etcの施工実務etc違う情報が欲しいです。		
中部	現場管理	要望 より詳しい内容の講習	防風層についてくわしくおしえて下さい。Low-Eガラスの熱貫流率は、日射取得型と日射遮蔽型とではちがいますか？		
中部	設計	要望 より詳しい内容の講習	断熱材の仕様、金額等について知りたい。断熱性能を金額などについて知りたい。		
四国	施工	要望 より詳しい内容の講習	支援制度の説明を十分にして欲しい。		
四国	現場管理	要望 より詳しい内容の講習	今回よりもレベルを上げた講習を希望。		
九州・沖縄	施工	要望 より詳しい内容の講習	時間がないのではないが、もう少し詳しく聞きたかった。		
九州・沖縄	現場管理	要望 より詳しい内容の講習	一般的な納まりの部分の納まりは解っているが、肝心な納まり部分(下屋、バルコニー他)の納まりの説明が欲しかった。ただテキストを読むのではなく。		
九州・沖縄	現場管理	要望 より詳しい内容の講習	基礎断熱の外側に貼る場合の白アリ対策なども具体的な事例なども欲しかった。		
九州・沖縄	設計	要望 より詳しい内容の講習	○基礎断熱内張り工法における白蟻対策(念入り)のお話を聞きたかった。 クラック、スリーブのすき間、水たまり配管腐線の工法のお話を聞きたかった。		
東北	現場管理	要望 該当地域向け講習	宮城会場なので地域区分Ⅲでの情報をいただければなお嬉しかったです。	1	要望 該当地域向け講習
中部	施工	要望 講習会の分科	各業種別の講習会の方が良いと思います。	6	要望 講習会の分科
中部	現場管理	要望 講習会の分科	設計、施工それぞれの詳しい講習会をしてほしい。		
四国	現場管理	要望 講習会の分科	外断熱については今後も施工予定がないので、できれば充填断熱に特化してほしい。 講習の日程をかえて、外と内の断熱についてやってほしい。		
四国	設計	要望 講習会の分科	断熱工法別(充填断熱工法と外張断熱工法)で講習を分けて行くべきである。 (午前と午後等。)時間の無駄であると共に、混乱する原因となる。		
九州・沖縄	現場管理	要望 講習会の分科	いろいろな工法について講習会を開いていただきたい		
九州・沖縄	現場管理	要望 講習会の分科	スキルによって講習に段階があればと思いました		
北海道	現場管理	要望 施工者向け講習	当社は大工職人を将来へ向け育成をし、社員として雇用しています。 今後、大工職人の為の講習会を実施してほしいです。	2	要望 施工者向け講習
北陸	設計	要望 施工者向け講習	現場施工者が対象ということもあり、わかりやすかった。専門用語、ふだん使わない言葉が多いと簡単な語mむずかしく感じるとしますので、実際に現場で使われている名称や、例えば〇〇(商品名)と置き換えてもらえればもっと施工者もわかりやすいと思います。現場の技術がUPするような講習会がもっと増えていくと嬉しいです。		
東北	現場管理	要望 設備、建材等他業種向け講習会	今回の講習では、設計士・施工士・施行管理士向けではあるが、新築住宅では他業種の施工がある。他業種への講習も必要がある。 グラスウール協会・ロックウール協会など、施行チェックシートを施主へ引渡すなど、意識を継続させる形が必要。	6	要望 設備、建材等他業種向け講習会
東北	その他	要望 設備、建材等他業種向け講習会	今後も現場従事者の講師の方を活用して、施工だけではなく営業レベル、業界全体の講習会をおこなっています。すでに人材不足は始まっていますので。		
関東	現場管理	要望 設備、建材等他業種向け講習会	この講習会(このような)で、群馬県内の工業系などの高等学校や専門学校で実施してはいかがでしょう？		
北陸	設計	要望 設備、建材等他業種向け講習会	設計者対象の補修にもこの内容相当の施工の理解が必要と考える。		
中部	設計	要望 設備、建材等他業種向け講習会	設計者対象の補修にもこの内容相当の施工の理解が必要と考える。		
中部	設計	要望 設備、建材等他業種向け講習会	設計者向け講習にも、施工の方法の解説があると良いと思いました		
東北	現場管理	要望 リフォーム向け講習	すでに高気密高断熱住宅にとりこんでいる事もあり、新築については特に感じなかったが、リフォームについては表面結露の問題や、どの程度まで改善していくかお客様との話し合いになる部分も多いが、「こまではやるべき」等説明できるようにリフォームの重要性についてもう少しききたかった。 こういうやり方があるよとかもう少し詳しくしりたかったところもありました。	17	要望 リフォーム向け講習
東北	設計	要望 リフォーム向け講習	住宅の断熱リフォームについて、一軒まるごとの説明しかなかったのですが、ユーザーは「リビングだけ」とか部分リフォームの要望でもなかなか考えがらで、部分リフォームに今回の手法を用いてしまうと逆に構造体に影響がでると思うので、そのあたりをどう考えるのか…教えてほしい。		
関東	施工	要望 リフォーム向け講習	グラスウール、発泡系断熱材が優れているというお話でしたが、不覚形断熱材と比較してどこが優れているか説明してほしい。		
関東	現場管理	要望 リフォーム向け講習	また、通気層がない住宅の場合の部分リフォームで内側からのグラスウール充填断熱施工の場合、断熱材の外側にダンボール等で通気層を作る効果はあるのでしょうか？		
関東	現場管理	要望 リフォーム向け講習	リフォームの断熱化と気密化について、具体的な施工法を知りたい。通気止めが難しい。		
関東	その他	要望 リフォーム向け講習	補助金として省エネ改修推進事業(国交省)最大50万円/戸。躯体(壁、天井等)の省エネ改修にはどうに対応していけば良いのでしょうか？		
中部	施工	要望 リフォーム向け講習	テキストの読み合わせでなく、実際の現場での応用例をもっと知りたい。特にリフォームの事例。		
中部	現場管理	要望 リフォーム向け講習	リフォームにおいて真壁がある場合がほとんどだが、どのようにして充填断熱工法は採用するのか、または外張断熱しか方法はないのか？真壁を残したまま断熱施工する方法があれば教えてほしい。		
近畿	施工	要望 リフォーム向け講習	リフォームに対応してないと思う		
近畿	現場管理	要望 リフォーム向け講習	講義を受け施工的に難しい内容もあった(リフォーム)		
近畿	現場管理	要望 リフォーム向け講習	マンションの断熱リフォームのポイント、結露防止対策等も紹介してほしい。		
近畿	現場管理	要望 リフォーム向け講習	リフォーム工法についてもお願いしたい。		
中国	現場管理	要望 リフォーム向け講習	加えて、断熱リフォームの内容をもっと増して欲しいです。		
九州・沖縄	現場管理	要望 リフォーム向け講習	施工内容が水廻りを中心としたリフォームの為、断熱材等使用することは少ないですが、断熱(サッシなど)でできるリフォームがあれば、ぜひ提案していきたい。		
九州・沖縄	現場管理	要望 リフォーム向け講習	リフォームの事例の具体的な事例なども欲しかった。		
九州・沖縄	現場管理	要望 リフォーム向け講習	断熱リフォームについて、もっと知りたかった。		
九州・沖縄	設計	要望 リフォーム向け講習	床、基礎の断熱リフォームについて、布基礎の場合、ベタ基礎の場合の方法と、具体的な防湿換気方法を知りたいです。		
北海道	現場管理	社内教育、情報共有	もう一度基本が学べて良かった。若い従業員に良い勉強の場となった。	11	社内教育、情報共有
東北	現場管理	社内教育、情報共有	内容がたくさんあるので1日ではなかなかかききれないのでDVDをつけてもらえると社内で講習できるのでありがたいです。ご苦労様でした。		
関東	施工	社内教育、情報共有	大変良かった。むすこも大工なのでぜひ講習を受けるようすすめるつもりです。		
関東	設計	社内教育、情報共有	非常にわかりやすい内容であった。新人教育及び実務者研修として監督、大工の講習受講をさせた。		
北陸	設計	社内教育、情報共有	断熱施工において不明確な点もありましたが、改めて確認することができて良かったと思います。 職人さんともDVDを見て勉強したいと思います。		
中部	現場管理	社内教育、情報共有	現場の職人、管理者は必ず知っておかなければならない情報なので、自社の人間も受こうべきだと感じました。勉強になりました。		
中部	現場管理	社内教育、情報共有	勉強になりました。テキストを参考に更に社内共有していきます。ありがとうございました。		
中部	設計	社内教育、情報共有	社員(職人)教育用にグリーンテキストを購入したい。大工以外の業者等へも教育する必要がある為。		
九州・沖縄	現場管理	社内教育、情報共有	断熱材の施工方法が見れて大変良かった。今迄の間違ったやり方部分を早速手直したいと思う。 従業員への指導に役立つ。ありがとうございました。		
九州・沖縄	現場管理	社内教育、情報共有	本日は大変貴重な時間をありがとうございました。会社にしっかりともちかえり、ほうこくしたいと思います		
九州・沖縄	設計	社内教育、情報共有	現場従事者(大工さん等)施工者が、最大限に知っておかなければならないことなので、施工法DVDを備って、全員に見てもらいたいと思います。大工さん等は、特に講習会は進んで参加しない方なので、要点を集約し、啓発に努めたい。		
北海道	設計	要望 講習内容以外の説明	省エネの設計基準に関する講習会を計画していただきたい。	13	要望 講習内容以外の説明
北海道	設計	要望 講習内容以外の説明	もっと専門的な講習を希望します。		

関東	施工	要望 講習内容以外の説明	今回で言えば、ネットゼロエネルギーを取り上げて欲しかった。施工方法等は、20年前から変わらないことの繰り返し、最新の税金のかんわ、補助金制度、金利優遇お金まつわる話を聞けるものだと思っていたのがっかりです。		
関東	施工	要望 講習内容以外の説明	省エネ(断熱)とシックハウスを合わせてほしい。25年省エネについてもうすこしおしえてほしいかった		
関東	施工	要望 講習内容以外の説明	もう少し上の講習会をお願いします。低炭素やゼロエネなど。		
関東	現場管理	要望 講習内容以外の説明	大部勘違いしていましたが、太陽光の施工に関する研修も加えていただければと思います。		
関東	設計	要望 講習内容以外の説明	(1) 算定用プログラムの利用方法について具体的に教えてもらいたい。実情は申請等において困っている方がいるような気がします。		
中部	現場管理	要望 講習内容以外の説明	低炭素住宅について説明してほしい。		
中部	現場管理	要望 講習内容以外の説明	断熱、気密、防露の話をも少し掘り下げて話を聞きたいと思いました。低炭素住宅の事や、ゼロエネルギー関連の講習等やって頂きたいです。		
中部	現場管理	要望 講習内容以外の説明	断熱以外にも耐震などやってほしい		
中国	現場管理	要望 講習内容以外の説明	当社では元々高気密・高断熱化、省エネ化に取り組んでおり、気密測定も実施していますが、これを充填断熱の際にも実施していく予定です。その際、どの程度の数値であれば、室内が快適になるか、壁体内結露になりにくいのかの資料が欲しかった。		
九州・沖縄	施工	要望 講習内容以外の説明	ゼロエネ施工講習とネットゼロエネルギー講習をしてほしい。(施工・設計)		
九州・沖縄	その他	要望 講習内容以外の説明	気密住宅講習と、換気方法についても行う必要があるのでは？		
東北	現場管理	講習内容への批判	レベルが低い。	11	講習内容への批判
東北	設計	講習内容への批判	修了考査の為に理解度を高める講習会を望む		
東北	設計	講習内容への批判	設計と施工の内容が一緒にわかりやすいが、大工の作業内容に片寄っていたように思う。		
関東	施工	講習内容への批判	断熱材が中心で全体の施工面で不都合が多かった。		
関東	現場管理	講習内容への批判	ポイントがつかみにくい講習だった。分かりやすい講習の時間帯もあった。		
関東	現場管理	講習内容への批判	他の講習会では考査のポイントをアンダーラインにて指示してくれたが、この講習ではなかった。		
北陸	施工	講習内容への批判	施工技術者講習ということだったんですが、どっかと言うと設計管理より感してました。私的には、設計もするので大変よかったんですが、施工的なものをもっとやるべきではないのかなと思いました。施工する方はもっと詳しく施工の方をやってもらいたかった。大変残念。たいしてタメになってないです。もう少し講義内容を考えるべきだ！！テキストだけで時間のムダです。		
北陸	施工	講習内容への批判	テキストを読んでいるだけなのに、講習時間がオーバーする意味がわかりませんでした。これだったら、テキストとDVDを持ち帰って読んででも何も変わらないのではないかな。テキストの内容自体は分かり易かった為残念でした。		
中国	その他	講習内容への批判	資料を読めば事足りる解説内容でした。		
四国	設計	講習内容への批判	レベルが低い。		
九州・沖縄	施工	講習内容への批判	必要な内容について流し、不必要と思われる内容に時間を掛けており講習の質に於いては悪い	6	講習会意義への疑問
東北	施工	講習会意義への疑問	このレベルの事はⅢ地域以上では常識。せっかくの講師にテキストを読ませるだけとは・・・この講習そのものの意義はあるのか？せめて質疑応答があれば講師の考え等もわかるが・・・？		
東北	現場管理	講習会意義への疑問	国で先導している、改正省エネ、ゼロエネ、LCCH等の講習なら理解できるが、11年基準の基本的なことの講習会をする必要性に疑問を感じます。		
関東	施工	講習会意義への疑問	講習会の意味がよく理解できませんでした。		
中部	施工	講習会意義への疑問	形式的な考査やら、修了証だとかは不用。		
中部	施工	講習会意義への疑問	この講習の意味がわからない。将来への絶望感が増した。		
中国	施工	講習会意義への疑問	修了者は有識者のほかにどんなメリットがあるのでしょうか		
東北	現場管理	講習内容 その他	講師の方は1人でいいのかなと思いました。	8	講習内容その他
関東	施工	講習内容 その他	4時間位でとりまとめて戴くと、なを講習会に参加しやすくなるのではと思います。		
関東	現場管理	講習内容 その他	当所設計(一部の企画者は最初から施主に説明・説得している)者・施工者が日常作業で出る意見をQ&A方式で改良点を！！(本講習は教科書すぎる)(現場でこうすればうまく納まるよ！！)		
関東	現場管理	講習内容 その他	なぜこの講習会があり、どこまで大工さんはやらないといけなくなるのかを、もっとわかりやすく説明して欲しい。		
中部	施工	講習内容 その他	DVDを見る時間よりもテキストの解説をしてほしいです。		
近畿	現場管理	講習内容 その他	あと午後の講義から急にPCタブレットが「気が散る」という理由で使えなくなるのも意味がわからない。それなら机を分けるなどすればいいのでは？ワークスタイルを否定するならそれなりの理由、配慮は必要かと思う。		
四国	施工	講習内容 その他	個々に講習受けなくても工店単位もしくは現場管理者だけでいいのではないかと思います？		
九州・沖縄	現場管理	講習内容 その他	もっとわかりやすい講習をして下さい。		

要望・意見などー講習時間、時間割について

92

地域	職種	項目	記述内容	数	項目
北海道	施工	講習時間が不足、説明速い	PMの時間の講師は早口で、早く進むためなのかわかりにくい。もう少し時間をかけても良いのでは？	48	講習時間が不足、説明速い
北海道	施工	講習時間が不足、説明速い	内容の割に時間が短く講義がはしょっている気がします。		
北海道	設計	講習時間が不足、説明速い	説明ペースが早すぎる。		
北海道	設計	講習時間が不足、説明速い	ただテキストの一部分をやっているだけで、理解をする為にはもう少し時間をかけるべき。		
北海道	その他	講習時間が不足、説明速い	ペースが早く手技の講習内容の変化を求めます。		
東北	施工	講習時間が不足、説明速い	時間的に無理がある。内容的には、もっと詳しく広めるべきだと思います。		
東北	現場管理	講習時間が不足、説明速い	かなり早回しでした。今後、細部にこだわってみようと思います。		
東北	現場管理	講習時間が不足、説明速い	前半の講習はともわかりやすかったが、施工分野になり急にかけ足になったように感じた。時間が限られている中での講習なので大変だと思いますが、もう少しゆっくり説明して頂きたい箇所がいくつかあった。		
東北	現場管理	講習時間が不足、説明速い	とにかく説明が早すぎ。理解・納得する時間の配慮なく、ただ実施した実績作りのような講習会の感が否めない。		
東北	現場管理	講習時間が不足、説明速い	早すぎて理解しにくい特に午前中の講師先生		
東北	設計	講習時間が不足、説明速い	説明が早い、項目の割に時間が少ない		
東北	その他	講習時間が不足、説明速い	内容がもりだくさんな為、時間がたつなかつたと思う。		
東北	その他	講習時間が不足、説明速い	講習会資料Pが多い様でした。先生(講師)の方も急いで早口で話するので、少し解からない部分があった様でした。でも楽しかったです。		
関東	施工	講習時間が不足、説明速い	時間が長かった。		
関東	現場管理	講習時間が不足、説明速い	1日で行う内容ではない。時間がないのはわかるが、話や進行が早すぎるため、メモをとるひまもない。		
関東	現場管理	講習時間が不足、説明速い	話のスピードが速いのもう少し遅くしていただければ・・・		
関東	現場管理	講習時間が不足、説明速い	早すぎて良く理解できなかつた。		
関東	現場管理	講習時間が不足、説明速い	別冊の省エネ基準についての説明時間が短すぎて理解できなかつた。		
関東	現場管理	講習時間が不足、説明速い	少しボリュームが多い。説明しきれない部分があったと思います。		
関東	設計	講習時間が不足、説明速い	思っていたよりもかけ足の説明だった。		
関東	設計	講習時間が不足、説明速い	講習内容に比較して時間が不足している。		
関東	設計	講習時間が不足、説明速い	講義が早すぎて全くついていけない。要点がわからない。		
関東	その他	講習時間が不足、説明速い	かなりかけ足になっていたため、少し講義時間が足りないのでは？もう少しゆっくり聞きたかった。		
関東	その他	講習時間が不足、説明速い	講義がむずかしくて早くても良くわからない。もっとゆっくり出来ないか？		
北陸	現場管理	講習時間が不足、説明速い	テキストの内容説明が早すぎる		

北陸	現場管理	講習時間が不足、説明速い	内容の割に講習時間が短かった為、講師の方の説明が理解しにくかった。
北陸	設計	講習時間が不足、説明速い	時間が足りないのでは？走りすぎて疑問もわかなかった
中部	現場管理	講習時間が不足、説明速い	時間の関係でかなり早足な部分もあり、ついていきづらかったと思います。
中部	現場管理	講習時間が不足、説明速い	テキストの内容説明が早すぎる
中部	現場管理	講習時間が不足、説明速い	ペースが早くついていけない所があったので時間が掛かっても、もう少しゆっくり講習していただくと良かったです
中部	現場管理	講習時間が不足、説明速い	大工を受講させるには、模型が小さい。講習時間が短すぎる(内容が特に理解度)。国としての支援事業なので、もっと時間を掛けて欲しい。
中部	設計	講習時間が不足、説明速い	時間が少ない、講義が間に合わない
中部	その他	講習時間が不足、説明速い	大変内容の充実した講習会でした。わかりやすかつ内容が豊富でした。ただ時間がやや足りないのではないのでしょうか。
近畿	現場管理	講習時間が不足、説明速い	前半の説明が早すぎました。
近畿	現場管理	講習時間が不足、説明速い	よい講習でしたがスピードが速かった
近畿	現場管理	講習時間が不足、説明速い	説明をもう少しゆっくりとしてほしい。
近畿	その他	講習時間が不足、説明速い	講義が早すぎてついていけなかった。
近畿	無回答	講習時間が不足、説明速い	時制が足りないと思います
中国	施工	講習時間が不足、説明速い	前半は親交が早く頭に残らない部分もかなりあった。しかし、その後々箇所の注意点なども繰り返し説明がありよく分かった。ありがとうございました。
中国	施工	講習時間が不足、説明速い	長いような気がする。
中国	現場管理	講習時間が不足、説明速い	講義のやり方のくふうが必要。本を読むだけではなく。
中国	現場管理	講習時間が不足、説明速い	時間的に厳しい所がある。
中国	その他	講習時間が不足、説明速い	講習の進め方がとても早かった。
四国	施工	講習時間が不足、説明速い	前半は親交が早く頭に残らない部分もかなりあった。しかし、その後々箇所の注意点なども繰り返し説明がありよく分かった。ありがとうございました。
九州・沖縄	施工	講習時間が不足、説明速い	テキストの解説については時間が足りないと思う
九州・沖縄	現場管理	講習時間が不足、説明速い	講師の先生の説明が時間が限られていた為か早くて良く理解できなく質問時間がなかった。
九州・沖縄	現場管理	講習時間が不足、説明速い	説明のスピードについでいけない
九州・沖縄	現場管理	講習時間が不足、説明速い	ほとんどテキストを読み上げて駆け足で進んだが、講習として成り立っていたのか、自宅で出来る事もあるので、要旨と補足が充実しているほうが良かった
東北	現場管理	講習時間が長い	講習時間が長い
東北	設計	講習時間が長い	出来れば平日なので半日の講習会にしてほしい
東北	設計	講習時間が長い	長い、平日程度がいい!!
関東	施工	講習時間が長い	講習時間を少なくしてほしいです。
関東	施工	講習時間が長い	まる1日時間をとられるのはつらい…。内容的に午後からでもできそう。
関東	その他	講習時間が長い	話が長い。
北陸	現場管理	講習時間が長い	もっと時間を短縮してほしい
北陸	その他	講習時間が長い	一日だと少し長いので、半日くらいにしてもらいたい
中部	施工	講習時間が長い	一日間の講習は長かったです。時間を短縮出来れば良いと思う。
中部	現場管理	講習時間が長い	ながい
中部	現場管理	講習時間が長い	長い
中部	その他	講習時間が長い	講習会は長く感じられたが、ある程度の知識のある人向けであれば省略できる部分があると思う。
近畿	設計	講習時間が長い	もう少し短時間にコンパクトにしてもよいと思う
近畿	その他	講習時間が長い	終日は長い。できれば効率的にもう少し短くしていただけると助かります。
中国	現場管理	講習時間が長い	時間が短縮できるといい
中国	現場管理	講習時間が長い	誰でも受けられる講習と聞いて少しびっくり！(一般の人という事です)ほとんどのの方が専門職の人だと思うので、ポイントを説明すれば半日で良いと思う。
中国	現場管理	講習時間が長い	一日講習は長すぎます。
中国	設計	講習時間が長い	非常に長すぎる。内容的に半日もあれば充分である。テキストの棒読みをするだけで内容がうすい
中国	設計	講習時間が長い	もう少し講習時間が短くてもいい(ペースが速いのであれば)
四国	施工	講習時間が長い	半日くらいの講習にしてほしい。
四国	無回答	講習時間が長い	長すぎる
九州・沖縄	現場管理	講習時間が長い	講習会の時間をもっと短縮してもよいと思う。
九州・沖縄	現場管理	講習時間が長い	講習時間が長すぎる
九州・沖縄	設計	講習時間が長い	半日で終る位に要点をつめてほしい…長すぎる…
北海道	その他	時間配分が不適切	午後の講座の時間配分がお粗末と思います。お金を払っているの、しっかりとした授業計画を立てて時間通りに進めてほしいと思います。
関東	現場管理	時間配分が不適切	修了審査の時間が長すぎる。もう少し早く、時間配分が悪い。
中部	施工	時間配分が不適切	時間が早くおわるなら詳しく講義してほしい
中部	施工	時間配分が不適切	省エネ基準と関連制度の開設の時間がやや少なく、問題が理解しづらいと思う。
近畿	設計	時間配分が不適切	模型見学時間があと10分程長いと良かったと思う。
近畿	その他	時間配分が不適切	休けいの取り方についてももう少し工夫を、90分以上の講義では頭が疲れます。
近畿	その他	時間配分が不適切	午前の部では第1章と第2章の時間配分は1:2くらいで2章の方に重要度があると考えます。
中国	施工	時間配分が不適切	省エネ基準と関連制度の開設の時間がやや少なく、問題が理解しづらいと思う。
九州・沖縄	現場管理	時間配分が不適切	講義の時間配分
九州・沖縄	その他	時間配分が不適切	講習時間では全てはむずかしいと思うので、もう少し要点だけ教えてほしい。とくに、テストに出るところを！
東北	施工	休憩時間が不適切	1時間以上の講義の場合、休憩の確保
東北	施工	休憩時間が不適切	1時限100分長い。
東北	設計	休憩時間が不適切	1.徐行内容書と実際のカリキュラムはまるで整合しない。 2.抗議間の休憩時間10分ではトイレに抗議が始まっている。
関東	施工	休憩時間が不適切	午前中の休けい時間をもう少しほしかったです。
北陸	施工	休憩時間が不適切	朝はわかりにくかったけど、昼からは大変わかりやすかったのでよかったです。休憩が少し長く感じましたよ？
北陸	設計	休憩時間が不適切	講習時間割りの調整
中部	施工	休憩時間が不適切	1時間に1回は休みがほしかった。5分でもいいので。
近畿	その他	休憩時間が不適切	昼休み時間をあと15分に延ばして、1時間休憩してほしい。
中国	施工	休憩時間が不適切	朝はわかりにくかったけど、昼からは大変わかりやすかったのでよかったです。休憩が少し長く感じましたよ？
九州・沖縄	現場管理	休憩時間が不適切	休み時間がまめにほしかった。教科書読んだだけの授業だったら意味ないと思います。

24

講習時間が長い

20

時間配分が不適切

要望・意見などー講習会運営に関する事について

78

地域	職種	項目	記述内容	数	項目
北海道	現場管理	広報・開催案内	平成25年度基準に關しての講習かと思っていたので勘違いであった。何の為の講習かまいわからなかった。	14	広報・開催案内
北海道	設計	広報・開催案内	講習会の主旨情報をくわく表示して下さい。		
東北	設計	広報・開催案内	今回現場監督として参加しましたが大工などにも受けてもらいたいのので情報提供をお願いしたい		
関東	施工	広報・開催案内	工務店、大工さんと違う職人なので必要性が無いと思いました!!?すみません。		
関東	現場管理	広報・開催案内	案内に「正しい断熱材の施工方法」や「2020年の断熱仕様」など、具体的な抗議説明が欲しかったです。		
関東	現場管理	広報・開催案内	今回の案内が届いたところにほう講習が始まっていた		
関東	設計	広報・開催案内	3年間同じ事をやるなら知らせて欲しかった		
関東	その他	広報・開催案内	資材販売業者として、講習内容を発信していきたい。		
中部	施工	広報・開催案内	前うけた！		
中部	設計	広報・開催案内	職人さんが講習会を知る機会をつくってほしい。		
中部	その他	広報・開催案内	省エネに関する講習が色々あり、内容が違うのか？同じなのか？がわからないので困る事がある。講習内容は一番知りたかった事だったので助かりました。		
近畿	その他	広報・開催案内	事務をしている者が受ける講習ではないのかな？場違いなところに来たような気がする。		

四国	現場管理	広報・開催案内	知りたい部分とちがう。参加前に内容をもっとくわしく知りたい。初心者向け、施工者向け、設計者向けなど。		
九州・沖縄	その他	広報・開催案内	講習会のタイトルと内容がマッチしていないような気がする。想像していた内容と実際の内容が異なっていた。		
北海道	その他	開催時期・曜日	北海道において今時期の講習は最悪である。2月頃にすれば現場の人がもつと受けられる。(内容ではないが)	10	開催時期・曜日
北陸	施工	開催時期・曜日	日中は現場仕事の為夜にしてほしい		
北陸	現場管理	開催時期・曜日	講習会は冬期に開催してほしい。		
中国	施工	開催時期・曜日	日曜日の講習会はツライ...		
中国	施工	開催時期・曜日	日中は現場仕事の為夜にしてほしい		
中国	現場管理	開催時期・曜日	日時が悪い。		
四国	設計	開催時期・曜日	建築関係の仕事なので、できれば大安、友引の日をさけた日で日時設定してもらいたい。		
九州・沖縄	施工	開催時期・曜日	土曜講習について、現場員等動きがとれるので、今度もお願いしたい。経営者よりも現場員の知識の向上になると思います。		
九州・沖縄	現場管理	開催時期・曜日	受けたくても現場の都合等で受けられない人もいるので、同じ内容の物でも年に数回、又は時間を短くして行って頂けると良いと思う。		
九州・沖縄	その他	開催時期・曜日	断熱材等販売していますが、気流止め等のことまで考えられてキッチンと施工されている施工者等の方はかなり少ないと思います。ただし平日はこれらの方が講習受けられないのも現実です。日曜日の開催もあっていいのではないのでしょうか。(たしか平日だけだったような気がしますので、すでにされてたらすみません...)		
北海道	現場管理	受講料・修了証発行手数料	講習会費¥1000に対し、カード¥2000です。どんなカードが来るか楽しみです。	5	受講料・修了証発行手数料
北海道	その他	受講料・修了証発行手数料	大変勉強になりました。補助事業とはいえ、テキスト DVDも含めて受講料が1000円というのは有難いことだと思います。		
東北	設計	受講料・修了証発行手数料	講義の内容の割には料金が安いのでよかったです		
中部	設計	受講料・修了証発行手数料	たかだか、1000円でこれだけの勉強をさせて頂いてありがたい限りです。テキストの内容が本当にわかりやすく、知らないことがよくわかります。学ぶべき、知っておくべき内容がもれなく書いてあり、たいへん参考となります		
中国	施工	受講料・修了証発行手数料	今回の講習は受講料が安くよかったです。今回のような機会を増やしていただけると喜ぶます		
東北	現場管理	合格者の公開	講習修了者は必ずHP上で公開して下さい。	1	合格者の公開
関東	現場管理	講習会場開催地要望	会場が少ない。	2	講習会場開催地要望
九州・沖縄	設計	講習会場開催地要望	離島地域でもやっていただきたいです。		
近畿	その他	講習会場交通の便悪い	大阪市内でも、もっと中心部の便利(交通の)なところで行って欲しい。	1	講習会場交通の便悪い
東北	設計	講習会場駐車場不備	少人数にしてほしい。駐車場のあところで開いてほしい。	1	講習会場駐車場不備
東北	設計	講習会場 狭い	3.机が狭い、受講者をもっと減らすべき。	3	講習会場狭い
関東	施工	講習会場 狭い	教室に余裕がなかった。		
中国	現場管理	講習会場 狭い	会場の室の面積と受講者人数との割合は、適正なのか？狭すぎる。		
関東	施工	講習会場空調できてない	午前中はさむくて集中できなかった。午後は大分よくなりました。	7	講習会場空調できてない
関東	現場管理	講習会場空調できてない	寒すぎて身にならないです		
関東	設計	講習会場空調できてない	会場のエアコンにより暖かかったため、ねむくなってしまった。		
中部	施工	講習会場空調できてない	・冷房がききすぎて寒かった。		
中部	現場管理	講習会場空調できてない	寒すぎて身にならないです		
四国	施工	講習会場空調できてない	さむい為外の講義なんかせえ！		
四国	現場管理	講習会場空調できてない	あつかった		
東北	施工	講習会場マイク無し、不調	マイクがひびいて、何を話しているのか聞き取りづらかった。	13	講習会場マイク無し、不調
東北	現場管理	講習会場マイク無し、不調	マイクの不備や、会場の蛍光灯が消されているのが気になった。		
東北	現場管理	講習会場マイク無し、不調	マイクを使っても聞き取りにくかった。		
東北	設計	講習会場マイク無し、不調	講習に使った部屋があまり良くありませんでした。マイクの有無に関わらず、音がこもって聞こえにくかったです。		
関東	施工	講習会場マイク無し、不調	あまりよく聞きとれないので、もう少し大きな声か、マイクを使ってほしいです。		
関東	施工	講習会場マイク無し、不調	これからも講習会を何回もやるそうですがマイクの調子というかマイクの使い方を良くして頂きたい。聞けない部分があった。		
中部	施工	講習会場マイク無し、不調	マイクの使い方か、機械か聞きにくかった。		
近畿	現場管理	講習会場マイク無し、不調	司会の人の声がききとりにくい		
四国	施工	講習会場マイク無し、不調	音響良くない。従い、聞きとり易くない。席市に因るかもしれない。		
四国	施工	講習会場マイク無し、不調	マイクの使い方か、機械か聞きにくかった。		
四国	現場管理	講習会場マイク無し、不調	マイクの音が割れて聞きとりづらかった。		
九州・沖縄	施工	講習会場マイク無し、不調	内容は良かったけれど、マイクがあればもっと良かったと思う。		
九州・沖縄	現場管理	講習会場マイク無し、不調	マイクを使っても聞き取りにくかった。		
東北	施工	講習会場 暗い	夕方になると会場が暗い	1	講習会場暗い
東北	施工	講習会場受付段取り悪い	もう少し早めに開始してもらいたかった	8	講習会場受付段取り悪い
関東	現場管理	講習会場受付段取り悪い	受付の対応が悪かった。		
関東	現場管理	講習会場受付段取り悪い	開始時刻が定刻通り始まりにならなかった旨の説明が一際なく、納得いかない。一番初めに説明すべき。新省エネかと思っていたので少しがっかり。当たり前の事も今一度説明を受けるとわかり易くて、詳細がわかってよい。		
関東	現場管理	講習会場受付段取り悪い	入場手続きが長い。だんだりがわるい。		
関東	設計	講習会場受付段取り悪い	「9:00～受付、時間厳守」と受講票には案内されていましたが、会場の入口も8:50にしか開かず、寒い中待たされ、受付も30分以上うろうろで立ったまま待たされ、何度もやっている講習会なのに何でこうなのか？時間の変更はできなかったのか。不思議ですがありません。		
関東	設計	講習会場受付段取り悪い	開場が開会時間と言うのは、会場の設営が成っていないと思う。		
近畿	現場管理	講習会場受付段取り悪い	証明書発行が遅すぎる！		
九州・沖縄	現場管理	講習会場受付段取り悪い	会場案内が非常に悪い。説明もなく開始時間が遅れた。		
東北	設計	講習会場案内図不備	HP上の地図と実際の会場の内容が異なって迷った。案内は正確に願いたい。	2	講習会場案内図不備
東北	設計	講習会場案内図不備	送られた案内図ではこれませんでした		
東北	現場管理	講習会場模型見づらい	カットモデルが見えなかった	4	講習会場模型見づらい
東北	設計	講習会場模型見づらい	人が多くてモケイが見にくかった		
関東	施工	講習会場模型見づらい	カットモデル見学の時、もう少し広はんいの人に見えるようなこりよ。		
九州・沖縄	現場管理	講習会場模型見づらい	カットモデルを楽しみにしていたが、まわりの音で説明する人の声が聞こえなかった。モデルももう少し大きなものを予想していた。		
関東	施工	講習会場その他不評	DVDが見えなくて最悪でした。スタッフの段取りが最悪です。講習の順番をかえるとかしてほしかった。	4	講習会場その他不評
関東	現場管理	講習会場その他不評	事前に募集して人数もはあくでず、会場が選定が悪い。近隣で講習会が開かれたのでよるこんでいたがまちがいであった。		

関東	その他	講習会場 その他不評	空調機の逆風音がうるさい。		
中部	現場管理	講習会場 その他不評	スクリーンが近過ぎてビデオが見にくかった。前列2列くらい下げて配置したほうがよい。		
東北	現場管理	講習会場 好評	会場もこのくらい余裕があると快適に受けられました。	2	講習会場 好評
関東	現場管理	講習会場 好評	広くて、きれいでいい会場でした。		

要望・意見などー講師について

85

地域	職種	項目	記述内容	数	項目
北海道	施工	講師の話し方 不評	早口でよくわからない	38	講師の 話し方 不評
北海道	現場管理	講師の話し方 不評	講師の声が聞き取りにくかった。重要ポイントがどこなのか、説明が分かりにくかった。		
北海道	現場管理	講師の話し方 不評	講師の話が聞きとりずらく、ページ移動が大変多い。		
北海道	設計	講師の話し方 不評	講師が早口すぎ。言葉もはっきり聞きとれない部分あり。(午前中) テキストはわかりやすい。		
北海道	設計	講師の話し方 不評	午後の講師の方は説明が淡々としすぎている上にポイントを言わないので非常にわかりにくかった。		
北海道	その他	講師の話し方 不評	講師①の説明が早い点、聞き取り辛かった点等があり、残念であった		
北海道	その他	講師の話し方 不評	講師の方が普段2"×4"に多く携わられている様で2"×4"工法の優位の説明が多い様に感じました。		
北海道	その他	講師の話し方 不評	午後の講師の話し方、聞きづらい。(え〜)とか(ま〜)とかが多く、内容説明が声が小さく、です・ でしたの部分のみ声が大き。		
東北	現場管理	講師の話し方 不評	講師が早口でわかりにくい		
東北	設計	講師の話し方 不評	柏窟さんの話が聞き取りずらかったです。		
東北	その他	講師の話し方 不評	聞きとりづらい		
東北	その他	講師の話し方 不評	両講師ともわかりやすい説明をしていたが理解しやすかったが伊藤先生の説明の時にテキストの記載 内容を説明しているのかそうでない説明をしているのが分かりにくい時があったのでテキストの上中下 の部分とか(テキストのどの部分等)の説明があったほうがよりわかりやすいと感じた。		
関東	施工	講師の話し方 不評	御前ちゅうの話をもう少しゆっくりな方がいいと思う		
関東	施工	講師の話し方 不評	昼からの解説者の説明が聞きづらかった。		
関東	施工	講師の話し方 不評	もうちょっとわかりやすく説明してもらいたいです。		
関東	施工	講師の話し方 不評	早口でこまっちゃね!		
関東	現場管理	講師の話し方 不評	講師の方の声が聞き取りにくい		
関東	現場管理	講師の話し方 不評	講師の声が少し聞きづらかったです		
関東	その他	講師の話し方 不評	丸一日かけるような内容でない。講師の方へ、あわてずゆっくりはっきり話して下さい。聞きづらいです。		
北陸	施工	講師の話し方 不評	もっとゆっくりでいいねいに話してください。質問はできないのですか?		
北陸	設計	講師の話し方 不評	説明に強弱がなく長い		
中部	施工	講師の話し方 不評	講師の方の話し方が温和で、眠気を誘う。		
中部	施工	講師の話し方 不評	講師の方はなるべくはきはきとしゃべって下さい。こなしる感強すぎです。		
中部	施工	講師の話し方 不評	もっとゆっくりでいいねいに話してください。質問はできないのですか?		
中部	設計	講師の話し方 不評	女性の方の説明について読み上げ間違いが多い。上記により頭に入ってくるきません。よって不快です。		
中部	設計	講師の話し方 不評	説明に強弱がなく長い		
中部	設計	講師の話し方 不評	講師の声がいく分不明瞭で、良く聞き取れなかった。		
中部	その他	講師の話し方 不評	講師の声はもっと大きく。「話し方」を勉強して欲しい。受講者(聴き手)に印象深い話し方(ストーリー組立、 発声、ポイントクローズアップ法)を求める。DVDのナレーションと比較すると分かる。		
中部	その他	講師の話し方 不評	もう少し大きくハキハキしゃべってほしい。教Pのところ強く言ってほしい。		
近畿	その他	講師の話し方 不評	しかも講師の話し方がだるそうなので聴いていて疲れます。		
中国	施工	講師の話し方 不評	声も小さくわかりづらい		
中国	現場管理	講師の話し方 不評	講師の話がだらだらと長く感じた。(最簡単に話してほしい)		
中国	その他	講師の話し方 不評	講師①の方は、かつづけが悪すぎて、マイクを通してだとほとんど何を言っているかわからなかった。 講習をうけに来た意味がない。		
中国	その他	講師の話し方 不評	講習の説明時に「えー」という言葉がとて多くて聞きづらかった。		
四国	施工	講師の話し方 不評	午後の人の話が聞きづらかった。はっきり、明るくしゃべってほしい		
九州・沖縄	施工	講師の話し方 不評	説明者の声が聞き取りにくくて、分からない。CDで十分です		
九州・沖縄	現場管理	講師の話し方 不評	早口で分かりづらかった。		
九州・沖縄	その他	講師の話し方 不評	もう少し大きくハキハキしゃべってほしい。教Pのところ強く言ってほしい。		
北海道	現場管理	講師としての質 不評	講師の説明が大変聞きにくかった。説明もへた。(午前、午後共) はっきり教えてくれる講師の方をお願いします。お互い時間は有効に使用したいです。	30	講師と しての質 不評
北海道	現場管理	講師としての質 不評	気合のはいった方でやりましょう。		
北海道	その他	講師としての質 不評	講師によって考慮のポイントをはっきり言ってもらえる方がそうでない方がいらした。		
北海道	その他	講師としての質 不評	女性の方の説明がわるい。もう少し、勉強して下さってほしい。		
東北	施工	講師としての質 不評	テキストを読む講師ではなく、もっとレベルの高い話が聞きたかった。		
東北	現場管理	講師としての質 不評	講師の方が正直勉強不足でないかとと思われる。(模型解説時)		
東北	設計	講師としての質 不評	内容はとにかく、講師の話し方が下手です。時間配分も、講師と名乗る以上、もう少し、 トレーニングしてから依頼を受けて下さい。準備不足にも程がある。		
東北	設計	講師としての質 不評	講師がわかりずらかった(古畑氏)		
東北	その他	講師としての質 不評	講師の選別を「能力言葉」お願いします。		
東北	その他	講師としての質 不評	講習会の中で講師自ら「私も良く分からない」とか「私も始めて見た」など言うのは、いかげなものかと 思います。また、テキストにそって説明があると思っていたが、ただ読んでいただけだったので残念だった。		
関東	施工	講師としての質 不評	朝の講習の講師の説明が分かり難かった。		
関東	施工	講師としての質 不評	講師の説明がじょうず。へたありません!		
関東	施工	講師としての質 不評	テキストを丸ハキも無く読むだけの講習なら、講師は必要ない。AMの人はダメ。PMの人は良い。		
関東	現場管理	講師としての質 不評	省エネルギー化していく時代だと感じていたが、実際もうすでに省エネ化が進んでいると感じました。 講師の方の説明がもう少し分かりやすければ良かったです。		
関東	設計	講師としての質 不評	よって講師の説明が聞き取りにくく大変わかりにくかった。また読むだけの講習なら自分で読む時間を もらった方が眠くならず済む。補助事業のわりにお粗末ですね。時間も守れない講師はダメですよ? 本当に1日無駄にした気分です。		
関東	その他	講師としての質 不評	講師②は、歯ぎれが悪く、時間配分も悪く切り切れンボで終わった		
北陸	その他	講師としての質 不評	講師が文章を読むのがへた、スムーズでない。解答の解説がムダ、もっと要点だけについてやたらほうがいい。		
北陸	その他	講師としての質 不評	講師の話しの中での事務局が補足説明をするのはどうかと思う。講師の立場が無いと思う。補足説明するくらい なら、自分で講師をつとめた方がよいと思いました。		
中部	施工	講師としての質 不評	質問10は、一人はわかりやすく一人はわかりにくかった。		
中部	現場管理	講師としての質 不評	女性の講師の先生は、とてもわかりにくい。説明がよくわからないし、ただ読んでるだけ!		
中部	現場管理	講師としての質 不評	専門用語の漢字ぐらゐも読んだら		
中部	現場管理	講師としての質 不評	講師がわかりにくい。てきとう。		
中部	設計	講師としての質 不評	読めない方が講師として説明を行って良いのか?		
中部	設計	講師としての質 不評	講師の方が説明が誤っていたりよく理解できていないのでは?と思うような点があった(そのように感じられた) のが残念です。このような仕様で住宅を建てたいと思いました		
近畿	現場管理	講師としての質 不評	午前中講師はだめですね		
近畿	現場管理	講師としての質 不評	テキストはできていようと思いますが、講習会の内容、講師を務める方の、問題を有かと思えます。		
中国	施工	講師としての質 不評	質問10は、一人はわかりやすく一人はわかりにくかった。		
中国	施工	講師としての質 不評	説明する先生によってはどこを説明しているか解りにくい時があったので何ページかをいちいち言ってもら いたいです。		
中国	現場管理	講師としての質 不評	専門用語の漢字ぐらゐも読んだら		
九州・沖縄	施工	講師としての質 不評	講師の選任を考慮して欲しい。誰でも良いだろうでは困る。		
関東	施工	講師の進行 不評	講師の方へ注文!! アンダラインを引かせて下さる時はここへ引きますと先に言って下さり、しゃべって もらいたい!! 1と2をしゃべっているか分からない所多く有り、まきとりにくい。	5	講師の進行 不評
関東	施工	講師の進行 不評	時間厳守をお願いします。		
関東	現場管理	講師の進行 不評	タイムスケジュールがいかげんでモチベーションが下がる。		
北陸	施工	講師の進行 不評	スケジュールで設定された講習時間で説明できる講師研修を行った方が良いのでは? 急いで説明されても理解しづらいです。(前半の方)		
九州・沖縄	現場管理	講師の進行 不評	模型解説でパネルの説明等パネルを床に置いていたため、全然見えなかった。上にあけて説明して はしなかった。テキストを読むだけでなく例をあげて説明した方が具体的にわかりやすい。	12	講師 好評
東北	現場管理	講師 好評	(有)佐藤工務所 佐藤新多郎氏の話は現場を経験している人の話だったので、良く理解できました。 ありがとうございます。		
東北	設計	講師 好評	佐藤社長様の実務にそった説明がとてもわかりやすくポイントがおさえられていた。 設計図に書き込むポイントがわかった。		
東北	その他	講師 好評	高橋先生の講義はテキストの説明ばかりではなくコメントをつけてくれたのでわかりやすかつ		

関東	施工	講師 好評	講師の先生の説明がわかりやすかった。
関東	現場管理	講師 好評	講師の方の説明の仕方やすピードが丁度良く、聞きやすかった。
関東	現場管理	講師 好評	講師の説明が良く、わかりやすかった。
近畿	現場管理	講師 好評	ていねいな説明で良かった。
四国	施工	講師 好評	大工の講師の説明がわかりやすかった。
九州・沖縄	施工	講師 好評	講師の方が話がうまかった。
九州・沖縄	施工	講師 好評	講師の方がわかりやすかったです。
九州・沖縄	現場管理	講師 好評	午前の講習より午後の講習の方が現場での納まりを含めて話してくれたのでわかりやすかった。
九州・沖縄	設計	講師 好評	講師の方の説明が明解で分かりやすい。

要望・意見など一受講中の態度・マナーについて

10

地域	職種	項目	記述内容	数	項目
関東	現場管理	態度・マナー 講師	足を組みながらえらそうに講義をするのはどうかと思います。(註:施工C11/12山梨)	2	態度・マナー 講師
近畿	現場管理	態度・マナー 講師	講師の方が携帯電話を鳴らすのはどういったことでしょうか?しかも3回も。今日一日は大変不要な時間を感じました。(註:施工C11/23大阪)		
東北	現場管理	態度・マナー スタッフ	司会の人のイヤホンからの音もれがうるさかった。(講習中)(註:施工C9/19宮城)	2	態度・マナー スタッフ
中部	設計	態度・マナー スタッフ	人口付近のスタッフの話し声で最初の30分くらいうるさく講師の方の声が聞きにくかった。(註:施工C11/8愛知)		
関東	施工	態度・マナー 受講者	いつも土建の講習は車がだめでも必ずくるし、又入れてくれる。ルールを守る人から見たら不公平だ。そんなやつばかりで職人はバカにされるんだ	6	態度・マナー 受講者
関東	設計	態度・マナー 受講者	講習会中喋る受講者がいたのにも関わらず注意もしなければ退出もさせない。運営が非常に問題があると思う。		
関東	設計	態度・マナー 受講者	講習途中の私語の多い馬鹿をどうにかできないか。モラルがそこで止まっているのかと思うと、がっかりします。受講時の注意に1文追加よろしく願います。		
中部	現場管理	態度・マナー 受講者	開始そうそう開催者側の私語や携帯電話が耳ざわりです。講習開始前に私語や携帯電話のマナーについて話がありましたが開催者側がマナーが守れていません。開催者側のモラル不足はほなほだし!		
中国	施工	態度・マナー 受講者	審査中、話声がかなりした。国交省の公衆交差なのに、なんたる管理だろうか! 参事という土地からかもいけないし、建芳のかかえる大きな問題だと思う。全員不合格にしてはどうか。国交省の公衆はいろいろ行っているが、こんなのは初めて。		
九州・沖縄	施工	態度・マナー 受講者	審査中、話声がかなりした。国交省の公衆交差なのに、なんたる管理だろうか! 参事という土地からかもいけないし、建芳のかかえる大きな問題だと思う。全員不合格にしてはどうか。国交省の公衆はいろいろ行っているが、こんなのは初めて。		

要望・意見など一省エネ施工についての理解を求めたい対象について

43

地域	職種	項目	記述内容	数	項目
北海道	現場管理	大工、職人	新省エネ基準等で、一次エネルギーを削減をめざす建設会社に対して、ランニングコストをおさえたい施主との間に温度差を感じます。本当の意味でエネルギー削減を目指す講習会だと思います。これが施主様に伝わる様に地道な活動を各会社行なうべきだと思います。	17	大工、職人
関東	施工	大工、職人	現場の施工者を教育した方が一番良いと思いました。		
関東	現場管理	大工、職人	講習会ありがとうございました。この分野については様々学びましたが、改めて難しさを感じました。今後の住宅レベルの引上げは、やはり作り手(施工者)の知識を高める必要があると感じます。		
関東	現場管理	大工、職人	住宅に関わる全ての人が理解した上で施工にあたる必要があると感じた。特に現場施工者へ正しく伝えることが、基準化する過程で重要であると思う。		
関東	設計	大工、職人	現場の施工者は、法改正のことは全然理解していないと思う。各建築事業者に知らしめる方法が良いのでは、		
関東	その他	大工、職人	いまだにグラスウールの押し込みを見かけます。マニュアルののっとり施工が全てに行き渡る様更なる啓発活動を希待します。		
関東	その他	大工、職人	特に温暖地域の業者の断熱施工に対する意識が低すぎる為意識啓発にもっと力を入れて欲しい。(施主さんがかわいそう)		
北陸	施工	大工、職人	施工者の意識向上も大切だと感じていました。今日の公衆で現場の各自向上したと思いました。住宅施工(基準法)による関連事項も少しつきつめて説明された方が解りやすいと思いました。		
中部	施工	大工、職人	一般的に現場上りの施工者(私は大工に弟子入りしてから20年)は、断熱に関する正しい知識や施工法の指導や、学ぶ機会が皆無で見よう見まね、独自の判断で施工しているのが大半です。今回の講習は非常に役立つ内容でした。まだまだ現場施工者レベルでは正しい知識は浸透していません。今後の一層の啓発活動に期待しています。		
中部	現場管理	大工、職人	実際現場で施工する大工が、よく勉強してくれると良い。監理者が言っても伝わらない、行わない事があるため、		
中部	現場管理	大工、職人	もっと大工さんに受講して頂きたい。		
中部	設計	大工、職人	施工者の意識が低すぎる。積任がないので、意識が低いのではないのでしょうか。戸建て住宅に付きっきりで現場管理をするのは負担が大きすぎます。この様な講習会が施工者サイドに開催されることに感謝します。		
中国	施工	大工、職人	施工者の意識向上も大切だと感じていました。今日の公衆で現場の各自向上したと思いました。住宅施工(基準法)による関連事項も少しつきつめて説明された方が解りやすいと思いました。		
四国	施工	大工、職人	施工者の意識向上、建築主への説明。		
九州・沖縄	現場管理	大工、職人	現場の者、工事施工者、大工等の意識啓発を求めます。		
九州・沖縄	現場管理	大工、職人	断熱材の充填方法等、大変参考にになりました。施工管理者のみならず、現場施工者(大工)への啓発が重要だと思います。		
九州・沖縄	設計	大工、職人	大工さんに、このような講習をどんどん実施してもらいたいです。		
中部	現場管理	設備工、下職	躯体工事(大工、基礎)以外の工事関係者にもっと受講を促した方がよい	2	設備工、下職
中部	現場管理	設備工、下職	省エネ施工・金施工業者(協力業者)が、講習 勉強スル必要有り		
北海道	設計	設計者、管理者	大工さんより設計者および営業マンが知識がないと思います。	5	設計者、管理者
東北	施工	設計者、管理者	施工管理者が無知では正しい施工方法を知っていても職人は施工できない。工期、材料、手間をしっかりと考えてほしい。		
東北	現場管理	設計者、管理者	※設計従事者及び現場施工者への意識啓発が進む事を希望します。		
東北	設計	設計者、管理者	特に若い施工管理者には全員といってもいいくらい今回の講習をうけてもらい、なぜこの様な施工をしなればならないのかと理解しやすい内容だったのもっと受講するべきだと思います。		
四国	現場管理	設計者、管理者	施工講習はもとより、設計側からの法令化、又、意識啓発、重要な役割を再認識させる必要があると感じる講習でありました。大変分かり易い実践できる内容でした。有難うございました。		
東北	その他	建主	・建築主への啓発を強化し断熱・気密化に対する必要な予算の確保をPRするべきである。	12	建主
関東	現場管理	建主	11-6 建築主の認識も変わらないとダメだと思います。		
関東	設計	建主	良い方法を理解していても最終的にはかかるコストで消費者の理解と購入意欲が必要です。昔ながらの家(原点復帰)も部分的には必要なのは?		
中部	施工	建主	資源の保護目的もあるだろうが、生活自体を改善する様、業界ばかりでなく、ユーザーが勉強する必要があるのでは。生活している人達が意識改革しなくては。		
中部	現場管理	建主	上(11-6)の普及に一般の方に対しても講習等を行ってほしい。多くの施主が希まないことには・・・。		
中部	設計	建主	良い方法を理解していても最終的にはかかるコストで消費者の理解と購入意欲が必要です。昔ながらの家(原点復帰)も部分的には必要なのは?		
中部	その他	建主	実際に何が出来るか、弘毅・手間・コスト、建築主さんの理解が最大限必要な事だと思います。コスト優先の考え方が多ければ義務化したら逆に工事が減ることも考えられる。一般への啓発も必要と考えます。		
中部	その他	建主	土間まわりや天井断熱で、II、III地域により違いがあるが、理由がわからない。(防湿シートや気流止め)		
近畿	現場管理	建主	講習内容ではないが、断熱性能重視の規準となる事を一般の方に強く発信するべきです。		
中国	設計	建主	お施主様への理解をどう求めるかが課題!		
中国	その他	建主	実際に何が出来るか、弘毅・手間・コスト、建築主さんの理解が最大限必要な事だと思います。コスト優先の考え方が多ければ義務化したら逆に工事が減ることも考えられる。一般への啓発も必要と考えます。		
九州・沖縄	その他	建主	正しい断熱施工方法がされていないことで、設備による省エネにばかり意識がむいている建築主さんが増えていることは、少々残念に思います		
関東	現場管理	その他の分野	もっと多くの建築関係者に受けてもらうべきだ。	7	その他の分野
関東	現場管理	その他の分野	講習の1つとして、これからはやらなくては行けない、又はやっつあたりまえだという意識改革を起す内容が必要だと思う。我々建設業に関わる人たちに。		
関東	その他	その他の分野	大変勉強になりました。住宅に携わるすべての人が聞いた方がよい内容だと感じました。ありがとうございました。		

近畿	設計	その他の分野	講習会にこられていない管理者・施工者をどうよびこむかだと思います。知られないまま施工されているのが多々だと思います。
四国	設計	その他の分野	分かりやすく良いと思います。今日は住宅に従事している設計者が少なかった様ですが、そちらや設備関係団体へのアプローチもしたらどうでしょうか？
九州・沖縄	現場管理	その他の分野	管理者、施工職人の講習会の参加と周知、省エネの意義の伝達
九州・沖縄	設計	その他の分野	大工技能者は、発注者(多くは住宅メーカー)からの仕事を受注する。発注者であるメーカー側の意識がないと、大工のもつ技能は発揮されない。という事は、大工技能者(省エネ施工)としての評価がとまならないため、技能者のモチベーションが上がらない。仕事につながるための、何らかの評価システム、合わせて継続的な技術講習なども必要だと思う。

要望・意見など一制度、特定の工法・材料について

135

地域	職種	項目	記述内容	数	項目
東北	現場管理	省エネ施策	政府で決定されている助成金や補助金の額が低すぎます。制度を活用しようにも安すぎて建築費に充当出来ず施工者側の資金も上昇していない状態なのに、もっと大きく補助金を出したらどうか。東日本大震災の復興予算など使用もせず返納している様な状態ならばたすかる人もたくさん出て来るでしょう。もっとうまく金を使う事を考えないと建築技術者はいなくなってしまうよ。	31	省エネ施策への批判的意見
東北	設計	省エネ施策	住宅コストをおさえるためにも断熱材メーカーに資材コストダウンをはたらかかせるべきで、講習会を運営する団体として要望して下さい。		
東北	設計	省エネ施策	省エネ住宅の推進の必要性は理解出来るが、デメリット(気密住宅)健康傷害の懸念等はないのか。その辺の考察もあって良いと思う。		
関東	施工	省エネ施策	この講習の内容は日本の伝統工法の事は全く考えていない。そんなに厚い断熱材を使う必要はない。もっと薄い断熱材でも、材質や入れ方を工夫すれば、その辺にある家より、大きく優れた住宅性能がある。そもそも断熱うんぬんより、ペニヤ類をあたり前のように使ってる時点でゴミを作ってるのだからそこから考えるべき。これだから国の連中はバカだ。		
関東	施工	省エネ施策	細部にいたるまでのきちんとした施工により低炭素化の技術を高めることは建設業界全体の役割だと思います。ですが、施工会社間での技術の差が大きくなることや職人への負担を考えると、技術だけを考えればよいというのではない気がします。		
関東	施工	省エネ施策	断熱材の価格アップが毎回あるので、国の補助で製品自体を安くすれば、使用量も全国的にあがると思う。		
関東	現場管理	省エネ施策	8-31について めんどろ、体系整理されていない		
関東	現場管理	省エネ施策	屋内内の気路は防湿のみでは防げないと思います(必ずもれる箇所ができ、水蒸気は圧力で侵入してくるので)高断熱化+高気密化が進んでもシックハウス等新たな問題がでてくると思います。省エネに対して反対するつもりはないですが、住宅建築業界全体の流がメーカーよりになっていることに疑問を感じます。		
関東	現場管理	省エネ施策	現行省エネの具体的な(設計)やり方がいま理解できない(仕様規定が無くなる)と聞いている2年程の先行省エネの規定があるとは言え、今のうちに理解を(実践的な講習)を行わないと混乱、間違いの発生は必須である。低炭素住宅の件も含め設計側への講習を至急計画して欲しい※本日の講義に於いて午前中担当の講師は「まだ大丈夫」と言っていたがその様な認識では困る。		
関東	現場管理	省エネ施策	断熱材自体のエコロジー化と熱源のエコロジー化も同時に研究開発が必要と感じました。(化石燃料以外の原料での断熱材の生産等、マキストープ等)接着材、テープ等の化学物質にたよりすぎている断熱工法は本当に省エネ住宅と言えるのか?と感じました。		
関東	その他	省エネ施策	アメリカ等は州等のエネルギー対策の為、断熱材の施工後の検査が公約機関で実施されている。日本でも必要では?		
関東	その他	省エネ施策	国の政策が決定してから行った方が良かったのではないのでしょうか		
関東	その他	省エネ施策	省エネ住宅の目標は建設することが最終ではない、むしろ建設は手段でしかない、真の目標は、実際に省エネルギーとしての運用が適切に行われる事である。が、住人は時として住宅の使用方法を適切に利用出来ない事が多い。この国のエネルギー問題の解決の為には、住民に対しての啓発活動も必要である。又、工務店側としても、住人(業主においても)その意識がないと、コストアップ		
北陸	設計	省エネ施策	国全体で住宅省エネの成果(石油の輸入量減少等)があったかを示すべき		
中部	施工	省エネ施策	断熱材の中に多く、燃焼に適した材料で作られたものが多く、後世必ず問題になるものと思われる。西部における震災が近年に予想される中このような建材の使用のあり方を容認していくことは建築業界としては再考し政府に対して提言していくべきである。		
中部	施工	省エネ施策	もっと早く普及すべきである。		
中部	現場管理	省エネ施策	屋内内の気路は防湿のみでは防げないと思います(必ずもれる箇所ができ、水蒸気は圧力で侵入してくるので)高断熱化+高気密化が進んでもシックハウス等新たな問題がでてくると思います。省エネに対して反対するつもりはないですが、住宅建築業界全体の流がメーカーよりになっていることに疑問を感じます。		
中部	現場管理	省エネ施策	住宅の省エネルギーについての講習を行うことがあまりにも遅すぎる気がする。20年くらい前からあっても良かったのでは?日本の住宅の省エネ性が先進国の中で悪すぎる!		
中部	現場管理	省エネ施策	平成32年までの省エネ施工の業務化に向け進めるのであれば、必要性を今以上にアピールする事が必要と感じます。消費税はup、建築資材についてもupで省エネを取組むとさらなるコストupがあると云えます。その必要性をアピールして下さい!		
中部	現場管理	省エネ施策	断熱、気密を向上させ普及させて行くのは良いが、それによつての弱点もあります。そのこともしっかり伝えて行かなければ、あとでたいへんなことになると感じますが、		
中部	設計	省エネ施策	瑕疵保険の中間検査で断熱材も検査するようになれば良いが、		
中部	設計	省エネ施策	本当に石油製品で断熱性を高める住宅が必要なのですか		
中部	その他	省エネ施策	仕様規定のみで気密が出るとは思えない、気密試験は必須。		
中部	その他	省エネ施策	日本のエネルギーに関する意識のなさ、EU圏と比較しても20年ほど遅れている。エネルギー政策の転換、省エネに関して断熱強化の優先順位を明確にすべきと考えます。最低基準をもっとひき上げるべきだと思います。		
近畿	施工	省エネ施策	同じタイプの住宅ばかりになりそうであらぬ、本当にいいの不安が残る。		
近畿	現場管理	省エネ施策	住宅メーカーは2030以後を考えていると思われますがこれは、全体のレベルアップだけと感じました。制度にがっかり		
中国	施工	省エネ施策	断熱材の入れ方と建物形状の関係がある程度単調なので、木質を活かした場合どうなのか?よくわからないことが多くあると思われます。真壁仕上の場合の記述が一ヶ所しかない様な?林野庁の地球木材、住宅造りと矛盾が生じているのではあるまいか?		
中国	設計	省エネ施策	自然素材での代替案も提示して欲しい。林野庁が推進している木材使用、土壁住宅などと矛盾しているのではないのでしょうか。		
四国	施工	省エネ施策	断熱材の入れ方と建物形状の関係がある程度単調なので、木質を活かした場合どうなのか?よくわからないことが多くあると思われます。真壁仕上の場合の記述が一ヶ所しかない様な?林野庁の地球木材、住宅造りと矛盾が生じているのではあるまいか?		
四国	設計	省エネ施策	自然素材での代替案も提示して欲しい。林野庁が推進している木材使用、土壁住宅などと矛盾しているのではないのでしょうか。		
九州・沖縄	設計	省エネ施策	制度とか、施工、材料などとにかくシンプルなものとしてもらいたい、特に、施工者の負担が少ない方向で考えてほしい。現場とのズレというか、理解が不足しているのでは?と思う。		
東北	設計	高気密・高断熱	高断熱、高気密住宅の基本的な考え方が日本の温暖化を進ませている様な気がします。冬場は省エネでよいのですが、夏場のACなしで過ごせる考えはないものでしょうか?	8	高気密・高断熱
中部	現場管理	高気密・高断熱	省エネの時代に入ると、どうしても高気密になってしまうのか?		
近畿	施工	高気密・高断熱	高気密、高断熱である必要がない。		
近畿	その他	高気密・高断熱	高気密高断熱の方向へ向かうことが本当に正しいか疑問に思う。		
中国	施工	高気密・高断熱	高気密、高断熱住宅以外の普通の住宅でもここまで必要かと思つた。		
九州・沖縄	施工	高気密・高断熱	高気密、高断熱は、白蟻の温床になるのではないかと。特に基礎パッキンが本来の目的である基礎部と木部の縁を切ることに問題がある。		
九州・沖縄	現場管理	高気密・高断熱	私達が考える家とは、高断熱、低気密を考えております。高気密にすることにより多くのエネルギーが必要になると考えます。省エネルギーについて国交省はもう少し考えてみてほしいかと思われる。全体的にハウスメーカー対応にしてある様な気がする。本来の家の良さがなくなっていく様な気がする。		
九州・沖縄	設計	高気密・高断熱	高断熱高気密でいいのだからかと思つた?		
北海道	設計	地域性	I 地域なのに説明がIII 地域はどうしてなんでしょうか。		
東北	現場管理	地域性	3,キーン外断熱工法で完全に床換気しないのは福島では不可だと思う。		
東北	現場管理	地域性	庄内地域ではどのような断熱施工が通しているか知りたい。		
東北	現場管理	地域性	全国的なのではないかと思つますが、1~3地域に関しては、もう少ししっかりした形で施工しないと内部結露等がこわいと感じました。		
東北	設計	地域性	福島県内ではこの材料の断熱材を使って、この方法が一番いい方法という説明も聞きたかった。		
東北	その他	地域性	より断熱性を高める気密性を高める為の講習を希望します。さらに、新庄地域(寒冷地)に適した内容での講習を希望します。		
東北	無回答	地域性	岩手県内陸部はほぼ3地域(旧II地域)なのになぜ防湿フィルム付GWの施工法の解説をするのか?	11	地域性

北陸	施工	地域性	基本的な事をダラダラしゃべってては身にならない。地域での講習会をしているのなら、地域の特性に合った施工法をもっと推して講習するべき。形だけの修了証は正直いらない。		
中部	現場管理	地域性	省エネ基準地域区分に合った講習会でないかかってまちがいがでるのでは長野県はII地域が多いのにIII、IV地域の施工講習ではなさない。		
中国	現場管理	地域性	省エネ基準地域区分に合った講習会でないかかってまちがいがでるのでは長野県はII地域が多いのにIII、IV地域の施工講習ではなさない。		
九州・沖縄	現場管理	地域性	地域別の施工でIV地域を講習してほしい。		
東北	施工	断熱施工	ふくろ断熱をていねいに施工するのがむずかしい。ふくろなしのほうがいい。	6	断熱施工
関東	施工	断熱施工	施工を指揮する年輩層の断熱材に対する意識が依然として低い。新しいやり方に対する抵抗感が強い。設計事務所の者です。いつも深く考えないで図面に断熱設計を取り入れていました。たいへん参考になりました。ありがとうございます。しかし、実際現場にて施工できるのか？と思われる箇所がありました。「タヌキ筋交いはなるべくしないで」と申されていたのにはびっくり。耐力壁は重要です！！その部分だけ面材といのはむずかしい。		
北陸	設計	断熱施工			
中部	施工	断熱施工	・真カベ工法でキンカイ等があると施工がむずかしい		
九州・沖縄	施工	断熱施工	明確な指針が無い様に感じられた。私の質問に対しても「今後いろいろな製品が出てくるでしょうし・・・。」との回答でいまちはっきりしない答え。結局自分で考えて施工するしかないのだろうか？		
九州・沖縄	設計	断熱施工	繊維系断熱材で壁工事の方に、現場では間違えて施工されている事が多いと思われる。	6	伝統工法
東北	現場管理	伝統工法	伝統的な木造住宅に関する検討が義務化実現への課題となっているがきちんと説明してほしい。落し込み丸太組etc		
関東	施工	伝統工法	外部真壁でついで仕上げの場合どうするのでしょうか？日本古来の施工方法における断熱気密についての記述がほしいです。		
中部	施工	伝統工法	だんだん日本古来からの住宅が作りずらくなってしまった。		
中部	施工	伝統工法	伝統工法による、土壁の場合はボードを使わない場合羽目板などを貼る場合はどうするか。		
中部	施工	伝統工法	伝統工法による土壁の場合はボードを使わない場合羽目板などを貼る場合はどうするか。		
中部	現場管理	伝統工法	低気密、低断熱の伝統的な日本家屋は今後つくれないのでしょうか？		
関東	現場管理	特定の工法・材料	真壁貫工法の住宅はどうすれば良いでしょうか。	73	特定の工法・材料
北陸	施工	特定の工法・材料	外の壁はどうする？ 両方真壁は？		
中部	施工	特定の工法・材料	和風(真壁)の場合の施工法が知りたい。(内、外真壁)		
中部	その他	特定の工法・材料	充填断熱工法における真壁、スキ工法の場合の断熱施工方法		
近畿	設計	特定の工法・材料	襖式真壁工法、自然素材等との関連についても内容を加えていただきたいと思います。		
中国	施工	特定の工法・材料	和風(真壁)の場合の施工法が知りたい。(内、外真壁)		
中部	施工	特定の工法・材料	・従来工法の土アーク等は、もう出来ないのか？断熱材メーカーの策略		
中部	施工	特定の工法・材料	土壁については一言も書かれていないようですが、土壁に関する基準は無いのでしょうか？		
近畿	その他	特定の工法・材料	S50年の木造住宅で土壁が使用されている。土壁部分の断熱対策はどのようにするのでしょうか？		
四国	施工	特定の工法・材料	荒壁を施工した時の断熱仕様の説明がほしいのではありません。		
四国	現場管理	特定の工法・材料	土壁の施工、良い点、特に吸湿性能が有ると思います。		
東北	現場管理	特定の工法・材料	今後の省エネ基準から考えれば、付加断熱(充填外張り併用)を講習で取り入れて欲しいと思います。		
東北	現場管理	特定の工法・材料	充填工法での防湿フィルムと気流止めの重要性を再認識出来た良かった。外張り断熱の中でもコスト面での検討が必要な部分があると思われる。		
関東	その他	特定の工法・材料	外断熱仕様C値(1.0m ² /M ² 以上)の場合、二重通気にて内部通気に関しては気流止め無で宜しいでしょうか。(地中熱利用・温度喚起・ダンパー有り)		
四国	その他	特定の工法・材料	テキストの読み合わせは、時間がかからない、事例を上げ外断熱工法の解説をすれば良い。		
九州・沖縄	施工	特定の工法・材料	うちの会社は12、3年前から外断熱を施行していますが、非常に施行はしやすいと思います。コストの問題かな？		
九州・沖縄	現場管理	特定の工法・材料	今後の省エネ基準から考えれば、付加断熱(充填外張り併用)を講習で取り入れて欲しいと思います。		
北海道	施工	特定の工法・材料	ツープイの会社も必要かも？		
北海道	現場管理	特定の工法・材料	できれば2×4に関する部分の所もとりあげていただくとお話し。		
北海道	その他	特定の工法・材料	2×4、2×6工法についてももう少し説明してほしい。		
関東	その他	特定の工法・材料	在来2×4工法、プレハブ法等で施工が異なる為、工法毎の施工研修が必要		
中部	施工	特定の工法・材料	2×4式には合う		
東北	現場管理	特定の工法・材料	グラスウール施工は今時、少ないのではないのでしょうか？		
東北	現場管理	特定の工法・材料	断熱住宅といっても漠然としている。どこが基準なのか分からない。現在トステムのSW工法をやっている。		
東北	現場管理	特定の工法・材料	吹付け断熱の注意点(施工後のチェックすべき点等)についても知りたい。		
東北	その他	特定の工法・材料	現場発泡ウレタンを利用した内容が少なかった。		
関東	施工	特定の工法・材料	なぜ時代遅れのグラスウールの施工方法を学ばなければならないのか		
関東	施工	特定の工法・材料	吹込み断熱工法をする際の、具体的なトラブル事例など、施工の際に注意すべき点などを知らなかった。(吹込み工法を、やった事が無いから)防湿層の作り方が参考になった。きちんとした施行をするには、相応の工賃がかかるこという事を、社会的に認知してもらいたいと思う。		
関東	施工	特定の工法・材料	吹き付けの泡断熱についてやってほしい。		
関東	現場管理	特定の工法・材料	グラスウール等の断熱は、手間がかかる為、コストにもよるが外張り断熱が多くなると思う。		
北陸	設計	特定の工法・材料	そろそろ断熱材としてグラスウールを使用する事を止めれば良いと思う。教科書にある様な施工を現場に求めるのは困難である。		
中部	施工	特定の工法・材料	・省エネルギーを推進しているわりにはグラスウール等再生できるの～		
中部	施工	特定の工法・材料	・リクルSW工法では、今回講習会内容は施工済です。平均Q値.200.C値.0.6平均(1棟ごと測定)		
中部	施工	特定の工法・材料	・他の断熱工法は未施工		
中部	施工	特定の工法・材料	断熱材の施工、考え方がSW工法とは真逆なので、そこは個人的な判断又は現場単位で考えていきたいと思いました。		
中部	施工	特定の工法・材料	羊毛、サーモウォールなどはどうするか？		
中部	施工	特定の工法・材料	羊毛、サーモウォールなどはどうするか？		
中部	現場管理	特定の工法・材料	もう少し細かい部分の断熱材の入れ方や吹付け断熱等の説明が欲しかった。		
近畿	施工	特定の工法・材料	グラスウールは断熱材として使用していないため、施工などの講習は必要なかったです。		
近畿	施工	特定の工法・材料	ほとんどがグラスウールの説明が多かったと思われます。現場発泡断熱材についての説明が不足だったように思う。今後は現場発泡断熱の施工が多くなると思われるから、メーカー施工であるが管理はしないとダメである。		
近畿	現場管理	特定の工法・材料	いつも吹き付け断熱をやっていますが取り合い等が分かりにくい。説明が少ない。		
近畿	現場管理	特定の工法・材料	現場発泡、硬質ウレタンのA種1、A種2、A種3の違いについて具体的に御説明下さい。※アインネンはA種3ですか？		
近畿	現場管理	特定の工法・材料	他の施工についてはこれから変りますか(今回、グラスウールと外断熱でしたが)		
近畿	設計	特定の工法・材料	ALC版○ア100に内部ウレタンフォーム○ア10を吹付した場合どれだけ効果があるか知りたい。鉄骨造の外壁胴縁C鋼の場合の断熱の仕様が知りたい。		
四国	施工	特定の工法・材料	下屋部分など一部例外はあるものの、プラスチック系断熱材を壁内、外側に押し込み、気密性を注意しながら施工することで、電気配線等の変更や、リフォームに対応しやすい家になると思います。現在、壁内と基礎断熱にポリスチ2・3種Bを使っていますが経年劣化が課題です。比較的安価で経年劣化の少ない製品を期待します。		
四国	施工	特定の工法・材料	パーフェクトバリアの性能についての数値があればよかった。		
九州・沖縄	施工	特定の工法・材料	吹付断熱をこれから施工標準として考えていたけど、少しもふれていないのでガッカリした。単価は高いけど、断熱効果は高いと思います。又、今までのグラスウールの施工がまちがっていた事に気付いたのでよかった。		
九州・沖縄	現場管理	特定の工法・材料	吹付断熱工法等の注意点説明が不足している。		
東北	現場管理	特定の工法・材料	自社で行っている施工方法(工法)と今回の講習の内容(標準的な施工方法)が、相反することだったので？でした。標準的な施工の時は参考になると思うが…		
東北	現場管理	特定の工法・材料	防湿シート施工は、手間がかかるうえ、他業者とのとり扱いがむずかしい。基礎内断熱とウレタン吹付で対応していくのがやりやすい。但し施工単価が上がってしまうのがなんてん！		
東北	設計	特定の工法・材料	繊維系断熱材の外側透湿フィルムは、外気の湿気が侵入すると、メーカーも間違いない。両面防水(防湿)。考えた方がよいのでは、したがって二重防湿(放湿性のボード(インテレーションボード)＋タイバックの施工が必要(通気構造)。		
関東	施工	特定の工法・材料	・ビニールに包まれた家で本当に良いのかと思う。この方法だと木造であることの意味が無くなる(何で建てても一緒)・職人としての技能がいらなくなる		
関東	施工	特定の工法・材料	大手メーカーの断熱材よりも進んだ会社の商品があるのになかなか理解ができないようです。とにかく早く、実現しなければならぬと思う。今の講習会は10年おそいと思います。		
関東	施工	特定の工法・材料	施工方法による(各社)の差が有り大変。		
関東	施工	特定の工法・材料	トレードオフで床の特例に関して、床根太間隔を300から450にして熟熱の比率を下げる方法があるか、450センチと云うのは、現実的には行なわれていないと思うが…。		

関東	施工	特定の工法・材料	木造在来工法の自分の考える良さが全くもって否定されている気がして理解できかねる。
関東	現場管理	特定の工法・材料	外壁がコンクリート仕上げの場合の通気層確保の仕方を教えて下さい。
関東	現場管理	特定の工法・材料	知り合いの工務店は自然素材だけで住宅を建てている。ベニア、クロス、ボードetc、使わず。壁断熱材も1寸の杉板を入れている。通用しますか？室内は貼板以外all真壁です。
関東	現場管理	特定の工法・材料	わかりやすい講義だったのでもう少し色々な断熱施工について聞けるともっとよかったです。 (自社の使用しているものと違った為)
北陸	現場管理	特定の工法・材料	新築の場合、在来軸組+断熱パネル工法が多くなっています。その場合の施工についても講習があればもっと良かった。
北陸	設計	特定の工法・材料	・屋根の断熱を内側からする場合の棟換気と部分の施工 ・気流止め全ての画像や動画がみれたらいいです。
中部	施工	特定の工法・材料	断熱講習で基本的な工事内容で少し残念でした。次回もし機会がまたあれば、もう少し次世代的な特種な工法の勉強会とか参加したいです。
中部	設計	特定の工法・材料	モルタル外壁の場合の結露について難ありであったので、今後良好な施工の方法を教えてください。また、サイディングの劣化などに供ない問題点もある為、モルタル壁を望むこともあり。
中部	その他	特定の工法・材料	意見②・太陽光発電は、CO2減少のエネルギーだが、パネル寿命20年なのに、100年住宅では、何度でも設置し直すのか？廃棄パネルは危険物多量と言われるが、処分問題は解決しているのか？金属抽出(採掘)時、放射線被曝があるが安全と言えるか？
中部	その他	特定の工法・材料	出来れば金物などもいっしょに講習してもらえば良いと思います。
近畿	施工	特定の工法・材料	断熱材の材料が石油系が多いので、吸湿、排湿がないので結露ふえるのでは？
近畿	施工	特定の工法・材料	自然素材をもっとふえるといいですネ
近畿	施工	特定の工法・材料	防湿フィルムに包んでしまう建築をしている限り、良い住宅になるわけがない。人間は、ナイロン袋の中で健康に住めるわけがない。
近畿	現場管理	特定の工法・材料	ただ近年は遮熱や通気工法(内壁)もあり、一概に全て省エネ講習のやり方が全て良いとは言えない。
近畿	その他	特定の工法・材料	日頃の業務上工法について答えがありません。よろしくお願ひします。省エネについては、今の業務にそくして役立ちます。ありがとうございます。
九州	現場管理	特定の工法・材料	極太の化粧板、柱、土台との取合いがわかりません。500口、400口、300口等内外化粧材として使用する場合→ログハウスのP&B工法。☆ログハウスの外壁の事
九州・沖縄	施工	特定の工法・材料	最終的に十にかえる家が良いと思う。
九州・沖縄	施工	特定の工法・材料	内断熱の内容が多かったから、高気密、高断熱の外断熱使用の話も多く聞きたかった。
九州・沖縄	現場管理	特定の工法・材料	お客様への対応として法律的な学習があればいいと思った。勉強になりました。ありがとうございます。
九州・沖縄	設計	特定の工法・材料	もっといろいろな断熱方法を教えてください
九州・沖縄	設計	特定の工法・材料	在来工法 下屋型家屋では非常に施工しづらい

受講後の感想など

128

地域	職種	項目	記述内容	数	項目
東北	施工	(再)確認ができた	断熱、施工方法等の説明など、最度確認に来ました。省エネ施工に向けて適格に施工して行こうと思います。	17	(再)確認ができた
東北	設計	(再)確認ができた	改めて学習する事で再認識できる部分があり出席して良かったと思います。		
東北	設計	(再)確認ができた	改めて気づいた点で有りました。		
東北	その他	(再)確認ができた	不明だった部分を再度確認あり、今後の施工を確実に進める様になると思います。		
関東	現場管理	(再)確認ができた	今まででいまいだった事がはっきりしたような気がします。		
関東	現場管理	(再)確認ができた	今まででいまいしてきた部分が理解でき、また、標準のテキストがあるので何かあれば参考にしたいです。		
関東	現場管理	(再)確認ができた	気密について！ここまで必要だったのですね。		
関東	現場管理	(再)確認ができた	これまでの経験を再認識させて頂きました。ありがとうございます。		
関東	現場管理	(再)確認ができた	断熱材について知らなかったことや再認識することができ、とても勉強になりました。		
関東	現場管理	(再)確認ができた	わかってはいたけれど、あらためて意識していきたい		
北陸	施工	(再)確認ができた	断熱施工は以前から講習などで勉強してきたので確認できたし今後の自信になりました。	3	今後が心配
中部	施工	(再)確認ができた	改めて断熱施工の重要性を感じ再度確認、学習ができたので大変有意義な研修になりました。		
中部	現場管理	(再)確認ができた	断熱施工の重要性について再認識した。施工箇所・方法について勉強になりました。		
近畿	設計	(再)確認ができた	住宅の断熱についてよく分かったのだが、改めてそのポイントを理解できた。		
近畿	設計	(再)確認ができた	当然皆やっているだろうという内容でした。とても丁寧だったのでおさらい、気持ちの改めにいいなと思います。		
中国	施工	(再)確認ができた	改めて正しい施工を勉強できて非常に役立った。長い目で見てと耐久性etcで心配な事もある。		
四国	現場管理	(再)確認ができた	本日はありがとうございます。講習にて断熱施工における方法を再度確認することができました。		
東北	現場管理	今後が心配	グリーン材で建物を施工した場合、気流止めなどを設置すると木材が密閉された状態となり、木材の割れ、腐りなどを起こしやすくなるのではないかと感じています。		
東北	現場管理	今後が心配	気密や断熱材施工の良悪は現場施工にかなりウエイトがかかる為、今後の大工の減少や職人不足に対して、きちんとした指示・指導が行き渡れるのか業界で大変不安だと思われる。今日は大変勉強になりました。ありがとうございます。		
関東	現場管理	今後が心配	平成25年省エネ基準の義務化以降、中小工務店は本当に生き残れるのでしょうか。		
北海道	設計	その他	省エネはこれから必見。それにすぐれているということは、建築業界での生き残りにつながる。	108	その他
北海道	設計	その他	断熱は設計面、施工面の両方で意識して行わなければならないと思います。		
北海道	その他	その他	貴重な資料、講話をありがとうございました。これからの北海道住宅としての考え方に参考させていただきます。また、国の制度において北海道住宅は適性なのか大手ハウスメーカーさんの競争にどの様にすれば良いか今回を参考にさせていただきます。		
北海道	その他	その他	現在、中小工務店のかかえている問題がわかった。今後		
東北	現場管理	その他	あまり必要ない内容だった。		
東北	現場管理	その他	多くの講習会に参加してきましたが、今回の講習会の説明は大変わかりやすく良かったと思います。施工管理へ正確な理解の元、管理したいと思います。		
東北	現場管理	その他	これからの住宅産業は省エネ、低炭素と住設機器と省エネ暖季エアコンなど電気が主流になると思いますが、ガス、石油等の化石燃料もとの様な変化が出てくるか非常に興味深い、原発動かないと電気料が高い		
東北	現場管理	その他	大変勉強になりました。これからの住宅の有り方はもちろんですが施主に納得していただく住宅造りに役立てたいと思います。		
東北	現場管理	その他	普段も高断熱処理施工をしているが、省力化(コストダウン:変備)につながる方法をいつも気にしている。(もっと良い方法はないか)		
東北	現場管理	その他	わかってはいたけれど、あらためて意識していきたい		
東北	設計	その他	知らないことがたくさんありました。断熱工事屋さんに頼んでるので、自分もちゃんと理解しておかないといけないなと思いました。有難うございました。		
東北	設計	その他	設計業務のため11の回答ができません。		
東北	設計	その他	直感的に息がつまると感じた。		
東北	その他	その他	一度ではすべての内容を理解することは難しいのでDVD、マニュアルを見つつ、		
東北	その他	その他	自主研修していかなければならぬと痛感した		
東北	その他	その他	基本的な事であったが、良く理解出来ました。正しい施工を目指します！！		
東北	その他	その他	講師の方によって、講習内容が変わる事が無いのでしたら、今回の講習をもっとPRし、現場施工者にまで落とし込みたいと感じました。		
東北	その他	その他	今後の住宅の省エネ化の手法、各断熱材の特徴、断熱方法について大変勉強になりました。DVD模型にて実際見たことによりさらに記憶に残りました。本日は長時間ありがとうございました。		
東北	その他	その他	サッシメーカーの営業としても大変参考になりました。ありがとうございます。		
東北	その他	その他	普段施工していないので、その部分はアンケートに未解答です。		
東北	その他	その他	窓メーカー勤務ですが、今は建物全般の知識が必要となっており、今回の講習会はとても勉強になりました。こういった講習会には建築関係者は是非でるべきと感じました。今後も継続的に行き、エリア全体の知識、施工レベル向上に繋げて頂きたいです。		
東北	その他	その他	大変参考になりました。有難うございました。質問11にしまして、施工側ではない為、記載できず、申し訳ありません。		
関東	施工	その他	今まで正しく施工してたとと思っていたものと合わせて、今回はここまで必要なんだと(気流止め)講習会を通して学ぶことができました。現場で実践して、徹底をはかっていきたいと思いました。どうもありがとうございました。		
関東	施工	その他	筋かい部の施工は、私の廻りに誰も知らず、いつも疑問に思っていました。手間はかかるが、方法がわかりました。(現状では、大手ハウスメーカー以外は、上記の施工をしていないし監理者も理解していないと思う。→指示された事はない。)		
関東	施工	その他	特例がためになりました。他はメーカー等の研修などと特にかかわらないと思いました。個人業者 工務店さんなどの講習だと思います。お金使ってまでの内容ではなかったかな		
関東	施工	その他	なかなかためになった。実際施工して、体感したいと思う。		
関東	施工	その他	今まででは許可にならない部分があり、今後注意して施工したいと思います。天井野ブチが軽量なのですが、シートはどうはれば良いか少し考えさせられました。		

関東	現場管理	その他	基本は理解出来ましたが、仕上材や、構造上、いろんなパターンがありますと思います(モルタルや 混構造や、集合住宅とか...)その場合どうしていくか、これからさらに勉強してエキスパートになっていきたい。
関東	現場管理	その他	これからの日本家庭にすばらしい情報ありがとうございました。現場は大変になること間違いなしですね。
関東	現場管理	その他	断熱の施工方法をこれからマニュアル通り施工して行きたいと思っています
関東	現場管理	その他	地球環境と暮らしにおいて資源の枯渇に対して意識をたかめなければいけないと思った。 あとは断熱材の連続の重要性
関東	現場管理	その他	不明だった箇処が明瞭になり、とても有意義でした。
関東	設計	その他	2020年に住宅でも義務化される省エネ基準は、平成25年基準なのでしょうか。それとも検討中ですか？
関東	設計	その他	基礎的な熱エネルギーの考え方や学習が必要。低炭素やゼロエネルギー等の新しい基準や知識、 計算ソフトの知識が必要。
関東	設計	その他	これから現場へ断熱材の検査の際、今までよりもっと気をつけて検査できると思います。 ありがとうございました。
関東	設計	その他	繊維系断熱材の充填工法及び気流止材の施工により壁体内の空気の流れがなくなりますが、 100年住宅になりますか？
関東	その他	その他	※建築をする立場でないため、アンケートに答えられず申し訳ございません開の部に携わる仕事を している中で、今度は住宅全体の断熱化を提案できるよう参加させてもらいました今後の営業提案 する上で非常に役に立ちました
関東	その他	その他	この先、施工管理やその他の資格を取得する予定でいるので、役に立ちました。ありがとうございます。
関東	その他	その他	営業職の為、施工等は行ってないが、今後取引先の工務店に今回の講義を伝授したいと思います。 本日は有難うございました。
関東	その他	その他	自分の営業での仕事であり、住宅施工の監理に対する知識が充分ではないため受講しました。
関東	その他	その他	基本的な考え方や、25年度の基準の注意点、施工上の注意点について、とても勉強になりました。 今回学んだことを普段の審査の中でも役立てたいと思います。
北陸	施工	その他	2020年に住宅省エネルギーが全建物にて適用されるには、いろいろな面でまずかいいと思いました。
北陸	施工	その他	現場の立場で考えて欲しい
北陸	施工	その他	どの位の強制力があるのかわからなかった
北陸	現場管理	その他	実際の現場をもう少しと見て頂き、取合等難しい部位に対する施工方法があればいいと思う。
北陸	設計	その他	最新の情報があると期待した。講師と司会の方、ありがとうございました。
北陸	設計	その他	住宅の省エネ技術は簡単ではない。ぜひ業界全体の底上げをすすめて下さい。 ずさんで安い住まいは供給できない様に。
北陸	設計	その他	補佐役のおじさんが細かいところまで良く知っているタマゴタ。
北陸	その他	その他	充填工法を主に考えていられます。1日では時間が足りない。天井は別張り気密シートを貼る場合を今まで 考えていませんでしたが、今後工務店に教えてゆきます。気流止めも指示します。 コスト面で充填工法をしっかりとてゆく事を考えます。
北陸	その他	その他	正しく施工されている現場は少ないのではと感じた。アンケートにもあったが、意識が必要だと思う。
中部	施工	その他	あいまいな気持ちで消費者に技術をできようとしていた事を反省している。ためになる講習会でした。
中部	施工	その他	あいまいな気持ちで消費者に技術をできようとしていた事を反省している。ためになる講習会でした。
中部	施工	その他	最新の住宅施工についての貴重な講演会でした
中部	施工	その他	大変参考になりました。ありがとうございました。筋違いの断熱がもう少し施工しやすくなるとありがたいですが… つかれました。
中部	施工	その他	勉強になりました。意識して施工したいと思います。
中部	施工	その他	勉強になりました。すぐに現場で実行してみたいと思います。
中部	現場管理	その他	H11年度省エネ基準でI～VIありますが等級4対応となると例、I、II地区の等級4対応となると 材料(建材)のセクタがむづかしい
中部	現場管理	その他	いろいろ講習会に参加してやっとなってきた。今60才ですが、少しおそかったかも
中部	現場管理	その他	建築主に契約前に誰が説明するのか？一施工管理者？or営業？設計者はそこまで説明しないと思います
中部	現場管理	その他	実際の現場をもう少しと見て頂き、取合等難しい部位に対する施工方法があればいいなと思う。
中部	現場管理	その他	大変勉強になりました。これからの住宅の有り方はもちろんですが施工に納得していただく 住宅造りに役立てたいと思います。
中部	現場管理	その他	良かった。現場で施工に当たると、問題か、多く出るような気がした。
中部	現場管理	その他	断熱施工をもっと大事に行い、お客様にわかってもらう努力が必要と思いました。
中部	設計	その他	出席者が少ないのが気になる。その他の講習会などで内容が業界にしっかりと伝わっているのだろうか？
中部	設計	その他	省エネ改修はまだ工夫が必要
中部	その他	その他	講師の方によって、講習内容が変わる事が無いのでしたら、今回の講習をもっとPRし、 現場施工者にまで落とし込みたいと感じました。
中部	その他	その他	普段現場で行くことが少ないため、なかなか理解できないところもあったが、今回のセミナーを機に 商品知識と並行して広報や断熱知識を身に付けようと思いました。
中部	その他	その他	私は現在製材業に従事している元建築大工です。会社の意向で講習をうけました。
中部	無回答	その他	断熱工事専門の工事及び業者が普及してほしい
近畿	現場管理	その他	省エネ住宅の講習は初めて参加しましたが、実際に今まで施工した物件では、今回の標準仕様より はるかにグレード、施工納まり、断熱、気密の数値の検査等にも勝るものでした。今後もっともつと 標準からの別の方法でかつ、低コスト、施工難いどの方など考えて行きたいです。
近畿	現場管理	その他	職人により施工精度が違うことが大きくてきそう
近畿	現場管理	その他	施工者に対して講習としたら、今回の内容で良いと考えます。
近畿	設計	その他	2020年の省エネ基準の義務化に向けて、今から何ができると考えると、少しでも多くの知識や技術を 得ることだと思っています。そのためには今回の講習会のような学習と実物があつたことは本当に わかりやすかったと思います。
近畿	設計	その他	省エネ住宅によるランニングコストの安さはいくらぐらいなのか、どう施工に伝えるべきか？ 敷地の読み解き方を具体的に教えてほしい。 多くは本読みだったので、ライブ感、現場のリアリティがなく残念だった。
近畿	その他	その他	普段現場で行くことが少ないため、なかなか理解できないところもあったが、今回のセミナーを機に 商品知識と並行して広報や断熱知識を身に付けようと思いました。
近畿	その他	その他	本日は参加させて頂き誠にありがとうございました。これからは講習や知識など、 普及に努めたいと思います。
近畿	その他	その他	参加させて頂きまして、ありがとうございました。住み替え予定があり、木造軸組工法ということは 決まっていますが、断熱や計画換気、気密のことが理解できていませんでした。 本日の講習会でわかった部分も多くあります。また、断熱等の全体設計はとても難しいと感じました。
中国	施工	その他	現場の立場で考えて欲しい
中国	施工	その他	細かな点まで決まっていなかった。
中国	施工	その他	大変という事が分りました。
中国	施工	その他	正しく施工がされているか？を見人、検査する人がいる。これが一番大事です。
中国	施工	その他	断熱工事がいかに重要かよく分かった。
中国	施工	その他	つかれました。
中国	施工	その他	どの位の強制力があるのかわからなかった
中国	現場管理	その他	管理者として意識を変えていかなくてはならないと実感した講習会でした。
中国	現場管理	その他	実際の施工を交えての話はよく分かった。同じようなことが実際にあったので。 (窓回りの結露、小屋裏、サッシ回り、額縁)
中国	現場管理	その他	本日はありがとうございました。新しい(H25年)省エネ基準を学ばないといけないと思いました。 施工上は変わらないのか？
中国	設計	その他	講師のお二人大変お疲れ様でした。大変勉強になり、特に現場担当者、 大工さんに必要な内容だと思います。
中国	設計	その他	断熱について取り組みたくても地域特性に施工認識が薄い状況が今後少しずつ改善される大変ありがたい 講習会だと思います。最終現場判断する為の指針になると思います。
中国	その他	その他	大変参考になりました。今後も断熱・省エネに関して関心を持ちながら仕事に取り組みたいです。
中国	その他	その他	予定より早くおわりよかったです。
四国	施工	その他	家の強度等と同時に考えていない気がした。木材は生きているということは考えていないのでは。
四国	施工	その他	省エネ施工について体系的に学べたことが良かったです。ありがとうございました。
四国	施工	その他	正しく施工がされているか？を見人、検査する人がいる。これが一番大事です。
四国	現場管理	その他	今まで以上に施工に対して意識が高まった
九州・沖縄	施工	その他	時代に即した建設方法が変わってゆくの、技術で出来るか否かは別として知識だけでも身につけて おかなければならないと思います。
九州・沖縄	施工	その他	断熱材自体に施工できる場所を明記する(してほしい)への地域ではこの状態では(厚さ等)この部位に 使えます等の表を表示してあつたら、現場でまちがいが減ると思う。
九州・沖縄	施工	その他	現在は木造建築を専門に行っていないので、基準のおすずしきがおどろきました。

九州・沖縄	現場管理	その他	一般の施主様にも理解していただけるよう、光熱費に計算してみるとわかりやすくひろまりやすいのではないかと。
九州・沖縄	現場管理	その他	改正するかについてももう少し話を聞きたい
九州・沖縄	現場管理	その他	住宅省エネルギーの解りやすいパンフレット申請書、建築コストのアップと、補助の関係が建築主に有利となればよいのですが、まだまだ理解していただくには時間がかかりそうです。
九州・沖縄	現場管理	その他	繊維系の断熱材を壁に施工の場合が以前よりも厳しくなっていると感じました。
九州・沖縄	現場管理	その他	断熱材の施工方法のみの講習かと思っていたが、意外に踏み込んだ内容の講習でした。テキストの内容もトップランナー基準の資料等々内容が濃かったので良かったです。ただスピードが早いので途中おいていかれる所がありました。
九州・沖縄	現場管理	その他	本日の講習では客観的に自分の会社が行っている断熱方法や省エネ施工について考えることができました。これからの仕事に役立てていきたいです。本日は有難うございました。
九州・沖縄	設計	その他	言われてするのではなく理論を理解して率先して、手を動かすようになってくれると良いと思う。
九州・沖縄	設計	その他	建築主も対価を気持ちよく支払うよう業界全体のレベルアップが必要である。
九州・沖縄	設計	その他	このような技術研修はとても重要だと思います。
九州・沖縄	設計	その他	知らないことがたくさんありました。断熱工事屋さんに頼んであるので、自分もちゃんと理解しておかないといけないなと思いました。有難うございました。
九州・沖縄	設計	その他	施工者の負担は多くなるかもしれませんが外皮断熱施工免許のような資格が必要な気がします。
九州・沖縄	設計	その他	内装工のように断熱工という職種が出来るほど施工は手間がかかり且つ十分な知識が必要と感じました。
九州・沖縄	設計	その他	私は施工しておりませんので途中未記入にしております。

質問 2 1 講習会の内容等について、ご意見、ご質問があればご記入下さい。

②設計者講習（設計C講習）

●自由記述によって回答された講習会の内容等についての意見、質問を以下の項目に基づいて整理した。また地域と職種が判別できるかたちで記述を一覧表に整理した。

設計者講習(設計C講習) 講習会の内容等についての意見、質問	回答数	自由記述有り %	回答全体 %	
質疑・指摘	88	4.4%	1.0%	(つづき)
○テキスト(該当ページが分かるもの)	29			○講習時間が長い
○修了考査	14			○時間配分が不適切
○演習	4			●講習会運営に関することについて
○省エネ全般	3			○広報・開催案内
○外皮性能基準	18			○開催時期・曜日
○一次エネルギー消費量基準	5			○受講料・修了証発行手数料
○申請、図書など	5			○講習会場開催地要望
○混雑造	1			○講習会場 交通の便悪い、駐車場不備
○その他	9			○講習会場 昼食不便
作業量増、コスト増について	4	0.2%	0.0%	○講習会場 狭い
要望・意見など	1,624	82.0%	18.5%	○講習会場 空調できてない
●教材、演習、修了考査、アンケート	477	24.1%	5.4%	○講習会場 マイク無し、不調
○テキスト	271			○講習会場 暗い
○修了考査	29			○講習会場 受付段取り悪い
○演習	142			○講習会場 その他不評
○他の資料・説明の要望	31			○講習会場 好評
○アンケート	4			○講習会運営その他
●講習の内容、形態について	429	21.7%	4.9%	●講師について
○読み上げ講習 不評	40			○講師の話し方 不評
○要望 ポイントを絞った説明	37			○講師としての質 不評
○要望 説明順序	6			○講師の進行 不評
○要望 説明箇所が分かるように	19			○講師 好評
○要望 板書による説明	5			○講師 その他
○要望 図解による説明	1			●受講中の態度・マナーについて
○要望 DVD・パワーポイント等映像活用	57			○態度・マナー 講師
○要望 具体例・実例による説明	36			○態度・マナー スタッフ
○要望 実習・実演のある講習	16			○態度・マナー 受講者
○要望 パソコン実習・実演	36			●省エネ施工への理解を求めたい対象について
○要望 新基準、関連制度の詳しい説明	1			○大工、職人
○要望 質疑応答の時間確保	12			○建主
○要望 受講者の相談窓口	5			●制度、特定の工法・材料について
○要望 講習資料の事前配布	20			○省エネ施策への批判的意見
○要望 分割講習	24			○高気密・高断熱
○要望 講習会の次の開催、多数開催	11			○地域性
○要望 より詳しい内容の講習	23			○伝統工法
○要望 講習会の分科	8			○特定の工法・材料
○要望 該当地域向け講習	5			受講後の感想など
○要望 設備、建材等他業種向け講習会	1			○今後が心配
○要望 リフォーム向け講習	1			○参考・勉強・為になった、役立つ、良かった
○社内教育、情報共有	2			○継続的に学ぶ、また参加したい
○要望 講習内容以外の説明	21			○難しかった、わかりにくかった
○講習内容への批判	16			○わかりやすかった
○講習会の意義に疑問	4			○感謝
○講習内容 その他	22			○その他
●講習時間、時間割について	325	16.4%	3.7%	特になし
○講習時間が不足、説明速い	250			不明
○講習時間はちょうど良い	6			自由記述有り 全体
				回答全体
				18
				51
				140
				7.1%
				1.6%
				8
				8
				6
				9
				8
				5
				21
				27
				15
				7
				8
				14
				1
				3
				175
				8.8%
				2.0%
				75
				65
				13
				21
				1
				17
				0.9%
				0.2%
				2
				9
				6
				2
				0.1%
				0.0%
				1
				1
				59
				3.0%
				0.7%
				43
				2
				4
				1
				9
				265
				13.4%
				3.0%
				3
				72
				16
				40
				23
				32
				79
				38
				1.9%
				0.4%
				17
				0.9%
				0.2%
				1,981
				100.0%
				22.5%
				8,800
				—
				100.0%

講習会の内容等についての意見、質問 設計C講習

質疑・指摘—テキストの該当ページが分かるもの

29

地域	職種	項目	記述内容	数	項目
近畿	施工	質疑・指摘 テキスト p004	テキスト004の右側CO2濃度の増加75% (セメント生産) によるものです。セメント、詳しくセメントの何がCO2濃度の増加に影響するのかが理解できず最後まで納得いかなかったのでセメント生産について詳しく知りたい。	29	質疑・指摘 テキストの 該当ページ が分かる もの
近畿	設計	質疑・指摘 テキスト p021	テキストP21.「地域ごとに異なる風の特性を理解し…」とありますが、そのような情報を得られる本、or機関などあるのでしょうか。		
中部	設計	質疑・指摘 テキスト p022	テキストP22開口部損失、48%は断熱サッシの場合もですか？		
近畿	設計	質疑・指摘 テキスト p025	・キノ断で吹付ウレタンを採用した時、防湿層(防湿シート)をどのように(テキスト)施工したらよろしいでしょうか？ 定常計算が適用外なのでP25		
中部	設計	質疑・指摘 テキスト p039,040	039、040気流止めの重要性は理解しますが、テキストによる仕様の場合気密層が気密として機能しなくなると思いますが、その点をどう考えていますか(特に寒冷地において)、039図3のようにしても気流が生じる場合とはどんな時ですか。		
近畿	設計	質疑・指摘 テキスト p044	・P. 44の開口部(ガラス)の日射熱取得率、日射侵入率の記述において (1)日射熱取得率=解説図の日射侵入率が同一であることの記述がない。 (2)今回の講習会のテーマである冷房期の外皮平均日射熱取得率と混乱すること。 の2点で、難しく、もう少し解説を加えるのが良いと感じました。		
近畿	設計	質疑・指摘 テキスト p053	・P. 053熱源/空気(電気式ヒートポンプ)は熱源/電気(ヒートポンプ)の誤記		
近畿	設計	質疑・指摘 テキスト p072,078,079	・テキストP. 72、78、79でUA7Aとありますが、UA7Aと両者の『外皮表面積』が同じであることを表現した方が理解がし易い。(註:「UA7A」は恐らく「UA、ηA」のデータ入力ミスと思われます)		
近畿	設計	質疑・指摘 テキスト p078	P78、R0はアルーゼルではなくアルーオーでは。		
中部	設計	質疑・指摘 テキスト p100,101	P100、101 22)122、とかの数字は何ですか？		
北海道	その他	質疑・指摘 テキスト p101	設計者用テキストP101. aの表について、ポリスチレンフォーム断熱材の中に、ポリエチレンフォームが入っているのはおかしい、JISの分類が分かれているので、きちんと分けて頂きたい。		
中部	設計	質疑・指摘 テキスト p105-110	P105~110②簡略計算法-1(面積比率)についてP107上段表に該当しない仕様についてはP105(2)躯体の熱貫流率(U)①及び②の考え方で別途算出してもよろしいか、外張断熱仕様で壁内密閉空気層も含めた熱貫流率の算定の場合。		
関東	設計	質疑・指摘 テキスト p107	天井の熱橋を1:0とすることは、解説のP107表の近くに記さしてほしいです。		
関東	設計	質疑・指摘 テキスト p124	(2)テキストP124の日射熱取得率の補正ですが、1階で下屋となっている壁面にある窓は対象となりますか？		
九州・沖縄	設計	質疑・指摘 テキスト p137	P137 3行目 7.69→7.63では？		
中部	設計	質疑・指摘 テキスト p140	P140の遮断複層ガラスのところ1種、2種、3種の違いは何でしょう。		
中部	設計	質疑・指摘 テキスト p140	テキストP140付表1、建具仕様(一重)金属製の中の、ガラス仕様単板ガラス2枚とはなにを示すか。		
近畿	設計	質疑・指摘 テキスト p173	テキストP173(1)③設置しない場合本当に夏のエアコンを使用しない人は、エネルギー消費がないのですが、想定エネルギー消費量が計算されるのは不合理ではありませんか？		
東北	設計	質疑・指摘 テキスト p178	P178の上から4行目「省エネルギー」とは何でしょうか？またどこを見ればその解説が書いているのでしょうか？ 質問者: 梶井伸弘023-664-3227またはkajiiarch@gmail.com (註:設計C2/22山形)		
東北	設計	質疑・指摘 テキスト p181	P181の熱交換型換気を採用する場合の条件が2つあるが両方を満たさないといけないのか。		
東北	設計	質疑・指摘 テキスト p203	P. 223の一次エネルギー消費量の仕様基準で、(1)住宅の形状の数値で、平家建の柱の長さが長い場合、4~8地域で「2.8」を越える数値でた時点で判定が決つてしまう、クリアしない決果になります。 自由な設計には向かない基準だとおっしゃるのでしょうか		
関東	設計	質疑・指摘 テキスト p203	計算モデルとなっている住宅の仕様、間取りはごく標準なものなのに0.79となっている。(註:テキストP230) 5地域ではOKですが4地域ではNGとなります。 仕様、間取りのどこを変更すれば良いのか具体的に分ければもっと現実的で分かり易いと思います。		
中部	設計	質疑・指摘 テキスト p218	P218. 最下1-2行、この附則(仕様基準)は、…使用することができません。 ⇒低炭素の認定では、仕様基準はなくなるって事ですか？		
近畿	設計	質疑・指摘 テキスト p227	P227、届出や申請に商品名を記入しないと現場で間違え可能性高いです。		
北陸	その他	質疑・指摘 テキスト 別冊p64	(1)別冊P. 64の長期優良住宅の税制はH25年迄の古いものなので、新しいものにしてほしい。		
東北	設計	テキスト 正誤表	正誤表No17~20の記述の意味が不明、熱境界→この場合基礎断熱は不要と思われるが説明無し。		
関東	設計	テキスト 正誤表	テキストの正誤表最後の4項目はページがまちがっていたのでさすがに困った。216→218P221→223P		
九州・沖縄	設計	テキスト 正誤表	・訂正表が間違っていません。17,18		
九州・沖縄	設計	テキスト 正誤表	正誤表17・P216→P218では？ 18→20 P221→P223では？ P222 1. 3. (1) (3)へ気流止めを設けること		

質疑・指摘—修了考査について

14

地域	職種	項目	記述内容	数	項目
関東	設計	質疑・指摘 修了考査	☆105ページ②と考査計算②は、考え方で、数値が変わるのでは！！ (註:設計C1/28東京)	14	質疑・指摘 修了考査
関東	設計	質疑・指摘 修了考査	考査④は、AXUXH=16.8だがq=257.3×3は16.84 (註:設計C2/17東京)		
北陸	現場管理	質疑・指摘 修了考査	考査問7は愚問。(註:設計C2/6富山)		
北陸	設計	質疑・指摘 修了考査	【C講習終了考査】6 設問4は(テキストP89)より「水平投影面積は、～貫流熱損失の計算には使いません。」となっているので回答は○が正解ではないのか？ (註:設計C2/6富山)		
北陸	その他	質疑・指摘 修了考査	質問できないようなので…。○×問題の4番の回答は「○」ではないですか？ 土間床等の貫流熱損失の計算で、土間の水平投影面積は関係ないと思うのですが…。(註:設計C2/6富山)		
中部	現場管理	質疑・指摘 修了考査	考査問題、演習問題の基礎の部分が間違っていると思います。(註:設計C1/16愛知)		
中部	設計	質疑・指摘 修了考査	問題8創出全部ではないので×ではないのか。(註:設計C1/21愛知)		
近畿	現場管理	質疑・指摘 修了考査	質疑のあった文章問題(4)の解答については質問した方と同じ考えで、○にしました。どちらが正解でしょうか？ (註:兵庫2/8)		
近畿	設計	質疑・指摘 修了考査	○×の考査で問9の「太陽光発電によるエネルギー創出効果(自家消費分)はエネルギー削減量としての算定はしない」と正しいのでは？その理由は「エネルギー消費量から差し引くは」正しいのであればエネルギー削減量は算定しないのでは？地球エネルギーは削減しないと思いますが？ (註:設計C2/6大阪)		
近畿	設計	質疑・指摘 修了考査	考査問題 I は設問に？ (註:設計C1/22京都)		
近畿	設計	質疑・指摘 修了考査	考査で問9. ではテスト問題に「各部位の仕様に応じて」の部分はテキストには各部位の断面構成や仕様とあります。 ×も正解ではないでしょうか。(註:設計C2/12大阪)		
近畿	設計	質疑・指摘 修了考査	考査問題②の解答はこれよりよいのでしょうか②0.08。(註:設計C1/25兵庫)		
近畿	設計	質疑・指摘 修了考査	考査問題A4-4番において回答は、×との事ですが、「貫流熱損失の計算では」と、限定された表現である為貫流熱損失の計算では、水平投影面積は求める必要はないと考えます。P89にも、「貫流熱損失の計算には使いません」と書かれています。外皮平均熱貫流率(UA)の計算と言う事なら、水平投影面積は、必要と思いますが、いかがでしょうか？ (註:設計C2/8兵庫)		
近畿	設計	質疑・指摘 修了考査	修了考査問4)の解答ですが○が正しいのではないのでしょうか？テキスト89ページ4行目に水平投影面積は貫流熱損失の計算に用いないと銘記してありますが？ (註:設計C2/8兵庫)		

質疑・指摘—演習について

4

地域	職種	項目	記述内容	数	項目
関東	設計	質疑・指摘 演習	計算6で木材の厚みが不明だった	4	質疑・指摘 演習
関東	その他	質疑・指摘 演習	計算②の回答は小数点以下3ケタは、4ケタ目を四捨五入なのか？決まっているのか？入については不明だった (註:設計C2/26東京)		

近畿	現場管理	質疑・指摘 演習	3. 有効数字の書き方がおかしい。演習問題も指摘したとおり、またテキストではP. 099下2行U〜では小数点3位を切上げとなっているのにP. 110の表では小数点3位を四捨五入としている等、演習窓30. 0×4. 07×1. 0→122. 10←試験122. 1窓の種数は違うが1)の数字は同じ。だったら試験解答(4)は16. 8でも可。小数1位でも2位でも0なら記載ナシ(註:設計C2/9大阪)		
近畿	設計	質疑・指摘 演習	演習問題の9のトータルが間違っていないですか?		

質疑・指摘—省エネ全般について

3

地域	職種	項目	記述内容	数	項目
北陸	設計	質疑・指摘 省エネ全般	・これからの断熱等の基準として、この基準が普通になるのでしょうか ←行政機関等に対する各種申請(各種申請に対して)	3	質疑・指摘 省エネ全般
近畿	設計	質疑・指摘 省エネ全般	今回演習した数値はいつから何に使うのか、はっきり説明してほしい。テキスト別冊のP5～6の部分のことを説明してほしい。この図によると認定低炭素住宅にだけ使用されるイメージがありますが、引き続き長期優良住宅はH11時の等級4をクリアしていただきたいのですか?		
九州・沖縄	設計	質疑・指摘 省エネ全般	性能表示、長期にはいつから適用されるのか?		

質疑・指摘—外皮性能基準について

18

地域	職種	項目	記述内容	数	項目
関東	設計	質疑・指摘 外皮性能基準	(3)Q値計算では空気潜熱も←換気も熱貫流量に加算していましたが、U値にはなぜ考慮しなかったのですか?	18	質疑・指摘 外皮性能 基準
関東	設計	質疑・指摘 外皮性能基準	開口部面積の算出方法として開口呼称(例09009)ならばWO, 6×HO, 9としてよいと他の講習会で聞いた事がありました。これは「②JISA4706に基づく呼称寸法」にあたる考えとして良いでしょうか? 開口部の面積①～③の算出方法の具体例として公表してほしい。		
関東	設計	質疑・指摘 外皮性能基準	断熱材炭化コルクはどの数値対応なのか? ビニールクロス計算に除外したら塗り壁との比較が適正とは言えないと思う。		
関東	設計	質疑・指摘 外皮性能基準	部位別のU値計算の時は、小数点第3位を切り上げてなくてもよいのでしょうか?		
関東	設計	質疑・指摘 外皮性能基準	表面熱抵抗R0、外気の場合0. 04と外気以外の数値の使い分けはどうしたら良いのでしょうか。		
関東	その他	質疑・指摘 外皮性能基準	外壁の通気工法では、熱貫流率の点で問題はないのか? 壁内では、熱損失が発生するのは空気とすべきではないのか。		
中部	設計	質疑・指摘 外皮性能基準	第5章における計算例にて浴室の床を一般床と一緒に計算しているが、それで良いのか?		
中部	設計	質疑・指摘 外皮性能基準	複層ガラスと単板ガラス2枚の違いがよくわかりません。教えてください。		
近畿	設計	質疑・指摘 外皮性能基準	今までの外壁の熱貫流率Q値では、外側のサイディングも熱抵抗材として計算していましたが、今回のU値計算では除かれています。その理由をお教え下さい。		
近畿	設計	質疑・指摘 外皮性能基準	外皮が一種類とは限らない場合(内装仕上が違ったり)は、一番性能の低い数字で一棟を検討すれば良いのか? 一簡略計算方法→1の時、計算の解説は巻末の計算モデルを元にやった方がわかりやすいと思う。		
近畿	設計	質疑・指摘 外皮性能基準	完の日射熱取得率の補正で、庇等がある場合とありますが、はね出しのバルコニーは庇等に該当しますか?		
近畿	設計	質疑・指摘 外皮性能基準	質問 断熱材の厚み、仕様を決めるにあたって、H11年基準と比較して厚みは増えているのでしょうか? H11年基準の様な早み表はないのでしょうか?		
中国	設計	質疑・指摘 外皮性能基準	サッシ開口寸法の取り方、有効枠寸法?		
四国	設計	質疑・指摘 外皮性能基準	出窓500mm以上の場合計算に入るのは全てですか、それとも500mmをこえた場合のみでしょうか?		
四国	その他	質疑・指摘 外皮性能基準	熱貫流率を計算する際、せっこうボードの下地(パラ板t11. 5)を一定の間隔で入れた場合空気層の熱抵抗Raとして加算できますか? また、パラ板は熱橋部となりますか?		
九州・沖縄	設計	質疑・指摘 外皮性能基準	・屋根の遮熱と断熱の場合どのように扱うのか?(塗装等)		
九州・沖縄	設計	質疑・指摘 外皮性能基準	本軸、土壁施工の場合の断熱計算について計画も含め、外壁外側の断熱しかできないのか。真壁の取り扱いが多いため教えてください。		
九州・沖縄	設計	質疑・指摘 外皮性能基準	基礎高GLから400の話がありました。GLとは設計GLですか? 手均GLですか?		

質疑・指摘—一次エネルギー消費量基準について

5

地域	職種	項目	記述内容	数	項目
東北	現場管理	質疑・指摘 一次E消費量基準	熱交換の他にユニットバスだけは付属している局所換気栓を使用する場合、一次エネルギーではどう反映されるのか。	5	質疑・指摘 一次エネルギー消費量 基準
東北	設計	質疑・指摘 一次E消費量基準	平25. 1. 31経産、国交通告1エネルギーの使用の合理化に関する特定建築の判断基準の第2住宅に係わる判断基準において設備関係の基準が数値化されているが、これを採用してもいいのでしょうか? 外皮等は全てこの通りで理解できました。		
中部	設計	質疑・指摘 一次E消費量基準	webの計算で給湯方法(ガス給湯キでも岩素になるのですか?)		
近畿	現場管理	質疑・指摘 一次E消費量基準	受講する前に予習が必要であると思った。webプログラムは、用途・規模に応じているのでしょうか?		
近畿	設計	質疑・指摘 一次E消費量基準	太陽熱温水の条件に電気ヒートポンプを併用しないというのは何故でしょうか。		

質疑・指摘—申請、図書について

5

地域	職種	項目	記述内容	数	項目
東北	設計	質疑・指摘 申請、図書など	・省エネ届出改正是住宅以外の建物にも該当されますか ・申請は着工の何日前までで、審査期間はどの位とられる予定でしょうか ・申請時の添付図面と記入程度、又、完了検査の程度、現場変更の際の対応、申請に費用は必要となるのか?	5	質疑・指摘 申請、図書 など
東北	設計	質疑・指摘 申請、図書など	設計時の審査や現場の検査はどうなるのか?		
中部	設計	質疑・指摘 申請、図書など	又、長期優良住宅等、申請する場合各u値計算根拠の提出が必要か		
近畿	現場管理	質疑・指摘 申請、図書など	工事中に仕様変更がある場合、軽微変更、計画変更の手続きは必要ですか? 確認時に全ての書類が必要ですか?		
九州・沖縄	設計	質疑・指摘 申請、図書など	届け出しをした後、窓、断熱材等変更が生じた場合は改めて再届出となるのか(軽微な変更だけでいいのか)、設備等でエアコン等当初は予定外であったが後に取り付けた場合の届出はその部分のみでいいのか。		

質疑・指摘—混構造について

1

地域	職種	項目	記述内容	数	項目
東北	設計	質疑・指摘 混構造	1階がRC、2. 3階が木造といった混構造の建物の取扱い、計算方法を伺いたい。	1	質疑・指摘 混構造

質疑・指摘—その他

9

地域	職種	項目	記述内容	数	項目
東北	設計	質疑・指摘 その他	▽住宅だけでなく、RCマンション等はどうなるのか?	9	質疑・指摘 その他
関東	設計	質疑・指摘 その他	(1)2030年を目指し、小規模住宅まで省エネ基準を満たせようとしているようですが、戸建住宅のリフォーム(リノベーション)についてはいかがでしょうか?		
関東	設計	質疑・指摘 その他	CASBBEとの関係はどのようなのですか?		
関東	設計	質疑・指摘 その他	気流止めについて基断熱のときの気流止めは必要になるのか。		
関東	設計	質疑・指摘 その他	講習会の内容を基に設計に取り入れて行ないますが、省エネ性能の評価方法等、質疑があった場合、どの団体に確認すれば良いのでしょうか? HP等でQ&Aが発表願います。		

北陸	設計	質疑・指摘 その他	◎難しいとは思わなかったが、良く分らない面も。 設計業にはこれらの作業が入って来た場合の報酬基準は如何なるのでしょうか…?
中部	設計	質疑・指摘 その他	設計向け講習と施工向けとどう違うのですか。
近畿	設計	質疑・指摘 その他	諸外国の省エネ基準は日本にくらべてどうですか。
近畿	設計	質疑・指摘 その他	防湿層は従来の透湿換気1/2で代えることはできないのでしょうか?

作業量増、コスト増について

4

地域	職種	項目	記述内容	数	項目
関東	現場管理	施工手間増・ コスト増	ハウスメーカーの考えに沿った家造りになって来ていると思います。坪単価がだいぶあがるのでは?	4	作業量増・ コスト増
関東	設計	設計手間増・ コスト増	本当に4号建物でも業務付するのでしょうか。計算ややこしく、手間がかかります。 申請費用(手間)もupすることも広報して下さい		
北陸	設計	設計手間増・ コスト増	設計者を業とする者として対価ほうしょうがなければ、いくら省エネであっても、続かないが、講習だけではこの業務をどのよ回毎対価に反映すればよいかわからない。仕事量だけ増えて収入が上らないような気がする。		
四国	設計	設計手間増・ コスト増	このような法律改正により、我々の業務量が増加する。この増加する分の標準的な業務時間数も講義に入れて頂き追加業務として建築主に対して請求できる(告示15号以外)ように御指導願いたい。		

要望・意見などテキスト設計計画編について

10

地域	職種	項目	記述内容	数	項目
関東	その他	設計計画編 全般	・計算計画編は講義は不要では(設計者から見ればもう当然の事では)	7	設計計画編 全般
中部	設計	設計計画編 全般	省エネ基準の説明は分りやすかったが設計計画は分りにくく何が重要なか分らなかつた。		
中部	設計	設計計画編 全般	設計計画編の説明はいらぬのでは読んで下さい。		
中部	設計	設計計画編 全般	設計計画編はもう少し工夫が必要かと思いました。		
中部	設計	設計計画編 全般	設計計画編は全く何を言っているかわからなかつた。		
近畿	設計	設計計画編 全般	1~3章の説明はもっと簡単でよい。		
九州・沖縄	その他	設計計画編 全般	・世界における日本の省エネ基準の位置と、今後、先進世界基準にどのくらいで、並ぶのかを説明してほしいです。 今日は、ありがとうございました。岩永忠美 岩忠建設		第1章 これからの 住まい
北陸	設計	設計計画編 第1章	設計に従事している者なら「1章これからの住まい」の説明は不要では?	2	
近畿	設計	設計計画編 第1章	第1章の説明時間を取る必要ないだろう、化石資源の枯渇についても諸説ある。		
東北	施工	設計計画編 第3章	一種換気について「機械で換気は換気するため気密は関係ない」との見解がありましたが、まちがった見解だと思います。機械であっても気密がよくないと計画換気できないと思います。	1	第3章 設備計画

要望・意見などテキスト省エネ基準編について

78

地域	職種	項目	記述内容	数	項目
中部	設計	省エネ基準編 全般	第3章はもう少し省略し案内のみで第2章を詳しく願いたい	2	省エネ基準編 全般
近畿	設計	省エネ基準編 全般	いきなり外皮計算、一次エネルギーの説明よりも、(11年)の省エネの仕様規定→Q値→UA値の流れを説明しないといきなりだとハードルが高いと思います。		
中部	設計	省エネ基準編 第1章	行政に出す提出書類の作成方法はこのテキストでかなりスムーズに進められると思ったが、H25改正の理論や主旨は説明不足。	1	省エネ基準編 第1章 省エネ基準 の概要
東北	現場管理	省エネ基準編 第2章	計算方法があり過ぎ結局何を覚えればいいのかわからなかつた。	34	
東北	設計	省エネ基準編 第2章	時間をかけ計算方法(具体的に)についての講習会がほしい。		省エネ基準編 第2章 外皮性能 基準
関東	設計	省エネ基準編 第2章	・外皮の簡易計算法や、付則(圧様基準)の位置づけが良くわからなかつた		
関東	設計	省エネ基準編 第2章	H11年省エネ基準時、トップランナーでの申請をしていた為、外皮性能基準についてわしく知りたかつた。		
関東	設計	省エネ基準編 第2章	H25基準ではどこが大きく変わったかを概要説明して頂き 外皮基準とは?一次エネルギー基準とは?何かをもう少し説明して欲しかつた。		
関東	設計	省エネ基準編 第2章	計算に当たっての求める結果集に向かっているメモリーツリーのようなものがあれば、今、何をここで説明しているのかわかり、理解が早いと思います。		
関東	設計	省エネ基準編 第2章	外皮計算を中心にもう少しやってほしかつた。		
関東	設計	省エネ基準編 第2章	外皮性能基準のところ早すぎてむずかしいです		
関東	設計	省エネ基準編 第2章	外皮性能の計算、部分の説明がもう少し欲しかつた。(演習などで)		
関東	設計	省エネ基準編 第2章	外皮性能の計算をプロジェクトで実演すれば、わかりやすくなると思います。		
関東	設計	省エネ基準編 第2章	外皮性能基準のまとめ方→フローがあつてそれに従うとわかり易い。		
関東	設計	省エネ基準編 第2章	二重窓の算定方法等もおしえてほしかつた。		
関東	その他	省エネ基準編 第2章	計算等分りやすくて今後大変役に立つであろうと感じる。		
北陸	設計	省エネ基準編 第2章	外皮の計算の仕方が難しかつたので、もう少し説明があつたらよかつたと思う		
北陸	設計	省エネ基準編 第2章	外皮計算をするにあたり、参照項目をわかりやすくしてほしい		
北陸	設計	省エネ基準編 第2章	計算式の説明で具体的な数値をあてはめながら細かい説明をしてほしかつた。		
北陸	設計	省エネ基準編 第2章	短い時間なので仕方ないですが、外皮性能基準の講義の説明が分りにくかつたです。		
北陸	その他	省エネ基準編 第2章	外皮面積の計算演習があつても良かつたと思う。(セクション毎に小演習があると復習ができて良いと思う。)		
中部	設計	省エネ基準編 第2章	外皮性能基準についての演習をもう少しわしく知りたい。時間をもう少しとっていただけるとよかつた。		
中部	設計	省エネ基準編 第2章	外皮計算・一次消費エネルギーのプログラム入力等、もう少し時間をかけて詳しく講習しないと、実際に利用出来る様にはならないと思います。		
中部	設計	省エネ基準編 第2章	外皮性能基準の計算方法が一番知りたい内容なのに説明が早すぎてよく理解出来なかつた。		
中部	設計	省エネ基準編 第2章	計算等の講義はやはりわかりずらいです。		
中部	設計	省エネ基準編 第2章	計算部分など急いだので全体像がつかめなかつた、なんとなく建物全体の面積(表面積)からの熱損失が 必要なのかという感じがします。		
中部	設計	省エネ基準編 第2章	実際に説明しながら演習を問いていくことはわかりやすかつたが、外皮面積、基礎部分の説明をもう少し聞けると良かつた。施工講習会を聞くとさらにわかりやすくだろうと思った。		
中部	その他	省エネ基準編 第2章	外皮の計算方法について、もう少し詳細に説明してほしかつた		
近畿	設計	省エネ基準編 第2章	外皮性能基準の講習全く不明。講師は理解していても聞くこちらからは初めてで重要な部分の説明不足です。		
近畿	設計	省エネ基準編 第2章	一般に設計する時はいろいろな外皮を使うが、その場合はどのように計算すれば良いのでしょうか? 例えば在来木造で木製建具ガラスetcがなかつたように見えました?(簡略計算方法-1)		
近畿	設計	省エネ基準編 第2章	外皮計算の説明においてテキストを飛び飛びと確認する説明よりも 簡略計算方法-1(最終計算表→第5章設計-計算例をもとに計算 の流れをじっくりと説明すると一連の流れを確認しやすかつたのかも知れないと思いました。		

近畿	設計	省エネ基準編第2章	外皮性能基準の説明が少し早かった+難しかったですが、演習に時間をかけてもらえたので、良かったです。	
中国	現場管理	省エネ基準編第2章	省エネ基準・外皮性能基準についてだけでも、もっと詳しく時間を取って講習したほうが、良いと思います。	
中国	設計	省エネ基準編第2章	UA値計算等の時によくなやむ様なところについてももう少し具体的な解説があると、もっと良かったです。	
四国	設計	省エネ基準編第2章	他の、改正省エネ講習よりもわかりやすかったです。	
四国	設計	省エネ基準編第2章	・外皮の詳細計算方法は、実務においてとても非現実的な気がした。	
四国	設計	省エネ基準編第2章	簡略計算法1が一番実務に使えるので、そこを詳しくしてほしい	
九州・沖縄	設計	省エネ基準編第2章	現実的にはどの方法でやるのがベストなのか確信がもてなかった	
東北	現場管理	省エネ基準編第3章	午後の講習は、ソフトの説明だったので、特に必要ないかなと思いました。	35
東北	現場管理	省エネ基準編第3章	一次エネルギー消費量計算実際に入力している所を見たかった。	
東北	設計	省エネ基準編第3章	第3章は計算プログラムを一度も仕様したことがない為、よくわからなかった。	
東北	設計	省エネ基準編第3章	一次エネルギー消費量基準については、PCの画面をプロジェクターで映しながら説明した方が、わかりやすかったと思います。	
東北	設計	省エネ基準編第3章	外皮性能基準の解説は良く理解できましたが、一次エネルギー消費基準についてはわかりにくかったと思います。	
東北	設計	省エネ基準編第3章	制度の趣旨の説明と一次エネルギーの説明をして頂きたかった。	
東北	その他	省エネ基準編第3章	一次エネルギーの講習はスライド等を使った方が良いと思う。	
関東	現場管理	省エネ基準編第3章	・第3章の説明の際、プログラム入力方法だけでなく各設備・機器がどうして省エネにつながるのか(評価されるのか)もう少し説明してほしい。省エネへのイメージができるので数値を見ればわかるが、	
関東	現場管理	省エネ基準編第3章	PCの説明は、必要なさそうでした	
関東	設計	省エネ基準編第3章	・一次エネルギー消費量基準については、細々した内容が多く全体像がよくわからなかった	
関東	設計	省エネ基準編第3章	H25基準ではどこが大きく変わったかを概要説明して頂き外皮基準とは？一次エネルギー基準とは？何かをもう少し説明して欲しかった。	
関東	設計	省エネ基準編第3章	q. Mc (Mh)までは理解できるが一次消費エネルギーの計算がブラックボックスです。	
関東	設計	省エネ基準編第3章	UAの演習だけでなくmc・mH・一次資源エネルギーの計算も詳しく教えて欲しい。	
関東	設計	省エネ基準編第3章	webの入力方法は特に必要な点だけで良かったと思う。	
関東	設計	省エネ基準編第3章	webプログラムの使い方より、注意事項、間違いが多い点などを教えてもらいたい。	
関東	設計	省エネ基準編第3章	インターネットありきで説明している、インターネットをやっていない方もいるのではないかな。	
関東	設計	省エネ基準編第3章	パソコン使用についての詳しい説明がほしかった。(何を入力すればよいかなど)	
関東	設計	省エネ基準編第3章	一次エネルギーの試算に関しては、プロジェクター等を使用してプログラムを使いながらの説明があれば良い。	
関東	設計	省エネ基準編第3章	一次エネルギーの入力をこの場でしてほしい、27年までは、いいとして具体的な確認につけるのか、今のくらいの敷がしているのか、だした人の例がみたい。	
関東	設計	省エネ基準編第3章	一次エネルギー消費量の講義は、進みが早く理解しにくかった。	
関東	設計	省エネ基準編第3章	一次エネルギー消費量算定プログラムはもう少し省略していいと思います。	
関東	設計	省エネ基準編第3章	第3章のプログラムの流れのような説明は要りません。	
関東	設計	省エネ基準編第3章	第3章の説明は必要無いと思います。	
北陸	設計	省エネ基準編第3章	一次消費エネルギープログラムの説明に関しては、モニター等を使うと良かったかもしれませんね。	
中部	現場管理	省エネ基準編第3章	一次エネルギー消費量基準のところをパソコンをつかってプログラムの紹介をしてほしかった。	
中部	設計	省エネ基準編第3章	一次エネルギー消費のデモを画面上でやっても良かったと思う。	
中部	設計	省エネ基準編第3章	外皮計算・一次消費エネルギーのプログラム入力等、もう少し時間をかけて詳しく講習しないと、実際に利用出来る様にはならないと思います。	
近畿	設計	省エネ基準編第3章	・一次エネルギー消費量について、電気代、ガス代におきかえるとどうなるか(地域ごとに異なりますが)分かる資料などあれば、設計時の参考になると思いました。	
近畿	設計	省エネ基準編第3章	一次エネルギーの(石油、ガス)に対する電気エネルギーのロス率(≒30%)の説明がなかった。	
近畿	設計	省エネ基準編第3章	一次エネルギーの基準説明がよくわからなかった。	
近畿	設計	省エネ基準編第3章	今回、勉強になりました。但し、一次エネルギー消費量基準についてはもう少し。各設備の特徴について説明して頂きたかったです。実際やらないと分からないという事は分かりますが、どちらかというと設備の知識が乏しい為、こちらの方をより詳しく知りたかったです。	
四国	設計	省エネ基準編第3章	一次エネルギーのところも具体例(定物件)の例を示してほしい(どの程度の仕様で基準をクリアできるのか)	
九州・沖縄	現場管理	省エネ基準編第3章	一次エネルギー消費算定プログラムの入力を実際に入力する演習をやしてほしい(パソコン持参)	
九州・沖縄	設計	省エネ基準編第3章	・一次エネルギー算出プログラムで通風とありますが、この判断基準について解説してほしいと思いました。	
九州・沖縄	その他	省エネ基準編第3章	一次エネルギー消費量基準の説明については、実際にパソコンを利用して(プロジェクターを利用)行ったらどうか(会場等が限られてきますが…)	
関東	設計	省エネ基準編第4章	簡易計算(今後使えないもの)はもっと説明を減らしてほしい。	5
中部	設計	省エネ基準編第4章	設計・施工指針がわかりにくかったです(簡易計算の具体的な計算など)	
近畿	設計	省エネ基準編第4章	・簡易計算(開口部比率での仕様規定の計算方法がまったく話がなかった)	
近畿	設計	省エネ基準編第4章	・第4章設計・施工指針がそれまでの1~3章とどう関係があるのか不明でした。また同じような計算をする??!	
近畿	設計	省エネ基準編第4章	設計・施工指針と附則(仕様基準)の関係性を教えて下さい。又開口部比率と外皮面積の比率がよく分かりません。先日低炭素建築物の認定の為計算した時、この2項目について計算しなかったので良く分かりませんでした今後低炭素建築物の認定を受ける際この2項目を考える必要があるのなら是非理解しておきたいので教えて下さい、宜しくお願いします。	
九州・沖縄	その他	省エネ基準編第5章	・基礎GL400超える場合の計算例が、載っていると良いと思います。	1

要望・意見などーテキスト別冊について

2

地域	職種	項目	記述内容	数	項目
東北	設計	テキスト 別冊	テキスト別冊に一次、二次エネルギーの説明があるのが良く解らない。	2	テキスト別冊
近畿	その他	テキスト 別冊	テキスト2は10月施行分がなかった(残念)		

要望・意見などーテキストについてその他不評

99

地域	職種	項目	記述内容	数	項目
北海道	施工	テキスト 不評	本州地域に重畳を置いたテキストなので参考にならない部分が多い。	22	テキスト不評
北海道	現場管理	テキスト 不評	・講習会の使用テキストは、短時間では、わり。		
北海道	現場管理	テキスト 不評	テキストについて見づらい。		
北海道	現場管理	テキスト 不評	高性能リフォームの計画、省エネ基準の第1章は良かったが第2章は非常にわかりづらかった。		
北海道	現場管理	テキスト 不評	緑のテキストの文字をもう少し太く濃いものにしてほしい。		
東北	設計	テキスト 不評	・断熱材施工例の図解はは分かりやすいが写真をのせてもらうともっと良く分かると思う。		
東北	設計	テキスト 不評	計算の説明でページがいろいろとあったのは、テキスト内の編集の問題なのでしょうか。		

関東	設計	テキスト不評	テキストにアンダーラインなどを引くと裏うつりしてしまう。印刷、紙質等改善してほしい。		
関東	設計	テキスト不評	資料がわかりにくく感じた。		
関東	設計	テキスト不評	テキスト専用のページマーカーが付いていると便利。		
関東	設計	テキスト不評	気密・断熱を可能な限り高めていくと確実に理解に達するとは思いますが、このテキスト内容が本当に教科書と言えるかどうかは、少々疑問である。なぜなら、「気密」という項目が、現在もまだ消えたまだだから、いかに優れた断熱材を使っても、外気が自由に入りに出ることができるシロモノでは、とても、「省エネに対応している」とは言えない。		
北陸	設計	テキスト不評	テキストは、各ページに各行に番号を入れた10、20テキストは見やすい。		
中部	設計	テキスト不評	テキストがB5サイズでもつぎゆつとつめてレイアウトしてあると良いです、こんなに字とページと行間が大きい必要はないと思います。		
中部	設計	テキスト不評	テキストが非常に使いづらい。例題が分かりづらかった。		
中部	設計	テキスト不評	テキストが理解しにくい。		
中部	設計	テキスト不評	テキストの中の表がテキスト全体にちらばっているために、調べにくいと思います。		
中部	設計	テキスト不評	テキストの別表の位置がバラバラで探しづらいです。		
中部	設計	テキスト不評	テキストは読み易いと思う、しかし改正省エネ法の内容が欲しい、雑なので1回で理解するのは難しいと思う。		
中国	設計	テキスト不評	よくできた資料であるが、実務レベルの参考としてもう少し追加が必要だと思う。		
中国	設計	テキスト不評	・テキストの用紙の質の為に、書き込みをすると、裏のページに写ってしまい、たいへん見づらくなってしまいます。		
中国	設計	テキスト不評	テキストに書き込んだら裏うつりするのが気になりました。		
九州・沖縄	設計	テキスト不評	テキストについて、一目見て、目にパツと見て一発で概要が入ってくる構成に作ると分かりやすい。現状は、文章を読み込んで意味を把握してからでない、式や表の意味がつかみづらい。		
北海道	設計	テキスト誤植多い	・テキスト等の誤字・脱字が多いので少なくするようお願いいたします。	40	テキスト誤植多い
北海道	設計	テキスト誤植多い	資料の誤字が多い。ページを戻す回数を減らす資料を作成した方がよい。		
北海道	その他	テキスト誤植多い	テキストの誤りが多かった		
東北	設計	テキスト誤植多い	テキストの誤記や誤表記が多すぎる。とても補助事業で公的なものとは思えない。確認をしっかりと頂きたい。		
東北	設計	テキスト誤植多い	テキストはそのまま実務に使用させていたたくつもりですので、誤記の無いようにお願いします。		
東北	設計	テキスト誤植多い	又、テキストのいたるところに、表記ミスが多すぎるので、もう少し精査して頂きたい。短時間で冊紙の見方や記載しているところを講師の方が説明してくれるので、ミスが多いのは説明するの大変ですし、聴きとりづらいです。		
東北	その他	テキスト誤植多い	・ミスプリントが多すぎるので訂正が大変でした。		
関東	現場管理	テキスト誤植多い	テキスト・考査のミスが少し多くなりました。		
関東	現場管理	テキスト誤植多い	テキストの誤植、誤字が多すぎる。		
関東	設計	テキスト誤植多い	・TEXT誤字が訂正が多かったですね、なるべく少なくて下さい、よろしく。		
関東	設計	テキスト誤植多い	・テキストの訂正が多い。解説の中で訂正の説明があると聞きやすい。		
関東	設計	テキスト誤植多い	カラーのテキストは良いと思う。が訂正があるのはいただけない。		
関東	設計	テキスト誤植多い	テキストに正誤表が付いていましたが、ミスプリントが多いです。(正誤表に記載がない間違いもありました)		
関東	設計	テキスト誤植多い	テキストの正誤表のチェックをはじめにしてみてください。本題の説明に集中できます。		
関東	設計	テキスト誤植多い	テキストの間違いが多すぎる。		
関東	設計	テキスト誤植多い	テキストの間違えが多すぎる。		
関東	設計	テキスト誤植多い	テキストの追記、誤表が多く感じた。正誤表の後半のページ数も違う。問題の番号が違うなどミスが多い。ダブルチェック、トリプルチェックを！！		
関東	設計	テキスト誤植多い	テキスト内容の随所に誤字、脱字が目立ち過ぎます、はすかしい限りです。		
関東	設計	テキスト誤植多い	誤字が多すぎます。		
関東	設計	テキスト誤植多い	誤表記を減らして下さい。		
北陸	設計	テキスト誤植多い	テキストの誤りが多すぎる…		
北陸	設計	テキスト誤植多い	テキストの正誤が多すぎて分かりづらい。		
北陸	設計	テキスト誤植多い	テキストの追記、正誤が少し多すぎるように思います。		
北陸	設計	テキスト誤植多い	テキストの訂正が多く、これからは無い様にしてほしい！		
中部	設計	テキスト誤植多い	・テキストの入力ミスが多すぎます！大事な数値が違ったりどういった発注方法がされているのでしょうか？		
中部	設計	テキスト誤植多い	テキストの誤字を減らして欲しい		
中部	設計	テキスト誤植多い	正誤表は不要で正しいテキストは無いのか。		
近畿	設計	テキスト誤植多い	しかもテキストに誤表記が多すぎる。こんな単純な書き間違いがなぜチェックできないのか。		
近畿	設計	テキスト誤植多い	テキストに誤字が多いようなので他にもないのかちょっと不安です。		
近畿	設計	テキスト誤植多い	テキストの誤記が多すぎます。		
近畿	設計	テキスト誤植多い	テキストの誤字が多すぎ、口頭で訂正するなら、セミナーのはじめに一度に直してほしかった。		
中国	施工	テキスト誤植多い	追記、正誤の訂正が多すぎ！テキストを新しく配布した方がいいのでは？		
中国	現場管理	テキスト誤植多い	テキストの修正が多すぎる！講習会前に直してほしいです。		
中国	設計	テキスト誤植多い	テキストの誤りが多すぎると思います。		
中国	設計	テキスト誤植多い	テキストは良くできているが誤りが多すぎ		
中国	その他	テキスト誤植多い	講習会はテキストの正誤を書き入れる事が多いのが気になりました。		
中国	設計	テキスト誤植多い	テキストの正誤表は、用意して欲しい。		
九州・沖縄	現場管理	テキスト誤植多い	テキストの正誤がありすぎ。新しく作り直して下さい。		
九州・沖縄	設計	テキスト誤植多い	こんなに誤りが多かったら使いものにならない。新しく作成して配布すべきだ。		
九州・沖縄	設計	テキスト誤植多い	テキストの誤りが多い。		
東北	設計	テキスト講師用ページ違い	講師が持参しているテキストが改訂前の為、改定後テキストと見比べながら説明するのでわかりにくかったです。	14	テキスト講師用ページ違い
関東	施工	テキスト講師用ページ違い	第5章から講師のテキストページとずれが生じていた		
関東	現場管理	テキスト講師用ページ違い	講師の方のテキストを配布されたテキストに若干のページ違いがあり戸惑った。		
関東	設計	テキスト講師用ページ違い	講師のテキストが古いようです。新しいテキストで講義された方がよいと思います。		
関東	設計	テキスト講師用ページ違い	講習説明で話されたページの数値が違う様に思われた。		
関東	設計	テキスト講師用ページ違い	ページが違っていたのが残念		
関東	設計	テキスト講師用ページ違い	ページのくり違いはとまどった。講座の時間が長いので、探す時間に追われた。		
関東	設計	テキスト講師用ページ違い	講師のテキストと、配布のテキストに内容の相違があり、多少聞きにくい部分があった。		
関東	設計	テキスト講師用ページ違い	講師のテキストと配布テキストとページが違う部分があり、事前に確認しておく必要がある。		
関東	設計	テキスト講師用ページ違い	講師のテキストページと受講生のテキストページを一致させる。		
関東	設計	テキスト講師用ページ違い	講師の方のテキストのページ数と、手元のテキストのページが異なるため、とまど箇所が、多かった。		
北陸	設計	テキスト講師用ページ違い	テキストのページ違いは事前に確認すべき。ページ違いの説明で混乱が増加。		
北陸	設計	テキスト講師用ページ違い	講師のテキストのページが違っていた。わかりづらい。テキストの誤記が多すぎ！		
九州・沖縄	設計	テキスト講師用ページ違い	・古いテキストで説明されてもページ数が異なって混雑します。		
東北	設計	テキスト表など探しづらい	それぞれの係数一覧が別冊であると良かった。実務応用する際、さがすのがめんどろ。	23	テキスト表など探しづらい
東北	設計	テキスト表など探しづらい	テキストは図があって読み易い、テキスト内の計算演習部分に関連ページ(どこの計算式か)が書かれていると探しやすいと思った。		
東北	設計	テキスト表など探しづらい	テキスト巻末に計算に用いる諸元表を一覧として添付してくれると計算時探さなくても良いと思う、但し各編に入れてのは理解する上で良かった。		
関東	施工	テキスト表など探しづらい	テキストについて、数値やデータは、巻末に資料編としてまとめてあれば使いやすさと思います。		
関東	設計	テキスト表など探しづらい	テキストにさくいんをつけてほしかった。		
関東	設計	テキスト表など探しづらい	テキストについて、実務の使用の際に、サク引が欲して。又は目次を詳しい項目にし、さがす項目が見つけやすいようにして欲しい。		
関東	設計	テキスト表など探しづらい	テキストの内容は難しいとは思われないが、構成が判りにくいと思います。章の前・後を入れ換えたい。付表をまとめたりと、もっと読み易い構成にしてほしいと思います。		
関東	その他	テキスト表など探しづらい	数字のまるめ方の基準がわかりにくい。テキストの作り方ですが、一覧表にした方が、わかりやすいのでは。理由(根拠)も記載されていければなお良いかと。		
北陸	その他	テキスト表など探しづらい	・計算の資料等はまとまると良いと思う。		
中部	現場管理	テキスト表など探しづらい	各計算の端数の処理の規定を一覧表で教えて欲しい。		

中部	設計	テキスト 表など探しづらい	テキストの目次が見難い(項目のページをさがすのにめくってばかり)。
中部	設計	テキスト 表など探しづらい	結局最低限必要な事は何なのか、よく見る表が別冊にあると良い。
中部	設計	テキスト 表など探しづらい	数値等の表は別紙でまとめて見やすくして欲しい。
近畿	現場管理	テキスト 表など探しづらい	別紙の資料探すことが一番の労力で、それが別冊であれば助かります(テキストの構成の話ですが)。
近畿	設計	テキスト 表など探しづらい	テキストの最終ページへ索引があれば面白いと思います。
近畿	設計	テキスト 表など探しづらい	テキストの表がとびすぎて内容を理解するのに、時間がかかる。授業は分りやすかった。
近畿	設計	テキスト 表など探しづらい	絵付、表付きのテキストを言葉だけで説明してもわからない、あちこちページを開かせるなら今やってるページを見ながら見れるように別冊を充実させるべき
近畿	設計	テキスト 表など探しづらい	計算方法と説明しているページと項目がわかりにくい
近畿	設計	テキスト 表など探しづらい	難しい内容では無いと思うが慣れが必要であるので表等の関連がもう少し見つけやすければ更に良いのでは。
近畿	設計	テキスト 表など探しづらい	表と計算式だけを分かりやすくまとめてほしかった。テキストより表を探すのに、時間がかかってしまった。
九州・沖縄	設計	テキスト 表など探しづらい	テキストあいうえお順の目次があれば良いと思います
九州・沖縄	設計	テキスト 表など探しづらい	テキストあいうえお順の目次があれば良いと思います
九州・沖縄	その他	テキスト 表など探しづらい	大元の出典がいろいろあ(自身混乱します。)るので、冒頭、係る法の記載があると良いと思いました。

要望・意見などーテキストについてその他好評

82

地域	職種	項目	記述内容	数	項目
東北	現場管理	テキスト 好評	テキストが理解しやすかったのでなんとかついていけた	82	テキスト その他好評
東北	設計	テキスト 好評	テキストがとてもわかりやすく、今後活用していけると嬉しいです。		
東北	設計	テキスト 好評	わかりやすく良かった。資料も活用できる内容だと思う。		
東北	設計	テキスト 好評	テキストが分りやすかった、まずは業務でやってみなくては。		
東北	設計	テキスト 好評	テキストは非常にわかりやすかった。		
東北	設計	テキスト 好評	テキストも分り易い。		
東北	設計	テキスト 好評	とてもわかりやすいテキストでした。		
東北	設計	テキスト 好評	短時間で広範囲を学ぶことができました。又、テキストもわかりやすく記載してありましたので、自己学習に役立つと思います。ありがとうございます。		
関東	施工	テキスト 好評	くわしく説明されたテキストと講演でとてもわかりやすかったです。		
関東	現場管理	テキスト 好評	テキストがまとまっており分りやすかった。		
関東	現場管理	テキスト 好評	テキストの情報量、文字の大きさ他講習会テキストと比べ良かった。		
関東	現場管理	テキスト 好評	テキストは見易いと思いました。以上です。		
関東	現場管理	テキスト 好評	テキストもわかりやすく施工につなげる(わかりやすい施工)講習も開催してほしい。		
関東	設計	テキスト 好評	・お疲れ様でございました。・テキストがカラーで見やすいのでわかりやすかったです。		
関東	設計	テキスト 好評	テキストが、見やすく、とても分りやすかったです。今まで参加してきた省エネ講習の中で一番理解が出来ました。自分でも、やって学ぼうと思います。		
関東	設計	テキスト 好評	テキストがカラーでとても見やすかったです。		
関東	設計	テキスト 好評	テキストがとてもよくできている。		
関東	設計	テキスト 好評	テキストがとても分り易かったです。ありがとうございます。		
関東	設計	テキスト 好評	テキストがわかりやすい。		
関東	設計	テキスト 好評	テキストがわかりやすかった。		
関東	設計	テキスト 好評	テキストが見やすかった。		
関東	設計	テキスト 好評	テキストが非常に良い。		
関東	設計	テキスト 好評	テキストに二次エネルギー消費量のことも載っていて、実務で使用しやすいと思います。		
関東	設計	テキスト 好評	テキストの精度、わかりやすさが良かったと思います。		
関東	設計	テキスト 好評	テキストはすごく分りやすいモノを頂いたのので再度良く読みたいと思う。		
関東	設計	テキスト 好評	テキストは大変良く出来ていると思います。		
関東	設計	テキスト 好評	わかりやすいテキストでした。		
関東	設計	テキスト 好評	大変わかりやすいテキストの為、学習し易かったです。		
関東	設計	テキスト 好評	短い、限られた時間の中で要点をわかり易く解説していただきありがとうございます。テキストもちょっとくいでずよくできていると思います。実施にあたり、不明な点もでるとは思いますが…(自己目影の憚りか?)		
関東	設計	テキスト 好評	内容ボリュームに対して説明が少なかった、ただしテキストの内容が判り易く、素晴らしい大切にします。		
関東	その他	テキスト 好評	テキストがとてもわかりやすい		
関東	その他	テキスト 好評	テキストが良かったです		
関東	その他	テキスト 好評	テキスト内容が大変解り易くて良いと思います。		
関東	その他	テキスト 好評	テキストはとても、わかりやすいと思います。		
関東	その他	テキスト 好評	資料がわかりやすくまとめてあって良かったです。(一般的な技術資料だと、わかりにくい記述が多いので)かみくだいた平易な表記がとてもわかりやすかったです。		
関東	その他	テキスト 好評	資料も良くまとまっています。二人共説明も上手でした。ありがとうございます。		
北陸	設計	テキスト 好評	テキスト内容が充実しており、とても参考になります。		
北陸	設計	テキスト 好評	業務で理解している人にとっては、H25年省エネ基準を理解するのにちょうど良い講習内容・時間だと思いました。初めての人は、各自で理解を深める必要はあるが、テキストは理解するのに十分な内容だと思っています。		
北陸	設計	テキスト 好評	今まで、いろいろな省エネ関係の講習会へ参加しましたが、テキストの内容が、一番わかりやすかった。ありがとうございます。		
北陸	設計	テキスト 好評	重点が大変わかりやすく、実際に利用する際にも役立つことができそう。参加できなかった者も、テキストがわかりやすく理解しやすいと思う。		
中部	現場管理	テキスト 好評	テキストがとても良くわかりやすかったです。・全体に気を使って頂いて良かったです。		
中部	設計	テキスト 好評	すごく分り易い親切なテキストで大変良かったです。施工の方の講習も是非出席したいです。		
中部	設計	テキスト 好評	すばらしいテキストですね。感謝いたします。また長時間に渡り講師の先生方、ありがとうございました。		
中部	設計	テキスト 好評	テキストがわかりやすかった		
中部	設計	テキスト 好評	テキストが大変良く出来ていると思います。		
中部	設計	テキスト 好評	テキストが緑の本と比べるととても見やすいです。		
中部	設計	テキスト 好評	テキストは分り易いと思う、しかし改正省エネ法の内容が欲しい、難なので1回で理解するのは難しいと思う。		
中部	設計	テキスト 好評	テキストも大変分りやすく受講してよかったです。		
中部	設計	テキスト 好評	テキスト自体が大変分り易かった。		
中部	設計	テキスト 好評	行政に出す提出書類の作成方法はこのテキストでかなりスムーズに進められると思った		
中部	設計	テキスト 好評	寸法のとり方など、図が分りやすかった。ありがとうございました。		
中部	設計	テキスト 好評	大変丁寧なテキストでよく理解出来ました。		
中部	設計	テキスト 好評	特にありませんが、テキストがとてもわかりやすいと思います。		
中部	設計	テキスト 好評	非常にわかりやすいテキストで、非常に詳しく説明して頂いたおかげで、25年基準がどういうものかがよくわかりました。今後、さらに本日得た知識をバネにし、どこにも通用するような知識を学習していきたい。		
中部	その他	テキスト 好評	テキストは分り易く良くまとまっている。		
近畿	設計	テキスト 好評	テキスト、講師の説明ともにわかりやすかった。基本的な省エネ設計の説明から実際に計算をするところまで、ていねいにレクチャーを受けられてすぐにも実務で使える知識になったと思う。又、テキストは省エネ設計の参考書として、これからも使用しつづけるので良かった。		
近畿	設計	テキスト 好評	テキストが大変見やすかった。		
近畿	設計	テキスト 好評	テキストがよくできていて、これからも使える差参考書になると思います。13:33		
近畿	設計	テキスト 好評	テキストが分り易くまとまっていたので複雑そうな部分も理解しやすかった。実務でとても役立つと思う。		
近畿	設計	テキスト 好評	テキストの内容がとてもいいに作られており、講師の方の説明と合わせ、非常にわかりやすいと感じました。ぜひ、今後も継続して行っていただきたいです。		
近畿	設計	テキスト 好評	テキストの内容はすごく良く、これからの業務の参考になる部分が多くて良かったと思います。		
近畿	設計	テキスト 好評	良いテキストだった。		
中国	現場管理	テキスト 好評	テキストは、詳しく書かれており、今後多に活用出来るとうれしい。ありがとうございます。		
中国	設計	テキスト 好評	しかし、テキストも充実していて、基本的なところから順に内容が整理できて良かったです。		
中国	設計	テキスト 好評	テキストが非常にわかりやすく出来ている。		

中国	設計	テキスト	好評	テキストはわかりやすく、つくってあとだと思います
中国	設計	テキスト	好評	良いテキストだと思います。
中国	その他	テキスト	好評	テキストがとても見やすかった為スムーズに説明を聞く事が出来ました。
中国	その他	テキスト	好評	テキストがとても分かり易く書いてあったです、木造以外もできればやって欲しいです。
四国	設計	テキスト	好評	テキストが細かいところまで記入されていてわかりやすかった
四国	設計	テキスト	好評	テキストもわかりやすくまとまっているので、業務への資料として活やくしてくれと思います。
四国	設計	テキスト	好評	テキストも見やすいです。
四国	設計	テキスト	好評	非常にわかりやすいテキストです、これからの実務に使えます。
四国	その他	テキスト	好評	とくにないが、テキストは解りやすい、勉強になりました。
九州・沖縄	設計	テキスト	好評	・テキストのまとめ方が、実務に則してとても使いやすいです。(都道府県別に地域区分表になっている、イラストがわかりやす、情報のまとめ方が上手)
九州・沖縄	設計	テキスト	好評	テキストがカラーで非常に分かりやすい
九州・沖縄	設計	テキスト	好評	テキストがわかりやすくて良い。
九州・沖縄	設計	テキスト	好評	テキストがわかりやすくまとめられていると思った。
九州・沖縄	設計	テキスト	好評	テキストはよくできていてわかりやすくこれから活用できそうで有難く思います。
九州・沖縄	設計	テキスト	好評	分かり易いテキスト、それにそった御説明、ありがとうございます。今後の業務に役立て、省エネ推進します。
九州・沖縄	その他	テキスト	好評	・教科書として非常に分かり易くまとまっていると思います。
九州・沖縄	その他	テキスト	好評	使用されているテキストが図・表を含めわかりやすかった。

要望・意見など一修了考査 29

地域	職種	項目	記述内容	数	項目	
東北	現場管理	修了考査	不評	解答の説明は不要(回答を受領)	25	修了考査 不評
東北	設計	修了考査	不評	(考査問題について)U/Aの計算問題は全て、計算式より逆算出来るので、工夫した方がよい。		
東北	設計	修了考査	不評	考査試験が長すぎる。		
東北	その他	修了考査	不評	考査問題の回答解説が早すぎて、難しかった。時間の問題もありましたが、次回もあれば受講したい。講師の方にお礼を言いたいと思います。ありがとうございます。		
関東	現場管理	修了考査	不評	あいまいな考査はやめた方がよい。		
関東	設計	修了考査	不評	計算問題の説明が早く又説明している内容がテキストと一致せず全く理解出来なかった。		
関東	設計	修了考査	不評	ヒックゲ問題。		
関東	設計	修了考査	不評	考査の文字が小さい。		
関東	設計	修了考査	不評	問題文が、必ずしも、テキストの文章と致しないので、探すのに苦労したので焦りました。		
北陸	設計	修了考査	不評	考査の時間が長い		
北陸	設計	修了考査	不評	修了考査で60点以上、修了などという甘い採点をしているからいつまでも建築士の地位が上らないのではないかと。		
北陸	その他	修了考査	不評	計算問題は、逆算して答えが解かる型かどうかと思う！数値があっているか確認ができるため、テキストで調べる事をしなくても答えが導きだせます。		
中部	現場管理	修了考査	不評	考査関係、解答が手順と表が混在し、ちよつと分かりにくかった。		
中部	設計	修了考査	不評	計算方法の習得は未経験者には短時間では無理と思う、考査は必要ないと思う。		
中部	設計	修了考査	不評	考査の解説は必要ですか？解答あるのに。		
中部	設計	修了考査	不評	考査問題の解説は不安、その時間で外皮性能基準についてゆつくり説明頂きたかった。		
近畿	設計	修了考査	不評	○×、問題の正解を教えてください。-NO. 4. 兵庫県(県民会館)		
近畿	設計	修了考査	不評	一般的に関西の大工は、断熱材施工について知識が低いように思います。年齢的にも上なのかもしれません。施工者側の講習もぜひ義務講習を行ってほしい。監理者だけでは…		
近畿	設計	修了考査	不評	考査解説はなくても良いと思う		
近畿	設計	修了考査	不評	考査の解説は読み上げるだけなので不要だと思います。解答のみで充分		
近畿	設計	修了考査	不評	考査問題の文字が小さい		
近畿	設計	修了考査	不評	講義が読んで頂いてが多く修了考査が大変だった。		
中国	その他	修了考査	不評	考査の問題(計算)の字が小さく見えずらかった。遠視のため		
四国	現場管理	修了考査	不評	講師は長い時間で大変だったと思います。考査問題については、少し疑問が残ります。		
九州・沖縄	その他	修了考査	不評	・考査をする必要があるのか。		
関東	設計	修了考査	好評	内容は難しかったが説明が分かり易く良かったです、修了考査の解説もテストをして終わりではなく、当日に解説までして頂く事で理解が深まりました。		
関東	その他	修了考査	好評	講習会の流れはよかった。演習、考査で理解できていると感じた。		
北陸	設計	修了考査	好評	考査問題の回答・解説があったのは意外でしたが、大変良かったです。		
九州・沖縄	設計	修了考査	好評	演習、考査の後、ていねいに解説をしていただいて、理解がさらに深まりました。		

要望・意見など一演習 142

地域	職種	項目	記述内容	数	項目	
東北	現場管理	演習	要望	1度では覚えられないと思うので「計算講座」のような数字に慣れるためのセミナーを、市町村単位で(→最低でも地区単位)定期的に開催してほしい。	87	演習 要望
東北	設計	演習	要望	テキストは読めばある程度理解できるので、演習問題等を多くこなした方がよいのではと思います。本日は大変お世話様でした。		
東北	設計	演習	要望	演習問題の解説に時間を使って欲しい。		
東北	設計	演習	要望	演習問題の回答解説に時間をかけてほしい理解出来ないところがあった。		
東北	設計	演習	要望	演習問題を増やして欲しい。		
東北	設計	演習	要望	演習問題を他に3~4問こなしたかった。		
東北	設計	演習	要望	外皮面積や床面積の求め方について詳しい解説と演習があるとよかったです(吹付けのある場合や基礎まわり周長などについて)。		
東北	設計	演習	要望	計算・演習にも少し時間を割き、実際の計算の訓練ができるとなおよかったです。		
東北	設計	演習	要望	建築計画等のテキストを読めば済む部分は省略して、計算演習についてもう少し突っ込んだ講習の方がいいかと思っています。		
東北	設計	演習	要望	全くの初歩段階からの取組だったので基本がないなかの受講に近かった。故に進むペースが速く感じられ半分も理解できたか疑問です。少し実践的な講習も取り入れていただければと思います。		
関東	施工	演習	要望	演習問題がもっとあった方が実践的だと思う		
関東	現場管理	演習	要望	計算演習について、“表”からの該当数値の選択等もあります。		
関東	現場管理	演習	要望	面積の計算から数字を使っていたい。		
関東	設計	演習	要望	・演習、考査の問題は、もう少し考える問題にしても良いと思う。今回のものは、丸写しできるし、結果から逆算できてしまう。せめて、演習だけでも、もっと時間を取って、講師と一緒にでもきちんと聞かないと、意味のない講習会になるのでは？		
関東	設計	演習	要望	演習問題や計算例の説明では実際に計算をし、その数値となることを確認するとわかりやすい(例えば天井だけでなく)その他は例に習って・・・というように		
関東	設計	演習	要望	だからテキストを読んで終わりならテキストだけ送ってもらった方が時間のムダにならない。演習したり、実例を紹介するほうが良いと思う。		
関東	設計	演習	要望	テキストの説明よりも計算演習に時間をさいて頂けるとうれしく思います		
関東	設計	演習	要望	テキストをページ順に説明するのではなく、演習スタイルの方が即、実務に役立つし、理解しやすいと思う。		
関東	設計	演習	要望	テキスト内容については要点を中心に午前中くらいで終る様にして演習問題等、具体的な内容にももう少し時間をさいてほしい。		
関東	設計	演習	要望	内容の説明も重要だが、実務として、演習、計算内容の説明の時間をもう少し長く、とった方がよいのでは…。		
関東	設計	演習	要望	また、具体的な、計算演習を増やしたり、webプログラム入力も実例を使った方法としてもらうこともっと理解が深まると思うが…いかがなものでしょうか？		
関東	設計	演習	要望	もう少し演習を中心に行なった方が分かり易かったかもしれません。		
関東	設計	演習	要望	もっと演習をやってほしい。概要説明の後、数値を入れながら…とか。		
関東	設計	演習	要望	演習、計算に時間を掛けてほしい。		
関東	設計	演習	要望	演習サンプルが付いていると、復習する時に使いやすい。提出書類のひな形が有るとたすかります。		
関東	設計	演習	要望	演習に時間をかけて欲しい。		
関東	設計	演習	要望	演習の部分、基礎の計算もしてほしかったです。		
関東	設計	演習	要望	演習は2問程度行うとコツがつかみやすい。		
関東	設計	演習	要望	演習問題の時間をもっと多くした方がよいと思います。		

関東	設計	演習 要望	演習問題をやりながら、解説するのが、もっと早い段階で行われた方が分かりやすかったと思う。一度にすべてを説明されても、確認作業をする時間的余裕がない。講師も受講者が理解しにくいことが分りながらカリキュラムに沿って、先へ先へ説明するのは負担が多きく気の毒だった。
関東	設計	演習 要望	演習問題を多くした方が理解が深まると思います。また、問題も検算で数値が分かってしまうものではなく、テキストを調べないと解答が分からないものの方が、よいのではないかと思います。
関東	設計	演習 要望	計算演習を1例でなく2例以上してもらいたい。
関東	設計	演習 要望	穴を埋める演習でなく、1軒全てをやるともっと良いかも…。
関東	設計	演習 要望	参考の図面を元に、外皮性能、一次エネルギー消費量の算定を一通りやってみて良かったです。
関東	設計	演習 要望	実務レベルの演習などを増やしていただきたいと思いました。
関東	設計	演習 要望	詳細計算方法による、演習を実施したほうが、理解を深められるのではないかと思います。
関東	設計	演習 要望	推奨のソフト(エクセル他)の使い方の説明より、実際の計算の割合を増やした方が実務としては勉強になると思う、計算についてももっと空欄を増やさないで逆算で答えが出てしまうのであまり意味がないと思う。
関東	設計	演習 要望	正誤表を先に計正してから講習会を始めると良いと思う結構訂正力所も多いので混乱する。演習があつたので理解度が深まったあとに審査という流れは良いと思う。
関東	設計	演習 要望	設計計画編の説明は無くても良いと思います。(読めば理解のできる内容なので)もっと、実際の計算などについての解説、演習を充実させて欲しい。
関東	設計	演習 要望	平均日射熱取得率の演習も行ったかった。
関東	その他	演習 要望	もう少し時間をかけて演習問題を時間をかけて2例程度やってみて見たかった。 ・大変勉強になりました。ありがとうございました。
関東	その他	演習 要望	ポイントを絞って、計算演習時間を多くして欲しい。
関東	その他	演習 要望	計算演習について、演習問題の解説をしっかりとやって欲かった。説明がわかりにくい
関東	北陸	施工	演習にもっと時間をかけたかった
北陸	施工	演習 要望	演習時間、と例等を時間を掛けてやってほしい。講習時間でページめくりだけでわからなくなる…
北陸	現場管理	演習 要望	演習問題を増やして欲しい
北陸	現場管理	演習 要望	計算問題において聞きどりにくい部分が多くあった。話を聞くだけでは分かりにくいので、話し+演習のほうがいいのでは。(穴埋め形式とか)
北陸	設計	演習 要望	・実際モデル住宅を使ってソフトを動かして、質問をリアルタイムでしてみたかった。 ・出力した結果が正しいのか不安。 ・外皮の拾い方の練習がしたかった。
北陸	設計	演習 要望	演習問題があつたので分りよかった
北陸	設計	演習 要望	基礎の熱貫流率の計算もじっさいに行ってほしかった。
北陸	設計	演習 要望	具体的な演習がもう少しあつた方がわかりやすいと思いました。
北陸	設計	演習 要望	計算の演習がもっと細かく時間をとって頂きたい。
北陸	設計	演習 要望	実際に自分でひととおり計算してから、もう1度講習を受ける機会があつてもいいかなと思いました。
北陸	その他	演習 要望	本を読むだけだったので残念。もっと演習がしたかった。
中部	設計	演習 要望	演習にもっと時間をかけて欲しい(2~3題あつても)、計画編は簡単な説明でよい(要点のみ)、計算式の意味と考え方を説明して欲しい(単位も)、実際に計算しながらやっていけば理解しやすいと思う。
中部	設計	演習 要望	演習を実際にやると非常にわかりやすいので、演習の時間が多く良いと思います。
中部	設計	演習 要望	演習問題をひたすら繰り返すと理解が深まります。
中部	設計	演習 要望	計算問題(演習)の講義があれば参加したいと思います。
中部	設計	演習 要望	時間をのばして3の例題も、演習したかったです。
中部	その他	演習 要望	実務をやっていく上で、演習を中心とした講習会を、今後希望します。
近畿	設計	演習 要望	演習は一度自分でやって、その後解説してもらったかった。
近畿	設計	演習 要望	もし良ければ、演習問題のすべての計算式と帳票のページ、行よりと記入していただいて、プリントがもらえればたいへんたすかります。
近畿	設計	演習 要望	演習問題があまりすぐ実践するのに役立つ、もう少し演習問題があればさらに良い。
近畿	設計	演習 要望	実際の図面を利用して、実践的な演習をしたい。
近畿	設計	演習 要望	実務に沿った手順(演習)の方が判り易い。演習を複数行って説明は少くする方が(後で個々テキストを確認)良いと思う。
近畿	設計	演習 要望	日射取得ももっと算出してほしかった
近畿	設計	演習 要望	日射熱取得量の解説と、演習をもう少しして頂きたかった。
近畿	その他	演習 要望	実務レベルの計算のみ講習をして欲しい。
中国	現場管理	演習 要望	実演の時間をもっと(倍以上)とってほしい。出来れば一軒分を一から算出したかった。
中国	現場管理	演習 要望	内容が濃いので演習問題を多くして欲しいです、ネットなどにも載せて頂きたいです。
中国	設計	演習 要望	演習問題があつてよかった。平均日射熱取得率の計算もあつたほうが良いと思います。
中国	設計	演習 要望	ポイントが分りやすかった。演習問題の時間や、問題数が多いとよかった。
中国	設計	演習 要望	演習時間をもっと欲しい(受講内容(時間)だけでは理解できない)。
中国	設計	演習 要望	具体的事例の計算講習を望む。
中国	その他	演習 要望	普段から接していない言葉ばかりで、早口で進んでしまいとまどいました。例えば演習をまず先にするなどすれば、少し頭に入りやすいのではないかと思います。
四国	設計	演習 要望	面積の計算の演習もあれば良かったと思います。
四国	設計	演習 要望	予備知識なしに講習を受けたので速すぎてページの変更、書き込みの時間がたりませんでした。演習問題をする事で少しわかつた気がしました。できればパソコンにて演習出来ればもっとわかつたかな?と思います。
九州・沖縄	現場管理	演習 要望	時間に限りがあつたので説明が早かつたのですが、もう少し演習形式でわかつたかったです。
九州・沖縄	設計	演習 要望	演習をやりながらステップを踏んで、理解した方がいいます。ただ、テキストの棒読みであれば、Webのほうがマシです。確実に技術を教える講座を再考してください。時間が押してのバタバタ、早口ではNGです。
九州・沖縄	設計	演習 要望	テキストを読むだけでなく、演習をしながら説明するだけにした方がいのではないかと思います。
九州・沖縄	設計	演習 要望	テキストを読んでいるのを聞く時間が、ムダに感じた。メリハリがあるとよいと思う。
九州・沖縄	設計	演習 要望	演習で1日あつても良い(計2日 or 1.5日)。
九州・沖縄	設計	演習 要望	演習時間をもう少し長くしたほうが、より理解が深まると思います。
九州・沖縄	設計	演習 要望	詳細の計算をパソコンを持ち込んで行った方がわかりやすい。
九州・沖縄	設計	演習 要望	設計計画編は自分で読めば分る内容だったので、講義はなくて良いと思う、その時間を演習にかけて実際に計算する時間を増やした方が良い
九州・沖縄	設計	演習 要望	平均日射熱取得率の求め方の練習もあればなお良かったかもしれません。
九州・沖縄	その他	演習 要望	午後の部、テキスト参照、webの紹介は本当に必要だったのでしょか?講師の方が難しいと言ひ面倒とおっしゃるならば、演習問題に割いた方が、具体的に例題を2つ、流れをつかめるような内容の方が良いのではないでしょか?
九州・沖縄	その他	演習 要望	一日の講習での理解は、難しいです。実務の演習が必要だと思いました。
東北	現場管理	演習 不評	計算演習の進行スピードが速くついていけなかつた
東北	その他	演習 不評	演習問題は字が小さすぎて、読めませんでした。
東北	その他	演習 不評	計算の方の時間が足らなかつた。少数点のつけかたが良くわからなかつた
関東	設計	演習 不評	☆演習問題の、外壁の図は、たてに書かれないと、理解できないのでは!!
関東	設計	演習 不評	演習問題の字が小さくて見づらかつた。
近畿	設計	演習 不評	・演習問題、講師の方のもの、我々のものがちがつたのでは?内容は同じだが記入欄とかがちがう気が…
近畿	設計	演習 不評	演習問題の字が小さくて見にくい
近畿	設計	演習 不評	演習問題の用紙の文字が小さすぎて見づらい。A4→A3にすべき
近畿	設計	演習 不評	演習問題は文字を大きくして下さい。計算はもう少しゆっくり説明してほしかった。
近畿	設計	演習 不評	演習問題文字が小さ過ぎる
近畿	設計	演習 不評	計算演習の解説がとつても分りづらい。
近畿	設計	演習 不評	基本的省エネ改正の概要、テキスト読みの時間はもう少し短く、午後の演習、具体的設計の数値の出し方、算出を事例でやりたかつた。問題は穴埋めで流れ意味を追えてない、もう少し踏み込んで行いたい1日費やすのだから。
中国	現場管理	演習 不評	演習問題、テスト問題用紙の文字が小さくて読めない。
中国	設計	演習 不評	演習問題の解説をもう少し丁寧に挙げてほしい、詳しい解説を求めているのに対して説明が読み解いて下さいの一点張りでは参加された方の気持ち考えると適切ではないと思う。
九州・沖縄	設計	演習 不評	演習問題の文字が小さい上に、漢字なので見づらかつた。A3サイズか2ページに分けてほしい。
九州・沖縄	設計	演習 不評	結構高齢者の方が多く練習問題等文字が小さいと思われた方がいたと思います。
東北	現場管理	演習 好評	演習問題があつたのが良かったと思います。
東北	設計	演習 好評	演習問題で理解できた
東北	設計	演習 好評	演習問題もあつても分りやすかつたです。
東北	設計	演習 好評	計算の手順や考え方を分り易く指導下さつたので、今後業務に行かせると思ひました、ありがとうございました。
東北	その他	演習 好評	演習などの時間が設けられていて分り易い
東北	その他	演習 好評	実際に計算しながらの講習でしたので、とても参考になりました。
関東	設計	演習 好評	・演習はわかりやすい。
関東	設計	演習 好評	演習問題は全体を理解するうえで良い問題だつた。

16

演習
不評

39

演習
好評

関東	設計	演習 好評	こうやって例をあげて演習問題を一緒にしてもらえると、頭の中にも入ってきやすく、分らない事が明確になるので、とても良かったと思います。まだ分らない所があったりするのでもう1回講演を受ける必要があるかもです。
関東	設計	演習 好評	設計、計算例はテキストを読むだけでは分かりにくかった。この部分の解説については要改善。 演習により理解できた。
関東	設計	演習 好評	演習があつて良かった。実際にやらないと理解できない。
関東	設計	演習 好評	演習があり、解説もとても分かり易かった。
関東	設計	演習 好評	演習と考査があつたのが理解に役立ちました。省エネ関係の講習は他団体で2度受講しましたが、当講座が一番わかりやすかったです。
関東	設計	演習 好評	演習は、とても良いと感じました。施工編について、ポイントだけでも、DVDで見ることが出来れば良かったと感じます。
関東	設計	演習 好評	演習はわかりやすいと感じました。
関東	設計	演習 好評	演習を一緒にやっていただいでわかりやすかった。
関東	設計	演習 好評	演習問題があつてよかった。
関東	設計	演習 好評	演習問題があつてより理解できたと思います。ありがとうございました。 →(他の講習会ではなかったのでもためになった。)
関東	設計	演習 好評	演習問題の解説はわかりやすかった。例があるとより実行しやすいので、式だけでなく例をもっと入れると良いと思う。
関東	設計	演習 好評	計算の演習があつたので、かなり役に立った。
関東	設計	演習 好評	午後の演習は実務に沿っているので、良いと感じました。
関東	その他	演習 好評	演習問題で実施した事は良かったと思います。
関東	その他	演習 好評	講習会の流れはよかった。演習、考査で理解できていると感じた。
北陸	現場管理	演習 好評	午前中は少しかけ足で頭に入つてこなかった。 計算も最初はさっぱりでしたが簡易計算は、演習があつたので分かりやすかった。
北陸	設計	演習 好評	演習問題についての説明がわかりにくかった。説明不足である
北陸	設計	演習 好評	演習問題の実施や回答解説があり理解しやすかった。
中部	設計	演習 好評	演習がとてもよかったです。
中部	設計	演習 好評	演習問題の解説はとて分り易く、すごく勉強になりましたありがとうございました。
中部	設計	演習 好評	講習に演習問題があるので理解しやすい、テキストも講習も演習や計算を増やした方がもっと理解しやすくなるのでは、建物形状が複雑になっていくときの計算例を増やして欲しいです。
近畿	設計	演習 好評	内容を詰め込みすぎて、本を流すスピードが速い、演習解説が中心の方が役に立つと思う。
近畿	その他	演習 好評	演習問題を手厚くしていただいたので、特に理解しやすかった。演習のみの講習があれば、参加し、実務にも活かせると思います。短時間での講習でしたが、講師の先生に感謝しております。ありがとうございました。
中国	その他	演習 好評	演習問題を実際にする事で、内容の確認(実務に生かす為の)ができて良かったと思います。
四国	現場管理	演習 好評	演習して頂いたのがとても参考になった。現実的に理解できるきっかけとなりそうです。
四国	設計	演習 好評	演習問題・考査問題の解答が丁寧な説明文がありわかりやすいです。
九州・沖縄	設計	演習 好評	・演習問題が有り実感的で良かった
九州・沖縄	設計	演習 好評	・解かりやすい説明でした・演習問題で、理解が進みました。
九州・沖縄	設計	演習 好評	内容が理解できないうちにどんどん進めていくことに違和感があった。しかし、内容の流れをつかむことができたし、演習をすることでなんとか理解できる様になった感じがする(演習あるのみです)
九州・沖縄	設計	演習 好評	演習、考査の後、ていねいに解説をしていただいで、理解がさらに深まりました。
九州・沖縄	設計	演習 好評	演習があつたのは、すごくよかったです。実際計算してみないと理解できないので。

要望・意見など一他の資料・説明の要望

35

地域	職種	項目	記述内容	数	項目
中部	設計	チェックシート	施工者の講習で教えているかも知れませんが、これを現場で管理する時のポイントを押さえてチェックすれば良いか教えて欲しいです。	2	チェックシート
中部	設計	チェックシート	断熱材施工のポイント、注意点など資料が欲しい。(大工さんにより差がある)→施工編を受講しなくても良いように。	11	計算プログラム・ソフト
東北	設計	計算プログラム・ソフト	各々所10例程度(キツ・外壁・ヤネ・内床・内天井サッシ等)をクロスさせた簡易計算ソフトを作るべきです。00率と△△係数とかは私には計算できません。編集者の努力がたりないです。		
関東	現場管理	計算プログラム・ソフト	外皮性能を計算するソフトを配布すればいいと思う。		
関東	設計	計算プログラム・ソフト	有料、無料のソフト(計算ソフト)、いくつかお教えてもらえると、良い。		
関東	その他	計算プログラム・ソフト	確認申請書式のようにプログラムがあるとよいと思いました。		
中部	設計	計算プログラム・ソフト	U値、計算ソフト(エクセル)は配布もしくはダウンロードできるのか。		
中部	設計	計算プログラム・ソフト	屋根、壁、床等のu値計算する為に使用するソフトはどれを使用しても良いのか		
中部	設計	計算プログラム・ソフト	今日は、ありがとうございました。計算ソフトの無料配布をお待ちしております。よろしくお願致します。		
中部	設計	計算プログラム・ソフト	有償でいいのでEXCELのプログラムが欲しい。		
中国	現場管理	計算プログラム・ソフト	何度も計算をしないとすぐに忘れてしまいました、インターネットで簡単に入力するだけの物をダウンロード出来るようにして頂きたい。		
九州・沖縄	設計	計算プログラム・ソフト	計算が簡単なソフトを紹介したい		
九州・沖縄	設計	計算プログラム・ソフト	準備計算(天井、外壁～熱貫流率等)を出す計算表(エクセル)があるとスムーズにいくと思います。		
中部	設計	建材データベース	関係する建材及び設備機器メーカーのデータの提示が必要。全てが決定しないと届けができない。(建築確認申請)	3	建材データベース
中部	設計	建材データベース	断熱材の正しい施工法、詳細についてホームページ等で公開するかもしくは冊子を配布して欲しい(メーカー、建材メーカー、ハウスメーカーとも連携要)。	12	手続き・申請・図書
九州・沖縄	その他	建材データベース	サッシ・ガラス・断熱材の性能値については出典が多岐にわたり評価機関によって求める根拠がまちまちなので、もう少し一元化できるとありがたいです。		
東北	設計	手続き・申請・図書	実際の申請時にはどのような図面で、どこまでの計算を提出するのかわかれば良かったです。		
関東	設計	手続き・申請・図書	「届出義務」について届出方式、方法、記載例添付図書等についての講習希望		
関東	設計	手続き・申請・図書	計算等は問題ないのだが、実務にあたって、役所用の書類、図面等の書き方例など、教えてほしい。IBECなどのHPでも役所担当者も明確に必要な書類や、書き方など教えてくれない。時間ロスが大きい。(省エネ基準の申請)省エネは良いか書類通りの末エネも考えてくれ!		
関東	設計	手続き・申請・図書	実際の申請に、必要な計算や書類作成の方法の講習の方が良かった。		
北陸	設計	手続き・申請・図書	計算法はわかったが、計算書をするための前提となる図面の書き方(表現の仕方)がわからなかった。計算書と設計図がそろって始めてだと思ふ。		
中部	現場管理	手続き・申請・図書	実際の確認申請時にどのような書類が必要になってくるのか講習をして欲しいです、本日はありがとうございました。		
中部	設計	手続き・申請・図書	実際の書類を提出するの、よくわかりません。		
中部	設計	手続き・申請・図書	また新しい省エネ基準を今使用するソフトを使用する申請等を教えてもらえるとより身近に感じれると思います		
中部	設計	手続き・申請・図書	一方的に説明を聞くだけの講習なので実際の設計にあたって生かせるか数はこなさない、今日の講習の内容が実際の確認申請などどう関わってくるかわからない。		
近畿	設計	手続き・申請・図書	既存の建物(特に伝統的工法による古民家等)に対する制度の運用はどうするのでしょうか?増改築等で確認申請等が必要な場合等...		
中国	設計	手続き・申請・図書	実際の提出書の内容についても講習があればとおもいます。		
四国	設計	手続き・申請・図書	テキストを入手するだけでは内容をじっくり見ることは無いので、こういった場で概要を理解するのが良いと思う、実務的にこれから、いつ、どういった時(申請等)必要になるのか具体的な説明が欲しい。		
九州・沖縄	設計	混構造	・沖縄特有のRCCの場合、混構造の場合についても扱って欲しい。	1	混構造
関東	設計	その他	更新情報をメルマガなどで配信してほしいです。	2	その他
関東	その他	その他	復習できるツールがあれば良いかと思いました。	4	アンケート
東北	設計	アンケート	質問8、5大変わりにくかったは講師の問題ではなく、内容自体がむずかしく、理解が出来なかった。今後の基準だから勉強しなければ……		
東北	設計	アンケート	質問8、の4の記入については、音響が悪いせい、後席のため、言葉が非常に聞きにくかった。		
東北	設計	アンケート	質問8について、解答はどちらにもとれると思われる!		
中部	設計	アンケート	質問6については根本から学ぶとしたらどう意味です。		

地域	職種	項目	記述内容	数	項目
東北	現場管理	読み上げ講習 不評	テキストを読んでいるだけなので、もっと工夫して欲しい。	40	読み上げ講習 不評
東北	設計	読み上げ講習 不評	・テキスト内容をなぞるだけの講習はやめて欲しい		
東北	設計	読み上げ講習 不評	お二方の講師のうち、おひとりテキストを流し読みするのみで講習と思われなかった。		
東北	設計	読み上げ講習 不評	ただ棒読みするのなら、あまり必要がない講習会だと思われ非常にわかりにくかった		
東北	設計	読み上げ講習 不評	テキストを読みあげただけでは講習に参加して意味がない、講師の方はある程度理解したうえで説明してほしい。		
東北	設計	読み上げ講習 不評	テキスト読みあわせのような感じがして、大変わかりにくい。時間の問題だと思いますが、残念です。		
東北	設計	読み上げ講習 不評	時間が少ないので仕方ないかもしれませんが、テキストをただ読み上げているのが気になりました。		
東北	設計	読み上げ講習 不評	説明ではなくテキストを読んだだけでした。		
東北	設計	読み上げ講習 不評	単なるテキストの読み合わせではなく、なぜこうなっているか？等の考え方の説明がほしい。 ex. 柱の橋脚で断面材圧さと同じと判断する理由…など。		
東北	設計	読み上げ講習 不評	年のせい耳も遠くなり、マイクを使って講義をしているが、うしろの席には明確な言葉として伝わらない部分もありました、テキストの棒読みではおもしろくないですが内容は伝わりました。		
東北	その他	読み上げ講習 不評	テキストの棒読みであれば、講習会とはいえないのでは…？		
関東	施工	読み上げ講習 不評	10時半までの内容は読めばわかる様な…時間配分を再考正誤表を無視した読み上げは、どうかと思う。 考査の為講習？		
関東	現場管理	読み上げ講習 不評	講習がテキストの内容の解説ではなく、テキストの説明になっていた。		
関東	設計	読み上げ講習 不評	テキストの棒読みはさける		
関東	設計	読み上げ講習 不評	テキストを読み上げるだけでは、内容を理解しにくい。		
関東	設計	読み上げ講習 不評	テキストを読むだけでなくDVDでも良いのでは。		
関東	設計	読み上げ講習 不評	女の人読んでるだけ。		
関東	設計	読み上げ講習 不評	廿日出講師の部分は、全然分らないし、テキストを読んでいるだけで、解説になってない。「テキストを読めば分かります」「求めておいて下さい」等の発言ばかりでしたが、テキスト読むだけなら、講習を受けに来た意味がなく、求める方法を教えてくれないと、分かりません。お金を払って受講したのに残念でした。		
関東	設計	読み上げ講習 不評	棒読みするだけならAM前半は不要。その分その後の内容に時間を割いた方がよい。		
関東	設計	読み上げ講習 不評	講義みの講義でなく、考査に沿うようなカタチの講義にして預けるとより意義があると感じられました。		
関東	設計	読み上げ講習 不評	要点をわかりやすく説明してほしい。文章を読んだだけの説明だけでした。		
関東	その他	読み上げ講習 不評	午後の講習でテキスト読みあげ部分が多かったので、わかりやすくしていただけたらと思います。		
中部	設計	読み上げ講習 不評	講師のプロフィールが必要・テキストを読むだけの講師なら不要		
中部	設計	読み上げ講習 不評	テキストの読みあわせだけで講習会といわないでほしい		
中部	設計	読み上げ講習 不評	テキストを読むだけの講習では、なかなか覚えられない。		
中部	設計	読み上げ講習 不評	講師の方、ただ読んでいるだけで寝ていく方が多かった。もう少しちゃんと前準備した方がよいのでは？		
近畿	施工	読み上げ講習 不評	だらだらとテキストを読んでいるだけなので独学の方が時間が有意義に使えます。		
近畿	現場管理	読み上げ講習 不評	午後からの講習で、テキスト内容の説明部は読み上げるだけであまり頭に入らなかった。 が、考査問題で考える時間が有りその方が頭に入りやすかったです。		
近畿	現場管理	読み上げ講習 不評	テキストを読んでいるだけで退屈だった。		
近畿	現場管理	読み上げ講習 不評	講師の説明は読んでいるだけで眠たく分りにくい、テキストで自習したほうが分りやすい。		
近畿	設計	読み上げ講習 不評	資料を読むだけの所が多かったため、分かりにくい単語などの説明が欲しかった。		
近畿	設計	読み上げ講習 不評	テキストを読むだけだったらスライドで結構です。		
近畿	設計	読み上げ講習 不評	テキストを読んでいるだけで、解説をしなが進めてほしかった。 対話をしながら進めるとより聞きやすくなると思います。		
近畿	設計	読み上げ講習 不評	テキストを読んでいるだけで話に内容が無い。		
近畿	設計	読み上げ講習 不評	講義は数値を読み上げるなどテキストを見ればよいものは省略して欲しい。 覚えるものが多いのでできる限りシンプルがよい。答え合わせに全て読み上げるのは無駄であると思います		
中国	設計	読み上げ講習 不評	本を読んでいるだけで内容があまり理解できない。		
中国	設計	読み上げ講習 不評	テキストの音読だけでは、理解しにくい。		
四国	設計	読み上げ講習 不評	講義内容について単調棒読みであり、ポイントが分りにくく、もう少しスリハリをつけて、実務側に立った説明をしていただけたらと思う。(受講者側を顧ながら話す)		
九州・沖縄	設計	読み上げ講習 不評	テキストの読みあわせが中心の様なので、そこら辺は短縮して講習時間を短縮した方が良かった。 その方が業務中の予定に入れやすい。		
九州・沖縄	設計	読み上げ講習 不評	テキスト読むだけの講習はたいくつ		
東北	設計	要望 ポイントを絞った説明	テキストを解説するのではなく、ポイント、注意点を深く解説希望します。 それとテキストのうまい使い方を教えてもらえれば良いと思う。	37	要望 ポイントを絞った説明
東北	設計	要望 ポイントを絞った説明	ポイントとなる部分は読み流すのではなく、繰り返し言っていたら助かります。 (読みが良いつかない聞き逃してしまい、その後が全くわからなくなるので、)		
東北	設計	要望 ポイントを絞った説明	ポイントをまとめた別紙があれば、よい。		
東北	設計	要望 ポイントを絞った説明	短時間での講習なので要点をまとめて、重要部分、本文のみではわかりづらい所(文章を読んでわかる部分は不要)を説明してほしい。(講習よりまず)		
東北	設計	要望 ポイントを絞った説明	要点をしばって解説していただけたら尚わかりやすいかと思ひます。		
東北	その他	要望 ポイントを絞った説明	・全般に渡らなくともポイント部分を掘り下げた説明の仕方でもよいのでは？		
関東	施工	要望 ポイントを絞った説明	要点を明確に！！講義内容にスリハリを！！眠いだけ。		
関東	現場管理	要望 ポイントを絞った説明	とても専門的な知識レベルなのでおさえておくべき事をもう少し分りやすくなればよいと思う。		
関東	現場管理	要望 ポイントを絞った説明	何が重要なのか？ポイントを明確にさせていただいたかった。		
関東	現場管理	要望 ポイントを絞った説明	大事な部分はもう少しゆつくり、とぼすところはとぼして頂ければ幸いです。		
関東	設計	要望 ポイントを絞った説明	スリハリつけて、重点をわかりやすくして。		
関東	設計	要望 ポイントを絞った説明	講習内容をポイントしぼってコンパクトにお願いします。		
関東	設計	要望 ポイントを絞った説明	重要ポイントをくり返し又は強調してほしい。		
関東	設計	要望 ポイントを絞った説明	説明時間は、ポイントをしばらくこみもう少し短かい方がよいと感じました。有難うございました。		
関東	設計	要望 ポイントを絞った説明	読めば解るような部分の説明は時間のムダ解説本を読むだけで充分		
関東	その他	要望 ポイントを絞った説明	もう、少しアンダーラインの指定場所を、教えて頂きたい。		
関東	その他	要望 ポイントを絞った説明	一様に説明するのではなく、重点思考でポイントを説明してくれた方が講習会としては良いと思います。 残り(説明のなかった部分)は必要時に読み返す方式として自分で勉強する。		
北陸	施工	要望 ポイントを絞った説明	レジメに、まとめてもらえるとわかり易い(後に、見返した時などに)		
北陸	現場管理	要望 ポイントを絞った説明	聞きづらい面があった。もっとまとめてもらいたい(大事な部分)		
北陸	設計	要望 ポイントを絞った説明	テキストを読み上げるだけでは、意味がない。実務でのポイントを教えてほしい。		
中部	設計	要望 ポイントを絞った説明	つまるところ何をしたいのかをまず説明してほしいと思ひます。		
中部	設計	要望 ポイントを絞った説明	どのページを説明しているのかアナウンスが欲しかった。		
中部	設計	要望 ポイントを絞った説明	要点のみの解説をしていただければ、テストに出るところ		
中部	設計	要望 ポイントを絞った説明	時間の都合もあり説明の内容があまり深く流したような感じでしたので要点のみをまとめて簡潔にして頂く講義時間を長くする等としてテキストにのっていることを流すだけでなく多すぎるのでどうしても必要なのをお願ひします。		
中部	設計	要望 ポイントを絞った説明	流し読みをする部分は省いても良いと思ひます。その分要点に時間をとるか講習の時間を短縮しても良いと思ひます。		
近畿	現場管理	要望 ポイントを絞った説明	講師の方々説明はわかりやすかったですが、テキストでの重要点を押さえて頂くともっとわかりやすいと思う		

近畿	設計	要望 ポイントを絞った説明	講師の方は内容を理解した上で説明されているので受け手としては進行が早く感じた。できればもっとポイント(気をつける所)をしばってゆくり説明してほしい。計算の手法等、今聞いても忘れてしましそうな所は説明を省いてもいいと思う。		
近畿	設計	要望 ポイントを絞った説明	午後の部はペースが早くついて行くのがやっだった、もう少し全部丸読みではなく要点を整理して教えて欲しかった。		
近畿	その他	要望 ポイントを絞った説明	講習が、少し単調だった。もう少しポイントを絞ってもいいのでは？		
中国	設計	要望 ポイントを絞った説明	説明範囲が広すぎる。もう少しまとをしばって要点解説してほしい。		
九州・沖縄	現場管理	要望 ポイントを絞った説明	ポイントを重点に講義した方がよいと考えます		
九州・沖縄	現場管理	要望 ポイントを絞った説明	もう少し順序だてて話しをしてほしい。セミナーよりも分かりにくい。サガ山先生くらいゆくり話しをしてほしい。バタバタされるときになれない。		
九州・沖縄	設計	要望 ポイントを絞った説明	重要箇所をポイントで解説してほしい。		
九州・沖縄	設計	要望 ポイントを絞った説明	テキスト、講師共にわかりにくかった。時間を考えて、ポイントをまとめて説明してほしい。全体を流すのではなく。		
九州・沖縄	設計	要望 ポイントを絞った説明	テキスト内容を十分に理解するのは時間がかかると思われる。最重要点をしばって重点的にやった方がよい		
九州・沖縄	設計	要望 ポイントを絞った説明	実際の計算時や施工時に注意するポイントにしばって話しにして頂くと思えます。		
関東	設計	要望 説明順序	計算の手順から先に教えて頂きたかったです。数値の関係を理解してから、内容に進むと話が早く済み、かつ実務でも有利です。小テスト→内容合わせの上、テキスト説明→小テスト→以下ループがbest。	6	要望 説明順序
関東	設計	要望 説明順序	計算モデルを参照しながら説明してもらったほうが分かりやすい。まとめの大枠を説明し細部にうつつたほうがより理解しやすいと思いますが…。		
北陸	設計	要望 説明順序	テキスト通りで進むのではなく先にP228を見てから内容に入った方がつかみやすかったと思う		
中部	設計	要望 説明順序	全体の流れ→細部の説明が必要		
近畿	設計	要望 説明順序	全体として分かりにくい講習会でした。解説というよりテキストを読んでいるだけでした。ページもあっちに飛んだりこっちに飛んだりの解説でしたのでついていくのが大変でした。テキストだけもらって家でじっくり読んでも同じ効果な気がします。		
九州・沖縄	設計	要望 説明順序	テキストの大まかな構成を先に説明して欲しかった。P228の計算例をもとに、何ページにどの係数が載っているかを重点的に説明いただければもっと分かりやすかったかもしれません。本日はありがとうございました。		
北海道	現場管理	要望 説明箇所が分かるように	1、住宅省エネルギー技術講習の講義の内容がテキストの順序と交差してわかりにくい	19	要望 説明箇所が分かるように
北海道	設計	要望 説明箇所が分かるように	ページが飛びすぎて理解しにくい。		
北海道	設計	要望 説明箇所が分かるように	説明とテキストページ数が飛びまくりでわかりづらい。		
北海道	その他	要望 説明箇所が分かるように	テキストのみの講習はちょっと話の内容についていけなくなるどこをやっているかわからなくなる		
北海道	その他	要望 説明箇所が分かるように	テキストの説明が飛びすぎて、流れでの理解ができなかった。		
関東	設計	要望 説明箇所が分かるように	説明時にページがあっちにいたりこっちにきたりとドコにナニが書いてあるか理解するまえに話が進んでしまい大変分かり難かった。		
関東	設計	要望 説明箇所が分かるように	外皮性能計算の講義時等、多ページを行来する際に、講師の方は受講者を見ずに進んでいた。時間の都合もあるかもしれないが、受講者の様子を見ながら進めてほしい。(メモをとりながらのページ移動が大変だったので)		
関東	設計	要望 説明箇所が分かるように	テキストを読みあげる際、ページのどこら辺を読んでいるか話して頂くと大変わかり易いです		
関東	設計	要望 説明箇所が分かるように	説明ページをもう少し言ってほしかった。		
北陸	設計	要望 説明箇所が分かるように	テキストのみを使っの講義なので、声がかえにくかったり早口だったりすると今、どこの説明をしておられるのかわからなくなってしまいました。同じような数値をくりかえす内容なのでページ数や説明している項目をはっきり話してほしい。テキストの誤内容の訂正もなかつたように思う。		
北陸	設計	要望 説明箇所が分かるように	テキストの棒読みではなく体系的な講演を望みたい。全体の中のどこを示しているのか、細かい並列になっている。		
北陸	設計	要望 説明箇所が分かるように	参考書のひらくページ浩あっちいたり、こっちいたりするのでついていけなかった。		
中部	設計	要望 説明箇所が分かるように	あちこち飛び過ぎて説明が足りない時がわかりにくかった。説明者はわかっているがこちらはどこに何が書いてあるかわかっていない！まず初めに正誤を直した方がいい、あまりにも多いので。		
中部	設計	要望 説明箇所が分かるように	テキストの何ページをみて説明しているのかわかりづらかった(またはページの中のどこをみているか不明だった)		
中部	設計	要望 説明箇所が分かるように	テキストを行ったり来たりしている、どこを読んでいるのか追いつくのが大変で話に集中できません、何度も見ないといけない部分は別紙にして載せたかったです。		
中部	設計	要望 説明箇所が分かるように	計算関係の解説がはやすぎるのと、テキストがあちこちとぶのでさっぱり理解できなかった。又、けいさんについては解説を聞いているだけでは根本的に理解できないと思う。		
中部	設計	要望 説明箇所が分かるように	全体をまとめる解説があった方がよい(テキスト目次も含めて)今、全体の計算のどの部分をやっていくのかわかりづらかった。		
近畿	設計	要望 説明箇所が分かるように	ページ数と、本のどの辺(何行目など)を説明しているのかを説明に加えて頂けるとわかりやすいと思います。ページ数などは繰り返し言って頂いた方がよいと思います。説明が早口でもテキストのどこかわかると理解できます。午後からの半日でも理解できると思います。		
中国	設計	要望 説明箇所が分かるように	テキストがあっちこっちに移るのでボチボチです。		
関東	施工	要望 板書による説明	白板等を書いて、教えてほしい。	5	要望 板書による説明
関東	設計	要望 板書による説明	ホワイトボードなどがあれば分かり易かった		
近畿	設計	要望 板書による説明	映像では白(黒)板を用いるなど視覚も活用していただきたい。		
近畿	設計	要望 板書による説明	講師の説明は言葉だけでなくボードに書いて説明してほしい。		
近畿	設計	要望 板書による説明	時間があれば、ホワイトボードで説明して頂けたら幸いです。		
東北	設計	要望 図解による説明	図解説明を入れた講習会であれば、もっと分りやすかったと思います。	1	要望 図解による説明
東北	設計	要望 DVD・パワーポイント等映像活用	話だけではねむくなってしまふ為、実際のVTR等があれば流しても良いと思う。	57	要望 DVD・パワーポイント等映像活用
関東	設計	要望 DVD・パワーポイント等映像活用	DVD指導を充実しても良いと思った。		
関東	設計	要望 DVD・パワーポイント等映像活用	映像等もあわせて、講習いただけると、わかりやすくなると思いました。		
関東	設計	要望 DVD・パワーポイント等映像活用	映像があるともっと分り易いかなと思います。		
関東	設計	要望 DVD・パワーポイント等映像活用	必要な部分を重点的に説明する工夫(映像等)があればよかつたかと…		
近畿	設計	要望 DVD・パワーポイント等映像活用	ビデオ講義でよろしいのではないのでしょうか。		
九州・沖縄	設計	要望 DVD・パワーポイント等映像活用	モニターを見ながら解説してもらった方がわかりやすい。		
九州・沖縄	設計	要望 DVD・パワーポイント等映像活用	今日はweb上のプログラムを使用した例を扱っていたので実物を見せるのが無理ならDVDや画面を大きく写し出すのは簡単にできると思うので利用して欲しいと思います		
北海道	設計	要望 DVD・パワーポイント等映像活用	パワーポイントを使用する等の配慮をして欲しかった。		
北海道	設計	要望 DVD・パワーポイント等映像活用	大きい会場なのでパワーポイントを利用してほしい		
北海道	その他	要望 DVD・パワーポイント等映像活用	パワーポイントでスクリーンを使用して欲しい。		
北海道	その他	要望 DVD・パワーポイント等映像活用	講習はPpt等で説明箇所が分かり易くすべき		
関東	現場管理	要望 DVD・パワーポイント等映像活用	・パワーポイント等を利用したほうがより理解が得やすいかも。		
関東	現場管理	要望 DVD・パワーポイント等映像活用	パワーポイント等も使用するとよいでしょう。		
関東	設計	要望 DVD・パワーポイント等映像活用	パワーポイントとか利用して、行なったほうが良いのではと思います。		

中部	設計	要望 DVD・パワーポイント等映像活用	テキストを読むだけでなく講習会は不要です、パワーポイント等を使用し分り易い講習会をして下さい。
中部	設計	要望 DVD・パワーポイント等映像活用	口頭だけでなくパワーポイントのようなものがあれば分り易いと思います。
近畿	設計	要望 DVD・パワーポイント等映像活用	話が早すぎてアンダーライン引くのもどこか深すのに手間取った。パワーポイントなどで、ここです！とやってほしい。
近畿	設計	要望 DVD・パワーポイント等映像活用	パワーポイント等によるプレゼンテーションも適宜入れていただけたら、より理解が深まったと思います。
九州・沖縄	設計	要望 DVD・パワーポイント等映像活用	パワーポイントを使つての説明があればなおよかった。
北海道	設計	要望 DVD・パワーポイント等映像活用	プロジェクターを使って教えてほしい。
東北	現場管理	要望 DVD・パワーポイント等映像活用	スライド等を使って頂きたい
東北	設計	要望 DVD・パワーポイント等映像活用	テキストをただ読んでいるだけなので、どこを言っているのかわからない。スクリーンが必要では！
東北	設計	要望 DVD・パワーポイント等映像活用	プロジェクター等使用して講義して頂きたかった。
関東	設計	要望 DVD・パワーポイント等映像活用	スライドを用いて重要な部分を指示してほしい。
関東	設計	要望 DVD・パワーポイント等映像活用	テキストの読み上げのみで理解しづらい。全体をスライド等使いリズム感よくまとめてもらいたかった。
関東	設計	要望 DVD・パワーポイント等映像活用	どこを読んで説明しているのかわからない時があった。プロジェクター等を利用して説明してほしい。
関東	設計	要望 DVD・パワーポイント等映像活用	プロジェクターを使った講習にすれば、もっと分かりやすいのではと思います。
関東	設計	要望 DVD・パワーポイント等映像活用	プロジェクターを使った方がよい(省エネ基準編)、プロジェクターのスクリーンが小さく見えない
関東	設計	要望 DVD・パワーポイント等映像活用	プロジェクター等の活用すれば説明もわかりやすかったのでは、と思います。
関東	その他	要望 DVD・パワーポイント等映像活用	テキストを読み上げるだけでなく、もう少し内容をまとめて頂いて、プロジェクタなりホワイトボードなりを使用する必要があるのでは？
関東	その他	要望 DVD・パワーポイント等映像活用	プロジェクター等を利用すれば、より分かりやすいかと思っています。
北陸	その他	要望 DVD・パワーポイント等映像活用	スクリーン等使って、具体例や操作方法を教えていただければよかったです。
北陸	その他	要望 DVD・パワーポイント等映像活用	プロジェクターを使用した説明があればよかったです。
北陸	その他	要望 DVD・パワーポイント等映像活用	教科書だけではなくモニターなどで視覚的に解かりやすい説明の工夫があれば最つと良かったと思います。
中部	設計	要望 DVD・パワーポイント等映像活用	スクリーン等を利用してわかりやすく説明願えれば良いと思う。
中部	設計	要望 DVD・パワーポイント等映像活用	ずっとテキストを見るのではなくプロジェクタなどで紹介してもらった方が分り易いこともあると思いました。
中部	設計	要望 DVD・パワーポイント等映像活用	プロジェクター等の使用を検討頂きたい。
中部	設計	要望 DVD・パワーポイント等映像活用	プロジェクター等を使って指しながら説明して欲しい
中部	設計	要望 DVD・パワーポイント等映像活用	もう少し詳しくプロジェクターを使うなり、どこを説明しているの分りやすくしてもらいたい。
中部	その他	要望 DVD・パワーポイント等映像活用	講師の方によってはホワイトボード又はパワーポイントによる説明もあればよりわかりやすくなると思います。
近畿	現場管理	要望 DVD・パワーポイント等映像活用	プロジェクター等もちいて説明して欲しい。
近畿	現場管理	要望 DVD・パワーポイント等映像活用	プロジェクター等を使用する方がよい
近畿	設計	要望 DVD・パワーポイント等映像活用	映像(プロジェクター等)の講習会に慣れている為か本を見るのがつらかった。
近畿	設計	要望 DVD・パワーポイント等映像活用	スクリーンを使って説明してほしい。
近畿	設計	要望 DVD・パワーポイント等映像活用	テキスト内容をプロジェクターで写してもらえたらよりわかり易かったと思います
近畿	設計	要望 DVD・パワーポイント等映像活用	画面付きの説明があれば大変わかりやすかったと思う。
近畿	設計	要望 DVD・パワーポイント等映像活用	計算問題等ではプロジェクター等を使って、どこかの数字を話しているのわかりやすくなった方が、講師の方にとってもやりやすいのではないかと感じました。
近畿	設計	要望 DVD・パワーポイント等映像活用	言葉だけでなく、プロジェクタ等つかってもらったらよかったです。
中国	その他	要望 DVD・パワーポイント等映像活用	同じ単語があるためテキストのみだと理解しづらくなる、黒板やプロジェクターなどで比較できたら少しは理解しやすくなる、今日大変勉強になりましたありがとうございました。
四国	現場管理	要望 DVD・パワーポイント等映像活用	会場設備の問題かもしれないが、プロジェクター等を活用して説明してもらえると、もっと分かり易いかと思います。
四国	設計	要望 DVD・パワーポイント等映像活用	・プロジェクター等がなかったため、今この部分を説明しているか分からなかった。
四国	設計	要望 DVD・パワーポイント等映像活用	プロジェクターを使用して下さい。
九州・沖縄	現場管理	要望 DVD・パワーポイント等映像活用	・テキストだけでなく、画面をみながらの方が、いいと思う
九州・沖縄	設計	要望 DVD・パワーポイント等映像活用	プロジェクターなどを使って講習してほしい
九州・沖縄	設計	要望 DVD・パワーポイント等映像活用	プロジェクターを使つてもらつたら分り易いと思います。
九州・沖縄	設計	要望 DVD・パワーポイント等映像活用	プロジェクター等使用して具体的に説明してもらつともつと良かった。もう少し詳しく話を聞いてみたい。
北海道	設計	要望 具体例・事例による説明	余りにも掛足で進めている。これなら本を送っていただいて、独読しても同じと思われる。講習会である以上、1~2例上げてきちんと説明するべきではないでしょうか？
北海道	その他	要望 具体例・事例による説明	もっと事例を入れてほしい。
東北	設計	要望 具体例・事例による説明	早くとばすのではなく、計算例を交えながらの(最初から)説明が欲しかった。
東北	設計	要望 具体例・事例による説明	断熱のお進めの工法との事例も参考にあれば良かな。
関東	現場管理	要望 具体例・事例による説明	テキストを読むだけでなく、具体的な事例や、計算方法を同時にやってもらいたい。
関東	現場管理	要望 具体例・事例による説明	テキストを読んだだけでした。具体的な事例や施工例、例題等を交えながら解説していただきたいかったです。「実際にやってみないとわからない」ので、講習を受けているのです。そこを説明していただかないと意味がありません。しかしながらこのような機会を設けていただき感謝しております。今後いろいろなことに期待して具体的に説明が有った方がよい
関東	設計	要望 具体例・事例による説明	実務的な話を入れては？(基準をクリアする為に設計的な対応等)
関東	設計	要望 具体例・事例による説明	テキストを読むだけでは理解が難しい例題を上げながらテキスト以外の事を説明しい頂けると理解し易いと思います。後で行なった例題が非常に勉強になった。
関東	設計	要望 具体例・事例による説明	具体例や写真のない講習会は雲を掴むよう頭に入ってこない。
関東	設計	要望 具体例・事例による説明	初めてのことばなどが多くて解かりづらい。もっと現実的のプランなどあり説明をしてもらった方が良かったかも
関東	設計	要望 具体例・事例による説明	読めば分かる頃は、要点のみ説明して、時間を短縮すべき、説明が必要なら、文章を読むだけでなく現場の実際や豆知識などを語らないと意味なし！！
関東	設計	要望 具体例・事例による説明	木造軸組工法でよく一般的に施工されている実際の断熱施工例を紹介してほしい。例えば、壁充填グラスウール+通気工法のサイディング貼+天井断熱+床断熱+アルミサッシ複層ガラスA10では、どの断熱材の何ミリを使用すれば東京(6地域)でOKとなるか？
関東	その他	要望 具体例・事例による説明	テキストの読み上げだけでなく、具体的な計算を交えて説明して欲しかった。
北陸	設計	要望 具体例・事例による説明	図解などがあると分り易いと思った。
北陸	その他	要望 具体例・事例による説明	テキストを読み上げるだけでなく例をあげて解説などが欲しかった
中部	現場管理	要望 具体例・事例による説明	テキストの読み上げだけでなく、実務に近いお話がもう少し聞けたら良かったです。

36

要望
具体例・
事例による説明

中部	現場管理	要望 具体例・実例による説明	テキスト通読のみの講義だったので、途中飽きがきました。実務的な例を混ぜていただければもっと良かったです。		
中部	現場管理	要望 具体例・実例による説明	施工の講習会にも参加しました、施工の講習会で見た実物模型があるとより具体的に体感できて良いかと感じました。		
中部	現場管理	要望 具体例・実例による説明	良かったと思います、今後は計算方法を具体的に持って欲しい。		
中部	設計	要望 具体例・実例による説明	計算等伴う場合は公式を元に各々数字の例にて説明願いたい		
中部	設計	要望 具体例・実例による説明	もっと具体的な事例で説明して欲しい		
中部	設計	要望 具体例・実例による説明	基礎断熱の時の計算例が欲しいです。		
中部	設計	要望 具体例・実例による説明	具体的な複数の事例や、判断が難しい部位の説明など、応用の講習を受けたいです。		
中部	設計	要望 具体例・実例による説明	具体的な例をあげて説明をして頂きたかったです。		
中部	設計	要望 具体例・実例による説明	計算例を多く紹介して欲しい。		
中部	設計	要望 具体例・実例による説明	実際の方位のとり方について、補足的な説明が良かったです。		
中部	設計	要望 具体例・実例による説明	実例等具体的な内容の講義が聞きたかった。		
中部	設計	要望 具体例・実例による説明	面積の具体的な計算例があってもいいように思いました。		
近畿	現場管理	要望 具体例・実例による説明	実際の設計でどういった点に注意すべきか、もっと具体的に実践的な内容だとより勉強になると思います。		
近畿	設計	要望 具体例・実例による説明	一度にフロー(システム)を理解するには、もう少し工夫が必要かと思えます。実施は、プログラムを活用とる方が、最終結果へのアプローチをもう少し、具体的にしてほしいです。		
近畿	設計	要望 具体例・実例による説明	午後の講習、もう少しケーススタディ(計算問題)をていねいに多く説明してほしいです。		
中国	現場管理	要望 具体例・実例による説明	今後、よりわかり易くなる様、解説や例案の情報が欲しい		
中国	設計	要望 具体例・実例による説明	具体的な計算例を、もっとくわしく説明してほしい。		
中国	その他	要望 具体例・実例による説明	結局、どの程度の施工をすれば基準を満たすことができるのかの具体的に話が聞きたかった。(現在の住宅性能評価では、これくらい、とか)		
四国	設計	要望 具体例・実例による説明	例をもとに説明してもらえるとわかりやすいと思う。		
北海道	設計	要望 実習・実演のある講習	・考査の為のセミナーだけではなく、じっくりと計算手法を学ぶような講習会があるとありがたい。 ・今回解説の説明がありがたかった。	16	要望 実習・実演のある講習
北海道	設計	要望 実習・実演のある講習	計算の慣習概要は理解しているが、データの入力の話は実施入力しながらではないとわかりづらい。一概の納まりはテキストを見ればわかるので、特殊なケースをやっていたきたい。		
東北	設計	要望 実習・実演のある講習	講義の内容自体は難しいものではなかったが、テキストにそっての説明だけでは理解できない部分が多々あった。実際にやりながら教えて頂ける機会があったらと思う。		
関東	設計	要望 実習・実演のある講習	テキストの音読のみで進んでしまうのが少々わかりづらかった。一緒に計算をしていくなどしていただくとわかりやすかったと思います。実務にあたっての実践的な講習など開催して頂けると有難いです。		
関東	設計	要望 実習・実演のある講習	講師の先生が計設又は、計算を実際してみても数字の違いの方を紹介していただきたい。又は、施工のポイントも必要かと思えます。(監理の為)一次エネルギーがよく理解が出来ない。		
関東	その他	要望 実習・実演のある講習	例で、一通り計算をしてみたら、わかりやすいと思います。(外皮、日射熱取得、一次エネルギー)		
北陸	設計	要望 実習・実演のある講習	実際は計算しないといけない、テキストを読んでみただけでは難しい。時間が限られているため仕方ないと思うが…		
北陸	設計	要望 実習・実演のある講習	実例講習会を行なってほしい		
中部	設計	要望 実習・実演のある講習	めんどうだとは思いますが計算しながら、だと、わかりやすいかと、今回は基省りやくだったので残念!		
中部	設計	要望 実習・実演のある講習	外皮性能基準、一次エネルギー消費量基準について、実際のプランを元に講師の方自前のEXCELに入力しながら見せてもらおうと、もっと理解が深まったと思います。		
中部	設計	要望 実習・実演のある講習	計算例を中心に講習してもらった方がよい。(計算例からテキストの〇〇Pを見てくれ…)又、計算をもっと委ねたかった。		
近畿	設計	要望 実習・実演のある講習	じっくり実習形式で練習しないと実務では使えないと思います。		
近畿	設計	要望 実習・実演のある講習	テキストを使用して説明するのではなく、実際にネット申し込みなどやって体験出来るようなものであればもっとよかったです。		
近畿	その他	要望 実習・実演のある講習	教材の不明確な所を具体的に講義してほしい、もっと実践的な内容をくりかえしてくれないと理解出来ない。数値の意味と実践のくりかえしの方が身につくと思う。今回も結果的には休けい 時間に自分で内容ハアクしてやっと計算が出来た。数値あてはめだけで出来るという講義ならもっと数値の意味を教えてほしいです。		
中国	施工	要望 実習・実演のある講習	計算例を具体的に一度やって欲しいと思いました。		
九州・沖縄	設計	要望 実習・実演のある講習	例題を出して、説明実演の方がわかりやすいと思います。		
東北	現場管理	要望 パソコン実習・実演	算出などはスクリーンに写してもらった方が集中出来わかりやすかった。	36	要望 パソコン実習・実演
東北	設計	要望 パソコン実習・実演	HP等での入力があるので、PC画面をプロジェクターでうつしてもよかったです。特に計画ものは単純だがどこになにをどう入力すればよいか、もっとわかりやすくなったのではと思いました。全体的にわかりやすかった。話もきづらかった。あと、読めばわかるかとかやってみればわかるかと、そんな講習であれば何の意味もないような気がしましたが、講師の方お疲れ様でした。		
東北	設計	要望 パソコン実習・実演	午前中は、テキストの説明講義でわかりやすかったが午後は、ダウンロードしたソフトによる利用しなければ解かりにくいいため、映像・パソコンを取り込んだ講義にしてほしい。		
東北	設計	要望 パソコン実習・実演	パソコンで受講したほうがよい。		
東北	設計	要望 パソコン実習・実演	実際にホームページ等に接続するなどの講習のほうがわかりやすいかも。どこに何を書いているかの説明が多く、具体的な説明が不足な気がします。(参考になりましたがそのような気がします。ご苦労さまでした)		
関東	現場管理	要望 パソコン実習・実演	PCにてシミュレーションすると判りやすいと思う。		
関東	設計	要望 パソコン実習・実演	webの説明は実際にpcを立ち上げてプロジェクター等で実演した方がよいと思う。設計・施工指針と省エネ基準の違いが表になっていたらわかりやすい。		
関東	設計	要望 パソコン実習・実演	ソフトウェアの使用が必須となるので、プロジェクターを使って実際にプログラムを使って見せると理解が進むと思う。		
関東	設計	要望 パソコン実習・実演	テキストの内容説明も大事だと思うが、それだけだとやはり飽きてしまう、手計算だと時間的にも極一部しかできないので、実際にWebプログラムの使い方も合わせて講義してもらいたかった。		
関東	設計	要望 パソコン実習・実演	パソコンでのプログラムの操作はテキストではなく、各自の実施がプロジェクターで操作画面を見ながら、などだとわかりやすいかと思いました。		
関東	設計	要望 パソコン実習・実演	パソコンを持ち込んでの講習の方が評価ソフト動かせるのでいいと思う。		
関東	設計	要望 パソコン実習・実演	実際の入力画面をパワーポイントで映すなど工夫が必要かと思いました。		
関東	設計	要望 パソコン実習・実演	内容がまだ身近でないで、とりつきにくい感じをうけた。実際プログラムと一緒に動かす機会があったほうがよいように感じた。		
関東	設計	要望 パソコン実習・実演	表やソフト等、言葉で説明されても分りにくい、プロジェクターがあるのであれば実際に講師がやりながら説明すべき、分り難いから時間が長く感じる、質問7について難しいというより、分り難い。		
関東	その他	要望 パソコン実習・実演	プロジェクター等でモニターに写しながら説明してもいいかと思った。(PCも利用すればHPもアクセスできて、第3章も説明ができてくると思うので)		
北陸	現場管理	要望 パソコン実習・実演	テキストの説明だったので少し難しかった。実際にwebページを使って説明してもらえるとわかりやすかったと思います。		
北陸	設計	要望 パソコン実習・実演	算宝プログラムの解説はPCを利用しながらでない意味がない、講習には不用、テキストだけでよい。		
北陸	設計	要望 パソコン実習・実演	実際にソフト入力などできる状況で学べるともっと理解できると思う。		
北陸	その他	要望 パソコン実習・実演	・省エネルギー性能の判定プログラムはコンピュータを使い、画面をみせながら説明してほしい。		
北陸	その他	要望 パソコン実習・実演	フォーマットがあればパソコンですればなおよかったです。		

中部	現場管理	要望 パソコン 実習・実演	Webプログラムは実際にPCでプロジェクター等で映してテキストにそって説明して欲しい。 テキストのみだとよく分からなかった。		
中部	設計	要望 パソコン 実習・実演	webで講習してもらいたい		
中部	設計	要望 パソコン 実習・実演	とってもたいへんな時代がやって来ることはよくわかりました。ありがとうございます。27年の前に2日くらいかけて、できれば本当の入力画面をプロジェクターで見せていただいて、教えていただきたい。		
近畿	設計	要望 パソコン 実習・実演	webのところは実際にPCを操作してスライドにだしてもらうと良い。		
近畿	設計	要望 パソコン 実習・実演	実際にパソコンを用いて行えばもっと理解できると思う		
近畿	設計	要望 パソコン 実習・実演	実務にあつてはおのおのがパソコンを使ってソフト上で処理をすることになると思うので、座学だけではなく、パソコン持ち込みなどで、プログラムの運用を主にした講習の機会を今後開催していただければと思います。		
近畿	設計	要望 パソコン 実習・実演	パソコンを用いた講習の方が実用的でないかと思った。		
近畿	設計	要望 パソコン 実習・実演	プロジェクターで実際にソフトを動かしてみてもよかったです。		
近畿	設計	要望 パソコン 実習・実演	実際に使用するソフトでのデモや選択の際に参照すべき資料の紹介があれば良かった。		
中国	設計	要望 パソコン 実習・実演	Webプログラムを実際にプロジェクターに映して説明してほしい。		
中国	設計	要望 パソコン 実習・実演	範囲が広いので説明についていくのがやっとならうと感じた。もう少し時間をかけて、一つ一つ説明してほしい。		
四国	設計	要望 パソコン 実習・実演	実際に、HPからの使い方などをスクリーンなどを使用して、実演しながら、聞いてみたかった。		
四国	設計	要望 パソコン 実習・実演	実際PCを使った。講習会(勉強会)があれば参加したい。		
九州・沖縄	設計	要望 パソコン 実習・実演	第4章の位置づけ、(採用のしかた)が不明でした。PCを利用して説明してくれた方が、わかりやすいと思います。		
九州・沖縄	設計	要望 パソコン 実習・実演	計画については読めばわかることが多く、時間ももったいない。省エネ基準編について具体的にPCでやってみるなど、もっと時間をかけてほしい。時間が足りない為早くとなり少しとどまっていると聞いていなくなりそうでした。基本的にはわかりやすいと思いました。ありがとうございます。来てよかったです！		
九州・沖縄	設計	要望 パソコン 実習・実演	時間が限られているので仕方ないのですが、もう少し詳しく知りたかったです。		
九州・沖縄	設計	要望 パソコン 実習・実演	実際ソフトを使いながらの入力体験を期待していました		
九州・沖縄	設計	要望 パソコン 実習・実演	プロジェクター、パソコンの使用で説明を。		
関東	設計	要望 新基準 関連 制度の詳しい説明	テキスト別冊にもある、関連制度の解説もあればよかったと思います。補助金のことや、ローンの金利引下げ、減税の話など、省エネ住宅が優遇されていることは知られていますが、省エネ基準との関係がこのように整理されて関連づけが出来るのが分かれれば普及も進むのでは？	1	要望 新基準、 関連制度の 詳しい説明
関東	施工	要望 質疑応答 の時間確保	質問時間があると良い。	12	要望 質疑応答 の時間確保
関東	設計	要望 質疑応答 の時間確保	・質疑の時間があれば良かった。		
関東	設計	要望 質疑応答 の時間確保	質問の時間があれば有り難いです、大変勉強になりましたありがとうございます。		
関東	設計	要望 質疑応答 の時間確保	良かった。できれば、質疑応答があればベター		
中部	設計	要望 質疑応答 の時間確保	質問がその都度聞けると有り難い、内容が難しく時間が早すぎる。		
近畿	設計	要望 質疑応答 の時間確保	質疑用紙があれば良かった		
近畿	設計	要望 質疑応答 の時間確保	会場内での質問についても教えて頂きたいです。		
近畿	設計	要望 質疑応答 の時間確保	質疑応答の時間がほしい。(テキストを読んだだけでは、不明な所が多いのに、聞く事ができない。)		
中国	設計	要望 質疑応答 の時間確保	質問の時間をいづらか設けてほしい。		
九州・沖縄	現場管理	要望 質疑応答 の時間確保	少しでも質疑応答時間があるとよい		
九州・沖縄	設計	要望 質疑応答 の時間確保	質疑応答の時間が欲しかった。1. サンルームの扱い。2. 設備開口部の扱い。3. 資料に無い断熱材の扱い 等々。		
九州・沖縄	設計	要望 質疑応答 の時間確保	質疑事項等の時間が欲しかった		
東北	設計	要望 受講者の 相談窓口	一次エネルギー消費量基準については、非常に分かりづらかった。後日不明など問合せ先を知りたい。	5	要望 受講者の 相談窓口
北陸	その他	要望 受講者の 相談窓口	(3)技術的な問い合わせ先を作っていただきたい。 特に申請先による見解の違いなど発生した場合の問い合わせ先が必要だと思う。		
北陸	その他	要望 受講者の 相談窓口	実際に認定低炭素等の申請に際しては、不明点が多数出てまいります。Q&A、質問窓口の新設が必要です。		
中部	設計	要望 受講者の 相談窓口	ただその後傾斜地、半地下建物などイレギュラーな場合の考え方も質問できるHP (意見交換とよくある質問など)があると良いと思います。		
九州・沖縄	設計	要望 受講者の 相談窓口	短時間で説明なので概要のみの理解であったのでweb上又は相談室等を設けて頂いて解説して頂ければ助かります。		
関東	現場管理	要望 講習資料 の事前配布	テキストは、事前に配布頂ければ、概要把握に大変理解し易いような表現がなされているものと思います。	20	要望 講習資料 の事前配布
関東	設計	要望 講習資料 の事前配布	事前にテキストがあれば解りやすい		
関東	設計	要望 講習資料 の事前配布	テキストを読み上げるだけであれば、事前に送って頂いた方が良かった。		
関東	その他	要望 講習資料 の事前配布	講義時間が短いので事前にテキストを配布して予習できれば尚理解力が深まると思います。		
北陸	設計	要望 講習資料 の事前配布	テキストを事前に送付して頂き、予習の上、講習会へ参加してもらえると、より理解度が上がるので検討頂きたい。テキスト読みの講師が多すぎる。重要なポイント絞って聴講したいと思っています。		
北陸	設計	要望 講習資料 の事前配布	講習のスピードから予習が必要だと感じました。事前のテキスト配布等で予習が可能になれば、講習がより効果的になるのではないかと思います。		
北陸	設計	要望 講習資料 の事前配布	前もってテキストがもらえれば少しは予習できたかなと思う。		
中部	設計	要望 講習資料 の事前配布	テキストの有る講習会の場合少し郵送料がゆかっても先にテキストを送付して頂ければありがたい。		
中部	設計	要望 講習資料 の事前配布	講習の内容をうまく理解出来ないのは自分の勉強不足、事前に講習会のテキストを入手して予習してから、この講義を受けるべきと思う。		
中部	設計	要望 講習資料 の事前配布	講習会の前に資料、テキスト等で予習をしておかないと講習スピードについて行きづらい。		
中部	設計	要望 講習資料 の事前配布	時間がない中で一通り説明せねばならず、大変だったかと思います。ありがとうございます。ただ、解説というよりは読み合わせとかかんじでしたので、先に教科書を配布して、予習をした上で講習受講にしようと思った。なおよかったかと思えます。		
中部	設計	要望 講習資料 の事前配布	理解する間もなく進んでいく、申し込み時にテキストがあれば事前に理解してくる。		
中部	その他	要望 講習資料 の事前配布	講義時間が短い為進むスピードが早く、理解の困難、出来れば事前にテキストだけでも送付して頂けると事前準備が出来る		
近畿	設計	要望 講習資料 の事前配布	前もってテキストをもらっていたら、より分かりやすかったと思う。当日にいろいろな記号が出てきて、頭が混乱した。		
近畿	その他	要望 講習資料 の事前配布	事前にテキストを配布		
中国	現場管理	要望 講習資料 の事前配布	テキストを事前に送ってもらえないでしょうか？		
中国	設計	要望 講習資料 の事前配布	テキストを読んでいるだけ。説明も分かりにくい。レジメやプレゼンで要点をまとめるべき。もしくは、あらかじめテキストを読んで来れる形式が良かった		
中国	設計	要望 講習資料 の事前配布	講習前に配布して予習すべき		
九州・沖縄	設計	要望 講習資料 の事前配布	広い範囲を、一日でカバーするのであれば、事前にテキストを、配分してもらい、内要を予習してもらった方が、良いのでは。		
九州・沖縄	その他	要望 講習資料 の事前配布	テキストを読むだけの内容で、説明ではないのでは。もっと必要な知識として得られる説明がほしい。		
東北	現場管理	要望 分割講習	考査の為講習会の色がぬぐ得なかった。一回だけでなく、複数回必要ではと感じた。又、詳しい計算方や、単純ではなく、事例も、部位別に複雑な形のもの講習会に取り入れてほしいと感じました。	24	要望 分割講習
東北	設計	要望 分割講習	この内容であれば、1日だけではなく、2日間に渡り、こうしゅうを		

東北	設計	要望	分割講習	複数回参加できる様にして下さい。	
関東	施工	要望	分割講習	2日ぐらいかけてゆっくり話して欲しい	
関東	現場管理	要望	分割講習	3日ぐらい、講習してほしい。	
関東	設計	要望	分割講習	一度確認の意味で受講したい	
関東	その他	要望	分割講習	1日で学習するには分量が多いようなので、章ごとに、教日分けて短時間で講習した方がよいような気がします。講師と参加者の予定があるので、難しいとは思いますが。	
関東	その他	要望	分割講習	とても学習しやすそうなテキストですが、それでも講師の方に省略をしない講習をして頂ければと思います。(教日かけて)	
関東	その他	要望	分割講習	概要は理解できたが、詳細についていけなかった。2日間位だと良いと思った。	
関東	その他	要望	分割講習	内容が濃い為、第1回と第2回と講習を分割できれば	
北陸	現場管理	要望	分割講習	2日間程、時間をかけて勉強したいと感じました	
北陸	設計	要望	分割講習	短時間での講習内容が多すぎる。何回かに分けて行った方がよい。	
中部	現場管理	要望	分割講習	時間的に内容を掘り下げるのが困難なものもあり、希望者に追加補講などがあり、理解を深める機会があると良いと思います	
中部	設計	要望	分割講習	1回の講習会は多少無理がある、2回に分けての講習が希望。	
中部	設計	要望	分割講習	一回じゃ少ない、3~4回位に分けてやってほしい	
中部	設計	要望	分割講習	何日間かに分けてでもよいので、しっかり理解できる講習もあるといいなと思います	
中部	設計	要望	分割講習	講義時間からテキスト内容をじっくり進める時間はないので、ざっとテキストに何が書かれているのかを覚え、後で各自テキストを利用する事になると思いますが、これを2~3日かけてじっくり講義をして頂いても集中力やスケジュール的にも厳しく今回のような進め方で良いと私は思います。	
中国	設計	要望	分割講習	講義の日程を何日かもうけてほしい。	
中国	その他	要望	分割講習	時間が限られているので、どうしようもないが、毎回かにわけてかじりと聞きたいと思った。	
四国	設計	要望	分割講習	時間不足で内容が足りない！！(講習として考えた場合)。2日間講習が良いのでは。	
四国	設計	要望	分割講習	全ての講習会に言える事ですが、一日の短時間で、密度の濃い講習会は難しい。何日かに分けてもっと内容の理解をする講習会の方が良いのでは。	
九州・沖縄	現場管理	要望	分割講習	教日間に渡っての講習会も開催を検討して欲しい。	
九州・沖縄	設計	要望	分割講習	テキストを読むだけでは必要と思う部分があった。実務に生かせる内容をもっと充実させてほしい	
九州・沖縄	設計	要望	分割講習	同じテキストで数回に分けて講習をしても良いと思う。	
東北	現場管理	要望	講習会の次の開催、多数開催	1回ではわからない人がいると思うので、2回3回と続けていけば良いと思う。	11
東北	現場管理	要望	講習会の次の開催、多数開催	開催の回数を増やしてほしい。他にも申し込みたい人がいたが、定員に達してしまって、断念した。	
東北	現場管理	要望	講習会の次の開催、多数開催	定期的な講習会の開催	
東北	その他	要望	講習会の次の開催、多数開催	何度も講習会を行なってもらいたい。	
関東	設計	要望	講習会の次の開催、多数開催	建築士がレベルアップ出来るこのような講習会どんどん開催して欲しいです。	
関東	設計	要望	講習会の次の開催、多数開催	定期的にやってもらいたい。資料は大変良いものだと思います。	
北陸	設計	要望	講習会の次の開催、多数開催	講習会を複数回行って欲しい。当日の都合が悪い場合に受講できるよう	
北陸	設計	要望	講習会の次の開催、多数開催	省エネの講習会は、今後も積極的に参加したいと思います。複数回開催されることを望みます。	
北陸	設計	要望	講習会の次の開催、多数開催	定期的にも今後もやってほしい。	
近畿	設計	要望	講習会の次の開催、多数開催	定期的に講習会を開いて下さい。	
九州・沖縄	設計	要望	講習会の次の開催、多数開催	・どんどんこのような講習会を増やして欲しい。	
北海道	現場管理	要望	より詳しい内容の講習	もう少し、くわしく説明してほしい！難しいとは思わないが、意味が理解できない所があった。	23
東北	設計	要望	より詳しい内容の講習	1時間延ばしても良いので、テキストの読み合わせだけでなく、実務との関連や制定された背景についてもっと噛み砕いて説明して頂きたい。	
東北	設計	要望	より詳しい内容の講習	もっと難しい内容でも良かった	
東北	設計	要望	より詳しい内容の講習	講習が聞き取りにくかったところもあり、計算式についてももう少し詳しい説明が欲しかった。	
関東	設計	要望	より詳しい内容の講習	UAの表の内容、表の内容をもっと詳しく説明して欲しかった(表の構成内容)。	
関東	設計	要望	より詳しい内容の講習	もう少し詳しく講習会が欲しい。減税処置、認定低炭素住宅についても知りたい。	
北陸	設計	要望	より詳しい内容の講習	・もう少し、内容の説明が欲しかった。	
北陸	設計	要望	より詳しい内容の講習	・基礎壁のU値の出し方を教えてもらえたら良かったと思います。	
北陸	設計	要望	より詳しい内容の講習	更に本格的な講習を望みます。	
北陸	設計	要望	より詳しい内容の講習	講義時間は良いとは思いますが、内容的には、このくらい必要だと思う、もう少し詳しくても良いと思う。	
北陸	設計	要望	より詳しい内容の講習	土間(玄関等)断熱、基礎断熱と、壁、床等断熱間の取合いの施工方法について、もう少し説明が良かった。	
中部	設計	要望	より詳しい内容の講習	もう少し詳細の講習をお願いします。	
中部	設計	要望	より詳しい内容の講習	基礎のU値計算方法をやってほしい	
中部	設計	要望	より詳しい内容の講習	短時間ということもあり、概要が多くもう少し詳細について時間をかけて説明して欲しいと思った。	
中部	設計	要望	より詳しい内容の講習	日射熱取得の計算の流れ及び基本原理の簡易な解説が欲しかった。例えば、mcの単位:w/(w/m2)の意味などを解説していただければ、グッと理解が深まるものと思います。	
近畿	施工	要望	より詳しい内容の講習	もっと内容の濃い講習会にしてもらいたい。	
中国	設計	要望	より詳しい内容の講習	計算方法等もっと詳細に知りたい。	
四国	設計	要望	より詳しい内容の講習	外皮であれば外皮で、一次エネルギーであれば一次エネルギーだけをほり下げる講習もあっていいのでは。	
四国	設計	要望	より詳しい内容の講習	基礎の断熱材の取り扱い方について割愛されたので残念でした。講習問題などでできれば良かった。	
九州・沖縄	設計	要望	より詳しい内容の講習	・詳しく説明して頂きわかりやすくてとても良かったです。とてもわかりやすくみっちりやって頂けるので2日間になってもこの内容ならよいと思います。	
九州・沖縄	設計	要望	より詳しい内容の講習	もう少し詳しく聞きたかった。	
九州・沖縄	設計	要望	より詳しい内容の講習	主たる居室の扱いを詳しく聞きたかった。(リビング階段やコーナー和室等、一体の空間となる場合等)。進むスピードが早かった。値の計算を詳しく聞きたかった。	
九州・沖縄	その他	要望	より詳しい内容の講習	・内容を充実してほしい。(要所等)講習を分けてもいいのでは(2~3回に分ける)	
関東	施工	要望	講習会の分科	レベルに応じてもっと内容の濃い講義もあると良いと思った。	8
関東	設計	要望	講習会の分科	まずはこのレベルでの講習会でレベルアップが必要だと思います。が、より詳しい中級クラスの実務で使える講習会も必須だと思います。	
関東	設計	要望	講習会の分科	もう1回応用編があれば理解が深まると思う。	
関東	設計	要望	講習会の分科	全体をさらっと流すようなイメージなので、分野毎(設備・建築)に特化した講習会があると良いと思いました。	
関東	その他	要望	講習会の分科	計算における意味や、なぜそうなるかといった説明をもっと聞きたい。別開催でよいので、フォローアップ勉強会として開催して欲しい。	
関東	その他	要望	講習会の分科	初級、中級、上級のように講習会がレベル分けされていれば、なお良い。とても大切なことなので。	
中部	設計	要望	講習会の分科	省エネ応用編の講習も恵那でしてほしい。	
四国	設計	要望	講習会の分科	これを入門編として、順次、実務にそくした講習をしてもらえると、ありがたいです。	
東北	現場管理	要望	該当地域向け講習	宮城県仕様のモデル設計(最低基準クリア程度)があればより具体的に良かったです。	5
東北	設計	要望	該当地域向け講習	現在~未来の青森県内に適した省エネ住宅の工法、設備等具体的な事例を紹介して欲しい。	
関東	現場管理	要望	該当地域向け講習	エネルギーについて考える、良い機会になりました。省エネルギーに関して、地住まい方についての切口もより広げていけたら良いと思いました。今日は、どうもありがとうございました。	
中部	その他	要望	該当地域向け講習	講義内の資料(例)は6地域。長野なら3地域のものにおおした例で話してもらいたい。	

九州・沖縄	施工	要望 該当地域向け講習	現在の大半県の省エネ化を知りたかった。HEMSの普及率や実状を教えてください。		
東北	その他	要望 設備、建材等他業種向け講習会	省エネ講習会に設備に対する講習会が行われていない現状が大変残念です。設備設計も省エネの仲間に入れてもらえるとうれしいのですが…。	1	要望 設備、建材等他業種向け講習会
近畿	現場管理	要望 リフォーム向け講習	リフォーム向けの技術講習もして欲しい。	1	要望 リフォーム向け講習
北陸	その他	社内教育、情報共有	(2)本研修を住宅会社の社員向けに実施してもらう事を可能にしてほしい。又は、定期的に行ってほしい。	2	社内教育、情報共有
中部	設計	社内教育、情報共有	基本事項を確認するにおいて大変参考になった(復習する事が出来た)。講師の方の通り一辺倒な説明は、ある意味仕方ないと感じたが、当社の技術系社員についても受講させてほしい(今後)。		
北海道	施工	要望 講習内容以外の説明	BIS講習は3年に1度でいいので盛岡でも行ってほしい。東北地区の講習を全員同じ時にしてはどうですか？受け入れのお手伝いなどできると嬉しいです。	21	要望 講習内容以外の説明
東北	設計	要望 講習内容以外の説明	エネルギーパスの講習会		
東北	設計	要望 講習内容以外の説明	低炭素認定制度との違いが、若干ややこしい感じがする		
東北	設計	要望 講習内容以外の説明	非住宅及び木造以外の建物についても今後講習会を開催して頂きたい。		
東北	その他	要望 講習内容以外の説明	また、RC造や鉄骨造の場合の演習問題や資料があると良かったと思います。		
関東	設計	要望 講習内容以外の説明	(10)共同住宅、PC、S造も開催して欲しい。		
関東	設計	要望 講習内容以外の説明	低炭素住宅についても話が聞きたいです。		
関東	設計	要望 講習内容以外の説明	非住宅の省エネ講習会もお願います		
関東	その他	要望 講習内容以外の説明	住宅ではない建築物の省エネの改正の講習会を来年度もやって下さい		
北陸	現場管理	要望 講習内容以外の説明	住宅以外の省エネルギー技術の設計者講習会を開催して欲しい。		
北陸	設計	要望 講習内容以外の説明	住宅以外の省エネの講習もしてほしい。		
北陸	その他	要望 講習内容以外の説明	住宅以上の建築物の講習も開いて欲しい。有意義な講習でした。		
中部	設計	要望 講習内容以外の説明	RC造、S造に関しても講習があれば良かった(2~3日間程度)また共同住宅も同様。		
中部	設計	要望 講習内容以外の説明	今後の施設等についての方向性がわかることがあればなお良かったと思います。		
中部	設計	要望 講習内容以外の説明	実務において、低炭素以外に何に使うのかを知りたいです。それがあらかじめ説明を受けられれば、知識を結びつけ易いと思いました。		
近畿	設計	要望 講習内容以外の説明	共同住宅、RC等の内容(例題)を増して欲しいです。熱橋の考え方がか。戸建、木造と同じにはいかない部分があると思います。		
近畿	設計	要望 講習内容以外の説明	鉄住宅についても基準プログラム等つくってほしい		
近畿	設計	要望 講習内容以外の説明	木造でご説明ありましたが、鉄骨・RCの場合への応用方法の説明があれば良かった。又、中・大規模建築物の対応方法など		
九州・沖縄	現場管理	要望 講習内容以外の説明	RC造についても良かったです。		
九州・沖縄	設計	要望 講習内容以外の説明	RC造に特化した内容の講習があればぜひまた受講したいし、実施にも活かしやすいと思います。		
九州・沖縄	設計	要望 講習内容以外の説明	戸建のみを対象でしょうか。共同住宅にも適用しますか？		
東北	設計	講習内容への批判	ただテキストを読み上げる講習会だと、あまり参加した意味がないように思います。過去に参加したPC持込みの講習会の方が勉強になったように思います。	16	講習内容への批判
東北	設計	講習内容への批判	テキストをただ読みあげるのであれば、講習会にする必要はないので、テキストだけを配布することにして欲しい。県内に有能な講師がいないのであれば、東京で説明してたものを録画し流してもらった方が全然マシです。時間のムダでした。改善して下さい。		
関東	設計	講習内容への批判	小教点の話はお粗末、算数の勉強をしる		
関東	設計	講習内容への批判	テキストを常に読み流すだけの内容では、講習会として意味が無い。有料の講習会としては、お粗末な印象でした。概要が理解ばかりの内容より、実践的で実務的な講習会を求めます。		
関東	設計	講習内容への批判	講義の中で、正誤表の事を言うのでまどう！		
関東	その他	講習内容への批判	テキスト、問題等にミスがあったので戸惑った部分があった		
北陸	設計	講習内容への批判	理解してもらう為の講習になっていない。		
中部	現場管理	講習内容への批判	テキストの読み上げが大半でしたので、理解しにくい部分がありました。もう少し、かみくだいた説明が良かったです。(全建の方)		
中部	設計	講習内容への批判	設計上に必要な外皮計算や、内容の部分の解説が少なすぎる。その最後がかけ足では、これで技術講習になるのだろうか？		
中部	設計	講習内容への批判	もう少し工夫して教えていただきたい。限られた時間内で理解するつもりはないが、有料とするなら教える側も努力してほしい。		
中部	その他	講習内容への批判	講習にたびたび商品名(スタイロホーム)にて説明される事があったので控えて頂きたい。		
近畿	設計	講習内容への批判	個人的に基礎知識はあったので、わかり易い講習であったがそうじゃない人にとっては誤りにくいものではなかったかと思う。		
近畿	設計	講習内容への批判	考査の時間説明、受験番号なし、などの説明が、不足だと感じました。		
近畿	設計	講習内容への批判	特に外皮性能基準等についてはあまりにも早く流しているで頭に入りにくい。全て触れなくてはならないかとと思うが、時間が短いあるいは適当な長さではないかと思われるので講義の進め方に工夫が必要かと思われる。(無料とは言え、お粗末な講義六法である)		
中国	設計	講習内容への批判	もう少し実務に適した講習が好ましかった。テキストを見て勉強します。		
九州・沖縄	設計	講習内容への批判	修了考査に合格する為だけの講習のようだった。		
北海道	その他	講習会の意義に疑問	テキストのページに沿って説明しないのでページを追うだけで手一杯だ。講習内容ではなく講習の進め方としてはいかがなものか、国の方針なのは分かるが、工事に従事する者ではないのに必須で受けさせられる意味が分からない。	4	講習会の意義に疑問
関東	現場管理	講習会の意義に疑問	いつも講習会が行われるたび思うことですが、当日テキストを初めて目にして、説明自体を時間におかれて急ぎ足で行われる状況です。帰ってからの復習・勉強が必要との認識はありますが、ただ講習を受けたという結果のみを求めるようでこれでもいいのかなと思うことがあります。		
中部	設計	講習会の意義に疑問	省エネルギー性能のプログラムの入力説明はマニュアル本を配れば済むのでは、講師の本読みでは時間の無駄。こんな本を読むだけの事は、講習会とも言わない。元々、だいたい理解できており、確認の為に参加したので良いが、理解しなくて勉強に来た人は、こんな講習で一次エネルギーを計算出来るようになるわけがない。まったく無駄な時間である。これならテキストを配布するだけで良い。		
中国	現場管理	講習会の意義に疑問	更新講習なので講習のみにしてほしい。考査でなく計算問題を多くするとか…考査等は必要ないと思う！それぞれ仕事忙しい人が多いと思うので講習の時間を短かくしてほしい。		
北海道	現場管理	講習内容 その他	BIS技術者のレベルは、省エネ講習会の想定以上と思う。今後も同時講習として頂きたい。	22	講習内容 その他
北海道	設計	講習内容 その他	テキストを参考に実務的に進めてほしい。		
東北	設計	講習内容 その他	もう少し解りやすい講義をしてほしい。		
東北	設計	講習内容 その他	講習の際に付せんを準備した方がいいと思いました。ページの提示は良かったのですが、ページを移動するところが多かったので聞かれました。		
関東	設計	講習内容 その他	LOW-Eガラスによりコールドドラフトが低調されるような説明があったが複層の方を強く言ってほしかった。		
関東	設計	講習内容 その他	湿度の事がどこにも触れていなかったのをおかしいと思った。人間が感じる事なので夏でも湿度が低いと暑くないし冬でも湿度が高ければ温かいものだから。		
関東	設計	講習内容 その他	パソコンを使用して行う計画の説明については、テキストを見る限り、パソコンを使用しながら、自分で行えば十分分かると思います。よって、説明は、もっとシンプルでもよいのではないだろうか。		
関東	設計	講習内容 その他	わかりやすい説明をして頂きたい。		
関東	設計	講習内容 その他	基礎部分(床下)の利用、(冷暖房、換気を含め)についてももう少し細分化された方がいいと思う。		
関東	設計	講習内容 その他	現場監理をするにあたり、施工方法の理解が必要と思われるので、技術者講習と同様の講習があればよい。設計者は設計者講習会+技術者講習会両方が必要？		
関東	その他	講習内容 その他	ピンマイクやスタンドマイクを利用して講師の方が両手を離れるようにするのが良いと思います。		
関東	その他	講習内容 その他	計算やWebの使い方がかきでて行を説明して頂いていたのか、分らず退屈になってしまった、もっと分り易く説明をして貰いたかった。		

関東	その他	講習内容	その他	今回のような講習方式なら、テキスト購入のみの選択肢も用意してほしい(CPD不要なので)。講師の先生方には、長時間ありがとうございました。
北陸	施工	講習内容	その他	わかり良い説明をしてほしい
中部	施工	講習内容	その他	施工編を受講してから、設計編を受けるという順番にしたらいと思います。
中部	設計	講習内容	その他	テキストとDVDの配布が良いのでは。
中部	設計	講習内容	その他	基礎、基本をやって欲しい。
中部	設計	講習内容	その他	建築士の講習会なのである程度の知識があることが前提で話されていますが、ほとんどの方が何も知らないと思います、レベルを低めに設定して講習会を行うべきだと思います。
中部	その他	講習内容	その他	施工を受講した人は昼からの講義でいいのでは。
近畿	現場管理	講習内容	その他	もっと簡単な考え方(方法)は出来ないものでしょうか？
中国	設計	講習内容	その他	基本的な考え方、プログラムを使った省エネルギー性能の判定プログラムの利用の講習をしていただく事が実践に役立つと思う。
四国	設計	講習内容	その他	どうせテキストを読むだけの講習ならばDVDも販売すればいい。それだとどれだけ長くても、必要と思われるところを何度も復習できる。
九州・沖縄	設計	講習内容	その他	基礎の熱貫流率の出し方を、Q&A等で出して頂けるとありがたいです
九州・沖縄	その他	講習内容	その他	テキストを読み進めて行くだけで、専門用語が多い章になると頭に入ってこなかったです。だれでも参加できますと書いていたから、もう少し専門的な所を易しく解説してほしい

要望・意見などー講習時間、時間割について

325

地域	職種	項目	記述内容	数	項目
北海道	現場管理	講習時間が不足、説明速い	年末の貴重な時間のため、もう少し簡潔に早い時間で終了できるよう考慮していただければありがたいです。	250	講習時間が不足、説明速い
北海道	現場管理	講習時間が不足、説明速い	講師の時間不足か早すぎて分かりずらかった。		
北海道	現場管理	講習時間が不足、説明速い	講習時間が短いせいか、講師の方の説明が早すぎて講習内容を深く理解する事ができなかった。		
北海道	現場管理	講習時間が不足、説明速い	住宅省エネルギー計算等黒板など説明してほしい。		
北海道	設計	講習時間が不足、説明速い	みんなBISをもって、内容がわかっている前提で話すので、わからない人はおいてかれるんじゃないか？		
北海道	設計	講習時間が不足、説明速い	住宅省エネルギー技術の講習。ほんとうに良い技術者育成のためには、もっと時間を取って例題も教えてほしいと思いました。講師の方の知識も時間が短かすぎて生かされなかったように思えます。		
北海道	設計	講習時間が不足、説明速い	早すぎる。		
北海道	その他	講習時間が不足、説明速い	2つの講習を1日で行うと自分が、時間が足りなく、もう少し理解を深めたいところが沢山あった。算定プログラムで行う内容をとりあつかうには、時間が足りないと思う。		
北海道	その他	講習時間が不足、説明速い	BIS講習会と住宅省エネルギー技術講習会の特別な内容との説明がありましたが、講師の方が、お話をしていた通り、内容と時間のバランスに無理があると感じました。良いテキストなのに、残念です。		
北海道	その他	講習時間が不足、説明速い	時間が短いと感じました。		
北海道	その他	講習時間が不足、説明速い	時間と講義内容のボリュームのバランスで短時間は、むずかしいと思います。		
北海道	その他	講習時間が不足、説明速い	声が小さいとページの行き来がありページをさがすのに大変。しかもページ数を言ってすぐしゃべるので、教科書で追いつけない。		
東北	現場管理	講習時間が不足、説明速い	進行が早すぎる。		
東北	現場管理	講習時間が不足、説明速い	早すぎます。		
東北	現場管理	講習時間が不足、説明速い	内容の割には講習時間が短いと思います。		
東北	設計	講習時間が不足、説明速い	1回の講習で習得は難しいと感じました。		
東北	設計	講習時間が不足、説明速い	かなりかけ足で演習や考査の為の講義という感じがした。		
東北	設計	講習時間が不足、説明速い	時間制限の中、致し方ないと思いますが、かなり難しい内容なので、十分に理解するにはもう少し講義には時間が必要に思いました。		
東北	設計	講習時間が不足、説明速い	少々はより過ぎの様な気がします。		
東北	設計	講習時間が不足、説明速い	スピードに講義が進んでいき、時間的には良いのだが、途中内容がわかりずらく、どんどん進んでいくには少し残念でした。		
東北	設計	講習時間が不足、説明速い	スピードが早くついていけない所があった。		
東北	設計	講習時間が不足、説明速い	つめこみ式でいいが		
東北	設計	講習時間が不足、説明速い	テキストP120～P142の講義時間の不足により省略された様に感じました。イマイチ意味が分からなかった。実際にプログラムの入力仕方まで、示して下さればありがたいです。		
東北	設計	講習時間が不足、説明速い	テキストの量と講習時間が合っているのか疑問がある。初めて計算の仕方を知ったが、やはり実際にやってみないと理解するのは難しいなと思った。テキストに沿って口頭で説明をしているだけでは、ページを目で追うだけで精一杯だった。重要か否かで説明時間に差が欲しい。		
東北	設計	講習時間が不足、説明速い	もう少し講義の時間を取っても良いのかと思います、流した項目は後日自分でとりましたが、そこを進めて欲しいです。		
東北	設計	講習時間が不足、説明速い	講習の時間が内容に対して短かく、じっくり理解できなかった。		
東北	設計	講習時間が不足、説明速い	講習時間が短かく、もう少し時間があっても良いと思います。		
東北	設計	講習時間が不足、説明速い	時間が少なすぎる。		
東北	設計	講習時間が不足、説明速い	時間が短い為、早口で早く進む為良く理解できなかった。		
東北	設計	講習時間が不足、説明速い	時間が短すぎるので少々わかりにくかった。		
東北	設計	講習時間が不足、説明速い	時間に制限があると思いますが、進行が早いと思われます。		
東北	設計	講習時間が不足、説明速い	進むの早くてわかりにくかった。		
東北	設計	講習時間が不足、説明速い	説明が早すぎてテキストの文字を読むのに大変です。		
東北	設計	講習時間が不足、説明速い	説明が速すぎて中々ついて行くのが難しかった。		
東北	設計	講習時間が不足、説明速い	早すぎて内容が理解できない部分があった予習が必要？		
東北	設計	講習時間が不足、説明速い	大変わかりやすかったが、少しペースが早いと感じた。		
東北	設計	講習時間が不足、説明速い	内容がとても多くて複雑なのでこの1日の講習では、当然把握しきれない。要所をまとめて説明は頂いたと思うが大分ペースが早くついていけなかったところも多々あると思う。こういう機会があれば継続して講習会への参加が必要と思う。		
東北	設計	講習時間が不足、説明速い	内容から考えれば時間が短かった。		
東北	設計	講習時間が不足、説明速い	内容が豊富で1日の講義では難しい。		
東北	設計	講習時間が不足、説明速い	内容と時間が合わない。		
東北	設計	講習時間が不足、説明速い	内容に対して進行が早かったので、わかりずらかった。後でテキストをしっかり読めば良いのか…？		
東北	設計	講習時間が不足、説明速い	内容的に時間が短いと思う。		
東北	その他	講習時間が不足、説明速い	Q値を手計算で出せる人でなければ、早すぎて理解できないと思う		
東北	その他	講習時間が不足、説明速い	講義中に告示の内容についても述べられていたがメモを書ききれなかったのも、そういう意味ではペースが早かったと感じました。		
東北	その他	講習時間が不足、説明速い	講義内容に対して講義の時間が短いため、講師の進め方が早くわかりずらかった。		

関東	施工	講習時間が不足、説明速い	1つ1つが早く進み内容がわかりにくい
関東	施工	講習時間が不足、説明速い	内容に対して時間が少なかった
関東	施工	講習時間が不足、説明速い	説明が早すぎて分かりにくかった。講師の方も大変だったと思いますけど。
関東	施工	講習時間が不足、説明速い	説明が早すぎる(ポイント)から一応用をもっと明確に
関東	現場管理	講習時間が不足、説明速い	・講義内容のボリュームが多く、時間が足りないように感じました。慈師様、お疲れ様でした。
関東	現場管理	講習時間が不足、説明速い	講義時間が短いため講師の説明が早く内容の説明が理解出来ないうちに次の説明に行くのでわかりにくかった。
関東	現場管理	講習時間が不足、説明速い	講習内容に対して、時間が非常に不足していると思う。
関東	現場管理	講習時間が不足、説明速い	時間配分に適した講習内容とし、具体的に説明する方が良いと思う。
関東	現場管理	講習時間が不足、説明速い	講習内容の範囲が広すぎるので詳しい説明ができていない様に感じた。
関東	現場管理	講習時間が不足、説明速い	時間が少ないので短時間で理解は、困難
関東	現場管理	講習時間が不足、説明速い	新幹線に乗って車窓から駅の時刻表を見ている様でした。仕方無いと思いますが施工の講習も受けていたので少し助かった。試験前の演習問題が無かったら最悪の事態となっていました。
関東	現場管理	講習時間が不足、説明速い	進行が早くてわかりにくい。
関東	現場管理	講習時間が不足、説明速い	設計計画編早日でわかりにくかった。始めて受講する者にとっては語句の意味からして無理解できなかった初歩の講座があったが良いと思った私にとってはレベルが高く難しかった。
関東	現場管理	講習時間が不足、説明速い	早すぎて理解する前に進んでしまった。
関東	設計	講習時間が不足、説明速い	2限目が飛ばしすぎて追いついていけなかった。
関東	設計	講習時間が不足、説明速い	4章の内容説明が、早すぎてよくわかりませんでした。
関東	設計	講習時間が不足、説明速い	Q値等のH11年基準からH25基準新基準への内容変更、内容の統一にしては、講習内容が不足、講義時間が短かい。実際には、メーカー等、民間からの情報にたよっている。
関東	設計	講習時間が不足、説明速い	講習量に対して時間が少なく感じる
関東	設計	講習時間が不足、説明速い	時間が少ないのが大変残念です。もう少し時間をかけて講師の説明がきければと思います。
関東	設計	講習時間が不足、説明速い	時間が足りない感じで、進行が早すぎると思う
関東	設計	講習時間が不足、説明速い	時間をもっと長くして欲しい
関東	設計	講習時間が不足、説明速い	省エネ基準編の講習が、一方的なスピードでどんどん進んでしまい、理解に至らない部分が多かったので、復習して身につけたいと思います。
関東	設計	講習時間が不足、説明速い	スピードが早い
関東	設計	講習時間が不足、説明速い	説明時間がすくなくすぎる
関東	設計	講習時間が不足、説明速い	説明をゆっくりしていただきたい。
関東	設計	講習時間が不足、説明速い	内容が多いので講義だけでは理解できません。
関東	設計	講習時間が不足、説明速い	内容説明が飛ばしすぎる
関東	設計	講習時間が不足、説明速い	内容を理解する前に次に進むので、理解しにくい。
関東	設計	講習時間が不足、説明速い	初めての人には時間が短く、理解できていないのではないのでしょうか。
関東	設計	講習時間が不足、説明速い	話しが早すぎる
関東	設計	講習時間が不足、説明速い	もう少し時間に余裕があれば良いと思う
関東	設計	講習時間が不足、説明速い	もう少しゆっくりのほうがいいと思います。
関東	設計	講習時間が不足、説明速い	もう少しゆっくり話してほしい。特にページについては説明が早すぎる。
関東	設計	講習時間が不足、説明速い	もう少し時間がほしかった。
関東	設計	講習時間が不足、説明速い	計算部分については、少し時間が足りなかったが、全体的には、わかりやすかった。
関東	設計	講習時間が不足、説明速い	午前中の説明が早すぎて、メモが取りづらかった
関東	設計	講習時間が不足、説明速い	講義の時間が短かすぎ、内容を更に把握したい。
関東	設計	講習時間が不足、説明速い	講義時間が短かい為、わかりにくかった。
関東	設計	講習時間が不足、説明速い	講義は午前中は進むのが早く内容を理解する所まではいけなかった。
関東	設計	講習時間が不足、説明速い	講習テキスト、第1章～4章までが早すぎです。テキストを読むだけの講習はつまらない。省エネルギー基準の改正の年表を義務化も合わせて、もう少し説明してほしい。でも、受講して良かった。知っていた内容も見直せた。
関東	設計	講習時間が不足、説明速い	講習のスピードが早く、理解出来ない所が多いので時間にゆとりがあると理解度が高まります。
関東	設計	講習時間が不足、説明速い	講習内容が多いの時間が短かく、聞きのがした所があった。
関東	設計	講習時間が不足、説明速い	時間が少なかった
関東	設計	講習時間が不足、説明速い	時間が少なく、かけ足になっている為、計算方法の説明が、わかりにくかったです。
関東	設計	講習時間が不足、説明速い	時間が短い
関東	設計	講習時間が不足、説明速い	時間にかぎりががあるのでやむをえないがもうすこしゆっくりと説明がほしい。
関東	設計	講習時間が不足、説明速い	時間に比して、内容が多く、講義の駆け足感が否めない。
関東	設計	講習時間が不足、説明速い	時間的を問題と思うが、講義のスピードが早い。テキストを読みあげるだけであってももう少し時間をかけてはどうかと 思う。考查対策の為だけになってしまうのが残念
関東	設計	講習時間が不足、説明速い	時間内のテキストの説明は無理だと思います。2日必要です。
関東	設計	講習時間が不足、説明速い	時間不足感有り(詳細部分を納得出来る時間が欲しいけど)講習会なので仕方ないかな。
関東	設計	講習時間が不足、説明速い	質問6、8の回答と矛盾するとは思いますが、特に午前中の講義が早く、ついでにいくことであまり内容が把握できないところもあったのであと30分くらい時間をかけても良かったのではないかと思いました。
関東	設計	講習時間が不足、説明速い	少し早く進めすぎた感じがします。
関東	設計	講習時間が不足、説明速い	進め方がはやすぎて理解が追いつかない
関東	設計	講習時間が不足、説明速い	進行が早くてついていけないときがあった。
関東	設計	講習時間が不足、説明速い	大変かけ足だが、1日で終わらせるので、仕方がないかもしれない
関東	設計	講習時間が不足、説明速い	第1、第2章に感しては、速度が早すぎて、あまり意味がないように思う。やるなら、もう少し時間を取り、時間が取れない場合は5分くらいで、あとは読んでおくことでいいのではないかと、その分他に時間をまわす。
関東	設計	講習時間が不足、説明速い	短い時間での講義になるのでかけ足になるのは仕方ないと思うが、なかなかついて行くのも大変です。
関東	設計	講習時間が不足、説明速い	短時間の講習のためなかなか理解まではいけなかったのでは？
関東	設計	講習時間が不足、説明速い	内容から換算すると、時間がもう少し必要かと思われ、1日の講習時間とすれば長く感じる。 講習前の知識不足の為、講義について行くのがやっとだった。
関東	設計	講習時間が不足、説明速い	内容が多いので仕方がないがしゃべりが早い。理解した上で聞かないと解り難いのでは？

関東	設計	講習時間が不足、説明速い	内容が濃密でついて行くのが大変！！つかれました。
関東	設計	講習時間が不足、説明速い	内容に、講習時間が伴っていない。
関東	設計	講習時間が不足、説明速い	内容に対しての時間が少なく、全てが不足しと感じました。
関東	設計	講習時間が不足、説明速い	内容に比べて短い(時間)。
関東	設計	講習時間が不足、説明速い	内容の割に講義の時間が短いので、ざっとしか説明が聞けないが、概略をつかむのには良いと思う。
関東	設計	講習時間が不足、説明速い	内容ボリュームに対して説明が少なかった。
関東	設計	講習時間が不足、説明速い	量の割に少し時間が足りない感じがする。講師の方もおっしゃっていたが施工技術と合わせないと知識を確実にものに出来ない。
関東	その他	講習時間が不足、説明速い	1日では、理解するには、急ぎ過ぎて、のみ込みづらかった。
関東	その他	講習時間が不足、説明速い	解説のスピードについて行けなかった。
関東	その他	講習時間が不足、説明速い	この時間内に終わる説明ですから、すごいスピードでした。しかたないです。
関東	その他	講習時間が不足、説明速い	すすみ方が早すぎてついていけなかった。
関東	その他	講習時間が不足、説明速い	スピード早すぎてわかりずらかった。
関東	その他	講習時間が不足、説明速い	もっと時間をかけてゆっくりと進めて頂けると理解しやすくなると思います。
関東	その他	講習時間が不足、説明速い	やはり内容のボリュームに比べ時間的に不足していると思います。
関東	その他	講習時間が不足、説明速い	講義の時間が明らかに足りていない、単にテキスト読み上げではなく、補足等に注力して欲しい
関東	その他	講習時間が不足、説明速い	前半の説明が早過ぎてよく分からなかった。
関東	その他	講習時間が不足、説明速い	説明が早すぎて、ついてゆくのが大変です。時間が短い。考査は無くてよいのでは！(本人の努力だと思います)
北陸	現場管理	講習時間が不足、説明速い	時間が短く充分勉強出来なかった
北陸	設計	講習時間が不足、説明速い	1日で講習とテストはハードだった。
北陸	設計	講習時間が不足、説明速い	かなりかけ足の説明だったので、理解出来ていない所も多かった。
北陸	設計	講習時間が不足、説明速い	プロジェクター等もつかって「表」のどこを見ればよいかが見えるようになっていればよかったと思います。
北陸	設計	講習時間が不足、説明速い	ページをめくるので時間かかどこの記載のことを言っているか、確認する時間がなかった。
北陸	設計	講習時間が不足、説明速い	もう少し時間をかけて、ゆっくりやってほしかった
北陸	設計	講習時間が不足、説明速い	記のスピードが早い。
北陸	設計	講習時間が不足、説明速い	午前中の講義、早くついていけないと感じた。
北陸	設計	講習時間が不足、説明速い	講義時間と内容のバランスが悪いので説明が早すぎ理解しにくかった。
北陸	設計	講習時間が不足、説明速い	講師の先生の説明がわかりやすかったが、時間の関係でスピードがとても早かったのが残念だった。終了時間を30分でも1時間でも延長して、もう少しだけ、余裕をもった説明を聞きたかった。
北陸	設計	講習時間が不足、説明速い	講習の進め方が駆け足すぎた。もう少しじっくり聞きたい箇所もあった。
北陸	設計	講習時間が不足、説明速い	時間が少ない為流している。
北陸	設計	講習時間が不足、説明速い	時間の関係もあって理解できないまま、次へと進んでいったので、良く理解できなかった。
北陸	設計	講習時間が不足、説明速い	時間内でという事もあって、とても早かった
北陸	設計	講習時間が不足、説明速い	説明が早くてよくわからなかった。
北陸	設計	講習時間が不足、説明速い	内容が濃く早足でしたので追いつくのが大変でした。
北陸	その他	講習時間が不足、説明速い	午前中の講義は、資料の斜め読み。ポイント等がわからない
北陸	その他	講習時間が不足、説明速い	時間の都合もあるとは思いますが、今、どの部分の説明をされているのかがよく分かりませんでした。
北陸	その他	講習時間が不足、説明速い	社内研修を何度も実施しているので基本的な内容はわかっていますが、時間的制限もあり、説明が早すぎると思われます。
北陸	その他	講習時間が不足、説明速い	早すぎて分かりにくい。
中部	現場管理	講習時間が不足、説明速い	もう少し時間をかけて説明してほしい
中部	現場管理	講習時間が不足、説明速い	時間がない為、短い講習であったためわかりにくい所もありもう少し時間をとってほしかった。
中部	現場管理	講習時間が不足、説明速い	時間がなく、早すぎる。
中部	設計	講習時間が不足、説明速い	・1日で理解するのが難しい。数回に分けてほしい。
中部	設計	講習時間が不足、説明速い	・時間が短く感じています(特に内容が濃いので。時間がほしい)
中部	設計	講習時間が不足、説明速い	※もう少しゆっくりと説明してほしい。
中部	設計	講習時間が不足、説明速い	※時間が短すぎる。内容的に2日に別けてやってもらいたい
中部	設計	講習時間が不足、説明速い	1日ではわかりにくい
中部	設計	講習時間が不足、説明速い	講習会の時間が少ないように思われた。
中部	設計	講習時間が不足、説明速い	スピードが早めだったのでもう少しゆっくり聞けると良かったと思います。
中部	設計	講習時間が不足、説明速い	スピードが速く聞くとれない所が多かったためもっと時間をかけてほしい
中部	設計	講習時間が不足、説明速い	せっかくの講習会ですでももう少し時間があると、詳しい講義内容になって良いでしょうね…
中部	設計	講習時間が不足、説明速い	テキストの内容に対して講習時間が足りない気がします。
中部	設計	講習時間が不足、説明速い	テキストの内容は、わかりやすいと思います。各章の説明時間が短いため、もう少し時間があれば良いと思います。
中部	設計	講習時間が不足、説明速い	もう少し時間をかけた方が良い内容ではなかったのかと思います。
中部	設計	講習時間が不足、説明速い	ややスピードが早いです。
中部	設計	講習時間が不足、説明速い	ゆっくり説明をして欲しかった。
中部	設計	講習時間が不足、説明速い	何ページのどこを説明しているのかわからない。早すぎる。
中部	設計	講習時間が不足、説明速い	講師が早く進めるため早口になる説明が目的でページを進める必要性はない。
中部	設計	講習時間が不足、説明速い	今の時代web計算プログラム等はパークポイント等を使って説明してほしい。
中部	設計	講習時間が不足、説明速い	今後の方針としてとても大切な内容だったように思われました、もう少し時間を使った方が良かったと思います、1日だけでは駆け足気味で内容把握は十分だったか疑問、だいたい理解できたが、
中部	設計	講習時間が不足、説明速い	時間が短くて内容を省略されない講習会を目指して欲しい。
中部	設計	講習時間が不足、説明速い	時間が無く早足で説明されていたようなので、話を聞くことで精一杯でした。

中部	設計	講習時間が不足、説明速い	時間内で一冊分テキストの説明には無理がありました、大枠の概要は理解できたように思います。
中部	設計	講習時間が不足、説明速い	少しスピードについていけない所がありました。
中部	設計	講習時間が不足、説明速い	省エネ基準編2章、5章は、早足すぎた。
中部	設計	講習時間が不足、説明速い	省エネ基準編の講師の説明が走りすぎ、基本的のこういった講習に来られる方は前向きの知識を取得する為に参加されていると思います、そういった方々に対してもう少し丁寧にもっと時間をかけるべき内容だと思います。
中部	設計	講習時間が不足、説明速い	進むのが早くついていけない。
中部	設計	講習時間が不足、説明速い	進行が早く、じっくり考える時間がとれない。
中部	設計	講習時間が不足、説明速い	説明は分りやすかったが内容が濃すぎて1日では無理です。
中部	設計	講習時間が不足、説明速い	早い、テキストの内容(数字)を確認しながら進めたい。
中部	設計	講習時間が不足、説明速い	早口で進んだので、途中ついていけない部分があった。要点をまとめて説明してほしい。
中部	設計	講習時間が不足、説明速い	知識の無いところからだ説明スピードが早くついていだけで精一杯かなと感じた。
中部	設計	講習時間が不足、説明速い	内容については分りやすく説明して下さったと思うのですが、ベースが早すぎて後でやろうと思った時に混乱してしまわないか心配です。
中部	設計	講習時間が不足、説明速い	内容のわりに時間が短すぎる。
中部	設計	講習時間が不足、説明速い	範囲が広く走りすぎていて把握しにくかった。
中部	設計	講習時間が不足、説明速い	理解する前に進んで次の所へ行きまいがもう少し時間がほしい。
中部	その他	講習時間が不足、説明速い	この内容を本日の時間で行うのは、無理があると思います。
中部	その他	講習時間が不足、説明速い	テキストの読み上げが早すぎ見返していると分からなくなってしまう。
中部	その他	講習時間が不足、説明速い	速すぎる(講習をすすめるスピードのこと)
中部	その他	講習時間が不足、説明速い	全体の時間不足
近畿	施工	講習時間が不足、説明速い	講義スピードが早い
近畿	施工	講習時間が不足、説明速い	この内容をこの時間でするには無理がある様に思います。
近畿	施工	講習時間が不足、説明速い	説明が早すぎてわかりにくい
近畿	施工	講習時間が不足、説明速い	話についていけない。
近畿	現場管理	講習時間が不足、説明速い	どこの事を言っているのか分からない時がある。プロジェクターなどで、説明している場所を分かるようにしないとまったく理解できない。本のページが、行ったり戻ったり、進行のしかたを考えないとまったく理解できない。要点をまとめた方がよい。・マスクやお茶は用意して欲しい。
近畿	現場管理	講習時間が不足、説明速い	もう少し時間を取ってじっくりやりたかった、時間内に収める意識が強く、本末転倒な感じを受けた。
近畿	設計	講習時間が不足、説明速い	ある程度知識があったので細かい点までわかって良かった。一部とばされた部分があったが、時間の問題の関係上しかたないかと思った。
近畿	設計	講習時間が不足、説明速い	時間が短いこともあると思いますが、説明が早く、分かりづらかったです。
近畿	設計	講習時間が不足、説明速い	説明が早すぎて必死で聞いていた
近畿	設計	講習時間が不足、説明速い	メモをとっている間に先に進まれたので聞きのがしがけっこうあり、もったいないと思いました。
近畿	設計	講習時間が不足、説明速い	もう少し時間が必要。
近畿	設計	講習時間が不足、説明速い	よくわかりました。ありがとうございました。時間がもう少しあればゆっくりと聞けて理解できたかなと思う部分もありました。
近畿	設計	講習時間が不足、説明速い	講習ではよくある事だと思えますが、時間が足りない様に感じます。(説明がショートする傾向が多い)なかなか難しいとは思いますが、もう少し密度の濃い講習も計画して頂ければと思います。
近畿	設計	講習時間が不足、説明速い	時間がないのか急ぎすぎて理解できなまま進んだ。
近畿	設計	講習時間が不足、説明速い	時間が短かいので内容の説明がおおざっぱ
近畿	設計	講習時間が不足、説明速い	自身の復習がないと確実ではない、時間が短かく早く感じました。
近畿	設計	講習時間が不足、説明速い	全てを説明するには時間が短い。
近畿	その他	講習時間が不足、説明速い	内容説明が早すぎて分かりづらかった。午後の講習はシステムの入力方法の内容だったのでさっぱり分からなかった。
近畿	その他	講習時間が不足、説明速い	講義の時間が短く思います
近畿	その他	講習時間が不足、説明速い	講師の方が早口でついていくのに必死でした。もう少し時間の割りふりを考えて頂きたいです。
中国	施工	講習時間が不足、説明速い	講習時間が短い
中国	現場管理	講習時間が不足、説明速い	ゆっくりとおききたい
中国	現場管理	講習時間が不足、説明速い	正誤表を訂正する暇もなく講義が進み、正・誤が不明部分がありました。
中国	現場管理	講習時間が不足、説明速い	大変良いのですが1日では理解出来ないと思います。
中国	現場管理	講習時間が不足、説明速い	内容量に対して時間が少ないと思う
中国	設計	講習時間が不足、説明速い	時間に追われて、細かい所は消化不良でした。今後テキストを見ながら実演することが大切でしょうか。実際には現場のむづかしい所が納まり上いろいろあると思います。地域によっても、かなり許容範囲が異なるように思います。
中国	設計	講習時間が不足、説明速い	説明が早くて解り難かった
中国	設計	講習時間が不足、説明速い	とても駆け足でしたので、もう少し時間が欲しいと思いました。
中国	設計	講習時間が不足、説明速い	計算の説明が早目でわかりにくかったです(ページがもどったり進んだりするので)
中国	設計	講習時間が不足、説明速い	講習すべき内容の範囲が広いと思うので、1日では足りないのでは
中国	設計	講習時間が不足、説明速い	講習会を聞いたと事実だけでは、内容をもっと詳しくゆっくりしてもらわないと実践では難しい。
中国	設計	講習時間が不足、説明速い	進行が早く、理解するのがむづかかった。
中国	設計	講習時間が不足、説明速い	短時間でたくさん内容について説明されたのでなかなかすぐには理解しにくかったです。
中国	設計	講習時間が不足、説明速い	内容によっては講義のスピードが速すぎて、分りにくかった(省エネ計算等)。
中国	その他	講習時間が不足、説明速い	時間が短い、早口しゃべり
四国	現場管理	講習時間が不足、説明速い	もう少しゆっくり進行してほしい。
四国	現場管理	講習時間が不足、説明速い	時間が短かかったため基本からしっかりと教えてほしい。
四国	設計	講習時間が不足、説明速い	ちょっとベースが早めでした、要点だけじっくりでもいいかもしれません。
四国	設計	講習時間が不足、説明速い	もう少し、時間をかけて欲しい。
四国	設計	講習時間が不足、説明速い	もう少しゆっくりと話してほしい。マイクが悪いのか聞きづらかった。
四国	設計	講習時間が不足、説明速い	もっと時間をかけて下されば。

四国	設計	講習時間が不足、説明速い	講習内容が範囲が広く、時間が限られている中ですごく早くついていけたかどうか心配	
九州・沖縄	現場管理	講習時間が不足、説明速い	時間が短い為、理解する間がなくて、わかりにくかった。量が多いという事で、しっかりと反復して勉強しないといけないと思う	
九州・沖縄	現場管理	講習時間が不足、説明速い	もう少し、ゆっくりわかりやすくしてもらいたいです。午前は聞きとりにくいです	
九州・沖縄	設計	講習時間が不足、説明速い	講習時間が短いので、内容理解に時間がかかるときがある。	
九州・沖縄	設計	講習時間が不足、説明速い	講義時間の短い事で早々に進められる為、理解するには復習しかないが考慮してほしい	
九州・沖縄	設計	講習時間が不足、説明速い	今回の内容でこの時間は少ないと思います。演習だけでも時間を増してほしい。	
九州・沖縄	設計	講習時間が不足、説明速い	時間が短いなかでベースが早く、ついていくのに大変	
九州・沖縄	設計	講習時間が不足、説明速い	時間の割には盛りだくさんで、早口でした。正誤表の内容も該当頁で、加えて説明してほしい。講義をききながらまちがっているところをさがし赤書していたら、話はどんどんすすんでいった。	
九州・沖縄	設計	講習時間が不足、説明速い	省エネの勉強をするのが初めてなので、講義がすごく早いスピードなので、本のページをめくるので精いっぱいでした。	
九州・沖縄	設計	講習時間が不足、説明速い	できればもう少し講義時間を長くしてほしい。	
九州・沖縄	設計	講習時間が不足、説明速い	ポリウムに対して、限られた時間で、かけ足でしたので、少し考え込むとついていけなくなりそうでした	
九州・沖縄	設計	講習時間が不足、説明速い	もう少し、ゆっくり説明して欲しかった。	
九州・沖縄	設計	講習時間が不足、説明速い	もっとじっくりお聞きして理解したかったのですが、持ち帰って勉強します。ありがとうございました。	
九州・沖縄	設計	講習時間が不足、説明速い	急ぎすぎ、頭がついて行かない。	
九州・沖縄	設計	講習時間が不足、説明速い	講習時間が限られている関係でかなりのスピードであった。細かい部分は分かりづらいが、全体を把握する事はできたと思う。	
九州・沖縄	設計	講習時間が不足、説明速い	講習時間が短いので、説明についていくのが、難しい。説明が早すぎる。	
九州・沖縄	設計	講習時間が不足、説明速い	時間がたらない。	
九州・沖縄	設計	講習時間が不足、説明速い	時間が少なかつた。後で見て下さいが多かつた。	
九州・沖縄	設計	講習時間が不足、説明速い	時間が短い。テキストのページ数をもう少し適格に。	
九州・沖縄	設計	講習時間が不足、説明速い	説明が早すぎ理解しようとしている間に進んでしまうのでついていくのが大変でした。義務化に向けているのであれば2日に渡ってでももう少しゆっくりしっかり理解したいと思いました。	
九州・沖縄	設計	講習時間が不足、説明速い	第2章以降時間の関係上だと思いが説明が早い(私にとっては)	
九州・沖縄	設計	講習時間が不足、説明速い	判定プログラムの説明はプロジェクターでパソコン画面を映して説明された方が分かり易い、本を見ながら読むだけでなく良いと思う、全体的には勉強になりました。	
九州・沖縄	その他	講習時間が不足、説明速い	テキストを見ながら講師の話についていくのがたいへんでした。	
九州・沖縄	その他	講習時間が不足、説明速い	速いペースで大変ではあるが内容、時間を考えると仕方ない	
九州・沖縄	その他	講習時間が不足、説明速い	時間が短いために、説明がゆとりになり、ついていくのが大変だった。	
九州・沖縄	その他	講習時間が不足、説明速い	内容が数値を扱うことが多く、また用語も多く頭を整理するのに時間がかかりました。テキストの進度も速くついて行くのが大変でした。今回学んだ内容は繰り返しやらないと身につかないと思うので今後もしっかり勉強したいと思えます。講師の先生方、事務局のみなさんお疲れ様でした。ありがとうございました。	
九州・沖縄	その他	講習時間が不足、説明速い	内容の割には、スピードが早く、理解しがたかつた。これからもっと勉強しないと各方面に今日の内容を周知徹底させなきゃ。	
関東	設計	講習時間はちょうど良い	時間が短いので、スピードが早い部分があるのは仕方ないと思います。テキストが充実しているので、この時間でよいと思います。	6
北陸	設計	講習時間はちょうど良い	時間がちょうど良く、集中してききました。	講習時間はちょうど良い
中部	設計	講習時間はちょうど良い	審査と講義の時間的なバランスが良かった	
中部	設計	講習時間はちょうど良い	時間が短くしてもらえたのが良い。後は家でじっくり勉強します。	
中部	設計	講習時間はちょうど良い	丁度良い。	
中国	設計	講習時間はちょうど良い	全体の内容に対する時間はちょうどよかったのだと思いますが、たまたま、天候が悪く、時間が短くなり、また自分も予定の時間に来れなかつたので、少し急ぎぎみだ感じました。	
東北	設計	講習時間が長い	時間が長かつたが、長い分だけ中味が良く理解出来た。渡されたペーパーが多いが、良く理解出来た。	18
東北	設計	講習時間が長い	講義時間は長いのに各ページの説明時間短い。	講習時間が長い
東北	設計	講習時間が長い	長い	
東北	設計	講習時間が長い	長い！修了審査は必要か？	
東北	設計	講習時間が長い	難しい内容なので、仕方がないが、講習会の時間は長がつた。	
関東	設計	講習時間が長い	講習会内容はわかり易かつたが、設計者対応講習は、施工者対象講習より時間短縮しても良いかを、休憩時間も10分程度でよいです。	
関東	設計	講習時間が長い	内容が多いので大変だと思うが、1日は長いので半日程度で終わると助かる。省エネの理解ができる講習会だったので、これからはがんばって下さい。	
関東	設計	講習時間が長い	半日で良いと思う、やさしい内容	
北陸	施工	講習時間が長い	講習時間が長くつた。	
北陸	その他	講習時間が長い	長い	
中部	設計	講習時間が長い	半日で終わる講座にしてほしい。	
中国	設計	講習時間が長い	日拘束型の講習ではなく費用は高くなつてもかまわないのでテキストなどを先に送付していただくなどして2~3時間で終わるようにしてほしい。	
四国	設計	講習時間が長い	長時間であった	
九州・沖縄	設計	講習時間が長い	内容が多いので一日必要だとは思いますが、半日だと助かります。	
九州・沖縄	設計	講習時間が長い	テキストはわかりやすいので、ゆっくり理解しながら自宅でするので講義時間を短くして欲しい。	
九州・沖縄	設計	講習時間が長い	テキストをなぞるだけなら、講師は必要ない、自分のペースで読んだ方が分かりやすい。講習がとにかく長い。	
九州・沖縄	設計	講習時間が長い	仕事を優先できるように、半日を2回等、日付も何日かの中で選べるようにしてほしい。	
九州・沖縄	設計	講習時間が長い	全体を通しての講演会だと時間が足りないなので、要点を集中的に半日(9:00~12:00)程度の講演で良いと感じた。	
東北	設計	時間配分が不適切	外皮性能基準についての話がメインだったと思いましたが、説明が分かり易く勉強になりました。もう少し時間があればより理解が深まると思います。	51
東北	設計	時間配分が不適切	逆に、第3章、第4章などは、短い時間で、広く浅く話が聞ければ効率的だと思います。	時間配分が不適切
東北	設計	時間配分が不適切	もう少しポイントをしぼった講習であってほしい。	
東北	設計	時間配分が不適切	ただ、ただ、スピード重視の講習では意味がないのでは講師についても門外有	
東北	設計	時間配分が不適切	もう少しポイントを絞ってほしい	
東北	設計	時間配分が不適切	概要は、簡単に説明して計算等を重点的に説明してほしい	
東北	設計	時間配分が不適切	休憩時間が長すぎ、講義内容がとぼしきみなので、そちらに時間まわしたらどうですか？難しい内容なんだから。	
東北	設計	時間配分が不適切	計画編より省エネ基準編の時間をもっと増やしてほしい。	
東北	設計	時間配分が不適切	計算ではなく、計画について重点的にするべきでは、具体的な断熱手法や、実務に生きる内容が良い。	
東北	設計	時間配分が不適切	計算の講義がもう少しあったらよかつたと思う。	
東北	設計	時間配分が不適切	内容ごとの時間配分について、もう少しバランス良く進めて欲しいです。(簡単な所はテンポ良く進める等。)	
東北	その他	時間配分が不適切	第1・2章の講義時間が短かすぎると感じました。	
関東	施工	時間配分が不適切	休憩も程良く受講しやすかつたです。	
関東	施工	時間配分が不適切	午前中の第2部(省エネ基準編第1.2.5章)の講義時間が余つたので他の部分の時間を増やすか、講義全体を短くしてほしい。	
関東	現場管理	時間配分が不適切	・時間配分を考えてほしい。	
関東	現場管理	時間配分が不適切	もう少し時間配分考えてもらえると助かりました。	
関東	設計	時間配分が不適切	最後の方など急ぎすぎでもう少ししっかり説明聞かせてもらいたかつたです。	
関東	設計	時間配分が不適切	計算に関する説明をもう少し欲しかつた。	
関東	設計	時間配分が不適切	計算式の説明時間がもう少し長いと、より理解出来たと思います。	

関東	設計	時間配分が不適切	計算等の時間がもう少し長くあってくれるとよい
関東	設計	時間配分が不適切	午前中の講師の時間配分が悪く、特に5Aの説明がほとんどなかったので、5Aの補正係数など実務に関わる内容に時間を割いてほしい
関東	設計	時間配分が不適切	時間を有効に使った内容にして欲しい
関東	設計	時間配分が不適切	説明事項をもう少しはしよっていただいで、ゆつくりと説明が、聞きだかった。考査の量を減らしてもいいのではないかな？
関東	設計	時間配分が不適切	第3章の解説はもう少し短くてよかったです
関東	設計	時間配分が不適切	但し最終的に出すページP233の解説が短すぎた
関東	その他	時間配分が不適切	講義時間が午後から程度でも良いと思います
関東	その他	時間配分が不適切	省工事基準編の時間を長くしてほしい
北陸	設計	時間配分が不適切	キノ断熱の部分をもっと時間をかけて欲しい
北陸	設計	時間配分が不適切	概要説明はもう少し短い時間のみでよいと思います
北陸	設計	時間配分が不適切	休憩時間が多いので、スケジュールをつめるか、講義時間を増やすかしてもらいたかった
中部	設計	時間配分が不適切	(3)「設計計画編」(1)の説明なら不安。その時間を「省エネ基準編」にまわしてもらった方が有効だと思う。1人目の講師の方が1.5倍速でお話されるとよかったです(内容は新基準の計算に関するより一般的な内容でした)その分2人目の新基準の計算のことをもう少しゆつくりお話しして頂けるとよかったです
中部	設計	時間配分が不適切	演習の内容が薄いので時間配分を演習から講義に振り分けた方がいいと思います、演習で時間が余るのがもったいない
中部	設計	時間配分が不適切	休憩が約1時間毎にあつて良い
中部	設計	時間配分が不適切	初めの方の早口で説明された部分はメモなどでちよつともたつくと、ついていけない所もありました、演習問題の解説は丁寧で分りやすかったですが、ちよつと時間さすぎでバランスが悪いと感じました修了考査があるからでしょうか
中部	設計	時間配分が不適切	設計計画の後半をもう少しゆつくり聞けるとよかったです
中部	設計	時間配分が不適切	設計例を中心に説明してほしい。簡易計算法の説明など意味がないのでは？
中部	その他	時間配分が不適切	特に省エネ基準編第2章の説明がわかりにくい。時間がなさすぎ。時間配分を考えたカリキュラムの必要性があると思う
近畿	現場管理	時間配分が不適切	1日ですべてをまかなう事に無理があると思う。広く浅すぎた感じがした。講師の人のペースも考えて時間配分をしてほしい
近畿	現場管理	時間配分が不適切	省エネ基準について時間をさいて講義してほしい。流れで説明されても、理解できないままなので頭に入っていない
近畿	設計	時間配分が不適切	カリキュラムの時間と講義内容のボリュームが供っていない。(時間内で納得の出来る説明が出来ているでしょうか)
近畿	設計	時間配分が不適切	第4章の設計・施工指針をもっとくわしくしてほしい
中国	現場管理	時間配分が不適切	計算部分、計算式の解説の時間がもう少し必要だと思います
中国	設計	時間配分が不適切	講義の割に演習と考査が長い気がしました
中国	その他	時間配分が不適切	時間配分を調整して解説に充ててもらったら良い章もあった(設備計画など)
中国	その他	時間配分が不適切	第一章省エネ基準で設備分野の説明が少ないので建築分野と同じ程度の説明が欲しい
四国	設計	時間配分が不適切	基礎についてももう少し講義してほしい
四国	設計	時間配分が不適切	ポイント重要項目ピックアップで良かった。基準の事項にもっと重点をおいて時間をかけても良い
九州・沖縄	現場管理	時間配分が不適切	講義時間を1時間程度にしてほしい(冬期は特に)
九州・沖縄	設計	時間配分が不適切	講義時間をもう少し長く取り、演習、考査時間を短くした方がいい。演習、考査の難易度にして時間が長すぎる
九州・沖縄	設計	時間配分が不適切	時間の配分でメリハリをつけてほしい(終了考査があるので中々できないでしょうけど)
九州・沖縄	設計	時間配分が不適切	講師の方の時間の配分が大変だと思いました
九州・沖縄	設計	時間配分が不適切	講習の進め方と時間配分ができておらず、説明が薄かったりなかったりしたことが気になった。的を絞った説明でも良かったのでは？
東北	現場管理	時間配分が不適切	ちよつと講義が長くて、休憩5分でも入れてほしい

要望・意見など一講習会運営に関する事について

140

地域	職種	項目	記述内容	数	項目
北海道	現場管理	広報・開催案内	施工業務なので必要無い	8	広報・開催案内
関東	現場管理	広報・開催案内	施工講習会と間違えて参加しました。設計と施工の案内が以ていてまらわしい		
関東	現場管理	広報・開催案内	制度の内容は難しいが、説明はわかりやすかった。基準内容はまだまだ改定されていきそうなので、受講者への案内があればありがたいです		
関東	設計	広報・開催案内	設計講習の案内(チラシ)が入っていたが、加藤講師の云うとおり、施工技術者講習も受けた方がいいと思うので、そちらの案内(チラシ)も入れておきたいのでは		
中部	設計	広報・開催案内	主催者団体の紹介がもう少しあっても良いと感じた、本拠、メンバー、活動内容などを説明する形で	8	開催時期・曜日
近畿	現場管理	広報・開催案内	テキストの訂正が多すぎる		
近畿	設計	広報・開催案内	付箋を持参するよう書いておいてほしい		
九州・沖縄	設計	広報・開催案内	電卓の必要性の案内がなかったので困った		
北海道	現場管理	開催時期・曜日	更新日程12月13日を違った月にして頂きたいです。建設業界としては、特に忙しい月なのでなんとかお願いしたい所です	6	受講料・修了証発行手数料
関東	設計	開催時期・曜日	横浜の講習会は時間のロスも多いので、人数的な問題もあるかと思いますが、今後も県央などでやっていたきたいです		
関東	設計	開催時期・曜日	平日だと厳しいので土曜とから検討して下さい		
北陸	その他	開催時期・曜日	回数を増やして欲しい。(講習会の)長岡、新潟の1会場では少ない		
中部	設計	開催時期・曜日	(1)日程と日柄のいい日(大安、友引、先勝)は避けて欲しい(2)土、日、祝は避けて欲しい	9	講習会場開催地要望
四国	設計	開催時期・曜日	仕事上月曜日(休みの次)は避けてほしい(次回からできれば)		
九州・沖縄	設計	開催時期・曜日	(年末はさけて下さい)		
九州・沖縄	その他	開催時期・曜日	月の末日の実施は、もう少し考えて欲しい		
北海道	その他	受講料・修了証発行手数料	考査対策の内容の強制には(有料)疑問を感じます	6	受講料・修了証発行手数料
中部	設計	受講料・修了証発行手数料	修了証不要なので安くしてほしい		
近畿	設計	受講料・修了証発行手数料	ありがとうございました。費用が安かったので助かりました		
近畿	設計	受講料・修了証発行手数料	テキストに広告を入れると受講料がいらなくなるのではと思った		
四国	設計	受講料・修了証発行手数料	公的補助が講習料もあつてほしい	8	講習会場交通の便悪い
九州・沖縄	その他	受講料・修了証発行手数料	・無料にして下さい		
北海道	現場管理	講習会場開催地要望	会場を仙台をお願いします		
北海道	現場管理	講習会場開催地要望	東北で開催してほしい		
北海道	その他	講習会場開催地要望	以前盛岡で更新講習受けたことがあります、東北で受講できると良いのですが		
北陸	設計	講習会場開催地要望	・定員が少ない。→上・中・下越エリアそれぞれで欲しい		
中部	設計	講習会場開催地要望	浜松会場が無いのはなぜ		
中部	その他	講習会場開催地要望	浜松での開催を増やしてほしいです		
中国	施工	講習会場開催地要望	会場を増やしてほしい		
九州・沖縄	設計	講習会場開催地要望	会場を中部にお願いします		
九州・沖縄	その他	講習会場開催地要望	場所は中部に		
関東	施工	講習会場交通の便悪い	秩父からくるにはさいたま市は遠すぎるのではよりしてほしい。小鹿野5:45-西武秩父-飯能-秋津新秋津-武さし浦和9:00。せめて熊谷or飯能あたりでやってほしい		
北陸	設計	講習会場交通の便悪い	会場の交通の便がわるい		
九州・沖縄	設計	講習会場交通の便悪い	会場が少々不便		
北海道	設計	講習会場駐車場不備	道内3会場程度とし、地方からの受講を進めるのであれば、駐車場の確保は当然だと思います。札幌以外の会場では		
東北	施工	講習会場駐車場不備	駐車場の台数がないとはどういふ事でしょう。事前に人数が分っているのなら確保するのが当りまえではないですか？		

四国	現場管理	講習会場 駐車場不備	高知城ホールよりはこっちのほうが良い。高知城ホール南の駐車場は料金が高すぎる。	
九州・沖縄	現場管理	講習会場 駐車場不備	・会場の駐車場がないのが良くない。鹿児島での移動は自動車が多いと思われるが？	
九州・沖縄	設計	講習会場 駐車場不備	会場の駐車スペースが少なく、地方からの出席者は車が不可でした。	
北海道	設計	講習会場 昼食不便	12:10分での昼休みは周辺の食事場所が混んでいるのもう少し時間を考えてほしい	5
東北	設計	講習会場 昼食不便	昼食する場所がない。地下鉄駅より遠い(交通不便)場所がわかりづらい	
北陸	設計	講習会場 昼食不便	・講習会会場の近くに飲食店が少なければ、弁当屋に来てもらって、予約等をした方がいいと思う。席がせまい。	
近畿	設計	講習会場 昼食不便	もっと食事の便の良い所にしてほしい	
九州・沖縄	設計	講習会場 昼食不便	弁当等の用意ができる事、事前にアナウンスあれば尚良かった。	
東北	設計	講習会場 狭い	会場やテーブル等、もう少し余裕があるとありがたいです。	21
関東	設計	講習会場 狭い	座席が狭い	
北陸	施工	講習会場 狭い	机は2人掛けの方が1日の講習だと楽でありがたいです。	
北陸	現場管理	講習会場 狭い	1机3人掛けはつらい！！	
北陸	設計	講習会場 狭い	・会場がせまい。	
北陸	設計	講習会場 狭い	3人掛の机に3人はツイライ。	
北陸	設計	講習会場 狭い	せまい	
北陸	設計	講習会場 狭い	せまい。	
北陸	設計	講習会場 狭い	会場がせまい、せますぎる	
北陸	設計	講習会場 狭い	会場がもう少し広い方がいい	
北陸	設計	講習会場 狭い	机に3人座りは余裕がなかった。	
北陸	設計	講習会場 狭い	狭いです。	
北陸	設計	講習会場 狭い	内容ではないが、会場が狭くて息苦しい感じがした。	
近畿	現場管理	講習会場 狭い	1. 多人数で3人席(それも狭い)のほどどうか？	
近畿	設計	講習会場 狭い	・3人かきなので、せまかった。	
近畿	設計	講習会場 狭い	机が狭く資料を広げられなかった。	
近畿	設計	講習会場 狭い	席が狭く苦しい	
中国	設計	講習会場 狭い	会場がせまいのもう少し余裕のあるところでやってほしい。	
中国	設計	講習会場 狭い	机が狭い。	
四国	設計	講習会場 狭い	・席の3人掛けはせまい。テキストが広げられない。	
四国	設計	講習会場 狭い	1つのテーブルに3人掛けだけはやめて！苦業をやりに来たわけではない。	
東北	現場管理	講習会場 空調できていない	午前中、会場が寒すぎ	27
東北	設計	講習会場 空調できていない	とにかく寒い	
東北	設計	講習会場 空調できていない	会場が暑過ぎる気がしました。	
東北	その他	講習会場 空調できていない	会場が少し寒かった。	
東北	その他	講習会場 空調できていない	室内の温度が高くて、講習に集中できませんでした。また、室内の換気をしてほしかったです。	
関東	設計	講習会場 空調できていない	・会場が暑かった。(私が厚着したのかもしれませんが)	
関東	設計	講習会場 空調できていない	一次エネルギーの話は、眠い。(食事をした後で部屋の温度と換気に問題)	
関東	設計	講習会場 空調できていない	会場がさむかった。	
関東	設計	講習会場 空調できていない	室内の温度設定が高く、暑かったので頭がボーッとしました。	
関東	設計	講習会場 空調できていない	足元が寒かった。	
関東	設計	講習会場 空調できていない	長時間の講習会なのに、室内が寒い。風邪をひいた。	
関東	その他	講習会場 空調できていない	あつかった。	
関東	その他	講習会場 空調できていない	部屋がとにかく寒かったです。事務の方が扉を開けたままにされるのが冷えてしまっただけで辛かったです。設定温度を守るのが省エネではないのでは...と思いました。	
中部	設計	講習会場 空調できていない	もう少し会場を暖めて欲しかった。	
中部	設計	講習会場 空調できていない	会場が寒かった。	
中部	設計	講習会場 空調できていない	会場の温度が高すぎる。	
中部	設計	講習会場 空調できていない	部屋の温度をもう少し低く設定して欲しい、快適な温度では眠くなるため。	
近畿	現場管理	講習会場 空調できていない	会場が寒い。	
近畿	現場管理	講習会場 空調できていない	省エネにしても熱量がすごく熱中症になる	
近畿	設計	講習会場 空調できていない	・足元が寒むかった。	
近畿	設計	講習会場 空調できていない	昼からは熱くて眠いので大変です。	
中国	設計	講習会場 空調できていない	寒かった。	
四国	設計	講習会場 空調できていない	少し空調がききすぎて、ボーッとしました。マイクのせいか少し声がききとりづらかったです。	
九州・沖縄	現場管理	講習会場 空調できていない	暖房がききすぎ。	
九州・沖縄	現場管理	講習会場 空調できていない	暖房が効きすぎて眠くなりました。	
九州・沖縄	設計	講習会場 空調できていない	午後は暑かった。	
九州・沖縄	その他	講習会場 空調できていない	寒かった。	
北海道	現場管理	講習会場 マイク無し、不調	マイクの声が聞きづらいことがあった。	15
北海道	設計	講習会場 マイク無し、不調	マイク用のスピーカーが後にない為、聞き取りづらかった	
北海道	設計	講習会場 マイク無し、不調	声が届きとりにくかったので、マイクやモニターの調整をきちんとしてほしい。	
北海道	その他	講習会場 マイク無し、不調	講師のマイクの声が聞きづらいときがあった。	
東北	現場管理	講習会場 マイク無し、不調	マイク音がわかれて、ききとりにくいところが一部あった	
東北	その他	講習会場 マイク無し、不調	マイクの音質が悪い。	
関東	設計	講習会場 マイク無し、不調	マイクが遠いのでは！！ピンマイクが良いと思います	
関東	設計	講習会場 マイク無し、不調	マイクが遠く、声がかぐもっていて聴きとりにくい。	
関東	設計	講習会場 マイク無し、不調	講師の声がききづらい。マイク？	
中部	設計	講習会場 マイク無し、不調	マイクを上手に使うして下さい。音量が一定になるように。	
中部	設計	講習会場 マイク無し、不調	聞き取りにくいので音響設備が整った会場が良い。	
中国	施工	講習会場 マイク無し、不調	演者の方の声がききとりにくい、マイクを使われたら？	
中国	設計	講習会場 マイク無し、不調	マイクの声が聞き取りにくい。	
四国	現場管理	講習会場 マイク無し、不調	音響されるくらいです。	

四国	設計	講習会場 マイク配、不調	・マイク、スピーカーの音質不明瞭、大変、聞き取りにくい。		
東北	設計	講習会場 暗い	会場暗すぎ。	7	講習会場 暗い
東北	設計	講習会場 暗い	今回の会場の音響が悪く説明が聞き取りにくい。		
東北	設計	講習会場 暗い	照明が暗い		
東北	設計	講習会場 暗い	照明が暗い。ビックバレットあたりで催して欲しい。(県南からは遠い)		
東北	設計	講習会場 暗い	照明が暗くてつらかった		
東北	その他	講習会場 暗い	・照明暗い(夕方)		
関東	設計	講習会場 暗い	会場の照明が暗い。		
関東	設計	講習会場 受付段取り悪い	受付をスマートにやってほしい、事前振込とかで、当日受付は金額の確認及び不足分徴収としてほしい。 人手不足はやむを得ないの。		
北陸	設計	講習会場 受付段取り悪い	座席が指定されているとは知らず、間違ったところに座ってしまっていた。もう少し分かりやすくしてほしい。		
北陸	設計	講習会場 受付段取り悪い	座席表、始めに資料くれる際に見たかった。席ついてから入っていることを言われても役に立たないのでは？席に番号あったらスムーズだった。		
中部	その他	講習会場 受付段取り悪い	受付時間を開演30分前にすべきた		
近畿	設計	講習会場 受付段取り悪い	受付手順が非常にマズイ。受付開始から50分以上かかっている。予定開始時刻より遅れとなってしまった。 受付体制、受付の仕方をシュミレーションしておくべき。	8	講習会場 受付段取り 悪い
近畿	設計	講習会場 受付段取り悪い	受付に時間がかりすぎている。方法の御一考を。		
近畿	設計	講習会場 受付段取り悪い	受付に問題有。講習内容はわかりやすかった。		
近畿	設計	講習会場 受付段取り悪い	受付の段取りが悪い(スタート30分遅れました)		
北海道	現場管理	講習会場 その他不評	できれば前の方に座りたかった(目が悪いので)		
北海道	その他	講習会場 その他不評	開催時間をもう少し遅くしてもらったら日帰が可能になる		
東北	設計	講習会場 その他不評	会場に時計がほしかったです。		
関東	設計	講習会場 その他不評	・1F入口で、何階で開催しているか案内がほしかった。11Fか12Fか、わからなかった。		
関東	設計	講習会場 その他不評	会場までの案内がわかりにくかった		
関東	設計	講習会場 その他不評	時間割は配布してほしい。		
関東	設計	講習会場 その他不評	体調がかなり悪い方は、申し訳ないですが、退席していただく等しないと、今の季節少しつらいです。		
中部	設計	講習会場 その他不評	空調の音が大きく講師の音が聞きにくかった。		
中部	設計	講習会場 その他不評	審査時間を教えて欲しい。		
近畿	設計	講習会場 その他不評	事ム局の方のアナウンスの滑舌が少しわるかった。		
中国	設計	講習会場 その他不評	会場が判りにくかった。表示に気づかない。		
九州・沖縄	現場管理	講習会場 その他不評	眠たくならないように工夫お願いしたいです。		
九州・沖縄	設計	講習会場 その他不評	受付がわかりにくく、この講習というパンフレットは、机の下じゃなくて、ホワイトボードの目の高さに貼ってほしかったです。		
九州・沖縄	設計	講習会場 その他不評	会場がタバコくさかったです。		
関東	その他	講習会場 好評	会場も前回と同じであったが、アクセス、施設設備共に大変良い。	1	講習会場 好評
北陸	設計	講習会運営 その他	修了証が、今後、何の為に必要となるか知りたい。	3	講習会運営 その他
北陸	その他	講習会運営 その他	修了証は、合格してから申込みした方がいいのではないのでしょうか？		
九州・沖縄	現場管理	講習会運営 その他	完了証書の3ヶ月発行は長すぎると思います(CARD)。		

要望・意見などー講師について

175

地域	職種	項目	記述内容	数	項目
北海道	現場管理	講師の話し方 不評	斉藤氏(聞きづらい)	75	講師の話し方 不評
北海道	現場管理	講師の話し方 不評	講師の説明が聞き取りにくい。		
北海道	現場管理	講師の話し方 不評	講師の声が小さい、聴きづらかった。		
北海道	現場管理	講師の話し方 不評	声が聞き取りにくいです。(講師の方の)		
北海道	設計	講師の話し方 不評	講師の方の声が小さい		
北海道	設計	講師の話し方 不評	講師の話しが聞きづらい、声にメリハリが無くて理解しにくい。		
北海道	設計	講師の話し方 不評	声が小さい。(聞きにくい。)		
北海道	設計	講師の話し方 不評	奈良講師の声が聞こえない、何いつているかわからない		
北海道	設計	講師の話し方 不評	聞き取りにくい。		
北海道	設計	講師の話し方 不評	聞き取りづらい		
北海道	その他	講師の話し方 不評	モソモソ話されて聞きとれない		
北海道	その他	講師の話し方 不評	講師の声がぐぐもり、ハッキリ聞こえない。		
東北	現場管理	講師の話し方 不評	声が聞き取りづらかった		
東北	設計	講師の話し方 不評	笑いながら説明するな堀内シンボジウムじゃねーぞ		
東北	設計	講師の話し方 不評	午後の古川先生は大変むずかしい内容であるにもかかわらず先生のつぶやきを聞いている様で、残念でした。		
東北	設計	講師の話し方 不評	講師の先生の話が聞き取りづらかった。		
東北	設計	講師の話し方 不評	講師の方が、スケジュールの関係上、早口で、聞きとれない所があった。		
東北	設計	講師の話し方 不評	講師の方の声が後半小さくなっていき聞きづらくなっていた。		
東北	その他	講師の話し方 不評	・もう少し易りやすくハッキリしゃべて下さい。		
関東	施工	講師の話し方 不評	講義の声がとても大きく聞き易かった。ちよつと早口になってしまったところが残念でした。また受けたいです。 (1人目の人) P0008中央の表の中で講師は「省エネ」と説明していたが「創エネ」では？テキストが違う？		
関東	現場管理	講師の話し方 不評	他読みまちがいが多すぎる。言葉が聞き取りにくい。はっきり話してください。 テキストと正確表のページ数が異なるところがある。		
関東	現場管理	講師の話し方 不評	・AM部、説明が早口でききとれずらかった。		
関東	現場管理	講師の話し方 不評	講師の声が、聞き取りにくかった。(エコーがかかって聞こえました)		
関東	現場管理	講師の話し方 不評	読み間違いが目立った。		
関東	設計	講師の話し方 不評	言い違いが何度かあって気になった。		
関東	設計	講師の話し方 不評	午後の講師の話し方、もう少しゆっくりとして欲しい。 「前に戻って…」と言うより「～ページのどこそこへ戻って」と具体的に言って欲しい。		
関東	設計	講師の話し方 不評	午前の担当の方の活舌が悪くてほとんど聞きとれませんでした。 お金を払っているので分かりやすく喋ってください。		
関東	設計	講師の話し方 不評	午前中の講師の方の話し方がとても聞き取りづらく、わかりにくかったです。		
関東	設計	講師の話し方 不評	午前中の講師の方は、声もぐもり、発音も不明瞭でききづらかったです。		
関東	設計	講師の話し方 不評	講師のおひとりの方のお話は少し聞き取りにくく、内容もわかりにくかったです。 タイムスケジュールは変更することなく進めて頂きたいです。		
関東	設計	講師の話し方 不評	講師の言葉が聞き取りにくい。		
関東	設計	講師の話し方 不評	講師の説明のスピードについていけなかった。		
関東	設計	講師の話し方 不評	講師の方の声が聞き取りづらかった部分がありました。		
関東	設計	講師の話し方 不評	講師を選ばずべき。声が聞きづらい。		
関東	設計	講師の話し方 不評	声が小さく聞きにくかった		
関東	設計	講師の話し方 不評	声が聞き取りづらい		
関東	設計	講師の話し方 不評	早口でわかりにくかったです。		
関東	設計	講師の話し方 不評	読むだけでなく一要点をもう少し声を大きくして、説明していただきたい。一聞きにくい。		
関東	その他	講師の話し方 不評	・講師の話し方で、聞きづらい面がある。(高効率をこころりつ、遮断をしゃねつ)敷設(ふせつをしきせつ) ・それぞれ、その目的が明確となるような話し方であってほしい。		

北陸	施工	講師の話し方	不評	声が小さくて、聞きとりにくい講師がいた。分かる人に講師をやって欲しい。
北陸	現場管理	講師の話し方	不評	ボンボン声と聞きづらかった。
北陸	現場管理	講師の話し方	不評	よくこえない
北陸	現場管理	講師の話し方	不評	講師ははっきりと話してほしい
北陸	設計	講師の話し方	不評	・要点を大きな声でハッキリとお知らせ下さい。
北陸	設計	講師の話し方	不評	もう少し、大きな声で説明して欲しかったです。
北陸	設計	講師の話し方	不評	もう少し声をハッキリと出していただきたい
北陸	設計	講師の話し方	不評	言葉が非常に聞き取りにくい講師がいた。声も小さく、講義にならない。講師選定をしっかりと欲しい。
北陸	設計	講師の話し方	不評	午前の「省エネ編」が聞きづらかった
北陸	設計	講師の話し方	不評	説明してくれる方の声小さくて途中分からなくなかった。
北陸	設計	講師の話し方	不評	二人目の講師の方はとても聞きづらくて困りました。何を言っているのかわかりませんでした。
北陸	その他	講師の話し方	不評	聞きとりにくい場面があったのが残念でした。ありがとうございました。
北陸	その他	講師の話し方	不評	話はハッキリと大きな声で断定して下さい。
中部	施工	講師の話し方	不評	講師先生の一名の方が滑舌が悪く、言葉が聞きとれなかった。有能な知識がもっていないと思います。
中部	現場管理	講師の話し方	不評	時間配分もあると思うので、一概には言えないがもっとゆっくり話してほしい。無駄なコメントはいらぬと思います。
中部	現場管理	講師の話し方	不評	声が小さくて聞こえない。
中部	現場管理	講師の話し方	不評	読むだけの講義の時間ほとんども苦痛です。眠くてせめて、ハキハキと声の通る講師の方をお願いしたい。
中部	設計	講師の話し方	不評	・講師の話が聞き取りにくかった。
中部	設計	講師の話し方	不評	女性の講師の話が大変聞きづらかったし分りづらかった。
中部	設計	講師の話し方	不評	声が小さい、説明する人は聞く方にもどった時はメリハリがある様な説明をしてもらいたい、学校の授業で学生がねるの、先生生徒1/2ずつ責任がある
中部	設計	講師の話し方	不評	朝の講義の方は小さな声でボンボン話、何を言っているのか判らない、いちおうという口癖が耳障りだ(午後はマイクを持ったので聞こえた)。
中部	設計	講師の話し方	不評	聞き取りにくかったです。
近畿	施工	講師の話し方	不評	(Bの人)計算説明早すぎて理解できない。
近畿	その他	講師の話し方	不評	少しゆっくり話とテキストをよく聞く人に知らせる(講師の基本)
中国	施工	講師の話し方	不評	説明の音がはっきりしないから良く分らなかつた。
中国	現場管理	講師の話し方	不評	声が聞こえにくかった。
中国	設計	講師の話し方	不評	講師は自分は理解しているので聞く側もすぐ理解できると感じがしている。ゆっくりではないにしてください
中国	設計	講師の話し方	不評	講師の声が小さい!
中国	設計	講師の話し方	不評	講師の声が聞き取りにくかった。
四国	設計	講師の話し方	不評	言葉がハッキリしている人にして欲しい。うだへ言って分かりにくい。
四国	設計	講師の話し方	不評	声のトーンがずっと同じだったので昼からは寝てしまった。
九州・沖縄	現場管理	講師の話し方	不評	もう少しゆっくり話してほしい
九州・沖縄	現場管理	講師の話し方	不評	講師の説明時の声も一定で眠くなりました。強弱をつけて話して頂きたい。
九州・沖縄	設計	講師の話し方	不評	声が聞き取りにくい。
九州・沖縄	設計	講師の話し方	不評	声聞き取りづらかった(声がこもって)
関東	設計	講師の話し方	不評	姦々保護師に至っては、語尾が聞き取りにくく、ボンボンとしゃべるため、言葉が伝わってきません
北海道	施工	講師としての質	不評	2人目の人がページ数のみを言うのでそこから話しているのかわからない。1人目の人は、大変わかりやすかった。
北海道	現場管理	講師としての質	不評	忙しい中時間を割いて出席しているのだから、講師も充分に練習をして初めてだからきついか言ってる様では困る。講師も片手間でなくしっかりとしてほしい。
東北	設計	講師としての質	不評	講師によってわかりやすさに差があった。
東北	設計	講師としての質	不評	講義を1度しか聞いていない方を講師にしないでほしい
東北	設計	講師としての質	不評	良い。講師の方で正誤正をなおしていない方がいたので注意
関東	現場管理	講師としての質	不評	・一次エネルギー等の説明する方も事前に勉強してきてほしい。
関東	現場管理	講師としての質	不評	1人の講師はまあまあもう1人はただテキスト棒読みで眠くなるだけでした。
関東	現場管理	講師としての質	不評	講師の方の説明も一生懸命ではありますが解り難く感じます。
関東	現場管理	講師としての質	不評	講師の方は、テキスト、法令、を理解されているのでしょうか?
関東	設計	講師としての質	不評	「算定」ザンテイ→サンテイ 「敷設」シキセツ→フセツ
関東	設計	講師としての質	不評	・講師の滑舌が良くない、語尾等が聞きとれない部分多数 ・講師の理解度が不足してはいないか?
関東	設計	講師としての質	不評	・声が小さい ・ページをまちがえる
関東	設計	講師としての質	不評	・時間あまらせる様ならもっと説明してほしい。特にAM中 ・アンダーラインを読んでほしい
関東	設計	講師としての質	不評	・廿日出講師は講演になっていない。ミスキャスト!! ・相手に解るような説明をしてもらいたい。全く配慮ない ・カダさんは慣れておられるのか非常にわかりやすかった。対して、カダさんは慣れた問題かと思われるが、少しわかりづらかった。カダさんのログセの「みなさんは既に御存知だと思いますが…」が少し気になった。細かいことですみません。
関東	設計	講師としての質	不評	講師が理解していないのはおかしい。本当に必要か考えるべき。何を優先すべきか
関東	設計	講師としての質	不評	テキストの読み間違いが多い。午後の方は良かった。
関東	設計	講師としての質	不評	また講師の話し方も説明不足が多すぎて、テキストとは別に講義内容だけ別紙にまとめて、それを読んだ方が理解できると思った。とにかくボンボンしゃべって聞き取れません!!
関東	設計	講師としての質	不評	演習内容を理解していない講師は講師とは言えないのでは?受講者としては非常に不快です。
関東	設計	講師としての質	不評	午後の講師が、ページ数が違うとあり混乱した。
関東	設計	講師としての質	不評	午前の講師は何をしゃべっているのか全然わからない。カズ舌の悪さ、どる等はしかたないが、ゆっくりわかりやすくしゃべるなどの努力が感じられない講師として不適合。時間とお金を返して下さい。 「タシコンデ」って何語ですか?方言?午後の講師も指示するページ数と話している内容が合っていない。とてもストレスがたまる内容でした。ひとりよがりて話をするな。配付されたテキストと違うもので話すな →総じて素人を人前に出してはいかんですよ
関東	設計	講師としての質	不評	講師の資質に差がありすぎる。一人の講師は時間配分が出来ず、下ばかり向いて本を読んでいる模様。
関東	設計	講師としての質	不評	講師の方により教え方に差がありすぎて困りました。外塚講師は大変わかりやすかったですが廿日出講師はともわかりにくくて困りました。正直これでは理解する不可能だと思います。 わかりやすい講師の方によるビデオ講義の方がぶれがなく良いのではないのでしょうか。
関東	設計	講師としての質	不評	講師の方により説明にバラつきがあった。演習の解説がわかりにくかった。
関東	設計	講師としての質	不評	講師の方の用語の言い誤りが気になった(特に計算に用いる記号)。
関東	設計	講師としての質	不評	講師の方は、もう少し勉強してから来てほしい。
関東	設計	講師としての質	不評	講師の方は、外皮計算をした事があるのでしょうか?テキストを読むだけでなく、ポイントを話してほしい。(一人の方だけです)
関東	設計	講師としての質	不評	講師の方はテキストを読み上げるだけでなく要点の解説をして頂けるとありがたいです。
関東	設計	講師としての質	不評	講師の方はテキストを読むばかりで時間内に読みきれず、要点をまとめて解説してくれなかつた。
関東	設計	講師としての質	不評	講師の方は事前にテキストを見ていないのでしょうか?とてもわかりにくい講習会でした。 重要な内容なのに、とても残念です。
関東	設計	講師としての質	不評	前半の先生は分り難かったが、後半の先生はとても分り易く、知りたいポイントを教えてくれて良かった
関東	その他	講師としての質	不評	外塚講師はポイントを絞ったわかりやすい説明でした。廿日出講師は、声も小さく説明もテキストの棒読み、又、どの部分を説明しているかわからず、残念でした。もう少しわかりやすい説明を期待します。 又、事前に説明準備をしておいて頂きたい。
関東	その他	講師としての質	不評	外塚講師はわかりやすかったが、廿日出講師はわかりにくかった。(ポイント不明、声が小さい、棒読み)
関東	その他	講師としての質	不評	申し訳ないが講師の選定に問題あるかと思えます。
北陸	施工	講師としての質	不評	講師がへたくそでした。もっと勉強してきて下さい。ボランティアですか?
北陸	施工	講師としての質	不評	講師の差が大きかった
北陸	現場管理	講師としての質	不評	10:00~12:00の講師が、なんとかしてほしい、自信なさそう。
北陸	現場管理	講師としての質	不評	講師ももっと勉強してから話した方がいい。さっぱりわからない。
北陸	設計	講師としての質	不評	キチンとした講師を選任してほしい。
北陸	設計	講師としての質	不評	もっとよく練習してからお願いします
北陸	設計	講師としての質	不評	漢字の読み方をしっかりとして下さい。どこを読んでいるのか見失います
北陸	設計	講師としての質	不評	講師2人共テキストを読むだけ、教える感じではなかつた。今後の事を考えるならもっと分りやすくしてほしかった。
北陸	設計	講師としての質	不評	講師によってわかりづら。内容が難しかった。
北陸	設計	講師としての質	不評	講師の人選には気配りをお願いしたい。内容を熟知している人、慣れている人 (わかりやすく要点をきちんと説明できる人)
北陸	設計	講師としての質	不評	講師の方が、まだ内容を熟知していらないように感じました。短山時間(中)で「わかりたい」という受講者に対して、もう少し、かみくだいてから、教えて頂けると、より、分りやすかつたと思います。
北陸	設計	講師としての質	不評	講師の方は、テキストを読むだけでなくポイント要点を説明して欲しい。
北陸	設計	講師としての質	不評	講師の方は、事前に練習しておいてほしい。資料配布の方が良かった。

65 講師としての質
不評

北陸	設計	講師としての質	不評	省エネ基準編1章・2章の説明が最悪。		
北陸	設計	講師としての質	不評	省エネ基準編講師が内容を理解していない様です。150人以上集めてやっている内容です。必要だと思って参加している方が多いと思いますので講義内容をもっとじゅうぶんにすれば…		
北陸	設計	講師としての質	不評	本編(省エネ基準編)の講師の方の説明が非常に解かりにくかった。人選を考えた方がよいと思います。		
中部	現場管理	講師としての質	不評	後半の講師が良い、前半の講師は良くない。		
中部	設計	講師としての質	不評	「敷設」の読みはふせつどと思います		
中部	設計	講師としての質	不評	ただテキストを読み上げるだけの講習なら必要ない。もう少しまともな講師を用意していただきたい。		
中部	設計	講師としての質	不評	テキスト構読み、小さい声でボソボソと何を言っているのか聞きとりにくい、早口でついていけない等、講師の説明方法に疑問を感じた。		
中部	設計	講師としての質	不評	後半の講習は非常に分りづらかった、テキストを読んでいるだけなので、それならば自分で読んでの方が分り易いのではないかと、男性の講師の方は非常に分りやすいので、全てこちらの先生に講義をしていただいた方が良かった。		
中部	設計	講師としての質	不評	講師がH25省エネ改正を理解していると思えない。「ここわからない、苦手…」といった説明は困惑する。		
中部	設計	講師としての質	不評	講師の方の話しレベルが重すぎる。		
中部	設計	講師としての質	不評	講習内容の説明悪すぎ、さっぱりわかりませんでした。ビデオにとって見直して下さい、最悪です。		
中部	設計	講師としての質	不評	女性の講師はペースが早すぎる、初心者に教える気はあるのか。		
近畿	設計	講師としての質	不評	講師Aの方の説明は、話をおもしろくするためだとは思いますがテキストに対して時おり否定的な発言があり受講者としては辛かったです。		
近畿	設計	講師としての質	不評	講師の話の内容が順序立てて不足の感有。もう少しなればOKと思うが。		
近畿	設計	講師としての質	不評	最初の講師の説明が特に分り難かった、今どこを説明しているのか分からない、間を取りにくいもつとはっきり話せる人にして欲しい。		
中国	設計	講師としての質	不評	2人目の先生がわかりにくかった。		
中国	設計	講師としての質	不評	内容が広範囲にわたっているが、講習時間及び講師の力量(習熟度)の不足が感じられた。		
九州・沖縄	現場管理	講師としての質	不評	小柄の方の説明の仕方は、分りにくいと思います。ホワイトボードを用意したり、流れが分かる工夫をされてはどうでしょうか？伝え方とか話し方とか、色んな意味で今後改善されるべきだと思います。(今までの低炭素で一番分りにくい)もうお一方の説明はとても話が建設的で分りやすい。		
九州・沖縄	設計	講師としての質	不評	福岡で受ければよかった。会場、講師陣等の対応などを考えると…テキストは良くできているみたいだが…WEBプロを見ていないって…		
北海道	現場管理	講師の進行	不評	講師の説明が、どのページを説明しているのかわからない。(ページをあらかじめ渡っていて何を説明しているのかわからない。)	13	講師の進行 不評
東北	その他	講師の進行	不評	スピードが早くて、ついて行くのが大変でした。		
関東	設計	講師の進行	不評	解答記入欄の指示はもっとハッキリ(前に書く等…)して頂けると助かります。		
関東	設計	講師の進行	不評	早目に終了しようとしてくれるのは良い。延長は困るので。		
関東	設計	講師の進行	不評	講師の方の説明がかなり急ぎ足だった		
関東	設計	講師の進行	不評	時々、ご説明されているページ・行がわからなくなった部分がありました。		
関東	その他	講師の進行	不評	ページ数のアナウンスと、その都度頂きたかったです。とても良い勉強になりました。ありがとうございました。		
北陸	設計	講師の進行	不評	午前中、時間を超過しないように気を付けてほしい。無駄な話が多い。		
北陸	設計	講師の進行	不評	計画編の時間が延長したため、他の時間が少なくなりました。		
近畿	施工	講師の進行	不評	講師の話しが早くてとてもわかりにくかった。説明が早くてついていけない・計算等が分からない早すぎる		
近畿	現場管理	講師の進行	不評	A氏、B氏共に		
近畿	現場管理	講師の進行	不評	後半の説明が走りすぎかな。		
近畿	現場管理	講師の進行	不評	2. 始まる時刻を講師は守って欲しい。昼食時時間がないのは授業者も同じ。		
中国	設計	講師の進行	不評	ページが変わって次の説明をするときは「次」ではなく「次ページ」やページ数を言わなければ次の項目が次ページかわからなく、探している内に話が進む。		
九州・沖縄	設計	講師の進行	不評	全体のどの部分を説明しているのか、分りづらかった。		
北海道	その他	講師	好評	三浦先生、奈良先生ともよく理解できました。もう少し長い時間でもよいと思います。有難うございました。	21	講師 好評
東北	現場管理	講師	好評	講師が分りやすかった。		
東北	その他	講師	好評	講師の方の説明も大変わかりやすかったです。		
東北	その他	講師	好評	お二人程講師の方がいらっしゃいましたが、省エネ基準についてご説明は分りやすかったです。		
関東	現場管理	講師	好評	講師:加藤氏、非常に良かったです。		
関東	現場管理	講師	好評	講師の話は聞き取り易かったと感じ取りました。		
関東	設計	講師	好評	2人目の先生がわかり易かった。		
関東	設計	講師	好評	講師の2方共にわかりやすい説明でした。有益な講習会に出席できて、感謝しています。どうも、ありがとうございました。		
関東	設計	講師	好評	神田講師の臨機応変な対応は見事でした。		
関東	設計	講師	好評	長い時間で少々疲れたが、効率よくまとめて全体の話がきけたのでよかったです。講師の説明も要点がわかりやすかったです。		
関東	設計	講師	好評	高講師共限られた時間内で本当に良くご説明下さい、ありがとうございました。		
関東	その他	講師	好評	先生の説明がとても分りやすかったです。		
北陸	設計	講師	好評	司会の方の説明は、分り易かった。		
中部	現場管理	講師	好評	最後に解答の解説をくださった先生が分りやすかった。		
近畿	設計	講師	好評	講師Aさんがとてもわかりやすかったです。業務に役立てようと思います。		
近畿	設計	講師	好評	内容が多いのに、ていねいに解説されていた。		
中国	設計	講師	好評	講師の先生方が実に解りやすく明確に教えて下さったので知識が身につきました。		
中国	設計	講師	好評	今回の講師の様に事例等の話もあればイメージしやすく、分り易いと思います。		
中国	設計	講師	好評	非常に丁寧な講師の説明で大変勉強になりました。		
九州・沖縄	現場管理	講師	好評	講師の方々は、よく勉強されていたと思われます。省エネ法が、細分化されたのがよく理解された。		
九州・沖縄	設計	講師	好評	講師がていねいに教えてくれたので、よかったです。ご苦労様でした。又、他の人の為にもこのような講習会をしてほしいです！		
東北	設計	講師	その他	演習の時に係の人が解答が合っているかチェックしてくれました。ありがたかったです。アドバイスが「単位、小数点確認して」と言われましたが、そのアドバイスは間違っていました。小数点ではなく、資料の表を違う方をみていたからでした。ありがたいですが、ちょっと混乱してしまいました。	1	講師 その他

要望・意見などー受講中の態度・マナーについて

地域	職種	項目	記述内容	数	項目
中部	設計	態度・マナー 講師	審査中は静かにして欲しい、講師が私語を謹んでもらいたい。	2	態度・マナー 講師
中国	設計	態度・マナー 講師	省エネ基準編を説明された講師の説明が良くなかった。 テキスト読みながら考えたり、ケイタイを操作したり、おかしくないか？	9	態度・マナー スタッフ
関東	現場管理	態度・マナー スタッフ	事務局のテーブルが受講者の真横に有り、書類の出し入れや金勘定した事務員同士の話し声などがひんばんに聞こえ、講義の妨げとなり、気が散った。事務局は後ろに移動した方がよい。		
関東	設計	態度・マナー スタッフ	後ろの席の偉い人がうるさかった。		
関東	設計	態度・マナー スタッフ	最後列の老人(いる必要が無い係員)がうるさい、なぜあれを止められないのか。		
北陸	設計	態度・マナー スタッフ	スタッフの方が講習中はなしていでうるさかった。審査中も話してうるさかった。(註:設計C1/17新潟)		
北陸	設計	態度・マナー スタッフ	講習中にスタッフの会話がうるさかった。審査中も。(註:設計C1/17新潟)		
近畿	設計	態度・マナー スタッフ	後ろにすわる「事務局」がうるさく集中できない。		
中国	設計	態度・マナー スタッフ	運営者、受講者とも私語をなくして欲しい。		
中国	設計	態度・マナー スタッフ	会場うしろにいる係りの人たちが(?)が出だし30分くらいで他の参加者が注意するまでずっとしゃべってて、講義がかなり聞きづらく集中できなかった。これはあってはならないことだと思う。(註:設計C12/11広島)		
四国	設計	態度・マナー スタッフ	受講者には私語禁止しておきながら、事務局の女性は私語OKですか！？		
中部	設計	態度・マナー 受講者	審査の間受講生のおじさんがうしろでしゃべってうるさかった。なぜ？(註:設計C2/6静岡)	6	態度・マナー 受講者
近畿	設計	態度・マナー 受講者	私語がたえなかった。会場内での携帯使用は不快。注意して下さい。(註:設計C2/6大阪)		
近畿	設計	態度・マナー 受講者	修了審査の時に、隣人とおしゃべりしながら審査を受けていた人が数人(5~6)いたが事務局の立合人は注意していない。非常に不愉快である(註:設計C2/19大阪)		
中国	設計	態度・マナー 受講者	運営者、受講者とも私語をなくして欲しい。		

中国	設計	態度・マナー 受講者	考査を話し合いながらやっている人はアウトでしょう！（註：設計C12/11広島）	
中国	設計	態度・マナー 受講者	講習中の私語、考査中の私語が多かった。定期講習時のような緊張感がなかったように思います。	

要望・意見など一省エネ施工への理解を求めたい対象について

2

地域	職種	項目	記述内容	数	項目
中部	現場管理	大工、職人	勉強になりました、現場施工者(大工)レベルまで広がっていくと、より良い断熱住宅が出来ると思います。	1	大工、職人
関東	その他	建主	施主が、実際に住み始めると、想定外に設備の導入や、使用のされかたが起きるが、設計どりの運用がされない場合は、省エネ効果が期待出来ない。設備使用に関して、業者だけでは、目的とする省エネにならないと思われるので消費者全てに周知する必要があります。	1	建主

要望・意見など一制度、特定の工法・材料について

59

地域	職種	項目	記述内容	数	項目
北海道	設計	省エネ施策	一般社団法人なるものが多い(税金が投入されている事があるので)コンパクトにして、一本化までではなくても、少なくとも講習料等を、一般技術者に負担にならない様にすべきと思う。実際に施工している技術者の向上につながる。受講料が高く種類が多いので技術者の負担が大きい。	43	省エネ施策への批判的意見
東北	設計	省エネ施策	近年、設計士の業務内容が多くなり負担が増す中、この様な手法ではより多くの負担になると思います。制度の意味合いや必要性は理解出来ますが、あまりに手順が複雑です。手間が増えた分、施主等に請求出来るとは到底思えません。長期優良制度は駄目なんでしょうか？又、性能表示等と同じ様に実際の運用が少ないという風にならないでしょうか？トレードオフが使えないと和室が難しくなり、又、自由な設計が差し障りがあると考えます。以上		
東北	設計	省エネ施策	今後、省エネは増々重要になって行くでしょう。年をとるばかりで、面倒な事ばかり増えて、対処出来そうにありません。		
関東	現場管理	省エネ施策	今後ストック型住宅が増加すると言われている昨今、既存住宅への具体的な対策等も必要と思われる。		
関東	設計	省エネ施策	・遅かったと思う。もっと速くに行うべきだった。特に換気についてはあいまいである。 ・国のほうがもっと主となって行うべきと考える。		
関東	設計	省エネ施策	CASBEE戸建との整合性がないように思われた。国交省の事業であるなら、CASBEEとの整合性を考えて進めるべきだと思う。紙割りの行政の好ましくない面が表れているのではないかと感じた。		
関東	設計	省エネ施策	さほど難しいとは思わないが同様の事項を何度も行い結果を出すために手間と人手が大きい。		
関東	設計	省エネ施策	開口部、仕上げはさまざまに為らうし簡単にならないか。		
関東	設計	省エネ施策	なぜこんなに省エネが必要なのか好きな形の住宅に住めなくなってしまう		
関東	設計	省エネ施策	もともと室内空気(化学物質についても数値化するべき)も検討することが環境だけで無く健康も考えるべき!		
関東	設計	省エネ施策	義務化してまでやるべきものではないと思う。家全面に断熱材を入られる建主ばかりではないので、法律である必要はない。		
関東	設計	省エネ施策	建物の安全性は、べつとして施主みんながベンツ(車)に乗りたいと思っているわけではないと思う。		
関東	設計	省エネ施策	実際にこれほど細かい計算が必要かどうか少し疑問に思います		
関東	その他	省エネ施策	25年10月1日施工の省エネ基準のレベルの低さにおどろきました。この制度は税金のむだ使いです。世界の基準からして本気で省エネするぞという哲学が感じられなく残念です。		
北陸	設計	省エネ施策	省エネのみを考えた住宅であればこれと思うが換気(機械)による室内空気を考えた住宅ができれば、人間にとって住み良い住宅に近づくといい。		
北陸	設計	省エネ施策	省エネは認識、実施は自由だが強制には問題がある。		
北陸	設計	省エネ施策	正しい施工法の徹底(講習会とは関係ありませんが)		
中部	現場管理	省エネ施策	今後の業務にかなり影響がでると思う。消費税が上がって大変になるのに国はいいい何を考えているのか		
中部	設計	省エネ施策	これ程、徹に入り、細に入って各部位、各条件、どこから出されてきたか各基準値、これらを加減乗除して算出された数値が、一体協議会の安心にどれだけ役に立つだろうか。住宅の利用状況によって無意味にならないか？		
中部	設計	省エネ施策	例えば施主がお金がない場合、この数値をクリアできる仕様が出来てない場合、家を建てられるのでしょうか？では今まででなかったんですか？		
中部	設計	省エネ施策	低炭素社会に向けて、規制がかけられていくが、誰もが等しく住環境を得られる様にしなければならないと思う。省エネ住宅の為に上がった建設コストを負担するのかわりに「住まいは人権」ならば策として保障する制度が必要ではないか。		
中部	設計	省エネ施策	テキストにもCO2による地球温暖化とありますがCO2が原因では無い様に思われます。というよりCO2が原因とは証明できていないです。IPCCがCO2が温暖化させている根拠となったデータを捏造していましたよ、建築とはあまり関係ない話かもですがまあ金儲けの為の壮大な嘘だと思います。		
中部	設計	省エネ施策	壁のPBを梁まで貼り上げるなど施工法を徹底し計算を選択式にして面積のみ入力で自動計算できるくらいにしないと大変で正しく普及しないのでは。		
中部	その他	省エネ施策	今日改正省エネ法によりCO2削減により一次エネルギー消費量が考慮されたが、断熱の性能としてはH11と変わりありません。省エネの3政策の優先順位を明確にすること(建物断熱性能が第一)また再生エネルギー活用は省エネ評価に含めず別で考えるべき、機械を使って体外的にCO2削減目標を達成ではなく資源の枯渇、価格の高騰を考えると住まい手にとってはどうかと思います。省エネに関する基準について、省エネ先進国ドイツは約20年ほど進んでおりH25基準の約3倍の性能でない建物では建てられません、国と大手メーカー、ガス、電力会社との関係者が強いのでこの根本的体質は変わりません、蓄熱、放射熱、施工精度、近隣建物も考慮されたISO13790を活用すべきと思います。		
中部	その他	省エネ施策	木と土と紙を使い四季を味わう家づくりをしてきました、木を使うことで森林のCO2の蓄積を計ろうとしてきました、工場にて生産される断熱材、設備機器に頼っているのは100年後に価値を持った古民家は造れないと思います、省エネ住宅が義務化されるのは何故ですか、施主の希望により選択の余地を残して頂きたいと思っています。		
近畿	設計	省エネ施策	・講義はわかり易かったが計算そのものが複雑でシステムを組まないと本来の設計業務に支障が出ると思った。特に小規模の設計事務所、工務店は無理。		
近畿	設計	省エネ施策	一人親方が末端の一人で業務をしておられる設計士にまで国交省が受講させることができるのか？疑問視しています。確認申請が益々書類が増え大変です。		
近畿	設計	省エネ施策	解説中に行政間によって面積や考え方に相違があるので、それに従うようにこの事であったが、出来る限りにおいて行政間で統一をして頂けると業務として取り組みやすいと考えます。		
近畿	設計	省エネ施策	省エネ基準の理解が深まったことほどでも有意義でした。ただこの方法を戸建の木造住宅に義務付けすることでかかる手間のことを考えるともっとも簡略化してほしいと思ひますし、そうあるべきだと考えます。計算上細かく確かめることよりも断熱材の入れ方指導の徹底ぐらいでもいいのではないのでしょうか。		
近畿	設計	省エネ施策	他の講習会と同じ事なので必要ないと思う、もっと専門的な講習会を受けているので特に思ひました、また仕事で申請している為。		
近畿	その他	省エネ施策	設計士にも補助金制度があれば長期優良省エネ住宅も進むと思います。もっと簡素化して欲しい。ハウスメーカーと2極化してきている。サッシ、ガラス、建材屋で頑張っている所もある。木材や設計かも頑張らねば。		
中国	施工	省エネ施策	省エネに関する話題は多く、基準の変更については高い関心を持っている。またエネルギーの有効活用についてより高い関心が持てるような講習会の開催を期待します。		
中国	設計	省エネ施策	・省エネの重要性は十分に理解できます。但し品質を一定内に納める為に建築をつくるというより選ぶことに重きを置くカタログ建築になる印象があります。現代は建築文化の意識が薄れているのかもしれない。		
中国	設計	省エネ施策	意味分からん(無意味)		
中国	設計	省エネ施策	こんなにむずかしくなくて良い。田舎(山の中)では建てるなどということになる！		
中国	設計	省エネ施策	熱の量が体感的に感じ取れそう。ワットはわかりにくい。		
中国	その他	省エネ施策	講習会の内容ではないが、省エネの届出は民間確認検査機関でも届出できるようにして頂きたい。又、現場検査がないので実効性に欠けると思う。		
四国	施工	省エネ施策	基本的に基準値が変わる話なので「今までも「熱量計算」をした事がある方達には決して難しい内容ではありませんが、この講習会で初めて「熱量計算」に触れ合う事人には計算の手順は勿論ですが、何故？基準が変わったのか説明が必要でしょうね。		
四国	設計	省エネ施策	地域ごとにたまかな努力目標、仕様規定を設ける程度とし、複雑な計算などは無くす方がよいのではないかと、思ひます、仕事量が増えて設計に充当する時間を減らした自由度を減らしてしまうのではないかと、思ひます、設計作業は申請ギリギリまでプランが確定しないことがありこうした規定を設けるのは設計を分っていない人が作るためと思ひます。		
九州・沖縄	施工	省エネ施策	一次エネルギーを考へるのであれば一辺倒な省エネ基準ではなく建築主の考へ方も含め生産エネルギー、住まい方、廃棄エネルギー等も考へすべきだと思います。本当の意味の低炭素住宅とは何かを考へるべきである。		
九州・沖縄	設計	省エネ施策	この方法では、省エネにはならぬ。組立てが間違っている。住宅の規模小さく天井高を低くする。一人あたりの熱量を計算する方法、ガマンする方法が有効。木造に白アリ対策が最重要だが、ここには、まったく対策がない。		

九州・沖縄	設計	省エネ施策	計算による省エネルギーよりも地域による各仕様規定の方が普及しやすいと思う、暑い寒い感覚は個人差が大きいし、人間のその時の状況(体むとかが動くとか勉強中とか)に大きく左右されると思うので！老若男女赤ちゃんとまで全ての人に合う適温度管理はありえないと思う。	
九州・沖縄	設計	省エネ施策	実務に反映させるには無理のある内要。	
九州・沖縄	設計	省エネ施策	省エネ法は必要なのでしょうか、今の住宅は十分に省エネ適合しています、必要ないと思います。	
関東	設計	高気密・高断熱	一律高気密高断熱という考えはおかしい	2
中部	設計	高気密・高断熱	国交省の進める住宅の省エネ化により高気密・高断熱住宅がたくさん作られる時代となったがそれによりエアコン等に銅管腐食(アリの巣腐食)が発生し故障となるケースが目立って来た。緊急対策を検討いただきたい！技術規準の内容が暖房方式に依る違いについての対応が不十分と思われます。	4
東北	設計	地域性	基本的にエアコン(ヒートポンプ)での省エネ規準であり、東北、北海道の地域性を考慮してもらいたいと思います。現在は熱材の厚さのみと思われます。	
関東	施工	地域性	簡易計算はよければ話がややこしくなるのでやめたほうが良いと思う。これは地域区分がデグリーデーをきじゅんでわけているからだと思います。地域区分には最低気温平均もこりよると良いと思います。秩父は今朝もマイナス10℃ハウスメーカーの住宅でさえ内部結露おきているものもあります。地域にあった講習が必要です。防湿の納まりの講習をしないとだめなのではないでしょうか？基準をクリアするための断熱を厚くいいかげんに防湿を敷いただけでは内部結露の事故がおこります。その辺の講習が重要だと思います。施工者研修もレベルが低すぎでやばいと思います。	
北陸	設計	地域性	設計業界の有力者を含めて、20年前の話から、25年度省エネ基準の概略説明では時間のむだ。各地方の気候をふまえた、外皮内容や(日射量)、省エネ技法を加えた講習を希望します。	
中国	設計	地域性	時間に追われて、細かい所は消化不良でした。今後テキストを見ながら実演することが大切でしょうか。実際には現場のむづかしい所が納まり上いろいろあると思います。地域によっても、かなり許容範囲が異なるように思います。	
関東	設計	伝統工法	伝統工法はどうなるのか？	1
東北	設計	特定の工法・材料	電気式地下高熱暖房(サーマスラブ)は1次Eの計算で暖房方式はどの様にすれば良いのでしょうか。	9
中部	設計	特定の工法・材料	サーマスラブ床暖房の計算方法を教えてください	
中部	設計	特定の工法・材料	一般的な構成の時ではない時の事も考えて欲しいと思いました	
中部	設計	特定の工法・材料	外壁の断熱材に吹付け硬質ウレタンフォームを使用した場合において、1cm以上の空気層が当該断熱材と室内側仕上下時下地(PB等)であれば、密閉空気層として加算できますか。(吹付ウレタンは外気側の構造用合板等に吹付します)	
中部	設計	特定の工法・材料	具体的に断熱材の組み合わせ等(天井・壁・床)を教えてください。断熱材を教えてください。断熱材が普及していき迷うことも多いので。	
近畿	設計	特定の工法・材料	多くのパラメーターを使って詳細な計算が求められますが比熱に関して検討しないのは何故ですか、遮熱塗料を塗料とした場合数値に考慮することはできませんか、熱伝導計算がほとんどですが温熱環境には熱放射を考慮する方が重要ではないでしょうか、それを考慮しないで断熱が思った程かからないという感覚があるのではないのでしょうか。	
近畿	設計	特定の工法・材料	日本は未だ断熱に頼っているが断熱材は言い換えれば「熱伝導率型熱吸収材」であり、ゆっくり熱を伝える材料である。遮熱材を早く認めるべきである。熱移動の3原則のうち熱伝導だけしか検討しない断熱は片手落ち、時代遅れとしか言いようがない。グラスウール協会との癒着を断って本当に省エネと快適を国民に伝えるべきではないでしょうか？	
中国	施工	特定の工法・材料	細部の事は本にあるので、大まかな流れの説明。国交省の方向性などを、説明してほしい。例えば、遮熱材料は何故評価に入らないのかとか。	
九州・沖縄	設計	特定の工法・材料	・電気温水器やエス給湯を利用した時の説明も知りたい ・温泉地区の温泉水を直接利用して暖房した場合(床下放熱等)はどの様に計算するのか知りたい	

受講後の感想など				82
地域	職種	項目	記述内容	数
東北	設計	今後が心配	テキストのような簡易化されたものなら、まだ分り易いですが、実際の業務に取り入れると色々問題が出てくると思います、それを解決するにはどうすれば良いのか不安があります、講習会は受けて良かったです。	3
東北	その他	今後が心配	演習問題は穴埋め問題なのででしたが、実際の現場で計算しようすると、建築図から部材や厚さなどを1から拾うことになるので、対応できるか不安です。	
関東	現場管理	今後が心配	かなり実践に促していた内容でしたので、すぐにでも申請で使ってみようと思います。基礎の外皮研算は深基礎・高基礎が混ざっている場合の分別が複雑に感じました。同様に複雑な形状で土地の形に合わせた建物などでは計算の手間が大変に掛かってしまいそうで、都心部では苦労しそうです。	
北海道	現場管理	その他	技術的(施工的)な内容が、もっと有れば良いと思いました。	79
北海道	その他	その他	慣れるまでは、ややこしいですね。	
東北	現場管理	その他	講習を受ける前に事前に予備知識が必要と思った。	
東北	現場管理	その他	方法的なやり方などいろいろ手探りでやっていた部分が明確になってよかったですと思っています。	
東北	設計	その他	・計算が実際やるとなると最初の条件をまとめるにあたり、時間がかかると感じた。	
東北	設計	その他	・実務には少し無理があるのでは？(時間と理解度)	
東北	設計	その他	業務の中で例えほどのような場面で使えるのか、また相互の関連性が分り難かった気がします。	
東北	設計	その他	最初内容について難しそうに感を感じた。除々に審査を経て理解することができた。	
東北	設計	その他	少エネ(施工者)技術者講習会を受講済だったので、割とすんなり頭に入った。(施工者)技術者講習会もはるすこく難しかったと感じた。	
東北	設計	その他	省エネルギー基準に对应できるための知識を学ぶ事が出来ました。	
東北	設計	その他	性能表価の際に疑問だった点を解決することができました。実際に実務で性能表価などを担当していて、協会に所属していない若い世代にもこのような講習を受ける機会が増えれば、スムーズに業務を行えると感じました。ありがとうございました。	
東北	設計	その他	前半分り難かったけど後半は分りやすかったです。	
東北	設計	その他	予習しておきたかった。	
東北	その他	その他	代理出席のため理解出来なかったが、省エネに対して多種多様な手段を施す必要があることが理解できた。	
東北	その他	その他	IBECが実施した自立循環型設計講習会より内容がコンパクトでかつ実用的で大変良かった。	
関東	施工	その他	思ったより参加者が少なかった。	
関東	現場管理	その他	詳細な講習内容であり改正前後では大変な違いを感じました。	
関東	現場管理	その他	演習問題は8問中3問しか正解ではなく、どこをどのように見るのか1から覚えなければならぬと感じました。	
関東	設計	その他	低炭素の講習に行きました。教科書がとて見やすく、わかりやすいと思います。	
関東	設計	その他	H26年4月から変わる省エネ法の届出に関する講習を受けなければならないと思った。(非木造)	
関東	設計	その他	省エネはこれから大変だ	
関東	設計	その他	チェックの内容が細かすぎるため、テキストを読上げるだけの講習では不十分、自己検査が必要かと思われました。	
関東	設計	その他	もう少しガイ要の説明が良かった。	
関東	設計	その他	実際に運用する方法など、講習していただいたので、実務にすぐに応用できます。大変ありがとうございました。	
関東	設計	その他	実務で慣れるしかないと思った。	
関東	設計	その他	住宅の設計が多いのですが、これから必要と思い、受講しました。計算がめんどくさそうだな、と思っていましたが、難しくはなさそうなので、次回設計から取り入れてみようと思いました。日値の計算演習がないのが少し残念でした。今日はありがとうございました。勉強になりました。	
関東	設計	その他	省エネ設計の流れについてはつかめた気がする。	
関東	設計	その他	盛り沢山の内容をご説明頂いた講師の先生は大変だったと思います。基本の流れが理解できれば、僅少数値を違わない様にすれば、何と何を比較するのがかわれば良いのかと思いました。	
関東	設計	その他	WebプログラムはDLできるのでしょうか？通信していないとできないのであれば使い勝手が悪くないかと思います。	
関東	設計	その他	又、CPDの用紙記入は有難い。	
関東	設計	その他	又、トップランナーとH25省エネとの違いについても知りたいが、イマイチ理解出来なかった。	
関東	設計	その他	木造住宅等個別住宅等業務外の為又住宅の省エネ工事がどの程度かと本講座を受講したので、P-2以降のアンケートは未記入とします。	
関東	その他	その他	“ココが大事”という所がわかりにくかった。ex. ココ赤ライン！！とか…。計算式を言葉で説明するのは、難しかったが、演習問題をやってみると、少しわかった気がします。きっと、パソコンで入力したら、もう少し理解が出来るかも。	
関東	その他	その他	設計のみ立場だが、施工の内容も知りたい。	
関東	その他	その他	悪天候のため、要点を絞って講習していただいたので、重要なところを理解できたと思います。	
関東	その他	その他	今後の仕事上で役立てたいと思います。	
関東	その他	その他	計算については自分でやってみてはじめてわかるものだなと思いました。勉強になりました。	
関東	その他	その他	事前の予習が不足していたため、ページを追っていくのがせいっぱいでした。これからは勉強します。ありがとうございました。	

関東	その他	その他	大変勉強になりました。建材販売サイドのスキルをupし広めていく事も重要だと強く感じました。ありがとうございました。
関東	その他	その他	短時間で適切な講義でよくまとまっていた。あとは、自分で実際の計算を積み重ねてよりよい住まいの設計に役立てたいです。
関東	その他	その他	断熱材メーカーですので記入しません
関東	その他	その他	不動産仲介の仕事でこの講習は、とても難しかったがこれから住まいや省エネ住宅のあり方などあまり通常業務とは関係がないところでもお客様は関心を持っていると思い受講してみました。とても参考になりました。
北陸	現場管理	その他	午前中の前半と後半では、わかり易かったのとわからなかったの両方です。
北陸	設計	その他	一日講習なので疲れる。
北陸	設計	その他	会後の設計に生かしていきたいと思います。ありがとうございました。
北陸	設計	その他	具体的に自分でやってみれば理解できます！
北陸	設計	その他	省エネ講習も2回目なのでだいぶ理解出来ました。ソフト(エクセル)でやっていたので計算で順序が分かった気がします。
北陸	その他	その他	テキストを読んでいるだけなら必要ない。(更に詳しいここでわからない話等がないと思う)一方的に話しをされていたが、自分のレベルではまったく理解できず、無駄に1日をつかった気がする。
中部	施工	その他	計算Excelで行うことが多いため、改めて手計算することは再理解するよい機会になりました。
中部	施工	その他	自分が知識不足な事もありますが分からないなりに分かったと思います。今日はありがとうございました。
中部	施工	その他	実務に反映できるまで少し練習が必要そうです。
中部	現場管理	その他	こんなつまらない講習会は初めて。
中部	設計	その他	おもしろい内容でした。一般事項が設計者に広く認識されることを望みます。
中部	設計	その他	もっと何回も聞かなければわからないでしょう。演習も繰り返して慣れないといけませんね。2020年には70才になってしまいます。どうぞ。考察では間違いが2個ありました、やっぱり！
中部	設計	その他	やはりやってみないとわからない。やりながら理解するだろうと思います。
中部	設計	その他	貴重な知識を補足を交えて回し有り難いです。
中部	設計	その他	住宅省エネルギー技術書を事前に予習出来ればよかった。
近畿	施工	その他	新しい基準法にふれて楽しかった
近畿	現場管理	その他	キノ部位の、計算方法が良く判りません。また、案件が出た折に伺います。
近畿	現場管理	その他	これからは必要だと思う
近畿	現場管理	その他	マスクやお茶は用意して欲しい。
近畿	現場管理	その他	思ったより内容がハードだった。
近畿	現場管理	その他	施工管理という職業なので、普段あまりなじみのない内容が多かったが、今後の業務に少しでも役立てていきたい。
近畿	現場管理	その他	本日の計算法が、以後せめて10年は使えますように！
近畿	設計	その他	大変に早いスピードでしたが、なんとかついていきました。演習問題例の説明は何ページの数値を参考にしたいか分かりやすく説明していただきました。
近畿	設計	その他	解り易い資料を頂いたので今後の参考にしたいと思います。お仕事を頂いている建築会社様が省エネ住宅に力を入れたと思われております為、今回初めて参加致しました考えていたより、難しい計算ばかりではなかった事が今後の取り組みに役立ちそうです。
近畿	設計	その他	覚えることが多く、ついて行くのが必死だった。
近畿	設計	その他	計算が覚えるまで「わかりにくかった」になると思われます、が、演習問題をしていると普通かもしれません。
近畿	設計	その他	断熱方式についてもっと、ふみ込んだ内容を期待していたので単なる学習会であったので、少し期待はずれ
近畿	その他	その他	住宅についての内容が多かったのですが、私は住宅以外の設計が多く、ビル系の建物が主です。実際の業務でどの程度役に立つのか疑問です。
中国	設計	その他	事前知識がある程度入っていないと、分りづらかったと思う。
中国	設計	その他	設計環境が大変難しくなった。
中国	設計	その他	独立後間もないため裏面アンケートは空けている部分が多いですがご了承下さい。
中国	その他	その他	省エネの考え方が理解出来た。
中国	その他	その他	要は省エネにするには照明をLEDに変え、効率の良い断熱材使用で暖房をよくきくようにすれば良いのですね。あと第1エネルギー消費はさほどかわらないのだから、あと天然木材の値が、一定なのはどうかと思う。カリンとスギではスギでは然々ちがいの×木に対して不公平
四国	設計	その他	今回思った事はより詳細な情報及び図面を書く段階にて品物がはっきり決まっていなくて入力できないので現実にはなかなかつかいにくいような気がしました。
九州・沖縄	設計	その他	実践して慣れていくのだから、書類作成が大変そうである
九州・沖縄	設計	その他	昼食が付いたらよかったと思います。
九州・沖縄	設計	その他	難しいとは思わなかったが、めんどくさい。
九州・沖縄	設計	その他	内容が多く、説明スピードがはやく感じましたが概要は理解する事が出来ました。計算は少し複雑なので、じっくり確認しながら進めたいと思いました。
九州・沖縄	設計	その他	予習不足を若干感じます。
九州・沖縄	その他	その他	工務店がもっと聞いておくべきだがほとんど参加されていないようだ。我々の西住会でも省エネルギーの講習会を行い知識を蓄わえていただく必要がある。我々建材流通店も工ム店と一緒になり勉強しなければならない

平成25年度国土交通省補助事業 住宅市場整備推進等事業
「木造住宅施工能力向上・継承事業」のうち
「住宅省エネ化推進体制強化等を行う事業」
～省エネ設計・施工に関する実態調～ 報告書

平成26年3月

一般社団法人 木を活かす建築推進協議会

〒107-0052 東京都港区赤坂 2-2-19 アドレスビル 5F

TEL:03-3560-2882 FAX:03-3560-2878 URL: <http://www.kiwoikasu.or.jp>
